



MODEL Y

オーナーズマニュアル



ソフトウェア バージョン: 2024.38
North America

お客様のオーナーズマニュアルについて

お客様の車両に対してカスタマイズされた最新かつ重要な情報を得るには、車両のタッチスクリーンでアプリランチャーにタッチして、マニュアルアプリを選択します。この情報は、購入された機能、車両設定、マーケット地域、およびソフトウェアバージョンに応じた、お客様の車両に特有のもので、これとは対照的にテスラが提供するオーナー情報は適宜更新されるものであり、お客様の車両に特有の情報が含まれない可能性もあります。

リリースノート

ソフトウェアのアップデート後には、タッチスクリーンに新しい機能に関する情報が表示されます。これらはマニュアルアプリで「リリースノート」タブを選択するか、「コントロール」>「ソフトウェア」>「リリースノート」の順にタッチすれば、いつでも表示できます。車両の使用方法に関してオーナーズマニュアルの内容がリリースノートの情報と矛盾する場合は、リリースノートを優先してください。

イラスト図および製品仕様

本文書に掲載されるイラスト図は例示のために描かれています。車両のオプション、ソフトウェアバージョン、販売地域により、車両のタッチスクリーンに表示される情報は多少異なる場合があります。

本書に記載の仕様および説明は、印刷時に、すべて正確であることが確認されています。ただし、改良を続けることがTeslaの目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。本文書に不正確な記述や漏れを見つけれられた方は、お手数ですが下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

安全情報

タッチスクリーンでお客様のModel Yのオーナーズマニュアルの安全情報を見ることができます。

お客様のModel Yに関する詳細情報を確認するには、お客様の地域のテスラウェブサイトアクセスして、テスラアカウントにログインします。アカウントがない場合はサインアップしてアカウントを取得してください。

Model Yに関して質問や疑問がある場合は、Teslaまでお電話でご連絡ください。

© 2012-2024 TESLA, INC.

本書にあるすべての情報およびすべてのソフトウェアは、Tesla, Inc.およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc.およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。以下は、Tesla, Inc.の米国またはその他の国における商標または登録商標です。

MODEL 3 MODEL S TESLA TESLA ROADSTER

MODEL Y MODEL X TESLA MOTORS T E S L A

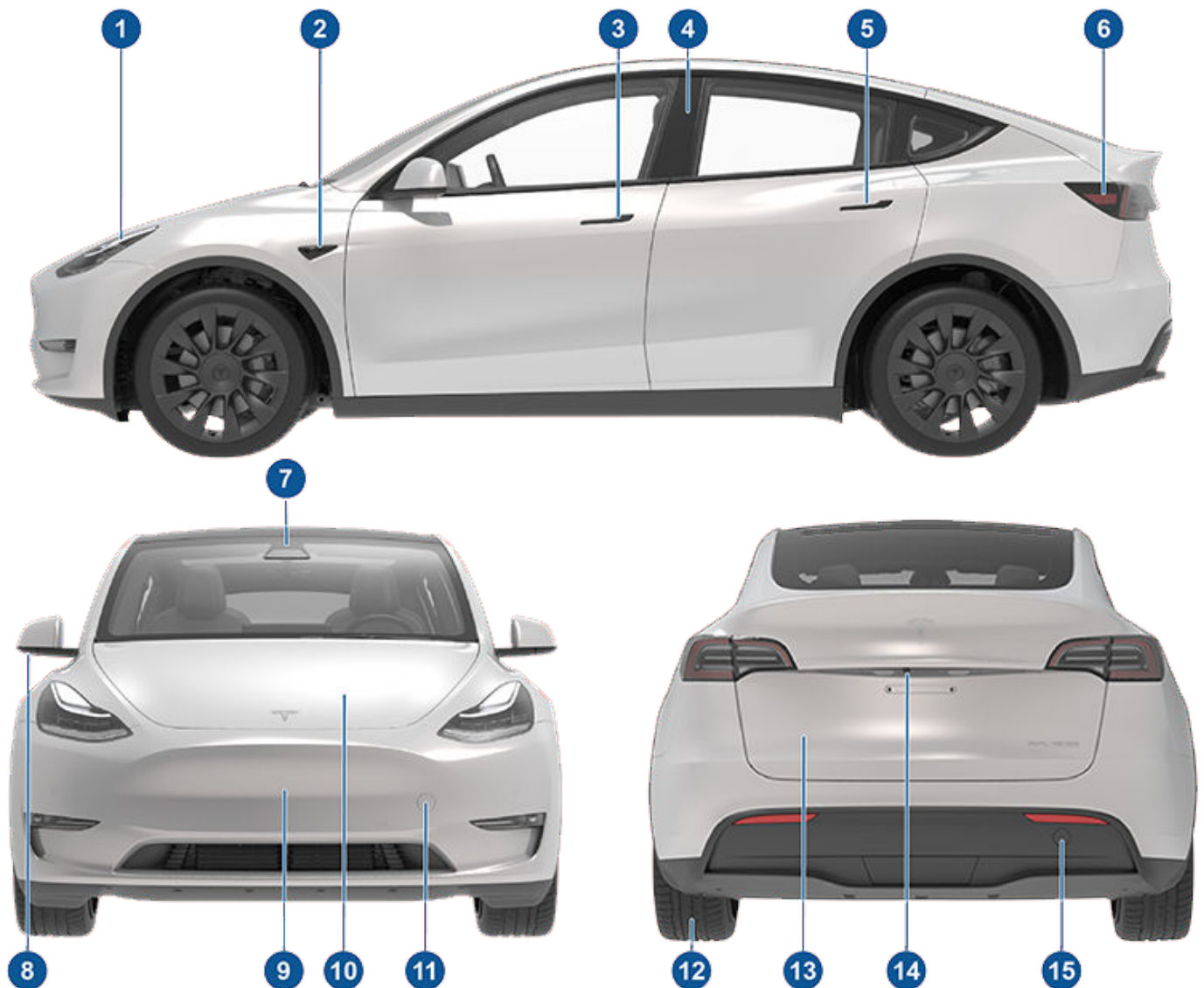


概要.....	3	オートパイロット機能.....	104
外装.....	3	信号機と一時停止のコントロール.....	113
インテリア.....	4	フルセルフドライビング（監視付き）.....	120
タッチスクリーン.....	5	オートパーキング.....	124
車内の電子装備品.....	9	サモン.....	126
車両の状態.....	12	スマート サモン.....	128
音声コマンド.....	16	制限と警告.....	130
カメラ.....	18		
		アクティブセーフティ 機能.....	135
開閉.....	20	レーンアシスト.....	135
キー.....	20	衝突回避アシスト.....	138
ドア.....	25	スピードアシスト.....	141
ウィンドウ.....	27	キャビン用カメラ.....	142
		ダッシュカム、セントリー、セキュリティ.....	143
収納エリア.....	28	安全とセキュリティ 設定.....	143
リアトランク.....	28	ダッシュカム.....	145
フロントトランク.....	30	セントリーモード.....	147
車内の収納.....	32	ビデオ録画のための USB ドライブの要件.....	149
		空調.....	151
座席と安全拘束具.....	34	空調を操作する.....	151
フロントおよびリアシート.....	34	換気.....	156
シートベルト.....	40	寒冷環境におけるベストプラクティス.....	157
チャイルドシート.....	43	暑熱環境におけるベストプラクティス.....	160
エアバッグ.....	50		
		ナビゲーションとエンターテイメント.....	161
接続性.....	55	マップとナビゲーション.....	161
モバイルアプリ.....	55	メディア.....	167
Wi-Fi.....	57	シアター、アーケード、おもちゃ箱.....	169
Bluetooth.....	58		
電話、カレンダー、ウェブ会議.....	60	充電とエネルギー消費.....	172
スマート ガレージ.....	62	電気自動車のコンポーネント.....	172
		高電圧バッテリーに関する情報.....	174
運転モード.....	65	充電方法.....	176
始動と電源オフ.....	65	プレコンディショニングと充電の予約.....	182
ハンドル.....	66	航続距離を最大限に伸ばす.....	183
ミラー.....	68		
ギアシフト.....	70	メンテナンス.....	185
ライト.....	72	ソフトウェア アップデート.....	185
ワイパーとウォッシャー.....	75	メンテナンスサービスの間隔.....	187
ブレーキと停車.....	77	タイヤのお手入れとメンテナンス.....	189
パーキングアシスト.....	82	洗車.....	196
オートブレーキ ホールド.....	84	フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液.....	200
トラクションコントロール.....	85	ジャッキ アップと引き上げ.....	202
加速モード.....	86	部品とアクセサリー.....	203
トラック モード.....	87	自主メンテナンス.....	211
ドライバープロフィール.....	89		
走行情報.....	92	仕様.....	212
リアビュー カメラ.....	93	識別ラベル.....	212
歩行者警告システム.....	94	車両総重量.....	213
牽引とアクセサリー.....	95	寸法.....	215
オートパイロット.....	101		
オートパイロットについて.....	101		

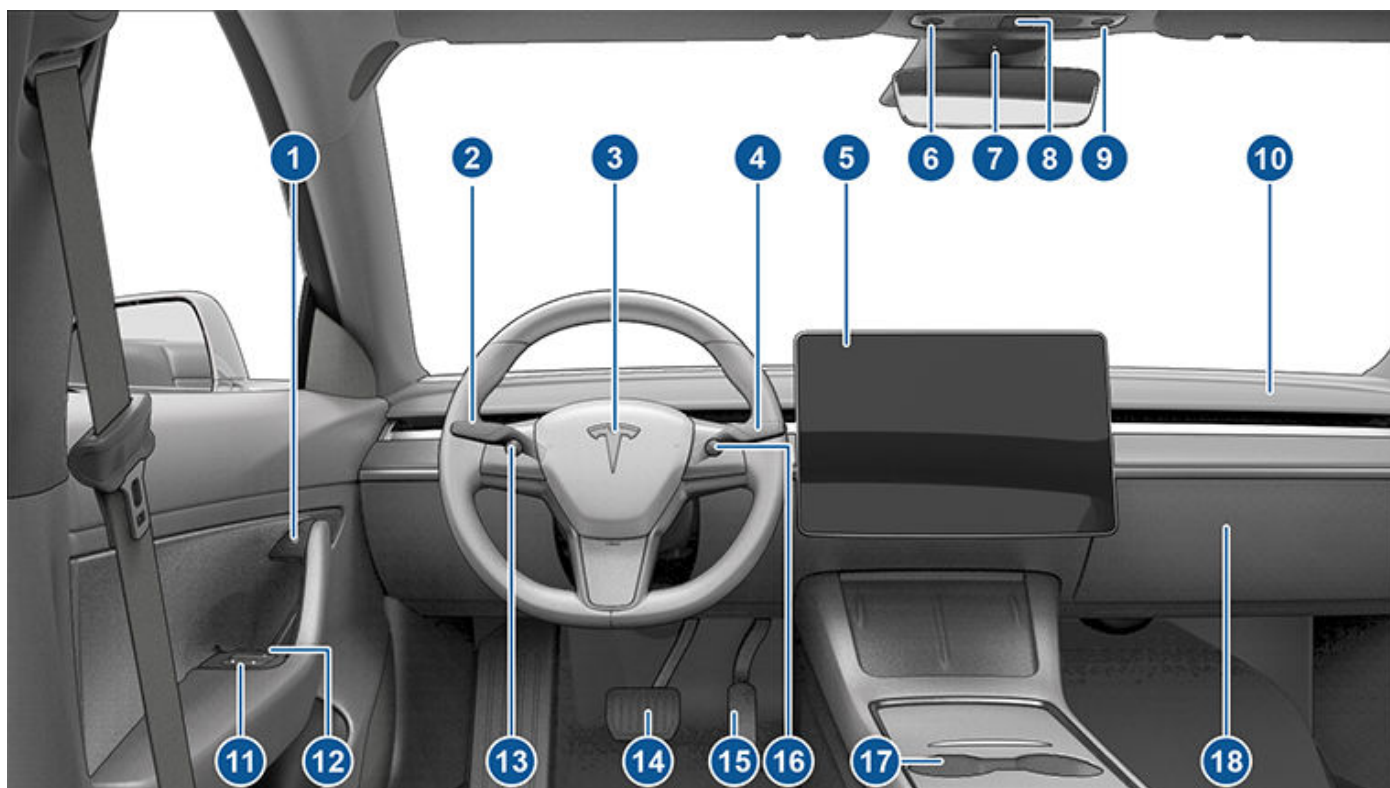


目次

サブシステム.....	218
ホイールとタイヤ.....	220
車両輸送者向け注意事項.....	226
車両輸送者向け注意事項.....	226
非常時.....	229
Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する.....	229
電力切れ.....	230
電源がない状態でフードを開ける.....	231
ジャンプスタート.....	232
電力がない状態でドアを開く.....	234
トラブルシューティング.....	235
トラブルシューティングのアラート.....	235
消費者情報.....	288
オーナー情報について.....	288
機能の使用可否に関する声明.....	289
免責事項.....	290
安全上の不具合を報告する.....	292
認証適合性.....	293
索引	295



1. エクステリア ライト (ライト ページ 72)
2. オートパイロットカメラ (カメラ ページ 18)
3. フロント ドア ハンドル (外部ドアハンドルを使用する ページ 25)
4. キーカード センサー (キー ページ 20)、オートパイロットカメラ (カメラ ページ 18)
5. リア ドア ハンドル (外部ドアハンドルを使用する ページ 25)
6. 充電ポート (充電方法 ページ 176)
7. オートパイロットカメラ (カメラ ページ 18)
8. 外部ミラー (ミラー ページ 68)
9. レーダー センサー (装備されていれば) (図では非表示)
10. フード / フロントトランク (フロントトランク ページ 30)
11. フロントのけん引ボルト カバー (車両輸送者向け注意事項 ページ 226)
12. ホイールおよびタイヤ (ホイールとタイヤ ページ 220)
13. リアトランク (リアトランク ページ 28)
14. リアビューカメラ (リアビューカメラ ページ 93)
15. リアのけん引ボルト カバー (車両輸送者向け注意事項 ページ 226)



1. ドアオープンボタン (車内からドアを開ける ページ 25)
2. ウィンカーレバー (ハイビームヘッドライト ページ 73、ウィンカー ページ 74、およびワイパーとウォッシャー ページ 75)
3. クラクション(クラクション ページ 67)
4. ドライブスターク (シフト方法 ページ 70、オートパイロット機能 ページ 104)
5. タッチスクリーン (タッチスクリーン ページ 5)
6. 運転席側ルームライト (ライト ページ 72)
7. キャビン用カメラ (キャビン用カメラ ページ 142)
8. ハザードランプ (ハザードランプの点滅 ページ 74)
9. 助手席側ルームライト (ライト ページ 72)
10. 空調ベント (空調を操作する ページ 151)
11. パワーウィンドウスイッチ (ウィンドウ ページ 27)
12. 手動ドアリリース (車内からドアを開ける ページ 25)
13. 左スクロールボタン (スクロールボタン ページ 66)
14. ブレーキペダル (ブレーキと停車 ページ 77)
15. アクセルペダル (回生ブレーキ ページ 78)
16. 右スクロールボタン (スクロールボタン ページ 66)
17. センターコンソール (車内の電子装備品 ページ 9)
18. グローブボックス (グローブボックス ページ 32)



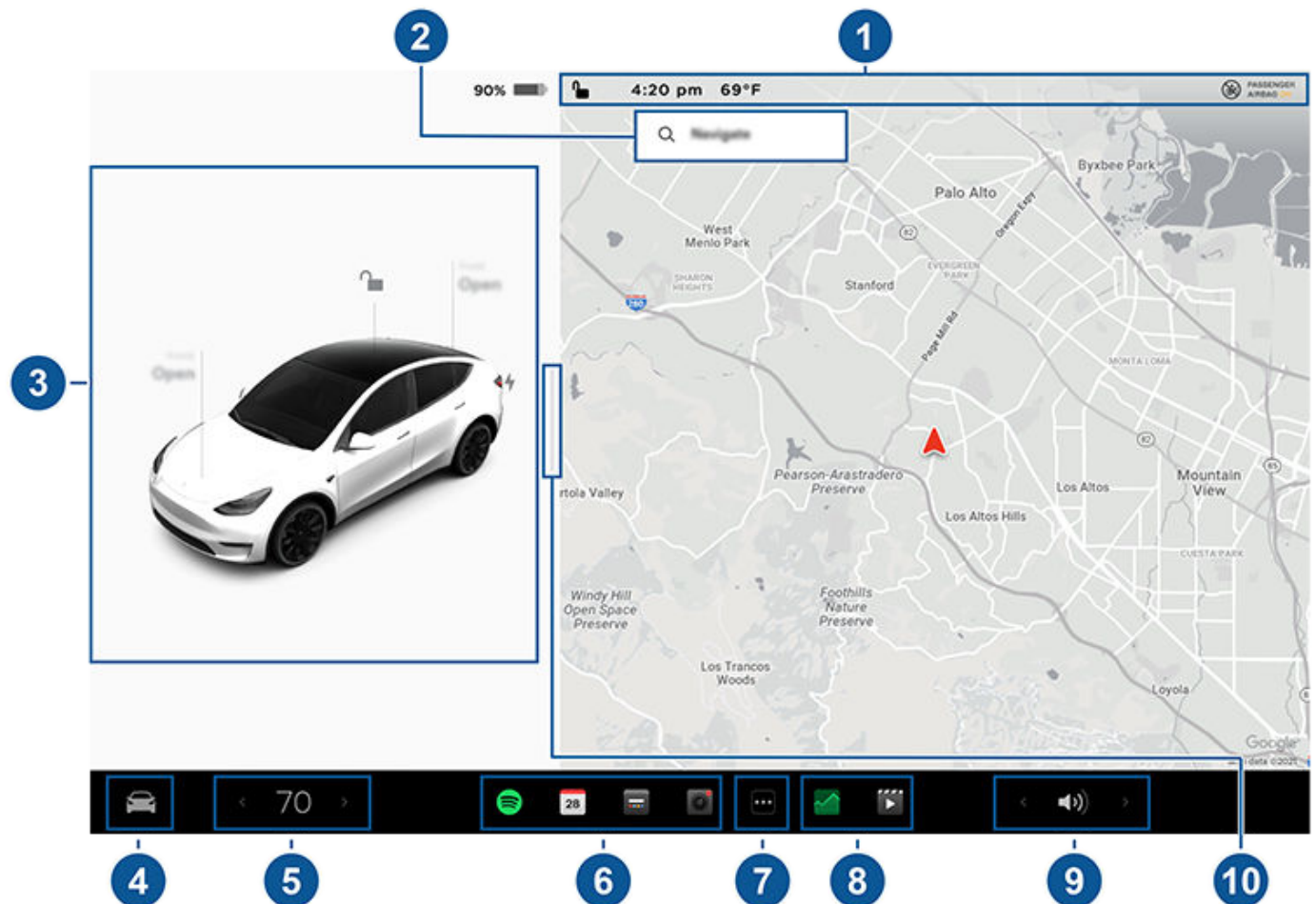
警告: 運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はタッチスクリーンによる設定の調整を行わないでください。

従来の車ではたとえば、ヒーターや空調やヘッドライトなどの調節に多くの物理的ボタンを使用していましたが、タッチスクリーンだけで多数の機能を制御できます。タッチスクリーンからは、メディアとナビゲーションのコントロールやエンターテインメント機能の使用、選択設定による Model Y のカスタマイズが利用できます。一般的なタッチスクリーン コントロールにハンズフリーでアクセスするためには、音声コマンドを使用します（音声コマンド ページ 16 参照）

タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示す場合は、再起動してください（タッチスクリーンの再起動 ページ 7 を参照）。

注意: タッチスクリーンに画面保護フィルムを貼らないでください。そうした場合、タッチスクリーンに意図しない入力（偽の入力）、応答遅延、タッチに対する無反応、静電放電によるタッチスクリーンへの損傷などが生じるおそれがあります。

注: 各種イラストは、コンセプトの理解の促進のみを目的としています。車両オプション、ソフトウェアバージョン、販売地域、地域設定、言語設定によって、スクリーンの表示内容は異なります。



1. **ステータスバー:** トップバーで車両のコントロールとステータスを確認します（トップステータスバー アイコン ページ 6 を参照）。
2. **ナビゲーション:** 地図の向きを変更し、目的地を検索またはナビゲーションし、ナビゲーション設定を変更します。（マップとナビゲーション ページ 161 参照）。
3. **車両の状態:** このエリアには、運転、駐車、ドア開閉、ライト点灯のような Model Y の現在のステータスをその都度表示します。走行速度や警告メッセージなどの重要情報が表示されますので、運転中はこのエリアを確認してください（車両の状態 ページ 12 参照）。車両がパーキング状態のとき、トランクや充電ポートを開けることができます。このエリアには、メディア、タイヤ空気圧、および走行情報のショートカット「カード」が含まれます。

T タッチスクリーン

フルセルフドライビング機能（装備されていれば）が有効な場合、車両の状態エリアには道路と車両の周囲が映像表示されます。車両の状態エリアを端から端までドラッグすると表示を拡張/縮小することができます。表示を拡張すると、路面標示、一時停止標識灯、物体（ゴミ箱、柱ほか）など、車道やその周辺の詳細情報が表示されます。

4. **コントロール:** さまざまな機能を制御し、Model Y をカスタマイズしてあなたの好みに合わせます。コントロール画面が地図の上に表示されます。コントロール画面のオプションにタッチすると、選択したオプションに関連するさまざまな設定および好みが表示されます。

特定の設定を検索するにはコントロール画面の上部にある**検索**にタッチします。結果を直接変更するか、リンクをタップして「コントロール」にあるオプションに移動します。



情報アイコンが特定の設定の隣に表示されているときに、それをタッチすると、関連する設定について役に立つ詳細情報を提供してくれるポップアップが表示されます。

注: 車両のコントロール、設定および好み（空調、メディア、ナビゲーションなど）は音声コマンドを使用してハンズフリーで調整することができます（[音声コマンド ページ 16](#) を参照）。

注: このアイコンを長押しすると、タッチスクリーンのフィードバックを Tesla に送信することができます。

5. **空調（運転席）:** 左右の矢印を使用すると、キャビンの温度を調整できます。ポップアップの「**スプリット**」にタッチすると、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが表示されます。温度アイコンにタッチすると空調設定をカスタマイズできます（[空調を操作する ページ 151](#) 参照）。温度コントロールが「**スプリット**」のときは、助手席空調が表示されて、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが提供されます。
6. **マイ アプリ:** よく使用するアプリやコントロールにワンタッチでアクセスするため、ここで表示内容を選択することができます。[マイ アプリをカスタマイズ ページ 6](#) を参照してください。
7. **アプリ ランチャー:** アプリ ランチャーにタッチするとアプリトレイが開きます。アプリをタッチして開きます。選択したアプリがマップの上部に表示されます。アプリを終了するには、下にドラッグします。
8. **最近使用したアプリ:** 最近使用したアプリを表示します。ここに表示される最近使用したアプリの数は、**マイ アプリ**に追加したアプリの数によって変わります。**マイ アプリ**に最大数のアプリを追加している場合、直近に使用したアプリだけが表示されます。
9. **音量調節:** メディア プレイヤーと電話の音量を制御します（[音量調節 ページ 167](#) 参照）。ナビゲーション指示の音量は別途制御されます（[マップとナビゲーション ページ 161](#) 参照）。
10. **フルスクリーン パーキングビュー**（装備されている場合）助手席側にスワイプすると、メディアとナビゲーションのコントロールを備えたフルスクリーンのパーキングビューが表示されます。

マイ アプリをカスタマイズ

よく使用するアプリや設定にワンタッチでアクセスするため、タッチスクリーンの下部バーにある**マイ アプリ**エリアの表示内容をカスタマイズすることができます。

1. **マイ アプリ**エリアにあるアプリまたはコントロールを長押ししてカスタマイゼーション モードに入ります。このエリアが空白の場合、**アプリ ランチャー**にタッチします。
2. アプリまたはコントロールをアプリトレイから下部バーの**マイ アプリ**エリアにドラッグします。

注: アプリトレイで選択したシートヒーターが、**マイ アプリ**エリアではなく温度の隣に表示されます。

注: **マイ アプリ**に最大数のアプリやコントロールを既に追加している場合、アプリを追加すると右端のアプリが削除されます。

注: アプリまたはコントロールを長押ししてから該当する「X」にタッチして**マイ アプリ**エリアから削除します。

トップ ステータス バー アイコン



タッチしてすべてのドアやトランクをロック/アンロックします。



地域の天候を表示します。タッチすると、雨の確率、湿度、UV 指数など、天気および空気の質に関する詳細情報が表示されます。プレミアムコネクティビティが必要です。

72°F

現在の温度を表示します。車両にプレミアムコネクティビティが装備されている場合、タッチすると、雨の確率、湿度、UV 指数など、天気および空気の質に関する詳細情報も表示されます。

AQI 64

地域の空気質指数 (AQI) の値が低いことを Model Y が検知した場合のみ、タッチスクリーンのステータスバーに表示されます。AQI が低い場合は、黄色、オレンジ色、赤色、紫色、またはマルーン色の数字が表示されます。タッチすると、雨の確率、湿度、UV 指数など、天気および空気の質に関する詳細情報が表示されます。プレミアムコネクティビティが必要です。

4:20 pm

車両は自動で時刻を更新します。時刻が正しくない場合、車両が最新ソフトウェアによるインターネットおよび GPS への接続性を持っていることを確認します。



Model Y が通信距離内にプログラミングされた HomeLink を検出し、タッチスクリーンに HomeLink の画面またはポップアップがまだ表示されていない場合に限り、タッチスクリーンのステータスバーに表示されます。スマートガレージページ 62 を参照してください。



Model Y がパーキングにシフトしているときに限ってタッチスクリーンにステータスバーが表示されます。ドライバープロフィールを追加、設定 (パレーモードおよびイージーエントリーを使用を含む) するかすばやく切り替えます。ドライバープロフィールはコントロール画面の上部からもアクセスできます。ドライバープロフィール ページ 89 を参照してください。



Model Y がパーキングにシフトしているときに使用可能であり、タッチすると現在の走行サイクルに対して手動でセントリーモードを有効または無効にします。車両を離れるたびにセントリーモードを自動でオン (またはオフ) にするには、「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」の順に移動し、設定を有効にします。詳細情報については、セントリーモード ページ 147 を参照してください。

注: 「コントロール」 > 「セントリーモード」でセントリーモードをオンまたはオフにした場合、車両のタッチスクリーン上のショートカットおよびモバイルアプリは現在の走行サイクルに限り作動します。

注: 2021 年 11 月 1 日ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の USB ポートを使用してください。



Model Y が Wi-Fi ネットワークに接続している場合に表示されます。



Model Y がセルラー ネットワークに接続している場合に表示されます。このアイコンにタッチすると「Wi-Fi 設定」にすぐにアクセスできます。



Model Y の携帯電話接続が使用不能である場合に表示されます。このアイコンにタッチすると「Wi-Fi 設定」にすぐにアクセスできます。



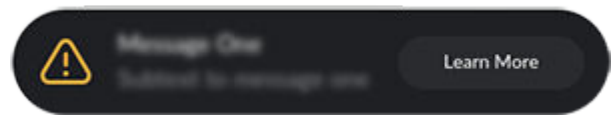
助手席エアバッグのステータス (エアバッグ ページ 50 を参照)。



所有者、追加されたドライバー、または使用している第三者アプリによって、Tesla アプリで車両の GPS 位置情報がアクティブにアクセスされている場合に表示されます。アイコンをタップすると詳細が表示されます。無効にするには、タッチスクリーンで「安全」 > 「モバイル アクセスを許可」の順に移動します。

ポップアップメッセージおよび車両のアラート

ポップアップメッセージが、タッチスクリーン最下部中央に表示されます。例えば、シートベルト リマインダ (人が座っている座席でシートベルトが装着されていない場合)、アラート通知 (電話着信があった場合)、テキスト メッセージ (該当する場合)、音声コマンド (使用している場合) が表示されます。装備車の場合は、ポップアップメッセージのオプション (電話対応の可否、ヘッドライト メニューのオプション選択など) にタッチします。ポップアップメッセージを無視するには、下にスワイプします。



車両のタッチスクリーンにアラートが表示された場合、「詳細はこちら」にタッチするとアラートおよびその解決方法に関する詳細情報を知ることができます。「コントロール」の上にあるベルアイコンにタッチすると、車両アラートおよび通知の一覧を表示することができます。

注: 現時点ですべてのアラートに追加情報が提供されているわけではありません。

タッチスクリーンの再起動

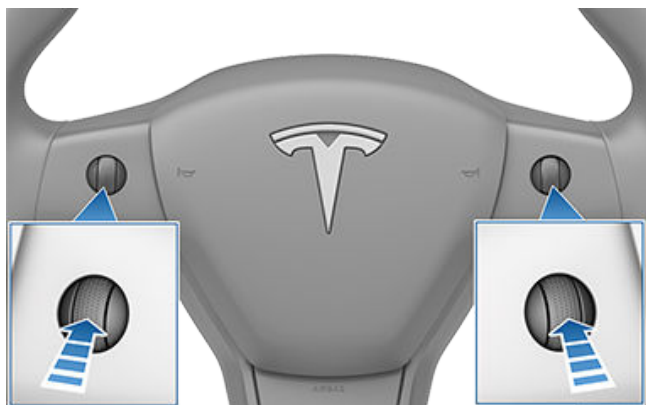
タッチスクリーンが応答しない場合や、異常な挙動を示す場合は、タッチスクリーンを再起動することができます。



警告: タッチスクリーンの再起動は車両を停止してパーキングに入れている時のみ行います。再起動中は、車両のステータス、安全に関する警告、バックアップカメラなどが使用できなくなります。

T タッチスクリーン

1. パーキングにシフトします。
2. タッチスクリーンが暗くなるまで、ハンドルの両方のスクロール ボタンを長押しします。スクロール ボタンを押しながらブレーキ ペダルを踏み動作は、実行しても何も起こらず、要求されることもありません。



3. 数秒後に Tesla ロゴが表示されます。タッチスクリーンが再起動するまで約 30 秒待ちます。数分経っても、タッチスクリーンが反応しなかったり、タッチスクリーンが通常とは異なる挙動が見られたりした場合は、(可能であれば) パワーサイクリングを試みます。車両でパワーサイクリングを行う ページ 65 を参照してください。

注: スクロールボタンを押しても、タッチスクリーンが再起動されるだけです。車両のその他のコンポーネントを再起動することはなく、Model Y の電源のオンオフも行いません。

ディスプレイおよびサウンド設定のカスタマイズ

表示設定を自分の好みに合わせるには、「コントロール」>「表示」の順にタッチします。

- **表示モード:** 表示として、「暗い」と「明るい」のいずれかでカスタマイズします。「オート」に設定すると、周囲の照明状態に応じて明るさが自動的に変わります。
- **ブルーライトを軽減:** 有効にすると、ディスプレイが夜間に自動的により温かみのある色に調整されます。
- **明るさ:** スライダーをドラッグして手でスクリーンの明るさのレベルを制御します。「表示モード」を「オート」に設定すると、周囲の照明状態と明るさの好みの両方に基づいて、タッチスクリーンが調整を行いません。Model Y 選択した明るさの好みを記憶し、タッチスクリーンを適切に調整します。
- **画面クリーニングモード:** 有効にすると、クリーニングしやすいように、タッチスクリーンは暗くなって一時的に停止状態になります。画面上の指示に従い、画面クリーニングモードを終了します。
- **タッチスクリーン言語:** タッチスクリーンで使用する言語を選択します。

注: Model Y 言語設定を変更するには、ギアをパーキングに入れる必要があります。言語を変更する際、Model Y がシャットダウンされて再起動するため、若干時間がかかります。

- **音声認識言語:** 音声コマンドに使用する言語を選びます。

- **音声ナビ言語:** ナビゲーション システムが使用する音声ガイドの言語を使用します。

注: 言語のダウンロードが必要な場合、ドロップダウン リストで言語を選択してダウンロードを開始します (Wi-Fi 接続が必要です)。

- **テキストサイズ:** 「標準」か「大」を選択して、車両のタッチスクリーンの文字サイズをカスタマイズします。
- **時間:** 時間の表示フォーマットを 12 時間と 24 時間のいずれかから選択します。
- **エネルギー表示:** 残りエネルギーを表示するには、充電単位としてバッテリー残量のパーセントまたは推定走行可能距離を選択します。
注: 充電の必要性が迫っている場合は、エネルギー予測を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。さまざまな要因がエネルギー消費に影響を与えます。電力消費量に影響する要因 ページ 183 を参照してください。
- **距離:** 測定値をメートル単位 (キロメートル、センチメートルなど) またはインチ単位 (マイル、インチなど) で表示するかを選択します。
- **温度:** 温度表示として、華氏か摂氏のいずれかを選択します。
- **タイヤ空気圧:** タイヤ空気圧表示として、BAR か PSI のいずれかを選択します。

ディスプレイのカスタマイズの他に、Joe Mode を有効にして、重大な安全問題に関連しないすべてのチャイムの音量を低くすることができます。「コントロール」>「安全」>「Joe Mode」の順にタッチして有効にします。

車両に名前を付ける

車両をさらにカスタマイズするために、名前を付けることができます。タッチスクリーンの右側にある Model Y の画像の下の「コントロール」>「ソフトウェア」>「車に名前を付ける」をタッチします。車両にすでに名前が付いている場合は、既存の名前をタップして変更できます。ポップアップに新しい名前を入力して「保存」をタッチします。Tesla モバイルアプリにも、Model Y の名前が表示されます。

工場リセットによる個人データの消去

Model Y の所有権を譲渡する場合は、セキュリティ上の理由から、お客様のアカウントから車両を削除する前に、「コントロール」>「サービス」>「工場リセット」の順にタッチして工場リセットを実行してください。データの消去を実行する前に、Model Y がドライバーの認証情報を確認するため、Tesla アカウントのユーザー名とパスワードの入力が求められます。

注: 工場リセットの実行は、車両がお客様のアカウントに登録されている場合のみ可能です。車両がお客様のアカウントから削除されると、カスタマイズした設定を工場出荷時のデフォルトにリセットし、すべての個人データを消去するためのアクセス権が失われます。



収納コンパートメントやカップホルダー（[車内の収納 ページ 32](#) を参照）に加えて、Model Y の車内にはキー FOB やキーカードを読み取るための RFID 送信機（[キー ページ 20](#) を参照）、USB ポート、ワイヤレス電話充電器、および 12 V 電源ソケットといったさまざまな電子装備品があります。

USB ポート

Model Y センターコンソール正面のコンパートメントには 2 つの USB ポートがあります。これらのポートは以下の目的で使用できます。

- USB 機器を接続し充電する。
- 電話や USB 機器に保存されているオーディオファイルを再生する（[デバイスからメディアを再生 ページ 168](#) を参照）。
- センターモードやダッシュカムなどの機能を使用するときに、動画を保存する（[ダッシュカム ページ 145](#) および [センターモード ページ 147](#) を参照）。

注: お客様の Model Y のグローブボックスに USB ポートがある場合（以下に記載）、グローブボックスの USB を使用してセンターモードやダッシュカム動画を保存することを推奨します。これは電力消費量が最小限で済み、ローケーションのセキュリティがより確実になるからです。

USB ポートは最大で約 15 W の電力を出力できます（車両の製造日によって異なる可能性があります）。

注: 2021 年 11 月 1 日ごろ以降に製造された車両の一部では、センターコンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の USB ポートを使用してください。

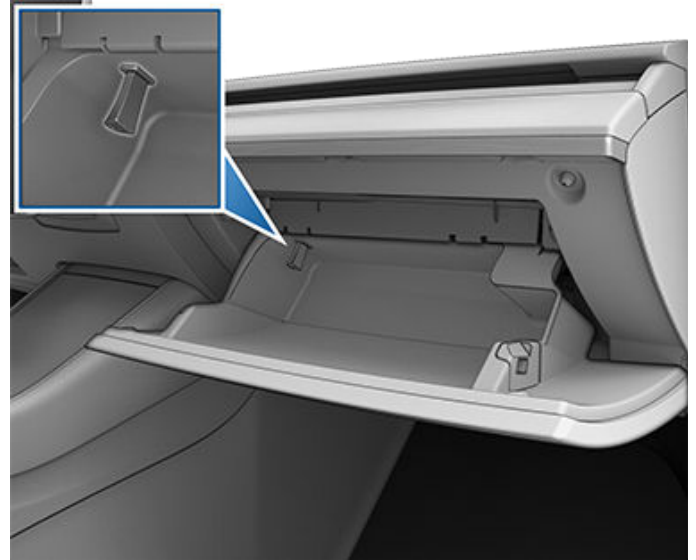
両方のポートが USB-C に対応しています。

USB フラッシュドライブのフォーマットについては、[ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 149](#) を参照してください。

センターコンソール正面のコンパートメントを開きます。フロント USB ポートは、コンパートメントリア側の壁に位置します。



製造日によっては、グローブボックス内部に USB ポートが搭載された車両もあります。USB-A ポートは、事前にフォーマットされたフラッシュドライブが備わっており、センターモードやダッシュカムなどの機能を使用時に、動画を保存できます。メインの目的ではありませんが、このポートは車両との通信および USB 接続機器の充電に使用できます。



追加の 2 つの USB ポートがセンターコンソールのリア側に位置します（2020 年 6 月以降に製造された車両については、両方のポートとも USB-C 対応です）。これらのポートは USB 接続機器を充電しますが、車両と通信しません。



Model Y が 7 人乗りである場合、3 列目シートの中央にあるコンソールの前面には USB-C ポートが 2 つ配置されています。これらのポートは USB 接続機器を充電しますが、車両と通信しません。



車内の電子装備品



注: 車両が使用中、またはユーザーの存在を検知すると、電源が供給されます。運転席に人がいる、またはタッチスクリーンが操作されている場合、ユーザーは存在すると見なされます。アクセサリを接続したままにしておいても、低電圧バッテリーは消耗しません。

注: USB 3.0 互換ケーブルを使用して、デバイスを USB ポートに接続します。非標準ケーブルを使用すると充電に時間がかかり、接続上の問題や、パフォーマンスの低下が生じるおそれがあります。

注: USB ハブを使用して複数の機器を接続しないでください。複数の機器を接続すると、接続されている機器が充電されなかったり、メディアプレイヤー、セントリーモード、ダッシュカムなどに認識されないことがあります。

ワイヤレス電話充電器

ワイヤレス電話充電器（装備されていれば）はフロント コンソールと一体になっており、Qi 対応の電話を最大 15W の電力で充電できます。電話を充電器に置くだけで、充電を開始できます。充電中のスマートフォンは暖かく感じるがありますが、これはインダクティブ方式充電で通常起きる現象です。

車両の電源が入っているとき（タッチスクリーンが有効で車内にいるとき）に電話をワイヤレス充電器に置くと、充電が開始されます。降車後は、電話の充電は行われません。（セントリーモードなどの機能が有効になっていない場合、および USB ポートに電力が供給されない場合）Model Y 車両のバッテリーが放電している場合には、電話は充電されません。

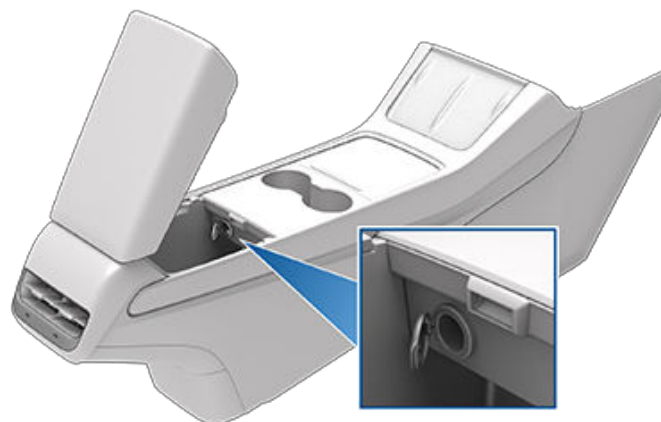
注: 電話はワイヤレス充電器と直接接続する必要があります。電話ケースが大きすぎる場合や金属製の場合、ワイヤレス電話充電器は動作しません。電話をケースから取り出し、充電器の上に置いてください。



注意: 充電する前に、電話と充電器の間にあるもの（コイン、鍵、金属製の物体など）を取り除き、一体型携帯電話ケースなどを使用している場合は、電話の上や裏に収納されている NFC カード（車両キーカード、クレジットカード、ホテルの鍵など）を取り出してください。NFC カードを取り出さずに電話を充電すると、カードが破損することがあります。

低電圧 電源ソケット

お使いの Model Y には、センター コンソールのリア コンパートメントに電源ソケットが搭載されています。



電源ソケットは 12A までの連続通電（最大 16A）が必要なアクセサリに適合します。

注: 2021 年 11 月頃以降に製造された車両の場合、低電圧電源ソケットに接続されたパワーインバーターを機能させるには 16VDC 入力に対応している必要があります。

追加の低電圧電源ソケットはリア トランクの左側にあります。



注: 車両が使用中、またはユーザーの存在を検知すると、電源が供給されます。運転席に人がいる、またはタッチスクリーンが操作されている場合、ユーザーは存在すると見なされます。アクセサリを接続したままにしておいても、低電圧バッテリーは消耗しません。



警告: 電源ソケットやアクセサリ端子は熱くなることがあります。



警告: 車両の電気システムに対する過剰な干渉を回避するために、パワーインバーターを含む、Tesla の純正品以外のアクセサリを低電圧電源ソケットに接続しないようにすることをお勧めします。ただし、Tesla の純正品以外のアクセサリを使用した場合に、インジケータのライトが点灯したり、警告メッセージが表示されたりアクセサリが極端に熱くなったりするなどの誤動作や予期しない動作に遭遇した場合は、アクセサリを低電圧電源ソケットから直ちに取り外してください。



注意: 低電圧電源ソケットを使用して Model Y のジャンプスタートを試みないでください。故障の原因となることがあります。



車両の状態

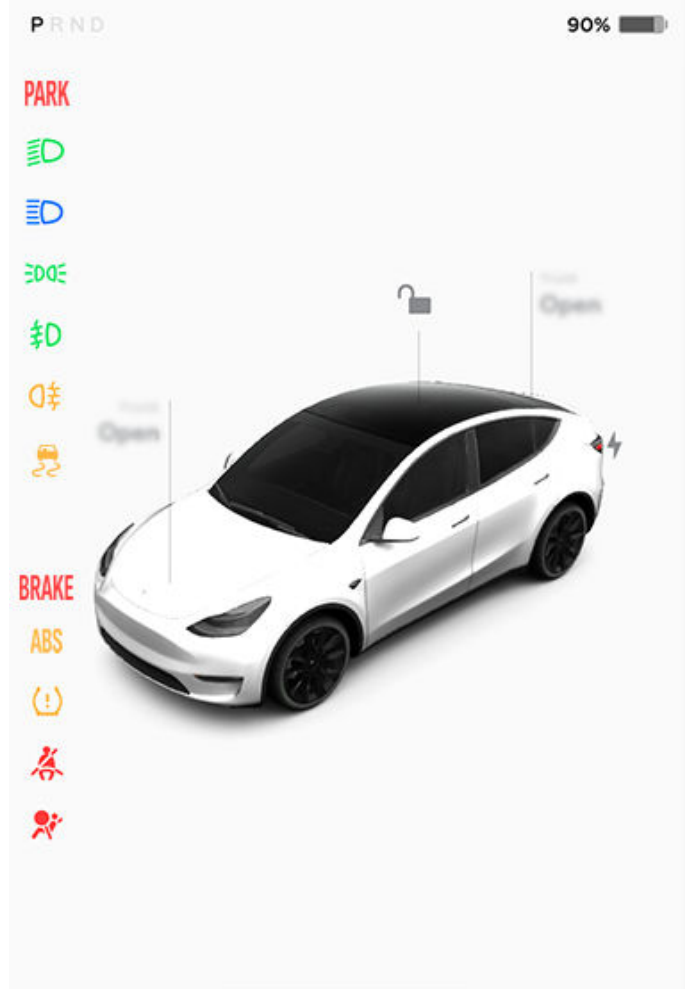
概要

タッチスクリーンには Model Y の状態が常に表示されます。何が表示されるかは車両が次に挙げるどの状態かによって変わります。

- パーキング中（以下に示す）。
- 運転中（[運転状態 ページ 14](#) を参照）。
- 充電中（[充電ステータス ページ 177](#) を参照）。

Model Y を駐車した場合、この状態エリアにはドライブモード、推定航続距離、車の俯瞰画像が、トランクと充電ポートドアを開くタッチボタンと共に表示されます。ブレーキを踏むと Model Y の電源が入り、インジケータライトが短く点滅します。現在の状況に当てはまらない（たとえばシートベルトが着用されていない）インジケータライトは消灯します。インジケータが点灯または消灯しない場合は、Tesla に連絡してください。

注: 次の画像は、デモンストレーションの目的でのみ提供されています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



カード

車両のステータス表示の下部には、メディア、タイヤ空気圧データ、走行情報などにすばやくアクセスできるショートカット「カード」も表示されます。カードを左右にスワイプして、カードのショートカットをカスタマイズします。

インジケータライト

次のインジケータライトは特定の状態を伝えるために点灯します。

米国:

BRAKE

Model Y を最初に始動したときに短く表示される以外で、タッチスクリーンにこの赤色のブレーキインジケータが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でブレーキペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。

カナダ:

BRAKE

Model Y を最初に始動したときに短く表示される以外で、タッチスクリーンにこの赤色のブレーキインジケータが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でブレーキペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。

米国:

BRAKE

ブレーキブースターの故障が検出されると、タッチスクリーンに黄色のブレーキインジケータが表示されます。一定の圧力でブレーキペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。油圧ブースト補正が起動します（[ブレーキと停車 ページ 77](#) を参照）。

カナダ:

BRAKE

ブレーキブースターの故障が検出されると、タッチスクリーンに黄色のブレーキインジケータが表示されます。一定の圧力でブレーキペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。油圧ブースト補正が起動します（[ブレーキと停車 ページ 77](#) を参照）。

米国:

ABS

Model Y を最初に始動すると、タッチスクリーン上で ABS インジケータが短く黄色に点滅します。このインジケータが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。

カナダ: Model Y を最初に始動すると、タッチスクリーン上で ABS インジケーターが短く黄色に点滅します。このインジケーターが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。



フロント フォグランプがオン状態 (搭載車の場合)。ライト ページ 72 を参照してください。



パーキング ライト (サイド マーカーライト、テールライト、ナンバープレート ライト) が点灯しています。ライト ページ 72 を参照してください。

米国: タッチスクリーンを使用して手動でパーキングブレーキをかけると、タッチスクリーンに赤色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯します。



ロービーム ヘッドライトがオンになっています。

カナダ: タッチスクリーンを使用して手動でパーキングブレーキをかけると、タッチスクリーンに赤色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯します。



ハイビーム ヘッドライトがオンで、が無効または現在利用できなくなっています。

米国: パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、タッチスクリーンに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生 のメッセージが表示されます。



が有効でハイビームがオン。Model Y ライトを検出した場合、すぐにハイビームをオフにします。ハイビーム ヘッドライト ページ 73 を参照してください。

カナダ: パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、タッチスクリーンに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生 のメッセージが表示されます。



は有効ですが、Model Y の前方にライトが検出されているためハイビームが点灯していません。光が検知されなくなるとハイビームは自動的にオンに戻ります。ハイビーム ヘッドライト ページ 73 を参照してください。

注: メキシコで販売の車両は、製造場所によって、ブレーキ、ABS、パーキングの各インジケーターランプの文字またはアイコンが表示される場合があります。



横滑り防止装置がブレーキ圧およびモーター出力を制御しホイールのスピンを最低限に抑えている際には、このインジケーター ライトが黄色に点滅します。トラクションコントロール ページ 85 を参照してください。このインジケーターが点灯したままの場合、不具合が検出されていますので直ちに Tesla へ問い合わせる必要があります。



タイヤの空気圧警告。タイヤの空気圧が許容範囲外になっています。タイヤ空気圧監視システム (TPMS) の不具合が検出されると、インジケーターが点滅します。TPMS が故障した場合は、Tesla に連絡してください。タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 189 を参照してください。



横滑り防止装置はホイールのスピンを最小化しなくなっています。後輪駆動車両でトラクション コントロール システムオフになっているか、四輪駆動車両でスリップスタート機能が有効になっています。トラクションコントロール ページ 85 を参照してください。



人が座っている座席のシートベルトが締められていません。シートベルト ページ 40 を参照してください。



けん引モード (装備されている場合) が有効です (牽引とアクセサリ ページ 95 を参照)。



エアバックの安全性。Model Y を運転する準備が整ったときにこのインジケーターが点滅しない場合、または点灯し続ける場合は、ただちに Tesla に連絡してください。エアバックについてのご注意 ページ 54 を参照してください。



車両のホールド機能が積極的にブレーキをかけています。オートブレーキ ホールド ページ 84 を参照してください。



車両の状態



ドアまたはトランクが開いています。ドアページ 25、リアトランク ページ 28、またはフロントトランク ページ 30 を参照してください。



寒冷な気候条件が原因でバッテリーに蓄えられている電力が利用できなくなったときに、青い雪の結晶アイコンが表示されます。このような寒冷な気候条件下では、充電速度が低下することがあります。Model Y が充電のために電源に接続されている場合、モバイルアプリを使用して温度調整機能をオンにしてバッテリーを温めることができます。バッテリーが十分に温まると、雪の結晶アイコンが消えます。



回生ブレーキが制限されているときに表示されます。詳細情報については、[回生ブレーキ ページ 78](#) を参照してください。



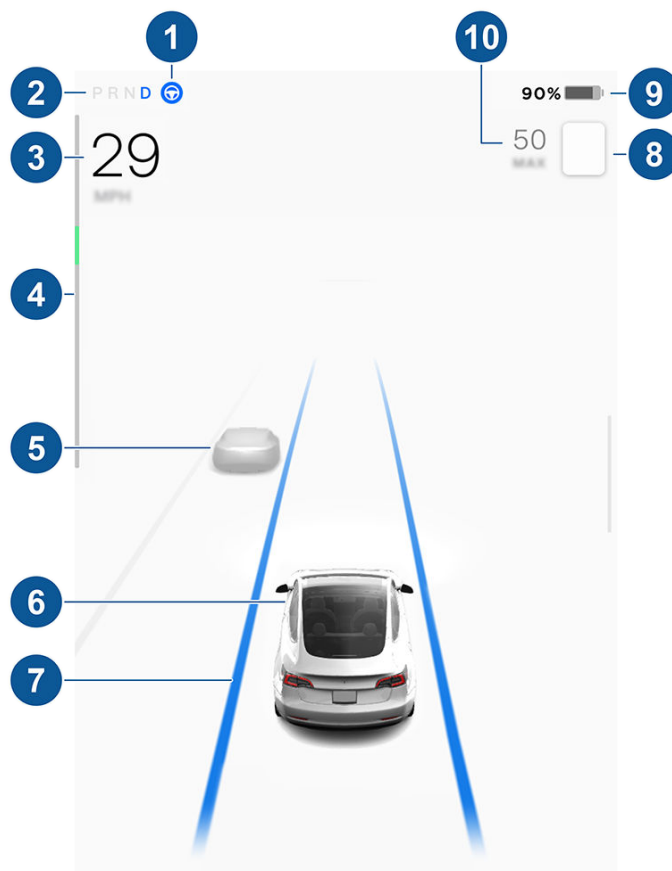
バッテリーの電力残量が少ないか、車両システムが加熱/冷却されているか、またはドライブインバーターがエラーを検出したことにより、車両電源の利用が現在制限されています。

車両のタッチスクリーンに表示されるアラートポップアップについては、[ポップアップメッセージおよび車両のアラート ページ 7](#) を参照してください。

運転状態

Model Y の運転中（または運転可能なとき）は、タッチスクリーンに現在の運転状況とオートパイロットコンポーネント（[カメラ ページ 18](#) を参照）が検出した道路のリアルタイムの視覚化された画像が表示されます。視覚化された画像はタッチスクリーンのスペースを有効活用するために、ブラインドスポットに車両が検出された時にドライバーに知らせるよう自動的にズームインとズームアウトを行います。

注: 以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



注: 路面標示、赤信号、障害物（ゴミ箱、柱など）といった車道およびその周辺の詳細情報を表示するには、「コントロール」>「オートパイロット」>「フルセルフドライビングの表示プレビュー」（装備車の場合）の順にタッチします。

1. オートステアリングが使える状態だがアクティブしていない時は、アイコンは灰色です。オートステアリングが能動的に Model Y を動かしている場合、アイコンは青色です（[オートステアリング ページ 105](#) を参照）。
2. 現在選択しているドライブ モード: パーキング、リバース、ニュートラル、ドライブ。
3. 巡航速度。
4. パワーメーターには、電力使用量がリアルタイムで表示されます（詳細については[回生ブレーキ ページ 78](#) を参照）。パワーメーターは運転ステータス画面の上部に縦に表示されることがありますが、機能は同じです。
5. 路上で他の車が検知されました（該当する場合）。
6. お客様の Model Y。物体が検出され、Model Y の画像からカラーラインが放射されます（他の運転者、ガードレールなど）。検出された物体の位置に応じた場所にラインが表示されます。ラインのカラー（白、黄、オレンジまたは赤）は、Model Y に対する物体の近さを表します。白はまだ物体が遠くあることを示し、赤になると物体がごく近くまで接近したことを示すため、ただちに注意を払う必要があることを示します。[レーンアシスト ページ 135](#) を参照してください。
7. オートステアリングが有効な場合に通行区分車線を検出すると、その車線は青色にハイライト表示されます（[オートステアリング ページ 105](#) を参照）。



注:「ナビゲート オン オートパイロット」がオンになっていると、Model Y の前方に走行車線が青色のラインで表示されます（ナビゲート オン オートパイロット ページ 106 を参照）。

8. スピードアシストが現在検出している速度制限（スピードアシスト ページ 141 を参照）。

注: 速度制限のアイコンの周りに青色の輪郭が表示された場合、あなたが速度制限を超えていることを知らせています。

注: 検出された速度制限に関するアイコンは、該当する市場地域で 사용되는速度制限標識のスタイルを反映したものに なります。

9. 推定航続可能距離（エネルギー）。表示されている値にタッチして利用可能なエネルギーの表示方法を変更します。航続距離とバッテリー残量（%）の間で切り替えることができます。また、「コントロール」>「ディスプレイ」>「エネルギー表示」の順にタッチしてエネルギーの表示方法を変えることもできます。

注: 充電の必要性が迫っている場合は、予想航続距離を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。

10. 設定巡航速度。トラフィックアウェア クルーズ コントロールが使える状態で、巡航速度を設定していない場合、数値はグレー表示になります（トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 104 を参照）。



警告: タッチスクリーン下の車両のステータスに表示される重要なアラートメッセージに注意してください。それらのメッセージを無視すると重傷、または死亡につながる恐れがあります。



警告: タッチスクリーンは周囲の交通状況を表示しますが、車両によっては表示されないものもあります。車両の存在をタッチスクリーンで判断しないでください（ブラインドスポットなど）。必ずミラーの使用と後ろを振り返って確認してください。

T 音声コマンド

注: お客様の利便性を図るため、Tesla では音声コマンドに使用する言語をさまざまな言語からお客様が選択できるようにしています。別の言語を選択するには、「コントロール」>「表示」>「音声認識の言語」の順にタッチします。

音声コマンドを使用することで、タッチスクリーンを使用せずに設定や好みを簡単に操作することができます。音声コマンドは自然な発話リクエストを理解するように設計されています。以下に音声コマンドで実行可能なアクションの例を挙げます（これらに限定されません）。

- 空調の好みを調整する
- フロントガラスワイパーの速さおよび作動間隔を調整する
- 車両の各種機能を制御する
- 目的地までナビを実行する
- 連絡先に電話をかける
- アプリや設定とやりとりする

音声コマンドを開始するには、ハンドルの右スクロールホイールボタンを押して放します。チャイムが鳴ったら、要望を言ってください。



音声コマンドの例

音声コマンドの例のリストを示します。これは網羅的リストではありません。Tesla では継続的に音声コマンドの改良に努めています。

注: 一部の音声コマンド（セントリーモード、ドッグモードなど）については、有効にするために車両をパーキングにシフトする必要があります。

空調

空調の好みを調整します。

- 「温度を下げて」
- 「温度を上げて」
- 「運転席のシートヒーターを入れて/切って」

- 「助手席を涼しくして」
- 「顔に気流を直接当てて」
- 「空調を同期して」
- 「ファン速度を上げて/下げて」
- 「リア デフロスターをつけて/消して」
- 「温度/ファンを設定して...」
- 「循環をオンにして」

フロント ガラス ワイパー

道路および気象条件の変化に基づいてフロント ガラス ワイパーの速度および作動間隔を更新してください。

- 「ワイパーを速く」
- 「フロント ガラス ワイパー速度を...だけ上げて/下げて」
- 「ワイパーを入れて/切って」

車両のコントロール

車両の各種コントロールを修正します。

- 「セントリーモードオン/オフ」
- 「車を安全に保って」
- 「ドアをロックして/ロック解除して」
- 「ドッグモードをオンにして」
- 「ミラーを閉じて/開いて」
- 「充電ポートを開いて/閉じて」
- 「充電を始めて/止めて」
- 「サービス設定を開いて」
- 「グローブボックスを開いて」

ナビゲーション

場所を検索してその場所まで誘導します。

- 「[場所] ってどこ？」
- 「[場所] までドライブ」
- 「[場所] まで行って」
- 「近くのスーパーチャージャーを表示」
- 「おながすいた/楽しいな」（[マップとナビゲーション ページ 161](#) 参照）。
- 「ナビを止めて」
- 「音声ガイダンスをミュート」

自宅または勤務先の住所をナビゲーション住所として設定している場合、「自宅までの道順」または「会社までつれてって」の音声コマンドを使用することができます。

連絡先

Bluetooth に接続した電話機（電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 60 を参照）から連絡先に発信またはテキスト送信するときは次のように言ってください。

- 「[連絡先名/電話番号] に電話して」
- 「[連絡先名/電話番号] にテキスト送信」

メディア

メディアを聞き、再生の設定を調整します。

- 「[曲名] が聴きたい」
- 「音量を下げて/上げて」
- 「スキップして次へ」
- 「曲を止めて/再生して」
- 「ソースを [メディアソース] に変えて」

音声コマンドの認識精度を向上するためには、アーティストや曲名など、コマンド内に複数の手がかりを含めてください。

アプリと設定

アプリや設定により簡単にナビゲーションができます。

- 「[おもちゃ箱/ブラウザ/シアター/電話機] を開いて」
- 「...を検索」
- 「画面が明るすぎる」
- 「オーナーズ マニュアルを見せて」

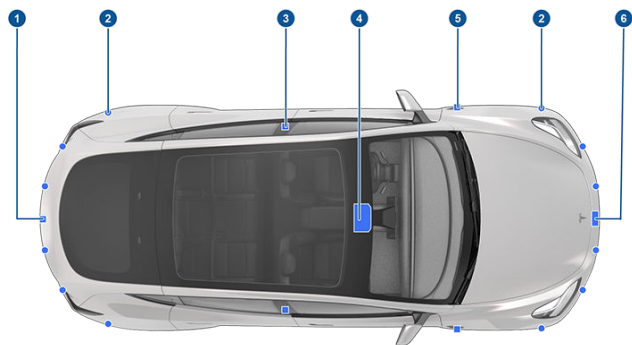
「レポート」、「フィードバック」、または「バグレポート」と発話することでもバグレポートを提出することができます。

音声コマンドに関する詳細については、<https://www.tesla.com/support/voice-commands> を参照してください。

注: 品質を引き続き向上できるように、Tesla では、音声コマンドのトランスクリプション（「温度を設定して...」など）を取得して処理します。音声の録音は収集されず、トランスクリプションはお客様の Tesla アカウントや車両 ID に関連付けられることはありません。お客様のプライバシー保護をより強力に保護できるように、個人データを含む音声コマンド（「...に移動して」や「...に電話をかけて」など）は取得しません。

カメラ

お使いの Model Y には、周囲を能動的に監視する、以下のコンポーネントが搭載されています。



1. カメラは、リアナンバープレートの上方に搭載されています。
2. 超音波センサー（装備されていれば）は、フロント/リアバンパー内にあります。
3. 各ドアピラーにカメラが取り付けられています。
4. フロントガラスにはバックミラーの上方にカメラが3台取り付けられています。
5. 各フロントフェンダーにカメラが取り付けられています。
6. レーダー（装備されていれば）は、フロントバンパーの裏側に取り付けられています。

Model Y には、高精度電動アシストブレーキおよびステアリングシステムも装備されています。

キャビン用カメラ

お使いの Model Y には、バックミラーの上にキャビンカメラが装備されているものがあります。詳細な情報は、[キャビン用カメラ ページ 142](#) を参照してください。



走行中のカメラキャリブレーション

Model Y オートパイロット機能が使用されているときは正確な操作が必要になります。そのため、車線逸脱防止および自動緊急ブレーキなどの一部の機能を初めて使用する前、または一部の種類のサービス修理後に、カメラはセルフキャリブレーションプロセスを完了する必要があります。わかりやすくするために、タッチスクリーンに進捗インジケータが表示されます。

キャリブレーションが完了すると、アクティブセーフティ機能だけでなく、オートパイロット機能も利用可能になります。キャリブレーションは通常、20~25 マイルの距離を走行した後で完了しますが、距離は道路や環境条件によって異なります。例えば、自動車専用道路など、車線が複数あって視認性の高い車線区分線を持つ直線道路（の走行車線および隣接車線）を走行すると、キャリブレーションは早く完了します。上記の条件において Model Y を 100 マイル (160 km) で走行させてもキャリブレーションが完了していない場合は Tesla までご連絡ください。

カメラの位置がキャリブレーションを実施したときの位置から動いてしまった場合（例えば、カメラやフロントガラスを交換した場合）はそのキャリブレーションをクリアする必要があります。これには、「コントロール」>「サービス」>「カメラキャリブレーション」>「キャリブレーションをクリア」の順にタッチします。キャリブレーションがクリアされると、Model Y はキャリブレーション手順を再実行します。これは多くの場合カメラの再キャリブレーションに役立ちますが、「キャリブレーションをクリア」はすべてのカメラやセンサーの問題を解決しない場合があります。

注: キャリブレーションを行なうためには、走行車線と隣接車線の両方において（車両のそれぞれの側の2車線以上で）、カメラが車線区分線を鮮明に視認できる必要があります。最良の結果を得るためには、車線区分線が鮮明で、交通量の少ない（理想的には5車線以上ある）複数車線の高速道路の中央の車線を走行します。

注: キャリブレーションが完了するまで使用できない機能を使用しようとしても、その機能は有効にならず、タッチスクリーンにはメッセージが表示されます。

注: Model Y は、Tesla がカメラのサービスを行った場合や、ソフトウェアのアップデート後に、キャリブレーションプロセスを繰り返します。

カメラに障害物がないようにする

それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 196](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や見えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model Y のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。特定のアラートに関する詳細については、[トラブルシューティングのアラート ページ 235](#) を参照してください。

特に車両を寒い屋外や湿った屋外に駐車する場合には、カメラのハウジング内に結露が生じる可能性があります。タッチスクリーンには、カメラが遮られているというアラート、またカメラの障害物を取り払われるまでオートパイロットの機能の一部/全体が一時的に制限されているというアラートが表示されます。積極的に結露がないようにするために、暖かい温度に設定して、フロントウィンドウのデフロスターをオンにして、フロントの通気をドアピラーに向け車内を予め調節します（[モバイルアプリ ページ 55](#) 参照）。

キーの種類

Model Y は、次の種類のキーをサポートしています。

- ・「**電話キー**」 - お客様個人の電話は、Bluetooth を使用して Model Y と通信できる「電話キー」として設定できます。電話キーでは、自動ロックおよび自動ロック解除をサポートしています。
- ・**キーカード** - Tesla では Model Y に短距離 RFID (radio frequency identifier) の信号を使用して通信するキーカードを 2 枚提供しています。電話キーおよびキーフォブとは異なり、キーカードでは自動ロックおよび自動ロック解除をサポートしていません。電話キーのバッテリー切れ、紛失、盗難が発生した場合には、キーカードを使用して Model Y をロック解除、運転、ロックしてください。
- ・**キーフォブ** - キーフォブ (装備されている場合) により、ボタンを押して、Model Y のフロントおよびリアのトランクを開くことやロック/ロック解除、および運転することができます。お客様の販売地域で利用可能であれば、キーフォブも自動ロックおよび自動ロック解除をサポートしているため、電話キーのバックアップとして使用できます (**降車後オートロック機能 ページ 25 参照**)。

Model Y は、認証された電話機キー、キーカード、キーフォブ (4 個まで) を含む最大 19 個のキーを登録できます。

! **注意:** 運転する際は、必ずキーを携帯してください。キーを携帯していない場合でも Model Y を運転することはできますが、その場合は電源を一度切ると、再度オンにすることができません。

電話キー

! **注意:** ペアリングされている電話機を車内に置いたままにしないでください (ハイキングやビーチに出かけたときなど)。車内に電話機を置いたままにしなければならない場合は、Bluetooth を無効にするか、電話機の電源をオフにしてください。

電話をキーとして使用すると、Model Y へのアクセスには便利です。車両に近づくと、電話機の Bluetooth 信号が検出され、ドアハンドルを引いたときにドアのロックが解除されます。同様に、電話キーをもって降車し離れると、ドアは自動ロックされます (**「降車後オートロック」機能がオンになっている場合 (降車後オートロック機能 ページ 25 参照)**)。

電話機を使用して Model Y にアクセスするために、次の手順に従って認証を行います (**新しい電話キーのペアリング ページ 23 を参照**)。

電話機がいったん認証されると、Model Y の電話キーとして使用するためにはインターネット接続は不要になります。ただし、電話機をハンズフリーで使用したり、お使いの電話の連絡先にアクセスしたり、電話機でメディアを再生したりするには、Bluetooth デバイスとしてペアリングする必要があります (**Bluetooth ページ 58 参照**)。

現在 Model Y にアクセスできるキーのリストを表示したり、電話キーを削除したりするには、「**コントロール**」 > 「**ロック**」にタッチします (**キーの管理 ページ 22 参照**)。

Model Y は、同時に 3 つの電話キーに接続できます。このため、3 つ以上の電話キーが検出されていて別の電話機を認証またはペアリングしたい場合は、接続されている他の電話キーを範囲外に移動させるか、その Bluetooth 設定をオフにします。

NFC 機能のある一部のスマートフォンを使用して、キーカードを使用する場合と同様に、車両をロック/ロック解除することができます。Tesla モバイルアプリをが車両に正しくペアリングされていることを確認してから、電話機の NFC 機能を有効にします。有効になったら、電話機を運転席側ドアのピラーに置くだけで、ドアがロック/ロック解除します。このための特別な情報についてはスマートフォンの説明書を参照してください。

キーカード

Tesla は、財布に収まるデザインの Model Y キーカードを 2 枚付属しています。

キーカードを使用して Model Y のロック/ロック解除を行うには、図示されている通りの位置にカードを付けて、運転席側のドアピラー上のオートパイロットカメラの下にあるカードリーダーにかざします。Model Y がキーカードを検出すると、エクステリアライトが点滅し、ミラーが広げられたり折りたたまれたりして (プレミアムパッケージが搭載されていて「折りたたみ式ミラー」がオンになっている場合)、ホーンが鳴り (ロック確認音がオンの場合)、ドアがロック解除/ロックされます。

注: センター コンソールまたは運転席側のドアピラーにキーカードを物理的に接触させ、それをトランスミッターに対し 1、2 秒間保持する必要がある場合があります。



乗車したら、キーカードをスキャンして 2 分以内にブレーキペダルを踏んで Model Y の電源を入れてください (**#unique_98 ページ を参照**)。2 分以上そのままの状態であった場合、キーカードをセンター コンソールのカップホルダーの後ろにあるカードリーダーの近くに置いて、再認証を行う必要があります。キーカードが検出されると、認証のための 2 分間の時間が再開します。



注: 有効になっている場合、降車後オートロック（降車後オートロック機能 ページ 25 を参照）は電話キーまたはキー フォブを持って車両から離れた場合にのみ作動します。キー カードを持って降車した場合、Model Y は自動的にロック解除/ロックされません。

! **注意:** 認証された電話機のバッテリーが切れたときや、電話機を紛失したり盗まれたりしたときのバックアップとして使用するために、キー カードは常に財布や小銭入れなどに入れて常時携帯してください。

キー フォブ

キー フォブ アクセサリーを購入した場合でも、キー フォブを Model Y のミニチュア版と考えるとすぐに使いこなすことができます。Tesla バッジのある方が表になります。キーには他のエリアと比べて柔らかい触り心地の 3 つのボタンがあります。



1. フロントトランク - フロントトランクのラッチを外すにはダブルクリックします。

2. すべてロック/ロック解除 - シングルクリックしてドアとトランクをロックします (すべてのドアとトランクを開けておく必要があります)。ダブルクリックしてドアとトランクのロックを解除します。
3. リアトランク - リアトランクのラッチを外すには、ダブルクリックします。充電ポート ドアを開くには、1~2 秒間押し続けます。

車内に入ったら、キーフォブを押してから 2 分以内にブレーキペダルを踏んで Model Y の電源を入れます（始動と電源オフ ページ 65 を参照）。2 分以上時間が経ってしまった場合、ロック解除ボタンをもう一度押すか、キー フォブをセンター コンソールのカップホルダーの後ろにあるカードリーダーの近くに置く必要があります。キー フォブが検出されると、2 分間の認証が再開します。

キー フォブを携帯して Model Y に近づいたり離れたったりした場合、操作範囲内であれば Model Y に向けてキー フォブのボタンを押す必要はありません。

周波数の近い無線機器がキーに影響を与える場合があります。その場合は、キーを他の電子機器（携帯電話、ノートパソコンなど）から 1 フィート（30 cm）以上離してください。

キー フォブの電池がなくなった場合でも、（キー カードと同様に）運転席側ドアピラーにあるカードリーダーでキー フォブをスキャンすることで、キー フォブを使用して車両を運転することができます。

バッテリーの交換手順は [キー フォブのバッテリーを交換する ページ 22](#) に記載しています。

注: 認証すると、同じキー フォブを複数の Model Y で使用することができます（[キーの管理 ページ 22](#) 参照）。ただし、キー フォブを接続できるのは 1 度に 1 台の Model Y のみです。そのため、他の Model Y でキー フォブを使用したい場合は、キー フォブの平らな面を運転席側のドアピラーにあるカードリーダーにタッチしてください。

注: Model Y には最大 4 個のキー フォブを登録することができます。

! **注意:** キーを衝撃、高温、液体による損傷から保護してください。キーが溶剤、ワックス、研磨洗浄剤に触れないようにしてください。

パッシブ ロック/ロック解除

お使いのキー フォブを使用してハンズフリーで便利に Model Y をロック/ロック解除できます。ペアリングしたキー フォブを携帯している必要がありますが、必ずしも使用する必要はありません。Model Y には、約 6 フィート（2 m）の範囲内でキー フォブの存在を認識できるセンサーが車両周辺に装備されています。そのため、キー フォブをポケットやハンドバックに入れておくと、ドアハンドルを引くだけでロック解除されます。キー フォブを携帯すると、キーを使用せずにリフトゲート外側のドアハンドルを押してトランクを開けることもできます。「降車後オートロック」を有効にすると、キー フォブを持っている人が降車してキー フォブが作動範囲内にない状態になると、Model Y は自動的にロックされます（[降車後オートロック機能 ページ 25](#) 参照）。キー フォブを Model Y にペアリングすると、パッシブ ロック/ロック解除が自動的に有効になります。

同じキー フォブを複数の車両に使用できますが、キー フォブは一度に1台の車両にしかペアリングできません。ペアリング済みのキー フォブを別の車両に対して有効にするには、平らな側を運転席側のドアピラーにタッチさせて、キー フォブのいずれかのボタンを押して確定します。

注: セキュリティを強化するため、車両が使用されていないときにキー フォブが車両の範囲内にあっても（例えば車両の外に運転者が立っているなどしても）、車両が停止してから5分経過すると、パッシブロック/ロック解除は無効になります。この場合、キー フォブを振るか、ボタンを押してパッシブロック/ロック解除を再度有効にする必要があります。

キー フォブのバッテリーを交換する

アクセサリ-のキー フォブには電池が内蔵されており、キー フォブのバージョンや選択した車両設定に応じて、通常使用で最大1年持ちます。バッテリー残量が低下すると、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。

キー フォブのバッテリーを交換する:

1. 柔らかい面の上にキー フォブのボタン側を下側にして置き、小さいマイナスドライバーを使用して底部のカバーを外します。



2. 保持クリップからバッテリーを持ち上げて取り外します。



3. バッテリーの平らな面に触れないようにしながら新しい電池（CR2032 タイプ）を「+」側の面を上にして入れます。
注: バッテリーはきれいに拭いて、平らな面に指を触れないようにして挿入します。バッテリーの平らな面に指紋が付いていると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
注: CR2032 電池は、電池を販売している小売店から購入できます。
4. 底のカバーを斜めにしながら、カバー上のつまみをキー フォブ上にある対応する溝に合わせます。それから、カバーをしっかりとキー フォブに押し付け、しっかりと閉めます。
5. Model Y のロック解除/ロックを実施して、キー フォブが動作するかテストします。

警告: キー フォブの電池は化学火傷を起こす可能性がありますので誤飲しないでください。キー フォブにはコイン電池が使用されています。コイン電池を誤飲した場合は、2時間以内に深刻な体内の火傷が生じる可能性があり、死に至るおそれもあります。新品および使用済みの電池はお子さまの手の届かない場所で保管してください。電池コンパートメントがしっかりと閉まらない場合は、電池の使用を中止して、お子さまの手の届かない場所で保管してください。電池を誤飲したり、体内のどこかにあると思われる場合は、すみやかに治療を受けてください。

キーの管理

Model Y にアクセスできるすべてのキーのリストを表示するには、「コントロール」 > 「ロック」の順にタッチします。それぞれのキーの横に表示されるアイコンは、そのキーが電話キー、キーカード、キー フォブのいずれかを表します。このリストを使用して Model Y へアクセスできるキーを管理します。

Model Y には最大 19 個のキーを登録することができます。この制限に達した場合は、新しいキーを登録する前に既存のキーを削除する必要があります。

注: 複数の Model Y で同じキーを使用することができます。これにより、複数の車両を使用していたとしてもキーを何個も持つ必要がなくなりました。1 台の Model Y で認証されたキーカードまたはキーフォブの名前を (ペンシルアイコンをタッチして) カスタマイズすると、そのキーカードまたはキーフォブが認証された他の Model Y でもその名前が表示されます。

注: 車両をリースしている場合、リース会社に連絡してキーを追加または削除してください。

新しい電話キーのペアリング

スマートフォンをキーとして設定するには：

1. Tesla モバイル アプリをお使いのスマートフォンにダウンロードします。
2. Tesla アカウントのユーザー名とパスワードを使用して Tesla モバイル アプリにログインします。

注: 電話機を使用して Model Y にアクセスするには、Tesla アカウントにログインした状態のままにする必要があります。

注: 複数の車両が Tesla アカウントにリンクしている場合は、モバイル アプリでアプリからアクセスしたい車両が選択されていることを確認します。

3. 確認事項：
 - 電話機の一般 Bluetooth 設定が有効になっていること。
 - Tesla モバイル アプリの電話機設定で Bluetooth が有効になっていること。例えば携帯電話の設定から Tesla モバイル アプリを選んで、Bluetooth 設定がオンになっていることを確認します。
 - あなたの所在地へのアクセスが有効であること。電話機の設定で Tesla モバイル アプリを開いて、「ロケーション」 > 「常時」の順に選択します。モバイル アプリをバックグラウンドで実行し続けていると、快適にサービスをご利用いただけます。
 - 車両のタッチスクリーンで「モバイルアクセスを許可」を有効にします（「コントロール」 > 「安全」 > 「モバイルアクセスを許可」）。

注: Model Y は、Bluetooth を使用して電話機と通信します。Bluetooth を実行するには携帯電話に十分なバッテリー残量があることが必要です。これは、ほとんどの携帯電話でバッテリーが少なくなると Bluetooth が無効になりますのでご注意ください。

4. 車内またはその近くで、Tesla モバイル アプリを開いて、メイン画面で「電話キーを設定」にタッチするか、「セキュリティ」 > 「電話キーを設定」に進みます。モバイル アプリおよび車両タッチスクリーンのプロンプトに従って電話キーを設定します。

タッチスクリーンからのキーの追加

キーカードまたはキーフォブがすでに車両とペアリングされている場合は、タッチスクリーンを使用して新しいキーをペアリングできます。

1. タッチスクリーンで「コントロール」 > 「ロック」 > 「キー」 > 「キーを追加」の順にタッチします。
2. 新しいキーカードまたはキーフォブをセンターコンソール上部のカップホルダーの背後にあるカードリーダーでスキャンします。新しいキーカードまたはキーフォブが認証された後に、カードリーダーから離します。

注: キーフォブを追加する場合、キーフォブが室温になっていることを確認します。キーフォブがとても冷たくなっているときにペアリングを行うと失敗することがあります。

3. 車両にペアリング済みのキーカードまたはキーフォブをスキャンして、新しいキーペアリングを確認します。
4. 完了すると、キーリストに新しいキーが表示されます。該当するペンシルアイコンにタッチしてキーの名前をカスタマイズします。

モバイル アプリからのキーの追加

使用可能なキーカードまたはキーフォブがない場合は、Tesla モバイル アプリを使用して新しいキーを追加できます。

注: 車両のオーナーだけが、モバイル アプリを使用して新しいキーをペアリングすることができます。

注: キーとモバイルアプリのペアリングは、ソフトウェアバージョン 2022.40 以降を装備する車両で、Tesla モバイルアプリのバージョン 4.29.0 でサポートされています。

1. 車内または車両の近くで、スマートフォンで Tesla モバイル アプリを開きます。
2. モバイル アプリで「セキュリティとドライバー」にタッチしてから「キーカードを追加」にタッチします。
3. 新しいキーカードまたはキーフォブをセンターコンソール上部のカップホルダーの背後にあるカードリーダーでスキャンします。

注: キーフォブを追加する場合、キーフォブが室温になっていることを確認します。キーフォブがとても冷たくなっているときにペアリングを行うと失敗することがあります。
4. キーが正常にペアリングされると、モバイル アプリに確認メッセージが表示されます。モバイル アプリで「完了」にタッチし、カードリーダーからキーカードまたはキーフォブを取り出します。
5. 完了すると、タッチスクリーンにあるキーリストに新しいキーが含まれます。該当するペンシルアイコンにタッチしてキーの名前をカスタマイズします。

キーの削除

Model Y にアクセスするためのキーを使用しなくなった場合 (例えば、電話またはキーカードを失くした場合)、次の手順でキーを削除できます。

1. タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「ロック」の順にタッチします。
2. キーリストで削除したいキーを見つけたら、該当するごみ箱アイコンにタッチします。

3. 指示が表示されたら、認証済みのキーカードまたはキーフォブをカードリーダーでスキャンして、削除されていることを確認します。完了すると、キーリストに削除したキーが表示されなくなります。

注: Model Y では少なくとも 1 つの認証されたキーカードまたはキーフォブが常に必要です。キーリストに 1 つのキーカードしかない場合は、キーを削除できません。

キーカードの交換

キーカードを紛失した場合は、Tesla ショップで交換用カードを購入できます。ペアリングの準備ができたなら、[キーの管理 ページ 22](#) の手順に従ってください。セキュリティ上の理由から、「コントロール」 > 「ロック」 > 「キー」の順に移動して古いキーカードを忘れずに削除してください。

外部ドア ハンドルを使用する

親指を使用してドア ハンドルの幅広の部分を押します。ハンドルが自分の方に旋回してくるので、そのハンドルを引くかドアの端部をつかんで引くことによってドアを開けることができます。



ハンドルは自動的に収納されます。



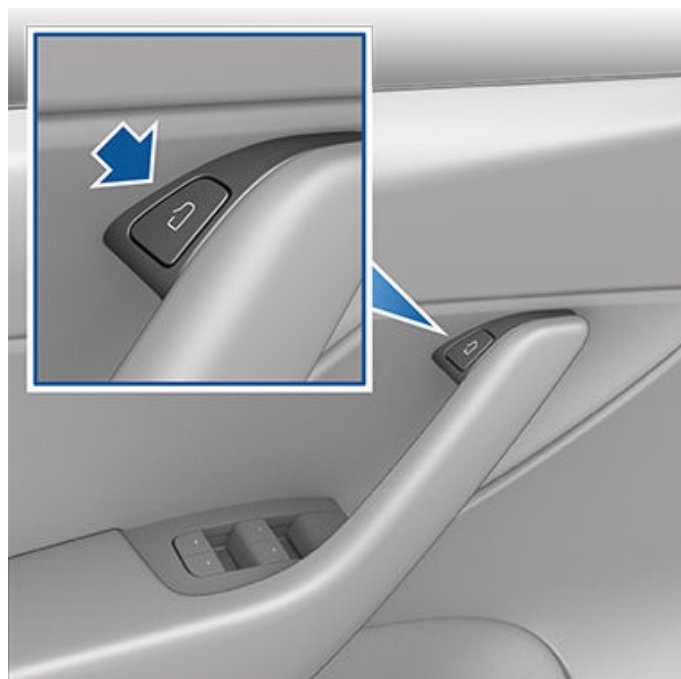
ドアまたはトランクが開いているとき、タッチスクリーンに「ドアが開いています」のインジケータが表示されます。

注: 寒冷時に車両のドアハンドル機能を正常に作動させるには、[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 157](#) を参照してください。

警告: ドアハンドルを使用するときは、指、ジュエリー、アクリル製ネイルなどがドアまたはドアハンドル機構に挟まれないように注意してください。これを怠ると、怪我や事故につながる恐れがあります。

車内からドアを開ける

Model Y ドアは電動です。車内で座った状態でドアを開けるには、ドアを開くように押しながら、内部ドアハンドルの上部にあるボタンを押します。



注: お子さまが後列座席のドアを開けないようにするには、チャイルドロックをオンにします ([チャイルドロック ページ 26](#) 参照)。

注: 万が一、Model Y が低電圧の電力を喪失した場合、ドアハンドルの上部にあるボタンを使用してドアを開くことはできなくなります。詳細情報については、[電力がない状態でドアを開く ページ 234](#) を参照してください。

内部からのロックとアンロック

Model Y の車内に着席した状態で、タッチスクリーン上のロックアイコンにタッチすると、すべてのドアおよびトランクをロック/ロック解除できます。



アイコンの表示は、ドアがロックされているかロック解除されているかを示すように変化します。

ドアのロックは、ドライブ ストック先端のパーキング ボタンを 2 回押ししても解除できます。このボタンを 1 回押しすとパーキングにシフトし、もう一度押しすとドアのロックが解除されます。

降車後オートロック機能

ドアとトランクは、電話キーまたはペアリングしたキー フォブを携帯して車両から遠ざかると自動的にロックできます。この機能をオンまたはオフにするには、「コントロール」 > 「ロック」 > 「降車後オートロック」の順にタッチします。

ドアがロックされると、エクステリアライトが 1 回点滅してミラーが折りたたまれます (「ミラー折りたたみ」がオンになっている場合)。Model Y がロックされているときの確認音を聞くには、「コントロール」 > 「ロック」 > 「ロック確認音」の順にタッチします。

注:「おもちゃ箱」>「ブームボックス」>「施錠音」の順にタッチして、車両を外部からロックするときの施錠音をカスタマイズします（歩行者警告システムが必要です）。

Model Y 次の場合、自動的にロックされません。

- 自宅を除くチェックボックスにチェックを入れ、Model Y を自宅として設定した場所に駐車します。場所を自宅として設定する方法の詳細については、[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 163](#) を参照してください。
- Model Y 内で電話キーやペアリングしたキー フォブが検出されている場合。
- ドアまたはトランクが完全に閉まっていない場合。
- 電話キーの Bluetooth 設定がオフになっています。
- 降車して、すべてのドアを閉めてから数分間、Model Y が認証済みのキーを検出すると降車後オートロック機能は無効になり、車両を離れてもロックされません。その場合は、次に車両を運転した後まで、手動でロックする必要があります。
- ドライバーが運転席ドアを使用しないで降車した場合。

注:降車後オートロックが有効な場合であっても、車両がロックされていることを確認するのは、最終的にドライバーの責任です。

走行後オートロック

Model Y 走行速度が時速 8 km を超えると、すべてのドア（トランクを含む）は自動的にロックされます。

運転席ドアロック解除モード

最初に Model Y をロック解除するときは、「コントロール」>「ロック」>「運転席ドアロック解除モード」の順で有効化した場合に限って運転席ドアのロックが解除されます。キーが車両の運転席側にはあって助手席側にはない場合、運転席ドアのロックだけが解除されます。残りのドアをロック解除するためには、車内側の運転席ドアハンドルの上部にあるボタンを長押しするか、タッチスクリーンまたはモバイルアプリを使用するか、またはキー フォブをもう一度押します。

車両閉め忘れ通知

ドア、トランク、窓が開いたままになっているか、Model Y が誤ってロック解除されたままになっている場合に、モバイル通知を受けるためには、「コントロール」>「ロック」>「車両閉め忘れ通知」の順にタッチします。

チャイルドロック

Model Y はリア ドアにチャイルドロックを搭載しており、インテリアリリース ボタンでドアが開かないようにすることができます。タッチスクリーンで、「コントロール」>「ロック」>「チャイルドロック」の順にタッチします。「両方」を選択して後部ドアの両方にチャイルドロックをかけるか、「左」または「右」を選択して、特定のドアだけをオンにすることができます。

警告: 後部座席にお子さまを乗せている場合は、チャイルドロックをオンにすることを推奨します。

パーキング時にロック解除

Model Y を停止してパーキングにシフトすると、すべてのドアをロック解除することを選択できます。この機能をオンまたはオフにするには、「コントロール」>「ロック」>「パーキング時にロック解除」の順にタッチします。

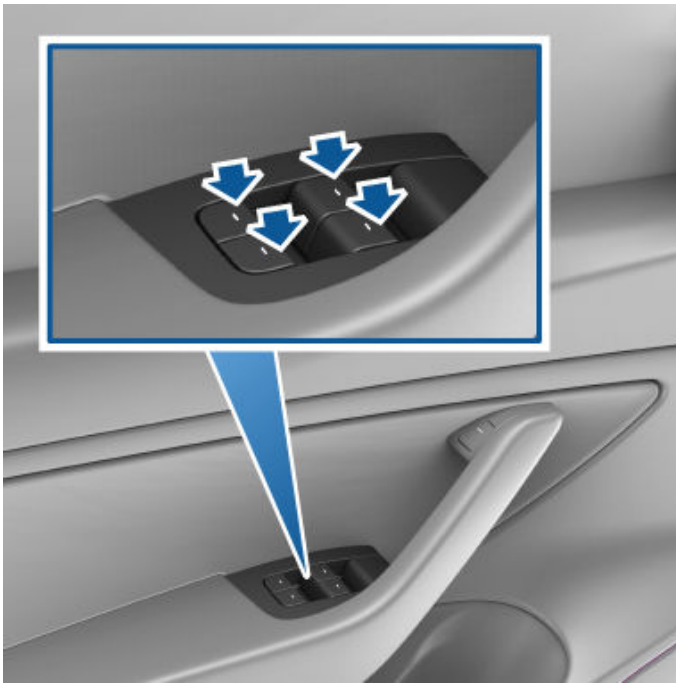
注:「オフ」に設定すると、パーキング ギアに入れた後に再度パーキング ボタンを押すことによってすべてのドアをロック解除することができます。

開閉

注: お客様の責任において、車両のロック後は、窓が閉じていることを確認してください。

スイッチを押して、対応するウィンドウを下げます。スイッチの操作には2段階あります。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押し、すぐに放します。
- ウィンドウを途中まで下げるには、スイッチを軽く押し、希望の位置まで下がったらスイッチを離します。



同様に、スイッチを引いてウィンドウを一番上まで上げます。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押し、すぐに離します。
- ウィンドウを途中まで上げるには、スイッチを軽く引いて希望の位置まで下がったらスイッチを離します。

ウィンドウを意図せずに開いたままにしておくと、Model Y がモバイル アプリに通知を送信できるように設定できます (「コントロール」 > 「ロック」 > 「開放ドア放置通知」の順にタッチして、「ドアとウィンドウ」を選択します)。

また、ロックしてウィンドウを閉めますを有効にするには、「コントロール」 > 「ロック」 > 「ロックしてウィンドウを閉めます」の順にタッチします。有効にすると、Model Y をロックした時に自動的にウィンドウを閉じます。

注: ウィンドウを寒冷時に備える際の情報は[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 157](#) を参照してください。

- 注意:** ドアを開閉する際は、損傷を避けるためにウィンドウが自動的に少し下がります。ドアを開けるときにウィンドウを手動で上げた場合、ドアを閉じる際にウィンドウが少し下がることを確認してください。

- 警告:** ウィンドウを閉める前に、すべての乗員、特にお子さまの身体の一部がウィンドウの外に出ていないことを確認してください。確認を怠ると、大けがにつながる可能性があります。

リアウィンドウをロックする

リアウィンドウ スイッチを使用できないようにするには、「コントロール」 > 「ロック」 > 「ウィンドウロック」にタッチします。リアウィンドウのロックを解除するには、「ウィンドウロック」を再度タッチします。

- 警告:** 安全確保のため、後部座席にお子さまが乗っている場合は、リアウィンドウ スイッチをロックすることをお勧めします。

- 警告:** お子さまを付き添いなしで Model Y 内に放置しないでください。

ウィンドウのキャリブレーション

ブライト モールディングに触れたり、適切に開閉できなかったり、ドアが開いたときに通常よりも下がったりするなど、予期しない動作が発生した場合は調整して問題を解決することができます。

ウィンドウをキャリブレーションする方法:

1. 問題のあるウィンドウのドアを閉めます。
2. 運転席シートに座り、ドアを閉めます。
3. 運転席ドアのウィンドウ スイッチを使用して、該当するウィンドウが止まるまでウィンドウを上げます。
4. 運転席ドアのウィンドウ スイッチを使用して、該当するウィンドウが止まるまでウィンドウを下げます。
5. 手順3を繰り返して、該当するウィンドウが止まるまでウィンドウを上げます。

これでウィンドウのキャリブレーションが終了しました。キャリブレーション手順を踏んだ後でも問題が解決されない場合は、Tesla に連絡してください。

UV インデックス評価

Model Y のルーフ、フロント ガラスおよび窓は、人を UV 光線 (紫外線) から保護する能力に優れています。これらのガラス製部品は2未満の UV インデックス スケールを得ています。詳細については地域の UV インデックス仕様を確認してください。なお、太陽光線保護のために必要な予防措置を取る責任は引き続きあります。

リアトランク

開く

リアトランクを開くには、Model Yがパーキングになっていることを確認して、次のいずれかの操作を行います。

- タッチスクリーンで、対応する「開く」ボタンをタッチします。
- キーフォブのリアトランクボタンをダブルクリックします。
- モバイルアプリのリアトランクボタンをタッチします。
- リフトゲートのエクステリアハンドルの下にあるスイッチを押します（有効なキーが検出されている必要があります）。

注意: 閉鎖されたエリア（ガレージなど）でリフトゲートを開く前にリフトゲートを開いたときの高さが適切に調整されていて低い位置にある天井やその他の物体にぶつかることがないことを確認してください（リフトゲートを開いたときの高さを調節 ページ 28 を参照）。

Model Y このスイッチを使用してリフトゲートを開くには、ロック解除するかキーを検知している必要があります。



ドアまたはトランクが開いているとき、タッチスクリーンに「ドアが開いています」のインジケータが表示されます。タッチスクリーンに表示される Model Y の画像でトランクが開いた状態を示します。

動作中のリフトゲートを停止するには、キーフォブのリアトランクボタンをシングルクリックします。さらに、リアトランクボタンをダブルクリックすると、再び動作しますが方向は逆になります（止めた時にほぼ全開または全開でない場合）。例えば、リフトゲートを開けている途中でシングルクリックで動作を停止すると、次にダブルクリックした時点でリフトゲートが閉じます。

注: 緊急時には、リフトゲートを手でつかんでその場で停止させることで、「開く」または「閉じる」コマンドを無効にすることができます。

警告: リフトゲートを開閉する前に、（人や物がいないか）周囲を確認してください。人や物と接触しないようリフトゲートの動きを常に監視してください。これを怠ると、怪我や事故につながる恐れがあります。

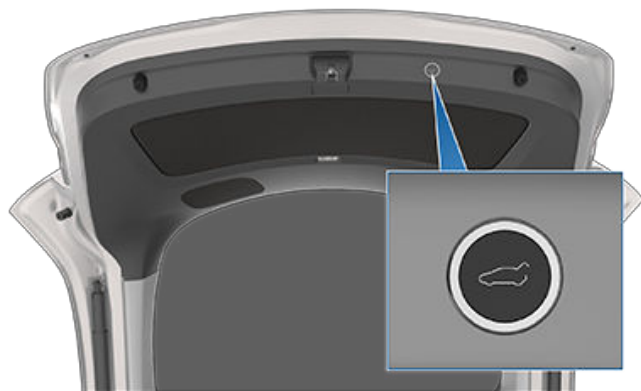
低電圧電源ソケットはリアトランクの左側にあります。



リフトゲートを開いたときの高さを調節

リフトゲートの開いたときの高さを調節して、楽に手が届くようにしたり、低い天井や物（ガレージドアやライトなど）に当たらないようにすることができます。

1. トランクを開いてから、手でリフトゲートを任意の高さまで上下させてください。
2. 確認のチャイム音が聞こえるまで、リフトゲートの底面にあるボタンを3秒間長押しします。



3. リフトゲートを閉めてもう一度開き、開いたときの高さが好みの高さであることを確認します。

注意: 構成（車高またはホイール選択）に応じて、車両のリフトゲートを最大で高さ約7.5フィート（2.3m）まで開くことができます。リフトゲートの高さを調整して、低い位置にある天井やその他の物体に当たらないようにします。

閉める

リフトゲートを開めるには、次のいずれかを行います。


- タッチスクリーンで、対応する「閉める」ボタンをタッチします。
- キーフォブのリアトランクボタンをダブルクリックします。
- 下側にあるスイッチを押します リフトゲート

リフトゲートを閉じているときに障害物が検出されると、動作が止まり、チャイムが2回鳴ります。障害物を取り除き、もう一度閉じる操作を行ってください。

パーセルシェルフ（装備されている場合）

パーセルシェルフは後部の荷物をカバーし、貴重品を隠したい場合、食品に日光を当てたくない場合、あるいは荷物が動く音を最小限にしたい場合に役立ちます。シェルフを折りたたむにはサーキュラーパネルを保持しながらシェルフをリアシートに向かって後ろにスライドします。サーキュラーパネルを折りたたんだパーセルシェルフの上に折りたたみます。展開するには、サーキュラーパネルをひっくり返し、シェルフを手前にスライドさせてまっすぐにします。

取り外す場合は、バックパネルをたたんでから、パーセルシェルフを手で持ち上げてシェルフの下にしてフロント側の隅にあるタブとマグネットを切り離します。それからパーセルシェルフをスライドさせて外します。

 **注意:** パーセルシェルフの上には重量物を置かないようにしてください。

貨物エリアへのアクセス


リアトランクの貨物エリアにアクセスするには、カーゴカバー後側にあるストラップを引きます。これで、Model Yのカーゴカバーを前方に折りたたんだり、取り外すことができます。


Model Yを走行する前は、積荷をすべて固定し、重い積荷はトランクの下部に置くようにしてください。



リアトランク積載限度

積載物の重量は、前後のトランクでできる限り均等に配分されるようにしてください。

 **注意:** リアトランクの下部コンパートメントに重量 88 ポンド (40 kg) を超える荷物を載せたり、上部コンパートメント（下部コンパートメントカバーの上）に重量 285 ポンド (130 kg) を超える荷物を載せたりしないでください。この重量を超過して荷物を積むと、車に損傷を与える恐れがあります。

 **警告:** 荷物を載せるときは、必ず車両の車両総重量 (GVWR) を考慮してください（仕様ページ 212 を参照）。GVWR は、すべての乗員、フルード、および貨物を含む車両の最大許容総質量です。

🚗 フロントトランク

開く

フロントトランクを開くには、Model Y を確実にパーキングにシフトさせ、次のいずれかの操作でフードを引き出します。

- タッチスクリーンで、対応する「開く」ボタンをタッチします。
- キーフォブのフロントトランクボタンをダブルクリックします。
- モバイルアプリのフロントトランクボタンにタッチします。



ドアまたはトランク/リフトゲートが開いているとき、タッチスクリーンに「ドアが開いています」のインジケータライトが表示されます。タッチスクリーンに表示される Model Y の画像でフロントトランクが開いた状態を示します。

警告: ボンネットの開け閉めをする前に、ボンネット周囲に障害物 (人や物) がないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

閉める

Model Y ボンネットは自重でラッチがかかるほどの重量はありません。ボンネット フロント端部または中央を無理に押すと損傷することがあります。

ボンネットの正しい閉め方:

1. フードがラッチに触れるまでボンネットを下げます。
2. ここで示すように (緑色の箇所)、両手をフードのフロント部分に置き、しっかりと押し下げてラッチにはめ込みます。
3. 慎重にフードのフロント端部を持ち上げてしっかりと閉まっていることを確認します。



注意: 損傷を避けるために:

- ここで示す緑色の部分以外には力を加えないでください。赤色の領域に無理な力を加えると、損傷することがあります。
- ボンネットは片手で閉めないでください。片手で閉めると力が一個所に集中し、凹みや波打ちの原因となります。
- ボンネット前端には圧力をかけないでください。圧力をかけると、前端が曲がる恐れがあります。
- ボンネットを強く閉めたり、落としたりしないでください。
- スクラッチを避けるため、手には何も持たないでください (キー)。宝飾品もスクラッチの原因になります。

警告: 運転する前に、ボンネット前端をゆっくりと持ち上げてみて、フードが完全に閉じられた位置でラッチがかかり、動かないことを確認してください。運転前にフロントトランクがきちんと閉まっていることを確認することは、ドライバー責任です。



フロントトランクが開いたままになった状態でパーキングからシフトしようとする、タッチスクリーン上に運転する意図を確認する通知が表示されます。運転中にフロントトランクを開いたままにすることを選択した場合、車速は制限されます。

以下の場合、フロントトランクがロックします。

- タッチスクリーン、キーまたはモバイルアプリを使用して Model Y をロックした場合。
- キーを携帯して Model Y から離れた場合 (降車後オートロック機能 ページ 25 はオン状態)。
- バレーモードが有効な場合 (バレーモード ページ 90 を参照)。

フロントトランク積載限度

積載物の重量は、前後のトランクでできる限り均等に配分されるようにしてください。

-  **注意:** フロントトランクには絶対に 110 ポンド (50 kg) を超える荷物を積まないでください。この重量を超過して荷物を積むと、車に損傷を与える恐れがあります。
-  **警告:** 荷物を載せるときは、必ず車両の車両総重量 (GVWR) を考慮してください ([仕様 ページ 212](#) を参照)。GVWR は、すべての乗員、フルード、および貨物を含む車両の最大許容総質量です。



内部緊急解除

人がフロントトランクに閉じ込められても、トランク内でリリース ボタンのイルミネーションが点灯するため脱出することができます。



内部解除ボタンを押して、フロントトランクのラッチを解除し、ボンネットを押し上げます。

注: トランク内のリリース ボタンは、周囲からの光を受けたあと、しばらくの間は点灯します。

-  **警告:** フロントトランクには入らないでください。フロントトランクに人を入れて閉めないでください。
-  **警告:** フロントトランクに荷物を入れるときは、荷物がリリース ボタンに接触してフードが開いてしまうことのないよう注意してください。

車内の収納

センター コンソール

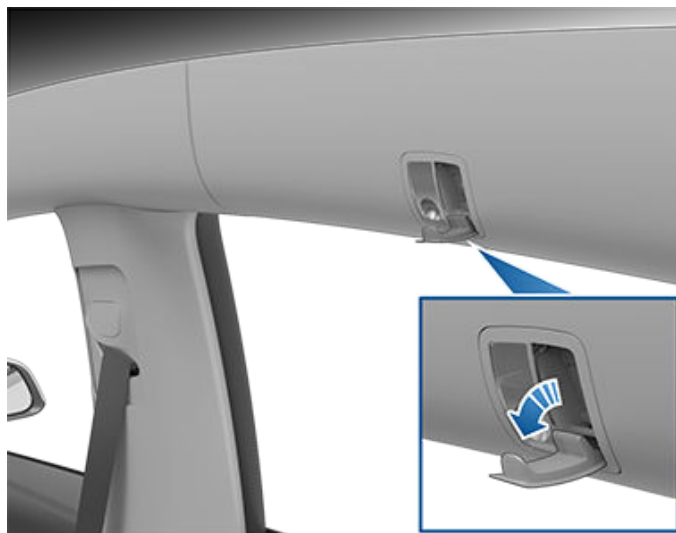
センター コンソールにはキー フォブとキー カードを読み取る RFID 送信機（[キー ページ 20](#) を参照）に加えて、カップ ホルダー、2 つの収納コンパートメント、ワイヤレス電話充電器があります（[車内の電子装備品 ページ 9](#) を参照）。

メインの収納コンパートメントを開くには、そのカバーを上方に引きます。カバーを前方にスライドさせて、フロント収納コンパートメントを開きます。



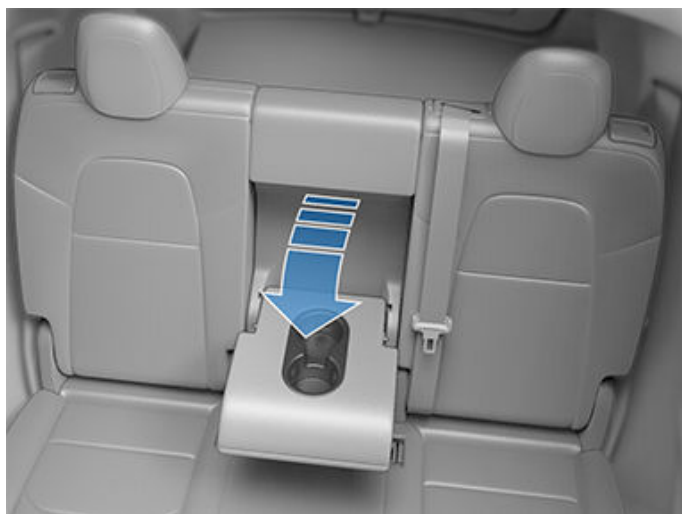
コート ハンガー

お客様の Model Y には、2 列目シート両側、読書灯の横にコートハンガーが備わっています。コートハンガーを押すとリリースされます。再び押すと格納されます。



リア コンソール

Model Y には 2 列目シートバック中央に統合されているリア コンソールがあります。コンソールを引き下げると、リアカップホルダーにアクセスできます。これはアームレストとしても使用できます。



3 列目シートのカップホルダー（7 人乗りモデルのみ）

Model Y が 7 人乗りの場合、3 列目シートの上に 2 つのカップホルダーが配置されています。

グローブボックス

グローブボックスを開けるには、「コントロール」 > 「グローブボックス」にタッチします。グローブボックスが自動的に開き、ライトが点灯します。



グローブボックスを閉じるには、カチッという音がして閉じる位置に達するまで上方に押します。

グローブボックスのセキュリティを強化するには、「コントロール」>「安全」>「グローブボックス PIN」にタッチして4桁のPINを設定します（[グローブボックス PIN ページ 144](#) 参照）。

注: グローブボックスを開いたままにすると、しばらくするとそのライトは消えます。

注: グローブボックスは、閉じられているときや、Model Y をモバイルアプリ、キーカードを使用してロックしたとき、Model Y から電話キーを持って離れるとき（降車後オートロックがオンの場合）またはバレーモードが有効となっているときは常にロックされています（[バレーモード ページ 90](#) を参照）。タッチスクリーンのロックアイコンをタッチすることによってModel Y がロックされているときは、グローブボックスはロックされません。

⚠ 警告: 走行時はグローブボックスを閉め、衝突発生時や急停車時に乗員が負傷しないようにしてください。

T フロントおよびリアシート

正しい運転位置

シート、ヘッドレスト、シートベルト、エアバッグはそれぞれ連動しており、乗員の安全性を最大限に確保するようになっています。これらの機能を正しく使用することで、保護性能を向上させることができます。

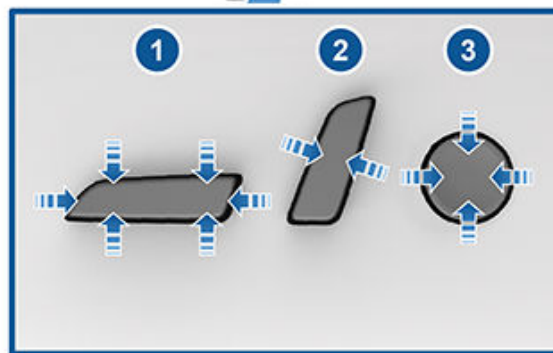


シート位置を正しく設定すると、フロントエアバッグからできるだけ離れた位置でシートベルトを正しく装着することができます。

1. 上体を起こし両足をフロアに着けた状態で着座し、シートの背もたれを直立位置にします。
2. ペダルに足が十分に届き、ハンドルを握ったとき腕が少し曲がることを確認します。胸がエアバッグカバーの中央から10インチ（25cm）以上離れるようにしてください。
3. シートベルトの肩ベルトが乗員の首と肩の間を通るようにします。シートベルトの腰ベルトが腹回りに通らず腰回りに密着するように装着します。

Model Yシートには前部にヘッドサポートが組み込まれていますが、これは調整や取り外しができません。



フロントシートの調整



1. シートを前後に動かし、シートの高さを調節し、傾斜角を増減させます。
2. バックレストを調整します。
3. ランバーサポートを調整します。

⚠ 注意: シートが最完全に前方にあるときは、フロントシートの背もたれを前方に完全に動かさないでください。シートの上部がサンバイザーに当たって破損する恐れがあります。


⚠ 警告: フロントシートを調整する前に、シートの周りに何も無いことを確認してください（人や荷物など）。

-  **警告:** 運転中にシートの調整をしないでください。事故につながる恐れがあります。
-  **警告:** 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、シートのリクライニングを30°未満にしてください。

2列目窓側シートのサイドシールドにある調整ハンドルを使用して対応するシートバックを調整します。ハンドルを引き上げながら背もたれを任意の位置に動かし、ハンドルを離します。シートバックを前後に押して、シートバックがラッチで確実に固定されていることを確認します。

シートのキャリブレーション

運転席のキャリブレーションを実行できます。この機能は、シートの可動範囲が制限された場合や、ドライバーのプロフィールによる専用シート調整の自動実行がされていない場合に役立ちます。「コントロール」>「サービス」>「運転席、ハンドルおよびミラーのキャリブレーション」の順に移動し、タッチスクリーン上の指示に従ってください。

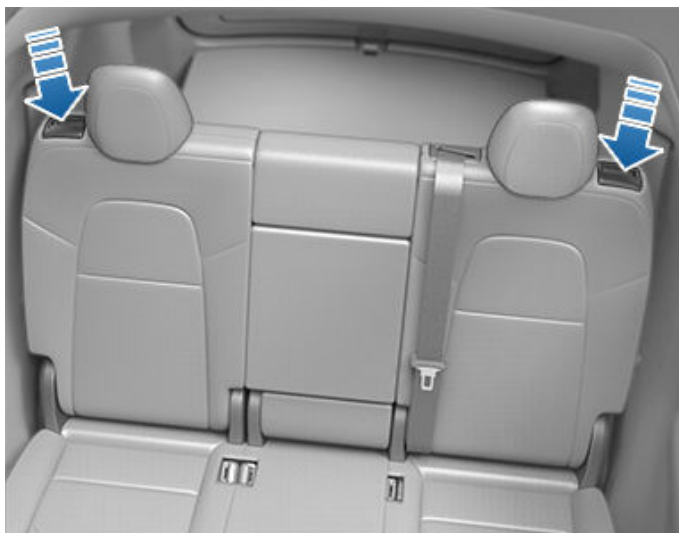
-  **警告:** キャリブレーション中は、運転席の後部や下に何も無いことを確認してください。これらを怠ると、重傷を負うおそれがあります。

2列目シートバックの調整

Model Y 2列目シートは最大3名が座れます。シートバックは60対40に分割されており、左側のシートバックを調整すると左席と中央席のシートバックが両方とも動くのに対し、右側のシートバックを調整しても右席のシートバックだけしか動きません。

5人乗り車両の場合:

2列目窓側シートの外側角にある調整ハンドルを使用して対応するシートバックを調整します。ハンドルを引き上げながら背もたれを任意の位置に動かし、ハンドルを離します。シートバックを前後に押して、シートバックがラッチで確実に固定されていることを確認します。

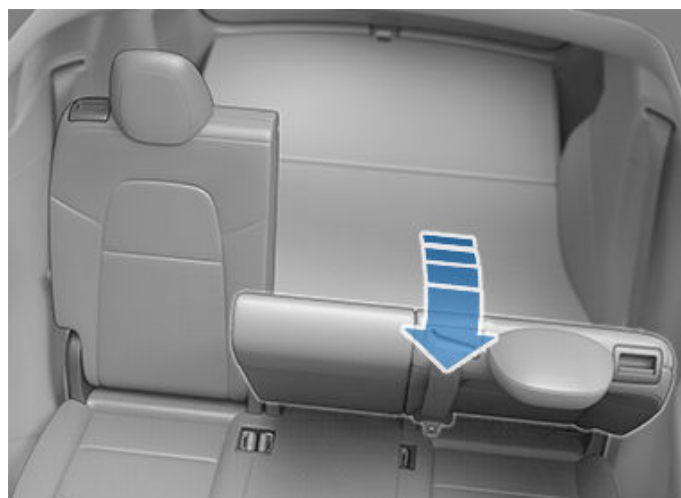


7人乗り車両の場合:



2列目シートバックの折りたたみ

収納スペースを最大にするために、各2列目シートバックを前方に折りたたみフラットにすることができます。ハンドルを引っ張りながら、対応するシートバックを前方に押して完全に倒します。

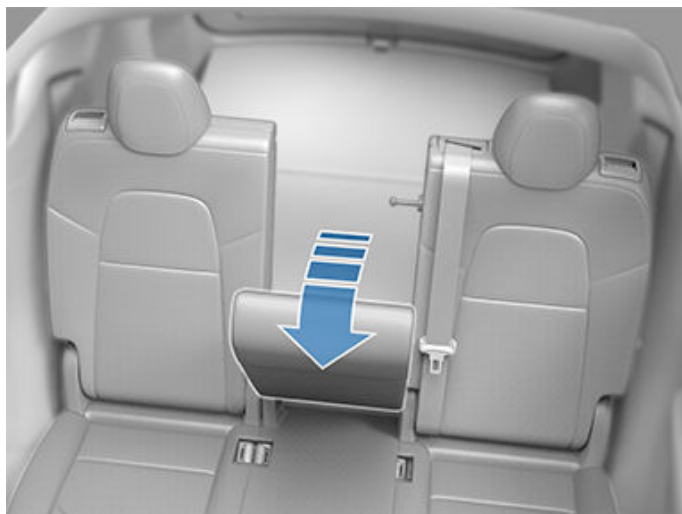


注: シートを完全に折りたたむ前に、シートやリアシートの足元スペースから物を取り除いてください。シートバックを前に折りたたんでフラットにするには、フロントシートの前方への移動が必要になる場合があります。

注: 2列目シートを前に折りたたんで走行すると、車両後部（トランク、サスペンションなど）からの騒音や振動が増加する場合があります。

フロントおよびリアシート

中央のシートバックは単独で前方に折りたたむことができるため、長い荷物（スキー用具など）を Model Y の後部に収納することができます。シートバックの後方にあるハンドルを引いてラッチを外してから、前方に引きます。



リアトランク左側にあるスイッチを押すと、対応する 2 列目のシートバックを前方に倒して折りたたむこともできます。スイッチを押すとシートバックが前方に倒れます。シートバックを押し下げればフルフラットにすることができます。



警告: このスイッチを押してシートバックをたたむ前に、身体の部位（手、指など）や物体をリアシートの端から離しておく必要があります。かなりの力をかけた場合、シートが前方に倒れて負傷または損傷の原因となることがあります。



シートバックを直立ポジションに戻すには、ロックのかかる位置まで引き上げます。シートバックを前方へ引き、直立位置でロックされていることを確認します。

注: リアシートを引き上げて元の位置に戻す前に、シートベルトがバックレストの裏側に引っかかっていないことを確認します。

注意: シートを完全に折りたたむ前に、シートベルトが外されていて、シートに物が残っていないことを確認してください。

警告: シートバックを直立位置に戻した際には、前後に押しつけてロックされているか確認します。これを怠ると怪我をする危険が増します。

2 列目シートを移動する（7 人乗りの場合に限る）

各窓側シートの下にあるバーを使用して 2 列目シートのロックを解除し、前後に動かします。ベンチシートは 60 対 40 で分割されています。そのため、左側のバーで左席と中央席のシートバックが動き、右側のバーで右側のシートバックだけが動きます。バーを引き上げ、その状態を保ったまま、シートを前後に動かします。シートが任意の位置に来たらレバーを離します。シートを前後方向に押し、シートが所定位置でロックされていることを確認します。



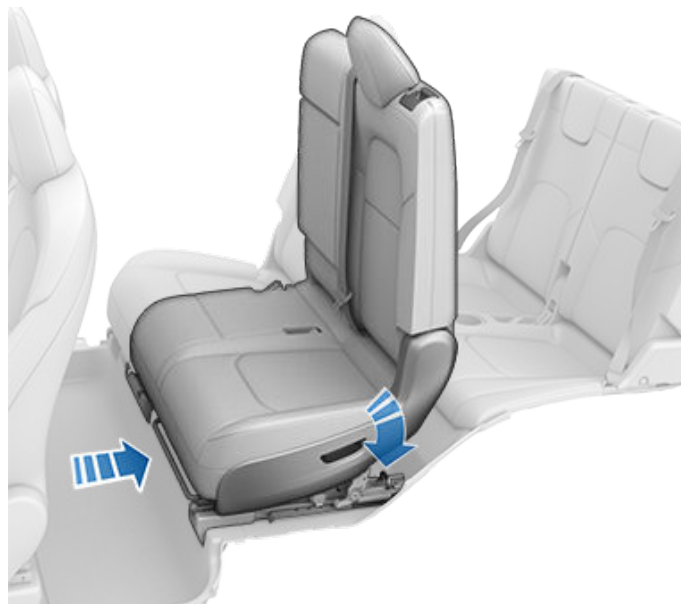
3列目シートの乗り方（7人乗りの場合に限る）

3列目シートのイージーエントリー ボタンは、2列目シート窓側のバックレストにあります。このボタンを押すと、3列目シートの乗り降りがしやすくなります。3列目シートの乗り方:

1. 2列目シートの該当するバックレストにあるボタンを押します。
注: ボタンを押しても、シートを動かさないと、シートは再度ロックします。
2. 2列目シートのバックレストを押して前方に移動します。次にシートを外して上に持ち上げます。
3. シートを一番前まで移動します。



シートを再度ロックするには、最初にシートを後方に押し戻します。シートレールがロックされる音が聞こえます。次にシートを下向きに押し、リア ラッチをフロア ストライカーにはめ込みます。ラッチがロックする音が聞こえます。シートのラッチがフロアにかかっていない場合、シートが所定位置で正しくロックされていないことを示す警告がタッチスクリーンに表示されます。



⚠ 警告: シートが動いてしまうので、おさまがシートに座っているときにこのボタンを押さないでください。ボタンを使用すると、左席/中央席が前方に動き、乗員を圧迫してしまう可能性があります。2列目シートに誰も座っていないとき以外は、このボタンを使用しないでください。運転前に、シートやシート背もたれがしっかりと固定されていることを確認してください。

⚠ 警告: シートが所定位置にしっかりラッチされていない場合は2列目シートを使用しないでください。

⚠ 警告: このボタンを使用して3列目シートに乗り込んだら、2列目シートを押し込んで直立位置にし、シートバックがカチッと音を立てて所定位置になり、ラッチがかかっていることを確認するためにシートを前後に動かしてみます。これを怠ると怪我をする危険が増します。

⚠ 警告: 2列目シートの下側のエリアに異物がないようにすることで、フロア ラッチがしっかりかかるようにします。

⚠ 警告: フロア ラッチをかけるために、2列目シートを押し下げているときに、3列目シートに乗客が座っている場合、その乗客の足が2列目シートの下にならないようにしてください。

3列目シートのシートバックを折りたたむ（7人乗り車両の場合のみ）

3列目シートを折りたたむ場合、図に示すようにヘッド サポートが一番低い位置になっていることを最初に確認します（[ヘッドレスト ページ 38](#) 参照）。次にシートバックの上側角部にあるボタンを押して、バックレストを下向きに折りたたみます。

T フロントおよびリアシート



注: シートバックを直立ポジションに戻すには、シートバックを上へ引いて、所定の位置でラッチを掛けます。シートバックを前に引いてみることで、直立位置でロックされていることを確認します。

注: シートバックを折りたたむ前に、シートおよび足元スペースから物を取り除いてください。シートバックを完全に折りたたむには、2列目シートを前方へ移動させる必要がある場合があります。

注: 3列目シートを前に折りたたんだ状態で走行すると、車両後部（トランク、サスペンションなど）からのノイズや振動が増加する場合があります。

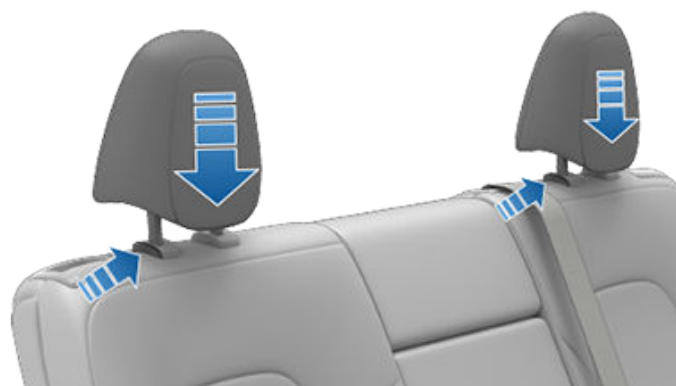
⚠ 注意: シートを完全に折りたたむ前に、シートベルトが外されていて、シートに物が残っていないことを確認してください。

⚠ 警告: 走行前に、シートバックが直立位置でロックされていることを必ず確認してください。これを怠ると怪我をする危険が増します。

ヘッドレスト

フロントシートには一体式のヘッドサポートがあり、ユーザーがこれを調整することはできません。

2列目の窓側の席似装備されている調整式のヘッドサポートは、上昇、下降または取り外しが可能です。チャイルドシートを装備していないこれらの座席のどれかに乗客が座ると、該当するヘッドサポートは（ヘッドサポートの中心が乗員の頭の中央に合うように）調整され、その位置でロックされます。2列目窓側の座席のヘッドサポートを上げる場合、希望する位置まで上方向に引き上げます。下げる場合は、ヘッドサポートを下に押し込みながら、外側ポストのベースにあるボタンを押し続けます。



2列目中央座席および（装備されていれば）3列目の両方の座席にはヘッドサポートを上げるためのオプションが装備されています。ヘッドサポートは当初シートの背もたれに収納されていますが、上方向に引き上げると使用することができます。

⚠ 警告: チャイルドシートを2列目または3列目シート（装備されている場合）の座席に取り付ける場合、ヘッドサポートを下げる必要があります。リア中央座席に着座するときはヘッドレストを所定位置まで上げてロックする必要があります。

2列目中央座席のヘッドサポートを収納する場合、ポストのベースにあるボタンを押したまま、ヘッドサポートを最後まで押し下げてください。



3列目シートのヘッドサポートを下げる場合、ポストのベースにあるボタンを押したまま、ヘッドサポートを最後まで押し下げてください。



警告: 衝突時の重傷や死亡の危険を最小限にするため、運転前にヘッドサポートを正しく配置するようにしてください。

ヘッドサポートの取り外し/取り付け

2列目および(装備されていれば)3列目座席のすべてのヘッドサポートは取り外し可能です。ヘッドサポートの取り外し方法:

1. ヘッドサポートを引っ張り上げて外します。
2. ポスト底部にあるボタンを押し続けます。
3. 反対側のポストの内側底部にある開口部に小さなマイナスドライバーなど短くて平らな物体を挿入し、ヘッドサポートを上に取り上げます。



ヘッドサポートの取り付け方法:

1. ヘッドサポート前側を前方向に向け、両方のポストをシートバックの対応する穴に挿入してください。
2. カチッと合まるまでヘッドサポートを押し下げてください。
3. ヘッドサポートを持ち上げてしっかり固定されていることを確認します。

警告: 後部中央座席に人を乗せる前に、ヘッドサポートが正しく取り付けられていることを確認してください。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合にけがや死亡事故につながる恐れがあります。

シートヒーター

フロントおよび2列目のシートは、3(強)から1(弱)の3つのレベルで動作します。シートヒーターの操作方法については、[空調を操作する ページ 151](#)を参照してください。

警告: 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。

シートカバー

警告: フロントシートにシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。また、車両に助手席フロントエアバッグのステータスを判断するために使用される乗員検知システムが搭載されている場合に、シートカバーを使用すると検知システムの障害になってしまいます。

シートベルトの着用

シートベルトとチャイルドシートは、衝突の発生時に乗員を保護する最も効果的な手段です。したがって、シートベルトの着用はほとんどの地域で義務づけられています。

すべてのシートには、3点式イナーシャリールシートベルトが装備されています。慣性リールベルトは、通常の運転状況で乗員が快適に移動できるよう自動的に張力がかかるようになっています。チャイルドシートを安全に固定するために、すべての乗員シート位置には自動ロック式リトラクター（ALR）機能が装備されており、一般的な成人の乗員に必要な長さを超えてシートベルトをすべて引き出すと、バックルが解除されるまでベルトを所定の位置で固定します（シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける ページ 45 を参照）。

シートベルトリールは、Model Yが急加速、ブレーキング、コーナリング、または衝突の衝撃に伴う力を受けると、乗員の動きを抑えるために自動的に締め付けられてロックします。

シートベルト リマインダー



タッチスクリーン上のシートベルトリマインダーは、運転席または助手席に座る人のシートベルトが外された場合に警告を出します。すべての乗員がシートベルトを外したにもかかわらずリマインダーがオンのままの場合は、シートベルトが正しく着用されていることを確認するために再度着用し直します。また乗員がいない座席から重い物（書類かばんなど）を移動してください。リマインダーランプが引き続き点灯している場合は、Teslaにご連絡ください。

リアシートの位置に関連付けられているシートベルト リマインダーを一時的に無効化にすることができますこれは、リアシートに物を載せて運んでいるときに、シートベルト リマインダーの警告がトリガーされる状況で便利です。リマインダーを無効化するには、シートベルト リマインダーが有効になっているときにタッチスクリーンに表示されるシートベルト リマインダー ポップアップ メッセージ上の関連付けられているシートをタッチします。リマインダーが無効化されると、現在の走行に限ってシートベルト リマインダーのアイコンがシートのアイコンに置き換えられます。シートに再度タッチするとリマインダーが有効になります。

警告: 座席に乗員がいるときは、シートベルト リマインダーを無効にしないでください。

警告: シートベルトは座席にいるすべての乗員が着用する必要があります。

注: 法令で後部座席にシートベルト リマインダーが必要な地域の場合、これらのリマインダーを無効にすることはできません。物体が検出された場合に乗員のいない座席のリマインダーをキャンセルするにはシートベルトを締めるか、その物体を取り除く必要があります。

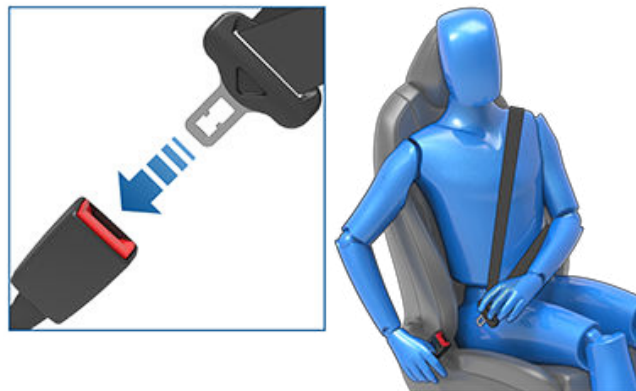
シートベルトを着用するには

1. 座席の正しい位置を確認します。運転席シートの正しい位置の詳細については、（正しい運転位置 ページ 34 参照）を参照してください。

2. ベルトをスムーズに引き出して、ベルトが骨盤、胸、鎖骨の中間点の上、首と肩の間に平らに位置するようにします。ベルトが正しく取り回され、ねじれていないことを確認します。シートベルトまたはシートベルトコンポーネントの上には絶対に座らないでください。

警告: シートベルトがねじれていたり、正しく取り回していないと、シートベルトが損傷したり、シートベルトシステムの機能に支障をきたすおそれがあります。

3. ラッチプレートをバックルの中にカチッという音がするまで差込みます。



4. 安全に固定されたことを確認するため、ベルトを引きます。

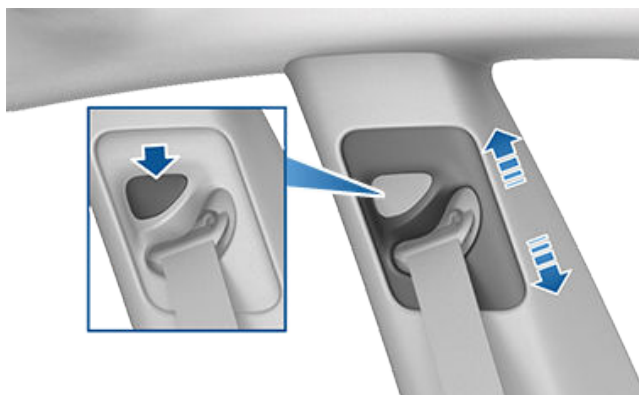
5. ベルトの対角線部分をリールに向かって引き、余分な緩みを取り除きます。

ショルダー アンカーの高さを調整するには

Model Yには各フロントシートに調節可能ショルダーアンカーが装備されており、シートベルトを正しい位置で装着できます。シートベルトは、運転時の正しい位置（正しい運転位置 ページ 34 参照）にあるときは鎖骨の中間点を横切って平らになるように作られています。シートベルトが正しい位置になっていない場合は、ショルダー アンカーの高さを調整します。

1. ショルダー アンカーのボタンを押さえたままロック機構を解除します。

2. ボタンを押したまま、必要に応じてショルダー アンカーを上下に動かして、シートベルトを正しく配置します。





3. ショルダー アンカーのボタンを放して所定位置にロックします。
4. ボタンを押さずに、シートベルトのベルト部分を引っ張り、ショルダー アンカーを下に動かして、所定位置にロックされていることを確認します。

⚠ 警告: 運転前にシートベルトが正しい位置にあり、ショルダー アンカーが所定位置にロックされていることを確認します。シートベルトが正しい位置にないか、ショルダー アンカーが所定位置にロックされていない状態で動いている車両に乗っていると、衝突時のシートベルトの効果が低くなる可能性があります。

シートベルトを着用するには

シートベルトが速く巻き込まれすぎないようにするために、バックル近くのベルトを持ち、バックルのボタンを押します。そうすることで、ベルトが自動的に巻き込まれます。ベルトが完全に巻き込む際に邪魔になるような障害物がないことを確認し、ベルトが完全に巻き込まれるようにします。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、Tesla にご連絡ください。

妊娠中の女性がシートベルトを着用するとき

腰ベルトは、腹部のふくらみを避け腰骨のもっとも低い位置にくるように調整します。肩ベルトは胸の中央を通るようにします。詳しくは医師の指示に従ってください。



- ⚠ 警告:** シートベルトが不快な場合は、シートベルトを正しく装着しないのではなく着座位置を調整してください。
- ⚠ 警告:** 衝突事故が発生した場合の衝撃を和らげようとして、人とシートベルトの間に絶対に物を入れないでください。

シートベルトプリテンショナー

フロント シートベルトには、前方向からの激しい衝突の際にエアバッグと連動して作動するプリテンショナーが装備されています。プリテンショナーはシートベルト下部アンカーとアッパー ショルダー ウェビングの両方を巻き込み、腰ベルトと肩ベルトの緩みを減らし、乗員の前方向への移動を減少させます。



プリテンショナーとエアバッグが衝突時に作動しなかった場合、故障ではなくこれらの作動条件を満たすほどの強い衝撃が存在しなかったこと意味します。

2 列目の窓側シートには人が前に飛び出すことを抑えるため、シートベルトストラップを巻き取るためのショルダープリテンショナーが装備されています。

- ⚠ 警告:** プリテンショナー アセンブリを曲げたり、上に座ったり、妨害しないでください。そうすることでシートベルトシステムの適切な機能を妨げる損傷を引き起こすおそれがあります。
- ⚠ 警告:** シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。一度作動したら、交換する必要があります。衝突事故の後、エアバッグ、シートベルトプリテンショナー、すべての関連コンポーネントなど異常がないか確認し、必要に応じて交換してください。

シートベルトのテスト

シートベルトが正しく作動することを確認するため、各シートベルトでこれらの点検を行ってください。

1. シートベルトを締結している状態で、バックルに最も近いストラップを素早く力強く引きます。バックルはしっかりとロックされたままでなければなりません。

T シートベルト

- シートベルトを締結している状態で、ドアに最も近いウェビングを素早く力強く引きます。恒久的なシートベルト固定具はしっかりとロックされたままにしておく必要があります。この添付ファイルは絶対に削除しないでください。
- ベルトを外した状態で、ストラップを限界まで引き出します。引き出し操作がスムーズに行えることを確認し、ストラップに摩耗がないか確認します。ストラップを引き込ませて、引き込みがスムーズで完全であることを確認します。
- ストラップを半分引き出した状態で、バックルを持ち、前方に素早く引きます。シートベルトが自動的にロックし、それ以上引き出せなくなったことを確認します。

シートベルトがこれらのテストのいずれかに合格しない場合、ただちに修理してください。故障したシートベルトの付いている座席には人を座らせないでください。

シートベルトのクリーニングについての詳細は、[シートベルトページ 198](#) を参照してください。





シートベルトに関する警告

- 警告:** シートベルトは、短距離の運転であっても、すべての乗員が必ず着用しなければなりません。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合にけがや死亡事故につながる恐れがあります。
- 警告:** 小さなお子さまは、オーナーズマニュアルに記載されているように、適切なチャイルドシートにしっかり座らせてください。取り付けの際は、必ずチャイルドシート製造元の取扱説明書の指示に従ってください。
- 警告:** すべてのシートベルトが正しく着用されていることを確認してください。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合に負傷や死亡事故につながる危険性が增大します。
- 警告:** シートベルトコンポーネントの上に座らないでください。そうした場合、安全具が損傷したり、不適切に展開する可能性があります。
- 警告:** ペン、鍵、眼鏡など硬くて先端が尖った物、壊れやすい物を入れた衣服の上からシートベルトを着用しないでください。
- 警告:** ストラップがねじれた状態でシートベルトを着用するのは避けてください。
- 警告:** シートベルトは乗員 1 人につき 1 本使用します。お子さまを膝の上に乘せたまま、シートベルトを着用するのは危険です。
- 警告:** 衝突事故発生時に着用されたシートベルトは、目視で損傷が確認できない場合でも、必ず Tesla に点検または交換を依頼してください。
- 警告:** シートベルトに摩耗の兆候がある、もしくは何らかの切り込みまたは損傷がある場合は、ただちに交換してください。
- 警告:** シートベルトを化学物質、液体、埃、ゴミ、または洗浄液等で汚さないようにしてください。シートベルトが巻き込まない、またはバックルで固定できない場合は、ただちに交換する必要があります。モバイル アプリを使用してサービス予約をする。

- 警告:** シートベルトの緩みを除去することを妨げる、またはシートベルトが緩みを調整することを妨げるような部品の追加や改造はしないでください。シートベルトの緩みが大きいと、乗員の保護が十分にできません。
- 警告:** シートベルトの操作を妨げる、または操作に影響を与えるような改造はしないでください。
- 警告:** シートベルトには、快適性や利便性を高めるために後付け製品を使用しないでください。
- 警告:** シートベルトは、未使用時に完全に巻き込まれ、緩みのない状態である必要があります。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、サービスを予約してください。
- 警告:** シートベルト システムにはユーザーが整備することができる部品はなく、火薬類が使用されている可能性があります。構成部品の分解、取り外しおよび交換はしないでください。

お子様を乗せるときのガイドライン

Model Y シートベルトは大人や大柄なお子様向けに設計されています。乳幼児または小さなお子さまを固定するのは後列シートだけにしてください。また、お子さまの年齢、体重、身長に合ったチャイルドシートを使用してください。

-  **警告:**「作動可能状態のエアバッグ」が前にあるシートで後ろ向きチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。お子さまが重傷を負ったり死亡事故につながる危険性があります。[エアバッグ ステータス インジケーター ページ 51](#)を参照してください。
-  **警告:**「作動可能状態のエアバッグ」が前にあるシートでチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。お子さまが重傷を負ったり死亡事故につながる危険性があります。
-  **警告:**走行前に、必ずすべての Model Y シートが直立位置にロックされていることを確認してください。これを怠ると怪我をする危険が増します。タッチスクリーンに表示されているすべての警告に注意を払ってください。
-  **警告:**2列目にお子さまが座っているときに、ドライバーズプロフィールで**イージーエントリー**を設定しないでください。特に、お子さまが前向きのチャイルドシートやブースターシートに座っているときにその設定になっていると、運転席シートがお子さまを圧迫してしまう恐れがあります。この設定を使用しているときに、Model Y に頼って2列目シートに着座しているお子さまの確認および適応を行わないでください ([ドライバープロフィール ページ 89](#)を参照)。

サンバイザーにある次のラベルをお読みください。

注: 以下に示す画像は見本であり、実際の車両のラベルとは異なる場合があります。



Model Y は、助手席に乗員センサーを備え、フロントエアバッグの状態をコントロールしています ([エアバッグ ページ 50](#) 参照)。



お子さまを助手席に乗せて運転する前に、助手席フロント エアバッグの状態がオフになっていることを必ずチェックしてください。



次回助手席に大人が乗る場合は、フロント助手席のエアバッグを必ず ON に戻してください。

チャイルドシートの選択

12歳以下のお子さまは、リアシートをご利用ください。常に、小さなお子さまの年齢と体重に合ったチャイルドシートをご利用ください。以下の表は、米国運輸省道路交通安全局（NHTSA）が判断したチャイルドシートの推奨に基づいています（詳細情報については、www.nhtsa.gov/ChildSafety/Guidanceを参照してください）。

	乳幼児	幼児	小さなお子さま
年齢	1歳未満*	1歳以上*	4歳以上で身長145cm未満
重量	20ポンド（9kg）未満**	20ポンド（9kg）以上、40ポンド（18kg）未満*	40ポンド（18kg）以上
チャイルドシートの種類	後ろ向き（または前後回転式）	前向き（または前後回転式）*	シートベルト保持式ブースターシート
座席位置	後ろ向きのみ*	前向き*	前向き
推奨取り付け方法	お子さまとチャイルドシートの合計重量が65ポンド（29.5kg）までであれば、LATCH**（下側のアンカーのみ）、またはシートベルトだけを使用して取り付けてください。***お子さまとチャイルドシートの合計重量が65ポンド（29.5kg）を超えるようであれば、シートベルトだけを使用して取り付けてください。***	お子さまとチャイルドシートの合計重量が65ポンド（29.5kg）までであれば、LATCH**（下側アンカーとトップテザー用アンカー）、またはシートベルトとトップテザーストラップを使用して取り付けてください。***お子さまとチャイルドシートの合計重量が65ポンド（29.5kg）を超えるようであれば、シートベルトとトップテザーストラップを使用して取り付けてください。***	ロアラッチアンカー（利用可能な場合）を使用してブースターシートを固定し、お子さまをシートベルトで固定します。ブースターシートにラッチアンカーが装備されていない場合は、お子さまの座っている状態のブースターシートをシートベルトで固定してください。ただし、お子さまとブースターシートの合計重量が65lb（29kg）を超える場合は、お子さまの座っている状態のブースターシートをシートベルトだけで固定してください。****

* 最近のチャイルドシートの多くは、それに装着されている5点式ハーネスを使って長期間後ろ向きで利用できますが、指定の身長と体重制限の範囲内であることが条件です。お子さまはできる限り、後ろ向きにお乗せください。チャイルドシートメーカーの指示書をよく読み、慎重に、指示にもれなく従ってください。

**ISOFIXは、乗用車内にチャイルドシートを取り付ける方法の国際標準規格です。システムには、米国のLATCH（「Lower Anchors and Tethers for Children、チャイルドシートを自動車の座席に固定するときの国際規格」）およびカナダのLUAS（「Lower Universal Anchorage System、チャイルドシートを自動車の座席に固定するときの規格」）やCanfixなど、他の地域名が入っています。「ユニバーサルチャイルドシート」またはUCSSSとも呼ばれています。

***チャイルドシートメーカーの指示によります。

****中央座席位置の場合、ブースターシートに内蔵式のヘッドサポートが装備されていないのであれば、車両のヘッドサポートを調整することができます。

注: チャイルドシートを取り付けている場合も、シートベルト警告チャイムを鳴らさないようにするにはシートベルトをバックルに挿入する必要があります。

警告: 子供を車両に乗せて移動する際の方法と乗車位置を規制する法律は変更される場合があります。* Model Yを運転する地域における最新の規則を把握し、それに従うことは運転者の責任です。米国各州における子供を同乗させるときの安全に関する法律については、http://www.ghsa.org/html/stateinfo/laws/childsafety_laws.htmlを参照してください。

警告: お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせて65ポンド（29.5kg）を超える場合、チャイルドシートやシートベルト一体型のブースターシートに、LATCH/Isfix/i-Sizeアンカーを使用しないでください。

警告: 運転席後ろの2列目のシートにチャイルドシートを取り付けた場合は、「イージーエントリー」（ドライバープロフィール ページ 89 に記載）で運転席を自動的に最後部まで動かさないでください。運転席を動かして後列座席との間隔が狭くなると、お子さまの足に強く当たってしまったり、チャイルドシートを押し除けてしまう場合があります。

より大きなお子さまを乗せるとき



お子さまの体格が大きくてチャイルドシート内に収まらない、しかし標準的なシートベルトで固定するには小さすぎるという場合は、年齢・体格に合った補助シートを使用してください。ブースターシートを固定する際は必ず、メーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

年長のお子さまを車両のシートベルトでブースターシートに直接拘束する場合、自動ロック式巻き取り装置（ALR）機能は使用しません。

チャイルドシートを取り付ける

チャイルドシートを取り付ける一般的な方法は次の2通りがあります。

- シートベルトによる保持 - 車両に備え付けのシートベルトでチャイルドシートを固定します。
- LATCH で取り付ける - 2 列目シートに組み込まれたアンカーバーにチャイルドシートを取り付けることができます。

チャイルドシートメーカーの取扱説明書および本文書に記載されている表を確認して、取り付け方法を判断してください。チャイルドシートによってはどちらの方法でも取り付けられます。取り付けに際しては必ずチャイルドシートメーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける

まず、チャイルドシートがお子さまの体重、身長、年齢に適していることを確認します。

お子さまに厚い生地の服を着せるのは避けて、お子さまとチャイルドシートの間には何も置かないでください。

お子さまに合わせて毎回ハーネスを調整します。

チャイルドシートを固定するために、すべての座席の着座位置に ALR（自動ロック式巻き取り装置）が取り付けられています。シートベルトを必要以上の長さに引っ張ると、ALR が作動してベルトがロックされます。バックルが外されストラップが巻き込まれないかぎりベルトはロックされたままです。ALR 機構はラチェットの働きをします。シートベルトの緩みを取り、ベルトが完全に巻き戻されるまでベルトがそれ以上延びるのを防ぎます。チャイルドシートを取り付ける際は、ストラップが完全に伸びきるまでシートベルトを引っ張って ALR を作動させてください。ALR システムは、シートベルトが伸びきった状態の際に作動します。

年長のお子さまを車両のシートベルトでブースターシートに直接拘束する場合、自動ロック式巻き取り装置（ALR）機能は使用しません。

注: シートベルトのバックルが外されベルトが完全に巻き込まれると、ALR のエンゲージが外れます。これでベルトは通常のシートベルトとして使えるようになり、内外に自由にスライドして緊急時のみロックします。チャイルドシートを取り付ける際は、ALR のエンゲージが外れた状態でシートベルトを限界まで伸ばして ALR をエンゲージします。

チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。以下に一般的なガイドラインを示します。

1. チャイルドシートを Model Y の中に置き、シートベルトを限界まで伸ばします。チャイルドシートの製造元の指示に従ってシートベルトを通し、バックルで固定します。



2. シートベルトを巻き込み、チャイルドシートを Model Y の座席にしっかり押し込みながらシートベルトの緩みを完全に取り除きます。
3. すべてのたるみが取り除かれたら、シートベルト ウェビングを強く引っ張って、オート ロックキング リトラクター（ALR）が作動することを確認します。

注: ALR は、バックルを解除し、シートベルト ウェビングを完全に引き込んでいない限り、解除されません。解除後は、ベルトを完全に伸ばして、ロック機構を再度噛み合わせるようにする必要があります。

チャイルドシート

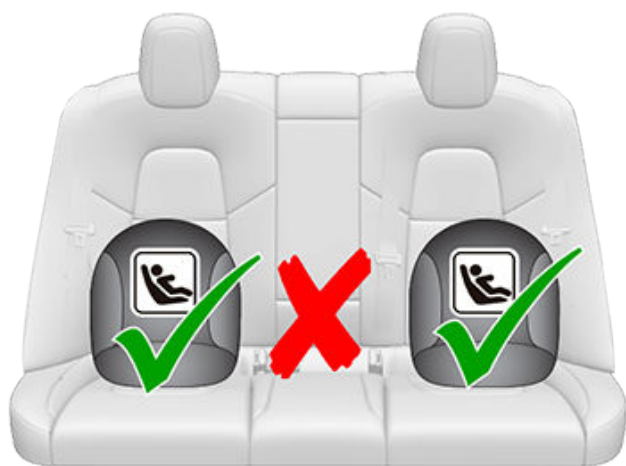
4. シートベルト保持式のチャイルドシートにトップテザーが付いている場合は、トップテザーをチャイルドシートの背部に取り付けます（トップテザーストラップを取り付けるページ46を参照）。

LATCH (ISOFIX) 対応チャイルドシートを取り付ける

下側の LATCH アンカーは、2列目の窓際座席に用意されています。座席の背もたれとクッションの間にあります。各アンカーの正確な位置は、下図に示すようにチャイルドシート識別ボタンによって識別されます。このボタンはアンカー近くの、座席上にあります。

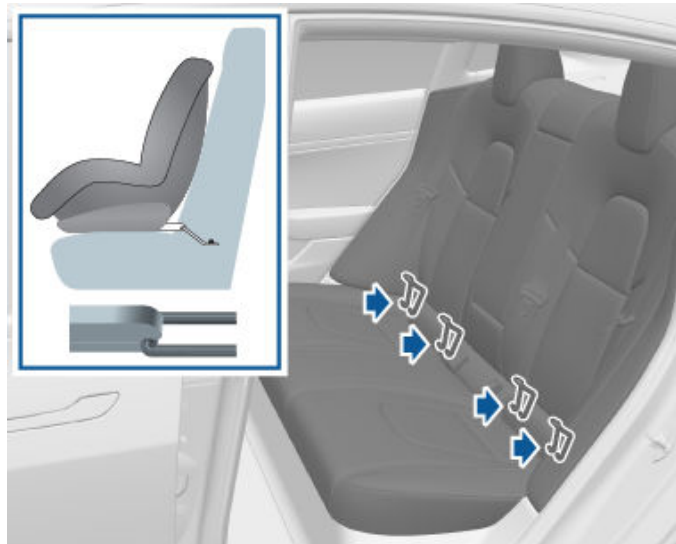


2列目の場合、窓側の座席位置にのみ LATCH チャイルドシートを設置します。シート中央にはシートベルト保持式のシートだけを使用します。



LATCH チャイルドシートを取り付けるには、チャイルドシートラッチをカチッと音がするまでアンカーバー上へスライドさせます。チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。

注: お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせてを超える状況で、下側の LATCH 用アンカーをチャイルドシートまたはシートベルト一体型のブースターシートに使用しないでください。この場合は代わりに安全ベルトを使用してください。



注: Model Y が 7 シート仕様の場合、3 列目シート位置には LATCH アンカーは装備されていません。3 列目シート位置ではシートベルト保持式のチャイルドシートのみ使用してください。



お子さまを座らせる前に、チャイルドシートが確実に取り付けられていることを確認します。チャイルドシートを左右にねじったり、座席から引き離そうと力を加えてもアンカーが動かないことを確認してください。

トップテザーストラップを取り付ける

トップテザー ストラップがある場合は、そのフックを座席の背面にあるアンカーポイントに取り付けます。

注: アンカーの位置はすぐに目の付くところがないため、シート布地の切れ目を探してください。

警告: チャイルドシートの製造元の説明書に従い、トップテザーストラップを締め付けてください。

⚠ 警告: シートベルト保持式シートは必ず中央席に取り付けてください。



フックがアンカーポイントに完全に取り付けられていることを確認します。



デュアルストラップテザーでは、ヘッドサポートの両脇にストラップを通します。



3列目座席のデュアルストラップテザー（装備されている場合）では、両方のストラップをヘッドサポートの上に配置します。



⚠ 警告: テザーストラップをヘッドサポートの上に通す前に、ヘッドサポートを下げる必要があります（ヘッドレスト ページ 38 参照）。

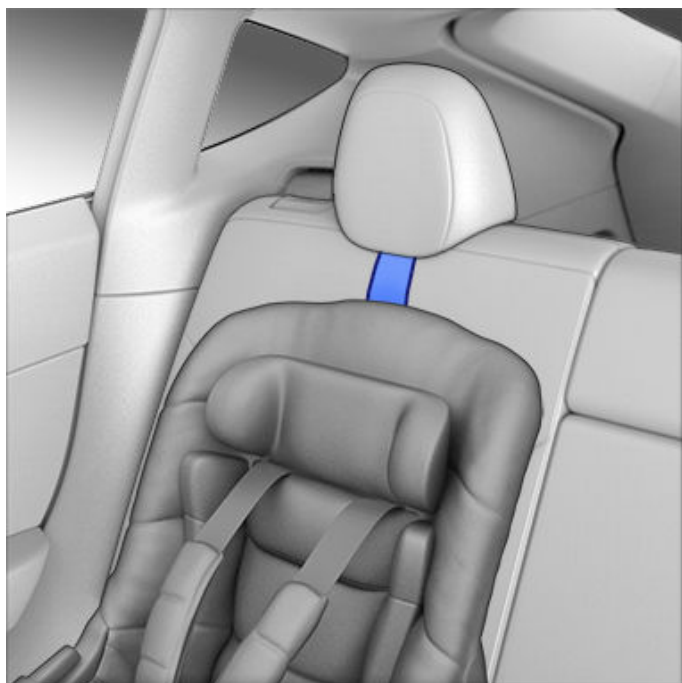
窓際の座席のシングルストラップテザーの場合、ストラップをヘッドサポートの外側に面する側（シートベルト引込機構と同じヘッドレストの側面）に通します。



ヘッドサポートの外側にストラップを通すことができない場合（ストラップに十分なたまりがない場合など）は、ヘッドサポート（ヘッドレスト ページ 38 参照）を上げてからヘッドサポートの下にストラップを通します。



チャイルドシート



3列目座席のシングルストラップテザー（装備されている場合）では、ストラップをヘッドサポートの上に配置します。



チャイルドシートをテストする



チャイルドシートにお子さまを座らせる前に、チャイルドシートの取り付けに緩みがないことを必ず確認してください。

1. ベルトごとチャイルドシートをつかみ、前後左右にスライドさせてください。

2. シートが one inch (2.5 cm) 以上動く場合は、取り付けが不十分です。ベルトの長さを調節するか、あるいは LATCH チャイルドシートの場合は取り付けをやり直します。
3. 緩みが残る場合は、取り付け位置を変えるか、または別のチャイルドシートに替えてください。

チャイルドシート警告

- 警告:** 非常に高い危険なとえチャイルドシートを使用するかどうかにかかわらず、お子さまを助手席には乗車させないでください。このシートの前方にはエアバッグがあります。乗員の体重が軽いことを Model Y が感知してエアバッグを無効にするとしても、お子さまの保護をテクノロジーに任せきりにするのは賢明ではありません。
- 警告:** シートベルト保持式チャイルドシートは、2点式シートベルト、あるいは3点式シートベルトの腰部分で車両に固定するように設計されています。チャイルドシートが適切に固定されていないと、衝突時にお子さまが危険にさらされる恐れがあります。
- 警告:** 衝突事故に関する統計によると、お子さまは前席よりも2列目シートで正しくシートベルトをしている方がより安全です。
- 警告:** お子さまが体重 20 lbs (9 kg) 以下で自分一人では座れない場合は、前向きチャイルドシートの使用は避けてください。2歳以下のお子さまは背骨と首の発達が十分でなく、正面からの衝撃による負傷を避けることができません。
- 警告:** 小さいお子さまを大人の膝上に乗せるのは避けてください。常にお子さまに合ったチャイルドシートで保護する必要があります。
- 警告:** お子さまの安全な着座を確実にするため、本書およびチャイルドシートの取扱説明書に記載されている全ての指示に従ってください。
- 警告:** お子さまはできるだけ長い間、5点式統合ハーネス使用の後ろ向きチャイルドシートに着座させる必要があります。
- 警告:** チャイルドシートまたは補助シートの取り付けに使用されているシートベルトに対して、シートベルトエクステンダーは使用しないでください。
- 警告:** より大きいお子さまを着座させる場合は、頭部が支持され、シートベルトが適切に調整され、しっかり着用されていることを確認してください。肩ベルトは顔および首から離れている必要があります。また、腰ベルトが腹部にかからないようにする必要があります。
- 警告:** 2つのチャイルドシートを1つのアンカーポイントに取り付けることは絶対に避けてください。万一衝突事故が発生した場合、1つのアンカーポイントでは2つのシートを支えきれない可能性があります。
- 警告:** チャイルドシート固定アンカーは、チャイルドシートが正しく取り付けられた状態で受ける荷重にのみ耐えられるように設計されています。大人用のシートベルトやハーネスとして使用したり、他の物や機器を固定するためには使用しないでください。
- 警告:** ハーネスやテザーストラップが損傷したり摩耗したりしていないか、必ず点検してください。

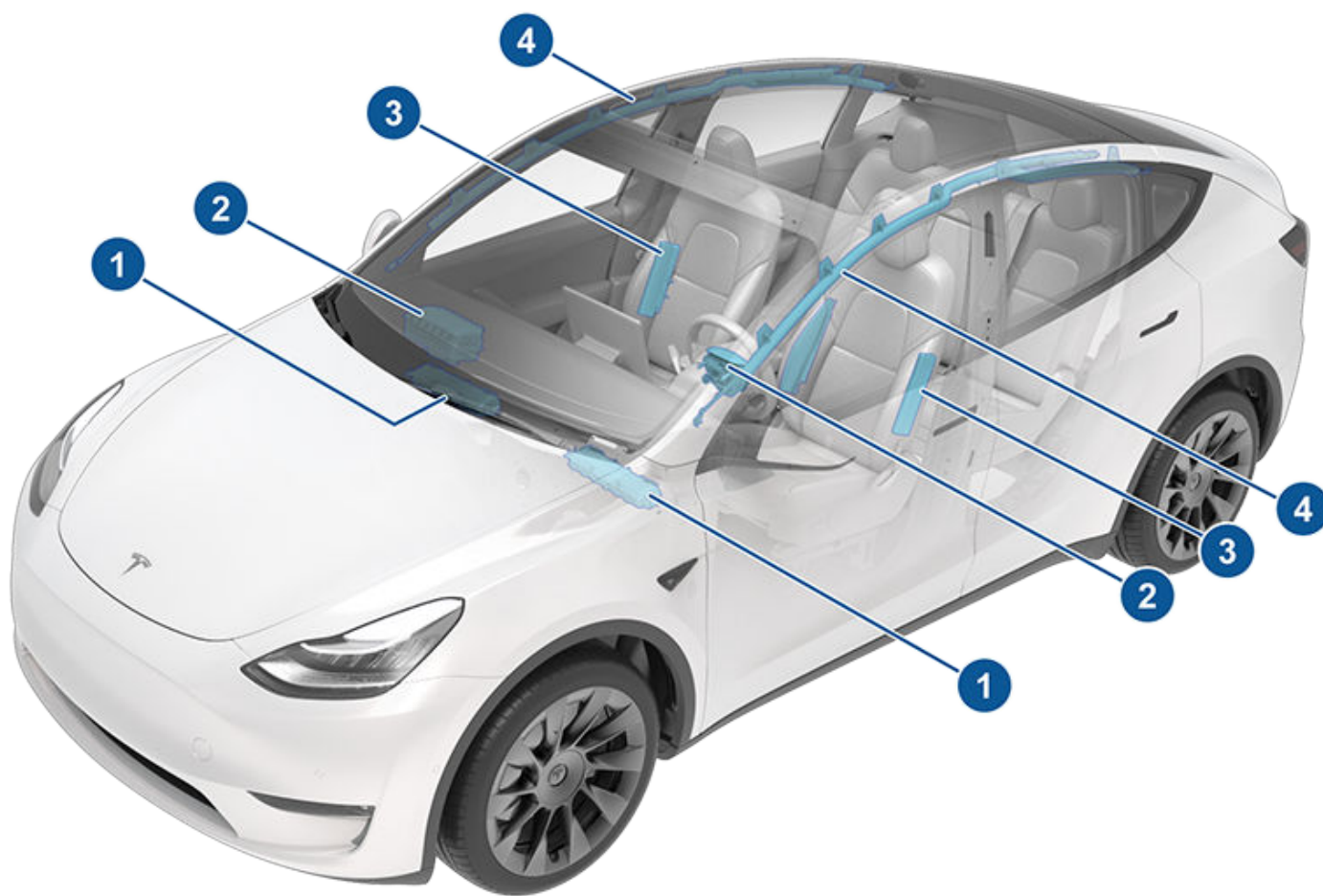
-  **警告:** お子さまがチャイルドシート内にしっかり固定されている場合でも、お子さまのそばから離れないようにしてください。
-  **警告:** 衝突事故の際に使用していたチャイルドシートは絶対に再使用しないでください。チャイルドシートの検査や取り替えはチャイルドシートの取扱説明書に従って実施してください。

エアバッグの位置

エアバッグは以下のように適切な位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

Model Y は、両方の指定された前席位置に、エアバッグと肩および腰ベルト（シートベルト アセンブリとも呼ばれます）を装備しています。事故が起きたときの大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

注: 右ハンドル車では、助手席と運転席のエアバッグの位置が逆になります。



1. ニー エアバッグ
2. フロント エアバッグ
3. シート搭載サイドエアバッグ

注: お客様の車両（製造年に応じて装備されている場合）には、運転席の内側にエアバッグが取り付けられています。

4. カーテン エアバッグ

エアバッグの動作

エアバッグはセンサーが衝撃を検知して展開開始値を超えると膨張します。これらの展開開始値により、エアバッグが乗員を保護するタイミングで開けるよう衝撃の重大度を予想します。エアバッグは、大きな力で瞬時に展開し、大きな音を立てます。展開したエアバッグは、シートベルトとともに乗員の体の動きを制限し、けがのリスクを低減させます。

通常、フロントエアバッグは追突、横転、側面衝突、急ブレーキ、悪路の走行では展開しないように設計されています。同様に、フロントエアバッグは軽度の正面衝突、乗り上げ衝突、細い物体（ポールや樹木など）への軽度の衝突など、すべての正面衝突で展開するわけではありません。車体の外見が大きく変形してもエアバッグが展開しないことがあったり、逆に構造的な損傷の場合には比較的軽微な破損でもエアバッグが展開することがあります。したがって、衝突後の車両の外観から、フロントエアバッグが膨らんだかどうかを判断することはできません。

警告: 障害者に対応するために、エアバッグシステムに影響が及ぶ可能性があるように車両を改造する場合、事前にモバイルアプリを使用してサービス予約してください。

エアバッグの種類

Model Y は、次のような種類のエアバッグを装備しています。

- フロントエアバッグ: フロントエアバッグは、助手席に乗車した大きなお子さまや大人を最大限に保護できるように設計されています。すべての注意事項や指示に従って、助手席にお子さまを乗せてください（地域で許可されている場合）。
- ニーエアバッグ ニーエアバッグおよびヘッドエアバッグは同時に動作します。ニーエアバッグは足の動きを規制して、前席乗員の前方への動きを制限することで、ヘッドエアバッグがより効果的に働くように乗員の姿勢を整えます。
- シート搭載式サイドエアバッグ 前席に取り付けられたシート搭載式サイドエアバッグは、骨盤と胴体の胸部を保護するのに役立ちます。また、運転席の内部に取り付けられたシート搭載式ファーサイドエアバッグは、ドライバーの頭部や胴体を保護するのに役立ちます。車両の衝突側と非衝突側の両方のシートに取り付けられたサイドエアバッグは、重度の側面衝突または重大なオフセット正面衝突の場合に膨らみます。
- カーテンエアバッグ: カーテンエアバッグは頭部を保護します。車両の衝突側と非衝突側の両方に取り付けられているカーテンエアバッグは、重度の側面衝突を受けた場合、または車両が横転した場合のみに膨らみます。

助手席乗員感知

Model Y は、助手席に乗員センサーを備え、フロントエアバッグのステータスをコントロールしています。

注: 乗員識別システム（OCS）は、規制要件 FMVSS208 を満たすもので、必要のない、または危険となり得る助手席のエアバッグ展開を自動的に検出します。

警告: エアバッグが作動するシートには、後ろ向きのチャイルドシートで乳幼児を座らせないでください。エアバッグが展開したときに、重傷や死亡につながる可能性があります。

エアバッグ ステータス インジケーター

助手席フロントエアバッグの状態は、タッチスクリーン上部に表示されます。



お子さまを助手席に乗せて運転する前に（地域で法的に許可されている場合）、助手席フロントエアバッグのステータスが OFF になっていることを必ず慎重に確認してください。助手席側のフロントエアバッグが OFF の場合、衝突が起きてもエアバッグは展開しません。このインジケーターは、座席に乗員がいなくても表示されます。



助手席に大人が座る場合は、必ず助手席フロントエアバッグを有効にしてください。助手席フロントエアバッグが ON の場合、衝突が起きるとエアバッグが展開します。



各ドライブの開始時にエアバッグインジケーターがタッチスクリーンに数秒間表示され、該当する場合に次の機能がチェックされません。

- エアバッグ
- プリテンショナーおよびロードリミッター付きシートベルト
- 衝突センサー
- 乗員センサー
- シートベルトセンサー
- パッシブセーフティコンポーネント配線ハーネス
- 車載拘束制御コンポーネント（例、加速度計およびその他パッシブセーフティコンポーネント）

このチェックの後、エアバッグインジケーターはオフになります。エアバッグシステムが前述のコンポーネントのいずれかに障害を検出した場合、エアバッグ警告インジケーターは点灯したままになります。この場合は Tesla サービスにお問い合わせください。エアバッグシステムが Tesla によって点検されるまで、車両を運転しないでください。

対象の識別	OCSの助手席エアバッグステータス*	インジケーターステータス	注記
表示しない	OFF	助手席エアバッグ OFF	
対象	OFF または ON	助手席エアバッグ「OFF」または助手席エアバッグ「ON」	材質/内容により異なります
1歳までのお子様向け設計の後ろ向きのチャイルドシート	OFF	助手席エアバッグ OFF	20 ポンド (9 kg) 以下
前向きのチャイルドシート	OFF	助手席エアバッグ OFF	35 ポンド (16 kg) 以下
ブースターシートに座るお子さま	OFF または ON	助手席エアバッグ「OFF」または助手席エアバッグ「ON」	20~100 ポンド (9~45 kg) *
大きなお子さま	OFF または ON	助手席エアバッグ「OFF」または助手席エアバッグ「ON」	
体重において最軽量のうちの5パーセント以上以上に該当する女性	ON	助手席エアバッグ ON	約 100 ポンド (45 kg) 以上

*助手席エアバッグのステータスインジケータが状況と合致しない場合、該当の座席に人を乗せないでください。乗員を別の座席に乗せてください。モバイル アプリを使用してサービス予約をする。




注: Model Y の電源を入れてから乗員識別システム (OCS) が助手席エアバッグの正確なステータスを報告するのに約 6 秒かかります。そのため、Model Y を最初に起動させたとき、エアバッグが OFF になっていたとしても (乗員の重量が 20 ポンド (9 kg) 以下の場合)、タッチスクリーンが「助手席エアバッグ OFF」の状態を表示するまでに約 6 秒かかります。そうならない場合はモバイル アプリを使用してサービス予約をとり、お子さまを助手席に乗せないようにしてください。

感知システムが乗員の状態を正しく検出できるよう、次のことは行わないでください。

- シート下に物を置くこと。
- シートに重い物 (書類鞆や大きなハンドバッグ) を乗せること。
- シート背もたれとシートクッションの間に物をはさむこと。
- 積み荷がシートに干渉すること。
- カバー、マット、毛布等に問わず、シートと乗員の間に市販品を取り付ける、または置くこと。

こういった状態の場合、乗員センサーと干渉することがあります。上記の可能性を排除してもなお、エアバッグの状態が不正であれば、乗員にはリアシートに座ってもらい、モバイル アプリを使用してサービス予約をしてください。

注: 助手席の乗員センサーは、助手席のフロントエアバッグの動作にのみ関与しています。サイドエアバッグは影響を受けません。

-  **警告:** 助手席側エアバッグが前述の重量しきい値に基づいて予測される通りに ON/OFF 動作しない場合は、モバイル アプリを使用してただちにサービス予約をしてください。
-  **警告:** お子さまを助手席に座らせることが地域で法的に許可されている場合、ドライバーが責任を持って、助手席フロントエアバッグが OFF になっていることを確認してください。エアバッグを有効にしているときに、決して後ろ向きのチャイルドシートを使用してお子さまを助手席に座らせないでください。お子さまが重傷を負ったり死亡事故につながる危険性があります。米運輸省高速道路交通安全局による推奨では、12 歳以下の乗員は全員後部座席に乗せなければなりません。
-  **警告:** Model Y にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。乗員識別システムが装備されている場合は、その精度が低下する可能性もあります。

正確な乗員感知を確認する

正確に助手席の乗員を識別するために、乗員は次のことを行う必要があります:

- シートベルトを着用する。
- シートクッション中央に真っすぐに座り、背もたれに肩を付け、正面のフロアに足を快適に伸ばします。
- シートクッションの座位置を維持し、体重をシートから浮かせるようなことはしません (例:フロアを足で押したり、センターコンソールやアームレストを押して持ち上げたりすること)。

- 厚く湿った衣類やかさばる衣類 (スキーウエアやパッド入りの衣類) を着用しないでください。

上記事項に加えて、以下のような状況では乗員識別システムの精度に悪影響を及ぼす可能性があります:





- 助手席にラジオ送信器 (例:狩猟用ラジオまたはトランシーバー) を置くこと。
- 助手席のクッションに AC/DC インバータまたはインバータから電源を取るデバイス (例:携帯電話、タブレット、パソコン) を置くこと。

- チャイルドシートを取り付けているときに座席に液体（ペットボトル飲料など）や食品の容器を置くこと。
- 不適切にチャイルドシートを取り付け、チャイルドシートの下の部分全体がシートクッションにきちんと乗っていない状態になること。
- シート下に格納されている物、または背もたれとクッションの間に挟まっている物。
- シートに重い物（書類鞆や大きなハンドバッグ）を乗せること。
- 積み荷がシートに干渉すること。
- カバー、マット、毛布など、シートと乗員の間に取り付けられている、または置かれている市販品。

こういった状態の場合、乗員センサーと干渉することがあります。上記の可能性を排除してもなお、エアバッグの状態が不正であれば、乗員にはリアシートに座ってもらい、モバイルアプリを使用してサービス予約をしてください。

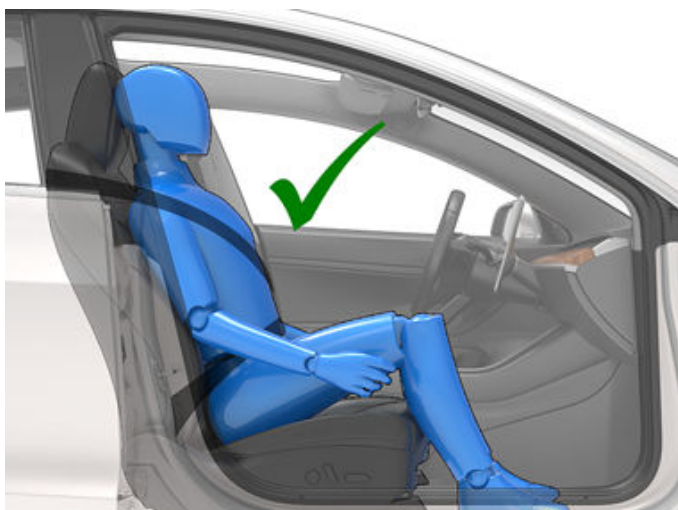
注: Tesla では 12 歳以下の乗員は全員後部座席に乗せるという、NHTSA（米運輸省高速道路交通安全局）の推奨に従っています。

注: 助手席の乗員センサーは、助手席のフロントエアバッグの動作にのみ関与しています。サイドエアバッグは影響を受けません。

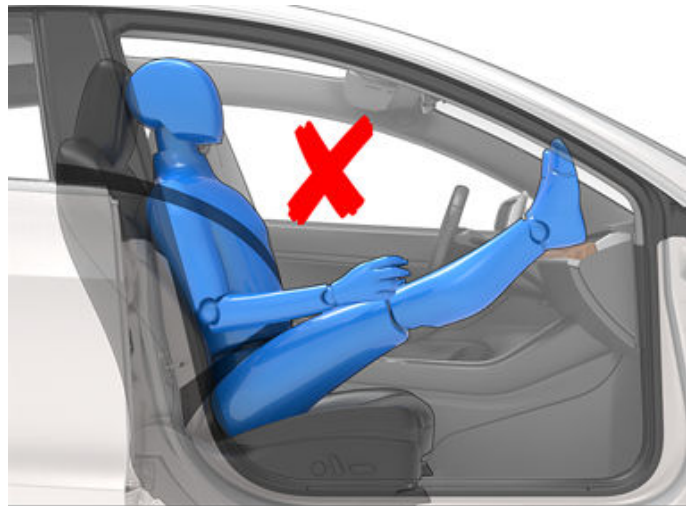
-  **警告:** 指示に従わないと、乗員識別システム（OCS）に悪影響を及ぼし、重傷や死亡を招く可能性があります。
-  **警告:** 助手席のエアバッグが思うようにオン/オフにならない場合、助手席に人を乗せないでください。モバイルアプリを使用してサービス予約をする。
-  **警告:** 乗員識別システム（OSC）の精度を確保するため、助手席を改造しないでください。
-  **警告:** Model Y にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。また、乗員感知システムの精度が低下する可能性もあります。

適切な座位置と不適切な座位置の例

適切な座位置:



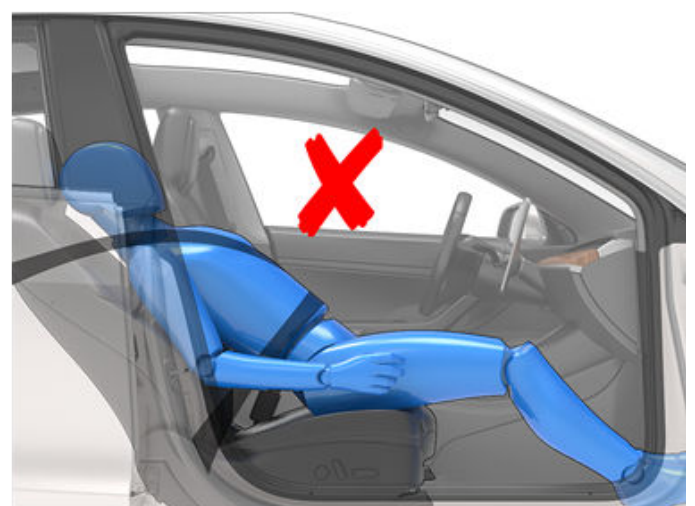
不適切な座位置 - 乗員の足がフロアに着いていなければならない:



不適切な座位置 - 乗員はシートクッションで前のめりになってはならない:



不適切な座位置 - 車両が動いているときに乗員は背もたれを寝そべる位置まで後方に倒してはならない:



エアバッグ展開の影響

警告: エアバッグが展開するときは微粉末が放出されます。この粉末には皮膚に刺激を与える成分が含まれるため、目、切り傷や擦り傷に付着した際は、流水で完全に洗い流すようにしてください。

展開したエアバッグは収縮し、乗員にクッション効果を及ぼすと同時に、ドライバーの前方の視界が遮られないようにします。

エアバッグが膨張した場合、または車両が衝突した場合、電源を入れる前に車両のサービスを受ける必要があります。これに加え、エアバッグ、シートベルトプリテンショナーおよび関連するすべてのコンポーネントを必ず点検し、必要があれば交換してください。モバイルアプリを使用してただちにサービス予約をしてください。

衝突時には、エアバッグの膨張に加えて以下のようなことが起こります。

- 米国のみ: 「コントロール」 > 「安全」 > 「自動警察通報」を有効にしている場合、車両は自動的に警察に緊急通報します。キャンセル指示とカウントダウンタイマーがタッチスクリーンに表示されます。
- ドアのロックが解除されます。
- ハザード警告灯が点灯します。
- 室内灯が点灯します。
- 高電圧システムが OFF になります。
- 窓が換気位置になります。
- 車両はブレーキがかかって停止します。

注: かった衝撃や力の具合によっては、衝突の際にドアがロック解除しなかったり、損傷によってドアが開かなかったりする可能性があります。こういった場合、車内側の手動リリースでドアを開いたり、その他の脱出方法（他のドアから脱出する、窓を破るなど）を用いる必要があります。

注: 衝突によっては、エアバッグが膨張していなくても、車両が高電圧回路を遮断し電源が入らなくなり運転することができなくなります。モバイルアプリを使用してただちにサービス予約をしてください。

エアバッグについてのご注意

- 警告:** 衝突時の大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。
- 警告:** フロントシートの乗員は、展開したエアバッグが破裂してけがをすることがありますので、エアバッグモジュールの上に腕を載せないでください。
- 警告:** Model Y にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。乗員識別システム (OCS) が装備されている場合、その精度が低下する可能性もあります。

警告: エアバッグはかなりの速度と力で展開し、それによってけがをすることがあります。けがを減らすため、乗員は必ずシートベルトを着用し、できるだけシートを後ろへ引いて正しく座るようにしてください。国家道路交通安全局 (NHTSA) は、乗員の胸とエアバッグの間の推奨最小間隔を 10 in (25 cm) としています。

警告: 地域の法令で許可されていない限り、助手席にお子さまを乗せないでください。地域のすべての法令に従い、お子さまの体重、身長、年齢に適した方法でお子さまを座らせてください。後列座席に乳幼児や小さなお子さまを安全に座らせてください。エアバッグが作動するシートには、後ろ向きのチャイルドシートで乳幼児やお子さまを座らせないでください。エアバッグが展開したときに、重傷や死亡につながる可能性があります。

警告: 前方でエアバッグが作動するシートでは後ろ向きのチャイルドシートの使用を控えてください。エアバッグが展開したときに、けがや死亡事故につながる可能性があります。

警告: サイドエアバッグが正しく展開するように、乗員の胴体と Model Y の側面の間のすきまはふさがらないでください。

警告: 助手席に座る人はドアや窓に頭をもたれかけないでください。カーテンエアバッグが展開したときに、けがをすることがあります。

警告: 乗員は、エアバッグの上または近くに足、ひざなど、体の一部を置いてエアバッグの作動を遮らないようにしてください。

警告: ヘッドエアバッグの上または近く、フロントシートの横、車両側面のヘッドライナー、エアバッグカバーなどには、物を取り付けたり置いたりしないでください。エアバッグの展開が妨げられる可能性があります。これらには、ハンドルカバー、デカール、シートクッション、枕などが含まれます。車両がエアバッグが展開する原因となるほど激しく衝突した場合、物体が重傷の原因となる可能性があります。

警告: 展開したエアバッグは部分的に熱くなっています。熱がさめるまで、手で触れないでください。



Tesla モバイル アプリにより、Model YiPhone®または Android™携帯端末とリモート通信することができます。

注: 上記のリストは Tesla モバイル アプリで利用可能な機能を完全に表しているものではありません。新機能や改良機能にアクセスするためには、最新バージョンのモバイルアプリがリリースされたらすぐにダウンロードしてください。

モバイル アプリを使用する方法

Tesla モバイル アプリで Model Y との通信をセットアップするには:

1. Tesla モバイル アプリをお使いのスマートフォンにダウンロードします。
2. Tesla アカウントの認証情報を入力して、Tesla モバイル アプリにログインします。
3. 「コントロール」 > 「安全」 > 「モバイル アクセスを許可」の順にタッチして、Model Y へのモバイル アクセスを有効にします。
4. お使いの電話機の Bluetooth 設定が「オン」で、なおかつ Tesla モバイル アプリのグローバル設定で Bluetooth がオンになっている必要があります。例えば携帯電話の設定から Tesla モバイル アプリを選んで、Bluetooth 設定が有効化されていることを確認します。

モバイルアプリが車両と通信できるようにするには、スマートフォンおよび車両が両方とも携帯電話サービスまたは Wi-Fi に接続されている必要があります。屋内の駐車ガレージなど携帯電話サービスが制限されている場所や携帯電話サービスが利用できない場所に駐車する場合、Tesla では、常にすぐに利用できる物理キーを携帯することを推奨しています。

注: 携帯電話の通信接続が制限されていたり、予備キーが利用できないなど、保証対象外の問題のために Tesla のロックアウトアシスタンスが必要な場合にかかる費用は、ロードサイドアシスタンスポリシーの保証対象になりません。

注: Tesla は、Model Y との連絡に第三者アプリを使用することをサポートしていません。

概要

電話機と車両の両方でインターネット サービスが使用できる場合、Tesla モバイル アプリのホーム画面で以下のことができます。

- 車両をロック/ロック解除する。
- 暖房または空調を有効または無効にし、キャビンの空調を監視します。
- 車両の充電情報を確認します。充電ケーブルを差し込んで、充電の詳細情報が表示されます。
- 充電ポートの開閉。

注: バッテリー アイコンの隣にあるねじられた赤い線は、バッテリーが能動的に加熱されていることを示します (充電中や充電準備中を含む)。

- 車両の位置を確認します。
- 車両の推計航続距離を表示。

- フロントトランクを開きます。
- 車両のオドメーター、VIN、現在のファームウェア バージョンを確認します。

メディア設定がモバイル アプリに表示され、車両で現在再生されているメディアを一時停止、再生、巻戻し、早送り、および音量調整します。「オーディオ設定」 > 「オプション」 > 「モバイル制御を許可」の順にタッチしてメディア設定を有効にする必要がある場合があります。

サポート対象の動画ソースは、モバイルアプリのリンクを共有して動画を Tesla シアターに送信します。スマートフォンで再生したい映画、番組、ビデオに進み、共有ボタンにタッチします。Tesla アプリで動画を共有すると、Model Y が駐車中の場合は、タッチスクリーンに動画が表示されます。

プロフィール

最上部の角部にある「プロフィール」タブでは以下のことが可能です。

- Tesla アカウントを複数の車両に関連付けている場合は、車両を切り替えます。
- Tesla ショップに移動します。
- アカウント情報を管理して、注文履歴を表示します。
- セキュリティ アラームがトリガーした場合のカレンダーの同期、充電のアップデート、新しいソフトウェアのアップデートなど「設定」タブで受信する通知を表示してカスタマイズします。離れた場所からアップデートを開始し、進行をチェックすることができます。

コントロール

「コントロール」タブでは次のことが行えます。

- フロントまたはリアのトランクを開く。
- 遠隔からの Model Y のロック、アンロック。
注: モバイル アプリからロック解除している場合、車両は自動的に再ロックしません。
- 充電ポートの開閉。
- Model Y の駐車場所を見つけるために、ライトを点滅させたり、ホーンを鳴らす。
- キーレスドライブを有効にする。
注: キーを忘れてしまったり、ドライブ用 PIN を忘れ PIN をバイパスする必要がある場合や、タッチスクリーンが反応しなくなった場合などに、キーレスドライブを使用することができます(ドライブ用 PIN ページ 144 参照)。
- 車両に HomeLink 接続がプログラムされていてご利用いただける場合、ガレージのドアを開閉する (スマート ガレージ ページ 62 参照)。
- ウィンドウを換気する。

空調

車内温度を確認して、運転開始前に（車庫にある場合でも）キャビンを冷暖房し、シートヒーターを制御し、フロントガラスの霜取りを行なうことができます。

- ・「車の霜取り」を有効または無効にすると、画面の下から上にスワイプすることで、フロントガラス、ウィンドウ、およびミラーの雪、氷、霜を溶かすことができます。
- ・「ドックモード」または「キャンプモード」を有効または無効にします。
- ・「キャビン過熱保護」を有効にすると、高外気温状態でキャビンが極端に高温になるのを防げます。キャビン内の温度が 105°F (40°C) または選択した温度（使用可能な場合）を超えた場合に、エアコンを作動させるかファンだけを作動させるかを選択することができます。詳細情報については、[空調を操作する ページ 151](#) を参照してください。
- ・窓を開け閉めします。
- ・キャビンを希望の温度に予め調節し、ハンドルおよびシートヒーター（装備されている場合）をオンまたはオフにします。

モバイルアプリで Model Y の温度調整を行うと、必要に応じてバッテリーも暖められます。モバイルアプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

注: 車両仕様と製造日によっては、モバイルアプリで Model Y の霜取りを行うと、充電ポートラッチの氷も溶かすことのできる車両もあります。これは、充電ポートラッチがそのまま凍って充電ケーブルの抜き差しができないような極端な寒冷時や凍結するような状況では便利な機能です。

場所

マップ上で Model Y の位置と方向を特定し、動きを追跡する。

サモン

サモン（[サモン ページ 126](#) 参照）またはスマートサモン（[スマートサモン ページ 128](#) 参照）を使用して Model Y を駐車したり、呼び出すことができます。

予約

予約充電または出発予定時刻を有効にし、車両をプレコンディショニングします。詳細情報については、[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 182](#) を参照してください。予約充電または出発予定時刻は設定した場所に基づいて保存することができます。

セキュリティ

「セキュリティ」タブでは次のことを実行できます。

- ・電話機を車両にペアリングする（[電話キー ページ 20](#) を参照）。

- ・セントリーモードを有効/無効に設定する（セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり） [ページ 147](#) を参照）。
- ・バレーモードを有効/無効に設定する（[バレーモード ページ 90](#) を参照）。
- ・速度制限モード使い、車両の走行速度が選択した最大速度まで約 3 mph (5 km/h) に近づいたときに通知を受け取る機能を有効または無効に設定します（[速度制限モード ページ 144](#) を参照）。

アップグレード

完全なセルフドライブなど、利用可能な最新のアップグレードを確認し、購入できます。

サービス

モバイルアプリでサービスを予約する方法については、[整備の予約 ページ 187](#) を参照してください。

ロードサイド

ロードサイドのリソースを表示し、（該当すれば）ロードサイドアシスタンスをリクエストします。ロードサイドアシスタンスに関する詳細については、[Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 229](#) を参照してください。

2 人目のドライバーへのアクセス許可

Tesla モバイルアプリから別のドライバーへのアクセス許可を追加および削除することができます。

注: Tesla モバイルアプリバージョン 4.3.1 以降が必要です。追加されたドライバーは、事前に登録されている Tesla アカウントを使用するか、アプリを使用して新しい Tesla アカウントを作成することができます。

ドライバーを追加するには、Tesla モバイルアプリで車両のホーム画面から「セントリー」>「ドライバーの追加」に進み、画面の指示に従います。

注: 追加されたドライバーはアップグレードの購入を除くすべてのアプリ機能にアクセスできます。

アクセスを削除するには、モバイルアプリを使用して「セントリー」>「ドライバーの管理」の順に進み、画面の指示に従います。

データ接続方法として Wi-Fi が用意されており、携帯電話通信網よりも速い場合も多くあります。Wi-Fi 接続は携帯電話が通じにくい、または通じない地域で特に便利です。ソフトウェアおよびマップのアップデートを速く確実にを行うには、可能な限り Model Y を Wi-Fi に接続させておくことが推奨されます（例えば自宅で駐車している時間など）。

Wi-Fi ネットワークへの接続方法は以下の通りです。

1. 「コントロール」 > 「Wi-Fi」の順にタッチします。Model Y 圏内にある Wi-Fi ネットワークの検索を開始し、検出されたものを表示します。

注: リストに、既知の Wi-Fi ネットワークが表示されない場合、アクセスポイントに Model Y を近づけるか、レンジエクステンダーで感度を上げてください。

注: (使用可能な場合に) 5GHz ネットワークに接続している場合、地域でサポートされているチャンネルを確認してください。

サポートされている 5GHz ネットワークチャンネル

36~48	52~64	100~140	149~165
✓	✓	✓	✓

2. 「Wi-Fi ネットワークを検索中」で使用する Wi-Fi ネットワークを検索してタップするか、「Wi-Fi ネットワークを追加」で手入力により追加し、パスワードを入力（必要な場合）してから「確定」にタッチします。接続すると、その Wi-Fi ネットワークには「既知の Wi-Fi ネットワーク」と緑色のチェックマークが表示されます。ネットワークの圏内にいるときは、Model Y を自動的に接続します。

注: Model Y は現在、キャプティブ Wi-Fi ネットワークへの接続をサポートしていません（キャプティブ Wi-Fi は、一般的に公共のホットスポットで使用され、ログインを許可する前にカスタム Web ポータルにアクセスし、サービス条件に同意することが必要です）。

注: 過去に接続したことのあるネットワークが圏内に複数ある場合、Model Y は直近に使用したネットワークに接続されます。

注: Tesla サービスセンターでは、Model Y は Tesla サービス Wi-Fi ネットワークに自動的に接続されます。

診断

診断は、Wi-Fi 接続に関するより詳しい情報や、接続改善のヒントを提供します。アクセスするには、「Wi-Fi」 > 「診断」に移動するか、ソフトウェアアップデートのダウンロードまたはインストール中に、プログレスバーの下に表示されます。

ホットスポット

Wi-Fi ネットワークを使用する代わりに、モバイルホットスポットを使用することもできます（料金がかかり、通信会社の制限があります）。運転中も接続を有効なままにしたい場合は、ホットスポットに接続した後に「**運転中に接続を維持**」を選択します。

トラブルシューティングのヒント

車両の Wi-Fi 接続が遅い、または接続に失敗する場合は、以下のヒントを試してください。

- タッチスクリーンで、Wi-Fi アイコンバーの本数（信号強度）を確認します。信号強度が低い場合は、Wi-Fi アクセスポイントを車両の近くに追加して信号を改善することを検討してください。
- タッチスクリーンを再起動します（[タッチスクリーンの再起動 ページ 7](#)を参照）。
- Wi-Fi 接続を一旦削除してから、再び接続します。「コントロール」 > 「Wi-Fi」の順にタッチし、お使いのネットワークを選択して「**ネットワークを登録解除**」を実行し、それから「**既知のネットワーク**」でネットワークを再び選択します。
- 別の Wi-Fi ネットワークを試します。



Bluetooth® 互換性



Bluetooth デバイスがペアリングされていて通信範囲内にある場合、Model Y でさまざまな Bluetooth デバイスを使用することができます。例えば、Bluetooth 対応電話機をペアリングして、ハンズフリーで使用することができます。Model Y は電話機以外の Bluetooth 対応機器ともペアリングできます。例えば、iPod Touch、iPad、Android タブレットなどをペアリングして音楽を再生することができます。

電話機またはその他の Bluetooth デバイスを Model Y で使用する場合、ペアリングが必要になります。ペアリングすることで、Model Y はサポートしている Bluetooth デバイスと通信するようにセットアップされます。最大 10 台の Bluetooth 対応電話機をペアリングすることができます。特定の電話機を**優先デバイス**に指定していない場合、または**優先デバイス**に指定されている電話機が通信範囲内でない場合、Model Y は常に最後に使用した電話機と接続します（その電話機が通信範囲内にある場合）。別の電話機に接続する場合は**ペアリングされたデバイス間の切り替え ページ 59**を参照してください。

注: キーとして使用するために電話機を認証しても（**キー ページ 20**を参照）、電話機をハンズフリーで使用したり、電話機でメディアを再生したりはできません。電話機を以下のようにペアリングする必要があります。

注: 多くの電話では、電話のバッテリー電圧が低下すると、Bluetooth がオフになります。

注: 通常、Bluetooth はおよそ 30 フィート（9 メートル）までの距離の無線通信に対応していますが、通信の性能は使用している電話機やその他のデバイスで異なることがあります。

注: Model Y は一度に最大 20 台の Bluetooth デバイスをペアリングできますが、同時に接続できるのは 2 台のデバイス（電話機 1 台とコントローラ 1 台、またはコントローラ 2 台）のみで、それぞれフロント タッチスクリーンとリア タッチスクリーン（装備されていれば）に接続できます。

⚠️ 注意: ペアリングされている電話機を車内に置いたままにしないでください（ハイキングやビーチに出かけたときなど）。車内に電話機を置いたままにしなければならない場合は、Bluetooth を無効にするか、電話機の電源をオフにしてください。

電話機または Bluetooth デバイスのペアリング

ペアリングすると、Bluetooth 対応の電話をハンズフリーで使用して、電話をかけたり受けたりすることや、連絡先リストまたは最近の通話履歴にアクセスすることなどが可能になります。また、電話でメディア ファイルを再生することも可能になります。登録済みの電話機が通信範囲内であれば、Model Y はその電話機にいつでも接続できます。

1. 電話または Bluetooth デバイスをペアリングするには、Model Y の車内に座り、タッチスクリーンがオンになっていることを確認します。
2. 電話機のロックを解除し、Bluetooth を有効にします（通常は電話機の [設定] で行います）。

注: 携帯電話の機種によっては、Bluetooth 設定に進み残りの手順を行う必要があります。

3. タッチスクリーンで、「**コントロール**」 > 「**Bluetooth**」の順にタッチすると、新しいデバイスの Bluetooth スキャンが自動的に開始されます。
4. 電話機が表示されるのを待ってから「**接続**」にタッチします。
5. 電話に表示される数字がタッチスクリーンの数字と同じであることを確認します。次に、電話機からペアリングすることを確認します。
6. 電話にプロンプトが表示されたら、Model Y がカレンダー、連絡先、メディアファイルといった個人情報にアクセスすることを許可するかどうかを指定します（**連絡先と通話履歴のインポート ページ 58**を参照）。ペアリングされると、Model Y によって「**コントロール**」 > 「**Bluetooth**」 > 「**ペアリングされたデバイス**」の下に電話機が表示されます。

ペアリングされたデバイスの設定を変更するには、「**コントロール**」 > 「**Bluetooth**」 > 「**ペアリングされたデバイス**」と進み、デバイス名の横にあるドロップダウンを開きます。

インポートまたは Bluetooth への接続に問題がある場合、詳細については **Bluetooth のトラブルシューティング ページ 59**を参照してください。

連絡先と通話履歴のインポート

電話がペアリングされたら、「**コントロール**」 > 「**Bluetooth**」 > 「**ペアリングされたデバイス**」に移動し、デバイス名の横にあるドロップダウンを開いて、電話機の連絡先、最近の通話、テキストメッセージへのアクセスを許可するかどうかを指定します。アクセスを許可している場合は、電話アプリを使用して、連絡先リストや発信履歴に登録のある人に電話をかけたり、メッセージを送信できます（**電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 60**参照）。連絡先をインポートするには、同期を許可するように電話を設定するか、連絡先の同期に関する確認を求める電話のポップアップ画面に応答する必要があります。この方法は使用している電話の種類によって異なります。詳細については、ご使用の電話に付属しているマニュアルを参照してください。

連絡先のインポートまたは Bluetooth を使用したペアリングに問題がある場合、詳細については **Bluetooth のトラブルシューティング ページ 59**を参照してください。

Bluetooth デバイスの切断またはペアリング解除

電話または Bluetooth デバイスを切断してもペアリングしたままにする場合は、タッチスクリーンの Bluetooth 設定ドロップダウンで「**切断**」にタッチします（「**コントロール**」 > 「**Bluetooth**」 > 「**ペアリングされたデバイス**」 > 「**あなたの電話機**」）。デバイスを Model Y で再び使うことがない場合は、「**デバイスの消去**」をタッチし、その後の指示に従います。登録を解除したデバイスを Model Y で使用するには、もう一度そのデバイスをペアリングする必要があります（**電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 58**を参照）。

注: Model Y から離れると、電話機との接続は自動的に切断されます。

注: 電話のペアリングを解除すると、電話をキーとして使用しても効果はありません。認証された電話機を解除するには、[キーの管理 ページ 22](#) を参照してください。

ペアリングされたデバイス間の切り替え

Model Y は、「優先デバイス」に指定した電話機に自動的につながります。優先デバイスとして電話を設定していなければ、Model Y は、前回接続した電話につながります(ただし、その電話が動作範囲にあり、Bluetooth がオンである必要があります)。最後の電話が動作範囲内がない場合、車両は登録されている次の電話との接続を試みます。

別の電話に接続するには、「コントロール」 > 「Bluetooth」 > 「ペアリングされたデバイス」の順にタッチします。接続したい電話を選択し、「接続」にタッチします。接続したい電話がリストにない場合は、その電話をペアリングする必要があります。[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 58](#) を参照してください。

接続している場合、Bluetooth 設定画面では電話機名の隣に Bluetooth のロゴが表示され、Model Y がその電話機に接続していることを示します。

Bluetooth のトラブルシューティング

車両は Bluetooth および BLE (Bluetooth Low Energy) を使用してスマートフォンを Model Y にシームレスに接続します。いくつかの可能性のある要因により、ペアリングプロセスにおいて Bluetooth または BLE が切断され、問題が生じることがしばしばあります。Bluetooth に接続することで、車両は、オーディオ、通話、カレンダーなどの電話機能を使用することが可能になります。

BLE は電話キーなど受動的機能に使用されます。

注: 近くに有効なキーカードがない時に車両と電話機のペアリングを解除したり、電話キーとしての電話機を取り外したりしないでください。

Bluetooth のトラブルシューティングをするには、まずスマートホンを使用して、以下を試してみてください。

スマートホンのトラブルシューティング

スマートホンの設定およびアップデートのせいで、Bluetooth が接続できない。

- 電話機で Bluetooth を有効にします。既に有効になっている場合は、Bluetooth を一旦無効にしてから再び有効にします。
- 機内モードがオフになっていることを確認します。
- 電話機を充電します。電話機のバッテリーレベルが低すぎると、Bluetooth 機能をサポートできない場合があります。
- デバイスを適切にペアリングします。既にペアリングしている場合は、いったんペアリングを解除して再びペアリングしてみます。

- 電話機をメーカーが提供している最新のソフトウェアにアップデートします。
- デバイスの音声システムが、オーディオ出力ソースとして選択されていることを確認します。
- 電話機の設定で Bluetooth が許可されていることを確認します (例: データをオンにするか、Wi-Fi に接続している)。
- 電話機の電源をオフにしてから再びオンにします。
- モバイル アプリで位置の許可が「常にオン」に設定されていることを確認します。

Tesla モバイル アプリのトラブルシューティング

Tesla モバイル アプリを以下のとおり点検します。

- Tesla モバイル アプリのソフトウェアが最新であることを確認します。
- 電話キーを使用しているときに Tesla モバイル アプリにロケインしていることを確認します。
- バックグラウンドで Tesla アプリが実行中であることを確認します。
- モバイル アプリでプロフィールを最後まで設定済みであり、設定を適切に構成していることをダブルチェックします。

車両のトラブルシューティング

車両の設定が、スマートホンとのペアリング機能に影響を与える可能性があります。

- Model Y を充電します。車両のバッテリーレベルが低すぎる場合、Bluetooth 機能が使用不可になる可能性があります。
- 車両ソフトウェアをアップデートし、ソフトウェアが常に最新のものであることを確認します。「コントロール」 > 「ソフトウェア」の順に移動して、新しいソフトウェアのアップデートがないか確認します。
- タッチスクリーンを再起動します。[タッチスクリーン ページ 5](#) を参照してください。
- 車両を再起動します。

依然 Bluetooth が機能していない場合、車両とスマートホンのペアリングを解除します。次に両者を再びペアリングします。

BLE の電話キーに問題がある場合、車両の中で、「コントロール」 > 「ロック」の順に移動して、「キーとしての電話機」として設定されている電話機を削除します。次に再度、設定を戻します。ただしこれは車内にいて、信頼できるバックアップキー (キーカードなど) を持っている場合に限り行ってください。



電話アプリを使用する



Bluetooth を使用して電話機が Model Y に接続され (Bluetooth ページ 58 を参照)、電話の連絡先にアクセスが許可されると (連絡先と通話履歴のインポート ページ 58 を参照)、電話アプリを使用して、電話に登録されている連絡先を表示して、ハンズフリーで電話をかけることができます。

- **通話:** 通話の履歴が時系列順で表示され、最新の通話が最初に表示されます。
- **メッセージ:** メッセージが時系列順で表示され、最新のメッセージが最初に表示されます。テキストメッセージを表示、送信および受信することができます。テキストメッセージを入力する代わりに、ハンドルの右側にあるマイク ボタンにタッチして音声入力します。

警告: ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はテキストメッセージを確認したり送信したりしないでください。走行中は常に道路状況や交通状況に注意を払ってください。

- **「連絡先」:** 連絡先は、アルファベット順で掲載されており、名前または姓でソートできます。また、リストの右側にある文字を選択して、選択した文字で始まる名前にすばやくスクロールすることもできます。連絡先リスト上の名前をタッチすると、連絡先の利用可能な電話番号が、その他の利用可能な情報 (住所など) とともに右側のペインに表示されます。連絡先の電話番号をタッチして電話をかけます。
- **お気に入り:** お気に入りに指定した、電話機の中の連絡先を表示します。
- **カレンダー:** 電話からのカレンダー エントリーを表示します (カレンダー ページ 60 参照)。エントリーに電話番号や住所が含まれている場合、そのカレンダー エントリーの該当する情報にタッチして、電話をかけたり、目的地までのナビをしたりすることができます。

電話をかける

以下の方法で電話をかけることができます。

- 音声コマンドの入力 (音声コマンド ページ 16 を参照)。音声コマンドは、連絡先に電話を掛けたり、テキスト送信するための便利なハンズフリー手段です。
- 電話アプリのリストに表示される電話番号にタッチする - 連絡先、通話、カレンダー。
- 電話アプリで Model Y のオンスクリーン ダイアラーを使用。

注: 安全上および法令上に問題がない場合は、電話機で直接番号をダイヤルするか、連絡先を選択することによって電話をかけることもできます。

注: 地図上のピンに触れ、ポップアップ ウィンドウで電話番号を選択することにより電話をかけることもできます (利用可能な場合)。

電話に応答する

電話機に着信があると、タッチスクリーンに発信者の番号または名前が表示されます (発信者が連絡先リストに含まれていて、Model Y がその連絡先へアクセスできる場合)。

タッチスクリーンのオプションにタッチして、電話に「応答」するか、または「無視」するかを選択します。使用している電話と最新の通話に使用したスピーカーによっては、着信コールに使用したいスピーカーを選択するように求めるメッセージが表示されることがあります。

警告: 道路の状況に常に注意して運転してください。Bluetooth をオンにした状態でも、運転中の携帯電話の使用やプログラミングは深刻な怪我や死亡につながります。

警告: テキスト送信の使用禁止やハンズフリーの使用義務など、運転中の電話の使用に関して適用されるすべての法規に常に従ってください。

通話中オプション

通話中は、タッチスクリーンにその通話が表示されます。通話音量を調節するには、通話中に左スクロール ボタンを回します。左スクロール ボタンを左に倒すとミュート/ミュート解除になり、右に倒すと通話を終了します。

カレンダー



カレンダーには、スマートフォン (iPhone® または Android™) のカレンダーから送信された当日および翌日分の予定が表示されます。カレンダーは電話アプリに便利に統合されており、カレンダーの予定からミーティングに参加することができます。また、ナビゲーションシステムにも統合されているのでイベントの場所へ移動することができます。

1. 電話が Model Y とペアリングされていることを確認します。
2. Tesla モバイル アプリにログインしていることを確認します。
3. Tesla モバイル アプリで、「プロフィール」 > 「設定」 > 「カレンダー同期」の順にタッチします。

注: カレンダー アプリのすべての機能を利用できるようにするには、モバイル アプリの最新バージョンを使用することを推奨します。

4. 電話機かで、「設定」に移動し、Tesla モバイル アプリとカレンダーを共有するためのアクセスを許可します。そうすれば、カレンダーのデータがスマートフォンから Model Y へ定期的 (かつ自動的に) に送られるようになります。

カレンダー イベントに住所が含まれている場合は矢印が表示されます。住所にタッチすることで、そのイベントの場所までのナビゲーションを行わせることができます。





イベント毎に住所が指定されていて、乗車して運転の準備をしてから2時間以内にイベントが始まる場合、Model Yは自動でイベントの住所に経路を指定します（[オートナビゲーションページ 163](#) 参照）。

予定の情報アイコンにタッチすれば、その予定に関する情報が表示されます。メモに1つ以上の電話番号が含まれている場合、情報アイコンに電話のアイコンが表示され、カレンダーには1番目に検出された電話番号が表示されます。タッチして通話を開始します。予定にあるメモのポップアップウィンドウ内の任意の電話番号をタッチしても通話を開始することができます（これは特に電話会議の通話に便利です）。メモにウェブリンクが含まれている場合、リンクにタッチするとウェブブラウザで開くことができます。

ズーム



車両のタッチスクリーンからシームレスにミーティングを開催し通話します。設定するには Zoom アプリにタッチしてサインインするか、ミーティングの ID を入力します。カレンダーに表示されているミーティングにアクセスすることや、Zoom のリンクにタッチしてテキストメッセージでアクセスすることもできます。Model Y がパーキングにシフトしているときに限れば、車両のキャビンカメラを使用して通話することもできます。Zoom で通話中にパーキング以外に車両をシフトさせると、キャビンカメラはオフになり、音声だけの通話に切り替わります。タッチスクリーンを使用して、映像のオン/オフ、ミュート/ミュート解除を切り替え、ミーティングのさまざまな設定をカスタマイズすることができます。

-  **警告:** 車両を公道上で「一時的に駐車」している（車両を縁石にそって、または駐車スポットに指定されていないところに、駐車しているなど）場合は、動画機能を使用しないでください。
-  **警告:** 周囲に注意を払い、ハンズフリー操作の義務など、運転中の電話の使用に関して適用されるすべての法規に常に従ってください。

myQ



装備されている場合、Model Y は myQ® スマート ガレージにインテリジェントに接続できます。

myQ は、Model Y とシームレスに連動するスマート ガレージ コントロール システムで、車両のタッチスクリーンまたはペアリングした電話機からガレージ ドアを遠隔監視および制御することができます。これは、ガレージ ドアを閉め忘れたときや、友人や家族を中に入れたいとき、遠隔操作で開閉したいとき（荷物を受け取る時など）に便利です。myQ と Model Y をリンクすることで、ガレージ ドアは近くにあるあなたの車両を検知し、それに合わせて自動的に開閉することができます。

次の手順に従って車両で myQ を設定してください。

1. ガレージ ドアが myQ をサポートしている必要があります。myQ 互換性ツール (<https://www.myq.com/app/myq-compatibility>) を使用して判定してください。
2. ガレージが Wi-Fi 接続できることを確認します。myQ は Wi-Fi を使用してスマートフォンおよび車両と通信します。一部のガレージには、ハブに Wi-Fi や myQ の記号が付きます。車両からガレージを操作し監視するには、そのガレージに強い Wi-Fi 信号がある必要があります。
注: ガレージに互換性がない場合、外付けの myQ ハブを購入して、この機能を利用することができます。
3. スマートフォンのアプリ ストアから myQ アプリをダウンロードします。このアプリを使用してアカウント情報を設定し、ガレージをスマートフォンにペアリングします。myQ を使用するためには、有料契約が必要であり、アプリから購入できます。
4. 車両が最新のソフトウェア バージョンを実行しており、Wi-Fi または LTE 接続があることを確認します。
5. タッチスクリーンの上部にあるガレージ アイコンにタッチするか、「コントロール」>「ロック」>「myQ 接続済みのガレージ」>「アカウントをリンク」の順にから指示に従ってガレージを Model Y にペアリングします。ペアリングが完了すると、ガレージの監視および操作がタッチスクリーンでできるようになり、さらに myQ をカスタマイズすることもできます。

詳細情報、質問、またはトラブルシューティングの支援については、www.myq.com/Tesla にアクセスしてください。

HomeLink ユニバーサル トランシーバ



HomeLink® ユニバーサル トランシーバが装備されている場合、ガレージ ドア、ゲート、ライト、セキュリティ システムなどの無線周波 (RF) 装置を最大 3 台まで操作することができます。

注: 製造日、販売地域および購入時に選んだオプションによって、HomeLink ユニバーサル トランシーバが装備されていない車両もあります。

警告: HomeLink ユニバーサル トランシーバは、安全停止とリバース機能の無い機器には使用しないでください。上記の安全機能を装備していない機器の開閉装置を使用すると、けがや死亡事故を引き起こす危険性が大きくなります。

対応しているモード

HomeLink は、車両と RF 機器との通信方法に応じて 3 種類の送信モードに対応します。送信モードの選択は対応する RF 機器により異なります。

- **標準モード:** RF 機器にリモコンが装備されている場合は標準モードを使用します。この場合、必ずリモコンを使用して機器を操作する必要があります（例、ガレージドアの遠隔操作など）。このモードはホームリンク デバイスに対して最も一般的に使用される送信モードです。
- **D モードまたは UR モード:** RF 機器にリモコンが装備されていない場合は、D モードまたは UR モードを使用します。この場合、受信機には「Learn」ボタンがあります（「Program」または「Smart」となっている場合もあります）。Model Y がリモート コントロールとは対照的にデバイスの受信機と直接通信する点においては、D モードと UR モードは同様に機能します。

注: D モードは主に北米で使用されているもので、欧州、中東、アジア地域では UR モードが一般的に使用されています。デバイスが互換性を持っているモードを確認するには、www.homelink.com にアクセスするか 1-800-355-3515 に電話して HomeLink に連絡してください。

機器はそれぞれ異なるモードで設定できます。たとえば、ガレージのドアを標準モードに設定したり、正面玄関を D モードに設定したりできます。送信モードを変更するには、**コントロール**画面の上部にある HomeLink アイコンをタッチして変更したい機器を選択します。機器を選択したら、**プログラム**を選択して機器で使いたいモードを選択します。**設定モード**をタッチして設定を確認し、画面に表示される指示に従います。

年式の古い車両の場合、ある 1 つの機器のモードを変更するとその他すべての機器のモードが変更されるため送信モードを変更する場合はご注意ください。選択したモードに対応していない機器は動作しない場合があります。タッチスクリーンの上にある HomeLink アイコンにタッチしてから、「**送信モードの変更**」にタッチします。

注: HomeLink デバイスの製品情報を確認して、どのモードがデバイスに対応しているか確認します。

HomeLink のプログラミング

HomeLink®をプログラムする:

1. フロントのバンパーがプログラム対象のデバイスの正面にくるように Model Y を駐車します。



注意: プログラミング中は、デバイスが開いたり閉じたりします。そのため、プログラミングをする前に、デバイスの周辺に人や物がいないことを確認してください。

2. デバイスのリモコンに良好な状態の電池が入っていることを確認します。Tesla では、HomeLink のプログラミングを実施する前に、デバイスのリモートコントロールのバッテリーを交換することを推奨しています。
3. **コントロール**画面の上部にある HomeLink アイコンをタップします。
4. **「Homelink を作成」** にタッチします。
5. HomeLink 画面でデバイスの名称を入力し **「Enter」** または **「新しい HomeLink を追加」** をタッチします。
6. 使用するモード（標準、D モードまたは UR モード）を選択し、**「設定モード」** をタッチします。
7. **「開始」** にタッチしてから、スクリーン上の指示に従います。
注: デバイスのプログラミング中に「受信機を記憶させる」という画面になったら、これが時間的制約のある場面であることを意識してください。デバイスのリモコンの Learn/Program/Smart ボタンを押した後、わずか約 30 秒の間に車に戻って、**「続行」** を押し、次に記憶させたホームリンクデバイスの名前を 2 回押してください。この作業を 30 秒以内に確実に完了できるようにするために、アシスタントを用意することを検討してください。
8. デバイスがプログラムされたら、**「保存」** をタッチしてプログラミングを完了します。
9. ホームリンクが正しく動作することを確認してください。場合によっては、次に進む前にプログラミング処理を複数回繰り返す必要があります。

プログラムすると、タッチスクリーンの該当する HomeLink アイコンにタッチすることでデバイスを操作することができます。HomeLink はプログラムしたデバイスの場所を記憶します。既知の場所に近づくと、タッチスクリーン上に HomeLink のコントロールが自動的に表示されます。走行して離れていくと、消えます。

注: Model Y が通信距離内にプログラミングされた HomeLink デバイスを検出し、タッチスクリーンに HomeLink の画面またはポップアップがまだ表示されていない場合、タッチスクリーンの上部に HomeLink アイコンが表示されます。

注: ご不明な点や互換性に関する質問がある場合には、HomeLink までお問合せください (www.homelink.com または、1-800-355-3515 までお電話してください)。

自動開閉

タッチスクリーンを使用せずにホームリンク機器を動作させるために、近づいたら開く、離れると閉じるように機器を設定できます。

1. **「コントロール」**画面の上部にある HomeLink アイコンにタッチしてから、**「Homelink 設定」** にタッチして自動に設定したい機器を選択します。
2. 必要に応じ、次のようにしてデバイスの Homelink 設定を調整します

- 近づいた時にデバイスが開くようにしたい場合、**「到着時に自動的に開く」** チェックボックスを選択します。
- 矢印にタッチして、機器が自動的に開く際の Model Y までの距離を指定します。
- 車が離れたら機器が閉じるように設定したい場合は、**「出発時に自動的に閉じる」** チェックボックスを選択します。
- Homelink の位置に到着したときにミラーをたたみたい場合は、**「自動格納式ミラー」** チェックボックスを選択します。これは狭い車庫で有効です。
- デバイスを自動的に開閉する信号が送信されると、Model Y がチャイムを鳴らすようにしたい場合、**「自動開閉時のチャイムを有効にする」** チェックボックスを選択します。

HomeLink は、ペアリング時の車両の GPS 位置を記憶しており、これに基づいて HomeLink デバイスと車両の位置関係を確認します。HomeLink は、ドアの開閉状態の検知および区別を行ってならず（例：オートオープンがトリガーされたとき、ドアがすでに開いている場合、ドアは閉じます）、通常、以下に基づいてオートオープンかオートクローズかを判断します。

オートオープン: Model Y が、ガレージ ドア（または他の HomeLink デバイス）の指定距離内に近づくと検出します。オートオープンは、接近する車両のギアがドライブに入っていて、HomeLink が有効になっている場合に限り開始されます。HomeLink は、車両がすでにそのエリアにいる場合は作動しません。

オートクローズ: HomeLink は、Model Y がパーキングからリバースにシフトし、リバースで 23 フィート（7 メートル）以上移動すると作動します。

注: 指定距離内で何度もギアチェンジを行うと、オートクローズが正常に機能しない場合があります。

機器に自動的に開閉を行わせたくない場合は、カウントダウンが終了する前に **「自動開閉をしない (Skip Auto-Open)」** または **「自動開閉をしない (Skip Auto-Close)」** を押してください。

注: デバイスが完全に閉じられていることを確認する際はホームリンクを信用しないでください。

HomeLink 機器の場所をリセットする

ホームリンク機器に近づいた時に機器が開かない場合や、プログラミングされた機器に近づいてもタッチスクリーンに告知が表示されない場合は、機器の場所をリセットする必要があります。リセットするには、HomeLink 機器（ガレージ ドアやゲートなど）のできるだけ近くに車を止め、**「コントロール」**画面の上部にある Homelink アイコンにタッチして HomeLink 設定ページを表示します。リセットしたい機器の名前にタッチしてから、**「ロケーションをリセットする」** にタッチします。

デバイスの削除

HomeLink 機器を削除するには、**「コントロール」**画面上部にある Homelink アイコンをタッチしてから **「HomeLink 設定」** をタッチします。削除したい機器の名前をタッチして、**「削除する」** をタッチします。

注:工場出荷時のリセットを実行して、他のすべての個人データ（保存されたアドレス、音楽のお気に入り、インポートされた連絡先など）と一緒に、ホームリンクの設定を消去することもできます。工場リセットによる個人データの消去 ページ 8 を参照してください。

注:万が一ご自身の Model Y を売却する場合には、安全上の理由により、お使いの HomeLink デバイスを削除してください。

- 多くの受信機の記憶モードは、3分～5分間持続します。デバイスの「Learn/Program/Smart」ボタンを押した直後に、車両のタッチスクリーンに表示される指示に従ってください。

ご不明な点や互換性に関する質問がある場合には、HomeLink までお問合せください (www.homelink.com または、1-800-355-3515 までお電話してください)。

HomeLink のトラブルシューティング

標準モード

標準モードでは、Model Y はホームリンク デバイスのリモコンが発信する RF 信号を記録します。タッチスクリーンの指示に従って車の前に立ち、デバイスのリモコンをフロントバンパーに向け、ヘッドライトが点滅するまでボタンを押したままにします。ヘッドライトが点滅したら Model Y はリモコンを記憶していますので、タッチスクリーンの「続行」にタッチすることができます。ヘッドライトが点滅しない場合は次のようにしてください。

- リモコンの電池を点検します。プログラミングを開始する前にバッテリーを交換することをお勧めします。
- Model Y の前面に立ち、デバイスのリモコンをテスラ エンブレムからの 2 インチ (5 cm) 以内に配置します。
- ヘッドライトが点滅するまで、デバイスのリモコンのボタンを長押しします。場合によっては、リモコンのボタンを最長 3 分押し続ける必要があります。

注:一部のホームリンクのリモコンでは、1 回長押しする代わりに、短く複数回 (1 秒に 1 回程度) リモコンを押すことが必要となる場合があります。長押しを数回試みてもうまくいかない場合は、毎秒 1 回程度で繰り返し押ししてみてください。

D モードおよび UR モード

D モードおよび UR モードにすると、機器の受信機が Model Y を記憶します。タッチスクリーンで、機器の受信機にある「Learn」ボタンを押すよう指示があります（「Program」または「Smart」となっている場合もあります）。動作しない場合は、以下のガイドラインを参照してください。

- プログラムを試みるガレージドア、ゲートなどにはできるだけバンパーを近づけて Model Y を駐車します。
- 受信機の「Learn/Program/Smart」ボタンを確実に押します。受信機を記憶モードにする方法については、プログラムしたい RF 機器に付属される製品説明書を参照してください。
- デバイスのプログラミング中に「受信機を訓練」という画面になった場合、その操作には時間制限があることにご注意ください。デバイスのリモコンまたは受信機の Learn/Program/Smart ボタンを押した後、わずか約 30 秒の間に車に戻って、「続行」を押し、次に訓練したホームリンク デバイスの名前を 2 回押ししてください。以下の手順を他の人に手伝ってもらってください。



運転を開始

Model Y に乗車するためにドアを開くと、タッチスクリーンの電源がオンになり、すべてのコントロールを操作できます。Model Y を運転する：

1. **ブレーキペダルを踏む** - Model Y の電源が入り、運転できるようになります。
2. **ギアを選択する** - シフトレバーをドライブまたはリバースにします ([ギアシフト ページ 70](#) 参照)。

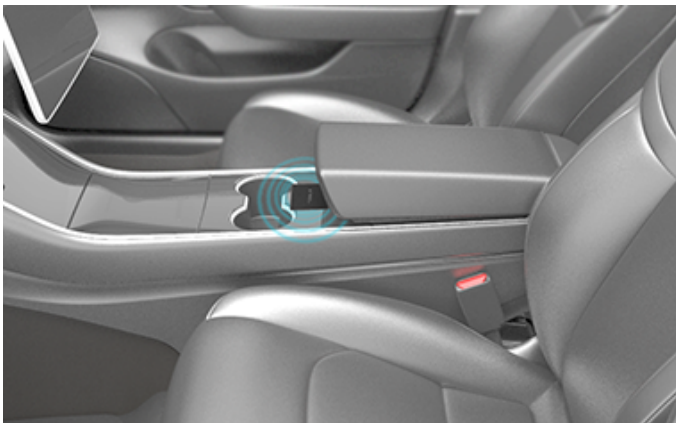
注: 「ドライブ用 PIN」の機能が有効になっている場合 ([ドライブ用 PIN ページ 144](#) を参照)、Model Y を運転可能にするには、タッチスクリーンで有効な PIN を入力する必要があります。

Model Y の運転に必要な事項はすべてタッチスクリーンに表示されます。

ドライブが無効 - 認証が必要です

ブレーキを踏んだときに Model Y がキーを検出しない場合 (キーフォブまたは電話キーが検出されないか、またはキーカードを使用してから 2 分が経過した場合) は、運転するには認証が必要であることを知らせるメッセージがタッチスクリーンに表示されます。

このメッセージが表示されたら、カップホルダーの背後の RFID トランスミッターが読み取れる場所にキーカードを置いてください。2 分間の認証期間が再開され、ブレーキペダルを踏むことで Model Y を開始できます。



Model Y が電話キーまたはキーフォブを検出できるかどうかは、さまざまな要因 (デバイスのバッテリー残量の低下、バッテリー切れ、Bluetooth 通信不可など) に影響されます。

電話キー、キーフォブ、キーカードは常に携帯してください。運転終了後も、Model Y を停止してから再始動するときにはキーが必要です。また、Model Y から降車後、Model Y を手動または自動でロックするときにもキーが必要です。

停止

目的地に着いたら、ドライブストック端のボタンを押してギアをパーキングに切り換えます。電話キーまたはキーフォブを持って Model Y から離れると、その時点で自動的に電源がオフになり、タッチスクリーンもオフになります。

Model Y また、運転席に座っていても、ギアをパーキングに切り換えて 30 分が経過すると自動的に電源がオフになります。

通常は必要な操作ではありませんが、車両が動いていなければ運転席に座ったまま手動で Model Y の電源をオフにすることもできます。「コントロール」 > 「安全」 > 「電源オフ」の順にタッチします。Model Y ブレーキを踏むか、タッチスクリーンをタッチすると、自動的に電源がオンになります。

注: Model Y 乗客が車両から降りたこと (例えば、運転席シートベルトが装着されておらず、車両がほぼ停止している) を検知すると自動的にパーキングにシフトします。ニュートラルにシフトする場合、ドアを開けて車から降りると Model Y はパーキングにシフトします。Model Y をニュートラルで維持するには、輸送モードを有効にする必要があります ([車両輸送者向け注意事項 ページ 226](#) を参照)。

車両でパワーサイクリングを行う

異常な挙動を示す場合や、意味のない警告が表示される場合、Model Y の電源を入れ直すことができます。

注: タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示している場合は、車両の電源を再投入する前にタッチスクリーン再起動してください ([タッチスクリーンの再起動 ページ 7](#) を参照)。

1. パーキングにシフトします。
2. タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「安全」 > 「電源オフ」の順にタッチします。
3. 車両のどこにも触らないようにして、最低 2 分程度待ちます。ドアを開けたり、ブレーキペダルを踏んだり、タッチスクリーンを操作したりしないでください。
4. 2 分後、ブレーキペダルを踏むか、ドアを開けて車両を起動します。

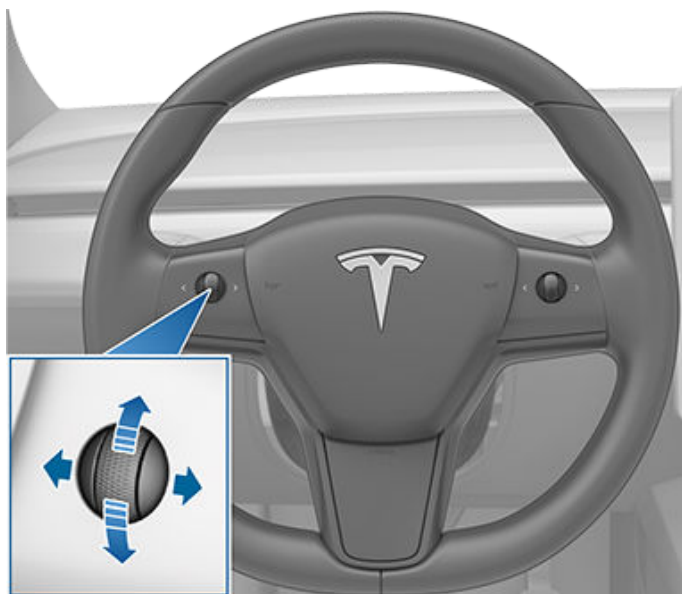
ハンドル位置の調整

ハンドルを調整するには、「コントロール」にタッチしてから「ステアリング」アイコンをタッチします。

ハンドルの左スクロール ボタンを使用して、ハンドルを最適な位置に調整します。

- ハンドルの高さ/傾きを調整するには、左スクロール ボタンを上下に動かします。
- ハンドルを自分に寄せたり、自分から離したりするには、左スクロール ボタンを左右に動かします。

また、左スクロールボタンで制御する項目（空調やダッシュカムの状態など）をカスタマイズすることもできます。カスタマイズするには、左スクロールボタンを押したまま タッチスクリーンのメニューに移動します。



警告: 運転中にハンドルを調整しないでください。

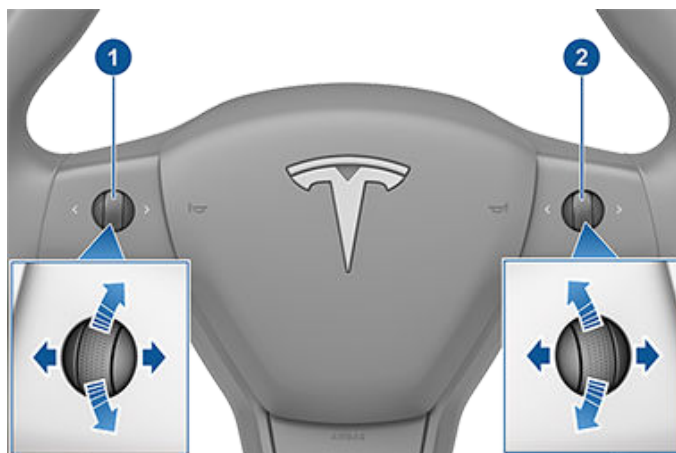
ハンドルの重みの調整

ステアリングシステムの感触と感度をお好みに合わせて調整できます。

1. タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「ダイナミクス」 > 「ハンドルの重み」の順にタッチします。
2. ステアリングのオプションを選択します。
 - 「軽い」: ハンドルを楽に回せます。この設定にすると、市街地での Model Y の運転と駐車が容易になります。
 - 「中間」: ほとんどの条件で最適な操作性と応答性が得られる Tesla が推奨する設定です。
 - 「重い」: ハンドルを回すのに必要な力が増します。高速で運転する際に Model Y の応答性がよくなります。

スクロール ボタン

スクロール ボタンはハンドルの両側にあります。親指を使って、このボタンを右または左に押します。また、このボタンを上から押したり、上下に回すこともできます。



1. 左スクロールボタンを使用して:

- 音量をコントロールします。スクロール ボタンを押して音量をミュート/ミュート解除したり、スクロール ボタンを上に戻して音量を上げ、下に戻して音量を下げたりします。

注: スクロール ボタンは、使用中のメディア、ナビゲーション指示、または電話通話の音量を調整します。メディア、ナビゲーション、電話のいずれかの音量を調整すると、タッチスクリーンに音量レベルが表示されます。

- スクロール ボタンを右に押すと、再生しているコンテンツに応じて、次の曲、ラジオ局、またはお気に入りの曲に移動します。スクロール ボタンを左に押すと、1つ前のページに戻ります。
- 外側ミラーの位置を調整します（外側ミラーの調整 ページ 68 を参照）。
- ハンドルの位置を調節します（ハンドル位置の調整 ページ 66 を参照）。
- ヘッドライトの角度を調整します（ヘッドライトの調整 ページ 73 を参照）。

2. 右スクロールボタンを使用して:

- 音声コマンドを発話します。ボタンを押して音声コマンドを起動します（音声コマンド ページ 16 を参照）。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用して、設定速度、そして維持したい先行車両との車間距離を調整します（トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 104 を参照）。または、フルセルフドライビング（監視付き）が有効な場合、フルセルフドライビング（監視付き）のプロフィールを「コンフォート」「平均値」「積極的」の間で切り替えます（フルセルフドライビング（監視付き） ページ 120 を参照）。

注: スクロール ボタンに関連付けられた矢印は、周囲が暗くなるとバックライトが点灯します。このバックライトをオンまたはオフにするには、「コントロール」 > 「ライト」 > 「ハンドルライト」の順にタッチしてください。



タッチスクリーンを再起動するには、タッチスクリーンが暗くなるまで両方のスクロールボタンを長押しします。[タッチスクリーンの再起動 ページ 7](#) を参照してください。

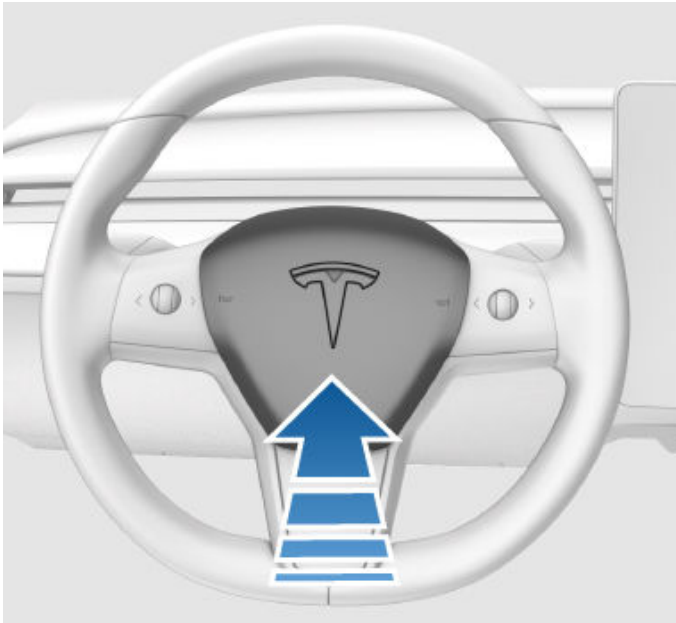
ヒートッド ステアリング ホイール

ハンドルを温めるには、タッチスクリーンのファン アイコンにタッチして空調（[空調設定の調整 ページ 151](#) を参照）を表示してから、ハンドル アイコンにタッチします。オンにすると、輻射熱でハンドルを快適な温度に保ちます。

注: 製造日によっては、お客様の Model Y にはハンドル ヒーターが装備されていない場合があります。

クラクション

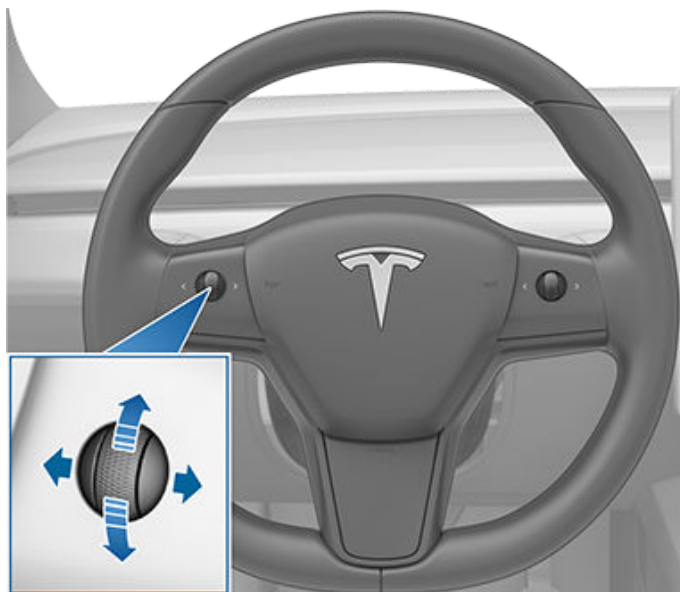
クラクションを鳴らすには、ハンドル中央のパッドを押し続けます。



外側ミラーの調整

「コントロール」>「ミラー」の順にタッチして、エクステリアミラーを調整します。ハンドルの左スクロールボタンを押して「左」と「右」のどちらのミラーを調整するのかが選択します。次に左スクロールボタンを以下のように使用して、選択したミラーを最適な位置に調整します。

- ミラーを上下に動かすには、左スクロールボタンを上下に動かしてください。
- ミラーを内側または外側に動かすには、左スクロールボタンを左右に押します。



車両をリバースにシフトすると、両方の外側ミラーを自動的に下向きに傾けることができます。この機能のオンまたはオフを行うには、「コントロール」>「ミラー」>「ミラー角度自動調節」の順にタッチします。オートチルト位置を調整するには、「チルト位置の調整」をタッチし、必要に応じてミラーを調整してください。チルト位置を調整し「保存」をタッチすると、リバースにシフトするたびにミラーが設定された位置に自動で傾きます。ギアをリバース以外に戻すと、ミラーの角度はまた通常の位置（上方）へ戻ります。チルト位置を調整するには、「ミラー角度自動調節」を有効にする必要があります。

夜間運転の際のまぶしさを減少させるため、リアビューミラーおよびサイドミラーは自動的に減光します。この機能を有効または無効にするには、「コントロール」>「ミラー」>「ミラー自動防眩」の順にタッチします。

「ミラー自動防眩」機能は、構成、販売地域および製造日によって利用できない場合があります。

注: また、どちらのミラーも、リアウィンドウデフロスターとあわせてオン/オフになるヒーターを備えています。

格納式ミラー

(狭い車庫やスペースの少ない場所に駐車する場合などに) ドアミラーを操作して格納および展開するには「コントロール」>「ミラーを格納/展開」の順にタッチします。左側のスクロールホイールの多機能操作を使用して、ミラーを折りたたんだり元に戻したりすることもできます。

ミラーを操作して格納した場合、走行速度が 31 mph (50 km/h) に達しない限り (または「コントロール」>「ミラーを展開」にタッチしてミラーを操作して展開しない限り) ミラーは格納されたままになります。

注: 走行速度が 31 mph (50 km/h) を超えている場合、ミラーを格納することはできません。

降車して Model Y をロックしたときにミラーを自動的に格納するように設定するには、「コントロール」>「ミラー」>「ミラー自動格納」の順にタッチします。Model Y をロック解除するとミラーが自動的に展開します。

また、指定した場所に来るとミラーを自動的に格納するように設定することもでき、頻繁に訪れる場所でその都度操作して格納する必要がなくなります。設定をするには、保存したい場所で停車 (または 3 mph (6 km/h) 未満で走行) し、ミラーを格納します。ミラーを格納コントロールに短時間表示された時、**ロケーションを保存する**をタッチします。

ミラーを自動で格納したくない場合は、ミラーが自動で格納する場所で「コントロール」>「ミラーを展開」をタッチして、「ロケーションの削除」をタッチします。

保存済みの場所から離れる場合、走行速度が 3 mph (6 km/h) に達するか、または、「コントロール」>「ミラーを展開」の順にタッチするまでミラーは格納されたままになります。

注: 保存した場所に戻り、50 km/h 未満で走行している場合、ミラーを自動的に格納することができます。

注: ミラーの自動格納/展開は、いつでも (例えば Model Y に電力がない場合でも) ミラーアセンブリを奥へ押し込むと展開され、手前に引くと格納されて、無効にすることができます。

注: Model Y を駐車している間に着氷することが予測される場合は「ミラー自動格納」をオフにしてください。着氷により、サイドミラーの展開、格納ができなくなる場合があります。寒冷時にミラーを正しく動作させる方法については、**寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 157** を参照してください。

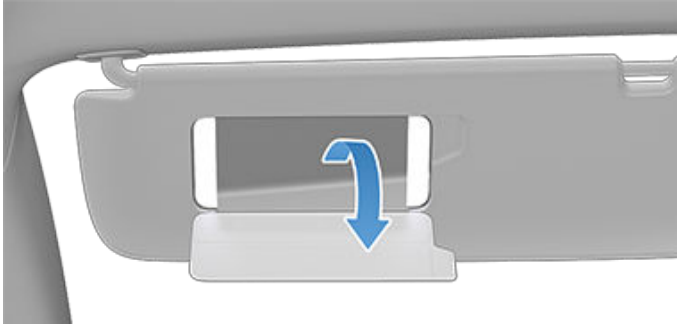
自動格納ミラーを HomeLink にリンクさせることができます (スマートガレージ ページ 62 を参照)。オンにするには、「HomeLink」>「近くに来たらミラーを自動格納する」の順にタッチします。

バックミラー

バックミラーを操作して調整します。ドライブまたはニュートラルにシフトされているとき、バックミラーは時刻に基づき低照明では周囲の明るさに合わせて自動的に暗くなります (夜間の走行時など)。

バニティ ミラー

バニティミラーを出して点灯させるには、サンバイザーを手前に折り畳み、タブを使用してミラーカバーを下ろします。ミラーカバーを閉じると、ライトが消灯します。



ギアシフト

シフト方法

Model Y がパーキングにシフトしている場合、シフト変更するにはブレーキペダルを踏む必要があります。

シフトレバーを上下に動かすと、違うドライブモードにシフトします。ギアシフトのたびにチャイムが鳴ります。



現在の走行速度では禁止されているシフトを試みると、チャイムが鳴り、ドライブモードは変更されません。

ギアシフト時のチャイム音を無効にしたい場合は、「コントロール」 > 「安全」 > 「ギアチャイム」の順にタッチします。

リバース

レバーを一番上まで押し上げて、離します。リバースへのシフトは Model Y が停止状態かまたは走行速度が時速 5 mph (8 km/h) 未満の場合にのみ行うことができます。

ニュートラル

ブレーキを踏んでいないときにニュートラルにシフトすると、Model Y は自由に動ける状態になります。

- パーキングにシフトしている場合、ドライブレバーを上または下に短く押して最初の位置にすると、ニュートラルにシフトします。
- ドライブにシフトしている場合、ドライブレバーを上短く押して最初の位置にすると、ニュートラルにシフトします。オートステアリングやトラフィックアウェアクルーズコントロール（装備されている場合）が起動している場合、シフトレバーを上短く押して最初のポジションにシフトして、そこで 1 秒以上保持します。これで、オートステアリングまたはトラフィックアウェアクルーズコントロールが無効になります。

- リバースにシフトしている場合、ドライブレバーを下に短く押して最初の位置にすると、ニュートラルにシフトします。

注: 5 mph (8 km/h) 前後より低速で走行中にニュートラルポジションからシフトするには、ブレーキペダルを踏みます。

Model Y 運転席シートを離れると、自動的にギアがパーキングに切り替わります。ニュートラルのままにしておくには、タッチスクリーンで輸送モードにします（[車両輸送者向け注意事項 ページ 226](#) を参照）。

ドライブ

レバーを一番下まで押して、離します。ドライブへのシフトは Model Y が停止状態かまたはリバースに入った状態で、走行速度が時速 5 mph (8 km/h) 未満の場合にのみ行うことができます。

注: ドライブにシフトしている場合、ドライブレバーを 1 回一番下まで押し下げると、トラフィックアウェアクルーズコントロールが作動し、2 回連続して一番下まで押し下げると、オートステアリングが作動します。オートパイロット起動を「一回引く」に設定している場合、ドライブレバーを 1 回引き下げるとオートステアリング（トラフィックアウェアクルーズコントロールを含む）が作動します。「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「オートパイロット作動」にタッチして「二回引く」を選択すると、ドライブレバーを 1 回引き下げたときに、オートステアリングから独立してトラフィックアウェアクルーズコントロールを使用することができます。詳細な情報は、[オートパイロット設定 ページ 104](#) を参照してください。

パーキング

Model Y の停車中にドライブレバー先端を押します。




Model Y 低速走行中に移動しないように自動的にパーキングにシフトします。これは、充電ケーブルを接続した場合、シートベルトを外した場合、またはドライブまたはニュートラルにシフトしているときにドアを開いた場合に発生します。充電ケーブルが取り外されていること、シートベルトを着用していること、ドアが閉まっていることを確認したうえで、パーキングからシフトしてください。


5 mph (8 km/h) よりも高い車速でパーキングブレーキをかけようとすると、緊急ブレーキになります（[緊急ブレーキ操作 ページ 77](#) を参照）。


車両に乗車しやすくするために、シフトレバーをパーキングに入れてから「P」ボタンを再度押し、全てのドアをロック解除することもできます。

注: パーキング ブレーキを解除するにはブレーキペダルを踏みます。

注: 上記の条件は、Model Y が自動的にパーキングに切り替わる、または切り替わらない原因をすべて網羅したものではありません。特定の想定状況においては、上記条件 1 つにでも該当する場合、車両がパーキングに切り替わる可能性があります。

 **注意:** Model Y フロントトランクがしっかりと閉じられていない場合や充電ポートに充電ケーブルが差し込まれているか判断できない場合、「P (パーキング)」以外に切り替わりません。フロントトランクが閉じられていて充電ケーブルが差し込まれていないことを確認し、タッチスクリーン上の指示に従って手順を進めてください。

 **注意:** 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、ドライバーのパーキング ボタンを長押しして Model Y を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

 **警告:** ドライバーは自分で責任を持って、降車する前に必ず車両をパーキングに切り替えてください。ドライバーの代わりに Model Y が自動的にパーキングに切り替えるといってもそれに任せきりにしないでください。すべての状況に対応するものではありません (例: 徐行や傾斜が原因で、車両が約時速 1.5 マイル (時速 2 km) 以上で走行する場合があります)。

ライトの調整



タッチスクリーンで「コントロール」>「ライト」の順にタッチすると、車内と車外の両方のすべてのライトコントロールにアクセスできます。

またウィンカーレバーを手前に引くと、エクステリアライトのクイックアクセスポップアップが表示されます。例えば、(初期設定されているオートハイビームを無効にして)ヘッドライトを継続的に点灯または消灯することができます。ライトのポップアップを使用して、パーキングライトやフォグランプなどを含むすべてのエクステリアライトの設定を調整することができます。この設定は現在の走行の間に限り保持されます。

注: タッチスクリーンにライトのコントロール画面が既に表示されている場合、ウィンカーレバーを引いても、クイックアクセスポップアップは表示されません。

Model Yは、タッチスクリーンから調整できるライト類のほか、ドライバーの操作に応じて自動的に作動する便利なライト類を備えています。たとえば、周囲が薄暗いとき、ルームライト、標識灯、テールランプ、およびパドルランプは、Model Yのロックを解除したとき、ドアを開けたとき、パーキングにシフトしたときに点灯します。これらはModel Yをシフトまたはロックしてから1~2分後に消灯します。以下の設定では、エクステリアライトとインテリアライトを制御します。

ヘッドライト

Model Yを起動するたびにエクステリアライト(ヘッドライト、テールライト、サイドマーカーライト、パーキングライト、ナンバープレートライト)は「自動」に設定されます。「自動」に設定すると、周囲が暗くなったときや、ワイパーを作動させたときに、エクステリアライトが自動的に点灯します。この設定を変更した場合、ライトは次に運転する際に「自動」設定に戻ります。

これらのオプションのどれかにタッチすると、エクステリアライトの設定が変更され、もう一度調整するか、次回運転するまでその設定を維持します。

- **オフ:** エクステリアライトは消灯します。走行すると、各販売地域の法律に応じて、デイトタイムランニングライトが点灯したままになる場合があります。
- **パーキング:** パーキングランプ、側面標識灯、テールランプ、ナンバープレートランプが点灯します。
- **オン:** ロービームヘッドライト、側面標識灯、パーキングライト、ライセンスプレートナンバーが点灯します。

注: Model Y「シグネチャー」ライトと呼ばれるヘッドライトのリムにあるLEDライトがあります。これらのライトは、Model Yの電源がオンになり、ドライブモード(ドライブまたはリバース)になった時点で自動的に点灯します。

⚠️ 注意: デイトタイムランニングライトがオンになっているときは、後部テールライトがオフになります。後部ライトは、後方の視認性が低い条件では(例えば暗い場所、霧、雪、あるいは道がぬれているなど)必ずオンにしてください。確認を怠ると、損傷や深刻な大けがにつながる可能性があります。

⚠️ 警告: 視界が悪い時には必ずヘッドライトを点灯させてください。これを怠ると、衝突事故につながる危険があります。

フォグランプ

フォグランプには別途コントロールが設けられています(装備されている場合)。オンになっている場合、視界が悪くなるとフォグランプが点灯します。ヘッドライトが消灯しているときは、フォグランプも消灯します。

ドームライト

ルームライト(マップ)をオンまたはオフにします。「自動」に設定すると、応援されるModel Yのロックを解除したとき、これまで同様にドアを開けたとき、またはパーキングにシフトしたときに、インテリアルームライトが点灯します。



ルームライトのレンズを押すと、それぞれのルームライトをオン/オフすることができます。手動でルームライトをオンにすると、Model Yの電源がオフになったときにルームライトが消灯します。手動でライトを点灯させたとき、すでにModel Yの電源がオフになっていた場合、最終的には消灯します。

注: ハンドルのスクロールボタンのバックライトをコントロールするには、「コントロール」>「ライト」>「ハンドルライト」の順にタッチします。オンの場合、ヘッドライトが点灯しているときは必ず点灯します。

アンビエントライト

有効にすると、ヘッドライトを点灯しているときは常に車内のアンビエントライト(装備されている場合)が点灯します。

ハンドルライト

「ハンドルライト」をオンにすると、周囲が暗いときにスクロールボタンの矢印のバックライトが点灯します。

読書灯

2列シートには読書灯が2箇所(それぞれドア上側とコートハンガーの横)に取り付けられています(コートハンガーページ32を参照)。読書灯のレンズを押すと、それぞれのライトをON/OFFにすることができます。読書灯は、Model Yの電源を切ると自動的に消灯します。

ハイビーム ヘッドライト

ウィンカー レバーを手前に引くと、ハイビームを一時的に点灯させることができます。レバーを離すと、ハイビーム ヘッドライトが消灯します。

ハイビーム ヘッドライトをパッシングさせるには、ウィンカー レバーを手前に引いてすぐに離します。

初期設定では、**アダプティブ ヘッドライト**が有効になっており、Model Y の前方に（例えば対向車などの）ライトを検知すると、自動的にハイビーム ヘッドライトをロービームに切り替えます。



注: 選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

ヘッドライトの状態を示すために、タッチスクリーンに以下のインジケータライトが表示されます。

ロービーム ヘッドライトが点灯しています。



ハイビーム ヘッドライトがオンで、**アダプティブ ヘッドライト**が無効かまたは利用できない状態。



アダプティブ ヘッドライト が有効でハイビームがオン。Model Y ライトが検出された場合はハイビームをオフにすることが可能。



アダプティブ ヘッドライト はオンですが、Model Y の前方にライトが検出されたためハイビームがオフです。光が検知されなくなるとハイビームは自動的にオンに戻ります。



アダプティブ ヘッドライト

アダプティブ ヘッドライトを有効にすると、Model Y は Model Y の前方にライトを検出しているかどうかに基づいて、ハイビーム ヘッドライトとロービーム ヘッドライトを自動的に切り替えます。

また、ヘッドライトは前方のカーブに合わせて調整され、夜間の視認性が向上します。

この機能を操作するには、「**コントロール**」 > 「**ライト**」 > 「**アダプティブ ヘッドライト**」の順にタッチするか、ウィンカー レバーを手前に引いたときにタッチスクリーンに表示されるライトのポップアップを使用します。

注: **アダプティブ ヘッドライト** はオートステアリングが作動すると自動的に作動します。ロービーム ヘッドライトに切り替えるには、ウィンカー レバーを押し込んでから離します。**アダプティブ ヘッドライト** は、オートステアリングが作動するたびに、再度有効になります。

⚠ 警告: **アダプティブ ヘッドライト** は利便性向上のための機能に過ぎず、動作に制約があります。気象条件や走行状態に合わせて常に適切にヘッドライトを使用することは、ドライバーの責任です。

降車後のヘッドライト

「**降車後のヘッドライト**」をオンにすると、周囲が暗いときに Model Y を停車させてパーキングに入れるとヘッドライトが点灯します。ヘッドライトは、1 分後または Model Y をロックしたときに自動的に消灯します。オフになっていると、パーキングにシフトしてドアを開けた時点でヘッドライトが消灯します。

注: Tesla モバイル アプリまたはキーカードを使用して Model Y をロックすると、ヘッドライトがただちに消灯します。ただし、降車後オートロックが有効になっているために車両がロックされた場合（[降車後オートロック機能 ページ 25](#)を参照）、ヘッドライトは 1 分後に自動的に消灯します。

この機能をオンまたはオフにするには、「**コントロール**」 > 「**ライト**」 > 「**降車後のヘッドライト**」の順にタッチします。

ヘッドライトの調整

ヘッドライトの角度を調整するには、「**コントロール**」 > 「**サービス**」 > 「**ヘッドライトの調整**」の順にタッチし、スクリーンに指示に従ってください。タッチスクリーンから調節したいヘッドライトを選択します。

注: ヘッドライトは、通行車線が異なる地域で一時的に走行している場合(例えば、右側通行地域で運転しており、次に、左側通行地域を走る場合)、調節は必要ありません。

⚠ 警告: ヘッドライトを調整するときは慎重に行ってください。Tesla は、ほとんどの運転状況で最適となるようヘッドライトの位置を慎重に調整しています。このため、ヘッドライトの調整方法を熟知していない限り、ヘッドライトを調整しないでください。一度調整すると、元の位置に復元することができませんのでご注意ください。ヘッドライトを調整する場合は、Tesla までご連絡ください。

ウィンカー

レバー上げ下げの程度に応じて、ウィンカーの点滅は、3回点滅か連続点滅になります。ウィンカーレバーを軽く上下させると3回点滅になります。連続して点灯させるには、レバーを一杯まで上か下に押しします。



ハンドルを操作するか、ウィンカーレバーを反対方向に移動するか、またはレバーを同じ方向に再度軽く押して方向指示をキャンセルすると、ウィンカーの動作が停止します。

「コントロール」>「ライト」>「自動ウィンカー」が「自動キャンセル」に設定されている場合、Model Yが、合流、車線変更、車道の分岐などの操作の完了を検出したとき、ウィンカーが自動的にキャンセルされます。「オートウィンカー」が「オフ」に設定されている場合、ウィンカーレバーを使用して手動でウィンカーをキャンセルする必要があります。



ウィンカーの動作中は、タッチスクリーンの対応するウィンカーのインジケーターが点灯します。Model Y また、クリック音を発します。

- 警告:** トラフィックアウェアクルーズコントロールを能動的に使用しているときに、ウィンカーを操作すると、状況によっては Model Y が加速する原因となります (追い越し加速 ページ 111 参照)。
- 警告:** オートステアリングを能動的に使用している場合、ウィンカーを作動させると Model Y が車線変更する可能性があります (オートステアリング ページ 105 を参照)。

ハザードランプの点滅

ハザードランプを点滅するには、リアビューミラーの上にあるボタンを押します。すべてのハザードランプが点滅します。ボタンをもう一度押してハザードランプを消灯します。



車両が深刻な衝突を検出した場合、ハザードランプが自動的にオンになり、自動的に高速点滅して、視認性を高めます。ハザードランプスイッチを1回押すと、ライトは通常の点滅に戻ります。2回押すとすべてのハザードランプが消灯します。

注: Model Y がキーを検出できないときでもハザードランプは点滅します。

注: Model Y の電源が入っているときはいつでもハザードランプボタンは点灯しています。

ヘッドライトまたはテールライト内の水分

天候の変化、湿度レベル、または水の浸入 (洗車など) により、車両のヘッドライトやテールライトに水分がたまる場合があります。これは正常なことであり、暖かくなったり、湿度が減少すると、ほとんどの場合、水分は自然になくなります。エクステリアレンズに水がたまっていることに気付いた場合や、水分がエクステリアライトの視認性に影響を与えている場合は、Tesla サービスにお問い合わせください。



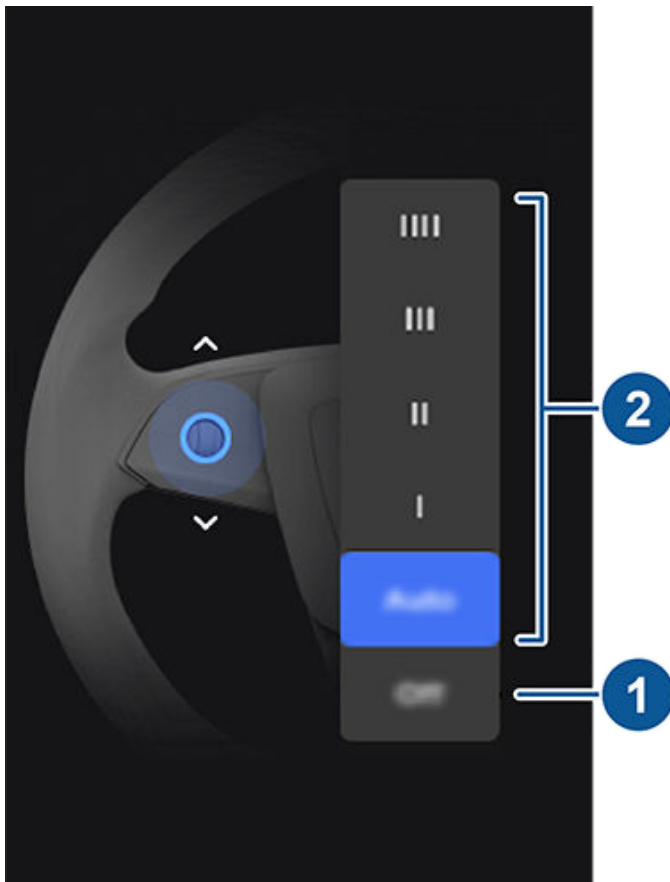
ワイパー

ワイパーの設定にアクセスするには、ウィンカーレバーの端にあるボタンを押すか、「コントロール」>「ワイパー」をタッチします。下部バーにワイパーを追加することもできます（マイアプリをカスタマイズ ページ 6 を参照）。

ウィンカーレバーの先にあるボタンには2つのレベルがあります。

- **軽く押すと**、フロントガラスを拭きます。ワイパーがすでにワイパー設定で動作しており、「自動」に設定されていない場合、ボタンを押すと速度がサイクルで切り替わります。ワイパー速度は以下のサイクルで切り替わります。I>II>III>IIII>III>II>I。
- **完全に押すと**、フロントガラスにウォッシャー液が吹き付けられます。ボタンから手を離れた後、ワイパーはさらに2回動作し、車両および環境的な条件によっては、その後数秒おいてから3回目の動作を行います。ワイパー ボタンを押し続けても、ウォッシャー液を連続して吹き付けることができます。ボタンから手を離すとワイパーが動作します。

ワイパー ボタンを押すと、タッチスクリーンにワイパー メニューが表示され、ワイパーの設定を調整することができます。ハンドルの左スクロール ボタンを上または下に回して希望する設定を選びます。タッチスクリーンを使用するか、または音声コマンドを使用することもできます（音声コマンド ページ 16 を参照）。



1. ワイパーをオフにします。

2. 次からワイパーの作動設定を選択します。

- IIII - 連続、高速
- III - 連続、低速
- II - 間欠、高速
- I - 間欠、低速
- 「自動」 - Model Y は降雨を検知し、拭き取りの速度と頻度を調整します。ワイパーが「自動」に設定された状態でワイパー ボタンを押すと、一時的にワイパーの感度が上がります。

注: オートステアリングが作動している場合、ワイパーは「自動」に設定されます。オートステアリング作動時にワイパー設定を「自動」から変更することは可能ですが、次にオートステアリングを作動させるとワイパーは再び「自動」に初期設定されます。

注: 現時点では、自動設定はベータ版です。ベータ版で自動設定を使用することに抵抗を感じる方には、必要に応じてワイパーを手動で動作させることをお勧めします。

ワイパーブレードのエッジを定期的にチェックし、きれいに清掃してください。ブレードが損傷している場合は、すぐに交換してください。ワイパーブレードの点検と交換についての詳細は、フロントガラスのワイパーブレード、ジェットおよびウォッシャー液 ページ 200 を参照してください。

- ⚠ **注意:** ワイパーの損傷を避けるために、Model Y を洗車する前に必ずワイパーをオフにしてください。
- ⚠ **注意:** ボンネットの損傷を避けるため、ワイパーを使用する前に、ボンネットが完全に閉じていることを確認してください。
- ⚠ **注意:** 厳しい寒冷下では、ワイパーブレードが凍結していたり、フロントガラスに張り付いていないことを確認してください。フロントガラスに着氷がある場合は、氷を取り除いてからワイパーを使用してください。氷の角が尖っていてブレードのゴムを傷める可能性があります。

フロントガラスウォッシャー

方向指示器レバー先端のボタンを押すと、フロントガラスにウォッシャー液が噴射されます。このボタンには2つのレベルがあります。軽く押すとワイパーが1回動作しウォッシャー液は噴射されません。ワイパーとウォッシャーの両方をしっかり押します。フロントガラスを洗っている間、ワイパーが動作します。ウォッシャー液を噴霧している間、ワイパーが動作します。ボタンから手を離れた後、ワイパーはさらに2回動作し、車両および環境的な条件によっては、その後数秒おいてから3回目の動作を行います。





ワイパーとウォッシャー

ウォッシャー液は定期的に補充してください（フロントガラスウォッシャー液を補充 [ページ 200](#) を参照）。

ブレーキシステム

⚠ 警告: ブレーキ システムは安全にかかわるため正常に機能することが非常に重要です。Model Y ブレーキング システムのブレーキペダル、ブレーキ キャリパー、またはその他のコンポーネントで何か問題を感じた場合は、直ぐに Tesla までご連絡ください。

Model Y 最大のブレーキ圧をかけたときにホイールがロックすることを防止するアンチロック ブレーキ システム (ABS) を装備しています。この機構によって、大半の路面状態で急ブレーキ時のステアリング制御が改善されます。

緊急ブレーキ操作中は ABS が常に各ホイールの速度をモニターし、利用可能なグリップに応じてブレーキ圧を変更します。

ブレーキ圧が変わると、ブレーキ ペダルから振動が伝わります。これは ABS が作動していることを示すもので、異常な動作ではありません。振動が感じられる間は、ブレーキ ペダルを一定の圧力でしっかり踏み続けてください。

注: メキシコで販売の車両は、製造場所によって、ブレーキ、ABS、パーキングの各インジケータランプの文字またはアイコンが表示される場合があります。

ABS

(米国) Model Y を最初にスタートさせると、最初に ABS インジケータがタッチスクリーンで短く黄色に点滅します。このインジケータが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなる場合があります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。



(カナダ) Model Y を最初にスタートさせると、最初に ABS インジケータがタッチスクリーンで短く黄色に点滅します。このインジケータが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなる場合があります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。

BRAKE

(米国) Model Y を最初に始動したときに短く表示される以外で、タッチスクリーンにこの赤色のブレーキ インジケータが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でしっかりとブレーキをかけ、安全な場所に車両を停車させます。



(カナダ) Model Y を最初に始動したときに短く表示される以外で、タッチスクリーンにこの赤色のブレーキ インジケータが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただ

ちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でしっかりとブレーキをかけ、安全な場所に車両を停車させます。

BRAKE

(米国) ブレーキ ブースターの故障が検出されると、タッチスクリーンに黄色のブレーキ インジケータが表示されます。安全が確認できたら、ブレーキを一定の力で長押しして車両を停車させます。油圧ブースト補正が起動します (油圧ブースト補正 ページ 78 を参照)。



(カナダ) ブレーキ ブースターの故障が検出されると、タッチスクリーンに黄色のブレーキ インジケータが表示されます。安全が確認できたら、ブレーキを一定の力で長押しして車両を停車させます。油圧ブースト補正が起動します (油圧ブースト補正 ページ 78 を参照)。

緊急ブレーキ操作

緊急時は、摩擦力の低い路面上でも、ブレーキ ペダルを床まで力一杯踏み込んで圧力を保ち続けます。ABS は、利用可能な摩擦力に従って各ホイールのブレーキ圧を調整します。この機能によってホイールのロックが防止され、可能な限り安全に停車することができます。

別の手段を使用して車両を停止させる必要がある場合は、ドライブレバーのパーキング ボタンを長押しして、ブレーキをかけ、ボタンを押したままにして駆動トルクを取ります。

⚠ 警告: ブレーキ ペダルを軽く何度も踏むポンピングはしないでください。ポンピングは ABS の動作を妨げ、制動距離を長くするおそれがあります。

⚠ 警告: 常に前の車との間に安全距離を保ち、危険な運転状況に注意してください。ABS は制動距離を改善することができますが、物理法則を変えることはできません。ABS はハイドロブレーキ現象 (水の層がタイヤと路面との直接の接触を妨げる現象) の危険を防ぐこともできません。

⚠ 注意: 衝突の危険が差し迫っている状況では、自動緊急ブレーキ (衝突回避アシスト ページ 138 参照) は自動的にブレーキをかけることがあります。自動緊急ブレーキは、衝突を防止するように設計されたものではありません。最善の場合でも、走行スピードを落とすことによって正面衝突の衝撃を最小限にいとめるにすぎません。衝突回避を自動緊急ブレーキに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、ドライブレバーのパーキング ボタンを長押しして Model Y を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

ブレーキと停車

ダイナミック ブレーキ ライト (装備されている場合)

時速時速 30 マイル (時速 50 km) 以上で走行している時に急ブレーキをかけた場合 (または、自動緊急ブレーキが作動した場合)、ブレーキライトが短い間隔で点滅し、他のドライバーに Model Y が急に減速していることを警告します。アクセルを踏むか、ハザードライトのボタンを押すまで、ライトが点滅し続けます (ハザードランプの点滅 ページ 74 参照)。

注: ダイナミック ブレーキ ライトはトラック モードが有効になっている間は点滅しません (トラック モード ページ 87 を参照)。

注: トレーラーをけん引する場合は (該当する場合)、独立したブレーキ装置がトレーラーになくても、トレーラーのブレーキライトも前述のように動作します。

⚠ 警告: トレーラーをけん引する場合は (該当する場合)、必ず車間距離を十分にあげてください。急ブレーキを踏むと、横滑り、ジャックナイフ、およびコントロールの損失につながる場合があります。

ブレーキディスク ワイピング

寒冷気候や雨天でもブレーキを確実に制動させるために、Model Y にはブレーキ ディスク ワイピング機能が搭載されています。寒冷気候や雨天を検知すると、この機能はごくわずかな制動力を繰り返しかけて、ブレーキ ディスク表面から水分を取り除きます。

油圧フェード補正

Model Y 油圧フェード補正も搭載しています。これは、ブレーキ圧と ABS 動作でブレーキ性能の低下がないかを監視するのに役立ちます。ブレーキ性能の低下が検出されると (ブレーキがフェードしたり、寒冷時や雨天時など)、ノイズが聞こえたり、ブレーキペダルが足から離れるような感触があったり、ブレーキ圧力が大幅にアップしたと感ずることがあります。ブレーキは通常どおりに使用します。ブレーキペダルから足を離したり、「ポンピング」したりすることなく、ブレーキを踏み続けます。

⚠ 注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、ドライバーのパーキング ボタンを長押しして Model Y を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

⚠ 警告: 運転状況に危険が増している場合は、常に前方の車両との間に安全な車間距離を保ち、注意を払ってください。ブレーキディスクワイピングおよび油圧フェード補正を使用中であっても、必ず適切な圧力をブレーキに付加してください。

油圧ブースト補正

Model Y ブレーキペダルを踏んだときにブレーキを動作させるブレーキブースターを搭載しています。油圧ブースト補正には、ブレーキブースター故障時に機械動作面で支援する機能があります。ブレーキブースターの故障が検出されると、ブレーキペダルの踏み込みが固くなったように感じられ、ブレーキペ

ダルを踏んだときにノイズが聞こえます。Model Y を停車させるには、ブレーキペダルから足を離したり、「ポンピング」したりすることなく、ブレーキペダルを一定の力で踏みます。ほかの車両や歩行者とは安全な距離を確保し、慎重に運転します。ブレーキペダルの反応性の劣化があり得ます。

回生ブレーキ

Model Y の走行中に、運転者の足がアクセルペダル離れていると、回生ブレーキによって車両は減速し、余剰電力をバッテリーに戻します。停車に備えアクセルペダルから足を離して減速することで、回生ブレーキを利用して航続距離を伸ばすことができます。

回生ブレーキによる車両の減速は、バッテリーの現在の状態に応じて異なる場合があります。例えば、バッテリーが冷えている場合や既に完全に充電されている場合、回生ブレーキが制限される場合があります。

アクセルペダルから足を離れたときに、バッテリーの状態に関わらず同じ量の減速を体験するためには、回生ブレーキが制限されたときに、通常のブレーキシステムが自動で作動する設定を選択することができます。「コントロール」>「ダイナミクス」>「回生ブレーキ制限時にブレーキをかける」の順にタッチします。

⚠ 警告: 「回生ブレーキ制限時にブレーキをかける」は、ブレーキが非常に高温の場合、作動しないことがあります。

注: 「回生ブレーキ制限時にブレーキをかける」が有効なときにブレーキをかけると、ブレーキペダルは動くけれど、踏み込んだ時に普段よりも重く感じる可能性があります。これは想定された反応であり、Model Y を減速させる能力に変化はありません。

パワーメーター (タッチスクリーンの車両ステータスエリアに表示される細い線) には、電力使用量がリアルタイムで表示されます。



1. バッテリーから出力される電力（車両の加速などに使用される電力）を表します。アクセルペダルを踏むと、パワーメーターの上半分が黒で（もしくは表示が暗い場合は白で）延びていきます。
2. 回生ブレーキから発生する電力、すなわち車両を減速させることで得られる電力を表します。バッテリーに戻されている電力は緑色で表示され、通常のブレーキシステムで使用される電力は灰色で表示されます。

注: 冬のコンパウンドとトレッドデザインを採用したタイヤを取り付けると、回生ブレーキの制動力が一時的に低下する可能性があります。ただし、車両は継続的に再キャリブレーションするように設計されており、タイヤ交換の後、直線加速していくと回生ブレーキ力が徐々に回復していきます。大半のドライバーは通常運転を短時間行えば回復しますが、日頃ゆっくり加速するドライバーの方の場合は、再キャリブレーションが実行されている間は多少強く加速する必要がある場合があります。「サービス」>「ホイールとタイヤ」>「タイヤ」の順にタップしてウィンタータイヤを選択してこのプロセスを早めます。

注: Model Y が回生ブレーキで減速されると（高速走行中に足をアクセルペダルから完全に離すなど）、ブレーキランプが点灯して、後続の人たちに車両が減速していることを知らせます。

注: Model Y は回生ブレーキを使用しているため、このブレーキパッドは一般的に、従来のブレーキシステムのパッドほど頻繁には使用されません。錆や腐食の蓄積を避けるために、Tesla ではブレーキペダルを頻繁に踏んで機械式ブレーキをかけ、ブレーキパッドおよびローターを乾燥させることを推奨しています。

⚠️ 警告: 積雪時やまたは凍結した道路状況では、Model Y のトラクションが失われる場合があります。（特に、標準設定時や冬用タイヤを使用していない場合）、低設定を使用することを推奨しています。Tesla では、積雪時や凍結路面で車両の安定性を維持するために、低設定を使用することを推奨しています。

回生ブレーキ レベルを設定するには

注: およそ 2024 年 1 月以降に製造される車両の場合、回生ブレーキ設定は使用できない可能性があります。

タッチスクリーンを使用して回生ブレーキのレベルを変更できます。

1. 「コントロール」>「ダイナミクス」>「回生ブレーキ」の順にタッチします。
2. 2 つのレベルのどちらかを選択します。
 - **低:** 回生ブレーキを制限します。アクセルペダルをゆるめると、「標準」に設定した場合に比べて、Model Y が減速するまでの時間がより長くなり、惰性走行がより長く続きます。
 - **標準:** 回生ブレーキのレベルを最大にします。アクセルを離すと Model Y が減速し、ブレーキの使用頻度が減ります。

ストップモード

注: およそ 2024 年 1 月以降に製造された車両の場合、ストップモードは使用できません。

走行中アクセルを踏まずに、回生ブレーキにより Model Y を減速させます。アクセルペダルもブレーキペダルも踏まずに走行速度が非常に遅くなったら（ほぼ停車する程度）、お好みの Model Y の動作を選択することができます。パーキングにシフトしているときに、「コントロール」>「ダイナミクス」>「ストップモード」の順にタッチして以下のオプションから選択します。

- **クリープ:** 完全に停車しようするとき、または完全に停車しているときには、従来のオートマチックトランスミッションの車両同様に、Model Y を（ドライブで）ゆっくりと前進させたり（リバースで）後退させたりしてモーターがトルクをかけ続けます。坂道や車道などの一部の状況では、アクセルペダルを踏んで移動させ続けたり、Model Y が反対方向に移動しないようにする必要があります。

⚠️ 警告: 坂道では、車両が下がらないようにするために、クリープ機能のみに頼らないでください。坂道では車両を制動するためにブレーキを必ず踏むか、アクセルペダルを踏んで坂道を登ってください。そうしない場合は 物損事故や衝突事故を起こす恐れがあります。

- **ホールド:** 「クリープ」または「ロール」の設定時よりも低速で回生ブレーキを利用することで、航続距離を最大限に伸ばしブレーキ摩耗を低減させます。Model Y が停車すると、ブレーキペダルを足で踏まなくても自動的にブレーキがかかります。平らな道路で停車しても坂道で停車しても、「車

T ブレーキと停車

両ホールド」ではアクセルペダルやブレーキペダルを踏んでいない状態でブレーキをかけ続けます。オートブレーキホールド ページ 84 を参照してください。

警告: 車両を減速または完全停止するために、ホールド機能のみに頼らないでください。下り坂、回生ブレーキの低減化など、様々な要因で停車距離が伸びることがあります (回生ブレーキ ページ 78 参照)。必ず、ブレーキペダルを踏んで十分に減速したり停止させたりできるように準備をしておいてください。

・ **ロール:** 完全に停車しようするときや完全に停車しているとき、Model Y は車両のニュートラルのように勝手にタイヤが回転する状態になります。そのため、坂道で停車すると Model Y が坂道の下に向かって動きます。ブレーキがかからず、(アクセルペダルを踏むまで) モーターはトルクをかけません。

注: クリープまたはロールを選択した場合でも、「車両ホールド」を使ってブレーキをかけることができます。ただし、車両が停車しているときには、ブレーキペダルを軽く踏む必要があります。オートブレーキホールド ページ 84 を参照してください。

注: Model Y がトラックモード (トラックモード ページ 87 参照) のときには、選択した設定に関わらずロールモードが自動的に有効になります。トラックモード以外では、Model Y は選択した設定に戻ります。

注: 希望されたストップモード設定はドライバーのプロフィールに同期していません。

警告: 安全でないときに Model Y が動く場合、ブレーキペダルを踏んでください。常に路上に注意を払い、車両を制御することはドライバーの責任です。巻き込み確認を怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告: 回生ブレーキや選択したストップモードに任せきりにせず、ドライバーや車両を安全に保ってください。重い荷重がある場合の走行、急な坂道の走行、濡れた道路や凍った道路の走行などの様々な要因が、減速の程度や Model Y が停車するまでの距離に影響します。十分に注意を払って運転し、必ず、交通状況や道路状況に合わせて適切にブレーキペダルを踏んで停車させられるよう準備をしておいてください。

警告: 非常に遅い速度で走行しているときには、正面衝突警告および自動緊急ブレーキは作動しません (衝突回避アシスト ページ 138 参照)。これらの機能が常に警告してくれるあるいは衝突の衝撃を回避または低減してくれるわけではないことをご認識ください。

パーキング ブレーキ

パーキング ブレーキをかけるには、「コントロール」 > 「安全」の順にタッチし、ブレーキペダルを踏んでから「パーキングブレーキ」にタッチします。

PARK

(米国) パーキングブレーキをかけると、タッチスクリーンに赤色のパーキングブレーキ インジケーターが表示されます。



(カナダ) パーキングブレーキをかけると、タッチスクリーンに赤色のパーキングブレーキ インジケーターが表示されます。

パーキングブレーキは、他のギアにシフトすると解除されます。

パーキングブレーキは、パーキングにシフトした状態で、シフトレバーの頭のボタンを長押ししてもかけることができます。



PARK

(米国) パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、タッチスクリーンに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生のお知らせが表示されます。



(カナダ) パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、タッチスクリーンに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生のお知らせが表示されます。

注: パーキングブレーキは後輪のみに作用し、ペダルブレーキシステムからは独立しています。

注意: 万一、Model Y の電力が失われると、タッチスクリーンにアクセスできなくなるため、ジャンプスタートしないと (ジャンプスタート ページ 232 を参照)、パーキングブレーキを解除することはできません。


警告: 積雪や凍結した場所では、特に冬用タイヤを装着していない場合、勾配のある路面で Model Y がスリップするのを防ぐための十分なトラクションが後輪で得られない場合があります。積雪または凍結した場所での駐車は避けてください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。

警告: 駐車するには道路が急傾斜過ぎる場合、またはパーキングブレーキが適切に作動していない場合、Model Y にアラートが表示される場合があります。アラートはガイダンスを提供することを目的とし、特定の道路や天候条件などを含め、安全に車両を駐車するためにドライバーの判断を代わりに行うものではありません。車両を安全に駐車することができるかどうかの判断はこのアラートのみには頼らないでください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。

ブレーキの摩耗

Model Y ブレーキパッドはウェアインジケータを備えています。ウェアインジケータは、ブレーキパッドに取り付けられた薄い金属片で、パッドが摩耗するとローターとの間でこすれてスキール音が鳴ります。このスキール音は、ブレーキパッドの耐用寿命が尽き、交換が必要であることを示します。ブレーキパッドを交換するには、Tesla サービスにお問い合わせください。

タイヤとホイールを取り外して定期的にブレーキを点検する必要があります。ローターとブレーキパッドの詳細な仕様と整備期限については、[サブシステム ページ 218](#) を参照してください。さらに、Tesla では、冬季、凍結防止剤がまかれる道路では、毎年または 12,500 マイル (20,000 km) 走行毎にブレーキキャリパーを清掃および潤滑することを推奨しています。

 **警告:** 摩耗したブレーキパッドを交換しないと、ブレーキシステムを損傷し、危険なブレーキ動作を招くおそれがあります。

T パーキングアシスト

Model Yには、近くの物体の存在を検出するためのセンサーがいくつか搭載されています。ゆっくり走行しているときに（駐車時など）、Model Yの近くに物体が検出されると、車両が警告を発します。ドライブ時に Model Y の前方で、リバース時に Model Y の後方で物体が検出されると、車両が警告を発します。

警告: 反対方向に Model Y が勝手に動き出した場合に警告されることがあります（たとえば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model Y が後退しても、パーキングアシストからは警告が表示されません）。

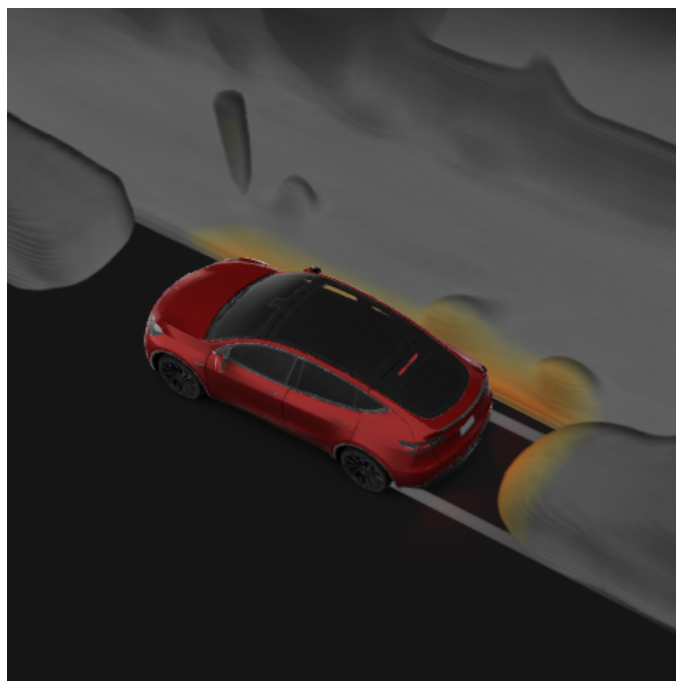
注: 車両が検出された場合、Model Y がけん引モードの場合、パーキングアシストが無効になります。

警告: 近づいている場所に物体があったり人がいたりするかどうかを調べるときに、パーキングアシストに頼らないでください。外部要因によってパーキングアシストの性能が低下し、センサーが読み取り不能になったり読み取りエラーが生じる場合があります（[制約と誤警告ページ 83](#)を参照）。したがって、Model Y が障害物に近づいているかどうかをパーキングアシストに頼って判断すると、車両や物品を損傷したり、大げがの原因となるおそれがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、パーキングアシストは子ども、歩行者、自転車、動物、または移動したり突起している物体、カメラのすぐ近くもしくは離れたところにある物体、または、カメラのはるか上または下にある物体を検出できません。パーキングアシストは誘導のみを目的としており、運転者自身の直接の目視による確認を肩代わりすることは意図していません。パーキングアシストは注意深い運転に代わるものではありません。

Tesla Vision パーキングアシスト

注: 販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアバージョンによっては、Tesla Vision パーキングアシストが搭載されていないモデルがあります。

車両は、Model Y の前部、後部、側面に取り付けられたカメラを使って、タッチスクリーンの周囲の物体を忠実に再現します。



ビジュアライゼーションの色は、Model Y と表示されている物体との距離に対応しています。赤色は Model Y に近いことを示し、黄色は Model Y から遠いことを示します。

視覚的、聴覚的フィードバック

リバースにシフトすると、タッチスクリーンにパーキングアシストビューが表示され、Model Y の前後の直近位置に存在する物体を表示します。このビューは、Model Y の前方に物体が検出されていない状態でドライブにシフトしたときに閉じます。この場合、パーキングアシストビューは、パーキングアシストの作動する速度より高速な速度で運転を開始すると自動的に閉じます。リバース時は、タッチスクリーンにも視覚的なフィードバックが表示されます（[リアビューカメラページ 93](#)参照）。X にタッチすると、手動でパーキングアシストビューを終了できます。

タッチスクリーンにカメラアプリを表示し、低速で運転している場合、カメラアプリ画面の左上にあるボタンをタッチすることで、パーキングアシストビューに切り替えることができます。縦列駐車への援助が必要な場合に便利です。

チャイムがオンになっていれば（[チャイムによるフィードバックの調整ページ 83](#)を参照）、物体に近づいたときにビーブ音が鳴ります。

注: パーキングアシストがフィードバックを提供できない場合は、タッチスクリーンに警告メッセージが表示されます。

注意: カメラを汚れ、異物、雪および氷のない状態に維持してください。高圧洗浄機をカメラに使用しないでください。センサーの表面を傷つけたり損傷したりするおそれのある尖ったものや研磨剤でカメラをクリーニングしないでください。

注意: カメラの近くにアクセサリやステッカーを取り付けしないでください。



チャイムによるフィードバックの調整

パーキングアシストを使用するときの音によるフィードバックをオン/オフすることができます。チャイムをオン/オフするには、「コントロール」>「安全」>「パーキングアシスト チャイム」の順にタッチします。

制約と誤警告

以下の場合、パーキング アシストが正常に機能していない可能性があります。

- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 物体がおよそ 8 インチ（20 cm）下方にある場合（縁石や低い柵など）。



注意: 高さが低い物体（縁石や低障壁など）が死角に入ることがあります。Model Y 物体が死角にある間は、その物体について警告することはできません。

- 気象状態（豪雨、雪、または霧）。
- 物体が薄い場合（道路標識など）。
- パーキング アシストの動作範囲を超えている場合。
- 物体が音を吸収する場合またはやわらかい場合（粉雪など）。
- 物体が傾斜している場合（傾斜している土手など）。
- Model Y 外気温度が極端に高いまたは低い環境で駐車したり運転した場合。
- 物体がバンパーに近すぎる場合。
- バンパーがずれている場合または損傷している場合。
- Model Y に取り付けられている物体（バイク ラックやバンパー ステッカーなど）がパーキング アシストを妨害または遮蔽している場合。
- Model Y が選択したのとは反対方向に勝手に動き出す場合（たとえば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model Y が後退しても、パーキング アシストからは警告が表示されません）。

その他のパーキング補助装置

パーキング アシストによる補助に加えて、リバースにシフトするとバックアップカメラに Model Y の周囲の映像が表示されます（[リアビュー カメラ ページ 93](#) を参照）。

オートブレーキ ホールド

Model Y が停止したときに、ブレーキペダルから足を離したあとも、オートブレーキホールドにより、ブレーキをかけ続けるようにすることができます。

オートブレーキ ホールドが有効になります。

- **ホールド:** 車両が完全に停止すると、常に車両ホールドが自動的に有効になります。
- **クリーブ** または **ロール:** 車両が停止してブレーキを最後まで踏んでいるとき、常にオートブレーキ ホールドが自動的に有効になります。



このインジケータは、Model Y のオートブレーキホールドが作動しているときは常にタッチスクリーンに表示されます。

オートブレーキホールドを解除するには、アクセルペダルを踏むか、ブレーキペダルを踏んで離します。

注: ギアをニュートラルにシフトしてもホールドは解除されません。

注: 走行用のギアに入れたまま、Model Y のブレーキを約 10 分間有効にしておくと、Model Y はパーキングにシフトされブレーキホールドはキャンセルされます。Model Y また、ドライバーが車両を降りたことを検知した場合にもパーキングにシフトされます。

説明

トラクションコントロールシステムは、フロントとリアのホイールの速度を常に監視しています。Model Yのトラクションが低下すると、システムがブレーキ圧とモーターの電力を制御してホイールスピンを最小にします。初期設定ではトラクションコントロールシステムはオンになっています。通常の条件下では、安全性を最大にするためオンのままにしてください。



トラクションコントロールシステムがホイールスピンを最小限に抑えるためにブレーキ圧とモーター出力を制御している際には、「タッチスクリーン」上のこの黄色いインジケータが常に点滅しています。トラクションコントロールシステムに異常が検出されると、このインジケータが点灯します。Tesla サービスにお問い合わせください。



警告: トラクションコントロールシステムは、危険な運転や高速で急転回することで引き起こされる衝突事故を防止するものではありません。

動作の仕組み

「コントロール」 > 「ダイナミクス」の順にタッチして、トラクションコントロールの設定にアクセスします。

- 「スリップスタート」は、泥、雪、氷などで動けなくなったときに Model Y を脱出しやすくするように設計されています。「スリップスタート」をオンにしてホイールが回転できるようにし、抜け出せない状況から Model Y を動かし出せるようにします。
- オフロードアシスト (全輪駆動車のみ) は、オフロードを走行する場合に全体的な向上を提供するように設計されています。ホイールの回転に加え、「オフロードアシスト」ではフロントモーターとリアモーター間のトルクのバランスを取り、トラクションを最適にします。「オフロードアシスト」では、車両の一方のトラクションがあってももう一方のトラクションが失われるような起伏のある道や柔らかい面でのトラクションを改善します。「オフロードアシスト」がオンの場合、アクセルペダルによるトルクが徐々にかかるようになるため、低速運転時 (岩だらけの道など) で役立ちます。有効になっているとき、タッチスクリーンの運転速度の上に「オフロード」が表示されます。

注: 速度制限モードがすでに有効になっている場合、オフロードアシストは使用できません。

スリップスタートまたはオフロードアシストをオンにしたままにする必要がなくなったら、これらの設定をオフにしてトラクションコントロールをもう一度有効にすることが強く推奨されます。これらの設定をオンにしたままの場合は、次回運転時に「トラクションコントロール」が自動的に有効になります。



「スリップスタート」または「オフロードアシスト」を有効にすると、タッチスクリーンにトラクションコントロールシステムでホイールのスリップを防止しないことを示すインジケータライトが表示されます。

注: 走行速度に関わらずスリップスタートまたはオフロードアシストを使用することができますが、高速運転時にはあまり効果がありません。

注: オートパイロットを使用している場合、スリップスタートまたはオフロードアシストは利用できません。

注: スリップスタートまたはオフロードアシストがオンになっているときにクルーズコントロールを有効にすると、これらの機能がオフになりトラクションコントロールが有効になります。

注: オフロードアシストをオンにしているときには、自動緊急ブレーキおよび車線逸脱防止機能は利用できません。

加速モード

「コントロール」>「ダイナミクス」>「加速」の順にタッチして、走行中に体感する加速の量を調整します。Model Y

- **コンフォート**：加速が制限され。快適な乗り心地でゆったりと運転することができます

注：コンフォートが選択されると、タッチスクリーンに表示される運転速度の上に「コンフォート」と表示されます。

- **Standard**：(パフォーマンス車両以外の車両) 通常レベルの加速が得られます。

注：アクセルアップグレードパッケージが搭載されている場合、加速モードを「コンフォート」、「スポーツ」にすることができます。

- **スポーツ**：(パフォーマンス車両／加速アップグレードパッケージ) 直ちに利用可能な最も大きいレベルの加速が得られます。

選択した加速モードを下げることで、キャビン暖房の効率を改善することができます。これにより、ピーク加速性能を提供するためのバッテリーの能力を維持する代わりに、ヒートポンプシステムがバッテリーからより多くの熱を奪うことで、キャビンを効率的に暖房することができます。これは寒冷気象時における走行効率を最大限にするために役立ちます。その後加速モードのレベルを上げる場合、増加した加速レベルが得られるまでにバッテリーを温めるための時間が必要になることに注意してください。

高性能の Model Y 車両でのみ利用できるトラックモードでは、クローズドサーキットコースを走行しながら、車両のスタビリティコントロール、トラクションコントロール、回生ブレーキ、冷却システムを変更し、パフォーマンスとハンドリングを向上します。トラックモードは、モーター、回生ブレーキと、通常のブレーキシステムをスマートに操作してコーナリング性能を向上します。有効になっている場合、冷却システムは通常より高い冷却性能を発揮して、ハードな走行で加熱した車両システムを冷却します。

注:トラックモードは、パフォーマンスブレーキとタイヤを装備した状態の Model Y にあわせて設計ならびに調整されています。パフォーマンスブレーキおよびタイヤが装備されていない車両は、パフォーマンスと耐久性が比較的低くなる場合があります。

⚠ 警告:トラックモードはレースサーキット場での走行のために設計されています。ドライバーは、安全に運転し、周囲に危険が及ばないように配慮する責任を負います。

⚠ 警告:トラックモードは、走行するサーキットを熟知した、経験のあるサーキットドライバーの使用を前提に設計されています。公道では絶対に使用しないでください。トラック走行を含め、車両を安全に走行させることはドライバーの責任です。トラックモードを使用する場合、車両の挙動が変わるため(トラクションと安定性コントロールを含む)、十分に注意してください。

トラックモードの使用

トラックモードは、Model Y の始動時は無効になっています。現在の運転でトラックモードを有効化し、パーキングにシフトし、次の手順に従ってください。

1. 「コントロール」 > 「ダイナミクス」 > 「トラックモード」の順にタッチします。

有効化されると、「トラック」の文字がタッチスクリーンの運転速度の上に表示され、地図にトラックモードポップアップ・ウィンドウが現われます。タッチスクリーンの車両ステータスエリアは Model Y の色分け図を表示し、バッテリー、モーター、タイヤおよびブレーキに関する重要な状況情報を一目で把握できます。[車両健全性のモニタリング ページ 88](#) を参照してください。

2. 必要に応じて、トラックモードのポップアップウィンドウで**トラックモード設定**にタッチし、トラックモード設定をカスタマイズできます([トラックモードのカスタマイズ ページ 87](#) 参照)。「コントロール」 > 「ダイナミクス」の順にタッチしてから、トラックモード設定の隣にある**カスタマイズ**をタッチすることでも、トラックモード設定にアクセスできます。

注:最適なパフォーマンスを得るためには、黄色または赤色の表示が出たら、バッテリーおよびモーターの温度が下がるまで待ってください。

3. ラップタイマーを使用する場合は、画面の指示に従って、地図にラップの開始/終了位置を定義するピンを置きます。その後、ラップタイマー上で**スタート**を押すと、運転セッションを始めることができます。始めるとラップタイマーはピンのあるラップの開始/終了位置を Model Y が通過した時点で計測を始めます。[ラップタイマーの使用 ページ 88](#) を参照してください。

4. シフト アンドゴー!

ラップタイマーを始動すると、タイマーは開始/終了位置を通過するごとに次のラップに備えてリセットされます。[ラップタイマーの使用 ページ 88](#) を参照してください。

さらにタッチスクリーンのカードエリアをスワイプするとリアルタイムで加速度計(G-メーター)を見ることが出来ます。[Gメーター ページ 88](#) を参照してください。

トラックモードがオンの場合:

- オートパイロット機能は利用できません。
- スリップスタート設定がオーバーライドされています。
- ストップモードはロール設定になっており、ドライブまたはリバースにシフトしてアクセルペダルとブレーキペダルの両方が解除されていると、Model Y は超低速で自由に動きます。詳細は[ストップモード ページ 79](#) を参照してください。
- エネルギー消費は増加します。
- エンターテインメント機能は利用できません。

タッチスクリーン設定を使用し、いつでもトラックモードをオフにできます。Model Y の電源を切ると、トラックモードもオフになります(運転後の冷却が進行中の場合は、タッチスクリーンに表示されます)。トラックモードがオフである場合、すべての設定は以前の状態に戻り、すべての機能が通常運転の状態に戻ります。

⚠ 注意:トラックモードがオンの場合、ドライビングアシスト機能は自動的に無効になります。どのような場合にも、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。トラックモードをオフにすると、ドライビングアシスト機能が自動的に再有効化されます。

トラックモードのカスタマイズ

トラックモードをカスタマイズするには、トラックモードをオンにすると地図に現われるトラックモードポップアップウィンドウ上で**トラックモード設定**にタッチします。「コントロール」 > 「ダイナミクス」の順にタッチしてから、トラックモード設定の隣にある**カスタマイズ**をタッチすることでも、トラックモード設定にアクセスできます。Tesla によって提供される、あらかじめ定義されたプロフィールのリストから既存のトラックモード設定を選択します。また、「**新しい設定の追加**」で設定プロファイル名を入力して、新しいプロファイルを作成し、好みと走行シナリオにあわせて設定を調整することや、特定のトラックのためにカスタマイズすることもできます。

- 「**ハンドリング バランス**」- スライダーをドラッグすることでも、Model Y のコーナリングでのバランスを調整できます。Model Y がふらふらする場合は、アンダーステアリングなどでフロントバイアスを増やすことで対応できます。車両が曲がりにくいときは、リアバイアスを増やしてみてください。100/0 と 0/100 の間で 5%刻みで値を選択することができます。(スラッシュの前後の値はフロントバイアス、リアバイアスを意味します。)

T

トラックモード

・ **スタビリティ アシスト** - スライダーをドラッグして、スタビリティ コントロール システムが車両を制御するレベルを選択します。-10~+10 まで、希望のレベルを選ぶことができます。+10 を選ぶと、スタビリティ システムを係合できるコントロール可能な運転のスタビリティ アシストシステムがすべて係合します。また-10 では、スタビリティ システムがすべて無効化され、ドライブのスタビリティ は、ドライバーのみが制御します。既定の設定 0 であり、これは一定の範囲でスタビリティ が自動的にコントロールされ、ドライバーが残りをコントロールするバランスを表わします。

・ **「回生ブレーキ」** - スライダーをドラッグして利用可能な回生ブレーキの量を選びます。0~100%の間で、5%刻みで値を選ぶことができます。Tesla では、ブレーキの過熱を防ぐため 100%の設定を推奨しています。

・ **運転後の冷却** - 車両を降りた後に冷却装置で車両の構成部品を冷やし続けたい場合はオンに設定します。構成部品が十分に冷却された場合、あるいは Model Y の電源を切ってもう一度入れた場合、冷却は自動的に止まります。走行セッション間で、速く構成部品の温度を下げたい場合、運転後の冷却が便利です。運転後の冷却がオフの場合でも、構成部品は自然に温度が下がりますが、温度が下がるまでの時間が長くなります。

・ **ラップ時のダッシュカムの保存** - ラップタイマーを使用しているときに動画とデータを USB フラッシュドライブに保存する場合に有効にします。説明のとおり USB フラッシュドライブをセットアップし挿入する必要があります ([ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 149](#) を参照)。この USB フラッシュドライブには **TeslaTrackMode** という名前のフォルダがある必要があります。有効にすると、トラックモードは各ラップの動画と関連データを保存します。トラックモードでは、さらに位置、速度、加速、アクセルの使用などに関する詳細の車両ステータスとテレメトリデータを保存します。これにより録画を見ることができ、また USB フラッシュドライブに CSV ファイルとして保存されているこのデータを解析することで、時間を失っているまたは捻出できている箇所がどこかを判断することができます。

注: 2021 年 11 月 1 日ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の USB ポートを使用してください。

トラックモードは、トラックモード プロフィールを 20 個まで保存できます。選択されたプロフィールを削除するには、設定画面の下部の「**削除**」をタッチします。

注: Tesla によって提供される、あらかじめ定義されたプロフィールは、変更や削除することはできません。

ラップタイマーの使用

トラックモードをオンにすると、地図にラップタイマーが表示されます。画面の指示に従って、地図に開始/終了ピンを配置してください。ピンが配置されたら、「**スタート**」を押して走行(周回)セッションを開始してください。Model Y でスタート/フィニッシュラインを通過すると、ラップタイマーが自動的にラップのタイムを計測し、スタート/フィニッシュラインを通過するたびにタイマーをリセットし、現在のラップと今回の走行セッションにおける最速ラップとの差分をリアルタイムで表示します。地図内では、トラックが青で強調されています。

各ラップの終了後、ラップタイマーには、ラップに費やした時間が表示されます。また、前回のラップや走行セッションにおけるベストのラップに関連した時間も表示されます。

「**ラップ時のダッシュカムの保存**」がオンで ([トラックモードのカスタマイズ ページ 87](#) 参照)、正面の USB ポートに適切にフォーマットされた USB フラッシュドライブが差し込まれている場合、トラックモードでは、走行セッションのビデオ (正面のカメラで撮影) が、ラップの詳細情報が記載された CSV ファイルと共に保存されます。

注: 走行セッションの終わりでタイマーを止めるには、ラップタイマーのポップアップウィンドウ上で「**停止**」をタッチします。

車両健全性のモニタリング

トラックモードを使用する場合、タッチスクリーンの車両ステータスエリアの一覧から、Model Y の健全性を容易にモニターすることができます。様々な構成部品のステータスが色で表示され、現在の状態を判断することができます。理想的な温度範囲内にある場合、構成部品は緑色で表示されます。色は状態に応じ以下のように変わります:

- ・ バッテリーが低温の場合は青色、また高温の場合は赤色で表示されます。
- ・ ブレーキが低温の場合は青色、また高温の場合は赤色で表示されます。(ブレーキ過熱の早期アラート)。
- ・ モーターが低温の場合は青色、また高温の場合は赤色で表示されます。
- ・ タイヤ空気圧の動的な定値がタッチスクリーンに表示されます。タイヤが十分使用されていない場合は青色に、またはピークグリップを超えた時は赤色に表示されます。

注: 赤色で表示されているコンポーネントは、運転を停止して冷却する必要があることを示しています。

! **注意:** トラックモードの使用中に発生した車両損傷あるいは負傷はドライバーの責任です。車両構成部品の過度の使用によって引き起こされた損害は、車両の保証の対象となりません。またレーシング、オートクロスあるいは競争は対象外となります。

G メーター

トラックモードにすると、タッチスクリーンにリアルタイムで G メーターが表示されます。G-メーターは、グラフで円形のメーターのピークラテラル、加速および減速値を表示します。走行履歴は陰をつけた部分で表わされます。各走行セッションの最初に G メーターがリセットされます。

注: G メーターカードをスワイプすると、別のカードを表示することができます。ただしトラックモードがオンの場合は、G メーターが既定のカードとして表示されています。

運転席シート、ハンドルポジション、またはドアミラーの調整を初めて行う際は、これらの調整を保存するためのドライバープロフィールを作成することを促すメッセージがタッチスクリーンに表示されます。ドライバープロフィールでは、Model Y をカスタマイズする際に実施したさまざまな設定の保存もします。

プロフィール設定をクラウドに保存し、複数の Tesla 車でアクセスするには Tesla プロフィールをセットアップします ([Tesla プロフィールの使用 ページ 89](#) 参照)



新しいドライバー プロフィールを追加するには、タッチスクリーン上部にあるドライバー プロフィール アイコンをタッチします。「**ドライバープロフィールの設定**」 > 「**ドライバーを追加**」をタッチして、ドライバーの名前を入力し、「**プロフィールを作成**」をタッチします。画面の指示に従い、ドライバー プロフィールにミラーおよびハンドル位置を保存します。

ドライバーに合わせて運転席とハンドルを自動的に調整して Model Y への出入りをより便利にする **イージー エントリー** 設定を保存 (または既存のものを使用) する場合は、「**イージーエントリーを使用**」チェックボックスにチェックを入れます。

ドライバー プロフィールの保存または選択後、運転席シート、ハンドル、またはサイドミラーの位置を変更すると、新しい位置を **保存** するか、または前回保存した位置へと **元に戻す** ことを促すメッセージがタッチスクリーンに表示されます (その他の設定は自動的に保存されます)。保存や復元せずに設定を変更するには、そのメッセージを無視して構いません。

ドライバーのプロフィールを削除するには、タッチスクリーンの上部にあるドライバー プロフィールのアイコンをタッチし、「**ドライバーのプロフィール設定**」をタッチして、削除するドライバー プロフィールを選択します。選択したら、そのドライバープロフィールを「**削除**」します。

注: バレーモードは、速度制限および Model Y の一部の機能へのアクセスを制限する場合に使用するビルトインドライバープロフィールです ([バレーモード ページ 90](#) を参照)。

注: ドライバー プロフィールに基づいて実行されている自動調整を停止するには、ドライバーのプロフィールのドロップダウンメニューにある「**停止**」をタッチします。手動でシート、ミラー、ハンドルを調整すると、自動調整も停止します。

ドライバー プロフィールの選択



ドライバー プロフィールに従って Model Y を調整するには、「**コントロール**」画面の最上部にあるドライバー プロフィール アイコンにタッチします。続いてドライバーを選択すると、そのドライバー プロフィールで保存されている設定に合わせて Model Y が調整されます。複数の Tesla 車に簡単にアクセスするためにプロフィール設定をクラウドに保存する方法の詳細については、[Tesla プロフィールの使用 ページ 89](#) を参照してください。

注: 希望されたストップモード設定はドライバーのプロフィールに同期していません。詳細な情報は、[ブレーキと停車 ページ 77](#) を参照してください。

Tesla プロフィールの使用

(装備されている場合) シート調整、温度設定、ナビの最近の履歴やお気に入り、メディア設定およびデータ共有設定といったドライバーのプロフィール設定を Tesla プロフィールに保存し、Tesla アカウントでサポートされている車両で同期させることができます。これにより、サポートされているすべての Tesla 車で、プロフィール設定に簡単にアクセスすることができます。

Tesla プロフィールをセットアップするには「**ドライバーのプロフィール設定**」に移動して Tesla アカウント名を選択します。新しいプロフィールとしてセットアップするか、以前に使用していた既存のドライバーのプロフィールから設定をコピーすることができます。

追加のドライバーに対して Tesla プロフィールをセットアップするには、モバイル アプリから車両をドライバーたちと共有し、「**セキュリティとドライバー**」 > 「**ドライバーの管理**」 > 「**ドライバーの追加**」の順に移動します。追加ドライバーの Tesla アカウントからの招待を受け入れると、ドライバーのプロフィール設定に Tesla プロフィールが表示されます。車両へのアクセス権を削除すると、Tesla プロフィールも削除されます。モバイル アプリのアクセス権付与に関する詳細については、[2 人目のドライバーへのアクセス許可 ページ 56](#) を参照してください。さらに、Tesla モバイル アプリからプロフィールの写真を変更することができます。

注: 一部の車両設定は類似する車両モデルの間でしか同期しません。シート、ステアリング、ミラーの位置が、期待するには元に戻らない場合、該当する車両で「**コントロール**」 > 「**サービス**」 > 「**シート、ステアリング、およびミラーのキャリブレーション**」の順にタッチします。オートパイロット起動の設定が元に戻らない場合は、「**コントロール**」 > 「**オートパイロット**」 > 「**オートパイロット作動**」にタッチします ([オートパイロット設定 ページ 104](#) を参照)。

注: Tesla プロフィールは、ソフトウェアバージョン 2022.24 以降を搭載する車両でサポートされています。

車両から Tesla プロフィールを削除するには、次のようにしてその車両を Tesla アカウントから削除します。

1. Tesla モバイル アプリで右上隅のプロフィール アイコンにタッチします。
2. **製品を追加/削除**にタッチします。
3. **削除**にタッチします。
4. 削除する車両を選択します。

保存されている設定

Model Y をカスタマイズするために指定した設定の一部は、ドライバープロフィールに自動的に保存されます。保存されると、タッチスクリーンのドライバー プロフィール アイコンの隣に緑色のチェックマークが表示されます。自動的に保存されるドライバープロフィールの例としては、

- ナビゲーション、温度、ライトおよびディスプレイ設定があります。
- オートパイロットおよびドライブの好み。

ドライバー プロフィールとキーのリンク

ドライバープロフィールを特定のキーにリンクさせて、そのキーを持って車両に近づき運転席側ドアを開くと Model Y が正しいドライバープロフィールを自動的に選択できるようにできます。ドライバーのプロフィールをキーにリンクさせるには、最初に必ずリンクを希望するドライバープロフィールを使用していることを確認してから、「コントロール」 > 「ロック」 > 「キー」の順にタッチします。ドライバーアイコンを切り替えると、キーのドライバープロフィールをリンクまたはリンク解除できます。リンクされると、キーの下にドライバー プロフィール名が表示されます。

注: Model Y 最大 10 件のドライバーのプロフィールをサポートします。ドライバー プロフィールに複数のキーをリンクさせることができますが、1つのキーに複数のドライバー プロフィールをリンクさせることはできません。

イージーエントリー

イージー エントリー設定を定義すると、Model Y への出入りを容易にするようにハンドルと運転席を動かすことができます。ドライバーは自分のドライバーのプロフィールに関連付けることで、イージーエントリー設定を使用することができます。イージー エントリー設定がドライバーのプロフィールに関連付けられると、パーキングにシフトして、運転席シートベルトが外されたときに、ハンドルと運転席が自動的に調整され、Model Y からの降車（および次回の乗り込み）が楽にできるようになります。車両に戻りブレーキペダルを踏むと、設定は自動的に前回のドライバープロフィールで使用された（またはドライバーのプロフィールがリンクされている場合はキーに基づく）設定を使用します。

ドライバーのプロフィールで **イージーエントリー** を使用するには、「**イージーエントリーを使用**」ボックスにチェックが入っていることを確認してください。

警告: 運転席の後ろの後列シートにチャイルドシートを取り付けているときには、運転席を自動で最後位置に動かすために「イージーエントリー」を使用しないでください。運転席を動かして後列座席との間隔が狭くなると、お子さまの足に強く当たってしまったり、チャイルドシートを押し除けてしまう場合があります。

バレーモード

Model Y がバレーモードになっているときは、次の制限が適用されます。

- Model Y にアクセスして運転するためには、キー カードを使用する必要があります
- 速度は 70 mph (113 km/h) 以下に規制されます。
- 最大加速と最大出力は制限されます。
- フロントトランクとグローブボックスはロックされます。
- 自宅および職場のロケーションはナビゲーションシステムで使用できません。
- 音声指示が無効になります。

- オートパイロットの便利な機能が無効になります。
- 「モバイル アクセスを許可」設定は変更できません。
- HomeLink（地域で使用可能であれば）にアクセスできません。
- ドライバープロフィールにアクセスできません。
- Toybox や Theater などの一部のアプリは利用できません。
- Model Y にアクセスできるキーのリストはタッチスクリーンに表示されません（**キーの管理 ページ 22** を参照）。
- Wi-Fi と Bluetooth が無効になります。Model Y がバレーモードにあるときは、新しい Bluetooth 機器をペアリングしたり、接続済みの機器を閲覧したり削除したりすることはできません。しかし通信エリア内に Bluetooth でペアリングした機器または既知の Wi-Fi ネットワークがある場合は、Model Y は接続を行いません。

バレーモードの開始

Model Y をパーキングにシフトして、「コントロール」画面の最上部にあるドライバー プロフィール アイコンにタッチしてから、「バレーモード」にタッチします。

バレーモードを初めて使用する場合は、バレーモードをキャンセルするときに使用する 4 桁の暗証番号を作成するようにタッチスクリーンから求められます。

バレーモードが動作している場合、タッチスクリーン上に「バレー」の文字が表示され、タッチスクリーンでドライバーのプロフィールが「バレーモード」に変わります。

また、モバイル アプリを使って、バレー モードを開始またはキャンセルすることもできます（Model Y のギアがパーキングに入っている必要があります）。モバイル アプリを使用している場合は、アプリにログインする際、すでに Tesla アカウント認証情報を使ってログインしているので、PIN を入力する必要はありません。

注: 「**ドライブ用 PIN**」の設定が有効になっている場合（**ドライブ用 PIN ページ 144** を参照）、バレー PIN を定義または入力するには、ドライブ PIN を入力する必要があります。バレーモードになると、Model Y は、ドライブ用 PIN の入力なしに車両を運転することが可能になります。

注: 「**ドライブ用 PIN**」の設定は、バレーモードが有効のときは利用できません。

PIN を忘れた場合は、Model Y 内で Tesla アカウント認証情報を入力するとリセットできます（バレーモードもキャンセルされます）。モバイル アプリを使って PIN をリセットすることもできます。

警告: トレーラーをけん引しているときにはバレーモードを使用できません。バレーモードのトルクの限界により、Model Y ではトレーラーを引きながら坂道を登ることが困難になることがあります。

バレーモードのキャンセル

Model Y をパーキングにして、「コントロール」画面の最上部にあるドライバー プロフィール アイコンにタッチしてから、「バレーモード」にタッチして 4 桁の PIN を入力します。



バレーモードをキャンセルすると、直前まで使用していたドライバープロフィールと温度調整の設定に関連するすべての設定が回復し、すべての機能が使用可能になります。

注: バレーモードをキャンセルするにはモバイルアプリからPINを入力する必要はありません。



走行情報を表示する

走行情報は、タッチスクリーンの車両ステータス ディスプレイのカード エリア、または「コントロール」 > 「走行データ」の順にタッチしたときに、表示されます。現在の走行データとして、距離、期間、平均エネルギー使用量を表示できます。前回の充電以降の距離とエネルギーの総使用量および平均使用量、さらにこの後の走行についてのエネルギーの総使用量および平均使用量も表示できます。

トリップに名前を付ける、あるいは既存の名前を変更するには、トリップ名をタッチしてからトリップの新しい名前を入力し、最後に**保存**を押します。特定の走行データのメーターをリセットするには、対応する**リセット**にタッチします。

オドメーター

オドメーターを表示して走行距離を確認するには、以下のいずれかの操作を行います。

- 「コントロール」 > 「ソフトウェア」の順にタッチします。
- 「コントロール」 > 「トリップ」の順にタッチします。
- モバイル アプリを開き、メイン画面の最下部までスクロールダウンします。



カメラ位置

Model Y 後部ナンバープレートの上にリアビューカメラが搭載されています。



警告: 車両の背後に人の存在や障害物の有無はカメラ（複数）の映像だけで判断しないでください。このカメラでは、車両への損傷や人身事故を招くおそれのある障害物や人を検出できない場合があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因で低下することがあります。このため、カメラに頼って、Model Y が障害物に近づいているかどうかを判断することは、車両や物体に損傷を与えたり、人身事故につながる恐れがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラはあくまで補助手段としてご利用ください。カメラは目視確認の代わりではなく、安全運転を不要にするものではありません。

明瞭な画像を維持するには、カメラのレンズをきれいに保ち、視界が遮られないようにしてください。洗車 ページ 196 を参照してください。

ギアをリバースに入れると、このカメラの画像がタッチスクリーンに表示されます。ハンドルの位置に応じてラインが運転方向を示します。ハンドルが動いても、これらのラインは調整されます。

Model Y は、サイドカメラの画像も表示します（装備されている場合）。上または下にスワイプするだけで、サイドカメラビューを表示または非表示にできます。

注: タッチスクリーンにパーキング アシストからの視覚的フィードバックも表示されます（パーキングアシスト ページ 82 を参照）。



リアビューカメラのビューを表示するには、常にアプリランチャーを開いて、カメラアプリにタッチします。

リバースにシフトしているときに、リアビューカメラの画像の代わりにタッチスクリーンに黒い画面が現れた場合、バックミラーを使用して周囲が安全であることを確認してから、後進を継続してください。リアビューカメラが使用できない状態が継続する場合、モバイルアプリを使用してサービス予約してください。



歩行者警告システム

(装備している場合) 歩行者警告システムは、19 mph (32 km/h) より低速で走行している場合、または後進している場合に、Model Y を鳴動させます。電気自動車は音がしないため、歩行者に車が接近していることを音で知らせます。この音は、Model Y がパーキング以外にシフトされているときに鳴り、速度が上がるにつれて音量が上がります。

2021年11月ごろ以前に製造された車両の場合: この音をオフにする必要がある場合 (渋滞中の高速道路を走行しているときなど) は、「コントロール」 > 「安全」 > 「歩行者警告」 > 「一時停止」の順にタッチします。音がオフになるのは、現行の運転時のみになります。次回の運転では、自動的に音がオンに戻ります。この日付以降に製造された車両ではこの切り替えを利用することはできません。



歩行者警告システムが一時停止され、有効でない場合、「タッチスクリーン」にこのインジケータが表示されます。

注: およそ 2020 年 9 月 1 日より前に製造された車両には、歩行者警告システムが搭載されていないことがあります。



警告: 音が聞こえないと、歩行者は近づく車両に気づかない可能性があり、重傷事故や死亡事故につながる恐れがあります。歩行者に車両を確実に気付かせるために、歩行者警告システムを頼ることはしないでください。歩行者警告システムが作動していない場合、サービス予約をしてください。

けん引パッケージには、アクセサリキャリア（自転車、スキー、スノーボードなどに使用）の取り付け、またはトレーラーをけん引できる 2" x 2" (5 cm x 5 cm) ヒッチ レシーバーが付属されています。

キャリアの取付および使用

けん引パッケージを使用してアクセサリを運ぶ場合、2" x 2" (5 cm x 5 cm) 角型ヒッチレシーバーは最大 160 lbs (72 kg) の垂直荷重に対応するよう設計されています。角型レシーバーに対応するボールマウントは別途購入してください。

アクセサリキャリアを取り付けて使用するには、ヒッチレシーバーにボールマウントを取り付ける必要があります（[ボールマウントの取り付けと取り外し ページ 98](#) を参照）。次に、作業はアクセサリキャリアに付属の取扱説明書に従って行ってください。お客さまの地域でアクセサリの運搬に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。

Model Y のけん引パッケージには、ライト付きアクセサリキャリアを使用するうえで必要なワイヤーが含まれています（[電気系の接続 ページ 99](#) 参照）。パッケージは、けん引モードのソフトウェアにも対応しています（[けん引モード ページ 97](#) 参照）。

注: 車両のアクセサリを購入するには、<http://www.tesla.com> に進んでください。他社製品も利用することができますが、Tesla では Tesla 認可品のみを推奨し、サポートしています（[部品とアクセサリ ページ 203](#) 参照）。車両に利用できるアクセサリ製品は地域により異なる場合があります。Tesla に認定されていないキャリアを取り付けたい場合は、事前に製品情報を見て対応を確認してください。

注: 使用しない時は、ボールマウントを取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチのハウジングにダストカバーをかけ、ほこりやごみが入らないようにしてください（[ボールマウントの取り付けと取り外し ページ 98](#) 参照）。

注: Tesla は、アクセサリキャリアの取り付けおよび使用の結果発生した損害または人的傷害、アクセサリキャリアに付属の取扱説明書における抜け、または取扱説明書に従わなかったことについては責任を負いません。アクセサリキャリアの使用によって生じた損傷は保証対象にはなりません。

アクセサリの積載

ヒッチレシーバーは、最大 160 ポンド (72 kg) の垂直荷重に対応できるように設計されています。Model Y のヒッチで自転車やスキー、その他の物を運搬するときは、最大重量を超えないことを必ず確認してください。重量計算では、必ずアクセサリキャリア自体の重量も含めてください。たとえば、キャリアの重量が 40 ポンド (18 kg) だとすると、それぞれ約 60 ポンド (27 kg) の自転車 2 台、またはそれぞれ約 30 ポンド (14 kg) のアイテムを 4 個積載できると判断できます。

注: 追加重量または荷重制限などの詳細情報については、アクセサリキャリアの製品詳細をご相談ください。Tesla 認可以外のアクセサリを使用して生じた損傷については、保証の対象にはなりません。

! **注意:** 許容（前述の通り）可能な Model Y ヒッチの最大重量を超えると、重大な損傷を招く恐れがあります。

! **注意:** けん引パッケージを装備していない Model Y にアクセサリキャリアを取り付けしないでください。重大な損傷が生じる可能性があります。

トレーラーけん引

トレーラーの最大積載荷重（積載物および追加の装備すべてを含む）およびトレーラーのタンク荷重は、車に乗る人数および使用しているタイヤにより異なります。最大けん引能力およびトレーラータンク荷重では以下の制限を絶対に超えてはなりません。

ホイール/リムサイズ	乗員人数	最大けん引能力	最大ヒッチ荷重
19 インチ、20 インチ、21 インチ	最大 3	3,500 lbs (1,588 kg)	350 lbs (159 kg)
19 インチ、21 インチ	4 - 5	3,500 lbs (1,588 kg)	350 lbs (159 kg)
20 インチ	4 - 5	2,300 lbs (1,043 kg) **	230 lbs (104 kg) **
19 インチ	6 - 7*	2000 lbs (907 kg) **	200 lbs (91 kg) **
20 インチ	6 - 7*	牽引は許容されません	-
21 インチ	6 - 7*	1,200 lbs (544 kg) **	120 lbs (54 kg) **

*7 人乗り車両だけに適用されます。

** トレーラーとタイヤが定める速度制限内で運転してください。また、けん引荷重、天候、道路状況および交通状況、けん引経験値に適した速度で走行してください。必ず、表示されている速度制限と速度に関する地域の規制に従ってください。

注: カナダでは、けん引速度が時速 55 マイル（時速 89 km）までに制限されています。

積載量合計が 1650 ポンド (750 kg) 以上あるトレーラーの場合、独立コントローラーのある別のブレーキシステムを使用することが推奨されます。（[トレーラーブレーキ ページ 97](#) 参照）。トレーラー用ブレーキのメーカー指示書に正しく従い、トレーラーブレーキが適切に取り付けられ、正しく調整、維持されるようにしてください。

ヒッチ荷重とは、トレーラーの重量がヒッチにかかる下向き荷重のことです。トレーラーの最大積載荷重の 10% を超えないようにする必要があります。けん引車両に載せる荷物や乗員、積み荷の量が多い場合は、許容できるけん引能力が減少することがあり、その場合はヒッチ荷重も減少します。最大けん引能力は、GVWR（定格車両総重量）を超過しないことを前提に計算されます（[仕様 ページ 212](#) を参照）。

注: ヒッチ ラベルとオーナーズ マニュアルで異なる情報が提供されている場合、オーナーズ マニュアルの情報が優先されません。



牽引とアクセサリー

注意: けん引が車両に与える影響についての経験と知識があり、車両に積載物を安全に積み込み、固定し、運転することができる場合にのみ、Model Y でけん引を行ってください。Tesla の取扱説明は、安全にけん引することに必要な知識とスキルをすべて網羅したものではありません。トレーラーけん引によって生じた損傷は保証対象にはなりません。

警告: 車両やトレーラーを過積載しないでください。お守りいただけない、パフォーマンスの低下、車両の損傷や車両コントロールの損失を招く恐れがあります。

警告: トレーラーヒッチを使って Model Y を輸送しないでください（[車両輸送者向け注意事項 ページ 226](#) 参照）。

• 「けん引モード」に設定します（けん引モード ページ 97 参照）。

以下を確認します。

- Model Y 取り付けしたトレーラーとともに水平になっている。車両正面を上げて車両後部を下げる場合、[トレーラーけん引 ページ 95](#) に記載の最大けん引能力や最大ヒッチ荷重を超えないよう確認してください。
- トレーラーの灯火類が正しく点灯することを確認してください（ブレーキ灯、方向指示器灯、標識灯）。
- トレーラー タングがヒッチ ボールにしっかりと接合されている。
- 安全チェーンがトレーラーとけん引車両間で適切につながれている。トレーラー タングの下に安全チェーンを通し、タングがヒッチから離れてもタングが路面に接触しないようにする。安全チェーンにはカーブを曲がる時の余裕をもたせ、同時にチェーンが地面をひきずらないようにします。
- トレーラーヒッチの部品や付属品、安全チェーン、電気的接続などすべてに不具合がなく、正しく接続されている。問題がある場合は、トレーラーをけん引しないでください。
- 積み荷がすべて固定されている。
- 車輪輪止めを使用できます。
- トレーラーのヒッチ荷重がトレーラー総重量の約 4~10% で、「[トレーラーけん引 ページ 95](#)」に示す最大ヒッチ荷重を超えずにトレーラー荷量が均等に分散されています。

けん引時のタイヤ空気圧

トレーラーをけん引する場合、タイヤ空気圧はその負荷荷重に適合するように調整してください。けん引で使用できるタイヤは、19 インチ、20 インチ、21 インチです。以下に示す空気圧までタイヤに空気を入れてください（異なる場合、この数値はタイヤと荷重情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧に優先します（[車両総重量 ページ 213](#) を参照））。

前輪	後輪	タイヤ空気圧 (冷間時)
255/45R19	255/45R19	42 psi (290 kPa)
255/40R20	255/40R20	42 psi (290 kPa)
255/35R21	275/35R21	42 psi (290 kPa)

注意: 前述で記載のないタイヤを装着している場合、Model Y をけん引に使用しないでください。

警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用してタイヤ空気圧をチェックしてください。1 マイル (1.6 km) 走行すると、タイヤが十分に温められてタイヤの空気圧が変化します。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になる恐れがあり大変危険です。

警告: Model Y のタイヤに異常があるか、タイヤリペアキットで空気を入れた場合には、トレーラーをけん引することはできません。応急修理されたタイヤは、けん引荷重に耐えられません。異常があるか応急修理されたタイヤによるけん引は、故障あるいは車両の安定性を損なうことがあります。

注意: 荷重はトレーラーのタイヤに均等に加わり、リアに片寄るとトレーラーがふらつき、車両のコントロールを失うことに繋がります。

警告: トレーラー内で積み荷がしっかりと、動かないように固定されている。荷重が状況によって変化すると、車両のコントロールを失う結果となり、深刻な怪我につながる可能性があります。

けん引ガイドライン

Model Y は、基本的には乗用車両として設計されています。トレーラーをけん引すると、エンジン、ドライブトレイン、ブレーキ、タイヤ、およびサスペンションにさらに負荷がかかり、航続距離が大幅に減少します。トレーラーをけん引しようとする場合には、次のガイドラインを留意し、従ってください。

- 走行速度を下げ、急激な操作を防止します。トレーラーけん引時はトレーラーをけん引していない時と比べて、操舵性、安定性、回転半径、制動距離、ブレーキ性能といった面で大きな違いがあります。
- 前方車両から最低 2 倍の距離を維持し、車間距離を十分に開けてください。これにより、急ブレーキの必要性を減らすことができます。急ブレーキをかけると、スキッドやジャックナイフを発生させ、コントロール不能に陥る場合があります。

トレーラーをけん引する前に

トレーラーをけん引する前に、以下を実行する必要があります。

- [けん引時のタイヤ空気圧 ページ 96](#) に指定された冷間時タイヤ空気圧でタイヤに空気を入れます。
- トレーラーのけん引に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。
- ブラインドスポットが大きくなるように、後方の視界がよく見えるようにサイドミラーを調整する。



- 急激に曲がらないようにしてください。急な旋回をすると、トレーラーが車両に接触し、損傷の原因となる可能性があります。トレーラーの車輪は車両の車輪より旋回の内側を通ることに注意してください。そのため、トレーラーが道路の縁石や標識、木々やその他の物に触れないように大きく旋回してください。
- トレーラーの灯火類や方向指示器の電球が切れていないことを定期的に点検してください。トレーラーをけん引する場合、トレーラーの電球が切れていても、タッチスクリーンのウィンカーは正常に点滅します。
- 貨物の安全を定期的に確認してください。
- けん引用のコンポーネントがいずれもしっかりと締められていることを定期的に確認してください。

警告: けん引ではブレーキを踏んでから停止するまでの距離が長くなります。けん引時には、車間距離を増やし、急ブレーキをかけることがないように留意してください。事故につながる危険があります。

警告: お客さまの管轄区でトレーラーのけん引に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。

けん引モード

トレーラーをけん引している時は、けん引モードを常に動作させてください。駐車中にトレーラーを電気接続すると、Model Y は自動的に「けん引モード」を作動させます。トレーラーの電気接続を切断しても、「けん引モード」が自動で解除されるわけではありません。手動で「けん引モード」を作動させる、または解除するには、タッチスクリーンで「コントロール」>「ダイナミクス」>「けん引モード」の順にタッチしてください。以下のいずれかが表示されます。

けん引モードが有効です。



Model Y トレーラー灯火類の接続を検出していますが、けん引モードが無効になっています。アクセサリが接続されている可能性があります。



Model Y トレーラー灯火類の電気接続不良を検出しました。いくつかあるいはすべてのトレーラー灯火類が点灯していない恐れがあります。なるべく早く安全に停車して、トレーラーの灯火類のケーブルや接続に不良がないかを点検してください。問題が解決されたにも関わらずアイコンが赤色のままの場合は、けん引モードを一度無効にしてから再度有効にしてください。

けん引モードが有効になっているとき、一部のオートパイロット機能およびパーキングアシストセンサー機能が使用できない場合があります。さらに、これらの機能は異なる動作をすることがあります。

- トラフィックアウェアクルーズコントロールは、前方にいる車両との車間距離を長めにとります。
- 側面衝突警告は作動しますが、ステアリング自動介入は無効になります。
- 自動緊急ブレーキ（衝突回避アシスト ページ 138 参照）による制動力は制限されます。そのため、停止するまでの距離が長くなります。

警告: Model Y がトレーラーを検出して自動的にけん引モードに入るとはいえ、それに任せきりにしないでください。トレーラーを引く前に必ず、けん引モードになっていることを確認してください。

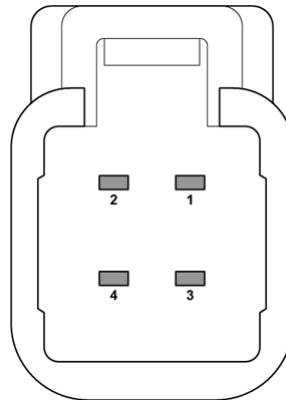
警告: トレーラーをけん引している時には、いかなる状況でもけん引モードを終了してはなりません。大けがにつながる可能性があります。

トレーラーブレーキ

積載重量が 1650 ポンド (750 kg) を超えるトレーラーをけん引する場合には、Tesla ではトレーラーにその重量に適した個別のブレーキシステムを取り付けることを推奨しています。必ず現地の法規制を順守してください。ブレーキ コントローラーは別途購入する必要があります。必須の 4 ピン ピグテイル コネクターは Tesla サービスに発注します。

ブレーキコントローラーを接続するには次の手順に従ってください。

1. ブレーキコントローラーの配線を、4 ピン ピグテイル コネクターの該当する場所に接続します。



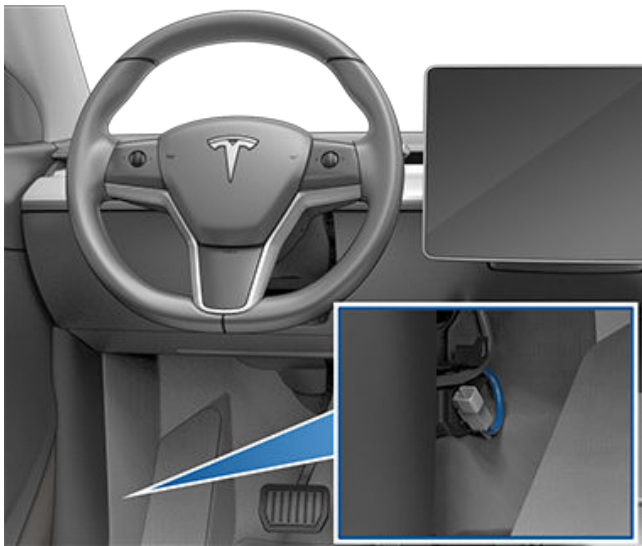
2. 運転席側足元のダッシュボード下にあるカバーを開きます。



牽引とアクセサリ



3. カーペットをめくって車両のワイヤーハーネスにある4ピンコネクタを露出させます。



4. ピッグテイルコネクタを車両の配線コネクタに接続します。

警告:けん引時には、トレーラー自信にブレーキ系が備わっていたとしても制動距離が長くなります。けん引時には、車間距離を増やし、急ブレーキをかけることがないように留意してください。これを怠ると、衝突事故につながる危険があります。

警告:トレーラーのけん引およびブレーキの必要条件に関して地域または国で定められているすべての規制、法的義務を遵守してください。多くの地域で、トレーラーが車両から離れた場合にトレーラーのブレーキを作動させる、ブレーキアウェイスイッチをトレーラーのヒッチ部に装着することが求められています。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。

警告:トレーラー用ブレーキのメーカーが提供する説明書に従って、トレーラーブレーキが適切に取り付けられ、正しく調整、維持されるようにしてください。Teslaはトレーラーのブレーキ系の取り付け不良による損害には責任を負いません。

トレーラーをつけた状態での駐車

可能な限り、勾配のある場所には駐車しないでください。ただし、勾配のある場所での駐車がどうしても避けられない場合には、トレーラーの車輪に車輪止めをつけてください。以下の手順を他の人に手伝ってもらってください。

1. 1人がブレーキペダルを踏んだ状態を維持します。
2. もう一人の人が車両タイヤの下り坂側のホイール下に車輪止めを置きます。
3. 車輪止めが配置されたら、ブレーキペダルを離し、車輪止めが車両とトレーラーの重量を支えていることを確認します。

注:車輪止めをテストするときは、車両のホールド機構（オートブレーキホールドページ84参照）が車両を支えていないようにします。車両ホールドがModel Yにブレーキをかけているときは、タッチスクリーンの車両ホールドインジケータライトが表示されます。ホールドを解除するには、ブレーキペダルを踏んでから離します。

4. 車両をパーキングにシフトします。

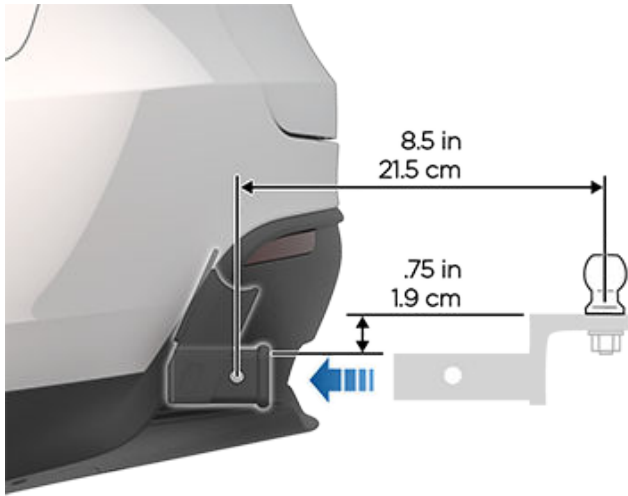
警告:勾配のある場所での駐車が必要な場合は、常にトレーラーの全車輪に確実に車輪止めを置いてください。巻き込み確認を怠ると重大な損傷やけがにつながる恐れがあります。

トレーラーのふらつき軽減

トレーラーがふらついていることが検出されると、電子安定性制御システムが適切な程度のブレーキをかけてトレーラーのふらつきを最小限に抑えようとします。タッチスクリーンには、トラクションコントロールシステムのインジケータが短時間表示されます。このシステムが作動してトレーラーのふらつきを軽減しようとしている時にブレーキペダルを踏んでも、自動ブレーキは解除されません。

ボールマウントの取り付けと取り外し

Model Yのけん引パッケージにはボールマウントは含まれていません。けん引するトレーラーのタイプに適合したボールマウントを別途購入してください。Model Yヒッチレシーバーは8.5インチ(22 cm)までのボールマウントに対応し、0.75インチ(2 cm)の高さまで使用できます。要件を満たさないドロップボールマウントはいかなるタイプも使用しないでください。



ボールマウントは次のようにして取り付けます。

1. バターナイフやマイナスドライバーといった厚みのないものを使用してけん引ヒッチカバーの端をこじり、カバーをリアフェイスに固定している15個のクリップを緩めます。ダストカバーは大切に保管してください。



2. 必要であれば、ロックングボルトからコッターピンを外し、ロックングボルトをヒッチアセンブリから引き出します。
3. ボールホルダーをヒッチアセンブリに差し込みます。
4. ボールホルダーの穴をヒッチアセンブリの穴と合わせます。
5. ロックングボルトをヒッチアセンブリ/ボールホルダーに通します。
6. コッターピンをロックングボルトの端にある穴に差し込みます。

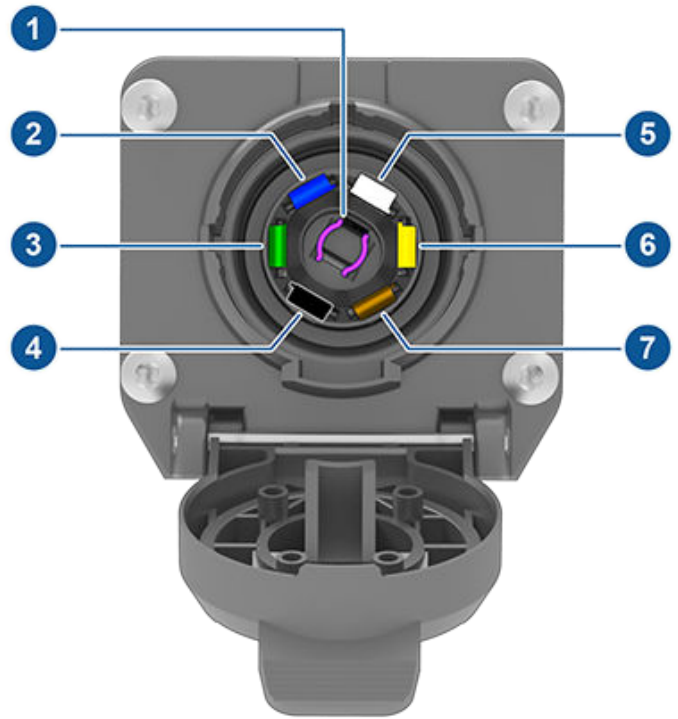
ボールマウントは次のようにして取り外します。

1. ロックングボルトからコッターピンを外し、ロックングボルトをボールホルダー/ヒッチアセンブリから引き出します。

2. ボールホルダーをヒッチアセンブリから引き出します。
3. ダストカバーをヒッチハウジングに再度取り付け、ボールマウントは大切に保管してください。

電気系の接続

トレーラーは、テールランプ、ブレーキランプ、側面標識灯、方向指示器灯を装備するよう規則で求められています。トレーラー照明の電源供給のため、ヒッチをサポートしほとんどのトレーラータイプに接続できるワイヤープラグ近くに7ピンワイヤー接続内蔵コネクタがあります。トレーラーの電気配線をModel Yのコネクタに接続すると、けん引モードが自動的に有効になります(けん引モード ページ 97 を参照)。すべての電気的接続が作動し、すべてのトレーラー灯火が事前におよびけん引中に作動するようにすることは、運転者の責任です。実際に点検してください。



1. 後退灯
2. ブレーキコントローラー出力
3. 右折灯とブレーキ灯
4. 低電圧電源(装備されている場合)
5. アース
6. 左折灯とブレーキ灯
7. テールランプ

けん引中にトレーラーのライトが消えたら、トレーラーの配線不良やトレーラーの電気出力部に接続されたライトの電力過剰消費が原因である場合があります。このような場合、タッチスクリーンに赤い「牽引モード」アイコンが表示されます。配線の問題を解決するか、トレーラーの電力出力部に接続するライトの数を減らして、「けん引モード」をオフにしてからもう一度オンに切り替えます。



牽引とアクセサリ

注: 鉛低電圧バッテリーを装備する車両には補助電力がありません。低電圧リチウムイオンバッテリーを装備する車両は現時点で補助電力がありません。車両にどのバッテリーは装備しているかは、「コントロール」>「ソフトウェア」>「追加車両情報」の順にタッチすることで確認できます。

注意: トレーラーの電気ケーブルが地面に接触あるいは引きずっていないこと、および引き回し時にケーブルの余裕が十分あることを確認してください。

警告: 電気コネクタは Tesla 設計品のみを使用してください。トレーラーの電気配線の継ぎ合わせや他の方法で直接接続することはしないでください。車両の電気系に損傷を与え、誤動作を招く可能性があります。

航続距離への影響

トレーラーをけん引すると、車両の重量と抵抗が増加します。その結果として、航続距離は大きく減少します。トリッププランナー（販売地域で利用可能な場合）がけん引モードに基づき予想航続距離を調整しようとしませんが、実際のエネルギー消費量は異なる場合があります。そのことを勘案した走行距離や充電場所の計画を立ててください。



オートパイロットは、運転をより安全でストレスの少ないものにするを目的とした高度なドライバーアシスタンス機能を組み合わせたものです。これらの機能のどれも、Model Y を完全に自律的にはしませんし、ドライバーとしてのあなたに取って代わることもありません。オートパイロット機能は、すべての新型 Tesla 車両に標準装備されています。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、以下の機能が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

基本型オートパイロットには、トラフィックアウェアクルーズコントロールとオートステアリングが含まれています。

- **トラフィックアウェアクルーズコントロール:** 車速を維持し、先行車両がある場合、先行車両との車間距離を調整して維持します。「[トラフィックアウェアクルーズコントロール](#)」 [ページ 104](#) を参照。
- **オートステアリング:** 車速と先行車両との車間距離を維持しながら、インテリジェントに Model Y が車線を維持するようにします。「[オートステアリング](#)」 [ページ 105](#) を参照。

⚠ 警告: 基本型オートパイロットはハンズフリー機能ではありません。常にハンドルの上に手を置き、道路状況、周囲の交通状況、その他の道路利用者（歩行者や自転車など）に注意を払ってください。即座に対応できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

フルセルフドライビングは、ドライバーの作業負荷をさらに軽減し、車線変更や駐車などの一般的なアクションをより簡単にするための追加機能が含まれています。

注: 2024 年 4 月頃より前に製造された車両については、自動車線変更、ナビゲート オン オートパイロット、オートパーキング、サモン、およびスマート サモンは、エンハンスト オートパイロットのパッケージに含まれています。

- **自動車線変更:** オートステアリングが有効なときにウィンカーを操作すると、Model Y は隣接する車線に移動します（[自動車線変更](#) [ページ 106](#) を参照）。
- **ナビゲート オン オートパイロット:** 車線変更、インターチェンジのナビゲーション、ウィンカーの自動操作、正しい出口の選択といった、高速道路への進入から退出まで、Model Y を能動的にガイドします（「[ナビゲート オン オートパイロット](#)」 [ページ 106](#) を参照）。
- **オートパーキング:** Model Y の縦列駐車または車庫入れ駐車を実行します（[オートパーキング](#) [ページ 124](#) を参照）。
- **サモン:** ドライバーが車外にいるときでも、Model Y を前方または後方に移動します。これは、狭い駐車場で駐車に役立ちます（[サモン](#) [ページ 126](#) を参照）。
- **スマート サモン:** Model Y を駐車スペースから出し、より複雑な周囲環境を通過し、障害物や他の車両を避けて移動し、ドライバーのいるところまたは事前設定した目的地に到達させます（[スマート サモン](#) [ページ 128](#) を参照）。
- **信号機/一時停止標識コントロール:** 車速を維持し、車間距離を保ち、車線をはみ出すことなく Model Y を走行させながら、信号機や停止標識に合わせて減速や停止を行います（[信号機と一時停止のコントロール](#) [ページ 113](#) を参照）。

- **フルセルフドライビング（監視付き）:** 道路の曲りに沿って目的地までドライブを行います。交差点、停止標識、ロータリーで停止し、通り抜けます。左右に曲がります。高速道路への進入/高速道路からの退出を行います（[フルセルフドライビング（監視付き）](#) [ページ 120](#) を参照）。

⚠ 警告: フルセルフドライビングに含まれる機能は、ハンズフリーの機能ではありません。常に手でハンドルを握り、道路状況、周囲の交通状況、その他の道路利用者（歩行者や自転車など）に注意を払ってください。常に道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

動作の仕組み

オートパイロットは、Model Y のカメラを使用して、周囲を監視し、他の車両、歩行者、道路標識、障害物（障壁や縁石など）を検知します。Model Y の前面、背面、左側および右側にカメラが取り付けられています（「[カメラ](#)」 [ページ 18](#) を参照）。

Model Y には、ドライバーの注意力を監視するキャビンカメラがリアビューミラーに搭載されている場合があります。ご自身の責任において、常にハンドルの上に手を置き、道路に注意を払い、直ちに対処できるように備えてください。

オートパイロットが作動している場合、Model Y には段階的に強まる一連の警告が表示され、ハンドルを握ったまま道路に注意を払うように促します。対応しない場合、オートパイロットは解除され、残りのドライブでは使用できなくなります。

⚠ 警告: オートパイロットは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。オートパイロットに頼って Model Y を十分に減速させようとししないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートパイロットの限界を理解し、常に自ら制御できるように準備することはドライバーの責任です。制限、注意、警告の詳細については、「[制限と警告](#)」 [ページ 130](#) を参照してください。

オートパイロットの使用条件

それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 196](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model Y のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。特定のアラートに関する詳細については、[トラブルシューティングのアラート ページ 235](#) を参照してください。

オートパイロット機能を使用する前、および一部のサービスのための訪問の後には、カメラをキャリブレーションするために短い距離をドライブする必要があります。詳細な情報については、[走行中のカメラキャリブレーション ページ 18](#) を参照してください。

また、以下の場合、これらの機能が意図したとおりに動作しないことがあります。

- 道路に急カーブがある、または標高が大幅に変化している。
- 道路標識や信号機が不明瞭、あいまい、または整備が不十分である。
- 視認性が低い（激しい雨、雪、雹など、または夜間の道路照明が貧弱である）
- トンネル内や、カメラの視界を妨げる分離帯の近くなどを走行している。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。

一覧はオートパイロット機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。詳細については、「[制限と警告](#)」 [ページ 130](#) を参照してください。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、以下の機能が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートパイロット機能	使用可能な条件
トラフィックアウェアクルーズコントロール	<ul style="list-style-type: none"> • 18 mph (30 km/h) から 85 mph (140 km/h) で運転中 <p>注: Model Y の前方 5 ft (1.5 m) 以上のところに車両が検出された場合、より低速でトラフィックアウェアクルーズコントロールを作動させることができます。</p>
オートステアリング	<ul style="list-style-type: none"> • 18 mph (30 km/h) から 85 mph (140 km/h) で運転中 <p>注: Model Y の前方 5 ft (1.5 m) 以上のところに車両が検出された場合、より低速でオートステアリングを作動させることができます。</p> <p>注: 生活道路、センターラインのない道路、またはアクセス管理されていない道路では、最大許容巡航速度が制限され、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。制限速度は、道路の制限速度に 10 km/h (5 マイル) プラスした値です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドライトは「オン」または「自動」に設定されます。オートパイロットは昼間でも暗い場所（夕暮れ時や夜間）でも使用できますが、ヘッドライトが「オフ」に設定されていると、オートステアリングは中止されるか、使用できません。オートステアリングが作動すると、「オートハイビーム」が自動的に有効になり（ハイビームヘッドライト ページ 73 を参照）、ワイパーが「自動」に設定されます。
ナビゲートオンオートパイロット	<ul style="list-style-type: none"> • 18 mph (30 km/h) から 85 mph (140 km/h) で運転中。 <p>注: Model Y の前方 5 ft (1.5 m) 以上のところに車両が検出された場合、より低速でナビゲートオンオートパイロットを作動させることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセス管理された高速道路を走行しています。アクセス管理された高速道路を離れると、ナビゲートオンオートパイロットはオートステアリングに戻ります。



オートパイロット機能	使用可能な条件
フルセルフドライビング（監視付き）	<ul style="list-style-type: none"> • 85 mph（150 km/h）未満でドライブしている。 <p>注: フルセルフドライビング（監視付き）は、Model Y の前方に車両が検出されたかどうかに関わりなく、Model Y の停止時を含む、より低速で作動させることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドライトは「オン」または「自動」に設定されます。フルセルフドライビング（監視付き）は昼間でも暗い場所（夕暮れ時や夜間）でも使用できますが、ヘッドライトが「オフ」に設定されていると停止するか、使用できません。フルセルフドライビング（監視付き）が作動すると、「オートハイビーム」が自動的に有効になり（ハイビームヘッドライト ページ 73を参照）、ワイパーが「自動」に設定されます。

T オートパイロット機能

このトピックでは、以下のドライバーアシスタンス機能を有効にして使用方法について説明します。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、以下の機能が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

- **トラフィックアウェアクルーズコントロール**従来のクルーズコントロールと同様に、トラフィックアウェアクルーズコントロールは設定された走行速度を維持します。ただし、トラフィックアウェアクルーズコントロールは、先行車両からの距離を維持するために、必要に応じて Model Y を減速または加速します。トラフィックアウェアクルーズコントロールが作動している間であっても、Model Y の操縦運転はドライバーの責任です（[トラフィックアウェアクルーズコントロール ページ 104](#) を参照）。

- **オートステアリング:** オートステアリングは、トラフィックアウェアクルーズコントロールと同様に、設定速度（目の前に車両がない場合）または設定された車間距離（目の前に車両がある場合）を維持します。さらに、オートステアリングは、車線マーキング、路肩および車両や物体の存在を検出して、インテリジェントに Model Y の走行車線を維持します（[オートステアリング ページ 105](#) を参照）。

注: オートステアリングは、ベータ版の機能です。

- **自動車線変更:** オートステアリングが作動しているときにウィンカーを作動させると、自動車線変更によって Model Y は、ウィンカーが示している方向に隣接する車線に移動します（[自動車線変更 ページ 106](#) を参照）。

- **ナビゲート オン オートパイロット:** ナビゲート オン オートパイロットは、トラフィックアウェアクルーズコントロールおよびオートステアリングの機能の上に構築されています。オートステアリングが作動している場合、ナビゲート オン オートパイロットを使用すると、Model Y が車線を提案し、設定されている場合、車線を自動的に変更して他の車両を追い越し、ナビゲーションルートをたどることができます（[ナビゲート オン オートパイロット ページ 106](#) を参照）。

注: ナビゲート オン オートパイロットはベータ版機能です。

トラフィックアウェアクルーズコントロールおよびオートステアリングは、Model Y のカメラからの情報を使用して車線マーキング、路肩、ならびに Model Y の周囲の他の車両および道路の使用者を検出します。

! **注意:** それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 196](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかけた車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model Y のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。特定のアラートに関する詳細については、[トラブルシューティングのアラート ページ 235](#) を参照してください。

! **注意:** オートパイロットの制限事項およびドライバーの介入が必要となる状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、[制限と警告 ページ 130](#) を参照してください。

オートパイロット設定

オートパイロット機能を使用する前に、「コントロール」>「オートパイロット」の順にタッチして機能をカスタマイズします。

- **設定速度:** 現在検出している速度制限と現在の走行速度のどちらでオートパイロットを作動させるかを選択します。「コントロール」>「オートパイロット」>「設定速度」の順にタッチし、「速度制限」または「現在の速度」を選択します。

- **オフセット:** 「速度制限」を選択した場合、「速度オフセットの設定」にタッチしてオフセット量を指定できます。「固定」（すべての道路で特定量だけ巡航速度が調整されます）または「パーセント」（巡航速度は、その道路に対して検出された速度制限のパーセンテージとして調整されます）を選択できます。

- **オートパイロット起動:** オートステアリングを有効にする方法を選択します。「一回引く」に設定している場合、ドライブレバーを1回引き下げると、トラフィックアウェアクルーズコントロールとオートステアリングの両方が作動します。「二回引く」に設定している場合、オートステアリングを作動させるにはドライブレバーをすばやく続けて2回引き下げる必要があります。

注: オートパイロット起動 トラフィックアウェアクルーズコントロールをオートステアリングから独立して使用する場合は、「二回引く」に設定する必要があります。

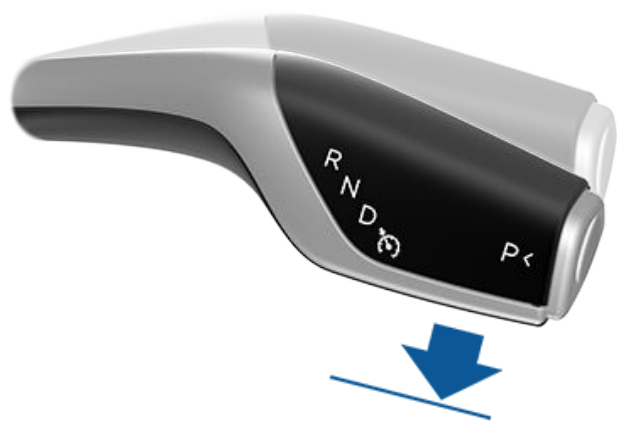
- **青信号チャイム:** カナダおよび米国: オンにしておくと、赤信号で待っていて青信号になるとチャイムが鳴ります。トラフィックアウェアクルーズコントロールを積極的に使用せず、前方に車両がある状態で赤信号待ちをしているときには、先行車両が発進するとチャイムが鳴ります。

トラフィックアウェアクルーズコントロール

トラフィックアウェアクルーズコントロールは常に有効になっています。

トラフィックアウェアクルーズコントロールを使用するには:

1. ドライブレバーを一回引き下げ、アクセルペダルをゆるめると、トラフィックアウェアクルーズコントロールで巡航速度が維持されます。トラフィックアウェアクルーズコントロールが有効になったことを示すチャイムが鳴ります。





注: オートパイロット起動を「一回引く」に設定している場合、ドライブレバーを1回引いてもオートステアリング（トラフィックアウェアクルーズコントロールを含む）が作動します。「コントロール」>「オートパイロット」>「オートパイロット作動」にタッチして「二回引く」を選択すると、ドライブレバーを1回引き下げたときに、オートステアリングから独立してトラフィックアウェアクルーズコントロールを使用することができます。

- 設定速度を変更するには、右のスクロールホイールを上（加速）または下（減速）に回します。いつでもアクセルペダルを踏んで、設定された巡航速度を一時的に無効にすることができます。詳細な情報は、[オートパイロット使用時ページ 109](#)を参照してください。
- トラフィックアウェアクルーズコントロールを解除するには、ドライブレバーを上方向に動かすか、またはブレーキペダルを踏みます。詳細な情報は、[オートパイロットのキャンセルページ 108](#)を参照してください。

40
MAX

トラフィックアウェアクルーズコントロールが利用可能であっても有効となっていない場合、タッチスクリーンに灰色で巡航速度が表示されます。表示されている数値は、トラフィックアウェアクルーズコントロールを有効にしたときに設定される速度を表しています。

40
MAX

トラフィックアウェアクルーズコントロールを有効にして、設定速度で巡航している場合、速度は青色の文字で強調表示されます。

警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。Model Yを適切に減速させる操作をトラフィックアウェアクルーズコントロールに依存してはいけません。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。詳細な情報は、[制限と警告ページ 130](#)を参照してください。

オートステアリング

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、オートステアリングが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

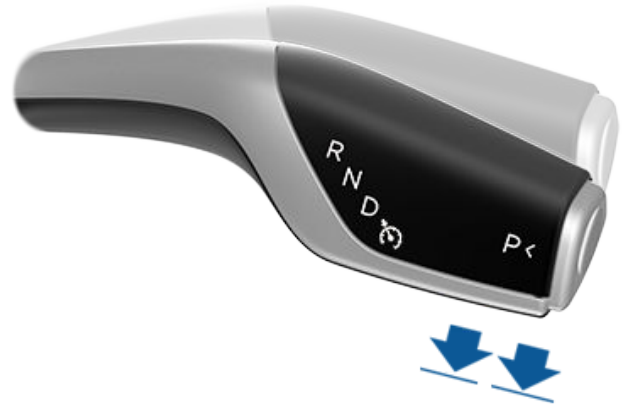
オートステアリングを有効にするには:

- 「コントロール」>「オートパイロット」>「オートパイロット機能」>「オートステアリング（ベータ版）」の順にタッチします。
- ポップアップウィンドウをよく読んで理解したら、「はい」をタッチします。

オートステアリングを使用するには:

- ドライブレバーを下方向に2回連続で動かします。

注: オートパイロット起動の設定が「一回引く」になっている場合、ドライブレバーを一回押し下げるとオートステアリングが作動します（[オートパイロット設定ページ 104](#)を参照）。



- 設定速度を変更するには、右のスクロールホイールを上（加速）または下（減速）に回します。詳細な情報は、[オートパイロット使用時ページ 109](#)を参照してください。
- オートステアリングを解除するには、ドライブレバーを上方向に動かすか、またはブレーキペダルを踏みます。詳細な情報は、[オートパイロットのキャンセルページ 108](#)を参照してください。

オートステアリングを作動させると、Model Yでは、作動していることを確認するためにチャイムが鳴り、道路に注意を払い、いつでも運転を引き継ぐ準備をしておくように注意喚起するメッセージが、タッチスクリーンに短い間表示されます。



オートステアリングが利用可能である（ただし、Model Yを能動的に操舵してはいない）ことを示すため、タッチスクリーンの上隅のドライビングギアの隣に灰色のオートステアリングアイコンが表示されます。オートステアリングが一時的に利用できない状況では、オートステアリングアイコンが消えます。（この例としては、運転速度がオートステアリングの作動に必要な速度内にない場合などがあります。）



オートステアリングが有効であることを示すために、タッチスクリーンにオートステアリングアイコンが青色で表示されます。

オートステアリングが車線マーキングを検出できる場合、走行車線の端がタッチスクリーン上に青色で表示されます。



オートパイロット機能



オートステアリングが作動しているときは常に、トラフィックアウェアクルーズコントロールも作動します。

オートステアリングが起動していて制限速度を検出できない場合、巡航速度はオートステアリングによって 45 mph (70 km/h) に制限されます。手動で加速して制限速度を超えることはできませんが、アクセルペダルを踏んでいる間は、障害物を検知しても Model Y はブレーキをかけません。アクセルペダルから足を離すと、オートステアリングはこの制限速度まで減速させます。その道路から離れるか、またはハンドルを使用してオートステアリングをオフにすると、必要に応じて再度、設定速度を上げることができます。

警告: オートステアリングはハンズオンのアシスタンス機能です。常にハンドルの上に手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、常にすぐに行動できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。オートステアリングの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、[制限と警告 ページ 130](#) を参照してください。

自動車線変更

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両に自動車線変更が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートステアリング作動中にウィンカーを作動させると、次の条件が満たされている場合、Model Y はウィンカーが示す方向にある隣の車線に移動します。

- ウィンカーを作動させている。
- この車線区分線は車線変更が行えることを示しています。

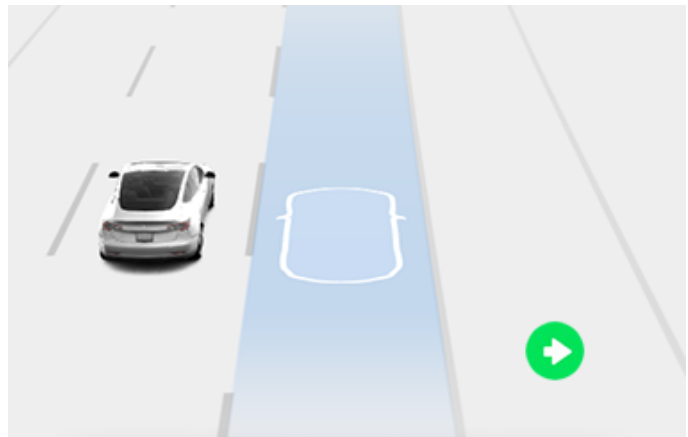
- 車線変更の途中で、Model Y は目標車線の外側車線マーカを検出する必要があります。車線区分線を検出できない場合は、車線変更は中止され、Model Y は元の車線に戻ります。
- カメラの視野が遮られていない。
- Model Y 死角にある車両、または目標車線の中心まで車両や障害物を検知しません。車両またはその他の障害物が目標の車線に検知された場合、その障害物はタッチスクリーンの視覚化において赤色で表示され、車線変更が安全になるまで、Model Y は車線変更を完了しません。

警告: オートパイロットは、隣接する車線の車両や障害物を検知するように設計されていますが、常に目視点検を実施して、目標の車線に安全かつ適切に移動できることを確認する責任がドライバーにはあります。データが不十分なためにオートパイロットが車線変更できない場合、タッチスクリーンに一連の警告が表示されます。そのため、自動車線変更機能の使用中は、常にタッチスクリーンに注意を払い、Model Y のハンドルを手動で制御できるように準備しておく必要があります。

オートパイロットが車線変更を実行する最小速度は、地域、隣接する車線の速度、およびその他の要因によって異なる場合があります。いつでも手動でハンドルを操作して、必要に応じて車線変更をする準備をしておいてください。自動車線変更を実行中に、追い越し加速が作動し Model Y が前方の車両に近づくように加速します ([追い越し加速 ページ 111](#) を参照)。

ウィンカーを作動させると、オートパイロットによって Model Y は一度に 1 車線ずつ移動します。さらに車線を変更するためには、最初の車線変更が完了した後にウィンカーを再度作動させる必要があります。

Model Y で車線変更を行う際は、前方の運転経路と周囲の状況を注視することで、自動車線変更機能の動作を監視することが重要です。いつでもハンドルを引き継げるように準備しておいてください。隣の車線に入ると、Model Y が進入した車線の場合がタッチスクリーンに表示されます。



ナビゲート オン オートパイロット

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にナビゲート オン オートパイロットが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。



ナビゲート オン オートパイロットを有効にするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「ナビゲート オン オートパイロット (ベータ版)」の順にタッチします。次に、ナビゲート オン オートパイロットの操作をカスタマイズするため、「ナビゲート オン オートパイロットのカスタマイズ」にタッチします。

- **毎回運転開始時に有効にする:** ナビを実行する時にナビゲート オン オートパイロットを自動的に有効にするかどうかを選択します。有効にすると、運転を開始するたびに「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンが経路案内リストに表示されます。
- **速度に応じた車線変更:** ナビゲート オン オートパイロットは、経路に応じた車線変更と速度に応じた車線変更の両方を実行できるように設計されています。速度に応じた車線変更はオプションです。この設定を使用して、速度に応じた車線変更を無効にすることや、設定した巡航速度を達成するために、ナビゲート オン オートパイロットでの車線変更をどの程度積極的に行うか（「マイルド」、「平均値」、または「マッドマックス」）を指定することができます。
- **追い越し車線から離脱:** 目的地へのナビゲーション時に、ナビゲート オン オートパイロットで追い越し車線からの離脱を誘導するかどうかを選択します。ルートに基づいた車線変更や速度に基づいた車線変更に加えて、ナビゲート オン オートパイロットでは、他の車両を追い越していない時、低速の車線に留まるように追い越し車線からの車線変更を求めるリマインダーが流れます。これを無効にするには「いいえ」を選択し、Model Y の追い越し車線での走行を維持します（ナビゲーションルートに従う必要がある場合を除く）。
- **車線変更の確認が必要です:** (装備している場合) デフォルトでは、ナビゲート オン オートパイロットで車線変更を進める前に、該当する方向のウィンカーを作動させることによる確認が必要になります。3 秒以内に車線変更の確認を行わない場合、ナビゲート オン オートパイロットで車線変更の確認が必要であることを知らせるチャイムが鳴ります。
- **車線変更通知:** 車線変更の通知の有無または通知方法について指定することができます（「オフ」、「チャイム」、「バイブレーション」、または「両方」）。

「運転開始時に有効にする」がオンになっているとき、次の場合にナビゲート オン オートパイロットは自動的に作動します。

- オートステアリングが作動している。
- ドライバーが目的地に向かって移動しています。
- アクセスが管理された高速道路を走行しています。

有効になると、ナビゲーションルートが有効になっていて、ルートに少なくとも 1 つの進入制限されている道路が含まれる場合、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンが常に地図の経路案内リストの上部に表示されます。

「運転開始時に有効にする」がオフになっている場合、経路案内の上にある「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンにタッチすると、有効になります。「ナビゲート オン オートパイロット」を選択すると、オートステアリングが作動するたびに作動します。

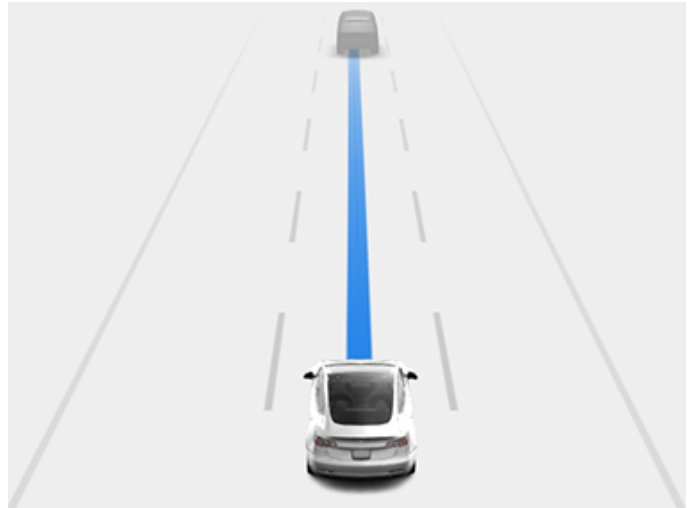


目的地に移動中に、「ナビゲート オン オートパイロット」が使用可能ではあるがアクティブではない場合、「ナビゲート オン オートパイロット」アイコンが経路案内リストに表示されます。



「ナビゲート オン オートパイロット」が有効な場合、アイコンは青色になります。「運転開始時に有効にする」がオンになっている場合、ナビゲーションを開始する際に「ナビゲート オン オートパイロット」アイコンが選択されます。アイコンにタッチすると、「ナビゲート オン オートパイロット」がキャンセルされ、「オートステアリング」に戻ります。

「ナビゲート オン オートパイロット」が作動しているとき、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンは青色になり、走行車線は、Model Y の前にある 1 本の青い線として、タッチスクリーンに表示されます。



経路案内には、オートパイロットナビ走行によって誘導される地点（高速道路出口など）の隣に、オートステアリングアイコンが表示されます。

ナビゲート オン オートパイロットが作動すると、Model Y は速度に応じた車線変更と経路に応じた車線変更の両方を自動的に行います。

- **速度に応じた車線変更:** ナビゲート オン オートパイロットでは車線を変更することで、目的地までの走行時間を短縮します。例えば、Model Y が設定した巡航速度よりも低い速度で走行する車両の後ろを走行している場合、ナビゲート オン オートパイロットによって、追い越し車線に移動して追い越します。速度に応じた車線変更はオプションです。
- **経路に応じた車線変更:** ナビゲート オン オートパイロットは車線を変更して目的地までドライバーを誘導します。たとえば、Model Y がナビゲーションルートで指定している出口に近づくと、ナビゲート オン オートパイロットによって出口車線に移動します。

T オートパイロット機能

ルートベースの車線変更推奨を無視する（高速道路の右側の出口車線に向かっているが左車線を運転している場合など）と、ナビゲート オン オートパイロットでは出口へ誘導することができなくなるため、目的地に向かって再度ルート設定を行います。

注: 経路案内および高速道路のインターチェンジでの進行方向を決定する場合、ナビゲート オン オートパイロットでは高乗車率 (HOV) 車線を使用するかしないかを検討します。このため、現在の環境に「**HOV 車線の使用**」設定が適していることを確認します（[マップとナビゲーション ページ 161](#) を参照）。この設定がオフの場合、時間帯がいつでも、ナビゲート オン オートパイロットは HOV 車線を利用しません。この設定がオンの場合、ナビゲート オン オートパイロットは、該当する場合に、HOV 車線を利用します。

注意: ナビゲート オン オートパイロットでは、ナビゲーションルートによって退出や車線変更が決められている場合でも、オフランプでの退出や車線変更を試みない可能性があります。オフランプに向けて手でハンドルを切ることや、オフランプまたはインターチェンジで必要な車線変更を行ったり出る方向に進むことができるように、常に警戒を怠らずに、準備をしておいてください。

ナビゲート オン オートパイロットは、走行中の道路の種類に応じて、有効または無効に切り替わります。ナビゲート オン オートパイロットが有効で、経路案内に従ってオフランプまたはインターチェンジに近づく、該当するウィンカーが作動して、オートステアリングにより Model Y がオフランプまたはインターチェンジに誘導されます。

アクセス管理されている高速道路から降りると、ナビゲート オン オートパイロットがオートステアリングに戻ります。チャイムが鳴り、タッチスクリーンに、走行車線が (Model Y の前にある青色の線に代わって) 青色の複数の線が表示されます。ナビゲート オン オートパイロットが無効になった時でも、オートステアリングは有効なままです。常に適切に対応できるように準備してください。

警告: ナビゲート オン オートパイロットはハンズフリー機能ではありません。常にハンドルの上に手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、常にすぐに行動できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。ナビゲート オン オートパイロットの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、[制限と警告 ページ 130](#) を参照してください。

オートパイロットのキャンセル

トラフィックアウェア クルーズコントロールは以下の場合にキャンセルされます。

- ドライブストークを上方向に動かした場合。
 - **注意:** ドライブストークを 1 秒以上上げたままにしておくと、オートステアリングがキャンセルされてから、Model Y はニュートラルにシフトします。
- ブレーキペダルを踏んだ場合。
- 90 mph (150 km/h) を超えている。
- リバース、パーキング、ニュートラルにシフトした場合。

- ドアが開いた場合。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき（[衝突回避アシスト ページ 138](#) 参照）。
- 運転者のシートベルトが解除されるか、または運転者が座席から離れたとき。



トラフィックアウェア クルーズコントロールがキャンセルされると、タッチスクリーン上の巡航速度アイコンが灰色になり、トラフィックアウェア クルーズコントロールが無効になっていることを知らせます。

上記のいずれかの操作が実行されると、オートステアリングはキャンセルされます。さらに、オートステアリングは次の場合にキャンセルされます。

- 85 mph (140 km/h) を超えている。
- あなたが手でステアリングを引き継ぎます。

警告: オートパイロット起動が「二回引く」に設定されている場合に、ドライバーが自ら操舵をして、オートステアリングがキャンセルされても、トラフィックアウェア クルーズコントロールは有効なままになります。「オートパイロット作動」が「一回引く」に設定されている場合にドライバーが自ら操舵をして、オートステアリングがキャンセルされると、トラフィックアウェア クルーズコントロールもキャンセルされます。

- ドライバーがタッチスクリーンに表示される、ハンドルに手を置いたままにするように指示する反復的なリマインダーおよび後続のメッセージにตอบสนองしません（[ドライバーの注意カ ページ 111](#) を参照）。

オートステアリングをキャンセルすると、チャイムが鳴り、アイコンが灰色になって、オートステアリングが無効になっていることを示すか、アイコンが完全に消えて、オートステアリングが現在利用できないことを示します。

前述のように、オートステアリングをキャンセルすると、ナビゲート オン オートパイロットもキャンセルされます。さらに、以下の場合、ナビゲート オン オートパイロットがキャンセルされます。



- 地図の経路案内リストで、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンにタッチします。この場合、オートステアリングはまだアクティブです。
- アクセス管理されている高速道路から離れます。この場合、オートステアリングはアクティブのままです。

オートパイロットでナビゲーションがキャンセルされてもオートステアリングがアクティブのままの場合、チャイムが鳴り、運転レーンの1本の青色の線が、車線の両側にある2本の青い線に視覚化されます。

トラフィックアウェアクルーズコントロールまたはオートステアリングキャンセルした場合、Model Yは慣性走行しません。代わりに、トラフィックアウェアクルーズコントロールが動作していないときにアクセルペダルから足を離れた場合と同様、回生ブレーキによってModel Yが減速します（[回生ブレーキ ページ 78](#)を参照）。

オートパイロット使用時

トラフィックアウェアクルーズコントロールが作動していて、オートパイロットが設定速度を維持している場合、タッチスクリーンに青色のテキストで速度が強調表示されます。

オートステアリングが有効な場合、ハンドルアイコンは青色で表示され、車線マーキングはその視覚化において青色で強調表示されます。ナビゲート オン オートパイロットも作動している場合、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンは青色になり、タッチスクリーンには、走行車線がModel Yの前にある1本の青い線として表示されます。

路面標示、赤信号、障害物（ゴミ箱、柱など）といった車道およびその周辺の詳細情報を表示するには「コントロール」>「オートパイロット」>「フルセルフドライビングの表示プレビュー」の順にタッチします。

オートステアリングが車線マーカを検知できない場合、先行車両を元に車線を決定します。オートステアリングは通常、Model Yに走行車線の中央の位置を維持させようとします。ただし、オートステアリングが車線の中心から外れた走行経路に従う場合があります（たとえばガードレールが検出された場合）。

設定速度の変更

オートパイロットが有効な場合、前方に他の車両が検出されないのであれば、Model Yは設定巡航速度を維持します。車両の後ろで巡航する場合、Model Yは必要に応じて加速および減速して、選択した車間距離を維持します（[「車間距離の調整」 ページ 109](#)を参照）。

アクセルペダルを踏み込むことで、いつでも手動で加速することができますが、ペダルをゆるめると、Model Yは設定速度での巡航を再開します。

Model Yカーブに進入または退出する際も巡航速度を調整します。

先行車両からの選択した距離を維持するため、Model Yが積極的に減速すると、ブレーキランプが点灯します。ブレーキペダルのわずかな動きに気付くことがあります。ただし、Model Yが加速をしているときは、アクセルペダルは動きません。

設定速度の変更

右のスクロールホイールを上（加速）または下（減速）に回して、設定速度を変更します。

以下のいずれかの方法によって、巡航速度を現在の速度制限（指定したオフセットを含む）に変更することもできます。

- ドライブストークを押し下げ短い間保持する。
- タッチスクリーンの制限速度標識にタッチして、クルーズ速度の変化が確認されるまで短い間そのままにします。



Model Yが新たな設定速度に達するまで数秒かかる場合があります。

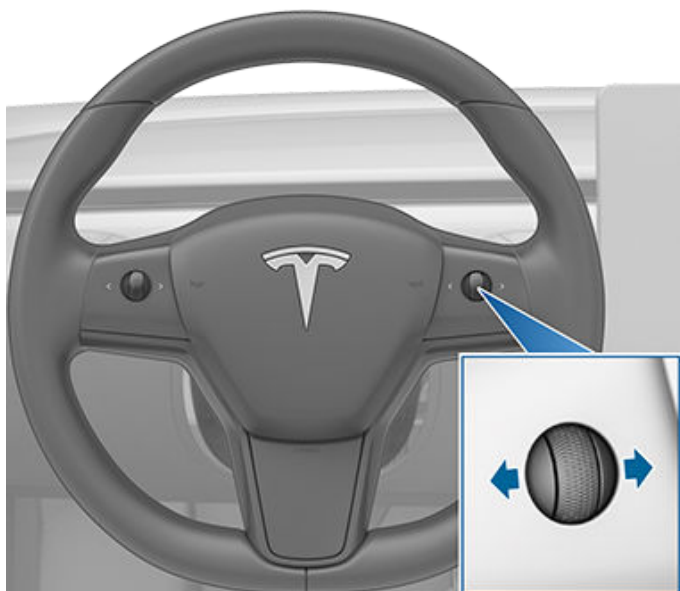
車間距離の調整

Model Yと前方を走行する車両との車間距離を調整するには、ハンドルの右スクロールボタンを左または右に押します。

注: フルセルフドライビング（監視付き）が有効な場合、ハンドルの右スクロールボタンを左または右に押すと、フルセルフドライビング（監視付き）のプロフィールが変わります（[フルセルフドライビング（監視付き） ページ 120](#)を参照）。

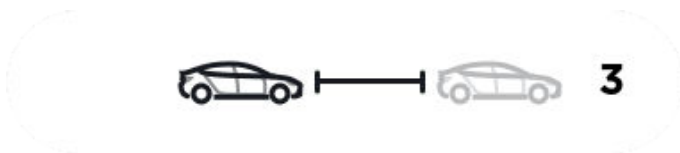
最も短い追従距離は2です。

オートパイロット機能



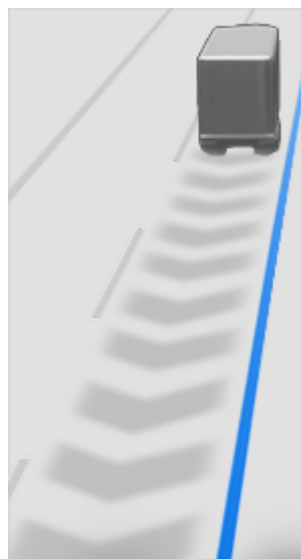
各設定は、Model Yが現在の位置から先行車両のリアバンパーの位置に到達するまでにかかる時間に基づいた距離に相当します。オートパイロットは、再度変更するまで設定を保持します。

車間距離を調整すると、タッチスクリーンに現在の設定が表示されます。



停止とスローダウン

隣接する車線を走行する車両より著しく速い速度で走行しているとき、Model Yは自動的に走行速度を減速します。これは、交通量が多い場合や他の車両が頻繁に車線変更するような状況などにとても効果的です。Model Yが他の車両が非常に低速であることを検知すると、タッチスクリーンには隣の車線が矢印でハイライト表示され、検知された車両は灰色に表示されて、Model Yは適宜減速します。一時的にこの機能を無効にするためには、アクセルペダルを踏み込みます。



前方に他の車両がある場合、Model Yが完全停車したとしても、オートパイロットは低速において有効となったままとなります。たとえば、高速道路での著しい渋滞時に、Model Yが完全またはほぼ完全な停止まで減速しても、オートパイロットは有効なままです。交通の流れがより速くなりだすと、オートパイロットによって再び設定速度まで加速します。

Model Yが完全に停止している場合、オートパイロットがホールド状態になります。その場合、アクセルペダルを短い間踏み込むと、巡航を再開します。



ホールド状態が有効な場合、タッチスクリーンにはホールドアイコンとメッセージが表示され、クルーズコントロールを再開する必要があることを示します。

Model Yは、以下の状況でオートパイロットがアクティブな場合、ホールド状態になります。

- Model Yが5分間停車していた場合。
- Model Yが歩行者を検出した場合（歩行者が検出されなくなるとホールド状態は解除されます）。
- Model Yの前方にいた車両が突然視界からなくなった場合。
- Model Yの前方に障害物を検出した場合。

高速道路出口またはその付近で巡航する

アクセス管理された道路（高速道路や自動車専用道路など）の出口付近を巡航しているときに、オフランプに向かってウィンカーを入れると、オートパイロットはドライバーが出口から退出しようとしているものとみなしてModel Yを減速させます。オフランプに向かって走行していない場合、オートパイロットは設定速度での巡航を再開します。

右側通行の地域の場合は、最も右側の車線を走行している時に出口の164 ft (50 m) 手前で右ウィンカーを出したときに限ってこれが行われます。同様に左側通行の地域の場合は、最も左側の車線を走行している時に出口の164 ft (50 m) 手前で右ウィンカーを出したときにこれが行われます。



注:「ナビゲート オン オートパイロット」が有効な場合、Model Y は経路ベースの車線変更を実行して出口車線に入り、必要に応じてオフランプを通過してナビゲーション ルートをたどりま

す。
高速道路のインターチェンジまたはオフランプで有効になっている場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは、ドライバーが設定した速度を 5 mph (5 km) 刻みで、最も遅い速度としては 25 mph (40 km) まで減速して、その場所を走行した他の Tesla 車両から報告された速度に一致させるように試みます。これを無効にして設定速度での巡航を継続するには、アクセルペダルをすこしだけ踏み込みます。インターチェンジまたはオフランプを走行する間、(その速度を無効にするか、オートパイロットをキャンセルしない限り) 新しい設定速度が保たれます。インターチェンジまたはオフランプを通過した後、設定速度は元の速度に戻るか、そのロケーションの必要性に応じて変更されます。例えば、他の高速道路に合流する場合、設定した巡航速度はインターチェンジに差し掛かる前の設定速度に戻ります。

警告: 場合によっては (データが不足している場合など)、トラフィックアウェア クルーズコントロールは高速道路のインターチェンジまたはオフランプの走行時に設定された速度を自動的に減速しない場合があります。適切な走行速度を決定するために、トラフィックアウェア クルーズコントロールのみに頼らないでください。道路状況に合った速度で、制限速度以内で安全に走行することが推奨されます。

進入制限のある道路 (高速道路や自動車専用道路など) に進入するとき、オートパイロットは、高速道路の速度制限にユーザーが指定したオフセットを反映した走行速度に自動的に調整します。「ナビゲート オン オートパイロット」が作動している場合、アクセス管理された高速道路を出ると解除されます (オートパイロットのキャンセル ページ 108 を参照)。この場合、オートステアリングはアクティブのままです。

追い越し加速

ウィンカーを一時的に作動させ、前方車両に向かって Model Y を加速します。以下の場合、一瞬だけウィンカー レバーを上または下に保持すると、アクセルペダルを踏まなくても、設定速度まですばやく加速することができます。

- トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動中で前方に車両を検出している場合。
- 追い越し車線上に障害物または車両が検出されていない場合。
- Model Y が、設定速度を下回り、かつ 72 km/h を上回る速度で走行している場合。

注: オートステアリングが作動しているときに、ウィンカーを完全に作動させると、Model Y は自動的に車線を変更します (自動車線変更 ページ 106 を参照)。

Model Y は、車線変更に時間がかかりすぎている場合、または Model Y が先行車両に近すぎる場合、設定巡航速度に達したときに、加速を停止します。Model Y は、ウィンカーを解除すると、加速も停止します。

赤信号と一時停止標識の警告

オートステアリングの使用中に、赤信号や一時停止標識を通過しそうな事象を検出した場合、Model Y はタッチスクリーン上に警告を表示し、チャイム音を鳴らします。これが表示されたら、直ちに是正措置を取ってください。

2、3 秒後、またはドライバーがブレーキペダルを踏んだ時のいずれか早い時点で、視覚および音声警告はキャンセルされます。

赤信号および一時停止標識の警告これにより、赤信号、一時停止標識、路面標示などで Model Y は減速や停止することはありません。信号機/一時停止標識コントロール装備車の場合は、この機能を有効にすることで信号機や一時停止標識で Model Y が自動的に停止します (信号機と一時停止のコントロール ページ 113 を参照)。

緊急車両

市場地域で利用可能な場合、高速道路で夜間オートステアリングを使用しているときに緊急車両からのライトが検出されると、Model Y は自動的に車速を下げます。この際、タッチスクリーンには減速を知らせるメッセージが表示されます。また、チャイムが鳴り、ハンドルに手に置くようにリマインダーが表示されます。検出したライトが通過するか、見えなくなると、オートパイロットは巡航速度を再開します。または、アクセルを踏んで巡航速度を再開することもできます。

緊急車両の有無を判断するのにオートパイロット機能に依存しないでください。Model Y 緊急車両からのライトを検出できるとは限りません。進行方向に注意を払い、常に即座に反応できるように準備をしてください。

ドライバーの注意力

オートステアリングは、Model Y の最適な操縦方法を決定します。オートステアリングが有効になっている時は、ハンドルを握っておく必要があります。ハンドルの上に手が置かれていることを一定期間検知しなかった場合、タッチスクリーンの車両の状態セクションの最上部に青色ライトが点滅表示され、次のメッセージが表示されます。

ハンドルを少し回してください



手が検知されると、警告メッセージは消え、オートステアリング機能は通常動作に戻ります。オートステアリングは、ハンドルを回したときにわずかな抵抗を認識すること、またはドライバーがハンドルを (操舵をとって代わるために十分なほどの力を掛けることなく) 手で回したことを認識することで、ドライバーの手を検知します。ウィンカーレバーの操作や、ハンドルのボタンやスクロールホイールの使用を検知した場合も、オートステアリングはドライバーの手を認証します。

またオートステアリング使用時は、ドライバーは周囲に注意を配り、すぐに運転を代わられるように備えていなければなりません。それでもオートステアリングがハンドル上に置かれている手を検出しない場合、タッチスクリーンの車両ステータスセクションにあるライトの点滅が速くなり、チャイムが鳴ります。

オートパイロット機能

ハンドルにわずかな力をかけるように促すオートステアリングの注意を繰り返し無視すると、残りの運転でオートステアリングは無効となり、以下に示すように自分で運転することを求めるメッセージが表示されます。



オートパイロットは現在の走行では利用不可です。オートパイロットの強制解除 - 注意力警告の無視のため。

次の運転まで、オートステアリングを使用することはできません。オートステアリングは、次の運転でも再び利用できます（停車し Model Y をパーキングに切り替えた後）。

手で運転を再開しないと、オートステアリングは連続してチャイム音を鳴らし続け、警告灯を点滅し、走行速度を落として停止させます。

オートパイロットの一時停止

不適切な使用が検出された場合、オートパイロット機能の使用は一時停止されます。

オートパイロットの「強制解除」が5回に達すると、オートステアリングおよびフルセルフドライビング（監視付き）の使用は1週間停止されます。強制解除とは、ドライバーが不注意のため音声および表示による警告を数回受けた後、現在の走行サイクルでそれ以降、オートパイロットシステムが解除されることを指します。

オートパイロットへのアクセスが一時停止されるまでの強制解除回数の残数は、「コントロール」 > 「オートパイロット」の順にタッチして確認できます。

強制解除は、再度強制解除を受けない限り、7日後に免除されます。

注: オートステアリングおよびフルセルフドライビング（監視付き）へのアクセスが一時停止されると、オートパーキングにもアクセスできなくなります。しかし、トラフィックアウェアクルーズコントロールは引き続き使用でき、アクティブセーフティ機能はすべて有効のままです。

ドライバーの介入が必要な場合や、安全な走行を続けるためにすばやく運転を引き継ぐ必要がある場合があります。ドライバー側からの解除は、ドライバーの想定される操作であり、不正利用としてはカウントされません。



注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両に信号機/一時停止標識コントロールが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

注: 信号機と一時停止のコントロールはベータ版で、Teslaの車両が頻繁に走行している道路でもっともうまく機能します。信号機と一時停止のコントロールは、青信号を含むすべての信号で停止を試み、青信号でも停止することがあります。

信号機と一時停止のコントロールは、信号機と一時停止標識を認識して反応するように設計されており、トラフィックアウェアクルーズコントロールやオートステアリングの使用時にはModel Yを減速し、停止させます。この機能では、GPSデータだけでなく車両の前方カメラを利用して、一時停止標識と一部の路面標識の他、緑色、点滅黄色、消灯など検出されたすべての信号機で車両を減速します。Model Yが交差点に近づくとき、タッチスクリーンに、減速を指示する通知が表示されます。続けるか確認する必要がある、そうしなかった場合タッチスクリーンのドライビングディスプレイに表示された赤色の線でModel Yは停止します。

⚠ 警告: 交差点や路面表示で信号機と一時停止のコントロールがどのタイミングで、またどの位置で停止するか、あるいは動作を続けるかは**決して**思い込みで予測しないでください。ドライバーの目線から、信号機と一時停止のコントロールがいつも同じように動作するわけではありません。常に道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。交差点で停止するか通過するかを決めるのはドライバーの責任です。交差点で停止する、あるいはそのまま通過することが安全で適切であるとの判断を、信号機と一時停止のコントロールに委ねないでください。

ご利用の前に

信号機と一時停止のコントロールを利用する前には、次の事項が必要です。

- 前方カメラの視界が遮られておらず（[カメラのクリーニングページ 196](#)を参照）、キャリブレーション済（[走行中のカメラキャリブレーションページ 18](#)を参照）であることを確認してください。信号機と一時停止のコントロールが信号機や一時停止標識、路面標識を検出できるかどうかは、カメラの能力に依存します。
- 地図の最新バージョンがModel Yにダウンロードされていることを確認してください。信号機と一時停止のコントロールは基本的に、車両のカメラからの視覚データを利用しますが、最新の地図データを使用することで一層の精度が得られます。現在ダウンロードされている地図のバージョンを確認するには、「[コントロール](#)」>「[ソフトウェア](#)」の順にタッチします。更新された地図を受け取るにはWi-Fiネットワークに接続している必要があります（[地図のアップデートページ 166](#)参照）。
- 機能の有効化。車両がパーキングに入っている状態で、[コントロール](#)>[オートパイロット](#)>[信号機と一時停止のコントロール](#)をタッチします。これを有効にしておくと、トラフィックアウェアクルーズコントロールかオートステアリングが有効な場合に、信号機と一時停止のコントロールが動作します。

動作の仕組み

信号機と一時停止のコントロールが有効で、オートステアリング、トラフィックアウェアクルーズコントロールまたはフルセルフドライビング（監視付き）を利用している場合、タッチスクリーンにポップアップメッセージが表示され、前方に信号機、一時停止標識、または路面標識が検出されたことを伝えます。停止位置に近づくとき、**青信号の交差点であっても**、Model Yは減速して、Model Yの停止予定位置が赤い線で表示されます。交差点をそのまま通過するには（たとえ信号機が青であっても）ドライブレバーを押し下げるか、またはアクセルペダルを短く踏んで通過を承認する必要があります。そのまま進むことを確定すると、赤い停止線がグレーに変わり、Model Yは交差点に進出し、設定した巡航速度に戻ります。

注: 前方の信号機が青のときに前の車両が交差点を通過中であることをModel Yが検出すると、現在の走行車線が右左折専用車線でもドライバーの手がハンドルにかけていることを車両が検知した場合、Model Yはドライバーの確定操作がなくてもそのまま交差点を通過します。

注: ドライブレバーを押し下げた後でも、またはアクセルペダルを短く踏んで通過を承認した後でも、交差点進入直前に信号機が変わった場合（青から黄色、または黄色から赤）は、Model Yがそのまま交差点に進入するのが不適切であると判断することがあります。その場合、Model Yは停止動作に入るため、それを無視して前進させる場合は、アクセルを踏む必要があります。車両が適切かつ安全に停止あるいは加速するようにさせることは、常に運転者の責任です。

⚠ 警告: 信号機と一時停止のコントロールにより、フルセルフドライビング（監視付き）が作動していない限り、Model Yは交差点を曲がって通過しません。Model Yは、右左折専用車線上では、赤色停止線で停止します。ドライブレバーを押し下げるか、またはアクセルペダルを短く踏むとそのまま走行できます。ただし、Model Yは、交差点をまっすぐ通過しようとするため（右左折専用車線でも）、交差点では手動でModel Yのステアリングを操作する必要があります（この結果オートステアリングはキャンセルされます）。







信号機と一時停止のコントロールは、以下の条件を満たす場合にのみ、説明したような動作をします。

- オートステアリング、フルセルフドライビング（監視付き）、またはトラフィックアウェアクルーズコントロールが有効になっている。
- 前方の信号機、一時停止標識、路面標識をカメラが検出できる（カメラの視界が遮られておらず、信号機、一時停止標識、路面標識が見通せる位置にある等）。
- Model Yのタッチスクリーン先方の信号機を「強調」フォーマットで表示している。Model Yはタッチスクリーンに色落ち表示されている信号機を認識していません。信号機がカメラの真正面でない場合（カメラの斜め前や隣の車線等）、タッチスクリーンはそれを色落ち表示し、Model Yはそのための減速や停止を行いません。

⚠ 警告: タッチスクリーンが前方の交差点を赤い停止線で表示していない場合、Model Yは減速や停止を行いません。前方の交差点に注意し、交通状況を監視して車両がいつ停止すべきかを判断し、必要に応じて適切な行動をとるのは、運転者の責任です。



信号機と一時停止のコントロール

-  **警告:** 交差点で停止するかあるいはそのまま進むかの判断を、信号機と一時停止のコントロールに頼らないようにしてください。道路、前方の交差点、交通状況、横断歩道、歩行者に気を配って、慎重に運転してください。交差点で停止するか、そのまま進むかの判断は、常に運転者の責任です。すぐに対応できるように準備しておいてください。それを怠ると怪我や死亡につながる恐れがあります。
-  **警告:** 状況によっては、信号機と一時停止のコントロールが、信号機や一時停止標識を誤って認識して Model Y が想定外の減速をすることがあります。いつでもすぐに操作できるように準備しておいてください。
-  **警告:** 信号の色に関係なく、交差点をそのまま通過するには、ドライブレバーを押し下げるか、またはアクセルペダルを短く踏む必要があります。確認を行わない場合、Model Y は停止が適切ではない場合であっても、タッチスクリーンに表示されている赤い停止線で停止します。青信号で停止すると周りの運転者を混乱させるだけでなく、衝突や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。そのため、前方の交差点に気を配り、周囲の状況に応じて手動でブレーキやアクセル操作ができるように備えてください。
-  **警告:** 信号機や路面標示（特に複雑な交差点や、信号機や標識の一部が隠れているような交差点等）の自分の認識能力を過信しないでください。すなわち、Model Y もそれを認識して適切な対応をするだろうと思えないでください。
-  **警告:** 最新のマップデータでさえ、すべての信号機や一時停止標識が含まれているわけではありません。したがって、この信号機と一時停止のコントロールでは、信号機、一時停止標識、路面標示などを検出するためにカメラの能力が重要な役割を果たします。そのため、カメラの視野が塞がれた（樹木や大型車両、あるいは急勾配の坂や、急カーブにある大きな物体などで）交差点では Model Y が見落とすことがあります。
-  **警告:** 信号機と一時停止のコントロールは、注意深い運転や適切な判断に取って代わるものではありません。



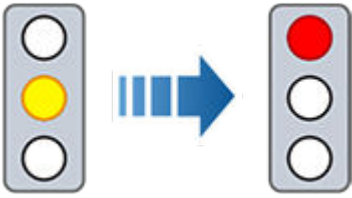
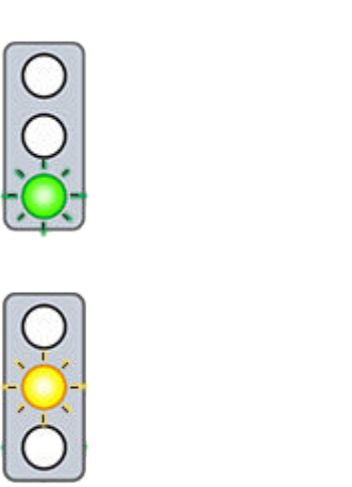

信号

オートステアリングやトラフィックアウェア クルーズコントロールを有効にし、さらに信号機と一時停止のコントロールを有効にして運転する際は、Model Yが信号機で制御された交差点に近づくとき、以下のような反応をするよう設計されています:

信号機の種類	車両の意図した応答
 	<p>青色信号機、または現在消灯している信号機（点灯していない）で、Model Yは減速します。</p> <p>交差点を通過しつつある車両に続いて走行している場合、タッチスクリーンには緑色の停止線が表示され、ハンドルに手をかけていれば、この場合も Model Yはそのまま走行を続けます。前方に車両がない場合、タッチスクリーンには赤い停止線が表示されます。交差点を通過するには確定操作としてドライブレバーを押し下げるか、またはアクセルペダルを短い間踏みます。この確定操作をしないと、Model Yは赤色の停止線で停止します。</p> <p>注: Model Y 交差点を抜けるときは、前方車両の走行速度を考慮しながら、すみやかに設定巡航速度に復帰します。</p>
 	<p>Model Y 減速し、タッチスクリーンに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点をそのまま通過する場合（青信号に変わった場合や Model Y が完全停止した場合など）は、ドライブレバーを押し下げるか、またはアクセルペダルを短く踏みます。</p>
  	<p>Model Y 減速し、タッチスクリーンに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過する場合（青信号に変わった場合など）は、ドライブレバーを押し下げるか、またはアクセルペダルを短く踏みます。</p> <p>注: 交差点を通過する指示を与えた後に信号機が変わった場合（青信号が黄色に変わる等）、Model Y が交差点に入る前に安全に停止できると判断した場合は、Model Y は通過せずに停止する場合があります。</p> <p>注: Model Y は、信号機が赤色の場合や黄色に変わった場合、交差点に入る前に安全に停止できる適切な距離があれば停止するように設計されています。</p> <p>注: ブレーキを踏むことで、オートステアリングやトラフィックアウェア クルーズコントロールをキャンセルし、いつでも運転を引き継ぐことができます。</p>



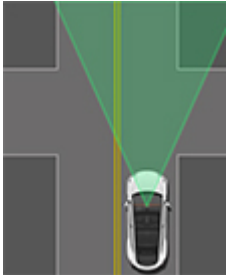
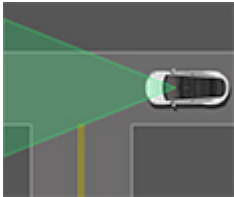
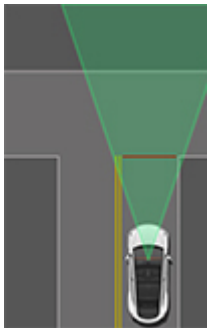

信号機と一時停止のコントロール

信号機の種類	車両の意図した応答
	
	<p>Model Yは減速します。そのまま走行するには、ドライブレバーを押し下げるか、アクセルペダルを短く踏みます。この操作をしないと、Model Yはタッチスクリーンに表示されている赤色の停止線で停止します。</p> <p>注: Model Yを停止させず、停止線への接近時の減速を最小限に抑えるには、タッチスクリーンに赤い停止線が表示された後に、ドライブレバーを押し下げるか、またはアクセルペダルを短い間踏み込んで、次に進みたいことを確認することができます。Model Yは、運転者による確認後、(前方車両の走行速度を考慮して) すみやかに設定した巡航速度に復帰します。</p> <p>⚠ 警告: 注意深く近づき、減速あるいは停止できるようにブレーキペダルを踏む準備をします。</p>
	<p>Model Y減速し、タッチスクリーンに表示される赤い停止線で完全に停止します。このまま交差点を通過したい場合(交通法規に抵触せず安全に通過できる状況などで)、ドライブレバーを押し下げるか、またはアクセルペダルを短く踏みます。</p>



一時停止標識や路面標示

オートステアリングやトラフィックアウェア クルーズコントロールを有効にし、さらに信号機と一時停止のコントロールを有効にして運転する際、Model Yが信号機、停止線、路面表示で制御された交差点に近付くと、以下のような反応をするよう設計されています:

交差点の種類	車両の意図した応答
 <p>交通整理なし</p>  <p>T字路の直進方向</p>	<p>Model Yは、優先通行権があると考え、減速や停止をすることなく進みます。</p>
 <p>T字路の突き当り道路</p>	<p>Model YがT字路をマップデータで検出した場合、Model Yは減速し、タッチスクリーンに表示されている赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過したい場合は、ハンドルとアクセルを引き継ぐ必要があります。</p> <p>⚠️ 警告: Model Yは、一時停止標識や停止線がない場合や、マップデータにT字路が含まれていない場合、T字路で停止できません。注意して走行し、すぐに停止できるように備えてください (必要な場合や適切な場合)。</p>
 <p>一時停止標識</p>	<p>Model Y減速し、タッチスクリーンに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過する場合、ドライブレバーを押し下げるか、またはアクセルペダルを短く踏みます。</p> <p>注: Model Yの停止前に、ドライブレバーを押し下げるか、またはアクセルペダルを短く踏んで、一時停止標識のある交差点を通過しようと指示しても、その指示は無視されます。Model Yは一時停止標識を停止せずに通過できるようにには設計されていません。</p> <p>注: 交差点を曲がるには、オートステアリングを使用している場合であっても、方向指示器を出していても、ご自分でハンドルを回す必要があります (それでオートステアリングはキャンセルされます)。</p>



信号機と一時停止のコントロール

交差点の種類	車両の意図した応答
	
一時停止標識や路面標示	
	
路面標示	

⚠ 警告: Model Y 環状交差点でも減速して停止します。ステアリング操作をシステムから引き継ぎ（それでオートステアリングがキャンセルされ）ドライブレバーを押し下さげるか、アクセルペダルを短く踏んで、ラウンドアバウトの通過を承認します。

⚠ 警告: 横断歩道では、横断歩道が信号機で制御されているかどうか、また、カメラが横断歩道に歩行者や自転車を認識したかどうかによって、Model Y は減速し、停止します。横断歩道では特に注意を払い、いつでも操作を引き継げるように準備しておいてください。それを怠ると怪我や死亡につながる恐れがあります。

制限事項

信号機と一時停止のコントロールは以下の場所では、さまざまな状況と環境条件次第で停止することもあれば停止しないこともあります:

- 踏切
- 立ち入り禁止区域
- 料金所
- 横断歩道
- 譲れ標識や、一時的な信号機および一時停止標識（工事区間等）
- その他の交通 U ターン信号や歩行者横断用信号、走行車線指示信号等

さらに、次の条件が 1 つまたは複数ある場合には、信号機と一時停止のコントロールは想定通りの動作をしないか、切り離される、あるいは動作しないことが考えられます。

- それぞれの間隔が非常に短い連続した信号機のある交差点。
- 見通しが悪い（豪雨、雪、霧等）あるいは悪天候がカメラやセンサーの動作を妨げている。
- 明るい光（直射日光など）がカメラの視野を妨げている場合。
- カメラが妨げられている、覆われている、損傷している、適切にキャリブレーションされていない。



- 急な上り坂や急カーブでカメラが前方の信号機や一時停止標識を認識できない。
- 信号機、一時停止標識、路面標示が妨害されている（木や大型車などにより）。
- Model Y が前方車両に非常に近くまで接近し、カメラの視界を妨げている。



警告: 上記の制限は、Model Y が期待通りに動作しない原因の一部です。多くの予期せぬ状況が、信号機と一時停止のコントロールの正確な動作に悪影響を与えます。この機能を利用することで、注意深く、責任をもって運転する必要性が減るあるいはなくなるわけではありません。いかなる時でも適切かつとっさの行動がとれるよう備えておく必要があります。



フルセルフドライビング（監視付き）

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にフルセルフドライビング（監視付き）（「市街地でのオートステアリング」とも呼ばれる）が装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

フルセルフドライビング（監視付き）（市街地でのオートステアリング）が作動している場合、Model Y は目的地までドライブしようとします。道路のカーブに沿って進み、交差点で停止したり通過したり、左右に曲がったり、高速道路に出入りしたりします。

トラフィックアウェアクルーズコントロール、オートステアリング、ナビゲートオンオートパイロットは、車線が明確なマルチレーン道路での使用を目的としています。フルセルフドライビング（監視付き）はさまざまな運転シナリオで機能するように設計されています。フルセルフドライビング（監視付き）は、住宅街や都市部など、あらゆる種類の道路で使用できます。

警告: 対向車のある狭い道路、工事区域、複雑な交差点を通過しているときなど、特定の状況では、ドライバーの介入が必要になる場合があります。ドライバーの介入が必要になるシナリオの例については、「制限と警告」ページ 130 を参照してください。

フルセルフドライビング（監視付き）は、Model Y の前面、背面、左右に取り付けられたカメラからの入力を使用して、Model Y の周囲エリアのモデルを構築します（カメラ ページ 18 を参照）。Model Y にインストールされているフルセルフドライビング コンピュータは、この入力を使用し、ニューラルネットワークを迅速に処理し、目的地まで安全に案内するための決定を行うように設計されています。

注: Tesla のフルセルフドライビング（監視付き）能力が進化するのに合わせて、Model Y はワイヤレスソフトウェアアップデートによってアップグレードされます。利用可能になったらすぐにアップデートをダウンロードしてください。

他のオートパイロット機能と同様に、フルセルフドライビング（監視付き）では運転者に十分な注意を払う必要があります。運転者の対応を必要とする一連の警告が表示されます。フルセルフドライビング（監視付き）の作動中も、常にハンドルを握ってください。フルセルフドライビング（監視付き）の作動中は、キャビンカメラがドライバーの注意力を監視します（ドライバーの注意力 ページ 123 を参照）。

警告: フルセルフドライビング（監視付き）は、常に道路に注意を払う必要があるハンズオン機能です。常にハンドルに手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、歩行者や自転車に注意を払い、常にすぐに行動できるように準備してください（特に見通しの悪いコーナー、交差点、狭い場所での運転時には注意が必要です）。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。フルセルフドライビング（監視付き）の制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、制限と警告 ページ 130 を参照してください。

注意: 不適切な使用が検出された場合、フルセルフドライビング（監視付き）の使用は一時停止されます。詳細な情報については、「オートパイロットの一時停止」ページ 123 を参照してください。



注意: フルセルフドライビング（監視付き）の装備が拡張されるのに伴い、Tesla は米国およびカナダ以外の国のお客様を対象にした利用を段階的に可能にいく予定です。それぞれの国においては、フルセルフドライビング（監視付き）を時間をかけて適応させる必要のある独自のインフラ、運転動作、および交通パターンがあるので、新たに対象となった国でフルセルフドライビング（監視付き）を使用するドライバーは特に注意を払う必要があります。いつでも安全に運転を代わられる準備ができています。

ご利用の前にフルセルフドライビング（監視付き）

フルセルフドライビング（監視付き）をご利用の前に、ドライバーは次のことを行う必要があります。

- Model Y のカメラが視界の遮られておらず、キャリブレーション済であることを確認してください（カメラ ページ 18 を参照）。フルセルフドライビング（監視付き）における信号機、一時停止標識、または路面標示の検出は、カメラの能力に依存します。
- 地図の最新バージョンが Model Y にダウンロードされていることを確認してください。フルセルフドライビング（監視付き）では基本的に、車両のカメラからの視覚データを利用しますが、最新の地図データを使用することで一層の精度が得られます。現在ダウンロードされている地図のバージョンを確認するには、「コントロール」 > 「ソフトウェア」の順にタッチします。更新された地図を受け取るには Wi-Fi ネットワークに接続している必要があります（地図のアップデート ページ 166 参照）。

また、フルセルフドライビング（監視付き）を使用するには、あらかじめ有効にしておく必要があります。フルセルフドライビング（監視付き）を有効にするには、「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「フルセルフドライビング（監視付き）」の順にタッチし、ポップアップウィンドウのよく読んで理解したうえで、「はい」をタッチします。

注: フルセルフドライビング（監視付き）を有効にすると、オートパイロット起動の設定は「1 回引き下げ」に設定され、トラフィックアウェアクルーズコントロールおよびオートステアリングは使用できません。

フルセルフドライビング（監視付き）の設定をカスタマイズするには、「コントロール」 > 「オートパイロット」にタッチします。

- **フルセルフドライビング（監視付き）:** 希望する場合、初期設定を「平均値」から「コンフォート」または「積極的」に変更します。「コンフォート」ではよりリラックスできるドライビングスタイルを、「積極的」ではより緊張感のあるドライビングスタイルを提供します。
- **現在の走行における最小の車線変更:** これを選択すると、フルセルフドライビング（監視付き）が現在の走行での車線変更を少なくします。Model Y は依然、道順に従うために必要に応じて車線変更を行います。

フルセルフドライビング（監視付き）



注: フルセルフドライビング（監視付き）を選択しているとき、右ハンドルボタンを右または左に倒しても、フルセルフドライビング（監視付き）のプロフィールを変更したり、「最小の車線変更」を有効または無効にしたりすることができません。

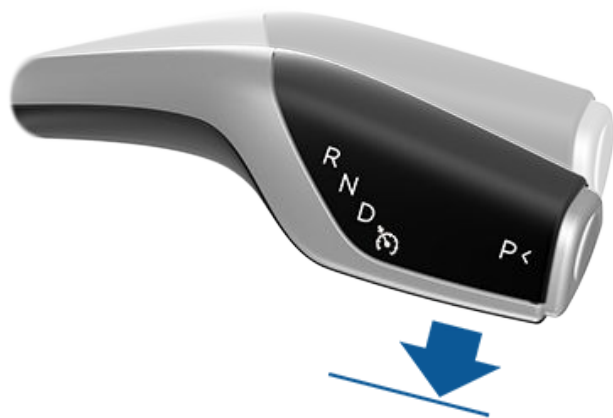
- **設定速度の自動オフセット:** これを有効にすると、Model Y はオートパイロットが最も自然と判断する速度で走行します。その際は、道路の種類、交通量、環境的条件、検出した制限速度、および選択したフルセルフドライビング（監視付き）のプロファイルなどの要因が考慮されます。

警告: オートパイロットの作動の有無に関わらず、車両の速度に対してはドライバーが常に責任を負います。

使用方法 フルセルフドライビング（監視付き）

フルセルフドライビング（監視付き）を有効にしたら、オートステアリングと同じ方法で起動します（[オートステアリング ページ 105](#) を参照）。

1. 目的地を入力します。目的地を入力しない場合、Model Y は最も可能性のある走行経路を選択するか、運転に基づいて目的地を提案します。
2. タッチスクリーンに灰色のハンドルアイコンが表示されたら、ドライブレバーを1回完全に引き下げます。



フルセルフドライビング（監視付き）は、Model Y が静止している場合を含め、150 km/h（85 mph）未満の速度であれば、どの速度でも作動できます。

タッチスクリーンには、最高速度が青色で表示されます。フルセルフドライビング（監視付き）を作動させると、設定巡航速度はデフォルトで制限速度に、指定されたオフセットを加えたものになります。オートパイロットが制限速度を判断できない場合、巡航速度は現在の速度に、指定されたオフセットを加えたものになります。



フルセルフドライビング（監視付き）が利用可能であるが作動していないことを示すため、タッチスクリーンの上端にドライビングギヤの横に灰色のハンドルアイコンが表示されます。



フルセルフドライビング（監視付き）を作動させると、ハンドルアイコンは青色になり、青い線で走行経路を表示します。

フルセルフドライビング（監視付き）を作動させると、タッチスクリーンには、道路や車両、歩行者、縁石、自転車などの検知対象物を含む Model Y の周囲の環境が視覚化されます。ピジュアライゼーションでハイライト表示されている対象物は、特定の時点でフルセルフドライビング（監視付き）がアクティブな制御の判断基準としている対象物の優先度を表します。

注: フルセルフドライビング（監視付き）の視覚化情報は、目的地まで運転しようとするときにフルセルフドライビング（監視付き）が考慮する障害物、道路標識、道路信号などを総合的に表現したものではない場合があります。フルセルフドライビング（監視付き）を作動させている間は、Model Y のカメラからのデータが使用されますが、視覚化では表示されない場合があります（[カメラ ページ 18](#) を参照）。



視覚化により、交差点を曲がる時に視界を確保するために車両が徐行する場合などに、タッチスクリーンにメッセージを表示することで、システムの意図した動作がドライバーに通知されます。

映像エリアをフルスクリーンまで拡大することができます。「コントロール」>「オートパイロット」>「フルセルフドライビング（監視付き）」>「フルセルフドライビングの映像を拡大」の順にタッチして、この設定を有効にします。次にタッチスクリーンで、映像ウィンドウハンドルをスワイプして画面全体まで拡大します。

注: システムの意図した動作に違和感がある場合、または不安がある場合は、いつでもフルセルフドライビング（監視付き）を無効にすることができます。あなたは常に Model Y を運転しています。



フルセルフドライビング（監視付き）

キャンセルフルセルフドライビング（監視付き）

フルセルフドライビング（監視付き）をキャンセルするには、次のいずれかの操作を行います。

- ブレーキペダルを踏みます。
- ドライブストークを上方向に動かす。
 - 注意:** ドライブストークを1秒以上上げたままにしておくと、オートステアリングがキャンセルされてから、Model Yはニュートラルにシフトします。
- 引き継ぎ、手でハンドル操作します。

手でハンドル操作を行ってフルセルフドライビング（監視付き）を解除しても、トラフィックアウェアクルーズコントロールは有効なままです。

また、以下のいずれかの場合、フルセルフドライビング（監視付き）は解除されます。

- ドライブ以外にシフトする。
- ドアまたはトランクが開いている。
- 自動緊急ブレーキイベントがある（衝突回避アシストページ138を参照）。
- 運転者のシートベルトが解除されるか、または運転者が座席から離れたとき。
- ドライバーがタッチスクリーンに表示される、ハンドルに手を置いたままにするように指示する反復的なリマインダーおよび後続のメッセージに対応しない。
- フルセルフドライビング（監視付き）は使用できなくなります。これは、いくつかの理由で発生する可能性があります（たとえば、カメラが不鮮明になった場合）。フルセルフドライビング（監視付き）が解除されると、タッチスクリーンに警告メッセージが表示され、チャイムが鳴ります。このような場合は直ちにハンドル操作を代わってください。

ドライバーの介入が必要な場合は、できるだけ早く安全に解除するようにしてください。フルセルフドライビング（監視付き）の解除は、他の道路利用者がいない安全な環境で行うことをお勧めします。そうすることで、このプロセスに慣れることができます。

使用中フルセルフドライビング（監視付き）

フルセルフドライビング（監視付き）は、車線変更、左右のターン、オンランプおよびオフランプのフォロー、目的地に到達するために必要に応じて道路の分岐を行います。

警告: 交差点や路面表示に従ってフルセルフドライビング（監視付き）が停止または通過するタイミングおよび位置を、仮定したり予測したりしないでください。ドライバーの観点からは、フルセルフドライビング（監視付き）の動作に一貫性がないように見える場合があります。常に道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。交差点で停止するか通過するかを決めるのはドライバーの責任です。交差点で停止する、または通過することが安全で適切であるとの判断を、フルセルフドライビング（監視付き）に委ねないでください。

オートステアリングやトラフィックアウェアクルーズコントロールと同様に、フルセルフドライビング（監視付き）は速度、および（先行車両があれば）Model Yの先行車両との車間距離を維持します。フルセルフドライビング（監視付き）は、必要に応じて信号機や停止標識で減速停止し、歩行者、自転車、その他の道路上の車両に反応します。

たとえば、住宅街の道路を走行しているときに、Model Yの前方の道路から別の車両がバックしてきた場合、フルセルフドライビング（監視付き）は適切に車両を減速させるか停止させます。他の車両が走行車線を部分的に遮りながらバックしてきて停止した場合、フルセルフドライビング（監視付き）によって車両が減速し、その車線の幅が許せば、その車両を回避するように動きます。

先行車両が減速している場合、フルセルフドライビング（監視付き）は、運転レーンに青い矢印が表示され、先行車両からの適切な後続距離を維持するために減速します。高速道路を走行中、操作（車線変更など）を行うと、フルセルフドライビング（監視付き）によりタッチスクリーンにメッセージが表示されます。

警告: まれに、フルセルフドライビング（監視付き）が、減速、停止、または停止標識または信号機のための制御再開を適切に行わない場合があります。アクセルペダルを軽く踏んでシステムを補助することもできますし、フルセルフドライビング（監視付き）をいつでも無効にすることもできます。

車線変更

複数車線道路で車線変更を行うようにフルセルフドライビング（監視付き）に指示するには、右または左ウィンカーを作動させます。市街地または住宅街で、右または左ウィンカーを操作することは、フルセルフドライビング（監視付き）に対してそれぞれ右折または左折をするように指示を出すこととなります。

ナビゲートオンオートパイロットとは異なり、フルセルフドライビング（監視付き）では車線変更前の確認は不要です。車線変更または方向転換をキャンセルするには、ウィンカーをキャンセルするか、ハンドルまたはその他の車両コントロールを使用して介入します。

今後の車線変更で「チャイム」、「バイブレーション」、またはその「両方」で（タッチスクリーン上の通知に加えて）通知を受けるには、「コントロール」>「オートパイロット」>「フルセルフドライビング（スーパーバイズド）」にタッチして、「車線変更通知」を選択します。



設定速度の変更

フルセルフドライビング（監視付き）が有効な場合、右のスクロールホイールを上（加速）または下（減速）に回して、設定速度を変更します。

注: 場合によっては、制限速度や道路の種類、交通の流れに応じて速度が制限されます。この場合、フルセルフドライビング（監視付き）により、可視化部の最上部にメッセージが表示されます。

目的地に到着する

目的地に到着すると、フルセルフドライビング（監視付き）によって Model Y は停車し、ナビゲーションが完了したことを示すメッセージが表示されます。

ドライバーの注意力

他のオートパイロット機能と同様に、フルセルフドライビング（監視付き）には運転者の注意力が必要です。**フルセルフドライビング（監視付き）が作動している間は、常にハンドルに手を置く必要があります。また、周囲、道路、その他の道路利用者を監視する必要があります。**

警告: ドライバーの注意力を阻害することを意図したデバイスの使用は、フルセルフドライビング（監視付き）の使用条件に違反するため、その車両における機能が永久に無効になり、今後の機能の使用が禁止される可能性があります。

フルセルフドライビング（監視付き）では、ハンドルにわずかな力を加えるようにドライバーに促すメッセージが一定の間隔で表示されます:



ハンドルを少し回してください

Model Y がハンドルのわずかな回転力を検出しない場合、タッチスクリーンが点滅し、最終的にチャイムが繰り返し鳴ります。フルセルフドライビング（監視付き）を使用している間は、ハンドヘルド デバイスを使用しないでください。フルセルフドライビング（監視付き）が作動しているときにキャビンカメラがハンドヘルド デバイスを検出すると、タッチスクリーンに、手をハンドルに乗せたままにするように促すメッセージが表示されます。

同様に、フルセルフドライビング（監視付き）の使用中は、キャビンカメラがあなたの継続的な注意力を監視します。このシステムは無効にすることができません。ドライバーが路面から繰り返し目を離れた場合、カメラの使用が妨げられる場合、またはシステムが運転手の視線を特定できない場合、タッチスクリーンにドライバーの注意を促すメッセージが表示されます。

ハンドルに若干の力を掛けるか、注意することを促すメッセージを繰り返し無視すると、残りの運転でフルセルフドライビング（監視付き）は無効となり、以下に示すようにドライバーが自身で運転することを求めるメッセージが表示されます。手動で運転を再開しないと、フルセルフドライビング（監視付き）は連続してチャイム音を鳴らし続け、警告灯を点滅し、速度を落として車両を完全に停止させます。



オートパイロットは現在の走行では利用不可です。オートパイロットの強制解除 - 注意力警告の無視のため。

オートパイロットの一時停止

不適切な使用が検出された場合、オートパイロット機能の使用は一時停止されます。

オートパイロットの「強制解除」が5回に達すると、オートステアリングおよびフルセルフドライビング（監視付き）の使用は1週間停止されます。強制解除とは、ドライバーが不注意のため音声および表示による警告を数回受けた後、現在の走行サイクルでそれ以降、オートパイロットシステムが解除されることを指します。

オートパイロットへのアクセスが一時停止されるまでの強制解除回数の残数は、「コントロール」 > 「オートパイロット」の順にタッチして確認できます。

強制解除は、再度強制解除を受けない限り、7日後に免除されます。

注: オートステアリングおよびフルセルフドライビング（監視付き）へのアクセスが一時停止されると、オートパーキングにもアクセスできなくなります。しかし、トラフィックアウェアクルーズコントロールは引き続き使用でき、アクティブセーフティ機能はすべて有効のままです。

ドライバーの介入が必要な場合や、安全な走行を続けるためにすばやく運転を引き継ぐ必要がある場合があります。ドライバー側からの解除は、ドライバーの想定される操作であり、不正利用としてはカウントされません。

T オートパーキング

注: 販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアバージョンによっては、オートパーキング機能がないモデルがあります。

オートパーキングではデータを使用して Model Y を操作して、縦列駐車や直角駐車スペースに駐車することで、駐車を簡単にしています。

注: トラフィックアウェア クルーズコントロールが有効な場合、オートパーキングは使用できません。オートパーキングを使用するには、「コントロール」>「オートパイロット」の順にタッチして、オートステアリングまたはフルセルフドライビング（監視付き）を有効にします。

オートステアリングおよびフルセルフドライビング（監視付き）へのアクセスが一時停止されると、オートパーキングにもアクセスできなくなります。詳細な情報については、「オートパイロットの一時停止」ページ 112 を参照してください。

警告: オートパーキングの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、**制限と警告** ページ 130 を参照してください。

警告: ボールヒッチ、バイクラック、トレーラーなどをけん引ヒッチに取り付けている場合はオートパーキングを使用しないでください。他の車両の間や前方に駐車する場合、オートパーキングがヒッチで停止しない可能性があります。

注意: オートパーキングのパフォーマンスは、カメラが他の車両、物体、縁石などにどのくらい接近しているかにより左右されます。それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（**カメラのクリーニング** ページ 196 を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model Y のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。特定のアラートに関する詳細については、**トラブルシューティングのアラート** ページ 235 を参照してください。

パラメーター

オートパーキングでは、以下のパラメーターに基づいて駐車できる可能性のあるスペースを検知します。

直角駐車

- 走行速度が 8 mph (13 km/h) 未満である必要があります。走行速度が速いと、オートパーキングが希望する駐車スペースを正確に検知することができない可能性があります。
- 駐車スペースの幅は車両の幅以上である必要があります。
- 駐車スペースに車両を駐車させるためには、その駐車スペースに、駐車ライン、道路のマーキング、またははっきりした縁石といった、視認可能な 3 本以上のラインがある必要があります。例えば、3 本の視認可能な駐車ラインのない車庫では、オートパーキングが作動しない可能性があります。

- 玉石やレンガといった凹凸のある路面では、オートパーキングが作動しない可能性があります。

縦列駐車

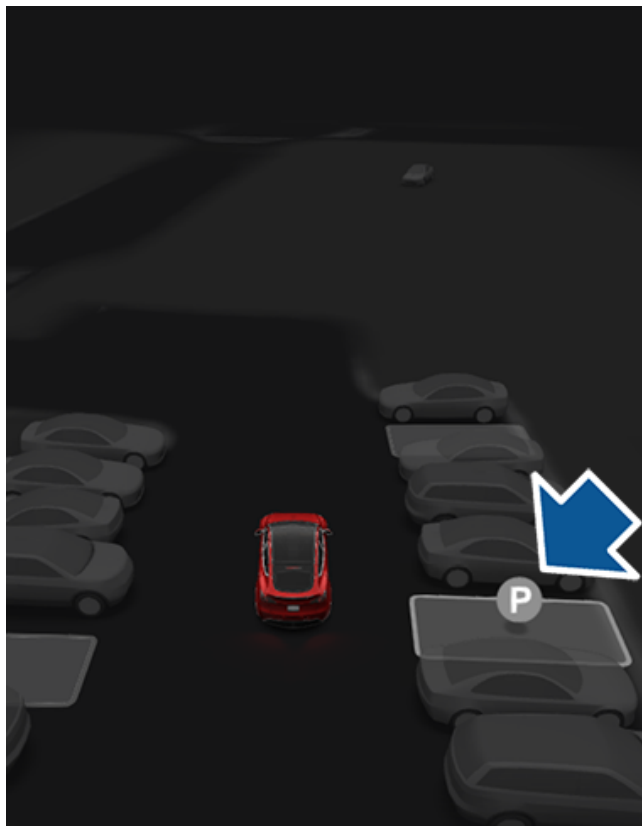
- 走行速度が 8 mph (13 km/h) 未満である必要があります。走行速度が速いと、オートパーキングが希望する駐車スペースを正確に検知することができない可能性があります。
- 駐車しようとするスペースの前または後には車両がある必要があります。

注: オートパーキングは斜め駐車スペースには対応していません。

オートパーキングを使うには

運転中、オートパーキングで、Model Y を駐車スペースに駐車するには以下のステップに従ってください。


- ゆっくり運転しながら、タッチスクリーンを監視して、オートパイロットによって検知された駐車スペース候補を確認します。Model Y が検出された駐車スペースの 1 つに後進で入ることができるような位置に来ると、タッチスクリーンに候補となる空き駐車スペースが表示されます。




注: 検出された駐車スペースは、車両の位置および/または車両の周囲でオートパーキングが適切な運転経路を検出した時のみ表示されます。オートパーキングが適切な経路を決定できない場合（例えば、幅の狭い道路で駐車スペースに入ろうとすると車両の前部が隣接する車線をはみ出してしまふなど）は、車両の位置を変えるか、他の駐車スペースを探すか、手動で駐車してください。

2. スペースを選択します。適切で安全であるかを確認したら、(縦列駐車または後進で直角に車庫入れする際に通常行うように) 車両を駐車スペースの前方 1 台分のところまで車を前進させて停車します。
3. ハンドルを解除し、タッチスクリーンの「開始」にタッチします。
4. 駐車が完了するとオートパーキングによってメッセージが表示されます。

オートパーキングが Model Y を駐車動作をしているときにブレーキペダルを踏むと、タッチスクリーンの「復帰」ボタンが押されるまで、駐車動作は停止します。

 **警告:** 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法的で、適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングでは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。

 **警告:** オートパーキングがアクティブにステアリングを操作している場合 Model Y

- ハンドルの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。
- 周囲を継続的に確認してください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。
- タッチスクリーンを監視し、オートパーキングからの指示に注意を払ってください。

パーキングを一時停止する

オートパーキングを一時停止させるには、ブレーキペダルを一度踏んでください。Model Y は、タッチスクリーンにある「再開」をタッチするまで停止します。

パーキングをキャンセルする

ハンドルを手動で動かすか、ギヤを変更するか、またはタッチスクリーンの「キャンセル」をタッチすると、オートパーキングは駐車操作をキャンセルします。オートパーキングは以下の場合でもキャンセルされます:

- 駐車するための動作が 7 回以上ある場合。
- Model Y が、ドライバーは車両から退出していると検出した場合。
- ドアが開いた場合。
- ドライバーがアクセルペダルを踏んだ場合。
- オートパーキングが一時停止中にドライバーがブレーキペダルを踏んだ場合。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき (衝突回避アシスト ページ 138 参照)。

この機能は、およそ 2023 年 5 月下旬以降に製造された車両用の将来のソフトウェアアップデートで有効になるまで、一時的に制限される、または無効にされることがあります。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にサモンが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

サモンでは、車両の外側に立って、Model Y を自動的に駐車させたり、呼び寄せることができます。サモンでは、Model Y を前後に最大 39 フィート (12 m) 駐車スペースとの間で移動させます。

スマート サモン (装備されている場合) と携帯電話を利用して、障害物を避けながら Model Y をより長い距離移動させることができます。スマート サモンを使用すれば、車両がお客様のいる位置を検知することができます (または、選択した場所まで車両を移動させることができます)。スマート サモン ページ 128 を参照してください。

サモンを使用するには、Model Y の近くに有効なキーが検出できる必要があります。

警告: サモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。

警告: サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。ドライバーには、サモンを責任をもって安全に、意図どおりに使用する責任があります。サモンの制限とその使用を妨げる可能性のある条件の詳細については、「警告と制限」 ページ 130 を参照してください。

サモンを使用する前に

サモンを作動させる前に、タッチスクリーンでサモンをオンにして好みの動作方法にカスタマイズしてください。「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「サモンのカスタマイズ」の順にタッチし、お好みに合わせて以下の設定を調節します。

- **バンパークリアランス:** サモン使用時の検知物体から離れて停止する距離設定 (例: ガレージの壁から数インチ内に停止を希望)。この距離は、前進時サモンが Model Y の前面に検知する、または後進時サモンが Model Y の後ろに感知する物体にのみ適用されますので、ご注意ください。
- **サモン距離:** 駐車スペースへの出入り時に、Model Y が移動する最長距離の設定。
- **サイドクリアランス:** サイドクリアランスの許容距離を指定するオプションを選びます。「タイト」では、Model Y が非常に狭い駐車スペースに出入りできるようになります。

警告: 狭いスペースに駐車することは、カメラおよびセンサー (装備されていれば) が障害物の位置を正確に検出する能力を制限するため、Model Y または周囲にある物体に損傷を与えるリスクがあります。

- **「連続押ししてください」:** サモンのデフォルト設定では、駐車動作中、モバイルアプリのボタンを長押しして、Model Y を動かすことが必要です。「連続押しが必要」を「いいえ」に設定した場合、ボタンを押して指を離すことができ、車両を動かす続けるために長押しする必要はありません。また、「連続押しが必要」を「いいえ」に設定している場合、モバ

イル アプリの代わりにキーフォブ アクセサリーを使用してサモンを操作したり (#unique_355 ページ を参照)、車内からパーキング動作を開始したりできます (降車前にサモンを開始させる ページ 127 を参照)。

- **自動 HomeLink を使用する** (装備されている場合): サモンを使用して駐車を行っている際に、HomeLink を有効にしてプログラムした HomeLink 機器 (ゲートやガレージドアなど) を開閉したい場合は、「ON」に設定します。設定が「ON」の場合、サモンが実行されている間に Model Y の出し入れを行うと、デバイスが自動的に開閉します。スマート サモン実行中 (装備されている場合)、スマート サモンは Model Y がガレージ内に駐車されていることを検知すると、デバイスが自動的に開きます。

警告: HomeLink がガレージドアを閉じ始める前に、必ず Model Y が完全にガレージから出ていることを確認してください。サモンおよびスマート サモン (装備されている場合) では、上から下がるオーバーヘッドドアの位置を知ることができません。

注: 有効にすると、サモン使用時にホームリンク機器が自動的に開閉します。また、スマート サモン使用時には必要に応じてホームリンク機器を開きます (装備されている場合)。これ以外の状況 (通常運転時など) で HomeLink を自動化するには、「コントロール」画面上部にある HomeLink アイコンをタッチして HomeLink デバイスのメイン設定を調節してください (スマート ガレージ ページ 62 を参照)。

ホームリンク以外の上記設定は、サモン装備車にのみ適用されスマート サモン (装備されている場合) には適用されません (スマート サモンを使用する前に ページ 128 を参照)。スマート サモンでバンパーとの間隔、距離、側面の間隔はカスタマイズできません。スマート サモン使用時には、必ずモバイルアプリ上のボタンを長押しして Model Y を動かしてください。また、スマート サモンはキーフォブではなく、モバイルアプリでのみ作動します。設定はすべて手動で変更するまで保たれます。

サモンを使用した車両の駐車・呼び出し

サモンを使用し Model Y を駐車するには、次の手順を行います。

- Model Y を 39 フィート (12 m) の駐車スペース内に駐車させますので、前進でも後進でも Model Y はスペースの内外へ一直線の経路を辿ります。
- モバイルアプリ上で「サモン」をタッチすることで、車外から駐車動作を開始し、「前進」または「後進」ボタンを長押しします。

注: 「連続押しが必要」設定を「いいえ」に設定している場合、ボタンを長押しする必要はありませんので、ボタンを押してから指を離してください。

注: 駐車操作を車両内部から初期化することもできます (降車前にサモンを開始させる ページ 127 参照)。

サモンは Model Y を前進または後進 (指定方向に基づく) へと切り替え、駐車スペース内外へ運転します。駐車完了時、または障害物を検知した場合、サモンは Model Y をパーキングへと切り替えます。サモンが Model Y をパーキングへと切り替える時:

- Model Y その進行経路（指定した「バンパークリアランス」設定範囲内）にある障害物を検知します。
- サモンが Model Y を最大移動距離 39 フィート（12 m）移動させた場合。
- 「前進」または「後進」ボタンから指を離します（「連続押しが必要」がオンの場合）。
- 手でサモンを停止させるには、いずれかのボタンを押してください。

Model Y の駐車にサモンを使用した場合、Model Y を元の位置（Model Y が駐車したままの状態）および指定した最大の「サモン距離」まで戻すのにも（どちらが先でも）、サモンを使用できます。障害物がない場合は、モバイル アプリ上で反対方向を指定するだけで、サモンが元の経路に沿って Model Y を移動させます。障害物を検知した場合、Model Y はその元の経路にごく近い経路を辿りながら障害物を避けようとします（サモンは障害物周辺で車両を移動させません）。

注: サモンを使用して Model Y を複数回同じ方向へ動かす（最大移動距離が 39 フィート（12 m）以内）には、サモンをキャンセルし、同じ方向を用いて駐車動作を再開してください。

注: 障害物を避けるために Model Y をサモンが少しだけ外側に移動させますが、元の運転経路に戻す際に Model Y を障害物周辺で動かすことはありません。スマート サモン（装備されている場合）の場合のみ、Model Y が障害物周辺を操舵して動くことができます。

注: サモンを使用するには、Model Y の近辺に認証済み携帯電話が検出できる必要があります（カナダのみ）。

警告: Model Y バンパーより低い位置にある物体、幅の非常に狭い物体、または天井からぶら下がっている物体（例、自転車など）などは検出できません。加えて、予期せぬ事態が起きると、サモンの駐車スペース内外へ移動させる性能が低下する場合があります。そのため、適切に Model Y を移動させないことがあります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して Model Y を停止できるよう準備して待機する必要があります。

降車前にサモンを開始させる

降車前にサモンの駐車動作を開始するには Model Y:

- タッチスクリーン上で、必ず「連続押しが必要」をオフにします（「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「サモンのカスタマイズ」 > 「連続押しが必要」の順にタッチします）。
- すべてのドアおよびトランクを閉めます。
- Model Y の電源をオンにし、パーキングにシフトした状態で、タッチスクリーンにポップアップ画面が表示されます。
- タッチスクリーンで、進行方向を選択してください。
- Model Y から出て、運転席のドアを閉めます。

これで、サモンがタッチスクリーンで指定した方向へと Model Y を移動させます。

注: 車両から降りる前にオートパーキングをキャンセルするためには、ポップアップ画面にある「キャンセル」をタッチしてください。

注: タッチスクリーン上で進行方向を選択していない場合、降車してもサモンは駐車操作を開始しません。

サモンの停止またはキャンセル

サモンが有効なときは、モバイル アプリを使用して、またはキーフォブの任意のボタンを押して、Model Y をいつでも停止できます。サモンは以下の場合でもキャンセルされます。

- ドアハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。
- ハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダル、シフトのいずれかを操作している場合。
- Model Y が障害物を検知した場合。
- サモンが、Model Y を最大移動距離約 39 フィート（12 m）動かした場合。
- お使いの携帯電話がスリープモードになっているか、Model Y への接続が途切れた場合。



スマート サモン

この機能は、およそ 2023 年 5 月下旬以降に製造された車両用の将来のソフトウェア アップデートで有効になるまで、一時的に制限される、または無効にされることがあります。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にスマート サモンが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

スマート サモンは、Model Y がドライバーのいる場所（携帯電話の GPS を設定目的地として）まで、または選択した場所まで、必要に応じて物体を避けながら走行できるように設計されています。スマート サモンは、携帯電話が Model Y から約 213 フィート（65 メートル）以内にあるときに、Tesla モバイルアプリを使って操作します。

スマートサモンは、駐車スペースからの車両の出し入れを行い、自分がいる近くの場所まで Model Y を運転します。狭い駐車場の外へ Model Y を移動させるとき、水溜りを通るとき、荷物を運んでいる最中に車を呼び寄せるのに役立ちます。お客様と Model Y の間に障害物のない見通しの良い場所を選び、車両やその周囲を常にしっかりと監視するようにしてください。

注意: スマートサモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。スマート サモンを公道で使用しないでください。

警告: スマート サモンは、舗装道路でのみ使用してください。

警告: スマート サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。ドライバーには、スマート サモンを責任をもって安全に、意図したとおりに使用する責任があります。スマート サモンの制限事項を理解するのは、お客様の責任です（[制限と警告 ページ 130](#) を参照）。

スマート サモンを使用する前に

- 最新版の Tesla モバイルアプリを携帯電話にダウンロードして、必ず携帯電話のサービス圏内にあるようにし、GPS を有効にしてください。
- 携帯電話を Model Y に接続し、車両から約 213 フィート（65 メートル）以内で携帯電話を使用してください。
- 車両のカメラを正しくキャリブレーションしてください（[走行中のカメラキャリブレーション ページ 18](#) を参照）。
- Model Y まで障害物なく見渡せるように視界を保ってください。
- Model Y を充電中の状態ではなく駐車状態にしてください。そして、すべてのドアとトランクを閉めてください。

注意: カメラ、センサー類すべてに汚れがないことを確認してください。汚れたカメラやセンサーは、雨天や消えかかった車線マークなどの環境条件と同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。

スマート サモンを使用する

1. Tesla モバイルアプリを開き、「サモン」にタッチします。

2. Model Y の画像中央にあるスマート サモンアイコンをタッチします。スマート サモンが起動するまで数秒かかります。

注: スタンバイモードを使用して、スマート サモンの起動時に発生する遅れを解消することができます（[スタンバイモード ページ 129](#) 参照）。

モバイルアプリの地図に 213 フィート（65 メートル）という使用可能範囲を示す青い円が表示されます。Model Y から携帯電話までの距離がこの範囲内となるような場所で使用してください。地図上の青い点がお客様の現在地を表し、赤い矢印が車両を表しています。

3. 障害物がなく Model Y をはっきりと見渡せる、青い円内の場所で使用してください。
4. 以下のモードのどちらを使用してもスマート サモンを操作することができます。

- 「**ここに来る**」モード: 「**ここに来る**」ボタンを長押しします。Model Y GPS が検知されている場所まで車両が移動します。お客様が動くとき、Model Y も後を着いて行きます。お客様の場所に Model Y がたどり着くと停車し、ギアをパーキングに切り替えます。

- 「**指定地に進む**」モード: 十字アイコンをタッチしてから地図をドラッグして、選択する目的地にピンを置きます。「**指定地に進む**」ボタンを長押しします。Model Y は目的地へ移動します。場所に到着したら、Model Y は停止し、パーキングにギアを切り替えます。また、モバイルアプリにサモンが終了した旨のメッセージが表示されます。

注: 続けて場所を変更したい場合、指を放してから地図に再度ピンを置き、「**指定地に進む**」をもう一度長押しします。

「**ここに来る**」または「**指定地に進む**」ボタンから指を話せばいつでも Model Y を停車させることができます。



地図の十字アイコンが「**指定地に進む**」と「**ここに来る**」モード間で切り替わります。「**ここに来る**」モードが選択されているときには、アイコンが青色になります。

注: 地図には、衛星画像を表示/非表示できるアイコンもあります。

いずれのモードでもスマート サモンを開始するとすぐに、ハザードランプが点滅し、ミラーが格納され、Model Y はドライブまたはリバースにシフトします。Model Y その後、「**ここに来る**」モードでは自分のいる位置の 3 フィート（1 メートル）範囲内まで、「**指定地に進む**」モードでは選択した場所まで、必要に応じて障害物を避けながらゆっくりと移動します。Model Y が移動すると、地図上で対応している赤い矢印も動き車両の位置を示します。お客様が動くとき、対応している青い点も動き、お客様の位置を示します。

いずれのモードでも、以下の状況では Model Y が移動を停止しパーキングに切り替わります。




- モバイルアプリのボタンから指を離れたとき。

- 携帯電話と Model Y 間の最大範囲を超えた場合 (車両をドライバーの位置から離れていくように目的地に移動させる場合、ドライバーはこの利用範囲内を維持するために車両の後についていく必要があります)。
- 走行経路が遮られているとき。
- Model Y がスマート サモンを開始してから、475 フィート (145 メートル) の最大距離を移動、または、最後に車両の手動運転を終了した場所から、492 フィート (150 メートル) を移動した場合。

注: スマート サモンが Model Y を 3 フィート前方に動かしてから 2 フィート後方へ動かす場合、5 フィートの移動距離となります。

注: モバイルアプリを見る必要はありませんので、常に Model Y やその走行経路を注視しながらボタンを押し続けてください。また、必要に応じて車両を停車させられるようにボタンから指を放すことができるようにしておいてください。

サモン向けの自動 HomeLink が備わっていて有効になっている場合 (「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「サモンのカスタマイズ」 > 「自動 HomeLink を使用する」の順にタッチします)、Model Y がガレージ内にあるときスマート サモンの操作を開始すると、スマート サモンは自動的に HomeLink デバイスを開きます。モバイルアプリでドアの開閉をお知らせします。

-  **警告:** ボタンから指を離して Model Y を停止させる時、車両の停止までわずかに遅れが出ます。そのため、常に車両の走行経路に細心の注意を払い、前もって車両が検知できない可能性のある障害物を予測することが重要です。
-  **警告:** 障害物の動きが予測できない環境でスマート サモンを使用する時、厳重に注意してください。例: 人、子供、または動物がいる場所。
-  **警告:** スマート サモンはすべての物体 (特に縁石などの非常に低い物体、または柵などの非常に高い物体) を検知して停止するわけではなく、すべての対向または縦断交通状況に反応するわけでもありません。モバイルアプリ上のボタンを放して、常に Model Y を停止できるように注意を払ってください。

スタンバイ モード

Model Y でサモンを開始できるようにしてウォームアップ時間を短縮するためには、スタンバイモードをオンにします。「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「スタンバイモード」の順にタッチします。スタンバイモードがオンのとき、以下の場所でスタンバイモードを無効にしてバッテリーを省エネモードにすることができます。

- **自宅を除く** - お気に入りリストに自宅として設定した場所でスタンバイモードを無効にします。
- **勤務先を除く** - お気に入りリストに勤務先として設定した場所でスタンバイモードを無効にします。
- **お気に入りを除く** - お気に入りリストに登録した場所でスタンバイモードを無効にします。


注: 省エネのため、スマート サモンは深夜から午前 6 時まで自動的にスタンバイモードでなくなります。この時間帯は、スマート サモンの起動には少し時間がかかります。

注: スタンバイ モードが有効になっている間は、バッテリー電力が多く消費されます。

注: 目的地を自宅、勤務先、またはお気に入りとして設定する方法の詳細は、[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 163](#) を参照してください。

スマート サモンを停止またはキャンセルする

モバイルアプリ上のボタンを放すと、スマート サモンは Model Y を停止させます。スマート サモンは、「ここに来る」または「指定地に進む」をもう一度押すだけで再開できます。

 **警告:** 常に Model Y を停車させる必要があるかどうかを予測してください。携帯電話と Model Y 間の通信接続状況により、ボタンから指を放してから車が停車するまでに多少の遅れが生じる場合があります。

次の場合は、スマート サモンをキャンセルをして再開が必要です。

- ドアハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。
- ハンドル、ブレーキ ペダル、アクセル ペダル、シフトのいずれかを操作している場合。
- Model Y が障害物で遮られている場合。
- スマート サモンが Model Y を最大距離まで移動させました。この距離よりも遠くに移動させるには、Model Y をドライブまたはリバースに切り替えてから、スマート サモンの操作をはじめから再開します。
- お使いの携帯電話がスリープモードになっているか、Model Y への接続が途切れた場合。



制限と警告

このトピックでは、以下のオートパイロット機能に関する警告、注意、および制限事項について説明します。

- [トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 104](#)
- [オートステアリング ページ 105](#)
- [ナビゲート オンオートパイロット ページ 132](#)
- [市街地でのオートステアリング（フルセルフドライビング（監視付き）） ページ 132](#)
- [オートパーキング ページ 133](#)
- [サモン ページ 133](#)
- [スマート サモン ページ 134](#)

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、前述の機能がすべては装備されていない場合や、機能が記述通りには作動しない場合があります。

⚠ 警告: オートパイロットを使用する前に、以下の警告と制限をよくお読みください。すべての警告および指示に従わないと、損害、重大な怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。

注: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 196](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や見えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model Y のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。特定のアラートに関する詳細については、[トラブルシューティングのアラート ページ 235](#) を参照してください。

トラフィックアウェア クルーズコントロール

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用する際は、常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。常に道路に注意を払い、いつでも必要に応じて対応できるようにしてください。

さらに、常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動している間は、次の制限に注意してください。

- 速度制限で変わっても巡航速度は変わらないような状況があることが考えられます。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールは道路や運転の状況に応じて運転速度を調整しません。急カーブが続く曲がりくねった道路、表面が凍結していたり滑りやすくなっている道路、または一定速度での運転が不適切な悪天候（豪雨、雪、霧など）の中でトラフィックアウェア クルーズコントロールを使用しないでください。
- 適切な車間距離を維持するために、トラフィックアウェア クルーズコントロールのみに頼らないでください。

- 制動能力が限定されている、坂道を走行しているなどの理由でトラフィックアウェア クルーズコントロールが適切な速度制御を行えないこともあります。トラフィックアウェア クルーズコントロールが先行車両との車間距離を誤判定することもあります。下り坂を走行すると、Model Y の走行速度が上がり、設定速度（場合によっては制限速度を超過する恐れがある）を超えてしまうことがあります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールは、時折ブレーキが必要でないとき、または予期しないときに Model Y にブレーキをかけることがあります。その原因は、先行車両との車間距離が短いことや（特にカーブで）隣の車線上の車両や物体を検出することなどです。
- 車載 GPS（グローバル ポジショニング システム）の限界により、特に高速道路出口付近でカーブが検出されたり、ナビを使って目的地に向かっていて時に提示ルートに従わない時など、Model Y によって車両が減速することがあります。
- 場合によっては（データが不足している場合など）、トラフィックアウェア クルーズコントロールは高速道路のインターチェンジまたはオフランプの走行時に設定された速度を自動的に減速しない場合があります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールは、物体を検知できない場合があり、静止した車両や物体と衝突しないようにブレーキをかけたり減速したりできなくなることがあります。特に 80 km/h 以上で走行しているときに追尾していた車両が視界から見え、その代わりに静止した車両や速度の遅い車両、または物体が前方に現れると、この現象が起きやすくなります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールが、走行車線上を走行していない車両や走行車線上に存在しない物体に反応し、Model Y を必要でないときまたは不適切なタイミングで減速させる場合もあります。

⚠ 警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、以下の状況下では設計通りに動作しない可能性があります。

- 道路に急カーブがある、または標高が大幅に変化している。
- 道路標識や信号機が不明瞭、あいまい、または整備が不十分である。
- 視認性が低い（激しい雨、雪、雹など、または夜間の道路照明が貧弱である）
- トンネル内や、カメラの視界を妨げる分離帯の近くなどを走行している。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。

⚠ 警告: 前記のリストはトラフィックアウェア クルーズコントロールの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。トラフィックアウェア クルーズコントロールは、予想外の理由により予期せずキャンセルされる可能性があります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。Model Y を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。



警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。Model Y を適切に減速させる操作をトラフィックアウェア クルーズコントロールに依存してはいけません。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは歩行者や自転車を認識することが可能ですが、Model Y の速度を減速するのに決してトラフィックアウェア クルーズコントロールだけに頼らないでください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートステアリング

警告: オートステアリングはハンズフリーの機能ではありません。常にハンドルに手を置いて、道路状況や周囲の交通状況に注意し、すぐに行動できるように常に準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

警告: オートステアリングは、注意力の高いドライバーが進入制限された高速道路などを走行するときに使用することを前提としています。オートステアリングを道路工事のある区間、自転車または歩行者がいる可能性のある場所では使用しないでください。

警告: 適切な運転経路を決定する際に、オートステアリングに依存しないようにしてください。

注意: オートステアリングおよび関連する機能は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- オートステアリングが車線マーカーを正確に認識できない場合。たとえば、車線マーカーがひどくかすれている、以前のマーカーが見えている、道路工事のために車線マーカーを変更している、車線マーカーが短区間で変更されている（車線の分岐、交差、合流で）、車線マーカーに物体や景観物が影を落としている、あるいは道路の表面に舗装の継ぎ目あるいは他のコントラストの高い線があるといった状況。
- 視界不良（豪雨、降雪、濃霧など）あるいは気候条件がセンサーの動作を妨げている場合。
- カメラまたはセンサーがふさがれていたり、覆われていたり、損傷している状況。
- 坂道を運転している時。
- 料金所に接近している時。
- 運転している道路が急カーブしている場合、または過度にでこぼこしている場合。
- 明るい光（直射日光など）がカメラの視野を妨げている。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- ウィンカーを出した時に、車両がドライバーの死角で検出された場合。
- Model Y が走行中に先行車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている場合。

警告: 様々な不測の事態によって、オートステアリングの機能が妨害される場合があります。この点に留意し、結果的にオートパーキングでは Model Y を適切に操車できないことがあることを常に頭に入れておいてください。常に注意深く運転し、直ちに行動できるよう備えてください。

警告: オートステアリングは、部分的に車線内にある物体の周りで Model Y を操舵するようには設計されていません。また、場合によっては、車線を完全にブロックしている物体に対して停止しない場合もあります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をすばやく取れるようにしてください。Model Y を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

自動車線変更

注意: 自動車線変更を使用して車線を変更する場合、車線変更が安全かつ適切であるかどうかを判断するのは運転者の責任です。したがって、車線変更を開始する前に、常に死角、車線マーカー、および周囲の道路状況をチェックし、目標車線への移動が安全で適切であることを確認してください。




注意: 自動車線変更を使用する場合は、次の制限に注意してください。

- 適切な運転経路を決定する際に、自動車線変更機能に依存しないようにしてください。前方の道路と車両を注視し、周囲を確認し、タッチスクリーンの警告に気を配りながら注意深く運転してください。即座に対応できるように準備してください。
- 交通状況が常に変化し自転車や歩行者が多い市街地の道路では、自動車線変更機能を使用しないでください。
- 自動車線変更機能のパフォーマンスは、車線マーカーを認識するカメラの性能に左右されます。
- 急なカーブのある曲がりくねった道路、凍結道路あるいは滑りやすい道路、または豪雨、雪や霧などの天候がカメラ、またはセンサー（装備されていれば）の機能を妨害している場合は、自動車線変更機能を使用しないでください。
- 追い越し加速は、上記の状況（たとえば GPS データの欠落）以外にも、予測不可能な理由によってキャンセルされることがあります。走行中は常に注意を払い、車両の加速を追い越し加速機能にのみ依存しないようにしてください。
- 追い越し加速では、該当するウィンカーを出すと車速が増し、Model Y は加速して先行車両に近づきます。トラフィックアウェア クルーズコントロールは先行車両との車間距離を保ち続けますが、特に先行車両を追い越すつもりがない場合は、追い越し加速が作動すると選択されている車間距離が短くなる点に注意することが重要です。








制限と警告





赤信号と一時停止標識の警告

-  **警告:** 赤信号および一時停止標識の警告機能は、車両が赤信号や一時停止標識があることを地図で認識している必要があります。場合によっては、地図データが不正確であるか古くなっているために、すべての赤信号や一時停止標識が含まれていないことがあります。したがって、赤信号および一時停止標識の警告機能では、一部の赤信号や一時停止標識を検出できない可能性があります。
-  **警告:** 赤信号および一時停止標識の警告機能においては、Model Y にブレーキングや減速を適用せず、すべての信号機および一時停止標識を検出できるとは限りません。赤信号および一時停止標識の警告機能は、ガイダンス目的で設計されており、注意深い運転や適切な判断をしなくてもよいわけではありません。走行中は、赤信号および一時停止標識を警告する赤信号および一時停止標識の警告機能に任せきりにせず、常に道路に注意を払ってください。
-  **警告:** 赤信号および一時停止標識の警告機能は、目に見える赤信号が点灯または黄色の信号機の後半部分に近づいたときにのみ警告するように設計されています。信号が点滅している交差点については警告しない場合があります。また、「道譲れ」標識や工事現場などの一時的な停止標識についても警告しません。さらに赤信号および一時停止標識の警告機能は、赤信号や一時停止標識に接近しているときに、アクセルペダルやブレーキペダルを踏んでいる場合は警告を出しません（オートステアリングが無効になります）。

ナビゲート オン オートパイロット

-  **警告:** オフランプでの適切な車線を決定する際は、ナビゲート オン オートパイロットに依存しないでください。常に注意を払い、目視チェックを行い、安全で適切な走行車線を選択するように心がけてください。
-  **警告:** 「車線変更の確認をする」をオフにした場合、ナビゲート オン オートパイロットは、近づく車線変更とオフランプを知らせますが、常に周囲環境を監視して Model Y の制御を維持するのはドライバーの責任です。突然、急に車線変更をしなければいけない可能性があります。常にハンドルから手を離さず、前方の走行経路から目を離さないでください。
-  **警告:** ナビゲート オン オートパイロットは、自律的な運転を行うものではありません。ドライバーは、走行する道路に注意を払い、常にハンドルを握った状態を維持し、ナビゲーション ルートを認識し続けている必要があります。
-  **警告:** 通常の運転と同様に、見通しの悪い曲がり角や高速道路の入口、出口、またはインターチェンジでは、障害物が突然現れる可能性がありますので特に注意を払ってください。
-  **警告:** ナビゲート オン オートパイロットでは、近づいてくる車両、静止した物体、バイクやカーブールや緊急車両などの専用の特別な車線を認識したり検出したりすることができない場合があります。常に警戒を怠らずに、即座に対応できる準備をしておいてください。そうしない場合は、損傷や重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

市街地でのオートステアリング（フルセルドライビング（監視付き））

-  **警告:** フルセルドライビング（監視付き）（「市街地でのオートステアリング」とも呼ばれる）は Model Y に自律性を持たせるものではないこと、およびドライバーは十分な注意力を持ち、常に即座に行動を起こす準備ができている必要があることを忘れないでください。
-  **警告:** フルセルドライビング（監視付き）はハンズフリーの機能ではありません。常にハンドルの上に手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、常にすぐに行動できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。フルセルドライビング（監視付き）の制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。
-  **警告:** すべての警告および指示に従わないと、損害、重大な怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。
-  **注意:** フルセルドライビング（監視付き）およびその関連機能は意図された通りに動作しない場合があります。ドライバーによる介入が必要となるいくつかの状況があります。例を挙げます（ただし、これらに限定されるものではありません）：

- 歩行者、自転車、およびその他の道路使用者との遭遇。
- 車両が高速に行き交う交差点での安全保護されていない右左折。
- 複数車線での右左折。
- 同時の車線変更。
- 細い道路で対向車が向かってくる場合や、車両が二重駐車している場合。
- トレーラー、ランプ、荷物、開いたドアなど通常車内に収められている物が車両から突き出ている場合。
- 交通量が多く、高速で移動する車両が行き交う道路への合流。
- 路上の障害物。
- 工事中のゾーン。
- 急カーブのある道路（特に走行速度が高い場合）。

フルセルドライビング（監視付き）の利用には視界の確保が重要です。照明が暗い場合や気象条件が悪い（雨、雪、直射日光、霧など）場合、性能が著しく低下する可能性があります。



警告: Model Y ドライバーの即座の介入を必要とする予期せぬ挙動や誤りが突然発生する場合があります。

上述のリストは、フルセルフドライビング（監視付き）の予期せぬ挙動につながるシナリオのごく一部を取り上げたにすぎません。実際、Model Y が障害物のないまっすぐ続く道路を進んでいるときに、突然道路からそれてしまうといったこともありえます。できるだけ早めに対応動作が必要であるか判断できるよう、警戒を怠らず常に道路に注意を払ってください。これは先行リリースの機能であって、特に注意して使用する必要があります。

注意: フルセルフドライビング（監視付き）の装備が拡張されるのに伴い、Tesla は米国以外の国のお客様を対象にした利用を段階的に可能にしていく予定です。それぞれの国においては、フルセルフドライビング（監視付き）を時間をかけて適応させる必要のある独自のインフラ、運転動作、および交通パターンがあるので、新たに対象となった国でフルセルフドライビング（監視付き）を使用するドライバーは特に注意を払う必要があります。いつでも安全に運転を代われる準備ができていない場合があります。

オートパーキング

注意: オートパーキングのパフォーマンスは、車両が縁石、物体およびその他の車両に接近している程度を、カメラおよびセンサー（装備されていれば）が判定する能力によって左右されます。オートパーキングの使用前および使用中は、以下の警告に注意してください。

- ボールヒッチ、バイクラック、トレーラーなどをけん引ヒッチに取り付けている場合はオートパーキングを使用しないでください。他の車両の間や前方に駐車する場合、オートパーキングがヒッチで停止しない可能性があります。
- 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法的で、適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングでは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。
- Model Y のオートパーキングが作動している時、ハンドルはオートパーキングによる調整に従って動きます。ステアリングホイールの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。
- パーキング中は、常時周囲に目を配ってください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。
- オートパーキング作動中はタッチスクリーンに目を配り、オートパーキングからの指示を認識できるようにしてください。

注意:

オートパーキングは、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 道路が傾斜している場合。オートパーキングは平らな道路のみで動作するように設計されています。
- 視界が悪い場合（激しい雨、雪、霧など）。
- 縁石が石以外のものでできている場合、または縁石が検出できない場合。
- 目標とする駐車スペースが、壁または柱に直接隣接している場合（たとえば地下立体駐車場の駐車スペースの列の終端など）。
- 1つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかは損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサー（装備されていれば）の動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

警告: 予期しない状況により、オートパーキングで Model Y を駐車できないことがあります。この点に留意してください。結果的にオートパーキングでは Model Y を適切に駐車できない場合があります。Model Y のパーキング時には注意を怠らず、いつでもすぐに制御ができるようにしてください。

サモン

注意: サモンの性能は、物、人、動物、また他の車両への車両の接近を把握するカメラおよびセンサー（装備されていれば）の性能によって決まります。サモンは、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。サモンは平坦な道路（最大傾斜 10%）に限り、動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。サモンでは、約 2.5 cm の差がある端部を越えて Model Y を動かしません。
- 1つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかは損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model Y は、けん引モードになっているか、アクセサリーが取り付けられています。



制限と警告

警告: サモンの適当な動作を妨げる恐れのある状況は、上記の一覧に限りません。Model Yを常にコントロールできる状態にいることは、ドライバーの責任です。サモンが Model Y を動かしている時その動きに注意を払い、素早く行動できるようにしてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。

警告: Model Y バンパーより低い位置にある物体、幅の非常に狭い物体、または天井からぶら下がっている物体（例、自転車など）などは検出できません。加えて、予期せぬ事態が起きると、サモンの駐車スペース内外へ移動させる性能が低下する場合があります。そのため適切に Model Y を移動させないことがあります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して Model Y を停止できるよう準備して待機する必要があります。

スマート サモン

注意: スマート サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。ドライバーには、スマート サモンを責任をもって安全に、意図したとおりに使用する責任があります。

注意: スマート サモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。スマート サモンを公道で使用しないでください。

注: Model Y がパレーモード（[パレーモード ページ 90](#) 参照）の場合、スマート サモンは無効になります。

注意:

以下の状況では、スマート サモンが意図どおりに動作し難くなります。

- 携帯電話の電波通信が弱いために GPS データが利用できない時。
- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。スマート サモンは平坦な道路（最大傾斜 10%）でのみ動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。コンクリートの角が高い場合、スマート サモンでは Model Y がその上を超えられない場合があります。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかは損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサー（装備されていれば）やカメラの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model Y は、けん引モードになっているか、アクセサリが取り付けられています。

警告: スマート サモンの適した動作を妨げる恐れのある状況は、上記一覧に限りません。Model Y を常にコントロールできる状態にいることは、ドライバーの責任です。スマート サモンをオンにして Model Y を移動させている時は常に細心の注意を払い、すぐに対応できるようにしておいてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。

警告: スマート サモンは、舗装道路でのみ使用してください。

警告: スマート サモンはすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または棚などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、あらゆる交通状況に反応するというわけでもありません。スマート サモンは、交通の進行方向を認識せず、他に車両が停まっていない駐車場ではナビ走行を行いません。また、交差点での車の行き来を予測することはできません。

警告: スマート サモンの使用時、お客様と Model Y 間に障害物がなく見渡せるようにし、いつでもモバイルアプリのボタンから指を放して車両を停止できるようにしておいてください。

警告: ボタンから指を離して Model Y を停止させる時、車両の停止までわずかに遅れが出ます。そのため、常に車両の走行経路に細心の注意を払い、前もって車両が検知できない可能性のある障害物を予測することが重要です。

警告: 障害物の動きが予測できない環境でスマート サモンを使用する時、厳重に注意してください。例: 人、子供、または動物がいる場所。

警告: スマート サモンはすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または棚などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、すべての対向または縦断交通状況に反応するわけでもありません。モバイルアプリ上のボタンを放して、常に Model Y を停止できるように注意を払ってください。



Model Y 走行中の車線のマーカーおよび周囲に車両やその他の障害物がないか監視します。

注: およそ 2023 年 5 月下旬以降に製造された車両の場合、Model Y が動いているときにレーンアシストが視覚化画像（検出された物体に対応するタッチスクリーン上の色付きの線）を表示しないか、視覚化画像が説明どおりに表示されない場合があります。

死角や Model Y の側面近くに物体（車両、ガードレールなど）を検知すると、タッチスクリーンに車両の画像から放射状に色付きのラインが表示されます。検出された物体の位置に応じた場所にラインが表示されます。ラインの色（白色、黄色、オレンジ色、または赤色）は、物体が Model Y に対してどれだけ近くにあるかを示し、白色が最も遠く、赤色が、ただちに注意を払わなくてはならない最も近い状態を表します。この色の付いたラインは、約時速 12～140 km（7～85 マイル）で走行している時のみ表示されます。また、オートステアリングが有効にされているとき、走行速度が時速 12 km（7 マイル）以下にあると色の付いたラインが表示されます。しかし、Model Y が停止状態（渋滞時など）になると色の付いたラインは表示されません。



警告: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 196](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や見えなかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model Y のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。特定のアラートに関する詳細については、[トラブルシューティングのアラート ページ 235](#) を参照してください。

警告: レーンアシストは誘導のみを目的としており、運転者の目視による確認の代わりになるものではありません。車線変更前には、必ずサイドミラーを使用し、適切な肩越しチェックを実行して、車線を変更しても安全で、それが適切であるかを目で確認する必要があります。

警告: レーンアシストは、気付かないうちに走行レーンの外側を運転している状態や、自車のそばや死角に車両がいるなどの状態を知らせてくれるものではありません。レーンアシストのパフォーマンスを損なう外的な要因はいくつかあります（[制限事項および不正確性 ページ 136](#) を参照）。警戒を怠らず、走行車線や他の車両に注意を払うのはドライバーの責任です。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

ステアリング介入

レーンアシストは、Model Y が隣の車線に入り込み（近づいて）車両などの物体が検出された場合、操舵に介入します。このような状況では、Model Y は自動的にハンドルを操作して、走行車線内の安全な位置に移動します。このステアリングは、車線区分線がよく見える主要道路を Model Y が 30～85 mph（48～140 km/h）で移動している時のみ作動します。自動的なハンドリングが実行されると、少しの間、タッチスクリーンに警告メッセージが表示されます。

車線逸脱防止

車線逸脱防止機能は、Model Y が走行車線から逸脱している、または走行車線の端に接近した場合に警告するように設計されています。

車線逸脱防止機能は、車線区分線がはっきり見える道路を時速 40～90 マイル（64～145 km）で走行中にのみ作動します。「[コントロール](#)」 > 「[オートパイロット](#)」 > 「[車線逸脱防止](#)」をタッチし、以下のオプションのどちらかを選択すると車線逸脱警告の動作を選択できます。

- **オフ:** 車線逸脱や隣接車線の車両との衝突が起こりそうな場合も警告は発せられません。
- **警告:** 前輪が車線区分線を越えると、青色のインジケーターラインがタッチスクリーンに表示され、ハンドルが振動します。（フルセルフドライビング（監視付き）を装備している車両の場合：前輪が車線区分線を越えると、ハンドルが振動します。）
- **アシスト:** 車両が越えようとしているラインに対応する青色のインジケーターラインがタッチスクリーンに表示されます。Model Y が隣接車線に入り込むか、道路の端に接近した場合、Model Y を安全な位置に留めるため、ステアリング修正が適用されます。

車線逸脱防止が有効で、トラフィックアウェアクルーズコントロールが機能している場合、該当するウィンカーがオフの場合に Model Y が走行車線を逸脱すると、レーンアシストが、ドライバーの手がハンドルの上にあるかを確認します。ドライバーの手が検知されなければ、タッチスクリーンには、オートステアリングで運転するときに使用したものと同様の連続警報が表示されます。手の検知に繰り返し失敗すると、Model Y は速度制限または設定クルージング速度から 15 マイル（25 km/h）遅い速度まで徐々に減速し、ハザードライトが点滅し始めます。

注: 車線逸脱防止機能では、対応する方向指示器がオンになっていて意図的な車線変更が示されていれば、車線を離れても警告は発生せず、操舵の割り込み動作も発生しません。



レーンアシスト

警告: 車線逸脱防止機能は、安全に走行できるようにアシストすることを目的としたものですが、必ず作動するものではありませんので、ドライバーは注意して車両を運転する必要があります。

警告: 常に手はハンドルに置いて、慎重に運転してください。

警告: ステアリング介入は最小限しか行われず、Model Y を走行車線外に移動させることはありません。側面衝突を避けるためにステアリング介入に頼ることはしないでください。

緊急車線逸脱防止

緊急車線逸脱防止機能では、以下のような状況で衝突の危険性を回避するため、ハンドルが自動的に切られます:

- Model Y が車線を離れて (方向指示器のステータスとは無関係に)、隣の車線で同じ方向に走行している車両と衝突しそうなおき。
- Model Y が方向指示器がオフで車線を離れて対向車線に入りそうになり、対向車が検知されたとき。
- Model Y が道路から逸脱しそうで、方向指示器がオフのとき (道路端に非常に近寄り過ぎて、衝突する恐れがある場合など)。

この機能をオン、オフするには、「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「緊急車線逸脱防止」をタッチします。

緊急車線逸脱防止がステアリングに適用されると、チャイムが鳴り、タッチスクリーンには警告が表示されて車線区分線が赤色で強調表示されます。

緊急車線逸脱防止機能は、Model Y が車線区分線や縁石などで区別がはっきりしている道路を時速 40~90 マイル (64~145km) で走行中にのみ作動します。

警告: 緊急車線逸脱防止機能があるからといって、注意深い運転や適切な判断が不要になるわけではありません。運転時は道路を注視し、緊急車線逸脱防止機能で衝突が回避できるとは思わないでください。運転パフォーマンスを低下させ、損なう要因がいくつかあります。緊急車線逸脱防止機能で衝突が回避できると考えてしまうと、重傷事故や死亡事故につながるおそれがあります。

ブラインドスポット インジケータ

自動ブラインドスポット カメラ

タッチスクリーンで「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「自動ブラインドスポットカメラ」の順にタッチしてオン/オフにすることができます。

有効な場合、ウィンカーを作動させるとタッチスクリーンに該当するサイドリピータカメラの画像が表示されます。隣接する車線のドライバーの死角に車両が検出されると、画像に赤色の垂直線が表示されてドライバーに警告を与えます。例えば、左ウィンカーを作動させ、車両を検出すると、画像の左側に赤色の垂直線が表示されます。ドライバーはこの画像をタッチスクリーン上の別の場所に移動することができます。これを行う

には、画像をタッチして新しい位置にドラッグします (有効な位置は、画像を長押ししたときに表示される影付きの領域で示されます)。

警告: 自動ブラインドスポット カメラが搭載されていても、車線変更するときは周囲に注意を払い、肩ごしから後方確認を必ず行ってください。

ブラインドスポット衝突警告チャイム

死角に他の車両があり衝突の危険が検知されたときにチャイムがなるよう設定するには、「コントロール」 > 「安全」 > 「ブラインドスポット衝突警告チャイム」の順にタッチします。

警告: ブラインドスポット カメラが搭載されていても、車線変更するときは周囲に注意を払い、肩ごしから後方確認を必ず行ってください。

警告: ブラインドスポット衝突警告チャイムは、すべての衝突を検出できるわけではありません。車線変更するときは、注意を怠らず、肩越しから後方確認を行うことはドライバーの責任です。

制限事項および不正確性

レーンアシスト機能は、必ずしも常に車線区分線を検出できるわけではなく、以下の場合、不必要な警告または不正警告が発生することがあります。


- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合 (豪雨、降雪、濃霧など)。
- 明るい光 (対向車のヘッドライトや直射日光) がカメラの視野を妨げている。
- Model Y の前の車両がカメラの視野を妨げている。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている (くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど)。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または (車線が分岐、交差、合流しているなど) 急激に変化している場合。
- 道路がせまく、曲がりくねっている場合。
- 車線区分線上に影を落とすような物体や景観物がある場合。


以下の場合、レーンアシストが警告を出さなかったり、誤った警告を出したりすることがあります。

- 1 つ以上のセンサー (装備されている場合) またはカメラが損傷を受けたり、汚れたり (泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により)、遮られたりしている場合。
- 気象条件 (豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温) が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー (装備されていれば) が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model Y に取り付けられている物体 (バイクラックやバンパーステッカーなど) がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。

さらに、以下の状況では、レーンアシストは Model Y を隣の車両から離れるようにステアリング操作しなかったり、不要または不適切なステアリング制御をする場合があります。

- Model Y が急カーブを走行中か、比較的高速でカーブを曲がっている。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- 隣のレーンにふらついたが、物体（車両など）が存在しない。
- 隣のレーンにいる車両が前に割り込むかあるいは自分の車線にふらついてきた。
- Model Y レーンアシスト機能が動作する設計上の速度範囲内で走行していない。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）が損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model Y に取り付けられている物（自転車ラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。
- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。

 **注意:**トラックモードがオンの場合、ドライビングアシスト機能は自動的に無効になります。どのような場合にも（サーキット走行時を含みます）、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。トラックモードをオフにすると、ドライビングアシスト機能が自動的に再有効化されます。

 **警告:**上記のリストは、レーンアシスト機能を妨げるすべての状況を表しているわけではありません。レーンアシスト機能が想定どおり機能しない理由はさまざまです。衝突を回避するために、万が一の場合にできるだけ早く反応できるよう走行する道路に注意を払ってください。

衝突回避アシスト

以下の衝突回避機能は乗員の安全性を高めることを目的とするものです。

- **正面衝突警告**は、Model Y が正面衝突の危険が高い状況を検出した場合、視覚、聴覚、による警告を発します（**正面衝突警告 ページ 138** を参照）。
- **自動緊急ブレーキ**は、正面衝突の衝撃を緩和するために自動的にブレーキをかけます（**自動緊急ブレーキ ページ 139** を参照）。
- **障害物検知走行モード** - Model Y がその直進経路内に物体を検出した場合に加速を減少させます（**障害物検知走行モード ページ 139** を参照）。

注意: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（**カメラのクリーニング ページ 196** を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかけた車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model Y のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。特定のアラートに関する詳細については、**トラブルシューティングのアラート ページ 235** を参照してください。

警告: 正面衝突警告は運転補助の目的のみに作られており、注意深い運転や適切な判断に代わるものではありません。走行中は常に道路に注意を払い、正面衝突警告に頼らずに衝突を回避するように心がけてください。性能はさまざまな要因によって低下するか妨げられ、不必要または不正確な警告を行う、あるいは警告を行わない可能性があります。衝突危険性の探知を正面衝突警告のみに頼ることで、重大な事故や死亡事故が発生する恐れがあります。

警告: 自動緊急ブレーキは、衝突を完全に防止するように設計されたものではありません。状況によっては、走行速度を落とすことにより衝突の衝撃を最小限にいとめることができます。衝突回避を自動緊急ブレーキに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

警告: 障害物検知走行モードは、衝突を防止するように設計されたものではありません。状況によって、衝突時の衝撃を最小限に抑えるよう働きます。衝突回避を障害物検知走行モードに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

正面衝突警告

Model Y 前方に、車両、オートバイ、自転車または歩行者といった障害物が存在しているかを監視します。ドライバーがすばやい正行動をとらない限り、衝突すると思われる場合、正面衝突警告によってチャイムが鳴り、タッチスクリーンに前方の車両が赤色で強調表示されます。これが表示されたら、**直ちに是正措置を取ってください。**



視覚および聴覚による警告は衝突の危険性が低くなったときに自動的に停止します（例えば Model Y を減速または停止させた場合や、車両前方の物体が走行経路から外れた場合など）。

Model Y が正面衝突警告を出したとき、衝突を回避する操作が即座に行われずに衝突の可能性が非常に高くなった場合は、自動緊急ブレーキ（有効になっている場合）がかかる場合があります（**自動緊急ブレーキ ページ 139** を参照）。

初期設定では正面衝突警告はオンになっています。オフにする、または感度を調整するには、「コントロール」>「オートパイロット」>「正面衝突警告」の順にタッチします。標準設定の「中間」のほか、警告を「OFF」、「遅め」または「早め」に設定することができます。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

警告: 正面衝突警告に関係するカメラやセンサー（装備されていれば）は、走行ルート上およそ 525 フィート（160 m）の範囲を監視するよう設計されています。正面衝突警告システムは道路や気象条件によって悪影響を受ける場合があります。運転時には適切な注意を払ってください。

警告: 正面衝突警告は視覚的および音声的な警告を行うためだけに設計されています。ブレーキを作動させたり、Model Y を減速させるものではありません。警告の表示や音声通知があった場合は、ただちに是正措置をとるのはドライバーの責任です。

警告: 正面衝突警告システムは、衝突の危険性がないにも関わらず誤って警告することがあります。常に警戒を怠らず、Model Y の前方に注意を払い、何らかのアクションの必要がないか予測してください。

正面衝突警告は、3 mph（5 km/h）～124 mph（200 km/h）で運転している場合にのみ作動します。

警告: 正面衝突警告は、ドライバーがすでにブレーキを踏んでいる時警告を出しません。



自動緊急ブレーキ

Model Y 検出した物体までの距離を判定するように設計されています。自動緊急ブレーキは、衝突が不可避と見なされたときにブレーキをかけ、減速して衝突の衝撃を和らげるように設計されています。減速の程度は、巡航速度や環境など多数の要因に左右されます。

自動緊急ブレーキがかかると、タッチスクリーンに警告が表示され、チャイムが鳴ります。ブレーキペダルが急に押し下げられることにも気がつくでしょう。ブレーキライトも点灯し、他の道路ユーザーに減速中であることを知らせます。



緊急ブレーキが作動中です

自動緊急ブレーキは、時速 5 km (3 mph) と時速 200 km (124 mph) の間で運転している場合にのみ作動します。

自動緊急ブレーキは以下の状況ではブレーキをかけない場合や、作動させていたブレーキを解除する場合があります。

- ハンドルを急に回転させた場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキをかけている間、ブレーキペダルを踏んで放した場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキを作動させている際に運転手が加速した場合。
- 車両の前方または後方に、車両、オートバイ、自転車、および歩行者が検出されなくなった場合。

自動緊急ブレーキは、Model Y を始動すると常に有効になります。現在の運転において無効化する場合、パーキングにシフトし、「コントロール」>「オートパイロット」>「自動緊急ブレーキ」の順にタッチします。自動緊急ブレーキを無効にしても、最初の衝突を検知すると、車両がブレーキを掛けてさらなる衝撃を減らそうとする可能性があります(マルチ衝突ブレーキページ 139 を参照)。無効にすると、タッチスクリーンに視覚的なメッセージが表示されます。



自動緊急ブレーキが無効になっています

警告: 自動緊急ブレーキは無効にしないことを強く推奨します。無効にすると、Model Y は衝突不可避と見られる状況でも自動的にブレーキをかけません。

注: 自動緊急ブレーキは正面衝突の衝撃だけを緩和するように設計されています。

注: 自動緊急ブレーキは、正面衝突および後進時の衝突の衝撃を緩和するように設計されていますが、リバースにシフトしているときは機能に制限があります。

自動緊急ブレーキは利用できない場合は、タッチスクリーンに、警告が表示されます。



自動緊急ブレーキは利用できません。

警告: 自動緊急ブレーキは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するには設計されていません。

警告: 車両の一部が走行経路内にあるときや道路の破損があるときなど、自動緊急ブレーキの性能に影響を及ぼすいくつかの要因により、制動しない場合や、不適切またはタイミングの悪いブレーキをかける場合があります。どのような場合にも、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。決して自動緊急ブレーキに頼って衝突の衝撃を回避または緩和しようとししないでください。

警告: 自動緊急ブレーキは、前方の車両との安全な車間距離を維持する代わりになるものではありません。

警告: 自動ブレーキが作動すると、ブレーキペダルが急に下がります。ブレーキペダルは常に自由に動くようにしておいてください。運転席フロアマット（追加のマットも含む）の下にも上にも物を置かないようにして、常に運転席のフロアマットは正しく固定されているようにしてください。これを怠ると、ブレーキペダルの自由な動きが妨げられることがあります。

マルチ衝突ブレーキ

自動緊急ブレーキに加え、エアバッグの展開が検知されると、Model Y は最初の衝突の後、その後の衝撃を防止または軽減するためにブレーキを掛けることがあります。ブレーキは運転速度に関係なく掛けられることがあります。

障害物検知走行モード

障害物検知走行モードは、Model Y が走行経路に物体を検出すると、モーターのトルクを下げることによって、衝突の衝撃を緩和するように設計されています。ブレーキが自動適用されると、タッチスクリーンに、警告が表示され、チャイム音が鳴動します。例えば、Model Y がドライブにシフトされた状態で閉じたガレージドアの前で駐車しているときに、アクセルペダルが強く踏まれたことを検出します。Model Y は加速してガレージドアに衝突してしまいが、トルクを下げたため損傷が軽減されることが期待できます。

障害物検知走行モードは、以下の条件が同時にすべて満たされると作動します:




- ドライブまたはリバースにシフトされている。
- Model Y 停止しているか、または 10 mph (16 km/h) 未満で走行している。
- Model Y 進路方向にある直近の物体を検出している。

障害物検知走行モードを無効にするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「自動緊急ブレーキ」の順にタッチします。

警告: 障害物検知走行モードは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するには設計されていません。




衝突回避アシスト


-  **警告:** 障害物検知走行モードはあらゆる状況でトルクを制限するものではありません (例: 駐車スペースへの小回り旋回を実施している場合)。環境条件、障害物からの距離、およびドライバーの反応などの要因により、障害物検知走行モードは動作が制限、遅延、または抑制される場合があります。
-  **警告:** 障害物検知走行モードを利用して加速を制御したり、重大な衝突の回避を試みるなど、障害物検知走行モードを試さないでください。これを行うと、重大な損傷やけが、死亡事故につながる恐れがあります。
-  **警告:** いくつかの要因が障害物検知走行モードの性能に影響して、モータートルクの不適切な、またはタイミングのずれた減少が生じたり、することがあります。どのような場合にも、安全運転と Model Y のコントロール維持はドライバーの責任です。


制限事項および不正確性

衝突回避機能はすべての物体、車両、自転車または歩行者を確実に検知できるものではなく、特に以下の場合を含むさまざまな理由から不必要、不正確な警告あるいは見逃しが起こる場合があります。

- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界が悪い場合 (激しい雨、雪、霧など)。
- 明るい光 (対向車のヘッドライトや直射日光) がカメラの視野を妨げている。
- カメラまたはセンサーがさえぎられている (汚れている、覆われている、曇っている、ステッカーなどでふさがれている)。
- 1 つ以上のセンサー (装備されていれば) が損傷を受けたり、汚れたり (泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なベンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により)、遮られたりした時。
- 気象条件 (豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温) が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー (装備されていれば) が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

 **注意:** 衝突回避アシスト機能が故障した場合は、Model Y に警告が表示されます。Tesla サービスにお問い合わせください。

 **注意:** トラックモードがオンの場合、ドライビングアシスト機能は自動的に無効になります。どのような場合にも (サーキット走行時を含みます)、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。トラックモードをオフにすると、ドライビングアシスト機能が自動的に再有効化されます。

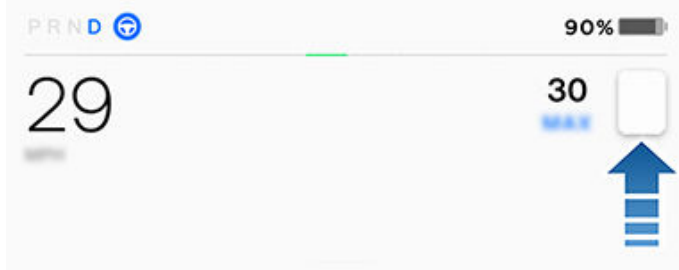
 **警告:** 前述の制限事項は衝突回避アシスト機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。これらの機能はその他の多くの理由でも当初の機能を発揮しない場合があります。ドライバーは、衝突を回避するために常に周囲に注意を払い、素早く回避行動が取れるようにする責任があります。

スピードアシストの動作原理

Model Y タッチスクリーン上に制限速度が表示され、走行速度が制限速度を超えたときの警告の有無、警告方法を選択することができます。また、速度制限のアイコンの周りに青色の輪郭が表示された場合、速度制限を超えていることを知らせています。

検出された速度制限を利用せずに、手動で入力する任意の速度制限をもとに警告を出すこともできます。

注: トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用しているときにこの速度制限記号をタッチすると、検出した速度制限(設定したオフセットを含む)に設定速度を自動的に変更できません。



Model Y が速度制限を判断できない状況、またはスピードアシストが不確実で取得された速度制限が正確であった場合、タッチスクリーンに速度制限標識が表示されず、警告がでないことがあります。

注: 速度制限警告は 10 秒後または Model Y が速度制限未滿に減速すると解除されます。

警告: 適切な速度制限または運転速度を判断するためにスピードアシストに頼らないでください。常に交通と道路の状況に基づいて安全な速度で運転してください。

スピードアシストの制御

制限速度警告を調整するには、「コントロール」>「オートパイロット」>「制限速度警告」の順にタッチして、以下のいずれかのオプションを選択します。

- **オフ** - 速度制限警告は表示されず、警告チャイムが鳴りません。
- **表示** - タッチスクリーンに速度制限標識が表示され、設定した制限を超えると標識のサイズが徐々に大きくなります。
- **チャイム** - 速度制限を超えたら、視覚的な表示に加えて、チャイムを鳴らします。

速度制限をどのように決めるかを指定することもできます。

- **相対** - 速度制限に指定したオフセット分だけ超えた時に警告を出したい場合は、速度制限のオフセット値 (+または-) を設定することができます。たとえば、速度制限を時速 10 km (10 マイル) 超えるときだけ警告を出したい場合、オフセット値を時速 10 km (10 マイル) 上げます。
- **絶対** - 20 mph から 140 mph (時速 30 km から 240 km) の間で速度制限を手動で指定します。

注: スピードアシストが必ずしも正確というわけではありません。道路の位置を誤って計算し、スピードアシストが速度制限の異なる直接隣接した道路の速度を表示する状況が発生する可能性があります。たとえば、Model Y が高速道路または有料道路などアクセスが制限された道路を走行しているとスピードアシストが判断しても、実際には近くの一般道路を走っていることや、その逆となる場合があります。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

制限事項および不正確性

スピードアシストは完全に機能しないことがあり、以下のような場合に不正確な情報を提示することがあります。

- 視界が悪く、速度制限標識がはっきり見えない(豪雨、降雪、霧など)。
- 明るい光(対向車のヘッドライトや直射日光)がカメラの視野を妨げている。
- Model Y 走行中前方車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている(くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど)。
- 速度制限標識が何かで隠れている。
- 地図データベースに保存されている速度制限が不正確であるか、古い情報である場合。
- Model Y が GPS や地図データが利用できない場所や、速度制限標識が検出できない領域を走行している場合。
- デジタル式や一時的な速度制限標識といった、標準認識可能な様式に準拠していない交通標識である。
- 道路や速度制限が最近変わった。

警告: 前記のリストはオートパイロットコンポーネントの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。スピードアシスト警報が正しい警報を発することができなくなる理由は他にも数多くあります。

キャビン用カメラ

お使いの Model Y には、バックミラーの上にキャビンカメラが装備されている場合があります。



注: カメラのレンズは、常にきれいに保ち障害物がないようにしてください。たまってくるゴミやほこりは、ときどききれいな布でカメラのレンズを拭いて取り除いてください。

! **注意:** 薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。これらを使用すると、カメラレンズの表面に傷がつく可能性があります。

キャビンカメラはオートパイロットが作動している場合、ドライバーの注意不足を判断して、道路を注視するように警報を出します。

デフォルトでは、データ共有を有効にしない限り、カメラで撮られた画像や動画が外部に流出したり他人に送信されたりすることはありません。データ共有を有効にしているときに（衝突といった）深刻な安全上のリスクやイベントが発生すると、Model Y により画像や短時間のビデオクリップが Tesla と共有され、Tesla は、それらを今後の安全性強化のための開発やキャビンカメラを利用したインテリジェント機能の継続的な改良に役立てます。また、キャビンカメラ機能によって診断が要求される場合も、データを共有します。キャビンカメラは顔認識およびその他の本人確認方法を実行しません。お客様のプライバシーを守るため、キャビンカメラデータは車両 ID 番号と関連付けされていません。

データ共有設定を調整するためには、「コントロール」>「ソフトウェア」>「データ共有」>「キャビンカメラ分析を許可する」の順にタッチします。データ共有設定はいつでも変更することができます。現在有効になっている機能で、キャビンカメラを使用するものを表示するには、「コントロール」>「ソフトウェア」>「キャビンカメラ」の順にタッチします。





セキュリティ システムについて

Model Y が認証された携帯電話またはキー フォブを検出していない状態でロックされたドアやトランクが開かれると、アラーム音が鳴ります。ヘッドライトと方向指示器のランプが点滅します。アラームを解除するには、モバイルアプリにあるいずれかのボタンを押すか、キーカードまたはキー フォブで運転席側のドアピラーの約3分の1の位置の高さにあるカードリーダーをタップします。

アラーム システムを手動でオン/オフするには、「コントロール」>「安全」>「セキュリティ アラーム」の順にタッチします。ON に設定すると、Model Y から離れ、認識されたキーが車内またはその近くで検出されなくなつてから1分経つとアラームが作動し、ドアがロックされます。

ロックされたドアやトランクが開かれたときに Model Y が近くにキーを検知できない状況においては、バッテリーでバックアップされたサイレン（装備されている場合）が鳴動します。車両がキャビン内で動きを検知した時にこのサイレンが鳴るように設定したい場合は、「チルト/侵入」を有効にします（チルト/侵入（装備されている場合） ページ 143 を参照）。

注: Model Y がセントリーモードの場合（セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり） ページ 147 を参照）、「セキュリティアラーム」設定は使用できません。

チルト/侵入（装備されている場合）

構成、販売地域、または製造日により、この機能が車両に装備されていない場合があります。

「セキュリティ アラーム」を有効にするには、「傾き/侵入検知」をオンにしなければなりません。

「傾き/侵入」設定がオンになっていると、Model Y がキャビン内の動きを検出したり、車両が動かされたり傾けられたりした場合（けん引やジャッキアップにより）にサイレンが鳴ります。有効にするには、「コントロール」>「安全」>「チルト/侵入」の順にタッチします。

車両を離れた後に空調システムが作動している場合、侵入センサーは自動的に無効になります（を参照）。これを有効のままにするには、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ モード」、または「キャンプモード」を選択した後に手動で侵入センサーを ON にします。

チルト/侵入センサーは、各走行サイクルの開始時に自動的に再度有効になります。

注: キャビン過熱保護を使用するには、チルト/侵入アラームをオフにする必要があります（キャビン過熱保護 ページ 154 を参照）。

注: ロックした後、車内に何か動くものを残さなければならない場合、チルト/侵入は必ずオフにしてください。この設定がオンの場合、Model Y 内部で動きが検知された場合、侵入アラームが鳴動します。

注: Model Y がセントリーモードの場合（セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり） ページ 147 を参照）、「チルト/侵入」設定は使用できません。

ペアレンタルコントロール

ペアレンタルコントロールにより、Model Y の機能を制限し、安全設定を有効にして変更できないようにすることができます。

注: ペアレンタルコントロールは、Tesla モバイル アプリからもアクセスできます（バージョン 4.34.5 以降が必要です）。

注: 速度制限モードが有効になっている場合、ペアレンタルコントロールを有効にすることはできません。

安全機能が必要を有効にすると、Model Y は以下の車両設定を有効にするか、または設定します：

注: 販売地域、車のコンフィギュレーション、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、一覧に示された機能がお客様の車両に装備されていない場合があります。

- 自動緊急ブレーキ
- 障害物検知走行モード
- 自動ブラインド スポット カメラ
- ブラインドスポット衝突警告チャイム
- 自動 911 通報
- モバイル アクセスを許可
- パーキングアシストチャイム
- 車線逸脱防止: 「アシスト」に設定。
- 制限速度警告: 「チャイム」に設定。
- 正面衝突警告: 「早め」に設定。

ペアレンタルコントロールを有効にしたい場合：

1. 車両をパーキングにシフトした状態で、タッチスクリーンで「コントロール」>「安全」>「ペアレンタルコントロール」の順にタッチします。
2. 使用したいペアレンタルコントロールを有効にするか、または設定します：
 - **速度を制限する：** Model Y が走行できる速度の上限を設定します。
 - **加速を抑制する：** 車両の「加速」を「コンフォート」に制限します。
 - **安全機能が必要：** 車両のさまざまな安全機能を有効にします（装備されている場合）。ペアレンタルコントロールが有効な間は、ドライバーはこれらの設定を変更できません。
 - **使用禁止時間の通知を送信：** 午後 11 時～午前 4 時の「使用禁止時間の通知」を有効にします。使用禁止時間の開始後に誰かが車両をドライブにシフトすると、Tesla モバイルアプリを通じて、車両とペアリングされているすべての電話キーに通知が送信され、Model Y が使用中であることがユーザーに通知されます。
3. **確定** をタッチします。
4. PIN を入力します。

T 安全とセキュリティ設定

注: 制限を解除するには、ドライバーは「ペアレンタルコントロール」から PIN を再入力する必要があります。「ドライバーのプロフィール」>「ペアレンタルコントロール」の順にタッチして、PIN を再入力します。

ドライブ用 PIN

セキュリティ強化のため、4桁の PIN (個人識別番号) を入力するまでは Model Y を運転することができません。この設定をオンにするには、「コントロール」>「安全」>「ドライブ用 PIN」の順にタッチして、画面の指示に従ってドライブ用 PIN を作成してください。

有効にすると、運転する前だけではなく、初めてバレーモードをオンにするときにも、4桁のドライブ用 PIN が必要となるため、バレーモードを開始、終了するための4桁の暗証番号を作成します。バレーモードを開始すると、ドライブ用 PIN を入力せずにバレー係の人が Model Y を運転できるようになります。バレーモードがオンになっているときは常に**ドライブ用 PIN**設定はオフとなります。

ドライブ用 PIN を忘れた場合は、リンクをタッチして「ドライブ用 PIN」ポップアップに Tesla ログイン認証情報を入力し、タッチスクリーンの指示に従います。

注: まず発生しませんが、万一タッチスクリーンが反応しなくなると、PIN を入力することができなくなります。この場合は、まずタッチスクリーンの再起動を試みてください ([タッチスクリーンの再起動 ページ 7](#) を参照)。タッチスクリーンが反応しない場合でも、ドライブ用 PIN をバイパスして Tesla モバイルアプリからキーレスドライブを有効にすることができます。

グローブボックス PIN

4桁の PIN (ドライブ用 PIN と無関係) を使用してグローブボックス内の物を保護します。有効にするには、「コントロール」>「安全」>「グローブボックス PIN」の順にタッチして、タッチスクリーンの指示に従います。有効にすると、グローブボックスを開くための PIN の入力を求めるプロンプトが表示されます。このセキュリティ保護を削除するには、トグルを選択して無効にしてから、PIN を入力します。

グローブボックス PIN を忘れた場合は、Tesla ログイン認証情報を入力してグローブボックスの PIN をいったんリセットし、タッチスクリーンの指示に従います。

注: グローブボックス PIN を使用すると、Model Y がバレーモードのときでもグローブボックスを開けることができます。

速度制限モード


速度制限モードでは、加速や最大走行速度を 50~120 mph (80~193 km/h) の範囲内の所定の値で制限できます。この速度制限モードを初めて使用する際は、オンオフを切り替えるときに使用する4桁の PIN を設定する必要があります。有効な場合に車速が最大速度の約 3 mph (5 km/h) 以内に近づくと、チャイムが鳴り、タッチスクリーンにメッセージが表示され、Model Y がモバイルアプリに通知を送信します。また「セキュリティ」>「速度制限モード」の順にタッチして Tesla モバイルアプリから有効にすることもできます。速度制限モードの有効化:


1. Model Y がパーキングに入っていることを確認してください。
2. タッチスクリーンで「コントロール」>「安全」>「速度制限モード」の順にタッチします。
3. 最大走行速度を設定します。
4. スライダーを**オン**の位置までドラッグします。
5. 速度制限モードをオンオフを切り替えるには、4桁の PIN を入力します。

注: PIN を忘れてしまった場合、Tesla アカウントのログイン認証情報を入力して速度制限モードを無効にすることができます。

注: 速度制限モードがすでに有効になっている場合、**オフロードアシスト**は使用できません。

注: 速度制限モードが有効になっている場合、加速設定は自動的に「**チル**」になります。

 **警告:** 下り坂では走行速度が上昇し、Model Y の速度が選択した最大速度を超えてしまうことがあります。

 **警告:** 速度制限モードは、ドライバーの正しい状況判断、日々の鍛錬、制限速度および運転状態の注視にとってかわるものではありません。どの速度でも事故は発生します。安全に運転することはドライバーの責任です。

ブラウザのデータをクリア

「コントロール」>「サービス」>「ブラウザのデータのクリア」の順に進むと、(コンピュータやスマートフォンで行う場合と同様の方法で) 車両のブラウザのデータをクリアできます。これは、設定や他のドライバーがした検索を消去するといった、多くの状況で役立ちます。

都合に応じて、タッチスクリーン ポップアップのボックスをオンにして、ブックマークや履歴を除外します。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にダッシュカムが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。**カメラの使用に関しては、ドライバーの単独の責任において、すべての地域の規則および財産権の制限を確認して、それらを遵守する必要があります。**

走行中、ダッシュカムは車両の周囲の動画を撮影しています。他の車両の外部ダッシュカムに対するのと同様に、ダッシュカムを使用して走行中のインシデントやその他の注目されるイベントを記録します。

ダッシュカム アイコンはアプリ ランチャーにあります。アクセスを容易にするためにダッシュカム アプリを下部バーに追加することができます ([マイ アプリをカスタマイズ ページ 6](#) を参照)。Model Y がパーキングにシフトされているときに、ダッシュカム アイコンをタッチするとビューアが立ち上がります ([録画映像を見る ページ 149](#) を参照)。



プライバシーを守るため、録画はフォーマットされた USB フラッシュドライブの車載メモリーにローカルに保存されます。記録が Tesla に送信されることはありません。Model Y ダッシュカムが「オフ」のときは、録画は実行されません。

ダッシュカムの使用方法

- USB フラッシュドライブをフォーマットします。ダッシュカムで映像を保存し検索するには、正しくフォーマットされた USB ドライブを車両の USB ポートに挿入する必要があります。およそ 2020 年以降に製造された車両の場合、グローブボックスにフォーマット済みの USB ドライブが装備されています。必要な場合にフラッシュドライブをフォーマットするには次に示す 2 つの方法があります。
 - Model Y を使用してフラッシュドライブをフォーマットします。フラッシュドライブを USB ポートに挿入し、「コントロール」 > 「安全」 > 「USB ドライブをフォーマット」の順に移動します。
 - コンピューター上でフラッシュドライブをフォーマットします。詳細情報については、[ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 149](#) を参照してください。
- USB フラッシュドライブを車両の USB ポート（できればグローブボックスの USB ポート（装備されていれば））に挿入します。

注: 2021 年 11 月 1 日ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の USB ポートを使用してください。
- 「コントロール」 > 「ダッシュカム」の順にタッチしてダッシュカムを有効にします。ダッシュカムを使用して、映像の保存方法および保存タイミングを選択することができます。次から選択できます。

- オート:** Model Y が衝突やエアバッグの展開といった安全重要イベントを検知すると、ダッシュカムは USB ドライブに録画を自動保存します。「オート」を選択している場合、検知はばらつく可能性があり、車両の電力、スリープおよびオートパイロットの状態に影響されます。

注: ダッシュカムが安全上の重大な状況を自動保存するかしないかは、いくつかの要因によって決まります（力のかかり具合、エアバッグが作動したかなど）。安全上の重大な状況がすべてダッシュカムにより自動録画されることを期待しないでください。

- マニュアル:** 最新 10 分間の映像を USB フラッシュドライブに保存するにはダッシュカム アイコンをタッチする必要があります。
 - クラクション:** ホーンを押すと、ダッシュカムは最新 10 分間の映像を保存します。この機能は「オート」または「マニュアル」と同時に有効化することができます。

- 有効にしている場合、ダッシュカム アイコンは映像が保存されていることを示します。「コントロール」でもダッシュカム アイコンの状態を表示することができます。



アイコンが変化してダッシュカムの状態を示します。



録画しています: ダッシュカムは録画中です。ビデオクリップを保存するには、このアイコンにタッチします。録画を一時停止するには、このアイコンを長押しします。



利用可能: ダッシュカムは利用可能ですが、アクティブな録画中ではありません。ダッシュカム アイコンにタッチすると映像の録画を開始します。



一時停止: ダッシュカムは一時停止しています。録画を再開するには、このアイコンにタッチします。ビデオクリップを消去してしまわないようにするには、ダッシュカムを一時停止してから、フラッシュドライブを取り出すようにしてください。



ビジー: ダッシュカムは映像の読み込み、保存または上書きをしています。ダッシュカムがビジー状態の場合、映像はキャプチャしたり録画されたりしていません。



保存済み: 映像が保存されました。走行中にアプリ ランチャーのダッシュカム アイコンにタッチしてもダッシュカムのクリップを保存できます。

- 希望する映像を保存すると、そのクリップをタッチスクリーンまたはコンピューターで表示することができます。
 - タッチスクリーン:** Model Y がパーキングにシフトしていることを確認し、アプリ ランチャーのダッシュカム アイコンをタッチします。動画はタイムスタンプの順序で並んでいます。詳細情報については、[録画映像を見る ページ 149](#) を参照してください。



ダッシュカム

- コンピューター: USB フラッシュドライブをコンピューターに挿入し、TeslaCam フォルダーに移動します。動画はタイムスタンプの順序で並んでいます。詳細情報については、[録画映像を見る ページ 149](#) を参照してください。
6. ダッシュカムをオフにするには「コントロール」>「ダッシュカム」>「オフ」の順に移動します。「オート」「マニュアル」または「ホーン使用時」に設定している場合、運転する度にダッシュカムは自動的に有効になります（ただし設定によってはアクティブに画像を保存しない場合があります）。

注: 販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にセントリーモードがない場合があります。カメラの使用に関しては、**ドライバーの単独の責任において、すべての地域の規則および財産権の制限を確認して、それらを遵守する必要があります。**

有効な場合、Model Y をロックしてパーキングにシフトしているときに車両のカメラやセンサー（装備されていれば）の電源がオンのままになり、不審な行動があればそれを記録できるようになります。セントリーモードは、近くに潜在的脅威を検知したときにアラートを発する、インテリジェントな車両セキュリティシステムであるとお考えください。

脅威が検知された場合、またはけん引されたり揺さぶられたりしたときのような、ぎくしゃくした動きが多いと車両のセンサーが判断した場合、セントリーモードは次の動作を行います。

- ヘッドライトを点滅させます。
- アラームを鳴らします。
- カメラが録画中であることを示すメッセージをタッチスクリーンに表示して、車外にいる人に知らせます。
- モバイルアプリでお客様にアラームの作動を知らせます。
- イベントの映像を USB ドライブ（取り付けられている場合）に保存します。

セントリーモードはデフォルトでは無効になっています。音声コマンドや Tesla モバイルアプリを使用して、セントリーモードを簡単に有効化または無効化することができます。音声コマンドを使用してセントリーモードを有効にするには、「Tesla を安全に」、「自分の車の安全に」、「セントリー オン」、または「セントリーを有効にする」などと発話します（[音声コマンド ページ 16](#) を参照）。

注: 2021 年 11 月 1 日ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の USB ポートを使用してください。

セントリーモードを使用するには、少なくともバッテリー残量が 20% 以上必要です。バッテリー残量が 20% よりも低くなった場合、セントリーモードは無効となりモバイルアプリより通知されます。セントリーモードを有効にすると、バッテリー消費が増加します。

注: セントリーモードが有効になっている場合、セキュリティアラーム設定（「コントロール」 > 「安全」 > 「セキュリティアラーム」）は使用できません。



注意: セントリーモードを有効にしたからといって、潜在的なあらゆるセキュリティ上の脅威から Model Y を保護できるわけではありません。セントリーモードは多くの要因を利用してセキュリティアラームを発動させるかを判断します。すべての影響因子が検出されるわけではない可能性がありますし、あらゆる状況でアラームが発動するわけではない可能性があります。セントリーモードは車両を脅威から保護するのに役立ちますが、すべての攻撃を防げるわけではありません。

注: セントリーモードは、アラームがトリガーされたとき、または車両が突然のぎくしゃくした動きを検知したときのみ、モバイルアプリに通知を送信します。セントリーモードがそのイベントを明確な脅威とみなさない場合、車両は映像を記録しますが、アラームはトリガーされません。

セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり）

1. セントリーモードでは車両の USB ポートに正しくフォーマットされた USB ドライブを挿入する必要があります。およそ 2020 年以降に製造された車両の場合、グローブボックスにフォーマット済みの USB ドライブが装備されています。フラッシュドライブをフォーマットするには次に示す 2 つの方法があります。
 - USB ドライブを USB ポートに挿入し「コントロール」 > 「USB ドライブのフォーマット」の順に移動します。車両は自動的に USB ドライブをフォーマットします。
 - コンピューターで USB ドライブをフォーマットします。詳細情報については、[ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 149](#) を参照してください。
2. USB ドライブを車両の USB ポート（できればグローブボックスの USB ポート（装備されていれば））に挿入します。
3. 車両をパーキングにシフトした状態で、「コントロール」 > 「安全」 > 「ダッシュカム」の順に移動してダッシュカムを有効にします（セントリーモードが機能するには、ダッシュカムを有効にする必要があります）。
4. 「コントロール」 > 「セントリーモード」 > 「オン」の順にタッチします。有効になると「コントロール」のセントリーモードアイコンが赤色に変わります。



注: リアカメラでの録画は 2018 年 2 月ごろ以降に製造された車両のみ使用可能です。

有効になっている場合、セントリーモードはアイドル状態になり、トリガーされた場合に、すぐにアラームを出して、そのセキュリティイベントを録画することができます。映像の表示については、[録画映像を見る ページ 149](#) を参照してください。

5. アラームがトリガーされているときにセキュリティアラームおよびオーディオシステムの音を止めるには「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーサウンドを無効にする」の順に移動します。有効になっている場合、依然としてセントリーモードによってモバイルアプリを介して通知が送信され、最新の 10 分間の映像が保存されます。
6. 次回の走行までセントリーモードを手動で有効/無効にするには、セントリーモードアイコンにタッチします。このアイコンが赤くなっていない場合、セントリーモードはオフです。



「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」でセントリーモードを「オフ」にすると複数回の走行サイクルで無効になります。

セントリーモードの使い方 (USB フラッシュドライブなし)

セントリーモードが有効な場合に、セキュリティ イベントが検知されたものの、USB ドライブは USB ポートに挿入されていない場合、車両はモバイルアプリを介してドライバーに警告を出しますが、カメラ録画は行いません。

セントリーモードの設定

・ 指定場所を除外する

「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」では、指定された場所でセントリーモードを有効にしないことを設定することができます (詳細情報については [自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 163](#) を参照)。

- **自宅を除く:** お気に入りリストで「自宅」と設定した場所では、セントリーモードが自動でオンになりません。
- **勤務先を除く:** お気に入りリストで「勤務先」と設定した場所では、セントリーモードが自動でオンになりません。
- **お気に入りを除く:** お気に入りリストにある場所では、セントリーモードは自動でオンになりません。

注: 自宅、勤務先またはお気に入りとしてリストされている場所を認識させるには、Model Y を保存した場所の約 1,640 フィート (500 m) 以内に駐車する必要があります。

自宅または勤務先を設定するには、「ナビ」 > 「自宅を設定/勤務先を設定」の順にタッチします。「お気に入り」を設定するには、マップに住所が表示されているときに星印にタッチします。タッチスクリーンまたはモバイル アプリを使用して手動でセントリーモードをオンまたはオフにすると、次に車を運転するまで、自宅、勤務先またはお気に入りが無効になります。

・ カメラベース検出を設定する

「カメラベース検出」を有効にすると、セントリーモードが車両のセンサーの他に外部カメラを使用して駐車中のセキュリティ イベントを検出します。無効にした場合、物理的脅威が検出されても、車両は映像を USB ドライブに保存する以外のことをしません。調整するには「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」 > 「カメラベース検出」の順にタッチします。

・ ライブカメラの表示

注: ライブカメラの表示には、プレミアム コネクティビティおよび Tesla モバイル アプリのバージョン 4.2.1 (またはそれ以降) を電話機にインストールし、キーとして Model Y とペアリングしておく必要もあります。

セントリーモードが有効な場合、モバイル アプリを使用して Model Y の周囲を、外部カメラを通して離れた場所から見るができます。有効にするには、タッチスクリーンで「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」 > 「モバイルアプリでライブカメラを表示する」の順にタッチして、セントリーモードでの録画をリアルタイムで表示します。車両に人がいないことと、すべてのドアがロックされていることを確認してください。次に、モバイル アプリで、「安全」 > 「セントリーモード」 > 「ライブカメラの表示」に移動します。

「ライブカメラの表示」を使用しているときは、Model Y のエクステリアライトを一定間隔で点滅させタッチスクリーンにメッセージを表示して、車両の周囲をカメラで監視していることを他の人に知らせます。

ライブカメラの表示は 1 日につき通算使用時間が、約 1 時間 (地域によっては 15 分) までに制限されています。

Model Y に歩行者警報スピーカー (歩行者警告システム ページ 94 を参照) が装備されている場合、モバイル アプリのマイクボタンを長押しするとこのスピーカーから自分の声を出すことができます。

また、同時にドッグ モードを有効にして、ライブカメラビューに切り替え、モバイル アプリから車内カメラで確認することもできます。詳細情報については、[エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 153](#) を参照してください。オートパイロット コンピューター 2.0 または 2.5 を装備した車両の場合、この機能はサポートされていません。「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「オートパイロット コンピューター」の順にタッチして、車両が装備しているコンピューターを確認してください。

注: ドッグとセントリーを同時に有効にすると、セントリーはデフォルトで「セントリーサウンドを無効」になり、ペットを保護します。

注: 画質は、ネットワーク接続の状態によって異なる場合があります。音声をキャプチャしていません。

注: ライブカメラの映像は完全に暗号化されているので Tesla がアクセスすることはできません。

セントリーモードの映像の表示に関する詳細は、[録画映像を見る ページ 149](#) を参照してください。

注: 内部ストレージの空き容量がなくなると、新たな録画によって古い録画が上書きされます。



注: 2021年11月1日ごろ以降に製造された車両の一部では、センターコンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。メディアファイルの再生、フォーマット、ビデオクリップの視聴を行う場合は、グローブボックス内の USB-A ポートを使用してください(車内の電子装備品 ページ 9 を参照)。

注: 製造日および車両の構成によっては、USB ドライブでフォーマットを行う機能やビデオクリップを保存する機能が、車両で使用できない可能性があります。

一部の機能(ダッシュカム、セントリーモード)では、以下の要件に適合する USB ドライブの使用が必要です。

- 最小ストレージ容量 64 GB。できるだけ保存領域が多い USB ドライブを使用してください。動画は大量の保存領域を占有することがあります。
- 4 MB/s 以上の持続書き込み速度であること。持続書き込み速度はピーク書き込み速度とは異なることに注意してください。
- USB 2.0 互換であること。USB 3.0 のドライブを使用する場合、USB 2.0 もサポートしている必要があります。
- 適切にフォーマットされていること(自動または手動で ページ 149)。

注: 一部の販売地域では、<http://www.tesla.com> の推奨 USB ドライブを購入することができます。

USB ドライブの自動フォーマット

USB ドライブを、ビデオクリップのフォーマット、保存、視聴が可能でフロント USB ポートに挿入します(車内の電子装備品 ページ 9 を参照)。次に、「コントロール」>「安全」>「USB ドライブをフォーマット」の順にタッチします。これによって USB ドライブが exFAT として自動的にフォーマットされ、TeslaCam フォルダが作成されます。これで USB ドライブで動画映像を記録して保存する準備が整いました。

「USB ドライブをフォーマット」は、USB ドライブ(1つ以下のパーティションを持つもの)をフロント USB ポートに差し込んでいる場合に限って利用可能です。「USB ドライブをフォーマット」を選択すると、USB ドライブ上の既存のデータがすべて消去されます。この機能を使用する前に、保持したいデータを別のデバイスに移動してください。

USB ドライブの手動フォーマット

Model Y で USB ドライブをフォーマットできない場合は、コンピューターを使用してフォーマットしてください。

1. USB ドライブを exFAT、MS-DOS FAT (for Mac)、ext3、または ext4 でフォーマットします(NTFS は現在サポートされていません)。
2. **TeslaCam** という名前のベース レベルフォルダを作成します。1つの USB ドライブを、ダッシュカム、セントリーモード、およびオーディオ ファイル用に使用することができますが、exFAT USB ドライブ上に個別のパーティションまたはフォルダを作成する必要があります。

3. フォーマットが完了したら、USB ドライブをグローブボックスの USB ポート(装備されていれば)に挿入するか、センターコンソール内のフロント USB ポートを使用してください。後部にある USB ポートはデバイスの充電専用ですので、使用しないでください。Model Y が USB ドライブを認識するまでに数秒かかる場合があります。

4. 認識されたら、「コントロール」にタッチするとダッシュカムおよびセントリーモードのアイコンが利用できるようになることを確認します。Model Y はこれで動画を記録することができます。

注: 最初にセントリーモード(装備されている場合)を有効にする必要がある場合があります。「コントロール」>「セントリー」の順にタッチしてください。

録画映像を見る

映像が保存されている場合、そのクリップをタッチスクリーンまたはコンピューターに表示することができます。

USB ドライブに空き容量がない場合、これ以上動画を保存することはできません。USB ドライブに空きがなくなることを防ぐため、保存されたビデオを定期的に別の装置に移動し、USB ドライブから削除してください。

有効な場合、ダッシュカムとセントリーモードが映像を周期的に記録します。保存しない場合、映像は継続的に上書きされます。表示するためには希望する映像を保存する必要があります。そうしないとその映像は消去されて上書きされます。映像の保存については、[セントリーモード ページ 147](#) および [ダッシュカム ページ 145](#) を参照してください。保存された各クリップには、各カメラ(フロント、リア、左および右)から4本の動画が録画されています。

注: リアカメラでの録画は2018年2月ごろ以降に製造された車両でのみ使用可能です。

タッチスクリーンでの表示

Model Y がパーキングにシフトしているときに、タッチスクリーンで録画した映像を見ることができます。アプリランチャーにあるダッシュカムアイコンにタッチします。タブには、すべてのビデオクリップのリストが、場所やタイムスタンプで整理されて、表示されます。必要に応じて、クリップを一時停止、巻き戻し、早送り、および削除します。特定のクリップを素早く削除するには、右にスワイプするか、長押しします。

「コントロール」>「安全」>「ダッシュカムのクリップを消去」の順に移動して、すべてのダッシュカムおよびセントリーモードの映像を消去することができます。

注: ビューアを起動すると、ダッシュカムの録画が一時停止します。

コンピューターで表示

USB ドライブをコンピューターに挿入し、TeslaCam フォルダに移動します。

TeslaCam フォルダには、以下のサブフォルダがあります。



ビデオ録画のための USB ドライブの要件

- **RecentClips** : 最大 60 分の録画されたコンテンツが含まれています。
- **SavedClips** : RecentClips フォルダから移動し、名前を変更して保存したすべての録画が含まれます。
- **SentryClips** : すべてのセントリーモード セキュリティ イベントで記録された録画が含まれます。USB ドライブの記憶スペースが制限されると、もっとも古いセントリー クリップが削除されて、新しいクリップのためのスペースを提供します。一旦削除されたクリップを復元することはできません。



温度調節の概要

空調は、タッチスクリーン下部からアクセスできます。温度調整は標準で「オート」に設定されています。この設定では、過酷な気象条件を除くあらゆる環境で最高の快適さが保たれます。キャビンの温度を「オート」で設定すると、空調システムは、暖房、エアコン、空気配分、ファン速度を調整して選択した温度を維持します。

空調設定を調整できるときは、タッチスクリーンの下部側にある表示温度にタッチして、メイン空調画面にアクセスできます。「自動」にタッチするといつでも自動に戻ることができます。メイン空調コントロール画面の電源ボタンにタッチすると、オンまたはオフに切り替えることができます。一般的なコントロールにすばやくアクセスするには、<または>にタッチして空調ポップアップを表示します。

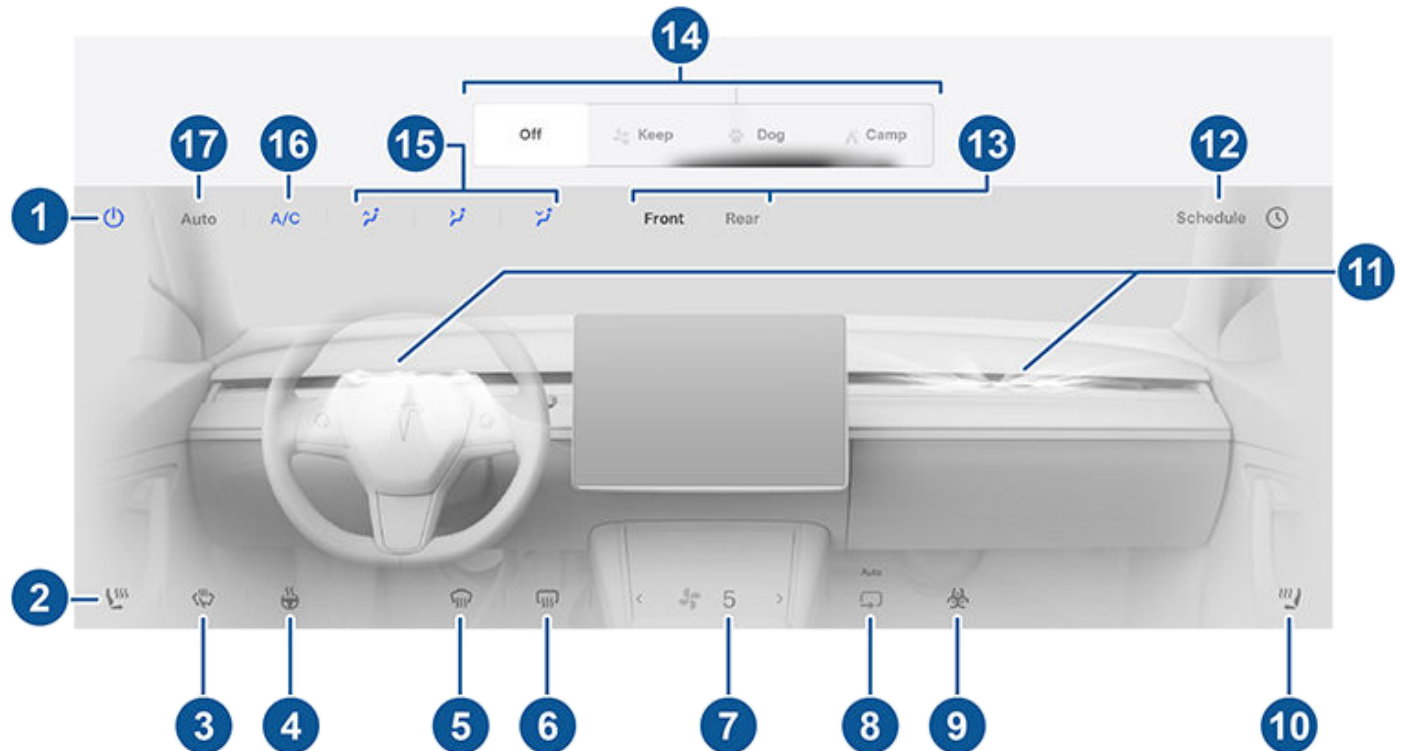
キャビンが暖まっているときや冷えているときは、ファンの速度が低下する場合があります。タッチスクリーンには、希望の温度に達するまで「Warming Up」または「Cooling Down」が表示されます。

注: 空調システムは高電圧バッテリーからの電力で運転します。したがって、長時間使用すると航続距離が減少します。

⚠ 警告: 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。

空調設定の調整

注: シートヒーターをオンにしたり、キャビン温度を変更したりするといった空調の設定を、音声コマンドを使用してハンズフリーで簡単に調整することができます（音声コマンド ページ 16 を参照）。



注: シートヒーターおよびデフロスターにワンタッチでアクセスするために、これらのコントロールをマイアプリに追加することができます。マイアプリをカスタマイズ ページ 6 を参照してください。

1. タッチすると、空調システムのオンオフを切り替えできます。
2. 運転席側のシートアイコンにタッチすると、運転席のシートヒーターを調整できます。シートには、3（最高）から1（最低）までの3段階あります。シートアイコンの波線が設定レベルに応じて赤色（暖房）に変わります。「オート」は空調システムが「オート」に設定されている場合に表示されますが、室内温度に応じてフロントシートを暖房します。シートヒーターにワンタッチアクセスするため、シートヒーターをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（マイアプリをカスタマイズ ページ 6 参照）。



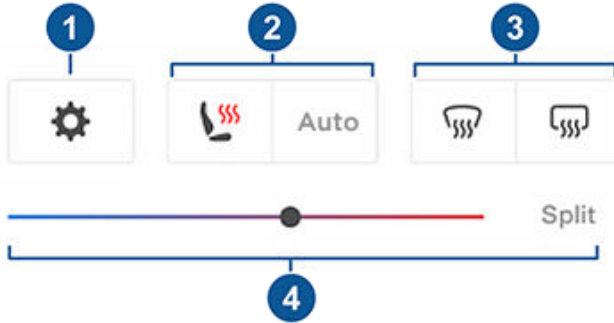
空調を操作する

3. タッチするとワイパー デフロスターがオンになります（装備されていれば）。ワイパーは 30 分間霜取りしてから、自動でオフになります。
4. タッチしてハンドルの暖房を制御します（装備されている場合）。このアイコンには設定レベルに合わせて赤色の波線が表示されます。「**自動**」に設定すると、空調が「**自動**」に設定されていれば、キャビン温度に基づいて、必要に応じてハンドルを加熱します。ワンタッチ アクセスするために、このコントロールをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（[マイ アプリをカスタマイズ ページ 6](#) を参照）。
5. フロント ガラスのデフロスターはフロント ガラスの表面に空気を流します。1 回タッチすると、フロント ガラスの霜取りができます（アイコンが青色に変わります）。2 回タッチするとフロント ガラスの霜取りを行いません。3 回タッチするとオフに切り替わり、空気供給、ヒーター、ファンが元の設定に戻ります。
6. タッチするとリア ウィンドウを暖めます。15 分経つと、リア ウィンドウのデフロスターは自動的にオフになります。リア ウィンドウ デフロスターが作動しているときは、サイドミラーおよび充電ポートも加熱されます。寒冷時に備えるための情報は [寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 157](#) を参照してください。
7. スライダーを使用してファン速度を調節します。**自動**の場合、ファン回転数は **Low/中間/High** に変わります。
注: ファンの速度を調整すると、空気吹出し風量を増加または減少させるために、Model Y 内への空気吹出し設定が変更される場合があります。
8. タッチすると、キャビン内の空気の流れを制御できます。外部から Model Y への空気の導入や、キャビン内での空気循環ができます。
9. Model Y に、医療グレードの HEPA (High Efficiency Particulate Air) フィルターが備わっている場合、空調システムを起動して、外気を車内に導入する状態にしておく（再循環はオフ）車内の空気は最良な状態に維持されます。この HEPA フィルターは、大気汚染、アレルゲン、バクテリア、花粉、カビ孢子、ウイルスなどの微粒子を効率的に排除する超高性能フィルターです。また、HEPA フィルターと補助フィルターシステムの両方に活性炭が使用されているので、あらゆる種類のおいやガスを除去します。Bioweapon Defense Mode (対生物兵器モード) を起動すると、車内が正圧に保たれ、車内に侵入する外気量を最小限に抑えることができます。
注: 一酸化炭素などの一部のガスは、活性炭では効率的に排除することできません。
10. 助手席側のシートアイコンにタッチすると、前席乗客のシートヒーターを調整できます。シートには、3（最高）から 1（最低）までの 3 段階あります。シートアイコンの波線が設定レベルに応じて赤色（暖房）に変わります。「**オート**」は空調システムが「**オート**」に設定されている場合に表示されますが、室内温度に応じてフロントシートを暖房します。シートヒーターにワンタッチ アクセスするため、シートヒーターをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（[マイ アプリをカスタマイズ ページ 6](#) 参照）。
11. タッチすると、フロント通気口からの空気吹き出しの流れを調整できます。[換気 ページ 156](#) を参照してください。
12. Model Y をパーキングに入れた状態で、「**予約**」にタッチし、バッテリーと車内の空調をプレコンディショニングし、オフピーク時間帯に充電して、毎日同じ時刻に Model Y の出発準備が整うように設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 182](#) を参照）。
13. タッチすると、フロントまたはリア キャビンの空調設定を調節することができます。リア キャビンで「**オート**」が有効になっており、乗員が検知されると、リア キャビンに対して設定温度が維持されます（[換気 ページ 156](#) を参照）。
14. 「パーキング」にシフトされている場合、これらの設定が表示され、Model Y から離れても空調システムを動作したままにしておくことができます（[エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 153](#) を参照）。
注: オンにするには、バッテリーの充電レベルが 20%以上である必要があります。
15. フロント キャビンに送風する位置を選択します（フロントガラス、顔の高さ、足元のいずれか）。1 つ以上の通気口を選択できます。
16. これをタッチしてエアコン システムをオンまたはオフにします。オフにすると冷房効果は下がりますが、エネルギーの節約になります。
注: これは、Model Y はガソリン車と比べ走行音が格段に静かなため、エアーコンディショナー コンプレッサーの動作音が気になることがあります。騒音を抑えるには、ファンの速度を下げてください。
17. 「**オート**」をタッチしてオート設定をオンまたはオフにします。
注: 「**自動**」に設定されている場合、通話中に周囲のノイズを抑えるために、ファンの速度が自動的に低下する場合があります。詳細な情報は、[電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 60](#) を参照してください。



空調用ポップアップ

タッチスクリーンの下部にある温度矢印をタッチしてポップアップを表示すると、よく使う空調設定に簡単にアクセスできます。



注: シートヒーターおよびデフロスターにワンタッチでアクセスするために、これらのコントロールをマイ アプリに追加することができます。マイ アプリをカスタマイズ ページ 6 を参照してください。

1. タッチして、メインの空調画面にアクセスします。
2. シートヒーターを有効または無効にします。
3. フロントまたはリアのウィンドウ デフロスターを有効または無効にします。
4. スライダーをドラックしてキャビンの温度を調整します。また、温度調整する部分をスプリットして、運転席と助手席に座る人が自分の好みの温度にカスタマイズできるようにすることもできます。助手席に座る人は、タッチスクリーンの下部にある温度アイコンまたはメインの温度調節画面をタッチして調整します。もう一度「スプリット」をタッチして空調の分割を無効にします。

エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ

「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」および「キャンプ」設定を使うと、Model Y から離れた後でも、車内にとどまることを選んでも、駐車中に空調を ON のままにしておくことができます。これらの設定は、暑い天候時や寒い天候時に車内温度を保つ必要がある場合に役立ちます。例:暑い日に Model Y 内に食料品を入れたままにすると、「エアコンをオンに保つ」を使用して食料品が傷まないようにしたいと思う場合。

「ドッグ」は、ペットのために快適なキャビン温度を維持するように設計されており、モバイル アプリを使用してこの温度を積極的にかつ頻繁に監視します（電話機と車両にセルラー接続を確立する必要があります）。「ドッグ」では、タッチスクリーンに現在のキャビン温度が表示され、ペットが安全であることを通り過ぎる人に教えます。この設定は人用ではなく、短い間だけに使用して、温度を維持することができない状況で車両に戻る必要があるため、ドライバーは近くにいる必要があります。

注: (愛犬が踏むなどして) 窓スイッチをまちがって押さないようにするため、「ドッグ」では窓を開けることができなくなっています。

注: ドッグとセントリーを同時に有効にすると、セントリーはデフォルトで「セントリーサウンドを無効」になり、ペットを保護します。詳細情報については、セントリーモード ページ 147 を参照してください。

セントリーモードまたはドッグ モード、あるいはその両方が有効になっている場合、ライブ カメラ ビューを利用できるようになりました。セントリーモードがオンの場合、カメラは車両周辺のライブビューを表示します。ドッグ モードをオンにすると、カメラが車内を映し出すので、いつでもペットの様子を確認できます。両方が有効になっている場合は、モバイル アプリからそれぞれのカメラに対応する灰色の円または車内アイコンをタッチしてカメラを切り替えます。詳細情報については、セントリーモード ページ 147 を参照してください。

注: ドッグ モードまたはセントリーモードで車内カメラを有効にするには、モバイル アプリのバージョン 4.15.0 以降が必要です。オートパイロット コンピューター 2.0 または 2.5 を装備した車両の場合、この機能はサポートされていません。「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「オートパイロットコンピューター」の順にタッチして、車両が装備しているコンピューターを確認してください。

注: ライブカメラの表示は 1 日につき通算使用時間が、約 1 時間（地域によっては 15 分）までに制限されています。

「キャンプ」では、車内温度を維持することに加え、USB ポートと低電圧コンセントから電子機器の電源を取ることができます。タッチスクリーンは表示されたままになりますので、音楽を再生したり、インターネット検索をしたり、アーケードでゲームをプレイしたり、Tesla シアターで映画を観ることができます。ペアリングした携帯電話でメディアや空調設定をコントロールすることもできます。「キャンプ」はキャンプ時やお子さまに付きそう場合など、車内に留まるときに最適です。このモードが有効な場合、セントリーモードと車両のアラームシステムが無効になります。降車後オートロックが作動していません。

「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」を有効にするには次のようにします。

1. バッテリーの充電レベルが 20%以上であることを確認します。
2. シフトをパーキングにします。「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、および「キャンプ」設定は Model Y のギアがパーキングに入っているときのみ使用できます。
3. 必要に応じて、空調設定を調節します。
4. 空調画面で、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」をタッチします。

注: 空調画面の灰色のバーから上にスワイプすることで、モバイル アプリから「ドッグ」および「キャンプ」を制御することもできます。

空調システムは、パーキングからギアを動かす、または空調システムを手動でオフにするまで、空調の設定を維持しようとしてします。バッテリーの充電レベルが低い場合、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」の使用を控えてください。

キャビンの温度が高すぎる場合、または車両が空調システムに問題を検出した場合は、「ドッグ」を有効にすることはできません。「ドッグ」を有効にする前に、キャビンの温度が安全で快適なレベルであることを確認してください。



空調を操作する

「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ」、または「キャンプ」がオンの場合、Tesla モバイル アプリは次の状況の場合に、Model Y に入れたままにしているものを確認するよう繰り返し通知を送信しようとします。

- バッテリーの充電レベルが 20%未満に低下した場合。
- 車両が空調システムに問題を検出した場合。
- キャビンの温度が最初に「ドッグ」に設定したレベルから大幅に変化した場合。

注: 「エアコンを ON のままにする」、「ドッグ」、または「キャンプ」が有効なときは、ソフトウェアアップデートは行えません。

- 警告:** 子供を車の中に放置しないでください。
- 警告:** 車両にペットを放置することに関する制限事項については、現地の法令を確認してください。
- 警告:** ドライバーは犬などのペットの安全に責任を負っています。ペットを Model Y の中に長時間放置しないでください。継続的に車内温度およびペットの健康状態を監視してください。電話機がカバーエリア内にあることや、必要に応じて、車両に戻るまでの時間を確認してください。
- 警告:** 万が一、空調システムの整備が必要になったり、空調システムが予期した通りに作動しない場合は、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ」および「キャンプ」の使用を避けてください。ペットや子供の保護を車両に任せないでください。
- 警告:** 空調システムはモバイル アプリから遠隔で調整および監視することができます。ただし、空調システムをモバイルアプリでオフにすると、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、「キャンプ」も併せて停止されます。

キャビン過熱保護

キャビン過熱保護は高外気温状態でキャビンが高温になりすぎないようにします。Model Y から離れているときにいつも作動させる必要がない場合でも、空調システムは車両のキャビン温度を下げ、維持することができます。この機能は日光の当たる場所に駐車したときにキャビンが過熱することを防止し、帰ってきたときに車両をより快適にすることができます。キャビン過熱保護は、降車してから作動するまでに最長で 15 分かかる可能性があります。この機能は搭乗者の快適性を目的としたものであり、車両のコンポーネントの信頼性に影響を与えません。

オンにするには、「コントロール」>「安全」>「キャビン過熱保護」の順にタッチし、以下を選択します。

- **オン:** エアコンは、キャビンの温度が 105°F (40°C) を超えるか、タッチスクリーンまたはモバイル アプリで選択された温度 (利用可能な場合) を超えると作動します。温度を調整するには、最新バージョンのモバイル アプリが必要になる場合があります。
- **A/C なし:** タッチ面が熱くなり過ぎないようにファンのみが動作します。
- **オフ:** キャビン過熱保護を無効にします。

また、「空調」にタッチすることで、モバイル アプリからリモートでキャビン過熱保護を有効にすることもできます。下のメニューをスワイプアップして「キャビン過熱保護」から設定を選択します (モバイルアプリ ページ 55 を参照)。

キャビン過熱保護は、Model Y を降りてから 12 時間経過またはバッテリー残量が 20%を下回った時点のいずれか早い方の時点まで動作します。キャビン過熱保護を使用するにはバッテリーからのエネルギーが必要なので、航続距離が減少する可能性があります。

注: キャビン過熱保護を有効にするには、チルト/侵入をオフにする必要があります。

- 警告:** 自動シャットダウン、極端な外気温またはその他の潜在的な機能不全などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。選択した温度を繰り返し超える温度が発生する場合は、Tesla サービスまでお問い合わせください。
- 警告:** 子供またはペットを車の中に置き去りにしないでください。自動シャットダウンまたは気温が著しく高い時などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。

温度調整の使い方のヒント

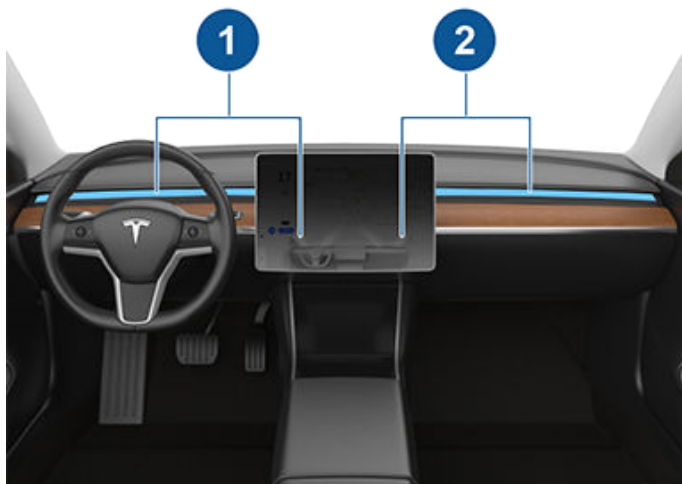
- モバイル アプリを使用して空調システムをオンにした場合、充電レベルが 20%まで低下するか、2 時間が経過すると、空調システムは自動的にオフになります。より長い間キャビンの暖房または冷房を行なうには、車両を充電し、モバイル アプリから空調設定を再度有効にしてください。
- 選択した加速モードを下げることで、キャビン暖房の効率を改善することができます (加速モード ページ 86 参照)。これにより、ピーク加速性能を提供するためのバッテリーの能力を維持する代わりに、ヒートポンプシステムがバッテリーからより多くの熱を奪うことで、キャビンを効率的に暖房することができます。これは寒冷気象時における走行効率を最大限にするために役立ちます。その後に加速モードのレベルを上げる場合、増加した加速レベルが得られるまでにバッテリーを温めるための時間が必要になることに注意してください。
- 気温が極めて低く、霜が降りるような状況では充電ポートのラッチが凍結する場合があります。ラッチが凍結したために、充電ケーブルの取り外しまたは挿入ができない、または車両のスーパーチャージャーが機能しない場合、モバイル アプリで「車の霜取り」を有効にします。これにより、充電ポートの留め金が融氷され、充電ケーブルを外したり差し込んだりできるようになります。詳細情報については、寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 157 を参照してください。
- 空調システムの運転音が気になる場合は、手動で風量を下げてください。
- 車内を冷房するほか、エアーコンディショナー コンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアーコンディショナー コンプレッサーを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。



- 使用していないときでも、Model Y からうなり音や水が循環するような音が聞こえる場合があります。これらの音が発せられるのは通常の状態、内部の冷却システムがオンになり、低電圧バッテリーのメンテナンス、高電圧バッテリーの温度調節など、さまざまな車両の機能をサポートするときに発せられます。
- 空調システムを効率的に動作させるために、すべてのウィンドウを閉め、フロント ガラス前面の外部のグリルに氷、雪、木の葉、その他の破片がつかまらないように注意してください。
- 湿度が非常に高い場合、空調を ON にした直後にフロント ガラスが少し曇ることがあります。
- 駐車している間、Model Y の下に小さい水溜まりができることがあります。これは、湿気を除去する過程で発生した余分な水分が下から排出されたため、正常な動作です。
- Model Y 最大限の効率化を自動的に図るための設計です。したがって、車外の気温が低いときは、車両で暖房の使用やスーパーチャージャーの動作中でも、エアー コンディショナー コンプレッサーや外部ファンが動作してノイズが聞こえる場合があります。
- 駐車中、高温の気象条件で車内の温度を下げるために、ファンで送風を行うことがあります。これは充電量が 20% 以上ある時のみ作動します。

フロント通気口の調整

Model Yには、ダッシュボード全幅に渡って顔の高さにあるユニークな通気口を備えています。キャビン前側で暖房または冷房を使用するとき、タッチスクリーンを使用して空気が流れる方向をピンポイントで好きな向きに調整することができます。



1. 運転席側通気口およびコントロール
2. 助手席側通気口およびコントロール

顔の高さレベルの通気口をオンにすると、各通気口から空気の流れる方向を調整することができます。空気が流れる方向を調整するには、タッチスクリーンで対応する通気口の波線部分をタッチします。通気口中央から外向きまたは内向きに空気の流れが向けられているとき、中央に向けられているときは流れが一つとなり、分割すると左右対称に流れ出します。

Model Yが助手席に人が座っていないことを認識すると、助手席側通気およびコントロールは自動的にオフになります。空調設定を使用して助手席側の風量を調節します。

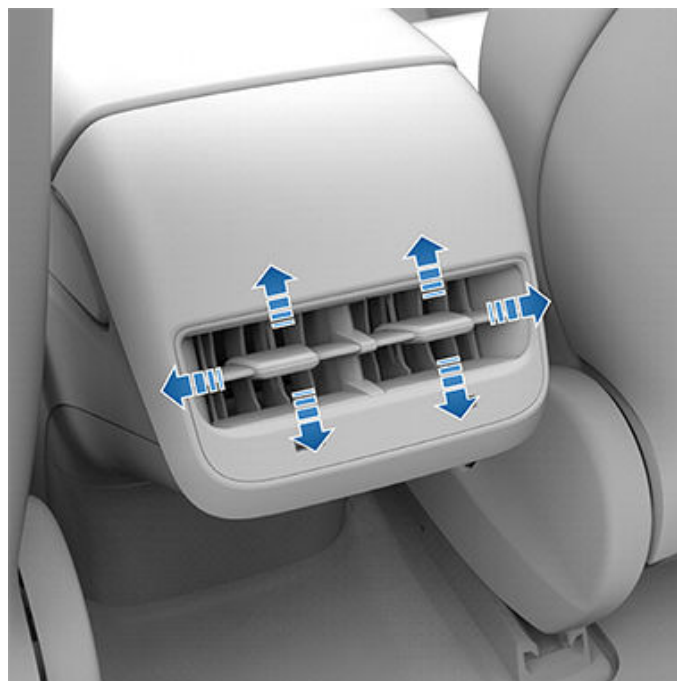
注: 顔の高さにある通気口をウィンドウに向けると霜や曇りの除去に役立ちます。

注: 空気の流れを分割すると、空気の流れは流れを一方向にしているときと比べると流れが弱くなります。

注: 外気はフロントガラスの前のグリルを通して Model Yに取り込まれます。木の葉や雪などの障害物がグリルをふさがないようにしてください。

後部座席通気口の調整

Model Yには、センターコンソールの後側に通気口があり、タッチスクリーンで設定をオンにすると空気が流れます。キャビン後部座席に空気が吹き出す方向を調整するには、センターコンソール後側の通気口を上下、または左右に調整します。



キャビンエアフィルター

Model Yは、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子が通気口から入り込むことを防止するエアフィルターを1つ以上備えています。

注: キャビンエアフィルターは定期交換が必要です。定期サービスページ 187 を参照してください。



寒冷環境において Model Y でのユーザー体験を最大限に向上させるには、次のベストプラクティスを実施します。

運転の前に

雪や氷が車両に付着すると、ドアハンドル、ウィンドウ、ミラー、ワイパーなどの可動部が凍結する場合があります。走行距離を最大限に伸ばし、性能を確保するためにも、走行前にキャビンやバッテリーを暖めておくといでしょう。方法としてはいくつかあります：

- 「コントロール」 > 「予約」（充電画面と空調画面でもアクセス可能）をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 182](#) を参照）。
- モバイルアプリで、「空調」に移動し、車内を暖める温度を調整できます。また、これにより必要に応じて高電圧バッテリーも温まります。
- モバイルアプリで、「空調」 > 「車を霜取り」を選択すると、フロントガラス、充電ポート、ウィンドウ、ミラーについた雪、氷、霜を溶かすことができます。また、これにより必要に応じて高電圧バッテリーも温まります。

注: 空調は、少なくとも出発の 30~45 分前に作動させておくことを Tesla は推奨しています（[空調を操作する ページ 151](#) を参照）。プレコンディション開始時間は外気温およびその他の条件により異なります。モバイルアプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

充電ポート

充電ポートのラッチが凍結してしまい、充電ケーブルが抜き取れなくなってしまった場合は、手で充電ケーブルを外すよう試みます。[手動で充電ケーブルを外す ページ 180](#) を参照してください。

極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。そのような天候時には、充電ケーブルを抜き差しできるように充電ポートラッチの氷を溶かすことができます。そのためには、モバイルアプリを使用して「車を霜取り」を有効にします。

「スケジュール」設定を使用しても、充電ポートのラッチの凍結を防止することができます（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 182](#) を参照）。

注: 充電ポートのラッチが凍結してしまった場合、充電ケーブルを挿入した時にロックしないことがあります。しかし、ラッチがかかかっていなくても充電速度は低下しますが充電は可能です。

充電

トリッププランナー（使用可能な場合）を使用して Tesla 充電ポイントまで移動すると、Model Y が高電圧バッテリーを予熱するので、充電ポイントに到着したときには、バッテリー温度は最適化され、充電の準備が完了しています。これにより、充電の所要時間を短縮できます。参照（[トリッププランナー ページ 165](#) を参照）してください。

注: Tesla では、充電ポイントに到着する前の少なくとも 30 分から 45 分間、トリッププランナーを使用して充電ポイントへ移動することで、最適なバッテリー温度と充電条件を整えることをおすすめしています。充電ポイント到着までの走行時間が 30 分から 45 分よりも短い場合、運転前にバッテリーをプレコンディショニングしておくことを検討してください（[運転の前に ページ 157](#) を参照）。

注: ヒートポンプを搭載している車両の場合、特定の条件下でサーマルシステムから蒸気が発生することがあります（お客様の車両にヒートポンプが搭載されているかどうかは、「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「追加車両情報」をタッチしてください）。たとえば、気温が低いときにスーパーチャージャーで充電していると、無臭の蒸気が車両の前方から発生することがあります。これは正常な動作で、問題はありません。

ウィンドウ

モバイルアプリで、「空調」に移動し「車を霜取り」を選択します。これで、フロントガラス、ウィンドウ、ミラーについた雪、氷、霜を溶かすことができます。

寒冷時、Model Y は、ドアが開きやすくなるよう自動的にウィンドウの位置を微調整します。

注: ウィンドウを破損しないように、車両に電力がない場合は常に、ドアを開ける前に外部の低電圧電源に接続するようにしてください。

Tesla ではサイドウィンドウおよびリアウィンドウ（フロントガラスは対象外）への疎水性コーティングを低価格で提供しておりますので、モバイルアプリを使用してサービス予約してください。

ドア

厳寒気象条件においては、着氷によってドアハンドルを開くのがより困難になる可能性があります。この場合、モバイルアプリを使用して運転席ドアを自動で開くことができます。

1. モバイルアプリで 4 個のクイックコントロールボタンのどれかを長押しし、指示に従って「**ドアのラッチ解除**」を使用したクイックコントロールをカスタマイズします。
2. 車のすぐそばにいるときに「**ドアのラッチ解除**」にタッチすると運転席ドアが自動で開きます。

ドアハンドルに付着した氷を取り除く

寒冷時には、ドアハンドル内に氷が付着しドアハンドルが開かなくなることがあります。Model Y のドアハンドルを開くための手順は、着氷を除去するための他のモデルのものとは若干異なります。

注: 予め WD-40 をドアハンドルのピボットピンに塗布しておくことで、ドアハンドル内部が凍結することを防ぐことができます。

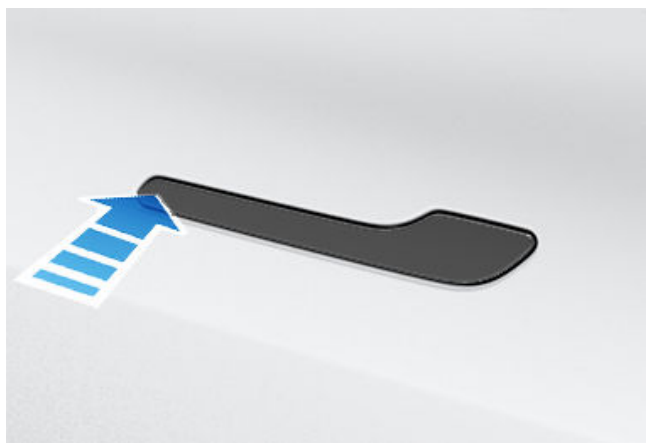
⚠️ 注意: 工具を使用したり、過剰な力を加えたりして、ドアハンドルから氷を取り除こうとしないでください。

ドアハンドルから氷を取り除くには以下の手順を実施します。

1. ドアハンドルの最前方を強く押し込みます。これにより内側に少し動いて氷を割るのに役立ちます。



寒冷環境におけるベストプラクティス



2. ドアハンドルの最後方を押し、普段するようにドアハンドルを開こうとしてください。
3. ドアハンドルが動くようになったら、ドアハンドルを数回開け閉めして残りの氷を取り除いてください。車両に入る前にドアハンドルが完全に格納されてことを確認し、運転前にドアが完全に閉じられていることを確認してください。

ミラー

駐車時に着氷が予想される場合は、「自動格納式ミラー」をオフにしておきます。「コントロール」>「自動格納」の順にタッチします凍結により、サイドミラーの展開、格納ができなくなる場合があります。

注: プレコンディショニング中や、リア デフロスターをオンにしたとき、サイドミラーが必要に応じて自動的に温められます。

ワイパー

駐車中に積雪や凍結が予想される場合は、「コントロール」>「サービス」>「ワイパー サービス モード」の順にタッチします。これで、ワイパーがフロントガラスから持ち上がり、フロントガラスの霜取り時に同時にワイパーの霜取りができます（ワイパーとウォッシャー ページ 75 を参照）。また、ワイパーデフロスターをオンにすることもできます（装備されている場合）。空調を操作する ページ 151 を参照してください。

タイヤおよびタイヤチェーン

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。ウィンタータイヤは Tesla ショップで購入することができます。（季節別タイヤ保管 ページ 194 を参照）。

タイヤチェーンを装着することで、雪道や凍結路でトラクションを高めることができます。地域の法令を確認し、冬季に地域でタイヤチェーンが推奨されているか、使用が義務付けられているかを確認してください。詳細情報については、[タイヤチェーンの使用 ページ 194](#) を参照してください。

周辺温度が低くなると、車両のタイヤ空気圧は低下します。TPMS インジケータ ライトが点灯した場合、走行前にタイヤに空気を補充してください。外気温が 10°F (6°C) 低下するとタイヤ空気圧は 1 PSI 低下します（[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 189](#) を参照）。タイヤ空気圧を適正に保つことで、タイヤを路上の穴から保護し、航続距離を延ばせます。

運転中

寒冷時は、運転や車内の暖房、バッテリーの加熱などで電力消費が多くなります。電力消費を下げるためには以下が推奨されます。

- シート ヒーターで暖めます。シート ヒーターは車内ヒーターより消費エネルギーが少なく済みます。キャビン温度を下げ、シートヒーターを使用すると、電力消費を削減することができます（[空調を操作する ページ 151](#) を参照）。
- 運転速度を落とし、急激、頻繁な加速を避けてください。
- 選択した加速モードを下げることで、キャビン暖房の効率を改善することができます（[加速モード ページ 86](#) 参照）。これにより、ピーク加速性能を提供するためのバッテリーの能力を維持する代わりに、ヒートポンプシステムがバッテリーからより多くの熱を奪うことで、キャビンを効率的に暖房することができます。これは寒冷気象時における走行効率を最大限にするために役立ちます。その後に加速モードのレベルを上げる場合、増加した加速レベルが得られるまでにバッテリーを温めるための時間が必要になることに注意してください。

回生ブレーキ

バッテリーの温度が低すぎると回生ブレーキの働きが制限されることがあります。運転を続けるとバッテリーの温度が上がり、回生電力が増加します（[回生ブレーキ ページ 78](#) を参照）。

注: 回生ブレーキの制限は、車両のプレコンディショニングに十分な時間をとるか、「スケジュール」を使用して出発時刻まで Model Y をプレコンディショニングすれば回避できます（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 182](#) 参照）。

注: 冬用タイヤを取り付けると、回生ブレーキ力が一時的に減少することがありますが、少しの時間走行すれば、Model Y によって正しいブレーキ力に再キャリブレーションされます。「サービス」>「ホイールとタイヤ」>「タイヤ」の順にタップしてウィンタータイヤを選択してこのプロセスを早めます。

バッテリー低温



バッテリー温度が下がって電力の利用可能量が減ると青色の雪の結晶アイコンがタッチスクリーンに表示されます。利用できない電力量はバッテリーメーターで青色に表示されます。回生ブレーキ、アクセル、および充電速度が制限される場合があります。バッテリーが十分に温まると、雪の結晶アイコンが消えます。



運転後

使用していないときは、Model Y に充電プラグを挿入してください。これにより、バッテリーの代わりに充電システムが使用され、バッテリーは温めておくことができます（[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 174](#) を参照）。

プレコンディショニングの予約

駐車したら、充電画面と空調画面の両方にある「コントロール」>「予約」設定で Model Y のプレコンディショニングを実行する時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 182](#) を参照）。「予約」を使用して、所定の場所での充電ポートラッチの凍結を防止することもできます。車両は、出発予定時刻までに車内とバッテリーが温まっているようプレコンディショニングを開始する時間を決定します。

Tesla では、車両に十分なエネルギーがあることを確認するため、プレコンディショニングに予約充電を設定することをお勧めしています。Model Y のプラグが差し込まれていない場合、バッテリーの充電レベルが 20% を超えている場合に限り、プレコンディショニングが作動します。

車両の保管

Model Y を長期間駐車する場合は、充電ケーブルを挿入しておけば、正常な走行可能距離の短縮を防ぐことができ、さらにバッテリーを適切な温度に保つことができます。車両に充電ケーブルを挿したまま長期間放置しても安全です。

使用していないとき、Model Y は自動的にスリープモードに入ってエネルギーを節約します。モバイルアプリで車両の状態をチェックする回数を減らしてください。チェックするたびに車両は自動的に起動し通常の電力を消費します。



暑熱環境におけるベストプラクティス

暑熱環境において Model Y でのユーザー体験を最大限に向上させるには、次のベストプラクティスを実施します。

運転の前に

以下に示すいくつかの方法でドライブのために車両を準備して、既に熱くなっている車両に乗り込まなくても済むようにすることができます。

- 通気口からの気流の向きを動かしてキャビン进行をプレコンディショニングし、シートヒーターをオンまたはオフにします。モバイルアプリで、「**空調**」に移動し、車内冷房温度を調整できます。
- 充電画面と空調画面の両方にある「**スケジュール**」をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（**プレコンディショニングと充電の予約 ページ 182** を参照）。
- 暑い時にキャビンが熱くなりすぎないようにするための**キャビン過熱保護**を有効にします。キャビン温度が 105°F (40°C) または選択した温度（利用可能な場合）を越えた場合にエアコンを作動させるかファンだけを作動させるかを選択することができます。
- モバイルアプリで「**コントロール**」に移動して、ウィンドウを換気します。

注: 空調は、少なくとも出発の 30~45 分前に作動させておくことを Tesla は推奨しています（**空調を操作する ページ 151** を参照）。プレコンディション開始時間は外気温およびその他の条件により異なります。モバイルアプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

運転後

使用しないとき、特にプレコンディショニングまたはキャビン過熱保護を使用している場合は、Model Y にプラグを挿入したままにしてください。これにより、バッテリーの代わりに充電システムを使用して、快適温度を維持します（**高電圧バッテリーに関する情報 ページ 174** を参照）。さらに、以下に示すいくつかの方法で、キャビン温度の上昇を最小限に抑えることができます。

- 車両から離れる（ちょっと用足しするなどの）前に、ドッグモードを使用して、ペットや生鮮食料のためにキャビンを涼しく保ちます。詳細情報については、**エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 153** を参照してください。
- Tesla では、車両の下に水たまりが発生するのをできるだけ抑えるため、空調を 30 秒間オフにしてからパーキングにシフトすることを推奨しています。
- 日陰に駐車することは、電力消費の削減およびキャビン温度を低く維持するために役立ちます。
- 日の当たる屋外に駐車しなければならない場合は、サンシェード（Tesla ショップで購入可能）を使用してください。
- 駐車する際は Model Y にプラグを挿入し、充電を**スケジュール**します。車両が充電を開始する適切なタイミングを判断し、オフピーク時間帯に充電を完了します。キャビンおよびバッテリーも設定した出発時刻までに準備されます。詳細な情報は、**プレコンディショニングと充電の予約 ページ 182** を参照してください。

充電

トリッププランナーを使用している場合またはスーパーチャージャーステーションに移動している場合、最も効率的な充電をするために、車両が自動的にバッテリーの準備をします。酷暑の場合、スーパーチャージャーへの移動の際に車両がバッテリーのプレコンディショニングをしているメッセージが表示されないことがありますが、それでも車両はバッテリーの準備をしています。

注: Tesla では、充電ポイントに到着する前の少なくとも 30 分から 45 分間、トリッププランナーを使用して充電ポイントへ移動することで、最適なバッテリー温度と充電条件を整えることをおすすめしています。充電ポイント到着までの走行時間が 30 分から 45 分よりも短い場合、運転前にバッテリーをプレコンディショニングしておくことを検討してください（**運転の前に ページ 157** を参照）。

可能であれば、温暖な天候であっても、使用していないときは、とりわけプレコンディショニングやキャビン過熱保護を使用している場合、車両に充電器のプラグを差し込んだままにしてください。

車両の保管

Model Y を長期間駐車する場合は、充電ケーブルを挿入しておけば、正常な走行可能距離の短縮を防ぐことができ、さらにバッテリーを適切な温度に保つことができます。車両に充電ケーブルを挿したまま長期間放置しても安全です。

使用していないとき、Model Y は自動的にスリープモードに入ってエネルギーを節約します。モバイルアプリで車両の状態をチェックする回数を減らしてください。チェックするたびに車両は自動的に起動し通常の電力を消費します。



地図の概要

タッチスクリーンには常に地図が表示されます（Model Y がリバースにシフトされたときを除く）。

地図は指で操作します。

- 地図を任意の方向に動かすには、指を置いてドラッグします。
- 地図を任意の方向に回転させるには、2本の指を置いて回転させます。
- ズームイン、ズームアウトするには、それぞれ2本の指でピンチイン、ピンチアウトします。

注: 地図を回転あるいは移動すると、現在位置の追跡はなくなります。地図の向きを示すアイコンのとなりに「トラッキングは無効」というメッセージが短時間表示され、アイコンはグレーになります。トラッキングを再度有効にするには、地図の向きを示すアイコンにタッチして北向きか進行方向を選択します。

注: ナビゲーションルートがオンになっていると、地図は自動でズームイン、ズームアウトします。

マップの向きを変えるには以下のオプションを切り替えます。



ノースアップ: 北が常に画面の上になります。



ヘディングアップ: 進行方向が常に画面の上になります。車の向きが変わると地図が回転します。このアイコンには運転方向を示すコンパスが組み込まれています。

注: 目的地に向かってナビゲーション中に、このアイコンにタッチすると、ルート概要が表示されます。



目的地に向かって移動しているときはルート概要が利用可能であり、（下にスワイプして）道順リストを開くと表示されます。上にスワイプして道順リストを折り畳むと、地図の表示は前回選択した向きになります。

地図表示

Model Y がパーキングにシフトしていると、マップ上に次のアイコンが表示され、マップに表示する情報のタイプをカスタマイズできます。走行中にこれらのアイコンにアクセスするためには、マップ上のどこかをタッチします（数秒するとアイコンは消えます）。



衛星の画像（プレミアムコネクティビティが装備されている場合）。



交通状況（プレミアムコネクティビティが装備されている場合）。



マップの詳細情報（人気スポットなど）

地図の任意の場所にピンを設定するには、行きたい場所を指で長押しします。ピンを立てるかまたは既存のピンをタッチすると、その場所がマップの中央になり、その場所に関する情報がポップアップ表示されます。このポップアップでは、そのロケーションへのナビゲーションやお気に入りの目的地のリストへの追加やそこからの削除ができます（[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 163](#) を参照）。



充電ポイントです。マップ上の都市および対応するステーションの近辺を含むポップアップリストを表示します。充電場所には、Tesla スーパーチャージャー、ディスティネーションチャージングサイト、サードパーティの急速充電器およびこれまでに使用したことのある公共の充電ポイントが含まれます。[充電ポイント ページ 164](#) を参照してください。ポップアップリストの雷アイコンにタッチし、最大出力に応じて充電器のタイプの検索範囲を絞ります。

注: 一部の市場地域では、充電場所を表示する場合、サードパーティの急速充電器もダークグレーのピンとして地図に含まれています。

ナビ設定

注: 使用可能なナビ設定は、地域や車両構成によって変わる可能性があります。



目的地への移動を開始してから...をタッチすると、ナビゲーション設定アイコンが表示されます。

注: このナビ設定は、「コントロール」>「ナビゲーション」をタッチしてもアクセスできます。

ナビゲーション設定アイコンをタッチしてナビゲーションシステムが自分の好みに合うようにします（利用できる設定は、販売地域と車両構成によって異なります）。

- **ナビ ガイダンス:** 「音声」にタッチして、ナビゲーション指示の音声読み取りを有効にします。
- ナビゲーションの音声指示の音量は、-または+をタッチして増減します。左端まで下げるか、またはスピーカーアイコンにタッチすると、指示はミュートされます。ナビゲーション指示をミュート/ミュート解除するには、スピーカーアイコンにタッチします。この音量設定はナビゲーションシステムの音声指示だけに適用されます。メディアプレーヤーや電話の音量は変わりません。

T マップとナビゲーション

注: 車速および空調設定に基づいて音量が自動的に調整されるようにすることができます。

注: ペアリングしている電話が通話中のときは、ナビゲーションの指示はミュートされます。

- 車両に乗ったときに Model Y がナビが目的地へ向かうよう自動的に開始するには、**オートナビゲーション**を有効にします。目的地は、日常的に運転される経路、時刻、およびカレンダーの予定に基づいて予測されます（**オートナビゲーション ページ 163** を参照）。
- **トリッププランナー**（販売地域で利用可能な場合）を有効にして、必要に応じてスーパーチャージャーストップを追加します。スーパーチャージャーストップを経路案内に追加するのは、運転と充電に費やす時間を最小限に抑えることが目的です（**トリッププランナー ページ 165** を参照）。
- 「**オンラインルート案内**」を有効にすると渋滞を避けて自動的にルート設定し、地域で利用可能になっている場合、ナビルートに沿ってリアルタイムの交通状況を取得することができます（**オンラインルート案内 ページ 165** を参照）。
- フェリーを利用しないよう自動的に経路変更させるには、「**フェリーを使用しない**」をタッチします。
- 可能であれば、有料道路を利用しないよう自動的に経路変更させるために、「**有料道路を使用しない**」をタッチします。
- 「**HOV 車線の使用**」をタッチして、高乗車率（HOV）車線をナビのルートに含めます。これは、オートパイロットナビ走行を使用するときに特に便利です（**ナビゲート オン オートパイロット ページ 106** を参照）。

目的地へのナビゲーション

場所にナビゲートするには、地図の角にある検索バーをタッチして目的地を入力し、携帯電話から目的地を送信するか、音声コマンド（**音声コマンド ページ 16** を参照）を使用して住所、ランドマーク、会社名などを指定します。選択した目的地に他の目的地（空港のターミナルなど）が含まれている場合は、サブ目的地も選択できます。

検索バーをタッチすると、さまざまなオプションが表示されます：

- マップの別のエリアにズームインまたはドラッグしたときに検索を更新するには、「**このエリアを検索**」が表示されたらタップします（販売地域で利用可能な場合）。
- 保存された「**自宅**」または「**勤務先**」の場所（**自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 163** 参照）を選択します。
- 「**充電**」の場所（**充電ポイント ページ 164** 参照）を選択します。
- 「**最近の履歴**」の場所（最も直近の目的地がトップに表示）から選択します。
- 「**お気に入り**」に設定した場所（**自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 163** 参照）から選択します。
- お腹がすいて人気レストランに行きたければ、「**食事**」。美術館やテーマパークなどの人気スポットに行きたければ、「**名所**」（「**名所**」および「**食事**」 **ページ 163** を参照）。

注: iOS®または Android™デバイスからリモート操作でナビゲーションを開始するには、Tesla モバイル アプリのアクセスを許可してから「共有」機能を使用します。

場所を指定すると、タッチスクリーンがズームアウトして経路案内の概要が表示され、道順案内方式の経路案内リストが表示されます。到着予定時刻、運転時間、走行距離が経路案内リストの下に表示されます。進路変更の一覧については次の事項をご確認ください。

- ターン リストにあるバッテリー アイコンは、目的地に到着したときおよび目的地に行き現在地に戻った場合の残存エネルギーの推定値を視覚的に示したものです。**エネルギー消費量の推測 ページ 165** を参照してください。
- 目的地に到着する前に充電が必要な場合で、なおかつ「トリッププランナー」がオンになっている場合（販売地域で利用できる場合）は、経路案内にスーパーチャージャーストップが自動的に含まれます（**トリッププランナー ページ 165** 参照）。
- 目的地に到達するために充電量が充分ではなく、かつスーパーチャージャーが予定ルート上にない場合、ナビゲーション表示の上部に警告が表示され、目的地に到着するまでに充電が必要であることを知らせます。
- 各進路変更では、曲がり角までの距離が先に表示されます。
- リストの一番最後を見るには、リストを上ドラッグしてください。
- リストを最小化するには、リスト最上部をタッチします。

ナビゲーション中、地図は車両の位置を追跡し、現在の行程を表示します。下にスワイプして、ターンバイターンの方向リストを展開するか、またはルート概要アイコンにタッチすると、いつでもルート全体を表示することができます。

ターンバイターンリストの下には、目的地や次の停車地点までの距離を示す進捗バーが表示されます。オンラインルート案内が有効になっていると、進捗バーにはルート上の実際の交通状況も表示されます（**オンラインルート案内 ページ 165** を参照）。

ナビゲーションを終了するには、道順案内の経路案内リストの下隅にある「**キャンセル**」にタッチします。候補の場所を右にスワイプするか、場所を長押しすると、特定の最近のナビゲーション検索結果を素早く削除できます。

注: データ接続ができない場合でも車載マップを使用すれば任意の目的地へのナビゲーションが可能ですが、その場所の正確かつ完全な住所の入力が必要です。



ナビゲート オン オートパイロットが有効になっている場合（販売地域で利用できる場合）、ターンバイターンの方向リストの**ナビゲート オン オートパイロット**をタッチして、ナビゲーションルート上で機能をオンにできます（この機能が有効な場合、アイコンは青色です）。**ナビゲート オン オートパイロット**は、高速道路などのアクセス管理された道路において、ナビルートに沿って、自動的に車線変更や Model Y の操舵を行いません。詳細は**ナビゲート オン オートパイロット ページ 106** を参照してください。



代替経路を選択する

地域や車両の設定により、お客様の車両でこの機能が利用できない場合があります。車両にプレミアムコネクティビティが装備されている必要があります。

1つの経由地を持つ目的地を入力すると、マップには最大で3つの代替経路が表示されます。これにより、各ルートでの総移動時間および交通情報を簡単に比較することができます。タイムアウトにする前に希望のルートを選択しなければ、最速の経路が自動的に選択されます。

経路に経由地を追加する

目的地を入力した後に、経由地を追加、消去または順序付けすることで経路を編集することができます。道順の下にある3つのドットをタッチして、ルート編集するためのオプションを表示します。



経由地の追加は、場所を検索する、自宅を追加する、最近の目的地、またはお気に入りの目的地を追加することで経由地を追加できます。マップ上のピンをタッチして、情報ポップアップから**追加**を選択することで、経由地を追加することもできます。



経由地の編集では、経路に経由地を追加または削除することで詳細な経路を設定することができます。等号サインをタッチして経由地をドラッグアンドドロップすると順番を並べ替えることができます。

またTeslaモバイルアプリを使用してルート編集することもできます(販売地域で利用可能な場合)Teslaモバイルアプリで、「場所」>「ナビゲート」の順に移動し、「走行ルート編集」>「経由地を追加」の順にタッチしてルート編集したら、「車に送信」にタッチしてその走行ルートを車両と共有します。

注: Teslaモバイルアプリのバージョン4.27.5以降が必要です。

オートナビゲーション

注: すべての販売地域およびすべての車両構成においてオートナビゲーションが使用可能であるわけではない可能性があります。

オートナビゲーションは、乗車したときに目的地を予測することができます。Model Yに携帯電話のカレンダーが同期されている場合、カレンダーには車両運転のために乗車したときから2時間以内に実施されるイベントが含まれます。オートナビゲーションでは、そのイベントの位置を推奨します(イベントの実施される有効な住所があることを前提とします)。

さらに、平日(月曜日~金曜日)の午前5時~午前11時の間に自宅に車両に乗車すると、オートナビゲーションによって自動的に指定されている「勤務先」までの経路が表示されます(「自宅、勤務先、お気に入りの目的地」ページ163参照)。平日の午後3時から午後11時の間に勤務先で車両に乗り込むと、オートナビゲーションは自動的に指定されている「自宅」までの経路を示します。

オートナビゲーションを有効にするには、「コントロール」>「ナビゲーション」>「オートナビゲーション」の順にタッチします。電話機のカレンダーをModel Yに同期させる必要があります。イベントに重複のなく指定された有効な住所を含める必要があります(「電話、カレンダー、ウェブ会議」ページ60を参照)。

注: 手入力した、またはModel Yに送信したナビの道順は、オートナビゲーションの推奨経路より優先されます。

「名所」および「食事」

注: 販売地域や車両構成によっては、機能が使用できない場合があります。

選択した目的地までのナビに加え、Model Yはお客様の気分に合わせて近所にある**食事**または**名所**を提案することもできます。ナビ検索バーで「食事」または「名所」をタッチします。「食事」では、人気のレストランの一覧を提案し、「名所」では人気の目的地(美術館やアミューズメントパークなど)の一覧を提案します。関心のある目的地を見つけたら、「ナビゲート」をタッチして目的地へ進みます。

この機能には、最新版のナビゲーションマップが必要です。ダウンロードするには、Model YをWi-Fiに接続してから、「コントロール」>「ソフトウェア」にタッチして、利用できるアップデートの有無をチェックします(「地図のアップデート」ページ166参照)。

自宅、勤務先、お気に入りの目的地

頻繁に利用する目的地がある場合、その都度目的地の名称や住所を入力することを避けるため、お気に入りの追加をお勧めします。目的地をお気に入りとして追加する場合、ナビゲーション検索バーをタッチしてから**お気に入り**をタッチし、お気に入りのリストから目的地を選択することで、目的地に簡単に向かうことができます。



目的地をお気に入りリストに追加するには、地図上で行き先のピンをタッチして、表示されるポップアップウィンドウにあるスターアイコンをタッチします。名前(またはデフォルト名のまま)を入力し、**お気に入りの追加**をタッチします。星マークが塗りつぶされると、その目的地がお気に入りリストに設定されたこととなります。

最近の目的地またはお気に入りの目的地を削除するには、目的地リストで「X」が表示されるまで長押しします。続いて、Xをタッチしてリストから削除します。

「自宅」および「勤務先」の場所も、ナビ検索バーの下に表示されます。タッチすると、これらの場所の住所を設定できます。住所を入力したら、「自宅として保存」または「勤務先として保存」をタッチします。これにより、これらのショートカットをタッチするだけで自宅や勤務先のナビゲーションができます。

該当する住所を変更または削除するには「自宅」または「勤務先」を長押しします。ポップアップが表示され、新しい住所を入力して、「自宅として保存」または「勤務先として保存」を実行します。自宅や勤務先が保存されると、Model Yは、朝は勤務先、夕方は自宅にナビゲーションするかの指示を求めようになり、現在の交通状況に基づいて到着までの推定時間が表示されます。オートナビゲーションページ163を参照してください。

T マップとナビゲーション

い。「自宅を削除」または「勤務先を削除」にタッチして関連する住所を完全に削除します。使用パターンによっては、検索した目的地を自宅または勤務先として保存するように Model Y から求められることがあります。

セキュリティ上の理由から、Model Y を売却する、所有権譲渡する、または他の人に運転させる場合は、自宅と勤務先の場所情報を削除することを推奨します。個別に削除することもできますが、工場リセットを実行して個人データをすべて消去することもできます（「コントロール」>「サービス」>「工場リセット」にタッチします）。

充電ポイント

充電ポイントを地図に表示するには、地図の検索バーにタッチしてから、「充電ポイント」にタッチします。充電ポイントはリストで一覧表示（最寄りの充電ポイントが一番上に表示）されるとともに、地図上ではピンで表示されます。ピンにタッチすると、詳細情報を表示、ナビゲーション、またはお気に入りとしてマークできます。

稲妻アイコンをタッチして、地図に含める充電場所のタイプを指定します（デフォルトでは、マップにはスーパーチャージャーのみが表示されます）。



タッチして 70 kW までの低電力ステーション（ディスティネーションチャージングサイトなど）を含めます。



タッチして 70 kW を超える高電力チャージャーを含めます。

注: 一部の販売地域では、すべての充電場所を表示する設定にした場合、サードパーティの急速充電器もダークグレーのピンとして表示されます。

充電ポイントにピンが表示されると、その場所の状態予測情報が表示されるようになります。ピンをタッチすると詳細が表示されます。



そのスーパーチャージャーのある場所は稼働しており、ピンに付けられている数字は到着時に使用可能であると予測されるスーパーチャージャー区画の数です。

注: 現在のナビゲーションルート上にあるスーパーチャージャーは黒で表示されます（タッチスクリーンが夜間モードのときは白）。



このスーパーチャージャーの場所は利用者で混雑することが予測されています。充電までお待ちいただく必要がある場合があります。



この場所では、通常より利用可能なスーパーチャージャーが少ない可能性があります。



スーパーチャージャーステーションは閉場している可能性があります。



この場所のスーパーチャージャーに関するデータはありませんが、稼働中です。



この場所にあるのは、目的の充電ステーションの場所、サードパーティの急速充電器、または過去に使用したことのある公共充電ステーションです。タッチすると、使用制限や利用可能な充電電流など詳細な情報が表示されます。

注: 地図がズームアウトされ、エリア内に利用可能な充電ステーションが複数ある場合、ピンは丸くなりステーションの台数を表示します。ピンをタッチするとズームインされます。そこで個々のピンにタッチすると各地点の詳細が表示されます。

充電ポイントのピンにタッチすると、ポップアップが表示され、以下のようなことができます。

- 正確な場所と現在地からのおおよその距離がわかります。
- 充電ポイントで利用できるアメニティ（トイレ、レストラン、宿泊施設、ショップ、Wi-Fi の使用可否など）を表示できます。スーパーチャージャーポップアップでアメニティアイコンにタッチすると、周辺エリアのアメニティ施設を検索できます。
- 矢印アイコンにタッチすると、充電ポイントまでのナビを利用できます。

注: スーパーチャージャー（地域によってはサードパーティの急速充電器）へと移動する場合、Model Y は充電に備えてバッテリーのプレコンディショニングを実行します。これにより、最適なバッテリー温度で到着するので充電時間が短縮されます。場合によっては（寒冷時など）、モーターやコンポーネントからノイズが聞こえることがありますが、これはバッテリーを温めているためで異常ではありません（[充電ページ 157](#) を参照）。

- スーパーチャージャーの時間帯別の一般的な混雑状態と該当する充電料金および超過時間料金を表示します（[スーパーチャージャー料金ページ 179](#) を参照）。



エネルギー消費量の推測

目的地までナビゲートしている際に、Model Yは目的地に到着した時点でのエネルギー残量を計算して、ドライバーが充電の必要性を事前に把握できるようにします。ナビゲーション中、地図にはターンバイターンの方向リストにあるバッテリーアイコンの隣にこの計算値が表示されます（[目的地へのナビゲーションページ 162](#) 参照）。ターンバイターンの方向リストが縮小されている場合は、リストの上部をタッチすると広がります。

使用エネルギーを予測する計算は、運転スタイル（予測速度など）と環境要因（風速と風向、周囲温度と予報温度、空気密度、および湿度など）に基づいた推定値です。運転中、Model Yは使用エネルギー量を継続的に学習し、時間の経過とともに精度を向上させます。Model Yは個々の車両で行われた運転スタイルに基づいてエネルギー使用量を予測します。たとえば、一定期間アグレッシブに運転すると、将来の航続距離予測では大きな消費量を想定します。エネルギー予測に寄与する要因（予測されている温度や風速など）の一部は、Model Yがインターネットに接続されている場合にのみ使用できます。

注: 中古の Tesla 車両を購入する場合は工場リセットを実施して（「コントロール」>「サービス」>「工場リセット」）、予測エネルギーにできるだけ高い精度を確保することをお勧めします。

ルートの全体にわたって、Model Yはエネルギー使用量を監視して、走行後の推定残存エネルギーを更新します。次の場合、ターンバイターン方式の方向リストに警告のポップアップが表示されます。

- 目的地到着までに必要な充電残量のごくわずかになったら黄色の警告が表示されます。電力を浪費しないように減速してください。エネルギーを節約する方法は[航続距離を最大限に伸ばす ページ 183](#) を参照してください。
- 赤色の警告が表示される場合は、目的地に到達するために充電する必要があります。

往路および復路の走行に充電残量が十分か確認するには、ターンバイターンの方向リストにあるバッテリーアイコンにタッチして、往復走行に要する想定エネルギー量を表示します。

オンラインルート案内

Model Yは、リアルタイムの交通状況を検出して、自動的に所要時間と到着時刻を調整します。交通状況により予想到着時間が遅れる状況で別のルートがある場合、ナビゲーションシステムは目的地へのルート変更を行うことがあります。別のルート拒否するには、タッチスクリーンのルート変更通知をタップします。ルートを変更する前に、時間短縮しなければならない最短時間を分数で指定することもできます。この機能のオンまたはオフを行うには、「コントロール」>「ナビゲーション」>「オンラインルート案内」の順にタッチします。

販売地域で利用可能な場合に、「オンラインルート案内」が有効になっていると、ナビルートに沿ってリアルタイムの交通状況が検出されたときに、その状況を示すアイコンが表示されます（プレミアムコネクティビティが必要です）。

注: 対応するトラフィックアイコンは地域によって異なります。



フランス以外: 速度違反監視カメラが検出されると表示されます。速度違反カメラに近づいたときに、Model Yからチャイム音を鳴らすこともできます。この機能を有効にするには、「コントロール」>「ナビゲーション」>「速度違反カメラ」の順にタッチします。



フランスのみ: 1台または複数の速度違反カメラ、またはその他の一連の運転上の障害が含まれていることも、含まれていないこともあります。速度違反カメラに近づいたときに、Model Yからチャイム音を鳴らすこともできます。この機能を有効にするには、「コントロール」>「ナビゲーション」>「速度違反カメラ」の順にタッチします。

停止標識および信号機を表示します。



信号が変わるまでの予測待ち時間をドライバーに知らせます。



米国のみ: ルート上に工事中的の場所がある場合に表示されます。



トリッププランナー

トリッププランナー（販売地域で利用可能な場合）を使えば、安心して長い道のりを運転できます。目的地到着までに充電が必要な場合、トリッププランナーは適切なスーパーチャージャー施設を経由するように経路設定します。トリッププランナーは、運転と充電にかかる時間を最小化するルートの選択と、充電時間を提供します。トリッププランナーを有効にするには、地図の設定アイコン（[ナビ設定 ページ 161](#) 参照）をタッチしてから、トリッププランナーをタッチします。

トリッププランナーがオンになっていて、なおかつ目的地への到達に充電が必要な場合、ターンバイターン方式の方向リストにスーパーチャージャー所在地、各スーパーチャージャーでの推奨充電時間、スーパーチャージャー所在地到着時点の予測エネルギー残量が表示されます。

スーパーチャージャー所在地を削除して、道順だけを表示させるには、道順リストの下部にある「充電ポイントを全て削除」にタッチします。充電ポイントを削除する場合に、目的地到着には充電が必要だというアラートがターンバイターンの方向リストに表示されることがあります。スーパーチャージャーストップを道順に再度追加するには、充電ポイントを追加をタッチします。

マップとナビゲーション

スーパーチャージャーで充電している間充電スクリーンには次のスーパーチャージャー所在地または目的地まで（これ以上の充電が不要な場合）の運転に必要な残り充電時間が表示されます。実際の充電時間が長かったり、短かったりした場合には、後続のスーパーチャージャー所在地での充電時間が再調整されます。モバイルアプリを使用して、充電に要する残り時間を監視することもできます。

注: トリッププランナーによってスーパーチャージャーまたは一部地域のサードパーティーの急速充電施設にナビゲーションされているあいだは、スーパーチャージャーまたはサードパーティーの急速充電施設に到着時点で最適なバッテリー温度になるように、Model Y によりエネルギーが自動的に予熱に割り当てられることがあります。この結果、充電時間が短縮されます（[充電 ページ 157](#) 参照）。

トリッププランナーが目的地までの往復に必要な電力がないと判断しても、ルート上にスーパーチャージャーが見つからない場合、トリッププランナーはターンバイターンの方向リストの最上部に警告を表示し、目的地到着には充電を要することを通知します。

注: ナビゲーションルート上にあるスーパーチャージャーが故障中の場合には、トリッププランナーは通知を表示して、別のスーパーチャージャー所在地に経路変更しようと試みます。

地図のアップデート

地図のアップデートが利用可能になると、それは Wi-Fi 経由で自動的に Model Y に送られます。忘れずにそれを受け取るよう、定期的に Model Y を Wi-Fi ネットワークに接続してください（[Wi-Fi ページ 57](#) 参照）。タッチスクリーンには、新しい地図がインストールされたことを告げるメッセージが表示されません。

概要

注: メディア アプリは販売地域、車両設定、購入時オプション、およびソフトウェアバージョンによって異なります。販売地域によっては利用できないアプリがあり、別のアプリで代用されることがあります。

メディア プレイヤーはタッチスクリーンに表示され、さまざまなタイプのメディアからの再生に使用できます。ミニプレイヤーの表示と同様に、メディア プレイヤーを上ドラッグすると展開し（ブラウズすることが可能になる）、下ドラッグすると最小化できます。ミニプレイヤーは便利にできており、現在再生中のものをタッチスクリーンに最小スペースで表示するとともに、再生に必要な基本機能だけを表示します。

ストリーミング サービスはデータ接続（Wi-Fi やプレミアムコネクティビティなど）が利用可能な場合に限って利用することができます。一部のメディア サービスでは、Tesla アカウントがデフォルト設定されています。それ以外は、初回使用時にアカウント認証情報の入力を求められることがあります。

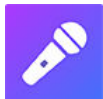
注: メディア プレイヤーのドロップダウン リストからソースを選択して、メディア プレイヤー ウィンドウでソースを変更することができるため、さまざまなメディア アプリを起動する必要はありません。



「ラジオ」: 聴取可能なラジオ局のリストから選択するか、または数字キーパッドにタッチして、ラジオ局の周波数を直接入力して選曲します。周波数を次へ（または前へ）移動させるには、周波数を選んでから、次への矢印あるいは戻るの矢印をタッチします。



「Bluetooth」: Bluetooth 接続された電話や USB デバイスに保存されている音源を再生します（デバイスからメディアを再生 ページ 168 参照）。



Caraoke（装備されている場合）: さまざまな曲を歌うことができます（カラオケ ページ 168 を参照）。

注: メディア アプリ/ソースを表示するまたは非表示にすることができます。メディアの設定 ページ 167 を参照してください。

Model Y は、地域で利用可能な場合、以下のメディア アプリをサポートします。

- Amazon Music
- Apple Music
- Apple Podcasts
- Audible
- LiveOne
- Spotify
- Tidal
- Tuneln
- YouTube Music

インターネット ラジオや音楽ストリーミング サービスを聴く場合、メディア プレイヤーで選択できるオプションは何を視聴するかによって変わります。次に進む（または、前に戻る）矢印にタッチすると、利用可能な次の（または前の）ラジオ局、エピソード、楽曲が再生されます。次の曲を再生、または前の曲を再生の操作は、ハンドル上の左スクロール ボタンでもできます。

注: 音声コマンドを使用して、音量コントロール、音楽再生、またはメディアソースの切り替えといったメディア設定や好みを調整することができます（音声コマンド ページ 16 を参照）。

音量調節

音量は次のようにして制御することが可能です。

- ハンドルの左側のスクロール ボタンを上または下に回すとそれぞれ音量が上がるか下がります。これにより、メディア、音声コマンド、および通話の音量を調整します。
- 車速および空調設定に基づいて音量を調整することができます。
- タッチスクリーンのボタン コーナーにあるスピーカーアイコンに関連する「<」「>」の矢印にタッチします。
- 音量をミュートするには、左スクロール ボタンを押し続けてください。もう一回押しすとミュートが解除されます。
- 通話中に左のスクロール ボタンを押すと、サウンドとマイクの両方がミュートされます。

メディアの設定

注: 各種設定は、販売地域によって異なります。また、設定が適用されない音源もあります。



オーディオ設定にアクセスするには、メディア プレイヤーの検索バーにある設定アイコンを押します。

以下の設定を調整することができます。

- **「トーン」:** スライダーをドラッグすることで、サブウーファーおよび 5 種類の波長帯域（低音、低中音、中音、中高音、高音）を調節できます。プレミアム オーディオが装備されている場合、お好みに合わせてイマージブ サウンド スライダーをドラッグすることで、サウンド イマージョンのレベルを調整してミュージック エクスペリエンスをより魅力あるものにすることができます。
- **「バランス」:** 聴きたい Model Y の位置に合わせて中央の円をドラッグします。
- **「オプション」:** オプション機能を設定します。たとえば、「DJ コメントリー」、「不適切なコンテンツ」、「モバイルコントロールを許可」のオンオフの切り替えができます。
- **「ソース」:** 利用可能なすべてのメディアソースを表示して、それぞれのソースの表示/非表示を選択することができます。使用しないメディアソースは非表示にすることができます。非表示にすると、そのメディアソースはメディアプレイヤーのドロップダウン リストに表示されなくなり、アプ

リランチャーにタッチしてもアプリトレイに表示されなくなります。いつでもこの設定画面に戻って、非表示になったメディアソースを再度表示させることができます。



最近再生した選択は継続的に更新されるため、それらを削除する必要はありません。

オーディオコンテンツの検索



特定の曲、アルバム、アーティスト、ポッドキャスト、ステーションを検索するにはメディアプレイヤーの虫眼鏡アイコンをタッチします。音声コマンドを使用してハンズフリーで検索することもできます(音声コマンド ページ 16 を参照)。利用可能な場合、「HD」[®]をタッチして選択した周波数の高品質バージョンを再生します。

カラオケ

注: 車両の設定や地域により、お客様の車両ではカラオケを利用できない場合があります。Caraoke にはプレミアムコネクティビティが必要です。

メディアプレイヤーに移動して、ドロップダウンメニューを選択してメディアソースをカラオケに変更します。または、カラオケをアプリランチャーのアプリとして追加します。様々な曲を検索して、歌いたい曲を選択します。マイクアイコンをタッチして曲のメインボーカルを有効/無効にします。マイクを無効にすると、曲の演奏やバックコーラスのみが流れます。歌詞アイコン(マイクアイコンの隣)をタッチして曲の歌詞を有効/無効にします。

米国のみ: カラオケスタジオを完成させるために、マイクを <http://www.tesla.com> で購入することができます。

警告: 運転中には絶対にカラオケの歌詞を読まないでください。常に道路状況や交通状況に注意を払ってください。運転時には、他の乗員がカラオケの歌詞を見ることを目的としています。

最近の履歴とお気に入り

もっとも直近に使用したコンテンツは、最近の履歴でもお気に入りでも、使いやすいようにトップに表示されます。



現在再生中のラジオ局、ポッドキャスト、オーディオファイルをお気に入りリストに追加するには、メディアプレイヤー上の「お気に入り」アイコンをタッチします。



ある項目をお気に入りから削除するには、強調表示された「お気に入り」アイコンにタッチします。複数のお気に入りを削除するには、メディアプレイヤーを展開して、適用できるソースコンテンツのタイプごとにすべてのお気に入りを表示します。そして好きなお気に入りを押し続けます。「X」はすべてのお気に入り項目上に表示されます。お気に入りリストから削除したい項目の「X」にタッチします。

注: (装備されていれば) FM ラジオ局で再生する選択局は「最近の履歴」リストには表示されません。

デバイスからメディアを再生

USB フラッシュドライブ

フロント USB ポートにフラッシュドライブを挿入します(USB ポート ページ 9 参照)。「メディアプレイヤー」>「USB」の順にタッチして、希望するフォルダーの名前にタッチします。USB 接続したメディアを再生する場合、Model Y はフラッシュドライブのみを認識します。iPod など別のタイプのデバイスからメディアを再生するには、当該デバイスを Bluetooth で接続する必要があります(Bluetooth 接続された機器 ページ 168 を参照)。

注: メディアプレイヤーは、exFAT でフォーマットされた USB フラッシュドライブに対応しています(NTFS には現在対応していません)。

注: センター コンソール前にある USB ポートを使用します。コンソールのリア側にある USB 接続は充電専用です。

注: 2021 年 11 月 1 日ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の USB ポートを使用してください。

Bluetooth 接続された機器

Bluetooth 機能を持つデバイスを Model Y にペアリングして(Bluetooth ページ 58 を参照)、保存されたオーディオ ファイルを再生します。メディアプレイヤーの「電話」ソースを選択して、Bluetooth 接続したデバイスの名前にタッチしてから、「接続」にタッチします。



概要

注: 地域、製造日、および車両構成によって、エンターテインメントオプションが異なる場合があります。



「シアター」: 駐車中は、さまざまな動画ストリーミング サービス (Netflix、YouTube、Hulu など) をお楽しみください。Model Y が Wi-Fi に接続しているか、プレミアムコネクティビティが装備されていて、携帯電話信号が利用できる場合に限り利用可能です。



「アーケード ゲーム」 プレーしてみませんか。プレーするには、ハンドルのボタンや Bluetooth または USB のコントローラーを使用する必要があることがあります。 [ゲーミング コントローラー ページ 171](#) を参照してください。

注: 2021 年 11 月 1 日頃以降に製造された一部の車両では、センターコンソールの USB ポートは、デバイスの充電にのみ使用できます。これらの車両では、グローブボックス内の USB ポートを使用する必要があります。



「おもちゃ箱」: パーキングにシフトしているときにおもちゃ箱で遊んでください。



警告: これらの機能は、Model Y が駐車しているときのみ使用してください。運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。運転中のエンターテインメント機能の使用は、違法なうえに非常に危険です。

注: 音声コマンドを使用してこれらの機能にアクセスすることもできます ([音声コマンド ページ 16](#) を参照)。

おもちゃ箱

車両のおもちゃ箱には、楽しく使える機能が含まれています。ここでは、おもちゃ箱の機能の一例をご紹介します。

これを選択すると...	できることは...
ブームボックス	Model Y に歩行者警告システムが備わっていれば、パーキングにシフトしているときに、車両の外部スピーカーからさまざまなサウンドを流して歩行者を楽しませることができます。詳細については ブームボックス ページ 170 を参照してください。 注: 公共の場所でブームボックスを使用する前に、現地の法律をご確認ください。
排出ガス	楽しみは、意外なところからやってくるものです。お好みのブービー スタイルと目的のシートを選んでください。「いたづら」する準備ができれば、ウィンカーか左スクロール ホイールを押してブービークッションを鳴らします。歩行者警告システムが備わっていれば、お客様の車両がパーキングにシフトしているときに、外部に向かって音を出すことができます。でも待ってください。お楽しみはそれだけではありません。モバイル アプリを使用すると、4 個のクイック コントロール ボタンのどれかを長押ししてから「おなら」ボタンを選択することで、遠隔音出しテストを実行することができます。
ライトショー	屋外に車を停めて、ボリュームを上げ、ウィンドウを下げて、ショーを楽しんでください。この先にライトショーを予約し、楽曲をカスタマイズして愛する人を驚かせましょう。 注: ライトショーは、公道上または公道付近に駐車している場合は使用しないでください。使用すると、他の道路利用者の注意を妨げる可能性があります。有効にする前に、ライトショーの使用が現地の法律および規制に準拠していることを確認するのは運転者の責任となります。 注: ライトショーでは 1 つの USB ドライブからの複数のカスタム ショーをサポートしており、他の人と共に楽しんで共有することができます (画面上の指示にしたがってください)。
火星	マップには Model Y が火星の大地を走る流浪者として表示され、 お客様の Tesla について ボックスには SpaceX の惑星間スペースシップが表示されます。
レインボー充電ポート	Model Y がロック状態で充電されているとき、モバイル コネクターのボタンを素早く 10 回押してください。どうです?
レインボーロード	カウベルがもっと必要? オートステアリングを有効にした状態ですばやく 4 回続けてドライブ レバーをギアレバーを下まで動かすと、レインボーロードが起動します。



シアター、アーケード、おもちゃ箱

ロマンス	もちろん車内で焚火を焚いて栗を焼くことはできませんが、このバーチャル暖炉を使えば大切な人とロマンティックなひと時を過ごすことができます。お気に入りの音楽を流して、ロマンチックな雰囲気を演出！
スケッチパッド	あなたの内なるピカソを呼び出してみましょう。あなたの才能を見せるチャンス！ 出版 をタッチしてあなたの作品を Tesla まで送付ください。
TRAX	世界的に有名な DJ になる夢を追い続けるのに遅すぎるなんて決してありません。を使えば TRAX、車両を自分だけの音楽スタジオに変えられます。「P (パーキング)」に入れている間、たくさんの楽器やユニークなサウンドを組み合わせる新しいヒットソングを作り出せます。マイクとヘッドセットは含まれておりません。
生命、宇宙、そしてすべてにおける究極の質問に答える	お車の名前を「42」に変更します（「コントロール」>「ソフトウェア」にタッチしてから、車両の名前にタッチします）。新しい名前に注目してください。
車載用カラーライザー	タッチスクリーンで Model Y の色を変更します。車両名の隣にあるカラー スイッチにタッチして、エクステリアのカラー、トーンなどをカスタマイズします。

ブームボックス

注: ブームボックスは、歩行者警告システム (PWS) の装備車でしか使用できません。

注: 公共の場所でブームボックスを使用する前に、現地の法律をご確認ください。

ブームボックスを使用すると、Model Y が駐車時に、歩行者警告システム (PWS) スピーカーから外部に音を出すことができます。
例:

- **現在のメディアを再生。**
- **メガホン**を使用して、声を変調できます。
- ホーンを押すと互換性のある USB デバイスから任意のサウンドの最初の 5 秒間を再生します。

注: 空調でキャンプモードを選択している場合、降車後 Tesla アプリで音量を調整することができます。

ブームボックス用の USB ドライブの準備

これらのステップに従って最大で 5 つのカスタムブームボックスサウンドを追加することができます。

1. コンピューターで、USB ドライブを exFAT、MS-DOS FAT (for Mac)、ext3、または ext4 でフォーマットします (NTFS は現在サポートされていません)。

2. USB ドライブに「**Boombox**」というフォルダーを作成します。

注: USB ドライブには、1 つのフォルダーのみを含めることができます。例えば、ダッシュカムと共有することはできません。

3. .wav と .mp3 の音声ファイルをフォルダーに追加します。USB ドライブの容量が許す限りファイルを追加することができますが、選択できるのは、アルファベット順に並べられたリストにある先頭の 5 つだけです。ファイル名は任意の長さで、大文字と小文字のアルファベット (a-z/A-Z)、0~9 の数字、ピリオド (.)、ダッシュ (-)、アンダースコア (_) を使用できます。

4. USB ドライブをフロント USB ポートに差し込みます。

注: 2021 年 11 月 1 日頃以降に製造された一部の車両では、センターコンソールの USB ポートは、デバイスの充電にのみ使用できます。これらの車両では、グローブボックス内の USB ポートを使用する必要があります。

5. 「**ブームボックス**」ドロップダウンメニューで、USB ドライブからサウンドを選択します。

ゲームのアンインストール

ゲームのアンインストールは、車両のストレージ容量を空けたい場合に便利です。ゲームをアンインストールするには、「**アーケード**」に移動し、アンインストールするゲームを選択し、「**アンインストール**」をタッチします。一度アンインストールしたゲームを再びプレイするには、ゲームをダウンロードする必要があります。

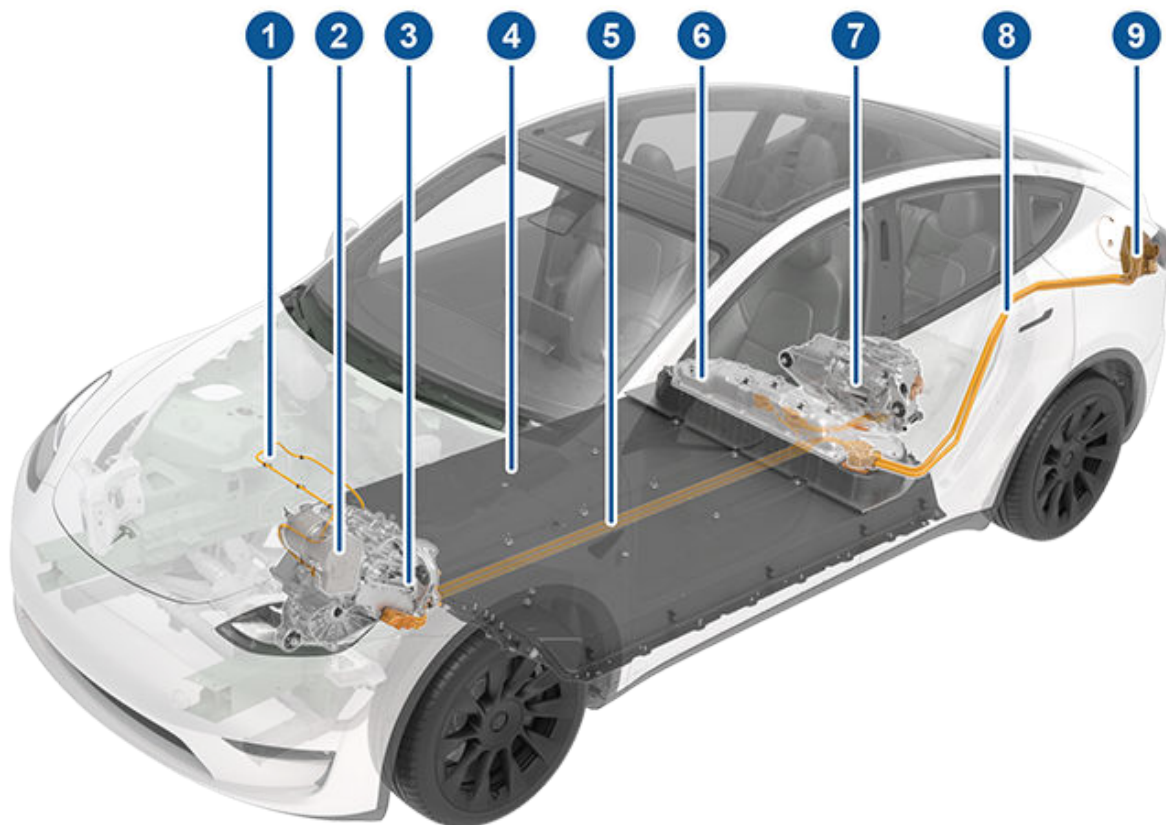


ゲーミング コントローラー

Bluetooth Classic ゲーミングコントローラーは、携帯電話のペアリングと同じ手順で Model Y にペアリングできます（[電話](#)、[カレンダー](#)、[ウェブ会議 ページ 60](#) を参照）。ペアリング後、コントローラーは自動的に車両に接続します。接続すると、コントローラーを使用して選択したゲームをプレイすることができます。Model Y 一度に 2 台の Bluetooth デバイスのみに対応することが可能です（例えば、コントローラー 2 台、または携帯電話とコントローラー）。

およそ 2021 年 11 月 1 日より前に製造された車両の場合、USB 互換のゲームコントローラーを車両のセンターコンソールにあるフロント USB ポートに接続することができます。およそ 2021 年 11 月 1 日より後に製造された車両の場合、グローブボックスの USB ポートを使用する必要があります。

高電圧コンポーネント



1. 高電圧ケーブル配線
2. ヒートポンプアセンブリ
3. フロントモーター（デュアルモーター車のみ）
4. 高電圧バッテリー
5. 高電圧ケーブル配線
6. 高電圧コンポーネント用のサービスアクセスパネル（補助ベイ）
7. リアモーター
8. 高電圧バスバー
9. 充電ポート

⚠ 警告: 高電圧システムにはユーザーが整備可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。

⚠ 警告: Model Y に貼ってあるラベルの注意を読み、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。

⚠ 警告: 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。

充電機器

Model Y の充電専用設計された充電機器は Tesla から入手できます。

お客様の販売地域で使用可能な充電機器については、<http://shop.tesla.com> をご覧ください。

- ウォールコネクターは駐車スペースに設置するタイプであり、車両を日常的な使用で最も高速に充電することができます。



- モバイル コネクタを使用することで、一般的に使用されているほとんどのコンセントに差し込むことができます。モバイル コネクタを使用する場合は、スマート アダプタ (必要な場合) をモバイル コネクタに取り付けてからコンセントに差し込み、その後、車両に接続してください。
- Tesla は地域で最も一般的に使用されている公共充電ステーションで使用できるアダプターも提供しています。公共充電ステーションでは、最初にアダプターをステーションの充電コネクタに取り付けてから、車両に接続してください。



高電圧バッテリーに関する情報

Model Y は世界最高クラスの高性能バッテリーを搭載しています。高電圧バッテリーを長持ちさせるために最も重要なのは、車両を使用していない間も**充電プラグを差し込んだままにしておく**ことです。特に数週間以上 Model Y を運転する予定がない場合、これは重要です。

注: 充電しないまま車両の電源を付けた状態にしているとき、バッテリーはシステム試験および低電圧バッテリーの充電を必要に応じて実行する必要があるため電力を消費しています。

バッテリーのレベルが低下するまで充電を待つ必要はありません。実際、バッテリーは定期的に充電されていると最高の性能を発揮します。

注: バッテリーを 0% まで放電させると、他のコンポーネントが損傷し、場合によってはコンポーネントの交換が必要になることがあります (例: 低電圧バッテリー)。このような場合には、お客様に修理費用や輸送費用を負担していただきます。放電により生じた費用は、保証やロードサイドアシスタンスポリシーの保証対象になりません。

スーパーチャージャーによる充電など、多数の急速 DC 充電セッションの後で、バッテリーのピーク充電速度がわずかに低下することがあります。航続距離とバッテリーの安全性を最大限に引き出すため、バッテリーが冷たすぎたり、バッテリーがフル充電に近くなっていたり、バッテリーの状態が使用状況や経過日数によって変化している場合は、バッテリー充電速度が低下します。バッテリーの物理特性によってこのようなバッテリーの状態変化が進むと、スーパーチャージングの総所要時間は、時間の経過とともに数分単位で延びる可能性があります。スーパーチャージャーに向かって走行中に、トリッププランナー (販売地域で使用可能な場合) を使用してバッテリーを温めておくと、充電時間を最短にすることができます。詳細情報については、[トリッププランナー ページ 165](#) を参照してください。

バッテリーの保護

バッテリーを完全放電させないでください。

Model Y を運転していない間も、バッテリーは車載電子回路に電源を供給するために非常にゆっくり放電しています。放電率は環境要因 (寒い天候など)、車両構造、タッチスクリーン上の選択した設定により異なりますが、1 日におおよそ 1% の割合でバッテリーが放電します。Model Y が充電されない状態が長期間続くような場合もあります (たとえば、空港の駐車場に車を置いて旅行に出かけるなど)。バッテリーを十分な充電レベルに保つために、前述の 1% について留意してください。たとえば、2 週間 (14 日) 充電しないと、バッテリーはおおよそ 14% 放電します。

バッテリーを 0% まで放電すると車両のコンポーネントを損傷する恐れがあります。完全放電からバッテリーを保護するために、充電レベルが 0% 近くまで低下すると、Model Y は低消費電力モードに入ります。このモードで、バッテリーは車載電子回路および低電圧バッテリーへの電源供給を停止します。低消費電力モードを有効にしたら、ジャンプスタートや低電圧バッテリーの交換などを避けるために、すぐに Model Y を差し込んでください。

注: ロックが解除されない、ドアが開かない、充電が開始されないなど、Model Y が反応しない場合は、低電圧バッテリーが放電している恐れがあります。このような場合は、低電圧バッテリーのジャンプスタートをお試しください ([ジャンプスタート ページ 232](#) を参照)。依然として車両が無反応である場合、モバイル アプリを使用してサービス予約してください。

温度限界

常に良好な性能を長期間維持するため、Model Y を 140° F (60° C) 超または -22° F (-30° C) 未満の環境に 24 時間以上連続して置かないでください。

省エネ機能

Model Y には省エネ機能があり、Model Y を使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。世代の新しい車両では、この機能は自動化され最適なレベルの省エネモードが提供されています。一方、世代の古い車両では、「コントロール」 > 「ディスプレイ」 > 「省エネモード」の順にタッチして消費電力をコントロールすることができます。航続距離を最大限に伸ばし、電力を節減する方法について詳しくは、[航続距離を最大限に伸ばす ページ 183](#) をご参照ください。

水没した車両について

他の自動車と同様に、お客様の Tesla が洪水や極端な気象現象にさらされたり、水 (特に塩水) に浸かったりした場合は、事故として扱い、保険会社に連絡してサポートを求めてください。Tesla サービスが車両を検査する前に車両を操作しないでください。ただし、けん引または動かして車両を建物から遠ざける必要があります。

注: 水没による損傷は保証の範囲外になります。

バッテリーに関する警告と注意事項

警告: 高電圧システムの保守は訓練された技術者**だけ**が実施するようする必要があります。どのような状況下においても、バッテリーのフタを開けたり、バッテリーを改造したりしないでください。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。

注意: バッテリーの充電レベルが 0% に達した場合は、プラグを差し込む必要があります。プラグを抜いたまま長時間放置すると、低電圧バッテリーをジャンプスタートさせるか、または交換しない限り、Model Y を充電または使用できない場合があります。Model Y を長期間にわたって充電せずに放置すると、バッテリーが損傷し、修復不能になる場合があります。低電圧バッテリーをジャンプスタートさせても Model Y を充電できない場合は、サービス予約をしてください。

注意: バッテリーはオーナーによるメンテナンスを必要としません。クーラント フィラー キャップを開けたりバッテリー液を補充したりしないでください。タッチスクリーンに液レベルが低いという警告が表示された場合、モバイル アプリを使用してサービスを予約してください。



注意: このバッテリーは固定電源として使用しないでください。固定電源として使用した場合は、保証が無効になります。

充電ポートを開ける

充電ポートは Model Y の左側に位置し、ドアの後ろ、リアテールランプアセンブリの一部にあります。充電ケーブルが充電ポートに届きやすいように、Model Y を駐車します。

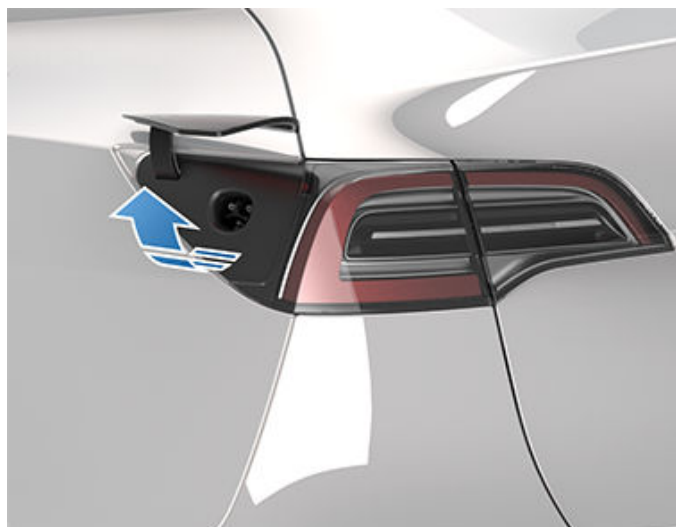
Model Y がパーキングにシフトしている状態で、Tesla 充電ケーブル上のボタンを押して放すと充電ポートのドアが開きます



充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも開けることができます。

- タッチスクリーンから、「コントロール」をタッチして、充電ポートアイコン（稲妻アイコン）をタッチします。
- タッチスクリーンで、「コントロール」>「充電」>「充電ポートを開く」の順にタッチしてください。
- Model Y がアンロックされ、認証された電話が近くにある状態で、充電ポート ドアの下側を押します。
- キーフォブ アクセサリー（別売）のリアトランク ボタンを 1~2 秒間長押しします。
- 認証されたキーが有効範囲内にある状態で車両がロックされている場合、充電ケーブルのボタンを押して充電ポート ドアを開くこともできます（[キー ページ 20](#) を参照）。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを開きます（[音声コマンド ページ 16](#) を参照）。音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じることや、充電を開始または停止することもできます。

注: 次の画像は、デモンストレーションの目的でのみ提供されています。販売地域および製造日によっては、充電ポートに若干の違いがある場合があります。



注: 充電ポート扉を開けると、Tesla の「T」が点灯します。充電ポート扉を開いてから数分以内に充電ケーブルを充電ポートに接続されない場合、充電ポート扉は閉じます。その場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポート ドアを再度開けてください。

注: 極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。一部のモデルには、寒冷時にリア デフロスターをオンにすると、連動してオンになる充電ポートヒーターがあります。モバイル アプリでプレコンディショニングを有効にすれば、充電ポート ラッチの氷を溶かすこともできます。これを防ぐには、「予約」設定（充電画面と空調画面の両方でもアクセス可能）をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 182](#) を参照）。

注意: 充電ポートを無理に開けようとししないでください。

挿し込む

必要な場合は、タッチスクリーンを使用して充電制限と充電電流を変更します（[充電設定 ページ 178](#) を参照）。

公共の充電ステーションで充電するには、適切なアダプターを車両の充電ポートに差し込み、ステーションの充電コネクターをアダプターに接続します。販売地域でよく使われているアダプターが付属しています。使用している充電器によっては、充電器の制御装置を使用して充電を開始、停止する必要があります。

モバイル コネクターを使用する場合は、先に電源に挿してから Model Y につなぎます。


コネクターと充電ポートの向きを合わせて、コネクターを奥まで挿し込みます。コネクターが正しく差し込まれている場合に Model Y が以下の状態になると、自動的に充電が開始されます。

- ラッチによってコネクターが所定の位置に固定されたとき。
- パーキングにシフトしたとき（他のギアに入っていた場合）。
- 必要に応じてバッテリーを加熱または冷却したとき。バッテリーを加熱または冷却する必要がある場合は、充電が開始されるまでに遅れが生じる場合があります。

注: Model Y に充電ケーブルが差し込まれている状態で充電が行われていないときは、バッテリーに蓄積されたエネルギーではなく、充電機器からエネルギーが引き出されます。たとえば、ギアをパーキングに入れ、充電ケーブルを差し込んだ状態で、Model Y の座席に座ってタッチスクリーンを操作している間、Model Y が消費するエネルギーはバッテリーではなく充電機器から取り込まれます。

ただし、Model Y が差し込まれているもののほとんどエネルギーを使用していない場合、バッテリーから直接エネルギーを取り込むことがあります。例えば、Model Y を使用せずに数日間差し込んだままで放置すると、車両のシステムをサポートするために、バッテリーから直接少量のエネルギーを段階的に取り込むことがあります。

バッテリーが十分に放電すると、バッテリーは充電を開始して再び制限に到達します。点検時期によっては、バッテリーは十分に放電することなく、充電サイクルをトリガーすることがあります。その結果、長時間差し込んだ場合でも、充電限度よりも若干低くなる場合があります。これは正常な作動であり、十分に放電した後に、Model Y は再び充電を開始します。または、新しい充電サイクルを手動で開始するには、プラグ一旦を抜いてから Model Y を差し込みます。

 **注意:** 充電ケーブルのコネクター側を Model Y の上に落とすと、塗装が損傷することがあります。

充電ポート ライト

充電ケーブルを Model Y に挿入したら、数秒間待ち、充電ポートのライトが緑色で点滅を開始し、車両が充電されていることを確認します。このライトが黄色または赤色である場合は、車を離れる前に、充電が確実に実行されるよう問題を解決してください。

- **白色 (またはライトブルー色):** 充電ポートが開いています。Model Y 充電準備ができていますが、コネクターが挿入されていなく、充電ポートのロックが解除されコネクターが取り外せる状態になっています。
- **青色:** 充電器は接続されているが、Model Y は充電をしていません (予約充電が有効になっている場合など)。
- **青色の点滅:** Model Y 充電器と通信しているが、まだ充電を開始していません (車両が充電準備をしている場合など)。
- **緑色の点滅:** 充電中。Model Y の充電が終了に近いほど、点滅の頻度が遅くなります。
- **緑色の点灯:** 充電完了。
- **オレンジ色の点灯:** コネクターが完全に差し込まれていません。コネクターと充電ポートの向きを合わせて、コネクターを奥まで挿し込んでください。
- **オレンジ色の点滅:** Model Y は電流を減少して充電していません (AC 充電のみ)。
- **赤色:** 故障が検出され、充電が停止しました。タッチスクリーンでアラートを確認してください。

充電ステータス

充電ポートのドアが開いていると、車のステータス画面の上部に充電ステータスが表示されます。

1. **残り時間:** 設定限度まで充電するための推定残り時間 (充電設定 ページ 178 参照)

注: 100%まで充電する場合、充電完了と表示されていても、車両は低電力で充電を継続している可能性があります。これは設計通りの動作です。このポイントを超えて追加されるエネルギーは小さいので、一般的には充電を継続しても利点ははありません。

2. **充電** 充電器の現在の電力。
3. **充電速度:** 接続している充電器ケーブル使用可能な最大電流。
4. **取得航続距離:** 充電で増加した推定航続距離。
5. **走行距離:** 推定総航続距離または利用可能エネルギー残量のパーセント表示 (表示設定により異なる) で表示されます。
注: 表示されるエネルギー単位を変更するには、「コントロール」 > 「スクリーン」 > 「エネルギー表示」の順にタッチします。
6. **充電ステータス:** 充電ステータス メッセージ (「スーパーチャージング」、「充電中」など) はここに表示されます (プレコンディショニングと充電の予約 ページ 182 参照)。

充電

充電中は、充電ポート ライト (Tesla の「T」のロゴ) が緑色に点滅し、タッチスクリーンに充電状況が表示されます。充電レベルが満充電に近づくにつれて、充電ポートのライトが点滅する周期が遅くなります。充電が完了すると、ライトの点滅が停止し、緑色の点灯になります。


注: Model Y がロックされていると、充電ポート ライトは点灯しません。

充電ポート ライトが充電中に赤く点灯する場合は、故障が検出されています。タッチスクリーンで故障に関するアラートを確認してください。故障は、停電などのよくある障害が原因で発生する可能性があります。停電が発生した場合は、電力が復旧すると自動的に充電が再開されます。

注: ヒートポンプを搭載している車両の場合、特定の条件下でサーマルシステムから蒸気が発生することがあります (お客様の車両にヒートポンプが搭載されているかどうかは、「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「追加車両情報」をタッチしてください)。たとえば、気温が低いときにスーパーチャージャーで充電していると、無臭の蒸気が車両の前方から発生することがあります。これは正常な動作で、問題はありません。

注: 充電中にノイズが聞こえますが異常ではありません。特に大電流で充電する場合は、必要に応じて冷媒コンプレッサーとファンが動作し、バッテリーを冷却します。

注: 通常充電は空調性能に影響を与えません。ただし、特定の状況 (例えば、気温が高い日に大電流で充電しているなど) では、通気口から出る空気が冷たくない場合があります。タッチスクリーンにメッセージが表示されることがあります。これは正常な動作で、充電中にバッテリーを最適な温度範囲内にとどめ、バッテリー寿命と性能を最適になるようサポートします。

 **警告:** 充電している間、絶対に充電ポートに勢いよく液体をかけないでください (高圧洗浄機など)。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

充電の停止

充電ケーブルを取り外すか、タッチスクリーンで「**充電を停止**」にタッチすることにより、いつでも充電を停止できます。

注: 充電ケーブルの不正な取り外しを防止するため、充電ケーブルラッチはロックされたままの状態となり、Model Y のロックが解除されるか、キーを認識しない限り、充電ケーブルは取り外せないようになっています。

充電ケーブルを取り外す:

1. コネクタハンドル上のボタンを長押しして、ラッチを外します。

注: ラッチは、タッチスクリーンもしくはモバイル アプリで自動車のステータス概要にある雷アイコンを使用して、またはキーフォブのリアトランクボタンを長押ししても解除することができます。

2. コネクターを充電ポートから引き抜きます。充電ポート扉は自動的に閉じます。

注: 充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも閉じることができます。

- タッチスクリーン上で、車のステータス概要の充電ポートアイコン（雷マーク）にタッチします。
- タッチスクリーンで、「**コントロール**」 > 「**充電**」 > 「**充電ポートを閉じる**」の順にタッチします。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じます（[音声コマンド ページ 16](#) を参照）。

注意: 充電ポート ドアを決して手で閉じないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

公共の充電ステーションでアダプターを使用して充電ケーブルを取り外す方法:

1. Model Y をロック解除します。
2. 一方の手で公共充電ステーションの充電ハンドルを、もう一方の手でアダプターを押さえながら、充電ハンドルのボタンを長押しして外側に引くと、ハンドルとアダプターが同時に外れます。
注: 充電ステーションのハンドルがアダプターから離れ、アダプターを Model Y に挿入したままにしておく場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポートのロックを解除します。
3. 充電ハンドル ボタンをもう一度長押しして、公共用充電ハンドルからアダプターを外します。

注: 充電ポートは、コネクターを充電ポートから取り外すと約 10 秒以内に自動的に閉じます。

注: 充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも閉じることができます。

- タッチスクリーン上で、車のステータス概要の充電ポートアイコン（雷マーク）にタッチします。
- タッチスクリーンで、「**コントロール**」 > 「**充電**」 > 「**充電ポートを閉じる**」の順にタッチします。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じます（[音声コマンド ページ 16](#) を参照）。

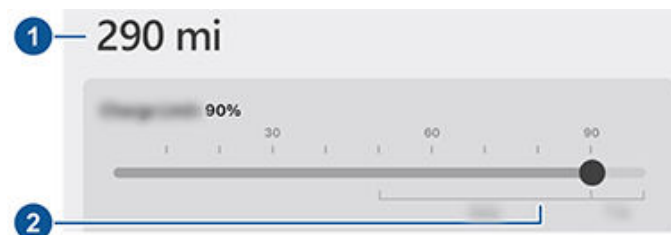
注意: 充電ポート ドアを決して手で閉じないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

注意: Tesla では、Model Y を使用していない場合でも、充電ケーブルを挿し込んだままにしておくことを強く推奨します。そうすることで、バッテリーの充電レベルが最適に保たれます。

注意: Model Y 充電ポートに充電ケーブルが差し込まれているか判断できない場合は、「P（パーキング）」以外にギアがシフトされません。車両に充電ケーブルが接続されていないことを確認し、タッチスクリーンの指示に従ってください（[パーキング ページ 70](#) 参照）。

充電設定

Model Y がパーキングにシフトされているときに、「**コントロール**」 > 「**充電**」の順にタッチして、充電設定にアクセスします。タッチスクリーンのバッテリー アイコンにタッチして充電設定にアクセスすることもできます。



1. **走行距離:** 推定総航続距離を表示します。
2. **制限を設定する:** 充電スライダーを希望する充電レベルに調整します。選択した設定は、即時充電と予約充電に適用されます。

注: 推奨される通常および長距離走行時の充電限度については車両のタッチスクリーンの情報（「**コントロール**」 > 「**充電**」に移動）またはモバイル アプリ（**充電**アイコンにタッチ）を参照してください。

注: バッテリーの図の一部が青くなることがあります。これは、バッテリーが冷えているため、バッテリーに蓄えられているエネルギーのごく一部が運転に利用できないことを示しています。これは正常な動作で、問題はありません。バッテリーが温まると、青い部分が消えます。

充電限度をスライドさせ、通常の推奨充電限度を超えるまで動かすと、ポップアップ オプションが表示され、一時的に一度に限り通常の推奨充電限度を超えて充電することができます。これは長距離の移動に便利です。また選択した場合、元の充電制限にリセットされます。

さらに以下のようにして充電設定を変更できます。

- **この場所での充電電流:** あらかじめ低い電流レベルに設定されていない限り、接続されている充電ケーブルから得られる最大電流に電流が自動的に設定されます。必要な場合は、**-** または **+** にタッチして電流を変更します（たとえば、他の機器と屋内配線を共有している場合に屋内配線が過負荷にならないように電流を下げる場合があります）。接続されている充電ケーブルから得られる最大電流を上回るレベルに充電電流を設定することはできません。電流を変更すると、Model Y はそのときの場所を記憶します。同じ場所で充電するときは、再度変更する必要はありません。

国内用コンセントを持つモバイル コネクタを使用して充電する場合、車両はデフォルトの充電電流を自動で選択することができます。**この場所での充電電流**をカスタマイズするかモバイルアプリで、このデフォルト電流値をより高い設定にします。

- **充電ポートを開き、充電ポートのロックを解除して、充電を停止します。** 充電していないときは、「**充電ポートを開く**」または「**充電ポートのロックを解除**」をタッチして、充電ポートのドアを開くか、充電ポートから充電ケーブルのロックを解除します。自動車のステータス概要で充電ポートの近くにある雷アイコンをタッチすることもできます。「**充電を停止**」を使用して充電を終了します。
- **スケジュール:** プレコンディショニングと予約充電を表示します。保存した自宅と勤務先、または現在地のプレコンディショニングや予約充電を作成できます（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 182](#) を参照）。
- **この場所で太陽光発電で充電:** 当該地域で利用可能な場合、Tesla モバイルアプリを使用して、Tesla Powerwall により車両を余剰の太陽光発電電力で充電できるように設定します。自宅で車両を電源に接続し、「**太陽光発電で充電**」が有効になっている場合、車両は任意の電源からの最小充電制限まで充電され、その後、最大充電制限までは余剰太陽光発電電力のみで充電が続行されます。予約充電またはプレコンディショニングが設定されている場合、車両は余剰ソーラーを使用し、任意のソースから最小充電限度まで充電するために、指定された時刻まで待機します。システム要件: [車両ソフトウェア 2023.26 以降](#)、[Powerwall ソフトウェア 23.12.10 以降](#)、および [Tesla モバイルアプリ 4.22.5 以降](#)。システム要件 (北米以外): [車両ソフトウェア 2023.32 以降](#)、[Powerwall ソフトウェア 23.12.10 以降](#)、および [Tesla モバイルアプリ 4.30.5 以降](#)。
- **スーパーチャージャー充電:** スーパーチャージャーの使用料、場所、充電開始時間、そのセッションの推定費用を表示します（[スーパーチャージャー料金 ページ 179](#) を参照）。

注: 利用率の高いスーパーチャージャー サイトの混雑緩和のために、トリップ プランナー（販売地域で入手可能な場合）を利用していないときは、最大充電レベルが 80% に自動的に制限される場合があります。（[トリップ プランナー ページ 165](#) を参照してください）。

スーパーチャージャー料金

Tesla スーパーチャージャーを使用して充電するときは、充電画面の下側に充電セッションの情報が表示されます。この情報には、場所、充電開始時間、そのセッションの推定費用が含まれます。スーパーチャージャー充電を停止すると、そのセッションにかかった推定費用が次回スーパーチャージャーで充電を開始する時まで表示されます。

注: 推定費用は、スーパーチャージャー充電セッションの最終費用を反映していない場合があります。そのセッションのスーパーチャージャー充電の料金は Tesla アカウントで確認することができます。

充電が完了した後、または使用頻度の高いスーパーチャージャーの場所において車両が混雑時限度に達した後は、追加料金がかかります。スーパーチャージャーは急速充電用に設計されており、これらの料金は充電完了後にドライバーが車両を移動するように促すものです。それぞれのサイトの料金体系は、超過時間料金や混雑時料金がかかるかどうかを含めて、タッチスクリーン上のサイトのポップアップ（[充電ポイント ページ 164](#) を参照）または Tesla のモバイルアプリで確認できます。

- その場所の半分以上のスーパーチャージャーに車両が駐車している場合、**超過時間料金**が適用され、車両が充電限度に達すると追加課金が開始されます。Tesla モバイルアプリは充電完了が近づくと通知し、充電が完了すると再度通知します。超過時間料金が発生した場合は、追加で通知が送られてきます。充電が完了してから 5 分以内に車両を移動させれば、超過時間料金は免除されます。
- 米国のみ: 頻繁に混雑するスーパーチャージャー設置場所を選択した場合、**混雑時料金**が適用されます。そのステーションに空きがなく車両のバッテリー充電レベルが混雑時の充電限度を上回っている場合、混雑時料金が追加課金されます。最初の 5 分間は料金がかかりませんが、その後は車両を移動するまで課金されます。

Tesla アカウントにログインして、スーパーチャージャー充電の詳細と料金や、料金のお支払い方法の設定や決済を行うことができます。支払方法が保存されると、自分のアカウントから自動的に料金が引き落とされます。

サードパーティー充電器

販売地域や車両構成に応じて、すべての Tesla 車には、Tesla が開発した**北米充電規格 (NACS)** 充電ポートが装備されており、この充電ポートは、サードパーティーの充電ステーションにおいて急速に普及しています。こういったステーションには NACS コネクタが装備されているので、個別のアダプターを必要としません。

すべての Tesla 車は Tesla ステーション（スーパーチャージャー、ウォール コネクタ、モバイル コネクタなど）で充電することができますが、お持ちの車両には、一部の NACS 規格のサードパーティー DC 急速充電器を使用するために必要となるハードウェアが装備されていない可能性があります。すなわち、コネクタは互換性を持っているように見えるかもしれませんが、そのコネクタを Model Y に挿入しても、車両は充電されません。これは、NACS コネクタを使用してサードパーティー DC 急速充電器で充電するためには、Model Y が CCS 通

充電方法

信プロトコル（一部のサードパーティー充電器の充電システムで一般的に使用されています）もサポートする必要があるためです。

注: CCS コネクタを装備したサードパーティーステーションで充電するためにはアダプターが必要であり、車両のハードウェアを改造して CCS 通信プロトコルをサポートする必要がある可能性があります。

車両が既に CCS と通信できるようになっているかを確認するには、「コントロール」>「ソフトウェア」>「車両の追加情報」>「CCS およびサードパーティー NACS DC 急速充電器のサポート」の順に移動します。

CCS 充電器:



NACS 充電器:



- **有効:** Model Y CCS 通信プロトコルをサポートしており、あらゆる CCS ステーション（アダプターは必要）およびサードパーティー NACS ステーションで充電可能です。
- **有効ではない:** 車両は現在、NACS および CCS 充電ステーションの CCS 通信プロトコルをサポートしていません。ハードウェアの改造によって有効にするためのサービス予約の対象であるかどうかは、モバイルアプリを使用して確認してください。この改造ができるかどうかは場合によって異なる可能性があります。
- **互換性なし:** Model Y CCS 通信プロトコルをサポートできないため、サードパーティーの NACS および CCS 充電ステーションで充電できません。

手動で充電ケーブルを外す

充電ポートから充電ケーブルを外す通常の方法（充電ハンドルリリースボタン、タッチスクリーン、またはモバイルアプリを使用）が機能しない場合は、キーフォブアクセサリ（装備されていれば）のリアトランクボタンを1~2秒間押し続けます。それでもリリースされない場合は、次の手順に従ってください。

1. タッチスクリーンの充電画面を表示させて、Model Y が充電状態でないことを確認します。必要に応じて、**充電を停止**をタッチします。
2. リアトランクを開く

3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。

⚠ 警告: 充電ポートから充電ケーブルを引き抜こうとしているときに同時にリリースケーブルを引かないでください。リリースケーブルは必ず充電ケーブルを引き抜く前に引いてください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我をする恐れがあります。



注: 解除ケーブルは、トリムの開口部に収めることができます。

4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。

⚠ 注意: リリースケーブルは、通常の方法で充電ケーブルを引き抜くことができない場合にのみ使用してください。リリースケーブルを頻繁に使用すると、リリースケーブルや充電機器が損傷する恐れがあります。

⚠ 警告: 車両の充電中や、橙色の高電圧電線が露出している場合は、この操作を実施しないでください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我、または車両を損傷する恐れがあります。この操作の安全性に不安がある場合は、最寄りのサービスセンターまでお問い合わせください。

充電におけるベストプラクティス

- バッテリーが極めて低い充電レベルにならないようにしてください（バッテリーの残り容量が20%以下になるとバッテリーアイコンが黄色になります）。
- 推奨される通常および長距離走行時の充電限度については車両のタッチスクリーンの情報（「コントロール」>「充電」に移動）またはモバイルアプリ（充電アイコンにタッチ）を参照してください。
- 車両にプラグを接続したら、車両から離れる前に、充電ポートのライトが緑色で点滅し始めることを確認します（Model Y が充電中であることを示します）。数秒経っても Model Y が充電を開始しない場合、コネクタが充電ポートにしっかり挿入されていないか、充電を妨げる問題がある可能性があります。警告とその詳細についてはタッチスクリーンを確認してください。



注: 充電ポートのライトが黄色で点滅を開始した場合、Model Y は電流量を減らした状態で充電をしています。充電ポートのライトが青色で点灯している場合、充電ポイントは接続されていますが、車両は充電をしていません（予約充電が有効になっている場合など）。詳細な情報は、[充電ポートライト ページ 177](#) を参照してください。

急速充電に関するアドバイス:

- ナビゲーション検索バーに表示される 3 本の雷マークで区別することで急速充電器を検索します。
- 高電圧バッテリーのプレコンディショニングを考慮して、急速充電器にむかってナビゲートします。バッテリーが理想的な温度になっていると、迅速な充電を行うことができます。
- 通常、充電済みの電力が少ないほど、充電速度は速くなります。

注: 常に車両の充電を監視することは、ドライバーの責任です。車両が放電し尽くす前に接続してください。安全に充電ポイントに到着するために十分な充電量があることを必ず確認してください。

- スーパーチャージャーでは、隣の区画と電力をシェアすることがあるので、他の車両と間隔を空けて駐車してください。



プレコンディショニングと充電の予約

Model Y のプレコンディショニングと充電の予約について説明します。車両がより効率的に充電するため、または Model Y の出発前の準備のために、プレコンディショニングを予約することができます。

注: また、空調画面、充電ウィンドウ、Tesla モバイルアプリ (v4.34.5 以上が必要) から「予約」にアクセスできます。

Model Y は予約を作成した場所ごとに自動的に予約を保存します。「**現在地**」を選択すると、設定した予約はほぼ同じの物理的な場所に戻ったときのみ使用できます。

注: 予約充電は、Tesla のスーパーチャージャーを含む急速充電器では使用できません。作成した予約充電は、急速充電器で充電する際には無視されます。

予約の作成

プレコンディショニングと充電の予約を作成し、Model Y にプレコンディショニングまたは充電をさせたい時間と曜日を指定します。予約を作成する方法:

1. 「コントロール」 > 「予約」の順にタッチします。
2. 予約を設定したい場所を選択してください。
 - 現在地 GPS 座標に基づく車両の現在地。
注: 現在地の予約を作成するにはパーキング状態である必要があります。
 - 自宅/職場: 自宅および職場の保存された場所。自宅や職場がない場合は、これらのオプションを選択することはできません ([自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 163](#) を参照)。
3. 「プレコンディショニング」をタッチして、車両にプレコンディショニングを適用する時間と頻度を設定します。
4. 「充電」をタッチして、開始時間、終了時間、および充電の頻度を設定します。
5. 「作成」を選択して予約を作成します。

注: 「毎週繰り返す」がトグルされていない場合、Model Y は一度だけ予約を実行します。その後、手動で予約を再度有効にするまで、車両は予約を無効にします。

予約充電の使用

予約充電を作成または有効にすると、充電のために車両にプラグを差し込むことができます。当日の遅い時間にプレコンディショニングや充電を予約した場合、Model Y はその時間までプレコンディショニングや充電を待機します。

予約が重なる場合、必要に応じて車両は充電に最も長い時間帯を使用します。例: 午前 2 時と午前 3 時に充電を開始し、午前 2 時 30 分と午前 5 時に充電を停止するように Model Y を予約すると、車両は午前 2 時から午前 5 時までの 2 つの予約充電を 1 つの時間帯にまとめます。

指定された「**終了時刻**」はあるが、**開始時刻**は指定されていない場合、車両は予約された充電の際にプラグを差し込むときに一時的に電力を引き、必要な開始時刻を計算します (クリック音が聞こえる場合があります)。例: 「**終了時刻**」を午前 2 時に設定し、車両が充電制限を満たすには 2 時間の充電が必要です。

午後 9 時に車のプラグを差し込むと、Model Y は開始時間を計算するために短時間電力を消費し、午前 12 時に充電を開始します。

「**開始時刻**」を指定し、「**終了時刻**」を指定しない場合、車両は指定された時刻に充電を開始し、充電の上限に達するまで続きます。

「**予約充電**」がすぐに開始される場合もあります。これらのシナリオは、Model Y がプラグインされているときに発生する可能性があります。

- 予約充電の最中。
- 「**終了時刻**」が指定されていない場合は、予定充電開始後最大 6 時間まで。
- 次の予約充電が 18 時間以上先であり、当日でない場合。
- 「**開始時刻**」を設定しておらず、「**終了時刻**」までに充電制限に達する時間が足りない場合。

注: Model Y 予約充電の**終了時刻**から 6 時間以内に車両にプラグを差し込んだ場合、次の予定充電がない限り、充電は自動的に開始されません。

オフピーク料金が適用されない市場地域でも、出発予定時刻に充電が完了するように予約を組むことで、エネルギーコストを削減することができます。たとえば、プラグを差し込んですぐに充電が開始されると、充電が完了するまでの時間が大幅に短縮される可能性があります。その場合、出発時間までに「バッテリー」が周囲の温度まで冷却されるため、今度は、バッテリーを暖めるエネルギーが必要になります。したがって、オフピーク料金が適用されない場合でも、Tesla では、出発予定時刻を予約する「**終了時刻**」として指定することにより、エネルギー消費量を削減するため、予定の出発時刻まで充電することを推奨しています。

プレコンディショニング

「**プレコンディショニング**」を使用して、Model Y を運転可能にする時間を予約します。Model Y はプレコンディショニングをいつ開始する必要があるかを自動的に計算します。こうすることで、出発時刻までに確実にキャビンの空調とバッテリーをプレコンディショニングすることができます。

設定した出発時刻には、「**プレコンディショニング**」でバッテリーは暖められてパフォーマンスが向上し、車内の空調は快適に整えられます。「**プレコンディショニング**」を予約しない場合、Model Y はバッテリーが冷えすぎて充電できない場合に充電前にバッテリーを暖めるだけで、車内環境を整えることはありません。

注: Model Y のプラグが差し込まれていない場合、バッテリーの充電レベルが 20%を超えている場合に限りプレコンディショニングが作動します。

プレコンディショニングは、次回運転するときの航続距離を延ばすのにも役立ちます。プレコンディショニングされたキャビンとバッテリーは、運転開始時に消費するエネルギーが少なくなります。プレコンディショニングにより、ヒートポンプを備えた車両では、運転中にバッテリーの熱を利用してキャビンを暖めることができるため、エネルギー消費を削減できます。



電力消費量に影響する要因

走行中:

- 増加した走行速度。
- 環境条件（低温、高温、風など）
- 空調による車内温度調整
- 上り坂走行: 上り坂を走行するときには多くのエネルギーを必要とし、電力消費率が速くなり、航続距離の減りが早まります。その代わりに下り坂の走行では、車両の回生ブレーキにより上り坂で消費されたエネルギーの一部を回収できます（[回生ブレーキ ページ 78](#) を参照）。
- 短距離走行や交通渋滞車両の始動時、車内とバッテリーを指定の温度にするには電力を消費します。非常に短い距離を複数回走行したり、交通渋滞時に空調をオンにしたままですると平均電力消費量が大きくなる場合があります。
- 過積載
- ウィンドウが複数下りている
- ホイールおよびタイヤがメンテナンスされていない
- 設定のカスタマイズまたはサードパーティーのアクセサリ（ルーフ、トランク内のラック、ホイール）

充電器に接続せずに駐車中

- キャビンをプレコンディショニングするまたは空調を使用する。
- サモン
- 車載インフォテインメントと空調システム
- セントリーモード
- Tesla またはサードパーティーのモバイル アプリのリクエスト

航続距離を最大限に伸ばすためのヒント

ガソリンエンジン車で行うような省エネ運転で、航続距離を最大限に伸ばすことができます。航続距離を最大限に伸ばすために:

- 運転速度を落とし、急激、頻繁な加速を避けてください。加速とスピードの制御を支援するために、「コンフォート」モード（「コントロール」 > 「ダイナミクス」 > 「加速」にタッチ）およびスピードアシスト（[スピードアシスト ページ 141](#) 参照）の使用を検討してください。
- 安全な場合は、ブレーキペダルを使用する代わりにアクセルペダルを調整して速度をゆっくり下げます。アクセルペダルを踏まずに Model Y を走行させると、回生ブレーキが車両を減速させ、余剰エネルギーをバッテリーに戻します（[回生ブレーキ ページ 78](#) を参照）。
- ヒーターやエアコンなどの電装品の使用を控えます。車内を空調で暖房するより、シートヒーターおよびハンドルヒーター（搭載車の場合）を利用して温めるほうが効率的です。

- 運転する前に、車両を充電接続したままの状態、モバイルアプリから「空調」 > 「空調をオン」の順にタッチして、優先設定をカスタマイズし、車両のプレコンディショニングを実行することで、車内を快適な温度にして、必要に応じてウィンドウの霜取りを行います（[モバイルアプリ ページ 55](#) を参照）。
- 「予約」（充電画面と空調画面でもアクセス可能）をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 182](#) を参照）。
- ストップモードを「ホールド」に設定して、低速走行時の回生ブレーキの効果を上げます（[ストップモード ページ 79](#) 参照）。
- ホイールは仕様どおりのものを使用し、タイヤには所定の空気圧（[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 189](#) 参照）で充填したうえで必要に応じて、タイヤ位置を交換するようにします（[メンテナンスサービスの間隔 ページ 187](#) 参照）。
- エアロカバーを装着（搭載車の場合）して、風力抵抗を低減します（[エアロカバーの取り外しと取り付け ページ 191](#) 参照）。
- 不要な荷物は車両から降ろして、積載量を減らします。
- すべての窓を完全に上げます。
- セントリーモードやキャビン過熱保護などの機能は航続距離に影響します。不要な機能は無効にしてください。
- 車両の待機中にエネルギー消費が過剰にならないよう、使用していないときには車両を充電器に接続してください。

レベルオフする前の最初の数か月間に、予測航続距離がわずかに減少するのは正常です。時間が経つにつれて、フル充電における航続距離が徐々に、自然に減少していく可能性があります。これはバッテリーの効率、経年劣化といった要素によります。バッテリーや航続距離の過度の劣化の原因となるハードウェア問題が万が一発生すると、Model Y がドライバーにそのことを知らせます。

タッチスクリーンのパワーメーターでは、エネルギー使用量のフィードバックを確認できます。

レンジプランナー

Model Y に表示される航続距離は、残存バッテリーエネルギーの推定量であり、EPA 評価消費量に基づいています。ドライバー個人の運転パターンや外的な条件には左右されません。タッチスクリーンに表示される航続距離は、実際に走行した距離に比べて減り方が速くなる場合があります。お客様の直近の電力消費量を基に予想航続距離を確認するには、電力アプリを開きグラフを表示します。

注: 定格航続距離は、米国では EPA 評価消費量に基づいており、他の地域で掲示および実行されている試験によるものとは異なります。

車両は常にエネルギーレベルと最寄りの充電ステーションを監視します。



ナビゲーション検索バーの「充電ポイント」にタッチすると、スーパーチャージャーやデスティネーションチャージングサイトなど、充電ポイントがさまざまなタイプで切り替えられます。



航続距離を最大限に伸ばす

既知の充電ステーションの範囲外に出ようとする、タッチスクリーンにメッセージが表示されて、範囲内にある充電ステーションのリストを表示するかどうかを尋ねます。充電場所をリストから選択する時、Model Y がナビゲーションの指示とターンバイターン経路リストを表示し、充電場所に到着するまでのエネルギーの残量を予想します。

トリッププランナー（販売地域で使用可能な場合）では、スーパーチャージャー経由のルート設定を行い、充電と走行にかかる時間を最低限に抑えます。有効にするには、「コントロール」>「ナビゲーション」>「トリッププランナー」の順にタッチします。

エネルギー アプリ

エネルギーアプリでは、車両の推定エネルギー使用量をリアルタイムに視覚的に表示します。



1. アプリランチャー（3つの点）にタッチして下部バーのエネルギーアプリを見つけます。
2. タッチしてエネルギーアプリを開き、いろいろなタブを選択します。エネルギーチャートの色付きの線は実際の走行時のエネルギー消費を示しており、灰色の線は予測使用量を示します。

注: 「コントロール」>「ディスプレイ」>「エネルギー表示」の順にタッチして表の値をカスタマイズできます。

- **ドライブ:** 走行中に使用されるエネルギー量を監視します。カテゴリごとのリアルタイムのエネルギー消費を追跡し、さまざまなベースライン予測に対して比較を行い、エネルギー効率の向上させ方を理解するために、ご自分のドライブに特化した航続距離に関するアドバイスを表示します。
 1. 目的地への移動中に「トリップ」を選択すると、予測に対して実際の使用量を比較します。
 2. 「定格値」を選択すると、利用可能な推定走行距離（またはエネルギー）に対して実際のエネルギーまたは航続距離の使用量を比較します。
 3. 「現在の走行」を選択して現在の走行から得られたデータを表示するか、「前回の充電以降」を選択して車両が最後に充電されて以降のデータを含めることができます。
 4. 「航続距離に関するヒント」を表示すると、バッテリー消費量に関する影響と、航続距離および効率を最大化するための提案を理解することができます。
- **パーキング:** Model Y がパーキングにシフトしている間に喪失するエネルギー量を監視します。
 1. 「前回の走行以降」または「前回の充電以降」のどちらかを選択します。
 2. 車両がパーキングにシフトしている間に消費されるアイドルエネルギー量と、エネルギー喪失を減少させるための提案を表示します。
- **消費量:** Model Y が過去 10、25、50 km（5、15、30 マイル）に消費したエネルギー量を表示します。

1. 「瞬間値」にタッチして予想航続距離を調整します。「瞬間値」では最新の数少ないデータポイントを使用して予測航続距離を見積もります。
2. 「平均値」にタッチすると過去の 5、15、または 30 マイル（10、25、または 50 km）のエネルギー消費を使用してより正確な予測航続距離を提供します。



新しいソフトウェアの読み込み

Tesla では車両のソフトウェアをワイヤレスでアップデートし、常に新機能を導入します。Tesla では、できるだけ早い時機に車両にソフトウェアのアップデートをインストールすることを推奨しています。ソフトウェアのアップデートを一番速く確実にを行うため、常に Wi-Fi をオンにし、できる限り Wi-Fi に接続したままにしておいてください。ほとんどの場合で、ソフトウェアのアップデートをダウンロードするために車両を Wi-Fi に接続する必要があります (Wi-Fi ページ 57 参照)。

新しいソフトウェアのダウンロードとインストール

新しいアップデートを受けるには、ソフトウェアをダウンロードする (Wi-Fi が必要) かインストールするという 2 つの方法があります。ダウンロードやインストールは、Tesla モバイルアプリを使用して簡単に開始できます。

ダウンロード

ソフトウェアのアップデートをダウンロードすることが可能になると、ダウンロードが自動的に開始され、タッチスクリーンの上部に緑色の矢印が表示されます。車両が Wi-Fi に接続していない場合、ダウンロードアイコンが黄色で表示されます。ソフトウェアのアップデートをダウンロードしている時も運転はできますが、Wi-Fi 接続が切れた場合、ダウンロードが中断されることがあります。ソフトウェアのアップデートが完全にダウンロードされ、インストールできる状態になると、タッチスクリーンの上部に時計アイコンが表示されます。

注: ソフトウェアのアップデートを最も速くそして確実にダウンロードするには、できる限り Wi-Fi に常時接続した状態にしてください (Wi-Fi ページ 57 を参照)。

インストール

ソフトウェアをインストールしている間は、運転することができません。プラグが差し込まれている場合、インストールが完了するまで車両は充電を停止します。インストールを開始するには、タッチスクリーンの上部にある黄色の時計アイコンにタッチします。すぐにインストールを開始する場合は「**今すぐインストール**」を、インストール開始時間を選択する場合は「**この時間に設定**」にタッチします。アップデートがインストールされる前であれば、いつでもこの時計アイコンをタッチして、スケジュールを変更できます。予約したアップデート時刻に Model Y を運転している場合、アップデートがキャンセルされますので、再予約する必要があります。「**コントロール**」 > 「**ソフトウェア**」の順に移動しても、ソフトウェアのアップデートを表示、ダウンロード、インストールすることができます。可能であれば、Wi-Fi に接続してアップデートをダウンロードしてください。

エアコンをオンのままにする、ドッグモード、キャンプモード、など、特定の機能が有効な場合、ソフトウェアのアップデートは実行されません。

注: エアコンをオンのままにする、ドッグモード、キャンプモードが有効な場合、ソフトウェアのアップデートはインストールされません (エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 153 を参照)。

注: 必要に応じて、Tesla ではセルラー接続を用いてソフトウェアアップデートを送信します。

注: 一部のソフトウェアのアップデートでは完了するまで約 30 分かかります (さらに時間のかかるものもあります)。Model Y ソフトウェアのアップデート中は、ギアをパーキングにシフトしておく必要があります。

警告: ソフトウェアのインストール中は、車両を使用しないでください。インストールの進行中は、一部の安全システムおよびドアおよび窓の開閉を含む車両機能が制限されたり無効となったりする場合があります。運転することで車両に損傷が生じる場合があります。

ソフトウェアのアップデート優先設定

Tesla では、各リリース固有の要因を考慮した上で車両にアップデートを送信する方法、時期、場所を判断しています。「**コントロール**」 > 「**ソフトウェア**」で、車両のために用意されたアップデートを受け取る時期を選択することができます。早く受け取るには「**Advanced**」を選択してください (追加リリースがあります)。他の人がインストールするまで待つ場合 (結果的にリリース数が少なく済む) は、「**標準**」を選択してください。「**Advanced**」を選択しても、早期取得プログラムに車両が登録されるわけではありません。

Tesla は、最新機能や最新の改善事項の受信を希望する方のリクエストを受けてソフトウェアのアップデートを行っているわけではありません。「**Advanced**」を選択し、常に Wi-Fi に接続 (Wi-Fi ページ 57 参照) しておくことで、早い時期に最新のソフトウェアのアップデートを受け取ることができます。

ソフトウェアのアップデートが正しく完了しなかったことを示すメッセージがタッチスクリーンに表示された場合、次のソフトウェアのアップデートまで待ってから、車両へ展開してください。

注: アップデートをインストールするまで、ソフトウェアアップデート画面が表示されたままになります。ソフトウェアのアップデートをできるだけ早くインストールしてください。ソフトウェアアップデートのインストールに失敗して危害があっても、車両の保証対象にはなりません。アップデートのインストールに失敗またはインストールを拒否した場合、一部の車両機能にアクセスできなくなり、デジタルメディアデバイスの互換性がなくなる可能性があります。

注: Tesla では、Tesla サービス内の通常の診断、修理およびメンテナンスの一環として、車両のソフトウェアをアップデートまたは再インストールすることがあります。

注: 以前のバージョンのソフトウェアにダウングレードすることはできません。

充電中

ソフトウェアアップデートの開始時に Model Y が充電中の場合、充電は中止されます。ソフトウェアアップデートが完了すると、充電が自動的に再開されます。

リリース ノートの表示

ソフトウェアアップデートが完了したら、タッチスクリーン上に表示されるリリースノートを読んで変更点や新機能について確認します。車両のソフトウェアの現行バージョンに関するリリース ノートを表示するには、「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「リリース ノート」にタッチします。

Tesla では、すべてのリリースノートをお読みいただくよう推奨しています。リリースノートには、Model Y に関する重要な安全情報や操作説明が含まれています。



定期サービス

Tesla では、Model Y の信頼性と効率を維持していただくため、以下のメンテナンス項目が車両に該当する場合には、以下の間隔で整備を受けていただくことを推奨しています。

車両の警告に関する追加情報については、[トラブルシューティングのアラート ページ 235](#) を参照してください。

- ブレーキ液の汚れ確認：4年毎（必要に応じて交換）*。
- A/C 乾燥剤袋の交換：4年ごと。
- キャビンエアフィルター交換：2年ごと。
- HEPA フィルター（x2）およびカーボンフィルター（x2）の交換3年ごと。
- ブレーキ キャリパー清掃および潤滑：毎年または 12,500 マイル（20,000km）ごと（冬季、凍結防止剤がまかれる地域の場合）。
- 6,250 マイル（10,000 km）ごと、あるいはトレッド深さの差異が 2/32 インチ（1.5 mm）以上になったときのいずれか早い方にローテーションを行います。

*けん引、山岳部から下り坂、またはパフォーマンス走行によりブレーキの使用量が多い場合で、特に車両が高温多湿の環境にあった場合は、より頻繁にブレーキ液のチェックと交換が必要になる場合があります。

注: バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。

注: 上記間隔は一般的な運転行動や状況に基づいています。運転挙動、使用状態、環境条件などのさまざまな周辺条件に応じて上記のメンテナンス事項は規定と異なる頻度で実施することが必要になる可能性があります。また、上記一覧は包括的なものではなく、フロントガラスワイパー、ブレーキパッド、低電圧バッテリーなどの消耗部品は含まれていません。

注: Tesla で認定されていない整備士によるメンテナンスまたは修理で生じた損傷、故障は保証の対象となりません。

自主メンテナンス手順および情報については、<https://www.tesla.com/support/do-it-yourself-guides> を参照してください。

整備の予約

モバイルアプリから、簡単にサービスを予約することができます。「サービス」にタッチし、必要な整備の種類を選択して、モバイルアプリの指示に従ってください。以下に示す詳細情報をできるだけ多く提供していただくと、サービスチームが懸念事項の原因を特定するのに役立ちます。

- 写真、音声あるいはビデオ録画。
- 問題が生じた日付、時刻およびタイムゾーン。
- ご利用になられている国、地域。
- 車両移動時の速度(該当する場合)。
- 環境条件(雨、雪、低温など)。
- 道路の名称と種類(該当する場合)。
- レーン標識の質(該当する場合)。

- 適用された車両設定。
- 気づいた症状。

サービスの予約についての詳細は <https://www.tesla.com/support/service-visits> をご覧ください。

毎日のチェック

- タッチスクリーン、またはモバイル アプリに表示されるバッテリーの充電レベルをチェックします。
- 各タイヤの状態と空気圧をチェックします（[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 189](#) を参照）。
- エクステリアライト、ホーン、ウインカー、ワイパー、ウォッシャーの動作をチェックします。
- タッチスクリーン上の予期せぬインジケータライトまたは車両のアラートを確認します。
- パーキング ブレーキも含め、ブレーキの動作をチェックします。

注: Model Y は回生ブレーキ（[回生ブレーキ ページ 78](#) を参照）を使用しているため、このブレーキパッドは一般的に、従来のブレーキシステムのパッドほど頻繁には使用されません。錆や腐食の蓄積を避けるために、Tesla ではブレーキペダルを頻繁に踏んで機械式ブレーキをかけ、ブレーキパッドおよびローターを乾燥させることを推奨しています。

- シートベルトの動作をチェックします（[シートベルト ページ 40](#) を参照）。
- Model Y の車体の下に通常はない液体の漏れなどがないかどうかチェックします。少量の水がたまっても（空調システムの除湿プロセスによる）、異常ではありません。
- Model Y の外周を目視して、直ちに腐食性物質（鳥の糞、樹液、タバコの灰、虫の死骸、産業放射性物質など）を取り除き、塗装へのダメージを防いでください（[洗車 ページ 196](#) を参照）。

週ベースのチェック

- 湿気が多い時期は、オートパイロットのカメラを毎週洗浄してください（[カメラのクリーニング ページ 196](#) を参照）。乾燥している時期は、1 か月ごとに洗浄してください。

毎月のチェック

- フロントガラスのウォッシャーの液位をチェックし、必要なら液を補充します（[フロントガラス ウォッシャー液を補充 ページ 200](#) を参照）。
- 空調システムが正しく動作していることを確認します（[空調を操作する ページ 151](#) を参照）。

T メンテナンスサービスの間隔

注: 車内を冷房するほか、エアコンディショナー コンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアコンディショナー コンプレッサーを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。また、使用していないときでも、Model Y がうなり音や水が循環するような音が聞こえる場合があります。これらの音が発せられるのは通常の状態です。内部の冷却システムがオンになり、低電圧バッテリーのメンテナンス、高電圧バッテリーの温度調節など、さまざまな車両の機能をサポートするときに発せられます。

定期的なチェック

必要に応じて以下のチェックを行います：

ほこりの多い場所や汚染された場所を走行すると、時間の経過とともにラジエーターが詰まることがあります。これは空気の流れや暖房/エアコンの性能に影響を与えることがあります。清掃するには、[サービスマニュアル](#)を参照してご自身で行ってください。また、モバイル アプリでサービスを予約してください。

液の定期交換

バッテリー冷却剤およびブレーキ液のレベルの点検は Tesla または専門的な自動車修理工場だけが行うようにしてください。サービスマニュアルには専門のサービス情報が記載されています。

- **バッテリー冷却剤:** ほとんどの状況下では車両寿命を延ばす目的でバッテリー冷却剤を交換する必要はありません。

注: バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。

- **ブレーキ液** ブレーキ液を補充しないでください。

ソフトウェア

ソフトウェアのアップデートは、車両コンポーネントを確実に正常作動させ、製品寿命を保つために重要です。できるだけ早い時機にソフトウェアのアップデートをインストールする必要があります。[ソフトウェア アップデート ページ 185](#) を参照してください。


Tesla では、サービス内の通常の診断、修理およびメンテナンスの一環として、車両のソフトウェアをアップデートまたは再インストールすることがあります。


高電圧安全性


お客様の Model Y は安全性を最優先して設計・製造されています。しかし、どのような高電圧システムにも負傷のリスクはつきものですので、安全のため、以下の注意事項に留意してください。

- Model Y に貼ってあるラベルの注意をお読みにになり、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。

- 高電圧システムには、ユーザーがサービス可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーはオレンジ色になっており、容易に見分けることができます。
- 衝突事故発生時は、高電圧配線、コネクタ、配線に接続された部品に一切手を触れないでください。
- 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。

 **警告:** Model Y の下で作業をする場合は、充電中でなくても、必ず事前に充電ケーブルを抜いておいてください。

 **警告:** 冷却ファンの吹き出し口を、手や衣類などでふさがないようにください。冷却ファンの中には、Model Y がパワーオフの状態でも動作するものがあります。

 **警告:** 自動車で使用される液体（バッテリーの酸、バッテリー冷却剤、ブレーキフルード、フロントガラス ウォッシャー添加剤など）の中には有毒なものがあります。これらの液を吸入または嚥下したり、傷口に接触させたりしないでください。安全のため、液体容器に表示されている説明を必ず読み、その指示に従ってください。

低電圧バッテリーの交換

一部の車両では、低電圧バッテリーをご自身で交換することができます。詳細情報および交換手順については[低電圧鉛バッテリーの交換 ページ](#) を参照してください。



タイヤ空気圧の表示

タイヤ空気圧はタッチスクリーンの車両ステータスのカードエリアで表示するか、「コントロール」>「サービス」の順にタッチして表示します。各タイヤの空気圧は、最後にタイヤ空気圧を測定した時刻と共に、Model Y を視覚化して表示されます。タッチスクリーンには車両の推奨冷却タイヤ空気圧も表示されるので、タイヤの加圧量を簡単に求めることができます。また、タイヤ空気圧を BAR と PSI のどちらを使用して表示するかを、「コントロール」>「表示」>「タイヤ空気圧」の順にタッチして選択することができます。

Tesla モバイルアプリでタイヤ空気圧を表示することもできます。

注: ビジュアライゼーションにタイヤ空気圧を表示するには、車両を短時間走行させる必要がある場合があります。

タイヤ空気圧の保守

タイヤの空気圧がタイヤに記載されている空気圧とは異なる場合でも、「タイヤと積載荷重情報」ラベルに表示される空気圧に従ってください。タイヤの荷重ラベルは、中央のドアピラー上にあり、運転席側のドアを開くと確認することができます。

トレーラーをけん引している時は、「タイヤと積載荷重情報」ラベルに印刷されたタイヤ空気圧を使用しないでください。その代り、オーナーズ マニュアルの（牽引とアクセサリ ページ 95 を参照）。



1つ以上のタイヤの空気圧が適正でない場合、タッチスクリーン上のタイヤ空気圧表示灯が警告します。

タイヤ空気圧表示灯は、空気圧の調整後もしばらくは消えませんが、タイヤを推奨空気圧にした後は、タイヤ空気圧監視システム (TPMS) を作動させた状態で、15 mph (25 km/h) を超える速度で 10 分以上運転すると、タイヤ空気圧表示灯が消灯します。

Model Y の電源を入れるたびに表示灯が 1 分間点滅する場合は、TPMS の故障が検出されています (TPMS の不具合 ページ 193 を参照)。

注: 周辺温度が低くなると、車両のタイヤ空気圧は低下します。TPMS インジケータ ライトが点灯した場合、走行前にタイヤに空気を補充してください。外気温が 10°F (6°C) 低下するとタイヤ空気圧は 1 PSI 低下します。タイヤ空気圧を適正に保つことで、タイヤを路上の穴から保護し、航続距離を延ばせます。

警告: タイヤの空気圧が足りない状態は、タイヤ温度の上昇、深刻なひび割れ、突然のトレッド剥離やパンクを引き起こすなど、タイヤの不具合の最も一般的な原因です。この結果、車両制御が予期せず失われ、けがや事故につながる危険性が高まります。低空気圧は車両の航続距離およびタイヤのトレッド寿命に悪影響を及ぼします。

警告: タイヤ空気圧低下表示灯は、通常の運転条件で、タイヤの空気圧が推奨基準値（「タイヤと積載荷重情報ラベル」に記載）を下回った場合にのみ、運転者に警告します。これは、積載荷重に基づいて、タイヤの空気圧が低い状態を警告するものではありません。

警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用して圧力をチェックしてください。現在のタイヤ空気圧でタイヤをなじませるには、タイヤを温めるため約 1 マイル (1.6 km) ほど運転すれば十分です。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

タイヤ空気圧の点検と調整

タイヤが冷えており、Model Y が 3 時間以上静止しているときに以下の手順に従ってください。

1. 運転席のセンタードアピラーにある「タイヤと積載荷重情報」ラベルでタイヤ空気圧の対象値を参照してください。
2. バルブキャップを取り外します。
3. 圧力を測定するため、正確なタイヤ空気圧ゲージをバルブにしっかりと押しつけます。
4. 必要に応じて、推奨空気圧になるよう空気を充填または抜きます。

注: バルブ中央の金属ステムを押すことによって空気を抜くことができます。

5. 精密なタイヤゲージを用いてタイヤ空気圧を再度確認します。
6. 必要に応じて、タイヤ空気圧が適正となるまで、手順 3 と手順 4 を繰り返してください。
7. 泥汚れが入るのを防ぐバルブキャップを再度装着します。バルブに損傷や漏れがないかを定期的に点検します。

タイヤの点検と保守

トレッドとサイドウォールにゆがみ（膨らみ）、異物、切り込み、または摩耗の兆候がないかを定期的に点検してください。



タイヤのお手入れとメンテナンス

警告: タイヤが損傷している、過度に摩耗している、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、Model Y を運転しないでください。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはプライ/コード構造の露出がないことを確認してください。

タイヤ摩耗

適切なトレッド溝の深さはタイヤの性能発揮に重要なものです。トレッドの深さが 4/32" (3 mm) 以下のタイヤは濡れた路面でハイドロプレーン現象を引き起こしやすいため、使用しないでください。トレッドの深さが 5/32" (4 mm) 以下のタイヤは雪道やスラッシュ状態の道で性能を発揮できないため、冬期には使用しないでください。

Model Y 納車時には、トレッドパターンにウェアインジケータが備えられたタイヤが取り付けられています。トレッドが 4/32" (3 mm) まで摩耗すると、トレッドパターンの表面にタイヤ幅にわたって連続する輪ゴムのように見えるウェアインジケータが現れます。最適な性能と安全性を保つため、Tesla ではウェアインジケータが現れる前のタイヤ交換を推奨しています。

車両のハンドリング特性を改善し、濡れた路面でのハイドロプレーニング現象を最小限に抑えるには、後輪にトレッドが最も多いタイヤを取り付けます。

ローテーション、バランス、ホイールアライメント

Tesla では、6,250 マイル (10,000 km) ごと、あるいはトレッド深さの差異が 2/32 インチ (1.5 mm) 以上になったときに、タイヤのローテーションを実施することを推奨しています。

タイヤローテーションはタイヤのメンテナンスにおいて必須です。これによりトレッド摩耗パターンを均等に維持でき、タイヤの全体的な摩耗耐性の向上、ロードノイズの削減、タイヤ寿命の最長化につながります。

前後でサイズが異なり、回転方向に指定のないタイヤを装着している車両の場合、左右でローテーションできますが、前輪と後輪のサイズが違うため、前後でローテーションすることはできません。左右でローテーションして、各タイヤの回転方向を変更すると、ショルダーの摩耗のバランスが取られることで、トレッドの寿命を延ばすことができます。

ホイールバランスが悪い（ハンドルからの振動によって気付くことがあります）と、車両の操作とタイヤの寿命に影響します。通常の使用であっても、ホイールはバランスを失うことがあります。したがって、必要に応じてバランスを調整する必要があります。

タイヤの摩耗が均一でない場合（タイヤの片側のみ摩耗）または異常なほど摩耗しすぎている場合は、ホイールアライメントを点検してください。ローテーションや交換といったタイヤの整備をする必要がある場合、タイヤの構成をリセットして（[タイヤ構成 ページ 193](#) 参照）ドライビングエクスペリエンスを向上させてください。

パンクしたタイヤ

タイヤはパンクすると、最終的には圧力を失います。タイヤ空気圧を頻繁に点検することが重要な理由はここにあります。パンクしたタイヤまたは損傷したタイヤは、できるだけ速やかに永続的修理をほどこすかまたは交換してください。

チューブレスタイヤは、物が刺さったとき、それがタイヤ内に残っていれば空気が漏れないことがあります。ただし、運転中に突然の振動や乗り心地の低下を感じた場合、またはタイヤの損傷が疑われる場合は、ただちに速度を落としてください。低速で走行し、急ブレーキや急なステアリングを避けながら、安全を確認して車両を停止します。Model Y を Tesla サービスセンターまたは最寄りのタイヤ修理センターに輸送するよう手配します。

注: 場合によっては、Tesla から購入可能なオプションのタイヤ修理キットを使用して、軽度のパンク (1/4" (6 mm) 未満) を応急修理することもできます。これにより、Model Y を Tesla または最寄りのタイヤ修理施設に低速で移動させることができます。

警告: パンクした場合、たとえタイヤの空気が抜けていなくても、そのまま修理せずに運転しないでください。パンクしたタイヤは突然空気が抜けてしまう可能性があります。

フラットスポット

Model Y を長期間動かさないと、タイヤにフラットスポットが発生することがあります。Model Y を運転すると、このフラットスポットが原因で振動が発生します。タイヤが温まるにつれて元の形状に戻り、しだいにこの振動は消えます。

駐車中にフラットスポットの発生を最小限にするには、タイヤウォールに示されている最大圧まで空気圧を入れておいてください。その後、運転する前に空気を抜いてタイヤの空気圧を推奨レベルに調整します。

タイヤの走行距離の改善

タイヤの走行距離を伸ばすには、タイヤの推奨空気圧を維持し、速度制限および推奨速度を順守し、以下の点にご注意ください。

- ・急発進または急加速を避ける。
- ・急カーブを切ることや急ブレーキをかけることを避ける。
- ・穴や障害物のある道路を避ける。
- ・駐車時に縁石にぶつからないようにする。
- ・タイヤに腐食性の高い液体が付着しないようにする。

タイヤとホイールの交換

タイヤは、紫外線、極端な高温・低温、高負荷、および環境条件によって時間とともに劣化します。タイヤは、トレッドの深さが最低深さ以上あったとしても、6年ごとまたは必要に応じてそれより前に交換することが推奨されます。



タイヤセットが摩耗した場合、4本のタイヤすべてを同時に交換してください。お客様の車両専用に設計された Tesla 認定タイヤを選んでください。ほとんどの Tesla 認定タイヤは、タイヤのサイドウォールにある「T マーク」仕様 (T0、T1、T2 など) で識別できます。Tesla 認定タイヤは電動ドライブトレインと共に使用することでパフォーマンス、安全性、信頼性および耐久性が最適化されるように設計されています。Tesla 認定交換タイヤに関する詳細については、[サービスマニュアル](#)を参照してください。

注: T マークは Tesla の規格に対応した特定のタイヤの発展を定めたものです。例えば T1 ミシュラン Primacy は T0 ミシュラン Primacy よりも新しいものですが、必ずしも T0 タイヤの他のモデルよりも多らしいものではありません。

タイヤがパンクしているなどの理由でタイヤを早期に交換する必要がある場合は、他のタイヤが新しいタイヤのトレッド深さの 2/32 インチ (1.5 mm) 以内である場合を除き、タイヤをペアで交換することをお勧めします。タイヤを交換する場合、古いタイヤと同じブランドの同じモデルにすることが重要です。常時 4 本のタイヤがすべて同じサイズの場合は、新しいタイヤをリアに装着してください。タイヤを交換した後は、必ずホイールおよびタイヤのバランス調整を行ってください。さらに詳しい指導については、タイヤ販売専門業者や取付業者にお尋ねください。タイヤを交換するまたは別のものを取り付ける場合、タイヤ構成をリセットします ([タイヤ構成 ページ 193](#) 参照)。これにより学習したタイヤ設定がリセットされ、新しいタイヤのドライビング エクスペリエンスが向上します。タイヤの交換または修理後に、タイヤの潤滑剤が完全に乾燥し、タイヤがリムに完全に吸着するまで最大で 24 時間かかることがあります。この期間は、タイヤがリムで滑らないように急加速は避けてください。

注: 交換するタイヤの本数に関わらず、性能を最大限引き出すために、車両に適合するタイヤの完全なセット使用することを推奨します。

指定された以外のタイヤを使用する場合は、タイヤにマーキングされた定格荷重および定格速度 ([タイヤのマーキングについて ページ 221](#) を参照) が、元の仕様と等しいかあるいはそれを上回っていることを確認してください。

Model Y に取り付けられている元々のホイールやタイヤの仕様については、[ホイールとタイヤ ページ 220](#) を参照してください。

ホイール交換時には、TPMS (タイヤ空気圧監視システム) センサーをリセットして、タイヤの空気圧が低すぎるときに確実に正確な警告が発信されるようにする必要があります ([タイヤ空気圧監視システムセンサーの自動リセット ページ 193](#) 参照)。

注: 冬用のコンパウンドとトレッドデザインを採用したタイヤを取り付けると、回生ブレーキの制動力が一時的に低下する可能性があります。ただし、車両は継続的に再キャリブレーションするように設計され、タイヤ交換の後、中程度のトルクで直線に加速していくと回生ブレーキ力が徐々に回復していきます。大半のドライバーは通常運転を短時間行えば回復しますが、日頃ゆっくり加速するドライバーの方の場合は、再キャリブレーションが実行されている間は多少強く加速する必要があります。場合によっては、「サービス」 > 「ホイールとタイヤ」 > 「タイヤ」の順にタップしてウィンタータイヤを選択してこのプロセスを早めます。

警告: 安全のため、元の仕様と同じタイヤおよびホイールのみを使用してください。元の仕様と一致しないタイヤは、TPMS の動作に影響を与える可能性があります。

警告: 車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォールに表記されています ([タイヤのマーキングについて ページ 221](#) を参照)。

非対称タイヤ

Model Y のタイヤの一部は非対称であり、正しいサイドウォールが外側を向くようにホイールに取り付ける必要があります。タイヤのサイドウォールには単語が示されています **OUTSIDE**。新しいタイヤを取り付ける際は、タイヤにホイールを正しく取り付けてください。



警告: タイヤにホイールが正確に取り付けられないと、ロードホールディング性能が著しく損なわれます。

エアロカバーの取り外しと取り付け

Model Y にエアロカバーが装備されている場合は、ラグナットにアクセスするためにエアロカバーを取り外す必要があります。

エアロカバーを取り外す:

1. 両手でエアロカバーを掴みます。
2. エアロカバーを手前に引いて支持クリップを外します。



エアロカバーを取り付ける:

1. エアロカバーをバルブシステムに合わせます。

T タイヤのお手入れとメンテナンス

2. カバーの中央部をしっかりと押して固定した後、次に各スポークの外周をしっかりと押し込みます。全てのスポークが固定されるまで、カバーの反対側を持つ必要があるかもしれません。
3. カバーを手で叩かず、中央部をしっかりと押し付けて固定します。
4. 最終チェックとして、各スポークを素早く引っ張り、所定の位置に固定されていることを確認します。



ジェミニ ホイールの場合、ホイール面の位置が合うまでカバー周辺を押します。キャップがカチッとハマるまで、中央にあるTeslaの「T」を押します。詳細情報については、[部品とアクセサリ ページ 203](#)を参照してください。

⚠ 注意: エアロカバーの脱落を防止するため、完全に固定されていることを確認してから、運転するようにしてください。

ラグナットカバーの取り外しと取り付け

Model Y にラグナットカバーが装備されている場合は、ラグナットにアクセスするためにラグナットカバーを取り外す必要があります。

ラグナットカバーの取り外し方:

1. ラグナットカバーの中央周辺の下側に、ラグナットカバーツール（一部の車両ではグローブボックス内に装備、またはベットの小型六角棒スパナを使用）の湾曲部分を当てます。

注: ラグナットカバーツールは、自動車部品店やオンラインショップで購入することもできます。



2. 湾曲部分の端部がTeslaの「T」から離れるようにラグナットカバーツールを回します。
3. ホイールからラグナットカバーが外れるまで、ラグナットツールをしっかりと引っ張ります。



ラグナットカバーの取り付け方:

1. ラグナットカバーの位置を合わせます。
2. ラグナットカバーを強く押して元の位置に取り付けます。

⚠ 注意: 落下を防止するため、運転する前にラグナットカバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

ホイール設定

新しいホイールを取り付けたり別のホイールに交換する場合、「コントロール」>「サービス」>「ホイール&タイヤ」>「ホイール」の順にタッチして車両のホイール設定をアップデートします。これにより、Model Y が新しいホイールを理解し、車両でより正確なステータスアップデートを行えます。ドロップダウンメニューから、Model Y に取り付ける予定の新しいホイールと合致するホイールを選択します。ホイール設定で新しいホイールを選択すると、タッチスクリーンの車両アバタに表示されるホイールも変更されます。



前後異径のホイールを取り付けている車両の場合には、フロントとリアでホイールのサイズが異なりますので留意してください。タイヤの側面に記載されているフロントのタイヤサイズとリアのタイヤサイズを見て、サイズが合致しているか異なるかを確認します。ホイールのサイズが前後で異なる場合、以前のホイールと同様に取り付け新しいホイールが前後で異なるよう十分に注意を払ってください。

注: 車両のホイール構成を変更すると航続距離予測、タイヤ空気圧警告レベル、車両の外観に影響を与えます。

⚠ 警告: ホイールを取り付けたり交換するときには、Tesla 認可のホイールのみを使用してください。Tesla で認可していないホイールを使用すると、深刻な損傷を招く恐れがあります。Tesla は、Tesla が認可していないホイールを使用して招いた損傷については責任を負いかねます。

タイヤ構成

最後のタイヤ ローテーションまたはタイヤ交換からの走行距離を表示するには、「コントロール」>「サービス」の順にタッチして「最後のタイヤサービス」の下を確認します。Model Y のタイヤをローテーションした、交換した、または入れ替えた後は、「リセット」にタッチするか、同じ画面から「ホイール & タイヤ」>「タイヤ」の順にタッチして、車両のタイヤ構成を更新します。これにより車両が学習したタイヤ設定はリセットされ、ドライビング エクスペリエンスが向上します。これにより、6,250 マイル (10,000 km) 走行してトレッドの深さが低くなったことが再び検出されるまで、車両のトレッド摩耗アラートはクリアされリセットされます。

車両が冬用タイヤを装着していることを確認してください。スタッドレスタイヤは、タイヤのサイドウォールに山/雪のアイコンが表記されています。詳細情報については、[スタッドレスタイヤ ページ 194](#) を参照してください。

注: 車両のタイヤ構成を変更すると、一時的に加速および回生ブレーキのレベルに影響が及ぶ可能性があり、タイヤローテーションまたはタイヤ交換後のみで行う必要があります。

タイヤ空気圧監視



Model Y にはタイヤ空気圧監視システムが装備されており、タイヤの空気圧が著しく不足している、または過剰である場合に、タイヤ空気圧インジケータライトを表示してドライバーに警告します。詳細については、運転席ドアピラーにある「タイヤと積載荷重情報」ラベルを参照するか、[タイヤ空気圧の保守 ページ 189](#) を参照してください。

各タイヤは、スペアタイヤ（装着されている場合）を含め、毎月冷間時に点検し、車両ブラカードまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されている、車両メーカー推奨の空気圧まで空気を入れてください。（車両のラベルまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されたサイズと異なるサイズのタイヤが取り付けられている場合は、それらのタイヤの適正空気圧を確認してください。）

追加の安全機能として、車両にはタイヤ空気圧監視システム (TPMS) が装備されており、1 本または複数のタイヤの空気圧が著しく低下すると、タイヤ空気圧低下警告灯が点灯します。したがって、タイヤ空気圧低下警告灯が点灯したら、できるだけ早く停車してタイヤを点検し、適正空気圧まで空気を入れてください。タイヤの空気圧が著しく低い状態で運転すると、タイヤが過熱しタイヤの不具合につながる可能性があります。低空気圧は、燃料の効率とタイヤのトレッド寿命に悪影響を与え、車両のハンドリングおよび停止能力にも影響を及ぼす可能性があります。

次のことにご注意ください。TPMS はタイヤの適切なメンテナンスに代わるものではありません。空気圧不足が TPMS タイヤ空気圧低下警告灯の点灯レベルに達していなくても、タイヤの空気圧を適正に保つことはドライバーの責任です。

TPMS の不具合

お客様の車両には、システムが正しく作動していないときに知らせる TPMS 故障指示灯も搭載されています。TPMS 故障指示灯は、タイヤ空気圧低下警告灯に組み込まれています。システムが故障を検出すると、指示灯が約 1 分間点滅し、その後点灯したままの状態になります。このシーケンスは、故障が存在する限りその後も車両を始動するたびに繰り返されます。

故障指示灯が点灯した場合、システムがタイヤ空気圧の低下を意図したとおりに検知したり、信号を伝えたりできない可能性があります。タイヤまたはホイールの交換などさまざまな要因によって TPMS の故障が発生し、TPMS が正しく作動しない場合があります。1 本または複数のタイヤまたはホイールを交換した後は、必ず TPMS 故障指示灯をチェックして、交換用または代替のタイヤおよびホイールで TPMS が引き続き正しく機能することを確認してください。



TPMS 故障インジケータは、タイヤ空気圧インジケータライトに組み込まれています。Model Y が TPMS に不具合を検出する場合、Model Y の電源を入れるたびにこのインジケータが 1 分間点滅します。

注: Tesla が提供するタイヤシーラントと異なるシーラントを使用してタイヤを交換または修理した後に、低タイヤ空気圧が検出された場合は、タイヤセンサーが損傷している可能性があります。

注: Tesla が承認していないアクセサリを取り付けた場合、TPMS と干渉する可能性があります。

⚠ 注意: 電源の入った USB 機器は、タイヤ空気圧監視システムと干渉する恐れがあるため、センターコンソールにあるカードリーダーの近くに置かないでください ([#unique_528 ページ](#) を参照)。

タイヤ空気圧監視システムセンサーの自動リセット

1 個または複数のホイールを交換した後（タイヤ交換は含まれません）、タイヤ空気圧警告を正確にするために TPMS センサーを再度学習します。時速 15 マイル (25 km) を超えて 2 分以上走行すると、TPMS は自動的にリセットされます。



タイヤのお手入れとメンテナンス

警告: Model Y が「タイヤと積載荷重情報」ラベルに印刷されているものとサイズが異なる市販タイヤを装着している場合、適切なタイヤの空気圧を判断するのはドライバーの責任です。適切なタイヤ圧になっていない時には公道を走行しないでください。

警告: タイヤ圧を判断して警告を出すタイヤ空気圧監視システムセンサーに任せきりにしないでください。適切なタイヤの空気圧を維持することはドライバーの責任です(タイヤ空気圧の保守 ページ 189 参照)。空気が入り過ぎたタイヤや空気が十分に入っていないタイヤでは、重大な傷害につながる制御不能状態やタイヤの損傷を招く恐れがあります。

タイヤセンサーの交換

タイヤ空気圧警告インジケーターが頻繁に表示される場合は、モバイル アプリを使用してサービス予約をし、タイヤセンサーを交換する必要があるかどうかを確認してください。Tesla 以外の修理施設でタイヤを修理または交換した場合、タイヤセンサーは Tesla がセットアップを実行するまで作動しないことがあります。

季節別タイヤ保管

タイヤのタイプを理解する

車両がもともと装着しているタイヤのタイプは車両モデルと販売地域によって異なります。車両のタイヤの性能と、夏季、オールシーズンまたは冬季の走行に適しているのかを理解することが重要です。タイヤの性能特性については、タイヤのサイドウォールにある情報を確認してください(タイヤのマーキングについて ページ 221 を参照)。

サマー タイヤおよびオールシーズン タイヤ

これらのタイヤは、ドライとウェットの道路状況で性能を最大限に発揮しますが、冬季の道路状況で十分な性能を発揮するには作られていません。オールシーズンタイヤは一年を通してほとんどの状況で十分なトラクションを発揮するように設計されていますが、氷雪条件ではウィンター タイヤほどのトラクションを発揮できない可能性があります。オールシーズンタイヤは、タイヤのサイドウォールに「ALL SEASON」および/または「M+S」(mud and snow) と表記されています。

低温時や路面に雪や氷が付着している可能性のある場所で走行する場合、Tesla はウィンター タイヤの使用を推奨します。

警告: 低温時または路面に雪や氷が付着している場合、サマー タイヤやオールシーズン タイヤは十分なトラクションを発揮しません。安全と Model Y の十分な性能を発揮するためには、適切な冬用タイヤを選択し、装着することが必要です。

スタッドレスタイヤ

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。スタッドレスタイヤを装着する際は、必ず 4 輪ひと組で同時に装着してください。スタッドレスタイヤは、全車輪で同一のサイズ、メーカー、構造およびトレッドパターンのものを使用してください。



スタッドレスタイヤは、タイヤのサイドウォールに山/雪のシンボルが表記されています。

スタッドレスタイヤを装備している場合、より大きな走行音が発生し、トレッド寿命が短くなるほか、乾いた路面ではトラクションが減少する場合があります。

注: 冬のコンパウンドとトレッドデザインを採用したタイヤを取り付けると、回生ブレーキの制動力が一時的に低下する可能性があります。しかし、お客様の車両は、短時間通常通りに運転すると、回生ブレーキを回復するよう自動的にキャリブレーションするように設計されています。

注: ウィンタータイヤを装着した場合、またはタイヤを交換した場合、「コントロール」>「サービス」>「タイヤ構成」>「タイヤ」に移動してタイヤ構成をリセットします(タイヤ構成 ページ 193 参照)。これにより学習したタイヤ設定がリセットされ、新しいタイヤのドライビングエクスペリエンスが向上します。

警告: 車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォールに表記されています(タイヤのマーキングについて ページ 221 を参照)。

低温時の運転

周囲温度が低い状況ではタイヤの性能は低下し、そのためグリップが低下して、衝撃による損傷をより受けやすくなります。パフォーマンス タイヤ(夏用)は外気温が 40°F (5°C) 以下になるとトラクションが低減するので、氷雪環境にはお勧めできません。パフォーマンス タイヤは冷えた場合一時的に固くなることがあり、タイヤが温まるまでの最初の数 mi (km) は回転ノイズが聞こえます。

タイヤチェーンの使用

Tesla では、雪道でのトラクションを高めるための次のタイヤチェーン(スノーチェーン)を試験し、認定しています。タイヤチェーンは、リアタイヤにのみ装着できます。認定済タイヤチェーンは Tesla でお買い求め頂けます。

タイヤ サイズ	推奨チェーン
19"/20"	König XG-12 Pro サイズ 252
21 インチ	König K-Summit XXL K66

注意: Model Y にエアロカバーが装備されている場合は、ラグ ナットにアクセスするためにエアロカバーを取り外す必要があります(エアロカバーの取り外しと取り付け ページ 191 を参照)。それを行わずに損傷が生じた場合は保証対象外になります。

注意: サマータイヤにはタイヤチェーンを装着しないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。


タイヤチェーンを装着する際は、タイヤチェーン製造元の取扱説明書の指示に従ってください。均一に、また可能な限りきつく装着してください。





チェーンを使用する際には、次の点にご注意ください。


- 使用前には、チェーンが緩んでいないか、またリンクに破損がないか確認してください。
- Model Y に重量物を積載しないでください（重量物の積載はタイヤとボディ間のクリアランスを減少させる可能性があります）。
- チェーンを適切に装着していない場合には、車両を運転しないでください。
- ゆっくり運転してください。時速 48 km（30 マイル）を超えないようにしてください。
- タイヤチェーンは状況が許せばただちに取り外してください。

注: タイヤチェーンの使用は一部の地域では禁止されています。タイヤチェーンを取り付ける前に当該地域の法律を確認してください。

 **注意:** 非推奨タイヤチェーンやサイズ違いのタイヤチェーンを使用すると、サスペンション、ボディ、ホイール、またはブレーキラインを損傷する可能性があります。推奨されていないタイヤチェーンの使用や不適切に装着されたタイヤチェーンによって起きた損傷は、保証の対象外です。

 **注意:** 前輪にはスノーチェーンを使用しないでください。

 **注意:** チェーン装着時にタイヤの空気圧を抜かないでください。チェーンを装着したままタイヤに空気を入れると、チェーンがきつくなり過ぎてタイヤが損傷する可能性があります。

 **注意:** チェーンがサスペンションコンポーネントやブレーキラインに触れないようにしてください。チェーンから Model Y との接触を示す異常なノイズが聞こえたら、ただちに停車して、確認してください。

外装のクリーニング

塗装への損傷を防ぐため、腐食性物質（油脂、鳥のフン、樹液、虫の死骸、タール汚れ、凍結防止剤、大気中降下物など）が付着した場合は、ただちに除去してください。Model Yの次の洗車時期まで待たないでください。必要に応じて変性アルコールを使用してコールトールや頑固な油汚れを除去し、その後ただちに水と界面活性剤を含まないマイルドな石けんでアルコールを除去してください。

エクステリアカメラに泥、水滴、障害物が付着していないようにします。これらの物質は、画像が不鮮明になったり、オートパイロットや安全機能の動作が停止したりする原因になる場合があります（[カメラのクリーニング ページ 196](#) を参照）。

Model Yの外装を洗うときは以下の手順に従ってください。

1. 洗車する前に、ホースを使用して車両に付着した汚れや砂粒を洗い流します。異物がたまりやすい場所（ホイールウェルやパネルの継ぎ目など）にたまっている泥を洗い流します。冬の間など、道路で塩が使用された場合は、車両の下、ホイールウェル、およびブレーキに付着している道路塩をすべて除去します。
2. きれいでやわらかい布、冷水、またはぬるま湯、およびを使用して Model Yを手洗します。中性の高品質自動車用洗剤。

注意: 一部のクリーナーや車両用シャンプーには、特にプラスチック製のトリムピース、エクステリアライト、カメラレンズに損傷や変色を引き起こす可能性のある化学物質が含まれています。たとえば、一部のカークリーニングフォーミュラには、外装部品を損傷させる可能性のある水酸化物または他の高アルカリ性あるいは苛性成分が含まれています。酸性製品も使用しないでください。製品の洗浄による損傷や変色は、保証の対象外です。

3. 洗車した後、洗剤が表面に残ったまま乾かないように清潔な水ですすぎます。
4. セーム革で徹底的に拭いて乾かします。必要に応じて、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。

イソプロピルアルコール ワイブ（ガラスや画面の汚れ落としに使用する物）で小さな汚れを落とします。

窓のクリーニングと手入れ

自動車のガラスクリーナーで窓ガラスとミラーをクリーニングします。ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。エクステリアガラスのクリーニングに関するベストプラクティスについては、[外装のクリーニング ページ 196](#) の指示に従ってください。

車両の窓への撥水コーティングの追加については、サイドおよびリアの窓だけに塗布して、フロントガラスには実施しないでください。さもないとオートパイロットカメラの視認性に影響を与えてしまいます。塗布の詳細については、撥水コーティング製造会社の指示に従ってください。

注: Tesla は車両への窓処理に関連する損傷については一切責任を負いません。

洗車モード

Model Yを洗車機に入れると、洗車モードによってすべてのウィンドウが閉じ、充電ポートがロックされ、ワイパー、セントリーモード、降車後オートロックおよびパーキングセンサーチャイムが無効になります。有効にするためには「コントロール」>「サービス」>「洗車モード」の順にタッチします。車両は、停止した状態にし、充電は行わないでください。

自動洗車機を使用する場合、「フリーロールを有効にする」によって車両はニュートラルになり洗車中はフリーロールが有効になり、ドライバーが運転席を離れても Model Yのパーキングブレーキがかからないようになります。有効にするためにはブレーキペダルを踏み、「フリーロールを有効にする」にタッチするか、ニュートラルにシフトします。

車速が 9 mph (15 km/h) を超えるか、タッチスクリーンで「終了」にタッチすると洗車モードは無効になります。

注意: Model Yを「洗車モード」しないと、損傷を招く恐れがあります（充電ポートやフロントガラスのワイパーなど）。洗車により生じた損傷については、保証の対象になりません。

カメラのクリーニング

明瞭な画像を維持するには、カメラのレンズをきれいに保ち、視界が遮られないようにしてください。カメラをクリーニングする方法は、車両の製造時期に基づきいくつかあります。

フリーモントおよびギガファクトリー オースチンで、およそ 2023 年 5 月下旬より前に製造された車両: 土や破片の堆積を取り除くには、スプレー ボトルを使用してカメラ レンズに水を噴射します。レンズを露出させ、手や布で擦って土や破片を拭き取るうとしないでください。破片を擦ると、レンズ表面に擦り傷がつくことがあります。

フリーモントおよびギガファクトリー オースチンで、およそ 2023 年 5 月下旬に製造された車両: 土や破片の堆積を取り除くには、カメラレンズに水を噴射し、マイクロファイバーの布で乾かしてください。カメラの洗浄は、雪、雨、みぞれなどの湿気の多い時期は毎週、乾燥している時期は 1 か月ごとに実施してください。











注意: 薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。使用すると、レンズの表面が損傷するおそれがあります。

注意: 超音波センサー（装備されている場合）またはカメラのレンズを洗浄する際にその表面を傷つけたり損傷したりする恐れのある尖った物や研磨剤を使用しないでください。

外装のクリーニングに関する注意事項

注意: 直射日光の当たる場所では洗車しないでください。

注意: フロントガラスには水処理液を使用しないでください。水処理液を使用すると、ワイパーとフロントガラスとの摩擦によってびびり音が発生することがあります。

-  **注意:** 温水、洗剤、または強アルカリ性または苛性アルカリ性のクリーニング製品（特に水酸化物を含むもの）を使用しないでください。
-  **注意:** 高压洗浄機を使用する場合は、ノズルを Model Y の表面から 12" (30 cm) 以上離してください。パーキングセンサー（装備されている場合）に直接水流を向けしないでください。ノズルを動かし続け、水流を一箇所に集中させないでください。
-  **注意:** ホースの水をウィンドウシール、ドアシール、フードシールに直接当てたり、電気モジュールまたは露出しているケーブル部分に当てたりしないでください。
-  **注意:** 保証範囲に含まれない腐食による損傷を防ぐために、車両の下側、ホイールウェル、およびブレーキに付着した道路塩をすすぎ流してください。洗車した後は、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。
-  **注意:** 洗浄ミットなどの毛羽だった布や目の粗い布を使わないでください。高品質のマイクロファイバー布を使用することを推奨します。
-  **注意:** 自動洗車機で洗車する場合は、タッチレス洗車機以外は使用しないでください。タッチレス洗車機は Model Y の表面に（ブラシなどが）一切触れないで洗車します。一部のタッチレス洗車機では、時間が経つと装飾エクステリアトリムの変色の原因になる苛性溶液を使用しています。pH 13 を超える石けん水やケミカル製品は使用しないでください。わからないときは、製品ラベルを確認するか、洗車場のスタッフにおたずねください。不適切な洗車方法で生じた損傷は、保証対象になりません。
-  **注意:** 自動洗車場で洗車する場合は、車両がロックされていることを確認してください。さらに、車両の洗車中にドアやトランクが偶発的に開かないように、タッチスクリーンの各コントロールの使用は控えます。何らかの損傷が発生しても、保証対象外となります。
-  **注意:** ワイパーの損傷を避けるために、Model Y を洗車する前に必ずワイパーをオフにしてください。
-  **注意:** 化学物質系のホイールクリーナーやプレウォッシュ製品は使用しないでください。ホイールの表面が損傷することがあります。
-  **警告:** Model Y を充電している間、充電ポートに高速で液体を絶対にかけないでください（高压洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

内装のクリーニング

内装の美しさを保ち、早期の摩耗を防止するために、頻繁に内装を点検し、クリーニングしてください。可能であれば、こぼれた物をただちに拭き取り、シミを取ってください。全般的なクリーニングでは、ぬるま湯にマイルドな非界面活性剤クリーナーを混ぜた液体で湿らせた柔らかい布（マイクロファイバーなど）を使用して内装の表面を拭き取ります（クリーナーを使用する前に、内装の目に見えない部分でクリーナーを試してください）。拭き跡が残らないように、糸くずの出ないやわらかい布でただちに水分を拭き取ります。

内側のガラス

ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。鏡の反射面やリアウインドウの発熱体が損傷することがあります。

エアバッグ

エアバッグカバーに洗剤などの物質が入り込まないように注意してください。エアバッグの動作に支障をきたすおそれがあります。

ダッシュボードとプラスチックの表面

ダッシュボードの上面を磨かないでください。表面を磨くと光が反射し、運転時の視界を妨げるおそれがあります。

室内灯

注: 本 Tesla 保証は、このオーナーズマニュアルで推奨されていない洗浄剤や工具の使用などの不適切なメンテナンスによって生じた損傷には適用されません。

室内照明には石けんや化学洗浄剤を使用しないでください。一般用の洗浄剤や物質は、照明のレンズや部品を劣化させ、時間の経過とともにひび割れや損傷を引き起こす可能性があります。Tesla では、室内照明のクリーニングには、ぬるま湯で湿らせた柔らかい布を使用し、汚れた部分やシミを優しく拭き取ることを推奨しています。室内照明には以下の照明が含まれますが、これらに限定されません（装備されている場合）:

- 足元スペース
- パドル
- 予測
- ドームライト
- アンビエント

石けんやマイルドな非界面活性剤クリーナーでインテリアをクリーニングする場合、まずすべての照明を以下のような何らかの手段で保護することを Tesla では推奨しています:

- 布。
- マスキングテープ。
- プラスチックフィルム。
- 車両インテリア用保護カバー。

シート

注: 本 Tesla 保証は、このオーナーズマニュアルで推奨されていない洗浄剤や工具の使用などの不適切なメンテナンスによって生じた損傷には適用されません。

お客様の車両のシートは、レザーよりも柔らかく、耐久性に優れ、汚れに強い、特別な持続可能なヴィーガンレザーで作られています。Tesla では、性能と新車同様の外観を維持するために、車内の定期的な清掃と掃除機がけを推奨しています。万能クリーニングキットを [Tesla ショップ](#) で販売しています。

一部の化粧品を含む刺激の強い薬品が触れることのないようにしてください。このような物質は、時間の経過とともに損傷、劣化、変色を引き起こす可能性があります。

一般的な汚れやシミは、内装の表面からできるだけ早くこぼした液体や化学物質の残留物を拭き取ってください。柔らかい布（できればマイクロファイバー）をぬるま湯と中性石鹸で湿らせ、円を描くようにやさしく汚れを拭き取ります。その後、糸くずの出ない柔らかい布で水分を拭き取ります。ドライヤーで乾かささないでください。石鹸以上のものは、刺激が強すぎる場合があります。他のクリーニング溶液、消毒剤、コンディショナー、保護剤の使用は推奨されません。

白色のシートの場合：最後の手段として、柔らかい布（マイクロファイバーなど）にぬるま湯とイソプロピルアルコールを含ませ、円を描くようにやさしく汚れを拭き取ります（黒色のシートにはこの方法を使用しないでください）。イソプロピルアルコールが残っている場合は、湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。イソプロピルアルコールを過度に使用したり、長時間使用したりすると、素材の上塗りを傷め、汚れやすくなり、また保証を受けることができなくなります。

注意: アルコール、漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）、柑橘類、ナフサ、シリコン系の添加物を含む製品は使用しないでください。シートに直接スプレーをかけないでください。シートベルト機構に水が入らないようにしてください。

さまざまな衣服、アクセサリー、化粧品には染料や油分が含まれている場合があります。時間が経つとシートに移染することがあります。このようなシミを防ぐのは難しく、損傷を与えることなくシミを取り除くことが不可能な場合もあります。

注意: Tesla 純正品ではない市販のシートカバーは使用しないでください。シートカバーはシートの汚れや損傷の原因となり、シートの乗員センサーの感度に影響を及ぼしたり、エアバッグの展開を制限したりするおそれがあります。

カーペット

カーペットを濡らしすぎないように注意してください。汚れがひどい部分には希釈した布製家具クリーナーを使用します。

シートベルト

ベルトを引き出して拭き取ります。種類のいかに関わらず、洗剤や化学洗剤は使用しないでください。可能であれば直射日光を避けて、ベルトを引き出したまま自然乾燥させます。

ドアシール

湿らせた布でドアシールを拭いて汚れを取り除いてください。ドアシールに汚れがたまると、周囲の面に接触したときに損傷の原因になるおそれがあります。アルコール系の拭き取り剤や化学製品はドアシールのコーティングを劣化させるおそれがあるので使用を避けてください。

タッチスクリーン

モニターやスクリーンのクリーニング用として市販されている糸くずの出ないやわらかい布を使用し、タッチスクリーンを清掃します。クリーナー（ガラスクリーナーなど）やアルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）を使用しないでください。濡れた雑巾や静電気を帯びた乾いた布（洗ったばかりのマイクロファイバーなど）を使用しないでください。フロントタッチスクリーンを清掃するときは、ボタンを動作させたり設定を変えたりしないように、画面クリーニングモードに切り替えます。「コントロール」>「スクリーン」>「画面クリーニングモード」の順にタッチします。ディスプレイが暗くなり、ホコリや汚れが見やすくなります。「画面クリーニングモード」を終了するには、「長押しして終了」を長押しします。

クロームや金属の表面

研磨剤、研磨洗剤、アルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）、硬い布を使用すると、クロームや金属の仕上がりが損なわれるおそれがあります。

内装のクリーニングに関する注意事項

注意: 溶剤（アルコールを含む）、アルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）、漂白剤、柑橘系、ナフサまたはシリコン系の製品や添加剤を内装部品に使用すると、内装コンポーネントが損傷する恐れがあります。

注意: 静電気を帯びた物質はタッチスクリーンを損傷する恐れがあります。

警告: エアバッグやシートベルトの損傷に気付いたら、ただちに Tesla にご連絡ください。

警告: 水、クリーナー、布がシートベルト機構に入り込まないように注意してください。

警告: 化学洗剤は目や皮膚に付くと炎症を引き起こす可能性があります。危険です。化学洗剤の製造元が提供する説明書をよく読み、指示に従ってください。

つや出し、補修塗り、ボディの修理

ボディの外観の美しさを保つには、以下のものを含む承認済みの光沢剤で塗装面を処理します。

- 塗装をはがしたり傷つけたりしないで表面の汚れを落とすための非常にマイルドな研磨剤。
- 傷を埋めて目立たなくする充填剤。
- 塗装を自然環境から保護する被膜を形成するためのワックス。

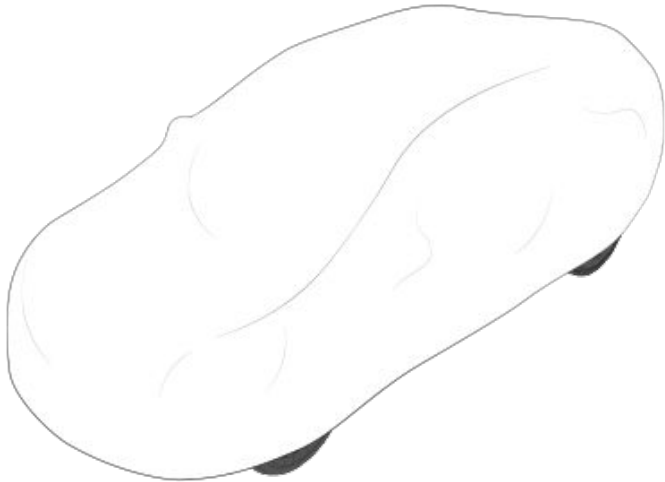
定期的を外装の塗装を点検し、損傷の有無を確認します。タッチアップペン（販売地域によっては Tesla から購入可能）を使用して小さい欠けや傷を修復します。洗車した後、つや出しやワックスがけをする前に、タッチアップペンを使用します。

石による欠け、割れ、傷を修復します。修理や利用できるサービスに関する情報は、<https://www.tesla.com/support/body-shop-support> をご参照ください。

- 注意:** カットリング ペースト、色補修剤、粗い研磨剤が含まれた光沢剤は使用しないでください。表面が傷つき、塗装が恒久的に損傷するおそれがあります。
- 注意:** クローム光沢剤やその他の研磨剤入りクリーナーは使用しないでください。

自動車用カバーの使用

Model Y を使用していない間、車体の外観の美しさを保つために、Tesla 正規品の自動車用カバーを使用してください。自動車用カバーは Tesla ショップから購入できます。



- 注意:** Model Y に充電ケーブルを接続しているときは Tesla 承認済みの自動車用カバーのみを使用してください。Tesla 以外の自動車用カバーを使用すると、充電中にバッテリーを適切に冷却できないおそれがあります。

フロアマット

カーペットを長持ちさせ、簡単に洗えるようにするためには、<http://www.tesla.com> でオンライン購入可能な Tesla 純正フロアマットを使用してください。フロアマットは定期的にクリーニングし、正しく取り付けられていることを確認してください。摩耗のひどいフロアマットは交換してください。

- 警告:** マットがフットペダルに干渉しないように、運転席のフロアマットがしっかりと固定されていることを確認してください。フロアマットの上に別のフロアマットを絶対に置かないでください。フロアマットは必ず車両のカーペット用の表面に敷き、別のフロアマットやその他のカバーの上に重ねないでください。



フロントガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液

フロントガラス ウォッシャー液を補充

お客様ご自身でフルードを補充できるリザーバーは、フロントトランク奥にあるウォッシャー液リザーバのみです。レベルが低下すると、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。

ウォッシャー液の補充：

1. フードを開きます。
2. リザーバにゴミが入らないように、キャップを開ける前にフィルターキャップ周辺を掃除します。
3. フィラーキャップを開けます。
4. 液体がフィルターネックのちょうど下に見えるまで、こぼさないようにリザーバーを満たします。リザーバーの容量は 4.5 リットルです。



5. こぼれたらすぐに拭き取り、こぼれた箇所を水で洗ってください。
6. フィラーキャップを再び取り付けます。

注: 国や地方によっては、揮発性有機化合物 (VOC) の使用が制限されています。VOC はウォッシャー液の不凍剤としてよく使われます。Model Y がさらされるあらゆる気候でウォッシャー液が適切な耐凍性を持っている場合にのみ VOC の含有量が限られたウォッシャー液を使用してください。

注意: 自動車用のエタノールベースのフロントガラスウォッシャー液だけを使用してください。未処理水など他の物質を使用すると、空調システムに微生物が繁殖し、臭いや、保証の対象とならない損傷が発生する可能性があります。

注意: はっ水剤や虫洗浄剤が含まれた特殊なウォッシャー液を補充しないでください。この種のウォッシャー液は、汚れの筋、しみ、軋む音やその他の騒音の原因になることがあります。

警告: 気温が 40° F (4° C) 以下の場合、不凍剤が含まれたウォッシャー液を使用してください。寒冷地で不凍剤が入っていないウォッシャー液を使用すると、フロントガラスの視界が妨げられることがあります。

警告: フロントガラスウォッシャー液は眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液の製造業者が提供する取扱説明書をよく読みそれに従ってください。

ワイパーブレードの確認と清掃

定期的なワイパーブレードのエッジをきれいにし、ゴムにひび割れや裂け目が生じていないか、また凸凹がないか確認します。ブレードが損傷している場合は、ガラスが傷つくのを防ぐとともに視認性を上げるため、すぐにブレードを交換してください。

フロントガラスやワイパーブレードの汚れにより、ワイパーの効果下がることがあります。汚れには、氷や洗車スプレーのワックス、防虫、防水対応のウォッシャー液、鳥のフン、樹液その他の有機物質などがあります。

以下のクリーニングのガイドラインに従ってください。

- 自動車のガラスやゴムへの使用を承認されているウォッシャー液、イソプロピル (消毒用) アルコール、または研磨剤の含まれていないガラスクリーナーを使用しフロントガラスやワイパーブレードをきれいにします。不適切な製品は、損傷や汚れ、フロントガラスのざらつきを引き起こす可能性があります。
- ワイパーアームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。ワイパーアームを想定された位置以上に持ち上げないでください。

クリーニング後もワイパーの効果がない場合は、ワイパーブレードを交換してください。

注: ワイパーが有効に機能していないと、フロントガラスのカメラの視認性が低下し、オートパイロット機能の性能低下や利用不可につながる可能性があります。詳細については、[カメラページ 18](#)を確認して、[オートパイロット制限と警告 ページ 130](#)を参照してください。

ワイパーブレードの交換

最良の性能を発揮するには、ワイパーブレードを少なくとも 1 年に 1 回交換してください。交換ブレードは次の基準に適合している必要があります。

- 運転席側のブレードは長さ 26 インチ (650 mm)、助手席側は長さ 20 インチ (500 mm) である必要があります。
- 交換ブレードのコネクターが元々のブレードと同じであることを確認します。コネクターが異なると、交換ブレードを車両のワイパーアームに接続することができない可能性があります。

Tesla ショップから交換用のワイパーブレードを購入することができます。

注: 必ず、元のブレードと同じ交換用ブレードを取り付けてください。不適切なブレードを使用すると、ワイパーシステムおよびフロントガラスが損傷するおそれがあります。

ワイパーブレードを交換する手順は、次のとおりです。

1. パーキングにギアを入れてワイパーをオフにします。
2. 「コントロール」 > 「サービス」 > 「ワイパー サービス モード」の順にタッチして、ワイパーを交換できる位置まで動かします。

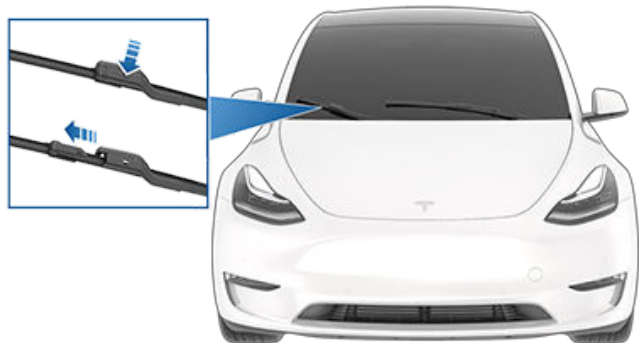
フロントガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液



3. ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。

! **注意:** ワイパー ブレードは持ち上がった状態ではロックされません。ワイパー アームを想定された位置以上に持ち上げないでください。

4. フロントガラスに傷やひびが生じるのを防ぐため、ワイパーアームとフロントガラスの間にタオルを挟みます。
5. アームにブレードをスライドさせるときは、ワイパーアームを持ち、ロッキングタブを押します。



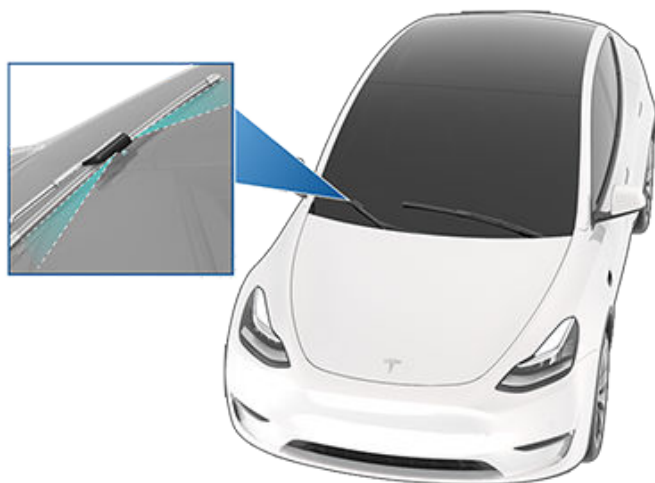
6. 新しいブレードをワイパー アームに揃え、固定されるまでアームのフック端側に向かって滑らせます。

! **注意:** 新しいブレードが所定の位置にロックされ、動かないことを確認します。押したり引いたりして確認します。ロックされていないと（ロックされると「カチッ」と音がして感触があります）、使用中にワイパーブレードが外れて重大な損傷につながるおそれがあります。

7. 「ワイパー サービス モード」をオフにして、ワイパーを通常的位置に戻します。

ウォッシャー液噴出口を清掃する

フロントガラス ウォッシャー液が噴射されない場合は、細いワイヤーでノズル内のつまりを取り除いてください。



! **警告:** Model Y の清掃中はウォッシャーを操作しないでください。フロントガラス ウォッシャー液が眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液メーカーからの説明書を読み、それに従ってください。

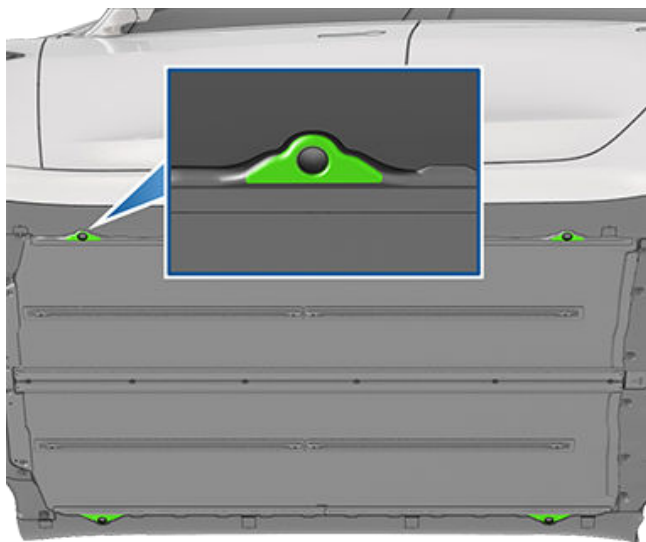
ジャッキ アップと引き上げ

以下の手順に従って Model Y をジャッキアップします。Tesla 以外の修理施設で行う場合は、リフト ポイントおよび警告を含め、これらの指示が理解されていることを確認してください。

1. Model Y をリフト ポストの間に置きます。
2. リフトのアーム パッドを図に示す指定されたボディ リフトポイントの下側に当ててください。

警告: リフトアームパッドをバッテリーの下側やサイドレールの下に配置しないでください。

注: 以下の図は概念をより良く理解するためのものです。リフトポイントの正確な位置はわずかに異なる可能性があります。車両自体でリフトポイントの正確な位置を確認してください。



3. リフトのアームパッドの高さと位置を適切に調整します。
4. 助手に手伝ってもらいリフトを必要な高さまで上げ、リフトアームパッドが正しい位置にとどまっていることを確認します。
5. リフトの安全ロックをかけます。リフトメーカーの説明に従ってください。

警告: 充電ケーブルを接続しているときは、たとえ充電中であっても絶対に Model Y を持ち上げないでください。

警告: 正しく支持されていない車両で作業を行わないでください。重大な損傷、負傷事故、死亡事故につながる可能性があります。

注意: 車両およびその周囲を監視することは作業者の責任です。Model Y を上げるまたは下げるときは、エリア内に何も無いこと、ならびにドア、フロントトランク、およびリフトゲートが必要に応じて損傷を防止するために閉じられていることを確認します。

注意: バッテリーまたはサイドレールの下から引き上げないでください。リフトアームパッドは専用ボディリフトポイントの下側以外には当てないでください。ここで示す位置だけが、Model Y で認定されているリフティングポイントです。これ以外のポイントで引き上げようとすると、損傷が発生する可能性があります。誤ったリフト方法で Model Y を損傷した場合は保証対象にはなりません。



部品、アクセサリ、改造

Tesla 正規品の部品/アクセサリのみをお使いください。Tesla は部品に厳しい試験を実施し、その適合性、安全性、信頼性を確認しています。これらの部品は Tesla から購入してください。Tesla では、専門的な経験を積んだプロがこれらの部品の取り付けを行い、また Tesla からは Model Y の改造について専門的なアドバイスを受けることができます。アクセサリは、Tesla ストアまたはオンライン (www.tesla.com) でご購入いただけます。

注: 車両にアクセサリを追加すると、予想航続距離や車両寸法などが影響を受ける場合があります。

注: アクセサリによってはお住いの地域で利用できない場合があります。

Model Y に Tesla 製ではない部品を使用する場合、Tesla は他の業者が製造した部品を評価することができず、したがって一切責任は負いません。

警告: 無認可の部品/アクセサリの取り付け、または無認可の改造を行うことにより、Model Y の性能やその乗員の安全が損なわれる可能性があります。無認可の部品の使用または取り付け、あるいは無認可の改造によって生じた損害は、保証の対象となりません。

警告: 無認可のアクセサリの使用または取り付け、あるいは無認可の改造があった場合の死亡、負傷、または損害について、Tesla は一切責任を負いません。

車体の修理

Model Y が衝突した場合は、必ず Tesla の純正部品で修理できるように Tesla または Tesla 認定ボディショップにご連絡ください。Tesla は、訓練、設備、仕事の質、顧客満足度などの厳しい要求水準を満たすボディショップを選定しています。

場合によっては、費用節約のため、修理業者や保険会社が正規部品以外の使用や破損した車体の中でまだ使える部品の再利用を勧めることがあります。しかし、それらの部品は品質、適合性、耐腐食性などの面で Tesla の高い基準に適合しません。また、正規部品以外の部品や再利用した部品は (それらによって生じる損害または故障とともに) 保証の対象とはなりません。

キャビンフィルターの交換

Model Y は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子などが通気口からキャビンに侵入することを防止するエアフィルターを備えています。これらのフィルターは 2 年ごとに交換してください (中国市場は毎年)。キャビンフィルターは [Tesla ショップ](#) で購入できます。

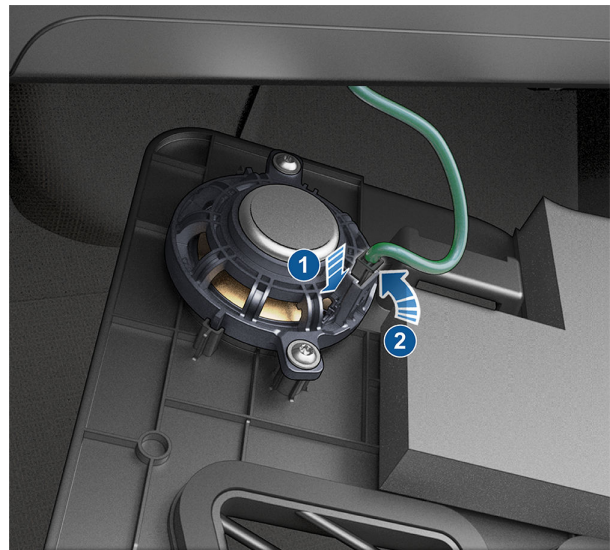
キャビンフィルターを交換するには:

1. 空調システムをオフにします。
2. フロント右側シートを完全に後方に移動し、フロアマットを取り外します。

3. クリッププライヤーを使用して、フロント右側の足元スペース カバーをインストゥルメントパネルに固定しているプッシュクリップを慎重に取り外します。足元スペース カバーを抑えながら、電気コネクタを 2 個取り外し、足元スペース カバーを横に動かします。

- ライトの場合、タブを慎重に押し下げながらコネクタを外します。
- スピーカーの場合、車両側コネクタを慎重に傾けて、フットウェル カバー側コネクタの穴から小さなタブが離れるようにしながら、コネクタを外します

注意: 損傷を防止するため、コネクタを外すときにワイヤを引っ張らないでください。コネクタを外すときは、コネクタ自体のプラスチックから確実に引き出してください。



4. トリムツールを使用して右側パネルをセンター コンソールから上から下の順で慎重に取り外します。
5. キャビンフィルター カバーを暖房、換気、およびエアコン (HVAC) モジュールに固定する 6 mm ネジを取り外したら、キャビンフィルター カバーを取り外して横に移動します。一部の車両では、6 mm ネジの代わりにタブが使用されています。人差し指と親指を使用して、キャビンフィルター カバーの底部にある 2 つのタブをつまみます。カバーを外側に倒して外します。



部品とアクセサリ



! **注意:** 保証の対象外となる損傷を防止するためには、現在の低電圧鉛バッテリーを同じタイプのバッテリーと交換します。北米車両の低電圧鉛バッテリーは **AtlasBX / Hankook 85B24LS 12V 45Ah** です。車両と互換性のある新しい低電圧鉛バッテリーは地域のサービスセンターで購入できます。

新しい低電圧バッテリーの購入や、古いバッテリーの廃棄は、Tesla サービスセンターをご利用ください。

低電圧鉛バッテリーを交換するには以下の手順を実施します。適切な個人保護具を着用します（鉛バッテリーを取り扱う場合は、安全眼鏡、皮手袋など）。

取り外し:

- 低電圧鉛バッテリーを取り外すために以下の通りに車両を準備します。
 - 車両がパーキングになっていることを確認します。
 - すべての窓を下げます。
 - フロントトランクを開きます。
 - ドアを開いたままにして、必要な場合に車両に戻ることができるようにします。
 - 充電ケーブルを充電ポートから外します。
- フロントトランクで、傷をつけることのない小さな工具または指をパネルの下に差し込んで、車両のアンダーフード エブロンを取り外します。クリップが緩むまで引っ張り、アンダーフード エブロンを脇に寄せておきます。

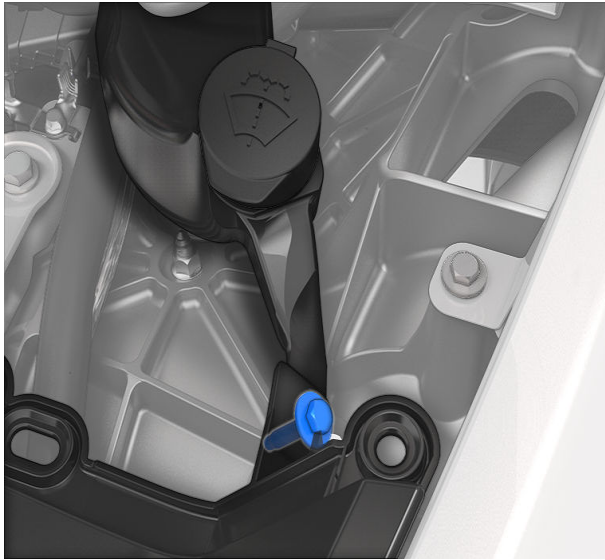


3. 装備されていれば HEPA フィルターを取り外します。
 - 10 mm のソケットを使用してウォッシャー フルードリザーバーのネックをアンダーフード ストレージ ユニットに取り付けているボルトを取り外します。

6. 上側キャビン フィルターのプルタブを外側に折りたたみます。
7. 上側キャビン フィルターのタブを持ち、上側フィルターを HVAC モジュールから引き出します。
8. 下側キャビン フィルターのタブを持ち、下側フィルターを引き上げ HVAC モジュールから取り出します。
9. 両方の新しいフィルターの矢印が車両後方に向いていることを確認して、下キャビン フィルターを HVAC フィルターに挿入したら所定位置に下げます。次に、上部キャビン フィルターをその上に挿入します。
10. キャビン フィルター カバーが挿入できるようタブを内側に曲げます。
11. 下側カバー タブをはめてキャビン フィルター カバーを取り付け、6 mm ネジで固定します。ネジを 1.2 Nm/0.89 ft-lbs で締め付けます。6 mm ネジの代わりにタブが使用されている車両の場合、キャビン フィルター カバーの上部ノッチを所定位置に移動し、HVAC モジュールの底部でタブを固定します。
12. 右側のフロント足元スペースにあるコンポーネントに電気コネクタ 2 か所を接続し、プッシュ クリップでカバーを固定し直します。
13. 右側パネルをセンター コンソールのフロントおよびリアのロケーター スロットに合わせたら、圧力を掛けてすべてのクリップをはめます。
14. 右側のフロアマットを取り付け、右側シートを元の位置に戻します。

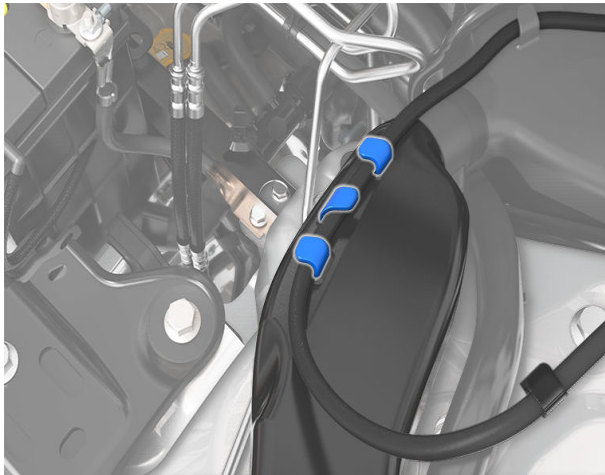
低電圧鉛バッテリーの交換

! **注意:** あなたには低電圧のバッテリーの健全性を監視する責任があります。航続距離を超えて走行したことによる低電圧バッテリーへの損害は、保証の対象外になります。

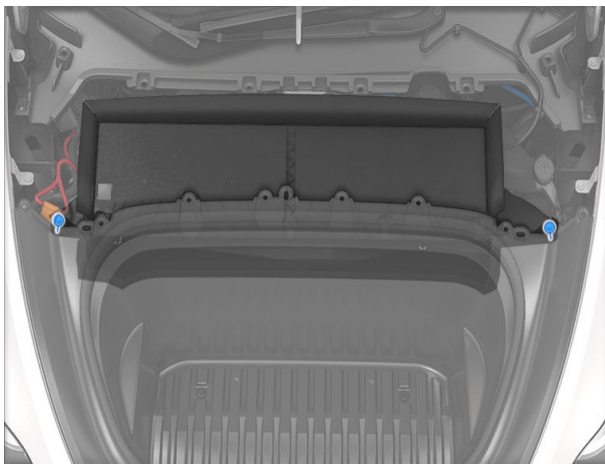


- b. ウォッシャータンクのネックを車両から取り外します。フロントガラスウォッシャーリザーバーが満杯の場合ウォッシャー液が漏れる可能性があります。

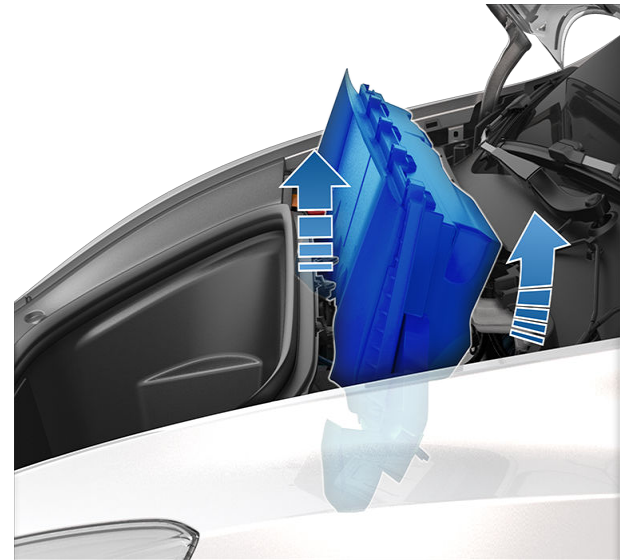
注: ホースをネックから取り外す必要はありません。



- c. 10 mm のソケットを使用して HEPA フィルター アセンブリを車両に取り付けているボルト（2 本）を取り外します。

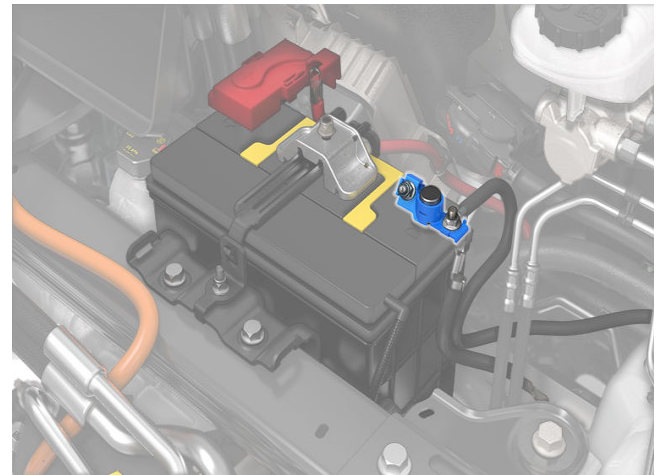


- d. HEPA フィルター アセンブリの後端をブレーキ液リザーバーの上に傾けてフィルター アセンブリを取り外します。他の構成部品にぶつかけたり、他の構成部品を損傷したりしないように気を付けながら、車両からフィルター アセンブリを持ち上げて外します。



4. タッチスクリーンで「コントロール」>「安全」>「電源オフ」の順に移動して車両の電源をオフにします。

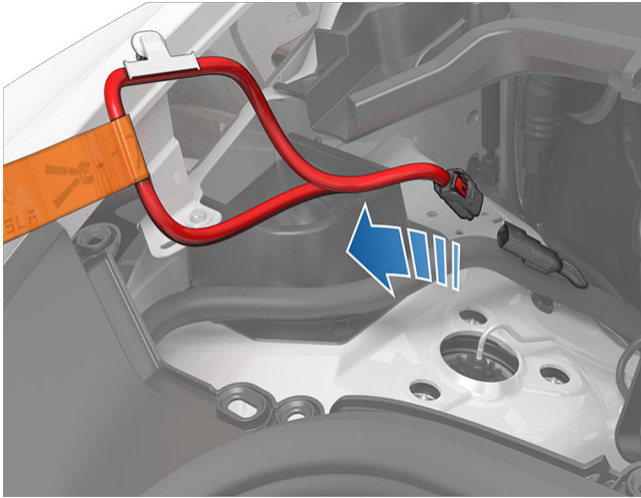
5. 10 mm ソケットを使用してマイナス端子クランプを鉛バッテリーのマイナスポストに固定しているナットを緩めます。端子クランプをマイナスポストから外します。



6. 赤色のロック タブを手前にスライドさせて黒色のタブを押すことで、高電圧遮断回路を切断します。



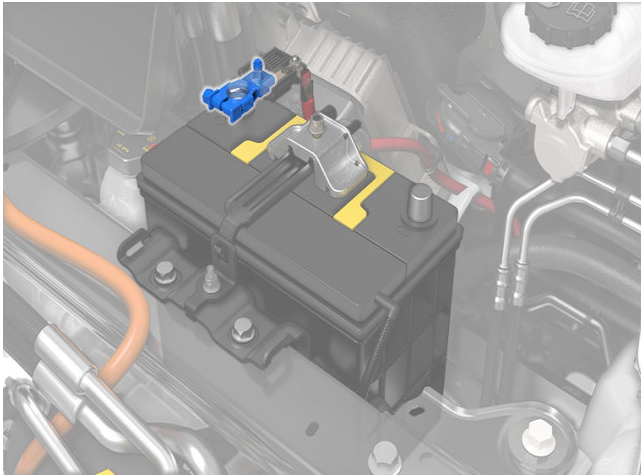
部品とアクセサリ



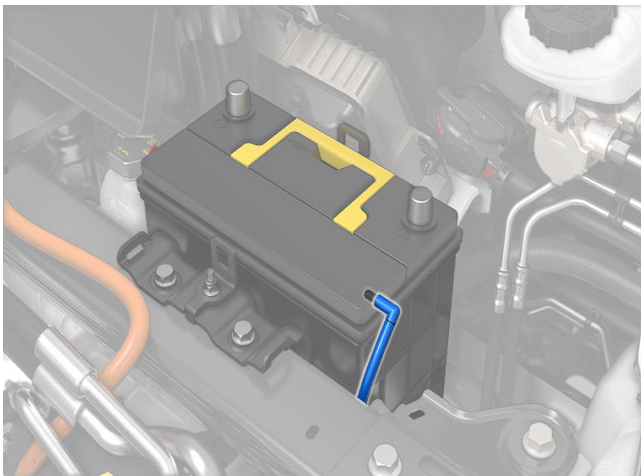
7. 10 mm ソケットを使用して端子カバーおよびプラス端子クランプを鉛バッテリーのプラス ポストに固定しているナットを緩めます。端子クランプをプラス ポストから外し、端子クランプを乾いたウェスで覆います。



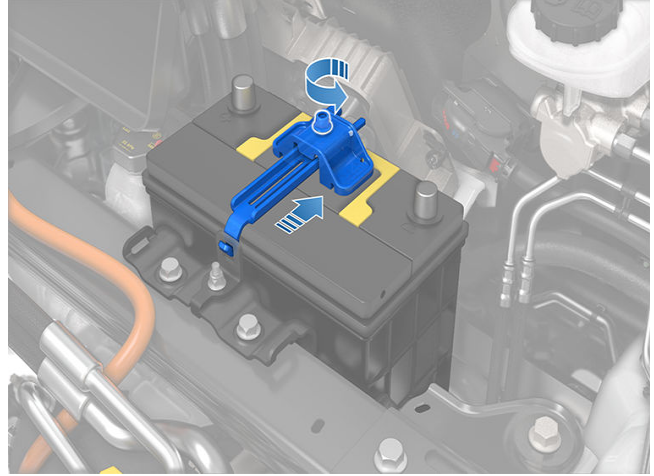
注意: プラス端子クランプを、鉛バッテリーのホルドダウンブラケットや A/C 冷却ラインといった付近の構成部品に接触させないでください。



8. 鉛バッテリーのマイナス端子側からベントチューブを外します。



9. 鉛バッテリーの上部にあるバッテリー ホールド ダウンのナットを 10 mm ソケットを使用して緩めます。バッテリー ホールド ダウンを緩めるためには、ストラップのフックを外して後方へスライドさせます。必要に応じてバッテリー ホールド ダウンを後方へ傾け、滑って車両に入らないようにします。



10. バッテリー ハンドルを使用して、周囲の構成部品に触れたり損傷を与えたりしないように注意しながら、鉛バッテリーを慎重に取り外します。



警告: 鉛バッテリーを持ち上げて外す際は、車両の前方に立って正しい持ち上げ手法を用いてください。鉛バッテリーは約 25 lb (12 kg) の重量があります。これらを怠ると、重傷を負うおそれがあります。



11. 新しい鉛バッテリーを点検して、プラス端子側のケーシングに赤色のプラグがあることを確認します。新しい鉛バッテリーに赤色のプラグがない場合、小さなトリム工具を使用して、古いバッテリーから新しいバッテリーへ赤色のプラグを移してください。

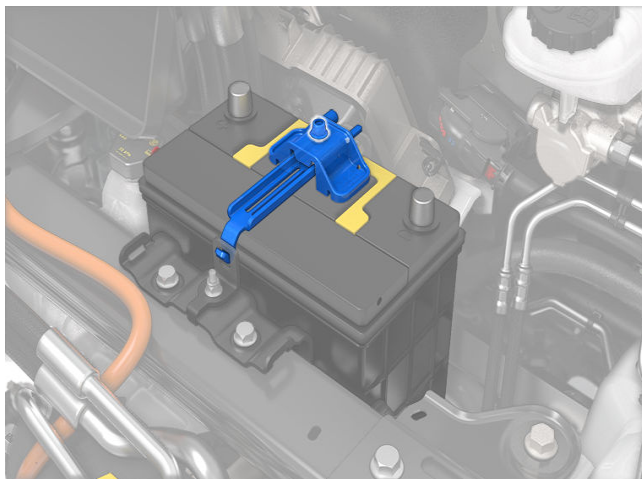


注意: 古い低電圧鉛バッテリーは、Tesla サービスセンターに持ち込むか、地域の法律に従って（バッテリーのリサイクル施設に引き渡すなど）廃棄してください。輸送の際は、低電圧バッテリーを立てた状態で維持し、タオルや段ボール紙の上に置いてください。

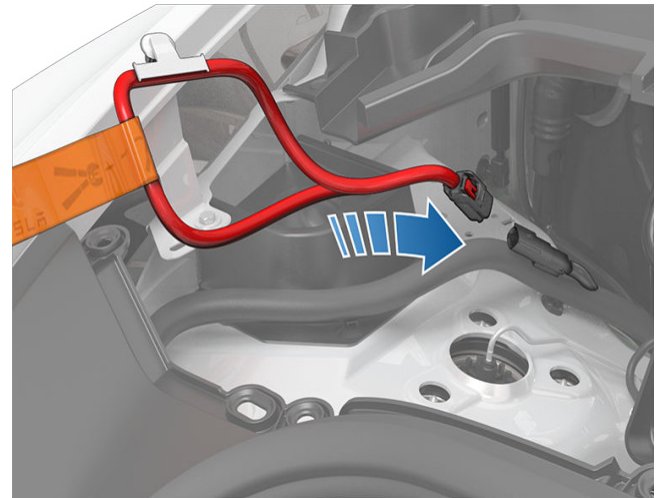


取り付け:

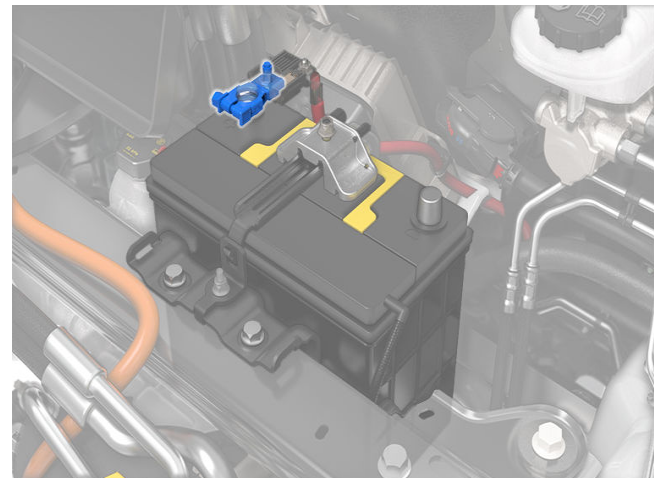
1. 付近の構成部品に触れたり、付近の構成部品を損傷させたりしないように注意しながら、新しい鉛バッテリーを所定位置に置きます。
2. 鉛バッテリー ホールド ダウンを取り付け、ホールド ダウンを 12V バッテリーに固定しているナットを 10 mm ソケットを使用して締め付けます。ナットを 6 Nm (4.4 ft-lb) のトルクで締めます。



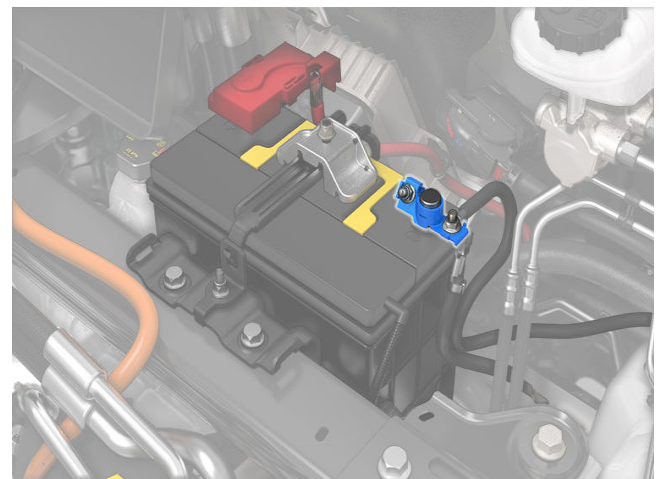
3. 高電圧遮断回路を再接続します。



4. 新しい低電圧鉛バッテリーのプラスおよびマイナス ポストから保護キャップを取り外します。
5. クランプをプラス ポストの上に配置することでプラス端子を接続します。10 mm ソケットを使用してナットを 6 Nm (4.4 ft-lb) のトルクで締めます。



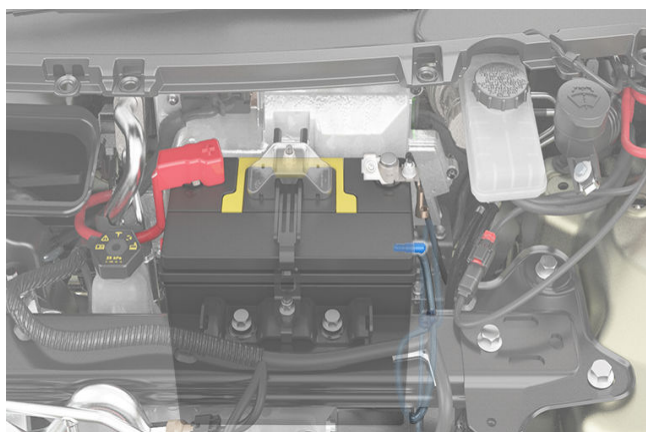
6. プラス端子カバーを取り付けます。
7. クランプをマイナス ポストの上に配置することでマイナス端子を接続します。10 mm ソケットを使用してナットを 6 Nm (4.4 ft-lb) のトルクで締めます。





部品とアクセサリ

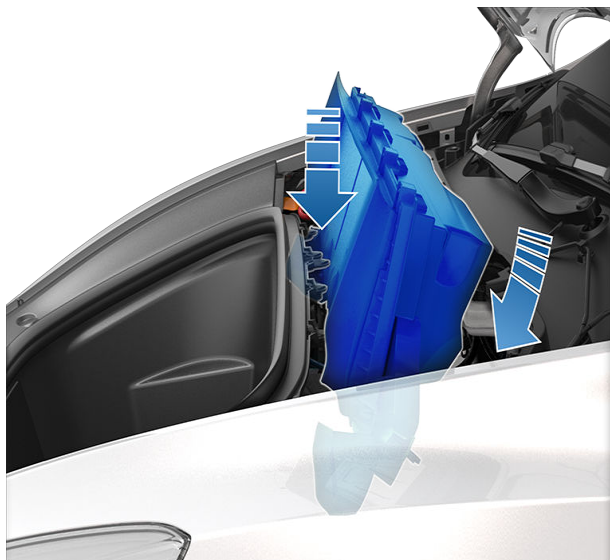
8. 鉛バッテリーのマイナス端子側にベントチューブを接続します。



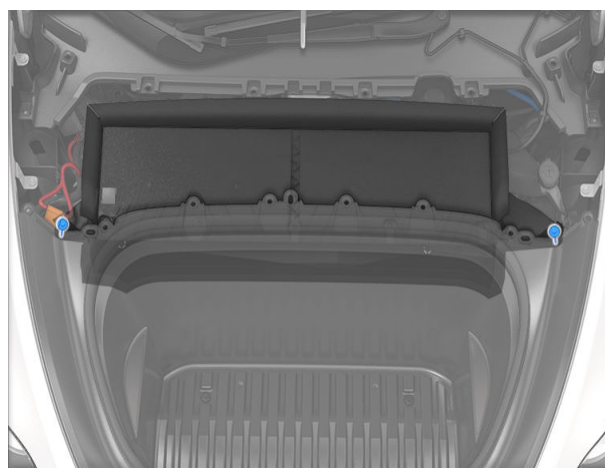
9. 1つの車両ドアを開いて、電力が正常に復旧したことおよびタッチスクリーンの電源がオンになることを確認します（数分かかることがあります）。

10. 装備されていれば HEPA フィルターを取り付けます。

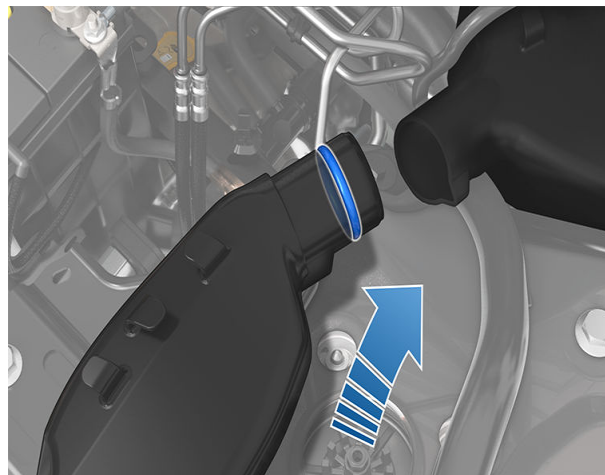
- a. 付近の構成部品に触れたり、付近の構成部品を損傷させたりしないように注意しながら、HEPA フィルターを所定位置に置きます。



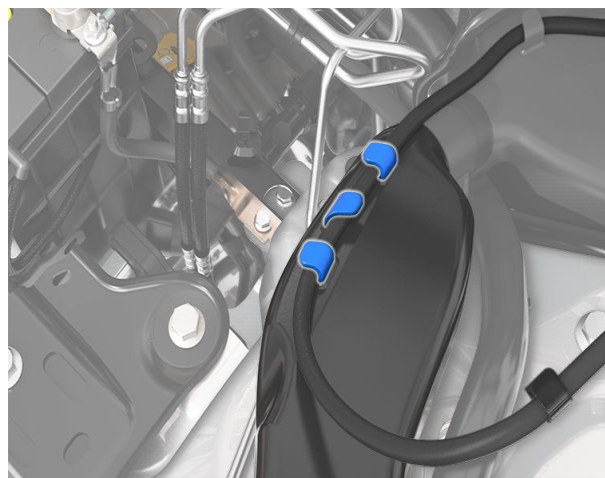
- b. 10 mm ソケットを使用してボルト（2本）を締め付け、5 Nm（3.7 ft-lb）のトルクを掛けます。



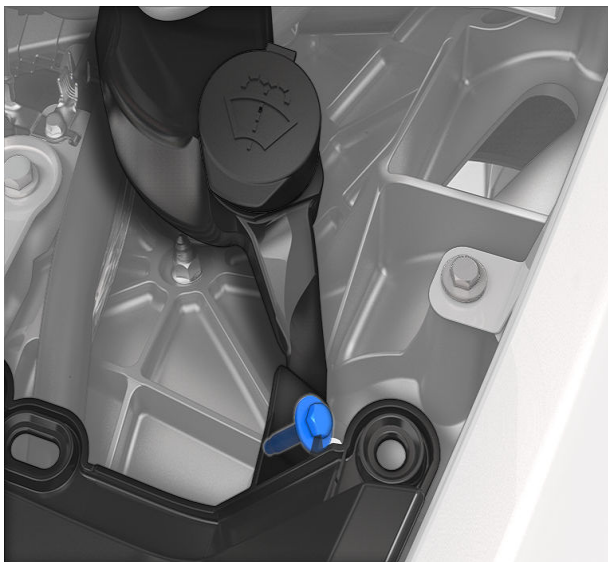
- c. ウォッシャー タンク ネックの O リングが完全に装着されていることを確認してから、ウォッシャー タンク ネックをウォッシャー タンクに挿入して取り付けます。



- d. ホースの配管は、タブにより固定されるように行ってください。



- e. 10 mm のソケットを使用してウォッシャー フルードリザーバーのネックをアンダーフード ストレージユニットに取り付けているボルトを取り付けます。ボルトを 5 Nm（3.7 ft-lb）のトルクで締めます。



11. フロントトランクの開口部にクリップを合わせて、アンダーフード エプロンを交換します。下方向に押しつけて所定位置でロックします。クリップを固定するとカチッという音がします。



12. フロントトランクを閉じます。低電圧バッテリー交換の警告が以前タッチスクリーンに表示されていた場合は、その警告が表示されないことを確認します。

RFID トランスポンダーの利用

RFID トランスポンダー（多くの自動料金所システムで使用されるもの）を Model Y の車内に取り付ける際は、図のようにリアビューミラーの横にトランスポンダーを取り付けてください。これによって、運転時の視界を妨げる要因が最小化できます。専用の配置については RFID の製造会社の指示を参照してください。

注: 防水トランスポンダーをフロント ライセンスナンバープレート。

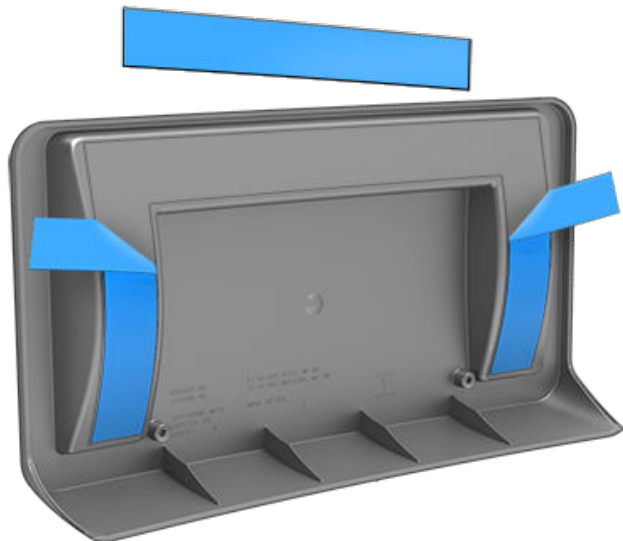
フロント ナンバープレート用ブラケットの取り付け

車両の前にナンバープレートを付ける義務のある地域に対応するため、Model Y にはナンバープレート ブラケットが取り付けられています。このブラケットは、車両のフロントバンパーの形状に合わせた形状で、強力な接着剤で取り付けられています。

注: この作業は、温暖な日にきれいで乾燥した取り付け面に行うことが推奨されます。気温が低いとき、または濡れた状態で行うと、接着剤がしっかりと接着しない場合があります。

フロント ナンバープレート用ブラケットの取り付け方法

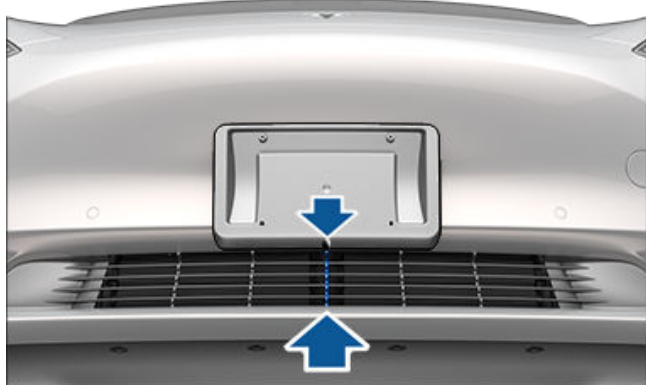
1. イソプロピルアルコールを使用し、車両の目立たない塗装面で試用し、損傷となったり塗装を落とさないことを確認してください。
2. 取り付け面をイソプロピルアルコールできれいにふき取り、最低 1 分間乾燥させます。
3. 保護テープをブラケット上部の接着面から取り去り、両側の接着面の上部から保護テープを部分的に剥がします。両側のテープの下側半分を所定の位置に置いたまま、ブラケットをバンパーに合わせた後で容易に取り外しできるように貼っていないテープ部分を外側に折ります。



4. ナンバープレート ブラケットの上部をバンパーから傾けて離し（間違った位置に貼らないように）、図で示すようナンバープレート ブラケットの下側中央をグリルの中心に合わせます。

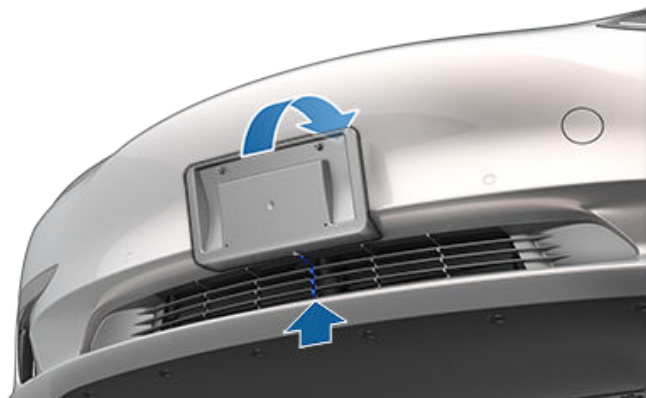


部品とアクセサリ



注: バンパーに一度接着させると位置調整はできませんので、ブラケットの位置を慎重に合わせてください。

- 正しい位置に取り付けたら、ブラケット上部をバンパー方向に動かし、所定の位置で押し付けて接着させます。



- 残りのテープをブラケットの側面から取り外し、ブラケット全体をバンパーにしっかりと押し付けて、ブラケットが接着面全体で固定されていることを確認します。
- ブラケットがしっかりと取り付けられたら、付属のネジ4本を使用してナンバープレートを取り付けます (3Nm/2.2 ft-lbs で締めます)。



ワイパー ブレードやキャビン フィルターの交換、または塗装保護フィルムの取り付けといった簡単な自分でできる作業の実施方法について学びましょう。これらの手順に関する指示、アニメーションおよび動画については、<https://www.tesla.com/support/do-it-yourself-guides> を参照してください。

注: 地域や車両の設定により、一部の部品および手順については、車両に対して使用できない場合があります。<https://www.tesla.cn/support/do-it-yourself-guides> () へ移動する際は、販売地域と/言語を選択して、販売地域で入手可能な部品およびアクセサリの最新リストを表示してください。



注意: 各手順は、乾燥した明るい場所で行ってください。安全のため、安心して操作できる場合に限って手順を実施してください。常に手順に従う必要があります。

車両識別番号

VIN は以下の場所に表示されています。

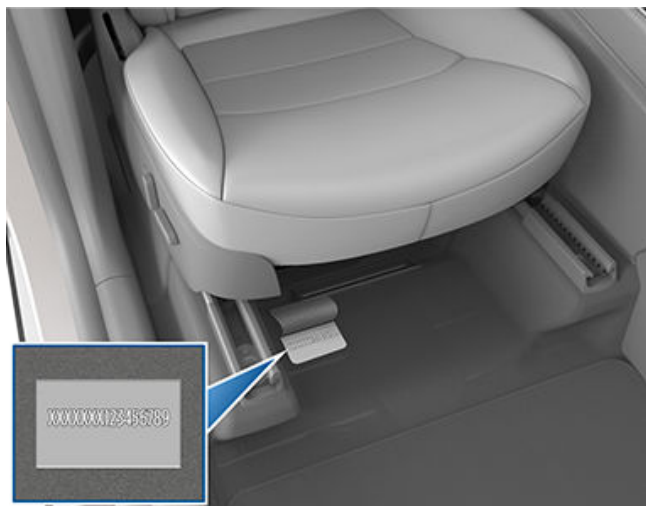
- タッチスクリーンの「コントロール」 > 「ソフトウェア」をタッチします。
- ダッシュボードの上にあるプレートに刻印。外からフロントガラス越しに見えます。



- ドアピラー上にある車両識別ラベルに印刷されています。運転席ドアを開くと見えます。



- Gigafactory 上海で製造された車両: VIN は、フロアに刻印されており、フロント右側シートを後退させてカーペットを持ち上げると確認できます。



排気コントロール ラベル

排気コントロールラベルは、リフトゲートの開口面上に貼り付けられています。

注: 2022 年式以降の車両の場合、エミッション コントロール ラベルはフロントフードの内側にあり、図示されているラベルと同じではない可能性があります。



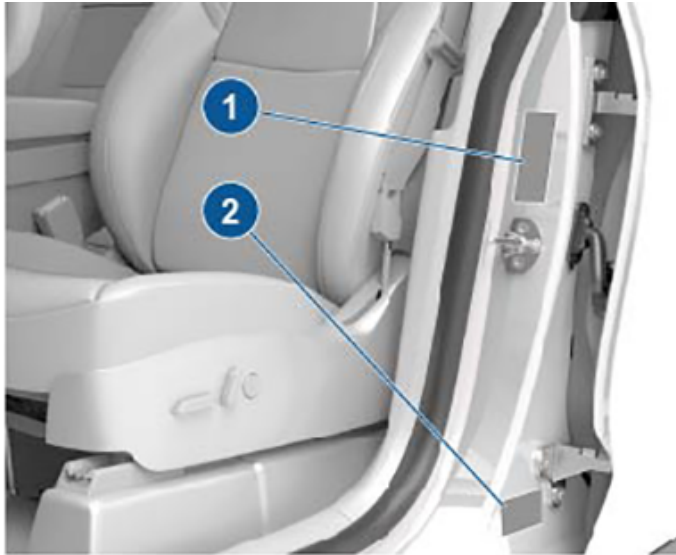


車両ラベル

車両の当初のタイヤ サイズおよび圧力ならびに GVWR（車両総重量）および（定格総軸荷重）、およびを理解することが重要です。これらの情報は Model Y に貼付されている 2 枚のラベルで確認することができます。

両方のラベルとも、前席ドアを開くと、ドアピラー上に見えます。

注: Model Y に Tesla アクセサリー ホイールまたはタイヤが装着されていると、値に差異がある可能性があることを示すラベルが Model Y に追加されている場合があります。



1. タイヤと荷重情報ラベル
2. 車両承認ラベル

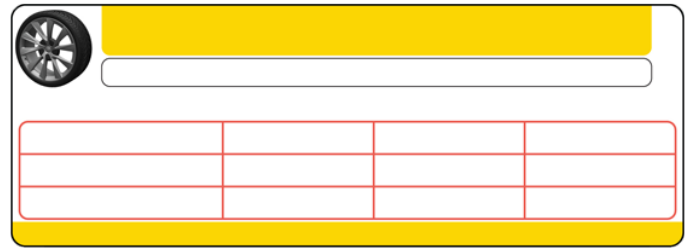
警告: Model Y が過積載状態になると、ブレーキとハンドリングに悪影響を及ぼし、安全性が低下し、車両を損傷する可能性があります。

注意: Model Y に大量の液体を絶対に保存しないでください。大量の液体の流出は、電気部品の誤動作の原因になることがあります。

タイヤと荷重情報ラベル

- 車両の最大座席数。
- 車両の最大可搬重量。
- 元のタイヤのサイズ。
- 元のフロントおよびリアタイヤのタイヤ空気圧（冷間時）。乗り心地とハンドリング特性を最適化するため、これらの圧力が推奨されます。

ラベルのフォーマット



将来異なるタイヤを使用しても、このラベルは変更しないでください。

注: Model Y の容量一杯に積載した場合は、すべてのタイヤを確認して、空気圧が推奨圧力レベルであることを確認してください。

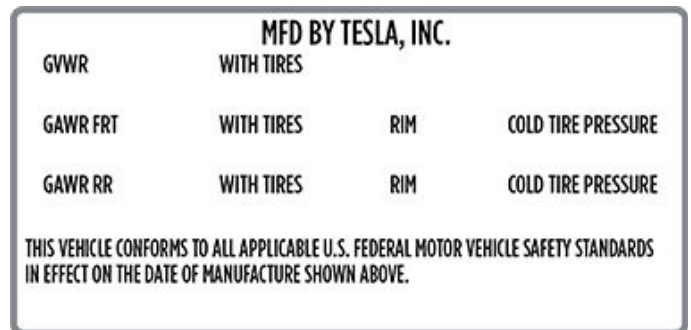
警告: タイヤと荷重情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧は、けん引時には適用しないでください。けん引時は、タイヤ空気圧を高めなければなりません。けん引時に求められるタイヤ空気圧に関する情報は、をご覧ください [牽引とアクセサリ ページ 95](#)。

車両識別ラベル

車両識別ラベルの記載事項。

- GVWR - 定格車両総重量 Model Y の最大許容総質量。この値は、工場で選択可能な総重量が最大のオプションを装備した Model Y、すべての乗員、液体、貨物の重量として計算されます。
- GAWR FRT および GAWR RR - フロントアクスルとリアアクスルの定格総軸荷重。GAWR は各アクスルが許容できる最大分散荷重です。

米国



カナダ:





車両総重量

メキシコ:



⚠ 注意: 損傷を防止するため、Model Y に対して車両が GVWR より重くなったり、個別の GAWR の重量を上回るような積載を行うことは絶対に避けてください。

ルーフ ラック

Model Y は、Tesla 専用取り付けアクセサリを使用した Tesla 認定ルーフラックに対応しています。このアクセサリおよび Tesla が認定するルーフラック システムのみを必ず使用して、ルーフラックを取り付けてください（[部品とアクセサリ ページ 203](#) を参照）。これに従わないと、重大な故障の原因になる恐れがあります。

積載制限の計算

1. 車両のプラカードで、「乗客と積載物の合計重量は絶対に XXX kg または XXX ポンドを超えないこと」という記載を見つけてください。
2. 車両に乗車する運転者と乗員の総重量を計算します。
3. XXX kg または XXX ポンドから運転者と乗員の総重量を引きます。
4. その結果得られる数字は積載物と荷物の許容可能な積載量に等しくなります。例えば、「XXX」が 1400 ポンドで、運転者と乗員合わせて 5 人が乗車し、各自の体重が 150 ポンドの場合、利用可能な積載物と荷物の積載量は 650 ポンドになります。 $(1400 - 750 (150 \times 5)) = 650$ ポンド
5. 車両に積載する荷物と積載物の総重量を求めます。この重量が、手順 4 で計算した利用可能な積載物と荷物の積載量を超えると安全性が損なわれるおそれがあります。
6. トレーラーをけん引する場合、トレーラーの荷重は車両にかかります。これにより、車両で利用可能な積載物と荷物の積載量がどのように減少するかについては、このマニュアルを参照してください。

⚠ 警告: 物品を運ぶときはなるべくトランクに入れてください。衝突事故、または急ブレーキや急なカーブの際、車内で固定されていない荷物によって、乗員が怪我を負う危険性があります。

積載制限計算の例

Model Y が運べる積載物の重量は、乗員の数と体重に応じて変わります。以下は、体重が 68 kg の人が乗車すると仮定した場合の積載量制限の計算例です。乗員の体重の増加または減少により、積み込める積載物の重量が減少または増加します。

運転者と 1 人の乗員

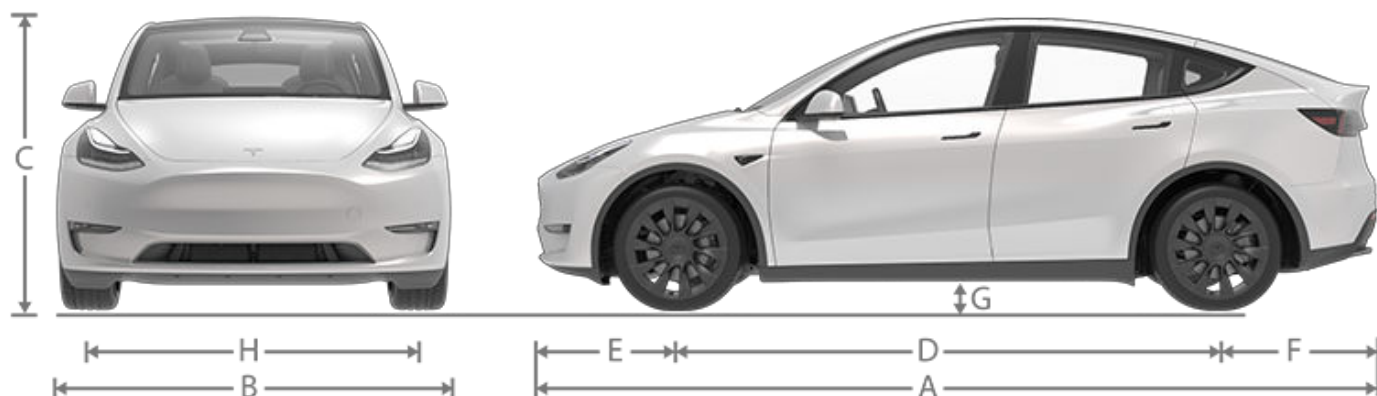
詳細	合計
車両の積載容量	433 kg (954 lbs)
乗員の体重を減算する (2 x 68 kg/150 ポンド)	136 kg (300 lbs)
利用可能な積載物重量	297 kg (654 lbs)

運転者と 4 人の乗員

詳細	合計
車両の積載容量	433 kg (954 lbs)
乗員の体重を減算する (5 x 68 kg/150 ポンド)	340 kg (750 lbs)
利用可能な積載物重量	93 kg (204 lbs)

荷物を積載する場合、重量が前後のトランクでできる限り均等に配分されるようにしてください。トランクの最大積載制限については [フロントトランク積載限度 ページ 31](#) および [リアトランク積載限度 ページ 29](#) を参照してください。

外形寸法



A	全長	187 インチ	4751 mm
B	全幅 (ミラー含む)	83.8 インチ	2129 mm
	全幅 (ミラー折りたたみ時)	77.9 インチ	1978 mm
	全幅 (ミラー含まない)	75.6 インチ	1921 mm
C	全高	64 in	1624 mm
D	ホイール ベース	113.8 インチ	2890 mm
E	オーバーハング - フロント	34.4 インチ	875 mm
F	オーバーハング - リア	38.8 インチ	986 mm
G	最低地上高 (2 名乗車時)	Performance 6.2 in Performance 以外 6.8 in	Performance 157 mm Performance 以外 172 mm
H	トラック、21 インチ以外のホイール - フロント	64.4 インチ	1636 mm
	トラック、21 インチ以外のホイール - リア	64.4 インチ	1636 mm
	トラック、21 インチのホイール - フロント	64.8 in	1646 mm
	トラック、21 インチのホイール - リア	64.2 in	1630 mm

*値は概算値です。寸法は車両のオプションやその他の要因によって変わります。

**車両のトレッドは、ホイールセンターでの測定に基づいています。



注意: 構成 (ホイール選択など) に応じて、車両のリフトゲートを最大で高さ約 7.5 フィート (2.3 m) まで開くことができます。リフトゲートを開いたときの高さを調節 ページ 28 を参照してリフトゲートの高さを調整して、低い位置にある天井やその他の物体に当たらないようにします。

インテリア寸法

室内高	フロント リア	41.0 インチ 39.4 インチ	1041 mm 1001 mm
足元スペース	フロント リア	41.8 インチ 40.5 インチ	1063 mm 1029 mm
肩周りスペース	フロント リア	56.4 インチ 54 インチ	1432 mm 1373 mm
腰周りスペース	フロント リア	53.8 インチ 50.6 インチ	1367 mm 1286 mm

Model Y (7人乗り) :

室内高	フロント 2列目 3列目	41.0 in 38.7 in 34.6 in	1041 mm 984 mm 880 mm
足元スペース	フロント 2列目 3列目	41.8 in 41.6 in 26.5 in	1063 mm 1057 mm 673 mm
肩周りスペース	フロント 2列目 3列目	56.4 インチ 54 インチ 41 インチ	1432 mm 1372 mm 1041 mm
腰周りスペース	フロント 2列目 3列目	53.8 in 50.8 in 36.5 in	1367 mm 1290 mm 928 mm

貨物量
Model Y (5人乗り) :

フロントトランク	117 L (4.1 立方フィート)
1列目の背後、2列目が折りたたまれた状態	2041 L (72.1 立方フィート)
2列目の背後、シートは折りたたまれていない状態	854 L (30.2 立方フィート)
ドライバーおよび助手席の乗客用の最大貨物積載容量	2158 L (76.2 立方フィート)
5名乗車時の最大貨物積載容量	971 L (34.3 立方フィート)

Model Y (7人乗り) :

フロントトランク	117 L (4.1 立方フィート)
----------	--------------------

1列目の背後、2列目および3列目が折りたたまれた状態	1923 L (67.9 立方フィート)
2列目の背後、3列目が折りたたまれた状態	753 L (26.6 立方フィート)
3列目背後	363 L (12.8 立方フィート)
ドライバーおよび助手席の乗客用の最大貨物積載容量	2040 L (72 立方フィート)
7名乗車時の最大貨物積載容量	480 L (17 立方フィート)

モータータイプ

リアモーター: AC 永久磁石同期モーター、水冷式、可変周波数ドライブ。

フロントモーター (AWD 車両) : AC インダクションモーター、水冷式、可変周波数ドライブ。

トランスミッション

トランスミッション	仕様
タイプ	単速固定ギア
ギヤボックス比	9:1

ステアリング

ステアリング	仕様
タイプ	ラック アンド ピニオン電動パワー ステアリング 速度感応型
ロック ツー ロック回転数	2.00
最小回転半径 (最外輪外面)	12.1 m (39.8 ft)

ブレーキ

ブレーキ	仕様
タイプ	電子制御制動力配分/統合アドバンスド スタビリティー コントロール/電子アクセラレーター ペダル作動回生ブレーキ システム付き 4 輪アンチロック ブレーキ システム (ABS)
ローター径 (ベンチレーテッド)	フロント (非パフォーマンス仕様車) 14.0"/355 mm リア (パフォーマンス仕様車) : 14.0"/355 mm フロント (非パフォーマンス仕様車) : 13.2"/335 mm リア (パフォーマンス仕様車) : 13.2"/335 mm
フロント ローター厚	新品(ノンパフォーマンス): 0.98 インチ/25 mm 新品(パフォーマンス): 0.98 インチ/25 mm サービス限界(ノンパフォーマンス): 0.91 インチ/23 mm サービス限度 (パフォーマンス) : 0.91 インチ/23 mm
リア ローター厚	新品(ノンパフォーマンス): 0.79 インチ/20 mm 新品(パフォーマンス - Mando キャリパー): 0.79 インチ/20 mm 新品(パフォーマンス - Brembo キャリパー): 0.87 インチ/22 mm サービス限界(ノンパフォーマンス): 0.71 インチ/18 mm サービス限界(パフォーマンス - Mando キャリパー): 0.71 インチ/18 mm サービス限界(パフォーマンス - Brembo キャリパー): 0.79 インチ/20 mm
側面の振れ	0.050 mm

ブレーキ	仕様
弦方向の振れ	0.040 mm
ディスク厚変動 (DTV)	0.010 mm
フロント ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	新品: 0.393"/10 mm サービス限界: 0.085 インチ/2.15 mm
リア ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	新品: 0.354"/9 mm サービス限界: 0.078"/2 mm
パフォーマンス仕様車フロント ブレーキ パッド厚 (バック プレートを除く)	新品: 0.393"/10 mm サービス限界: 0.085 インチ/2.15 mm
パフォーマンス仕様車リア ブレーキ パッド厚 (バック プレートを除く)	新品: 0.354 インチ/9 mm サービス限界: 0.071 インチ/1.8 mm
パーキング ブレーキ	電動で作動するパーキング ブレーキがリア キャリパーに統合

サスペンション

サスペンション	仕様
フロント	独立、ダブルウィッシュボーン、コイル スプリング/テレスコピック ダンパー、スタビライザー バー
リア	独立、マルチリンクのコイル スプリング/テレスコピック ダンパー

バッテリー - 低電圧

鉛蓄電池 - 低電圧	仕様
定格	毎時 45 アンペア
電圧と極性	12V

リチウムイオンバッテリー - 低電圧	仕様
定格	毎時 6.9 アンペア
電圧	15.5V

バッテリー - 高電圧

バッテリー - 高電圧	仕様
タイプ	液冷式リチウム イオン (Li-ion)
公称電圧	DC 345 V
温度範囲	Model Y を 140° F (60° C) を越える温度環境または -22° F (-30° C) を下回る温度環境に、24 時間を超える期間連続して放置しないでください。

ホイール仕様 (工場出荷時)

ホイールの種類	ロケーション	サイズ	オフセット (mm)
19 インチ	フロント/リア	19 x 9.5J	45
20 インチ	フロント/リア	20 x 9.5J	45
21 インチ	フロント	21 x 9.5J	40
21 インチ	リア	21 x 10.5J	48
ラグナットトルク		129lb ft (175Nm)	
ラグナットソケット サイズ		21 mm	

注: Model Y をジャッキアップする方法については、[ジャッキ アップと引き上げ ページ 202](#) を参照してください。

タイヤ仕様 (工場出荷時)

タイヤ サイズ	ロケーション	サイズ
19 インチ	フロント/リア	255/45R19 XL
20"	フロント/リア	255/40R20 XL
21 インチ	フロント	255/35R21 XL
21 インチ	リア	275/35R21 XL
適切なタイヤ空気圧は、装備されているタイヤの種類によって異なります。「タイヤと積載荷重情報」ラベルに印刷されたタイヤ空気圧を参照してください。このラベルは中央のドアピラー上にあり、運転席の側ドアを開けると確認することができます (タイヤ空気圧の保守 ページ 189 を参照)。		
冬用タイヤは、Tesla サービスセンターで購入できますが、Tesla ウェブサイトで購入できる場合もあります。		



タイヤのマーキングについて

タイヤ メーカーは、標準化された情報をタイヤのサイドウォールに記載することを法律で義務付けられています。これらは、タイヤの特性を含むさまざまな情報を表示します。また、安全標準の認定やリコールの場合のために、タイヤ識別番号 (TIN) も提供されます。



注: Tesla 認定タイヤはタイヤのサイドウォールにある「T マーク」規格 (T0、T1、T2 など) で識別できます。Tesla 認定タイヤは所有されている車両に使用すると、パフォーマンス、安全性、信頼性、および耐久性が最適になるように設計されています。Tesla 認定交換タイヤに関する詳細については、[サービスマニュアル](#)を参照してください。

- 1. タイヤの分類:** P は乗用車用のタイヤであることを示しています。
- 2. タイヤ幅:** この 3 桁の数字は、タイヤのサイドウォールの端から端までの幅をミリ単位で表した値です。
- 3. アスペクト比:** この 2 桁の数字は、トレッド幅に対するサイドウォールの高さの比をパーセントで表示したものです。したがって、トレッド幅が 205 mm でアスペクト比が 50 であれば、サイドウォールの高さは 102 mm です。
- 4. タイヤの構造:** R はタイヤの構造がラジアル プライであることを示しています。
- 5. ホイール径:** この 2 桁の数字はホイールリム径をインチ単位で示したものです。
- 6. 荷重指数:** この 2 桁または 3 桁の数字は、タイヤ 1 本で支えることのできる重量です。この数字は記載されていないことがあります。



ホイールとタイヤ

- 速度記号:** 記載されている場合は、タイヤを長期にわたって使用できる最高速度 (マイル毎時) を示します。Q=99 mph (160 km/h)、R=106 mph (170 km/h)、S=112 mph (180 km/h)、T=118 mph (190 km/h)、U=124 mph (200 km/h)、H=130 mph (210 km/h)、V=149 mph (240 km/h)、W=168 mph (270 km/h)、Y=186 mph (300 km/h)、(Y)=車両の最高速度 (「Y」の定格を上回る)。
- 荷重範囲:** 標準荷重 (SL) または余剰荷重 (XL) として表示され、荷重範囲は特定のタイヤ空気圧でどの程度の重量に対応するのかを示します。タイヤを交換する際は、同じ荷重範囲のタイヤのみを使用してください。スタッドレスタイヤでけん引する場合、車両に元々装着されていたタイヤの荷重制限と同じであるか確認してください。
- タイヤの構成と材質:** トレッド エリアとサイドウォール エリアの両方のプライ数は、タイヤを構成するゴム被覆材料の層の数を示しています。使用されている材料の種類に関する情報も表示されています。
- 最大タイヤ荷重:** タイヤで運搬できる最大荷重。
- 最大許容タイヤ空気圧:** 通常の運転でこの空気圧を使用しないでください。
- 米国運輸省タイヤ識別番号 (TIN)。** 先頭の文字「DOT」は、タイヤがすべての米連邦基準に適合していることを示します。それに続く 2 桁の文字はタイヤが製造された工場を表す記号であり、末尾の 4 桁は製造された週と年を表しています。たとえば、1712 は 2012 年の第 17 週を表しています。その他の番号は、メーカーが任意に決めている販売記号です。タイヤの欠陥に伴うリコールを行う際には、この情報を利用して消費者に連絡することができます。
- トレッド磨耗等級:** この数字はタイヤの磨耗等級を示します。グレードが高いほど耐摩耗性に優れていることを示します。たとえば、等級 400 のタイヤは、等級 200 のタイヤの 2 倍の耐摩耗性があります。
- トラクション等級:** タイヤが濡れた路面で停止する能力を示します。タイヤのグレードが高いほど、車を停止するまでの距離が短くなります。トラクションのグレードは、高い順に AA、A、B、C です。
- 温度等級:** タイヤの熱に対する耐性が A、B、C に等級分けされており、A が最も高い耐性を示します。この等級分けは、速度および荷重の限度内で正しい空気圧のタイヤを使用することを前提としています。



統一タイヤ品質等級基準

次の情報は、国家道路交通安全局 (NHTSA) によって開発されたタイヤ等級基準に関するもので、トレッドの摩耗、トラクション、温度性能によってタイヤを等級付けするものです。深いトレッドをもつタイヤやスタッドレス タイヤに関しては、これらの情報の表記は義務づけられていません。

必要に応じて、品質等級基準はタイヤのトレッド ショルダーと最大セクション幅の間のサイドウォール部に表示されています。
例:

- TREADWEAR 180
- TRACTION AA
- TEMPERATURE A

次に品質等級基準について説明します。

注: この表記要求に加えて、乗用車用タイヤは国家安全要件に従う必要があります。

トレッド磨耗

トレッド磨耗等級は、管理された状態で政府指定のテストコースでテストされた時点のタイヤの摩耗率に基づいた比較尺度です。

たとえば、等級 150 のタイヤは、政府テストコースで等級 100 のタイヤよりも 1.5 倍ほど摩耗性が良好だということになります。タイヤの相対的性能は、その実際の使用状況によりますが、運転習慣や整備状況、路面特性、天候などの変動によって基準から大きく離れます。

トラクション

トラクションの等級は高い順に AA、A、B、C となります。この等級は、アスファルトとコンクリートのテスト路面において管理された条件下で測定される、濡れた舗装道路でのタイヤの停止性能です。評価 C のタイヤはトラクション性能が低い可能性があります。

警告: 不具合のあるタイヤは危険です。タイヤが損傷している、摩耗しすぎている、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、運転しないでください。車両および乗員の安全を損なうことがあります。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはプライ/コード構造の露出がないことを確認してください。

警告: タイヤにつけられるトラクション等級は、直線路でのブレーキテストに基づき、加速やコーナリング、ハイドロプレーニングやピークトラクション特性を含んでいません。

温度

温度等級は、A (最高)、B、C に分かれ、タイヤの発熱に対する耐性と熱の拡散能力を、室内研究所内の特定の試験用ホイールによる管理された環境下で評価したものです。高温が継続すると、タイヤが変性して寿命を短くし、過度な高温は突然のタイヤ損傷につながります。

等級 C は、国家自動車安全標準 No. 109 で乗用車が必ず満たさなければならない最低レベルの性能です。等級 B と A は、研究所内の試験用ホイールでの性能レベルが最低条件を上回っていることを表します。

警告: タイヤの温度等級は、空気圧が適切で、過負荷状態でないタイヤに対して定められます。過度な速度、空気圧不足、過大な荷重などのいずれかあるいは複数の組み合わせにより、熱が蓄積されてタイヤ損傷の可能性が高まります。


タイヤと荷重情報に使用される専門用語

一般的にホイールおよびタイヤに使用される用語

アクセサリ重量	工場に取り付けられる機器として用意されているものの合計重量 (交換されたものより多い)。
ビード	タイヤ内部の縁のことで、この部分がリムに密着し、気密性のあるシールを形成する。ビードはプライコードで包まれて補強された鋼線で構成される。



ホイールとタイヤ

冷間時タイヤ空気圧	3時間を超える停車かまたは 1.6 km 未満の走行後のタイヤ空気圧。
車両重量	標準の車両重量で、装着されているオプション機器や適正レベルの液体を含む。
車両総重量	運転者、乗員、負荷、荷物、装備を含む車両の最大許容重量。
kPa (キロパスカル)	圧力を測るメートル系単位。1 キロパスカルは約 0.145 psi。
最大空気圧	タイヤに入れられる空気の最大圧力。この圧力は、タイヤのサイドウォールに psi 単位で示されています (lbf/in ²)。  注意: タイヤに刻印されているこの圧力は、タイヤ メーカーが認めている最大値です。Tesla が Model Y に推奨している圧力ではない。
最大負荷時車両重量	車両重量、アクセサリ重量、車両の積載容量、製造オプション重量の総和。
製造オプション重量	取り付けられたオプションのうち交換された標準品よりも 1.4 kg (3 ポンド) 重いものと、車両重量やアクセサリ重量に含まれていないものの合計。
PSI (lbf/in ²)	Pounds per square inch (平方インチ当たりのポンド、タイヤ空気圧の測定単位)。
推奨タイヤ空気圧	Tesla が定めたタイヤ空気圧で、工場で車両に取り付けられたタイヤの種類に基づく。この情報は、ドアピラーの「タイヤと積載荷重情報」ラベルにあります。
リム	タイヤあるいはタイヤとチューブを支持する金属で、これにタイヤのビードが密着する。
車両の積載容量	シート数に 68 kg (150 ポンド) をかけた値に、荷重/荷物の規定量を加えたもの。

荷重積載に関する定義

通常の乗員体重	荷重制限を計算するには、表の 2 列目に規定されている乗員数に 68 キログラム (150 lb) を掛けます (このオーナーズ マニュアルの車両荷重のトピックを参照してください)。
乗員の配置	車内に座る乗員の配置
旅客用車両タイヤ	(P またはハード メトリック) 10000 ポンド (4536 kg) 以下の車両総重量 (GVWR) を有する旅客車両、多目的旅客車両、およびトラックに使用されるタイヤ。
ライトトラック タイヤ	(LT) 積載容量を追加する必要がある場合に使用するタイヤ。
リム直径	ビード シートの呼び径
指定リム サイズ	リムの直径と幅。
指定リム タイプ	スタイルまたはコードで製造者が指定するリム
リム幅	トリム フランジ間の公称距離
タイヤの車両最大積載量	各車軸に最大積載された車両の荷重を分配した数値を 2 で割ることによって算出される各タイヤの荷重。
タイヤの車両通常荷重	各車軸に整備荷重、アクセサリ重量、および通常乗員重量を分配した数値を 2 で割ることによって算出される各タイヤの荷重。

空気入りラジアルタイヤの定期

ビードの分割	ビード内のコンポーネント間にあるボンドの内訳。
バイアス タイヤ	ビード部分から覆われるプライ コードが 90 度以下の角度で交互にトレッドの中心線で交差して付けられている空気入りタイヤ。
カーカス	トレッド、サイドウォール部分を除いたタイヤの構造部分で膨らまされた時に荷重を支えます。
チャンキング	トレッドまたはサイドウォールの部分的に剥がれ落ちること。



コード	タイヤでパイルを形成する編み込み部分。
コード剥離	コードをゴム製コンポーネントから剥離する。
クラック	タイヤのトレッド、サイドウォール、またはライナーでコード材質まで届く部分。
高空気圧対応タイヤ	同等の標準タイヤと比較して、高い荷重と高い空気圧で使用されるタイヤ。
グループ	トレッド リブ間の隙間。
インナー ライナー	タイヤ内に膨張媒体を含むチューブレスタイヤ内側を形成する層。
インナー ライナー剥離部分	カーカスのコード材料からインナー ライナーが剥離した部分。
定格荷重	ある空気圧で膨らませられたタイヤが支えられる最大荷重。
最大定格荷重	そのタイヤに許容される最大空気圧力におけるタイヤの定格荷重。
リムの測定	取り付けられるタイヤに必要なリムの実寸法
オープン スプライス	コード材料と接合するトレッド、サイドウォール、またはインナー ライナーの張り合わせ部分の剥離
外径	新しいタイヤを膨らましたときの直径。
全幅	膨らました時のサイドウォールの外側までの直線距離で、ラベルによる高さ、装飾、または保護バンド、またはリブを含む。
プライ	平行に並ぶゴム被覆されたコードの層。
プライの剥離	プライ間のゴム コンパウンドの剥離。
空気入りタイヤ	ゴム、化学薬品、繊維、および金属またはその他の素材から作られ、自動車のホイールに取り付けられた時にけん引力を伝達する機械的な装備で、荷重を支えるために気体、または液体が充填される。
ラジアル タイヤ	ビード部分から覆われるプライ コードが90度の角度でトレッドの中心線で交差して付けられている空気入りタイヤ。
補強タイヤ	同等の標準タイヤと比較して、高い荷重と高い空気圧で使用されるタイヤ。
断面幅	膨らました時のサイドウォールの外側までの直線距離で、ラベルによる高さ、装飾、または保護バンドを除く。
サイドウォール	タイヤのトレッドとビード間の部位。
サイドウォールの剥離	サイドウォールのコードからゴム コンパウンドが剥離した部分。
スノータイヤ	ASTM F1805-00に記載されているような雪上けん引試験を用いる場合（参照により統合、§ 571.5を参照）、少なくとも1つのサイドウォールにS5.5 (i) で指定されたAlpine Symbolでマークされ、ASTM E1136-93（2003年再承認、参照により統合、§ 571.5を参照）標準タイヤ試験タイヤと比較して110以上のけん引インデックスを達成するタイヤ。
テスト用リム	テストに使用されるタイヤを付けたリムで、そのタイヤでの使用に適切と認めらるすべてのリム。
トレッド	タイヤで路面に接触する部分。
トレッド リブ	タイヤ円周のトレッド部分。
トレッドの剥離	カーカスからトレッドが剥がれる状態。
トレッド摩耗インジケータ (TWI)	主要なグループ内に設けられた表示部分で、トレッドの摩耗具合を目視で確認できる。
ホイール固定具	テスト中、ホイールとタイヤ アッセンブリーを固定する。



車両輸送者向け注意事項

ホイールを接地させた状態で輸送しないでください

ホイールが回転すると Model Y のモーターは発電をしてしまいます。Model Y を輸送する時は必ず 4 本のタイヤすべてを地面から離してください。輸送中はタイヤが回転しないことを確認してください。

警告: タイヤが回転してしまうような状態では絶対に車両の輸送を行わないでください。重大な損傷または過熱につながる恐れがあります。まれにはありますが、極度に加熱すると周りのコンポーネントに引火する恐れがあります。



Tesla が指定している以外の方法で Model Y の輸送を行わないでください以下のセクションに示す指示に従い、記載されるすべての警告および注意事項を厳守してください。誤った方法で輸送中に発生した車両の損傷は保証対象にはなりません。

注: Tesla では、Tesla ロードサイドアシスタンスによる出動ではないサービスの料金を返済する義務や責任を負いません。

認定された輸送方法

Model Y の輸送に推奨されるのは、平ボディトラックまたは同等の輸送車両です。平ボディトラックを使用時は、前後どちらの方向で載せても構いません。



平ボディトラックを使用しないで Model Y を輸送する必要がある場合は、タイヤスケートを使用してタイヤを地面から離してから輸送を開始してください。この方法は時速 35 マイル (55 km) 以下で行い、絶対にタイヤスケートの製造元が指定する制限速度を超えてはなりません。この方法を使用する場合は、フロントタイヤを浮かせて、リヤタイヤにタイヤスケートを履かせて車両を前向きすることを Tesla は推奨します。



注意: 平ボディトラックに Model Y ウィンチで載せる前に、輸送モード (輸送モードの有効化 ページ 226 参照) を有効にしてください (車両前方から平ボディトラックの上に引き上げます ページ 227 および車両後方から平ボディトラックの上に引き上げます ページ 227 参照)。輸送モードが使用できない、またはタッチスクリーンが利用できない場合は、必ずセルフローディングドリーまたはタイヤスケートを使用して、認定された輸送位置に車両を積載してください。Tesla は、セルフローディングドリーまたはタイヤスケートを使用した Model Y の輸送が原因となる、個人財産の損害などのいかなる損害についても責任を負いません。

注: 輸送モードは、Model Y をウィンチを使用して平ボディトラックに載せるため、または車両を駐車スペースから移動するためだけに使用されます。輸送モード中は、タイヤをゆっくり (3 mph (5 km/h) 未満)、極めて短い距離 (30 フィート (10 m) 未満) 回転させることしかできません。輸送モードの有効化 ページ 226 を参照してください。これに従わないと、車両に保証の対象とならない重大な損傷および過熱を与える恐れがあります。

警告: Model Y には、衝突により損傷する可能性のある高電圧コンポーネントが取り付けられています (高電圧コンポーネント ページ 172 参照)。Model Y を輸送する前に、必ずコンポーネントが通電されている前提で作業することが重要です。緊急対応する専門業者が車両の安全を確認しすべての高電圧システムに電圧がかかっていないことを正確に確認するまで、必ず高電圧安全注意事項 (個人保護具の着用など) に従ってください。これらを怠ると重大な事故につながる恐れがあります。

輸送モードの有効化

輸送モードは、Model Y を平ボディトラックにウィンチで巻き上げる際に、パーキングブレーキを解除します。輸送モードが有効になっている時は、車両のサイドブレーキが無効になっていることを知らせるメッセージが表示されます。輸送モードを有効にするために:

- 低電圧電源が必要です。Model Y に電源が供給されていないと、タッチスクリーンが使用できないため輸送モードを有効にすることはできません。
- Model Y はキーを検出しなければなりません。輸送モードはキーが検出されている時のみ有効となります。
- 車両が充電器に接続されていないことを確認します。依然としてプラグが Model Y に挿入されている場合、輸送モードは利用できません。

輸送モードを有効にする:

1. Model Y がパーキングに入っていることを確認してください。
2. タイヤに輪留めをかけるか、Model Y が確実に固定されていることを確認してください。



- ブレーキペダルを踏み込んだまま、タッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「けん引」の順にタッチします。タッチスクリーンには、Model Y の正しい輸送方法を促すメッセージが表示されます。
- 「輸送モードに入ります」をタッチします。ボタンが青色に変わって、Model Y が輸送モードであることを示します。Model Y はブレーキが解除され、短い距離を押して動かす（歩行する速度以下）またはウィンチで（平ボディトラックなどに）引き上げることができます。

輸送モードをキャンセルするには、「輸送モードを終了」をタッチするか、Model Y をパーキングにシフトします。電話キーが検出されない場合、輸送モードをキャンセルすると、Model Y の電源がオフになります。車両の再始動にはカードキーが必要な場合があります。

注: 車両に鉛の低電圧バッテリーが装備されている場合（ジャンプスタート ページ 232 を参照）：輸送モードを有効にした後で Model Y が低電圧電力を喪失すると、輸送モードはキャンセルされます。

注意: 電気系統が故障している場合、タッチスクリーンを使用して輸送モードを有効にすることができないため、セルフローディング ドリまたはタイヤスケートを使用します。車両をドリーに積載する前に、必ずドリーの製造元による仕様および推奨積載重量を確認してください。

車両前方から平ボディトラックの上に引き上げます

注: Model Y に電源から低電圧電力の供給がない場合にボンネットを開く、またはタッチスクリーンを使用するには、外部の低電圧電源が必要になります。

注意: 損傷を避けるために、車両を平ボディトラックに引き上げるときは、適切に取り付けられたけん引アイを使用してください。シャーシ、フレーム、またはサスペンションコンポーネントを使用して引っ張ると、車両を損傷する恐れがあります。

- けん引用アイボルトを見つけます。けん引フックはフロントトランクに収納されています。

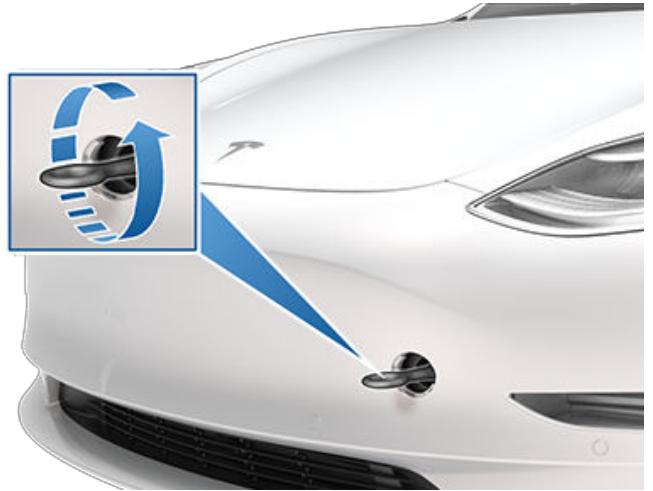


- けん引ボルトカバー周辺部右上を内側に向くまで強く押し、持ち上がった部分をゆっくりと手前に引いてください。

注: けん引ボルトカバーは、車両の黒色マイナス (-) 端子に接続されています。



- けん引ボルトをしっかりと挿入し、確実に固定されるまで反時計回りに回します。



- けん引ボルトにウィンチケーブルを取り付けます。

注意: 引く前に、けん引ボルトがしっかりと締まっていることを確認します。

- 輸送モードを有効にします。

- Model Y をゆっくりと平ボディトラックの上に乗せてください。

車両後方から平ボディトラックの上に引き上げます

注: Model Y に電源から低電圧電力の供給がない場合にボンネットを開く、またはタッチスクリーンを使用するには、外部の低電圧電源が必要になります。

注意: 損傷を避けるために、車両を平ボディトラックに引き上げるときは、適切に取り付けられたけん引アイを使用してください。シャーシ、フレーム、またはサスペンションコンポーネントを使用して引っ張ると、車両を損傷する恐れがあります。

- けん引用アイボルトを見つけます。けん引フックはフロントトランクに収納されています。

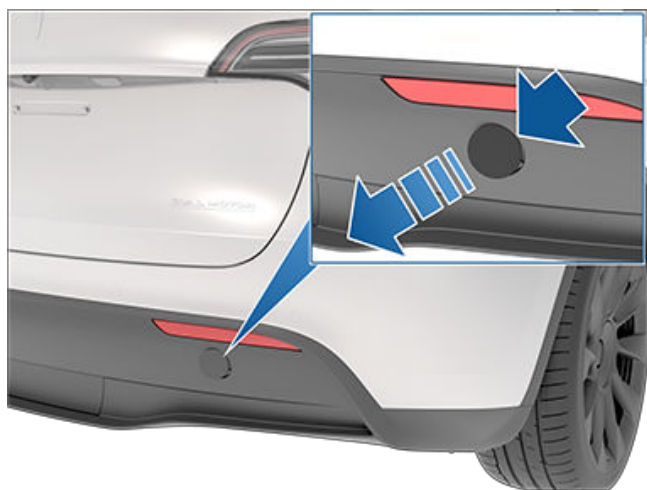


車両輸送者向け注意事項

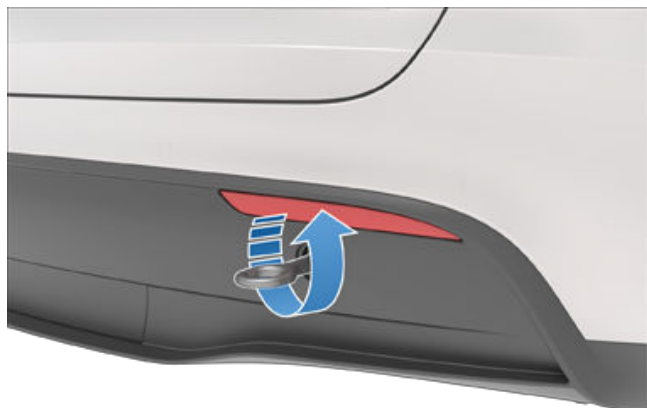


- けん引ボルトカバー周辺部右上を内側に向くまで強く押し、持ち上がった部分をゆっくりと手前に引いてください。

注: ヒッチレシーバー搭載車両は、後部のけん引ボルトでけん引できません。平ボディトラックに載せる際など、車を安全な場所までけん引する場合は、けん引バーまたはヒッチレシーバーのみを使用してください。タイヤを接地させた状態で輸送しないでください



- けん引ボルトをしっかりと挿入し、確実に固定されるまで**反時計回り**に回します。



- けん引ボルトにウィンチケーブルを取り付けます。

注意: 引く前に、けん引ボルトがしっかりと締まっていることを確認します。

- 輸送モードを有効にします。
- Model Y をゆっくりと平ボディトラックの上に乗せてください。

タイヤの固定

8点留めタイダウン法で車両のタイヤをトラック上で固定する必要があります。

- 固定用ストラップの金属部品が、車輪の塗装面または面に接触しないようにしてください。
- ボディパネル上または車輪を介して固定用ストラップを配置しないでください。

注意: 固定用ストラップを車両ボディのシャーシ、サスペンション、その他の部品に取り付けると、車に損傷を与える可能性があります。



車両に電力供給がない場合

Model Y に低電圧電源から電力の供給がない場合、以下の手順でボンネットを開くかまたは低電圧バッテリーでジャンプスタートします。

- フードを開きます。車両に電力がない場合にフードを開くための詳細情報については**電源がない状態でフードを開けるページ 231**を参照してください。
- 低電圧バッテリーをジャンプスタートさせます (**ジャンプスタート ページ 232**を参照)。

注: けん引業者: 車両を充電スタンドまで輸送して、充電準備をするための詳細情報については**電力切れ ページ 230**を参照してください。

注意: ドアを開閉すると窓は自動で少しだけ下がるので、車両に電力がない場合は、ドアを開く前に必ず外部の低電圧電源に接続して、窓が壊れないようにしてください (**ジャンプスタート ページ 232**を参照)。



Tesla ロードサイドアシスタンスは、保証期間中に限り年中無休で 24 時間いつでもご利用いただけます。Tesla ロードサイドアシスタンスでは、あらゆるご質問に回答し、車両の輸送手順をご案内する、ロードサイドプロフェッショナルに問い合わせることができます。

Tesla ロードサイドアシスタンスにご連絡される場合は、次の情報を予めご準備ください。

- 車両識別番号 (VIN)。「コントロール」 > 「ソフトウェア」にタッチすると VIN が表示されます。運転席側のフロントガラスからのぞき込むことでも、VIN を確認できます。
- お客様の現在地。
- 故障・問題の性質。

地域でご利用いただける場合は、Tesla モバイルアプリの「ロードサイドアシスタンス」オプションを選択すると、さらに素早く要求の提示ができます。

注: Tesla のロードサイドアシスタンスポリシーに関する詳細な説明は、お客様の地域の Tesla ウェブサイトにあるサポートページを参照してください。

国別電話番号

カナダ: 1-877-79TESLA (1-877-798-3752)

メキシコ: 800-228-8145

米国: 1-877-79TESLA (1-877-798-3752)

注: 「コントロール」 > 「サービス」をタッチしても電話番号は確認できます。

! **注意:** 高電圧バッテリーの状態および車両の残りの航続距離を監視することは、ドライバーの責任です。タッチスクリーンに表示される航続距離が0マイル (0 km) (または 0%) であるときに、使用できる航続距離があると仮定しないでください。航続距離を超えて走行したことによる低電圧バッテリーへの損害は、保証の対象外になります。

注: 走行中に万が一、電力切れになった場合、安全であれば、車両を路肩に寄せ、[Tesla ロードサイドアシスタンス ページ 229](#) または希望するけん引業者に連絡してください。

Model Y が電力切れになった場合、低電圧バッテリーはサポートされなくなり、低電圧がサポート対象ではない場合、その車両を充電することはできません。そのため、低電圧バッテリーは高電圧 (HV) バッテリーの充放電が可能な外部の充電器でサポートされている必要があります。車両が充電を開始すると、外部充電器は不要になります。

充電器から離れた場所で電力切れを起こした場合、けん引業者は Model Y を最寄りの充電スタンドまで輸送して、充電器のケーブルの届く範囲内に車両を降ろす必要があります。車両を充電器の近くに配置したら、次の指示に従ってください。

注: 車両を充電器まで輸送している場合、車両の高電圧バッテリーが充電されていることを確認するまでけん引業者が立ち去らないようにしてください。

1. 低電圧バッテリーをジャンプスタートさせます ([ジャンプスタート ページ 232](#) を参照)。低電圧バッテリーは、高電圧バッテリーをサポートするためにジャンプスタートさせる必要があります。
2. 数分待ちます。タッチスクリーンの電源がオンになったら、充電器ケーブルを Model Y に挿入して、高電圧バッテリーの充電を開始します。
3. Model Y が充電を開始したら、低電圧バッテリーをサポートしている外部充電器をバッテリーから取り外します。

Tesla 以外の充電器に移動する前に、使用する特定のタイプの充電ステーションに対応するアダプターが車両に装備されていることを確認してください。Tesla 以外の充電器でも、充電を開始する前に低電圧システムをジャンプスタートさせる必要があります。

! **注意:** ドライブの際や長期間保管する際は、Model Y に十分な航続距離が残っていることを必ず確認してください。タッチスクリーンやモバイル アプリの航続距離予測をあてにしすぎないでください。外気温、運転動作、風、車両設定 (セントリーモードなど) によって航続距離の減少が予測よりも早まる可能性があります。

注: 航続距離の問題による車両のけん引は補償の対象になりません。



電源がない状態でフードを開ける

Model Y で低電圧電源が供給されなくなると、タッチスクリーン、キーフォブ、またはモバイルアプリを使用してフロントトランクを開けることができなくなります。以下の状況でフロントトランクを開く方法を説明します。

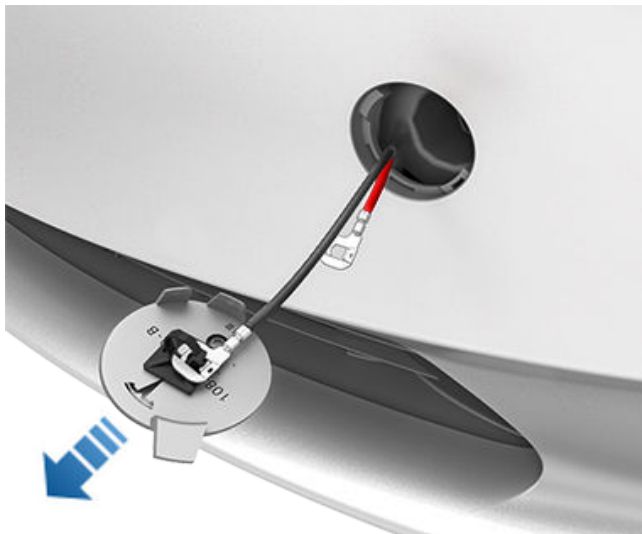
注: Model Y がロックされ、なおかつ低電圧の電力が供給されている場合は、以下のステップに従ってもフロントトランクは開きません。

1. 外部低電圧電源（たとえば、ポータブルのジャンプスターターなど）を用意します。
2. けん引ボルトカバー周囲の右上を内側に回るまで強く押し、持ち上がった部分をゆっくりと手前に引いてください。

注: けん引ボルトカバーにプラスとマイナス端子どちらが取り付けられているかは製造日により異なります。



3. 配線 2 本をけん引ボルト用開口部から引き出して、車両側の端子を露出します。

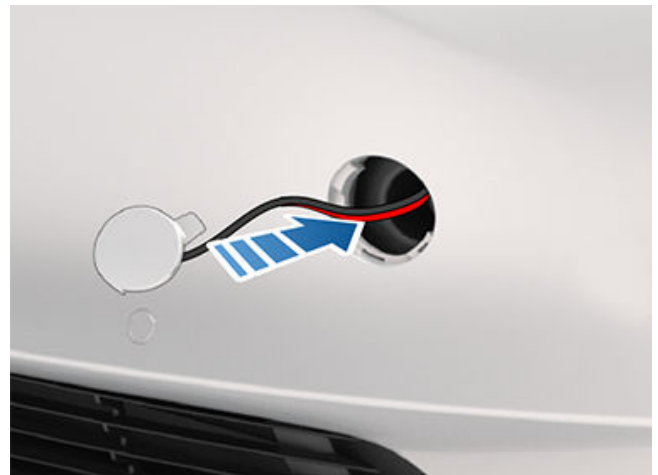


4. 低電圧電源のプラス側 (+) 赤色ケーブルをプラス側 (+) 赤色端子に接続します。
5. 低電圧電源のマイナス側 (-) 黒色ケーブルをマイナス側 (-) 黒色端子に接続します。



注: 外部低電圧電源をこれらの端子に接続するとボンネットのラッチのみリリースします。これらの端子を使用して低電圧バッテリーを充電することはできません。低電圧電源ケーブルを 30 秒以上端子に接続したままにしないでください。フードのラッチが掛かったら、直ちに車両の端子から取り外してください。

6. 外部電源をオンにします（製造元の取扱説明書を参照）。フードラッチがすぐにリリースされ、フードを開けてフロントトランク部にアクセスすることができます。
7. 外部電源ケーブルを外すときは、黒色マイナス (-) ケーブルから外してください。
8. 平ボディトラックに車両を引き上げる場合は、けん引ボルトカバーを交換しないでください。必要な場合は、けん引ボルト開口部にワイヤーを挿入し、けん引ボルトカバーの位置に合わせ、所定の位置に回してけん引ボルトカバーを取り付けます。



T ジャンプスタート

ジャンプスタートの手順は、低電圧バッテリーが鉛バッテリーかリチウムイオンバッテリーかによって異なります。車両がどのバッテリーを使用しているか確認するには、「コントロール」>「ソフトウェア」>「車両の追加情報」をタッチします。このセクションでは、両方の手順について説明します。

以下の説明では、外部低電圧電源（ポータブルジャンプスターターなど）を使用していることを想定しています。他の車両を使用して Model Y をジャンプスタートさせるときは、その車両のメーカーの取扱説明書を参照してください。

⚠ 注意: Model Y 他の車両のジャンプスタートに使用することはできません。故障の原因となることがあります。

⚠ 注意: Model Y のジャンプスタート時に短絡させないでください。誤ったジャンプポストにケーブルを接続したり、リード同士を接触させたりすると、Model Y が損傷する可能性があります。

低電圧（鉛）バッテリーのジャンプスタート

2021 年 10 月頃よりも前に Gigafactory 上海で製造された車両、および 2021 年 12 月頃よりも前にフリーモント工場で製造された車両には低電圧鉛バッテリーが装備されています。

他の車両を使用して Model Y をジャンプスタートさせるときは、その車両のメーカーの取扱説明書を参照してください。以下の説明では、外部低電圧電源（ポータブルジャンプスターターなど）を使用していることを想定しています。

1. ボンネットを開きます（電源がない状態でフードを開けるページ 231 を参照）。
2. メンテナンス パネルを取り外すには、パネル後方の端を上方へ引いて、パネル固定用のトリムクリップを外してください。
3. HEPA フィルターを装備している場合、HEPA フィルター ガスケットを車両の前面に向かって慎重に折り曲げて、低電圧バッテリーにアクセスします。

注: 低電圧バッテリーにアクセスするためのスペースには限りがあります。アクセス性を良くするために、プッシュクリップをリアカウルから取り外すことを検討してください。

4. 低電圧電源のプラス側 (+) 赤色ケーブルを低電圧バッテリーのプラス側 (+) 赤色端子に接続します。

⚠ 注意: Model Y の損傷を防ぐために、電源供給側のプラス側ケーブルが 12V バッテリー上部のバッテリー締め付けブラケットなどの金属製コンポーネントに触れないよう注意を払ってください。

5. 低電圧電源のマイナス側 (-) 黒色ケーブルを低電圧バッテリーのマイナス側 (-) 黒色端子に接続します。
6. 外部電源をオンにします（製造元の取扱説明書を参照）。タッチスクリーンをタッチして起動します。

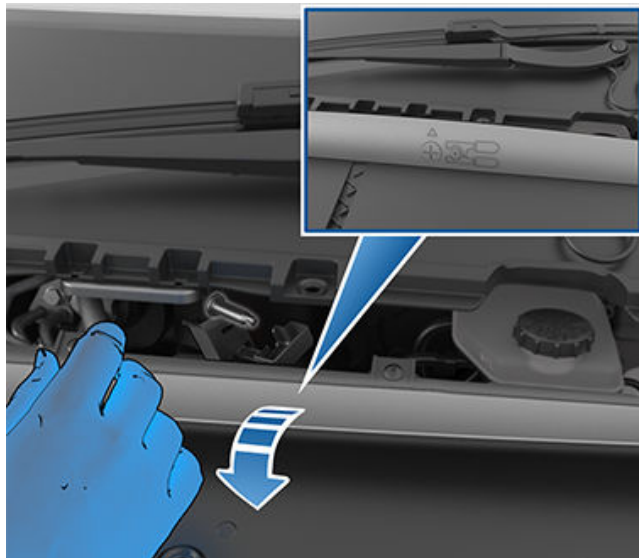
注: タッチスクリーンに十分な電力を供給するまで数分程度かかる場合があります。

7. 外部低電圧電源の取り外し時は、バッテリーはマイナス側 (-) 黒色端子から始めて両方の端子からケーブルを外します。
8. キャビン インテーク トリムを元の位置に合わせて固定されるまで押し付けながら取り付けてください。
9. メンテナンス パネルを元の位置に合わせて固定されるまで押し付けながら取り付けてください。
10. フードを閉じます。

低電圧（リチウムイオン）バッテリーのジャンプスタート

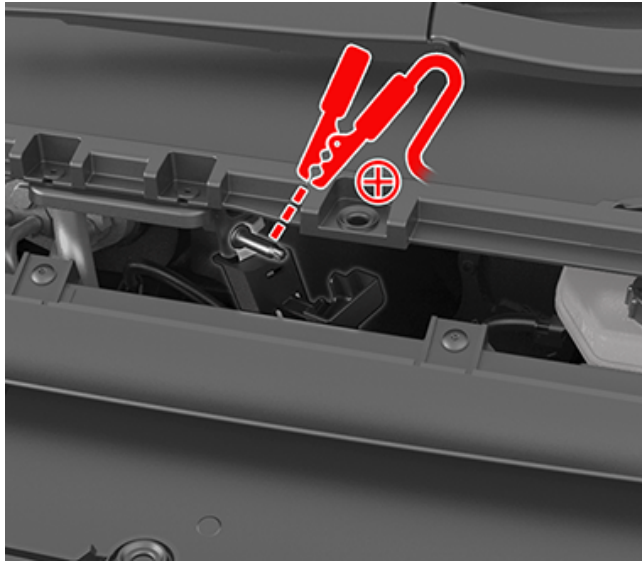
2021 年 10 月頃以降に Gigafactory 上海で製造された車両、および 2021 年 12 月頃以降にフリーモント工場で製造された車両には低電圧リチウムイオンバッテリーが装備されています。

1. ボンネットを開きます（電源がない状態でフードを開けるページ 231 を参照）。
2. メンテナンス パネルを取り外すには、パネル後方の端を上方へ引いて、パネル固定用のトリムクリップを外してください。
3. HEPA フィルターを装備している場合、HEPA フィルター ガスケットを車両の前面に向かって慎重に折り曲げて、低電圧ジャンプ ポストにアクセスします。

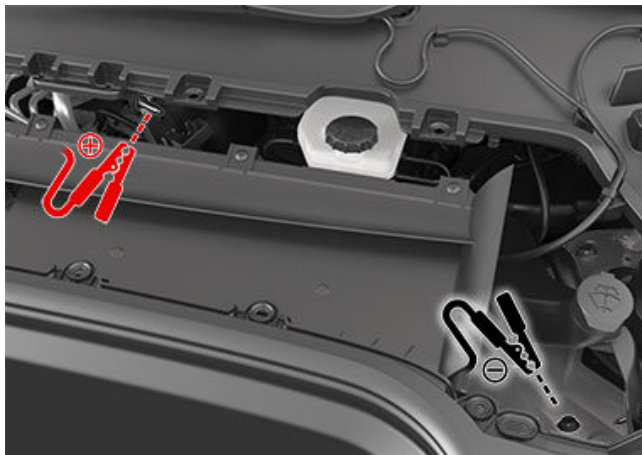


4. 黒色のシールを引き戻して、プラス側ジャンプ ポストを出します。赤色のカバーを取り外し、外部低電圧電源の赤色のプラス (+) 側ケーブルを赤色のプラス (+) 側ジャンプ ポストに接続します。

⚠ 注意: 車両の損傷を避けるため車両、このプラス側ケーブルを他の金属部に接触させないようにしてください。



- HEPA フィルター ボルト（下図参照）はマイナス (-) ジャンプ ポストとして使用されます。低電圧電源の黒色マイナス (-) 側ケーブルを黒色マイナス (-) 側 HEPA ジャンプ ポストに接続します。



- 外部電源を 20 秒間だけオンにし（製造元の説明書を参照）、電源をオフにするか、電源を切り離します。

⚠ 注意: 電源を 20 秒を超えてオンのままにすると、低電圧バッテリーが自己復旧できなくなり、車両がドライブにシフトできなくなる可能性があります。この場合、電源を切り離れた後に、低電圧バッテリーを切り離し、低電圧バッテリーを再接続して、もう一つのバッテリーの自己復旧を再試行できるようにします。

注:（ウィンチを使用して車両をボディトラックに積載するために）輸送モードを有効にしようとする場合、低電圧バッテリーを使用して自己復旧する必要はありません。車両を固定するまで、電源をつないだままにしてください。

- 運転席ドアを開いて 2 分間待ちます。
- 車両をドライブにシフトできることを確認します。
- メンテナンス パネルを元の位置に合わせて固定されるまで押し付けながら取り付けてください。
- フードを閉じます。


電力がない状態でドアを開く

電力がない状態でフロント ドアを開く

万が一、Model Y の電源が切れている状況でフロント ドアを開ける場合は、ウィンドウ スイッチの前にある手動ドア リリースを引き上げてください。



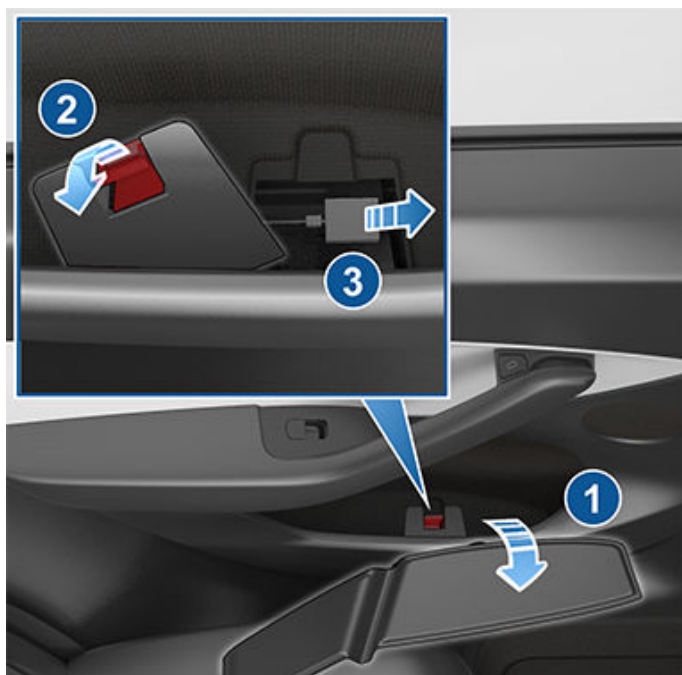
1. リア ドア ポケットの底からマットを取り外します。
2. 赤色のタブを押して、アクセス ドアを取り外します。
3. メカニカル リリース ケーブルを前方に引きます。

 **注意:** 手動ドアリリースは、Model Y の電力がない場合に限って使用することを想定して設計されています。Model Y に電力が供給されているときは、車内ドア ハンドル最上部にあるボタンを使用します。

電力がない状態でリア ドアを開く

Model Y に電力がないといった稀な事態に、リア ドアを手動で開くことができます (装備されている場合)。

注: すべての Model Y 車両が後部ドアの手動リリースを装備しているわけではありません。





app_w009

自動緊急ブレーキ使用不可 次のドライブで機能が回復する可能性

このアラートの意味:

自動緊急ブレーキ機能は、現在のドライブの残りの部分では使用できません。この警告は、他のブレーキ機能が使用できないことを具体的に示すものではありません。

このアラートはいくつかの理由で表示される可能性があります。自動緊急ブレーキを使用できない状態の場合は、他の警告が表示されることがあります。

対応策:

通常特に対応は必要ありません。通常、次のドライブを開始すると、自動緊急ブレーキが再び使用可能になります。

アラートが何度も続く場合、または運転するうちに発生頻度が高くなる場合は、早急に修理を依頼されることをお勧めします。

詳細な情報は、[衝突回避アシスト ページ 138](#) を参照してください。

APP_w048

オートパイロット機能は一時的に使用できません 次回走行時に機能が回復する可能性があります

このアラートの意味:

お客様の車両では現在オートパイロット機能を使用することができません。車両の構成に応じて、無効となるオートパイロット機能には次が含まれます。

- オートステアリング
- トラフィックアウェア クルーズコントロール
- 自動緊急ブレーキ
- 正面衝突警告
- 車線逸脱警告

対応策:

このアラートはいくつかの理由で設定される可能性があります。この状態の原因を示す追加アラートがないか確認してください。

通常オートパイロット機能は次回走行時に回復します。このアラートが今後の走行でも継続的に発生する場合は、早急にサービスを予約してください。

詳細およびオートパイロット機能の完全なリストについては、[オートパイロットについて ページ 101](#) を参照してください。

APP_w207

オートステアリングは一時的に使用できません

このアラートの意味:

オートステアリングは一時的に使用できません。これは以下の外部要因などによる一時的な状況である可能性があります。

- 車線の境界線がないまたは薄くなっている。
- 極端にせまい道や曲がりくねった道を運転している。
- 雨、雪、霧、その他の気象によって視認性が低くなっている。
- 外気温度が極端に高いまたは低い。



トラブルシューティングのアラート

- 対向車のヘッドライトや直射日光などの明るい光が当たっている。

このアラートは、オートステアリングが有効な場合のオートステアリングに対する最大速度制限を超過している場合にも表示されます。この場合、そのまま運転してもオートステアリングが再び有効になることはありません。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。オートステアリングを目的地に到着するまでそして次回車両を使用しているときに利用できない場合は、次について点検してください。

- 泥、氷、雪などの環境要因により損傷または障害物が発生している
- 自転車ラックのような物体が車両に取り付けられ、障害となっている
- 塗料、またはラップ、ステッカー、ラバーコーティングのような粘着性物質など障害物が車両に付けられている
- バンパーが損傷している、または位置がずれている

明らかな障害物がない場合、または車両の損傷を見つけた場合、都合のよいときにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[オートパイロット機能 ページ 104](#) を参照してください。

APP_w218

オートステアリングの速度制限を超過 ハンドルは自分で操作してください

このアラートの意味:

車両がこのドライバーアシスト機能の最高速度制限を超えたため、オートステアリングは利用できません。

対応策:

すみやかにハンドルを自分で操作して目的地まで運転してください。

多くの場合、そのまま運転してもオートステアリングが再び有効になることはありません。オートステアリングをリセットするには、車両を完全に停止して、パーキングにシフトします。次の目的地に向かう異動のためにドライブにシフトすると、オートステアリングは再び使用可能になります。

注: ドイツで運転中にこのアラートが起動した場合、オートステアリングの速度制限未満で車両が走行すると、オートステアリングは再び有効になります。

次の走行時にオートステアリングが引き続き有効にならない場合は、ご都合のよいときにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[オートパイロット機能 ページ 104](#) を参照してください。

APP_w222

クルーズコントロール利用不可 フロントカメラの視認性が低下

このアラートの意味:

車両の1台以上のフロントカメラが外部条件で妨害されているか視界を遮られていて、トラフィックアウェアクルーズコントロールとオートステアリングが無効です。

フロントカメラの十分な視程が得られない限り、トラフィックアウェアクルーズコントロールとオートステアリングは引き続き使用できません。以下の原因によりカメラの視界が制限されている場合や確保できない場合があります。

- カメラ表面の汚れまたはごみ。
- 雨、霧、雪、露などの環境的条件。



- 日光または別の光源による眩しい光。
- 照明不足または照明の制限された状態（夜間の照明のないまたは不十分な照明の道路を含む）。
- カメラ表面の結露（水滴または霧）。
- トンネル壁面や高速道路分離帯など、単調な周囲状況。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

これはしばしば独自でクリアされる一時的問題になります。走行終了時までそのアラートがクリアされない場合:

- 次回の計画した走行の前にフロント ガラスの上部中央にあるフロント カメラの領域を点検して清掃する。
- カメラ表面に結露、ほこり、あるいはその他ちりがなく確認し、障害物は取り除いてください。

車両の該当部分からの汚れや異物の除去に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング ページ 196](#) を参照してください。

フロント カメラのエンクロージャ内部の結露は完全に拭き取ることができませんが、通常は、以下の手順で簡単にクリーニングを行えます。

1. 温度を高に設定し、A/C をオンにして車内の空調を入れます。
2. 前方の霜取り装置をオンにします。

フロント カメラで障害物が見えないのに、その後の運転時にもこのアラートが解消されない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w224

クルーズコントロール利用不可 カメラ補正のため運転を続けてください

このアラートの意味:

車両のカメラのキャリブレーションが不十分なためトラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングを利用できません。

トラフィックアウェア クルーズ コントロールやオートステアリングなどの機能が有効なとき、車両は高精度で運転する必要があります。初めてこれらの機能を使用するときは、事前に、カメラの初期セルフキャリブレーションを実施する必要があります。場合によっては、1台以上のカメラがキャリブレーションなしで使用されることがあります。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

カメラのキャリブレーションが完了するまで、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングは引き続き使用できません。

キャリブレーションが完了したら、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングが利用できます。

利便性のために、プログレス インジケータがタッチスクリーンに表示されます。キャリブレーションは通常、20~25 マイル（32~40 km）走行後に完了しますが、この距離は道路条件や環境条件によって異なります。たとえば、車線区分線がはっきりと見える直線路を走行すると、カメラは短時間にキャリブレーションできます。

100 マイル（160 km）以上走行後も、アラートが解消されず、カメラキャリブレーションが完了しない場合、あるいはカメラキャリブレーションが成功したのにトラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングが利用できない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。



トラブルシューティングのアラート

APP_w304

カメラの視界が遮られている カメラを清掃するか視界復帰するまで待機

このアラートの意味:

外部条件により、1つ以上の車載カメラの視認性が制限されているかありません。正確な視覚情報が車載カメラにより生成できない場合は、オートパイロット機能の一部またはすべてが一時的に使用できなくなる場合があります。

以下の原因によりカメラの視界が制限されている場合や確保できない場合があります。

- カメラ表面の汚れまたはごみ。
- 雨、霧、雪、露などの環境的条件。
- 日光または別の光源による眩しい光。
- 照明不足または照明の制限された状態（夜間の照明のないまたは不十分な照明の道路を含む）。
- カメラ表面の結露（水滴または霧）。
- トンネル壁面や高速道路分離帯など、単調な周囲状況。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。多くの場合、これは一時的な問題であり、結露が蒸発したときや、特定の環境条件がなくなったときに解消されます。

目的地に到着するまでにアラートが消えない場合は、カメラの表面に結露、汚れ、またはその他のごみがないか確認してください。カメラの位置は、[カメラ ページ 18](#)を参照してください。

次のドライブをする前に必要に応じてカメラをクリーニングしてください。推奨されるクリーニング手順については[カメラのクリーニング ページ 196](#)を参照してください。

このアラートがカメラのクリーニング後も引き続き表示される場合は、ドアピラーのカメラ筐体内側に結露がないか確認してください。カメラのエンクロージャ内部の結露は完全に拭き取ることができませんが、通常は、以下の手順で簡単にクリーニングを行います。

1. 空調をオンに設定し、温度を「高」に設定し、A/Cがオンになっていることを確認して、キャビンをプレコンディショニングします
2. 前方の霜取り装置をオンにします。
3. 吹出し口をドアピラーのカメラに向けます。

カメラのエンクロージャから結露を取り除く方法に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング ページ 196](#)を参照してください。

示されたカメラのクリーニングを行ない、結露を取るために推奨される手順を実施したにも関わらず、次のドライブの終了までにアラートが解消しなかった場合は、次のご都合のよいときにサービスする予約をしてください。その間は車両を運転することに問題はありません。

BMS_a067

高電圧バッテリーのパフォーマンスが制限されず 運転可能 - すぐにサービスを予約

このアラートの意味:

車両が高電圧バッテリー内部がバッテリーの性能を制限している状態であることを検出しました。完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

車両の最大航続距離が短くなる可能性があり、今までより車両の充電に時間がかかる場合があります。通常、最大充電速度は、場所、電源、および充電設備によって異なります。



対応策:

車両を運転しても問題はありません。

できるだけ早くサービスを予約することをお勧めします。サービスを行わないと、車両は引き続き最大と充電航続距離および充電性能の低下を引き起こし、運転中に出力と加速が低下する可能性もあります。

このアラートが表示されている間は、車両のタッチスクリーンに表示される推定航続距離と実際の高電圧バッテリーの充電レベルとの間に矛盾が生じないように、車両を充電容量の 30%以上に充電しておいてください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 174](#) を参照してください。

BMS_a068

高電圧バッテリーは、サービスが必要 加速および充電性能低下

このアラートの意味:

車両が高電圧バッテリー内部がバッテリーの性能を制限している状態であることを検出しました。

車両の最高速度が低下し、加速要求に対する応答が以前よりも遅くなっていると感じる可能性があります。

車両の最大航続距離が短くなる可能性があり、今までより車両の充電に時間がかかる場合があります。通常、最大充電速度は、場所、電源、および充電設備によって異なります。

完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。

できるだけ早い機会にサービスを予約することをお勧めします。サービスを行わないと、車両の出力、加速、航続距離、および充電性能が低下することがあります。

このアラートが表示されている間は、車両のタッチスクリーンに表示される推定航続距離と実際の高電圧バッテリーの充電レベルとの間に矛盾が生じないように、車両を充電容量の 30%以上に充電しておいてください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 174](#) を参照してください。

BMS_a069

バッテリー充電レベルが低い いますぐ充電してください

このアラートの意味:

高電圧バッテリーには、運転をサポートするための十分なエネルギーが残っていないことが検出されました。この警告は通常、通常の操作によって車両の高電圧バッテリー充電レベルが低下したために発生します。

車両は充電されるまで運転することまたは運転を継続することができません。

運転中にこのアラートが発生した場合、車両をシャットダウンする必要があります。この状態を示すために個別の車両アラートが表示されます。また、車両が予期せずシャットダウンするおそれがあります。

車両を駐車したときにこの警告が表示される場合は、運転することができない可能性があります。

対応策:

すぐに車両を充電してください。車両を充電すると、車両の走行能力が回復します。

このアラートが後続のドライブで発生した場合、バッテリーの充電レベルが 5%以上と表示されていても、できるだけ早くサービスを予約してください。



トラブルシューティングのアラート

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 174](#) を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#) を参照してください。BMS_a074

BMS_a074

最大バッテリー充電レベルが低下 運転可能 - サービス予約してください

このアラートの意味:

高電圧バッテリーの内部の状況により、バッテリーの性能が制限されている状態であることが検出されました。この結果、最大充電レベルと航続距離が減少しています。完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

対応策:

- 車両を運転しても問題はありません。充電状態が 50%を下回ると車両の充電が可能になります。充電状態がすでに 50%を超えている場合、充電は開始されません。
- このアラートが解消されない場合は、早急にサービスを予約してください。サービスを行わないと、車両の最大充電レベルと航続可能距離がさらに減少する可能性があります。
- 高電圧バッテリーに関する詳細情報については、以下を参照してください

BMS_a079

充電不可 - 最大充電レベルに到達 最大充電レベル低下 - サービスを予約

このアラートの意味:

高電圧バッテリー内部の状況により、バッテリーの充電能力が充電状態 50%までに制限されていることが検出されました。

対応策:

- 車両を運転しても問題はありません。充電状態が 50%を下回ると車両の充電が可能になります。充電状態がすでに 50%を超えている場合、充電は開始されません。
- このアラートが解消されない場合は、早急にサービスを予約してください。サービスを行わないと、車両の最大充電レベルと航続可能距離がさらに減少する可能性があります。
- 高電圧バッテリーに関する詳細情報については、以下を参照してください

CC_a001

充電不可 - アース配線不十分 正しい配線またはコンセント接地の検証が必要

このアラートの意味:

ウォールコネクターで接地接続が検出されません。

対応策:

ウォールコネクターを電気技師に検査してもらい、適切に接地されていることを確認してください。サーキットブレーカーまたは分電盤ボックスが正しく接地され、ウォールコネクターが正しく接続されていることの確認を電気工事士に依頼してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CC_a002

充電不可 - ウォールコネクタ 漏電を検知 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクタを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気工事に相談するか、Teslaまでご連絡ください。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a003

充電不可 - ウォールコネクタ 漏電を検知 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクタを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気工事に相談するか、Teslaまでご連絡ください。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a004

充電不可 - ウォールコネクタに問題があります ウォールコネクタは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクタ ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクタが機能していません
2. 内部接地障害監視キットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクタで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクタの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事に連絡して、『ウォールコネクタ取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。



トラブルシューティングのアラート

5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a005

充電不可 - ウォールコネクター漏電を検知 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気工事士に相談するか、Teslaまでご連絡ください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a006

充電不可 - ウォールコネクター過電流 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

過電流保護。

対応策:

車両の充電電流設定を下げてください。問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a007

充電不可 - 入力電圧が高過ぎます ウォールコネクターには定格内電圧が必要

このアラートの意味:

過電圧または減電圧保護。

対応策:

ウォールコネクターのサーキットブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a008

充電不可 - 入力電圧不足 ウォールコネクターには定格内電圧が必要

このアラートの意味:

過電圧または減電圧保護。

対応策:



ウォールコネクターのサーキットブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a009

充電不可 - 誤った入力配線 ウォールコネクターへの入力配線の修正が必要

このアラートの意味:

入力側誤配線: ラインと中性が反対に接続されている可能性があります。

対応策:

壁側電源とウォールコネクター間の入力配線が誤って接続されています。電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a010

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクターハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a011

充電不可 - ウォールコネクターが過熱 ウォールコネクターが冷えるまでお待ち下さい

このアラートの意味:

加熱防止 (ラッチオフ)。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

ウォール コネクタが何かで覆われていたり、熱源が近くにいることを確認してください。通常の周囲温度（100°F または 38°C 以下）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a012

充電不可 - ウォールコネクタ接続部が過熱 コンセントまたはウォールコネクタの点検が必要

ウォールコネクタによる高温検出アラートは、ウォールコネクタへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクタを保護するために充電が停止したことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクタの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクタへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があります。電気工事業者により迅速な修理ができます。

正常な充電動作を回復するには、以下の手順に従って操作してください。

ウォール コネクタを壁面コンセントに差し込んだら、以下の事項を確認してください：

- プラグがコンセントに完全に差し込まれている
- プラグ/コンセントに異物が詰まっていない/異物で覆われていない
- 近くに熱源がない

問題が解決しない場合や、ウォール コネクタが固定配線の場合、電気技術者にウォール コネクタまでの建物の配線接続の調査を依頼してください。ウォールコネクタの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a013

充電不可 - 充電ハンドルが過熱 充電ハンドルまたはポートの異物を確認下さい

このアラートの意味：

加熱防止（ラッチオフ）。

対応策：

コネクタが車両の充電ポートに確実に挿入されていて、それが何かで覆われていたり熱源が近くにいることを確認してください。通常の周囲温度（100°F または 38°C 以下）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a014

充電不可 - ウォールコネクタに問題があります ウォールコネクタは整備が必要です

このアラートの意味：

ウォール コネクタ ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクタが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題



対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a015

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a016

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CC_a017

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a018

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a019

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。



3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a020

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a021

充電不可 - マスターウォールコネクターなし マスターがオンで使えることを確認して下さい

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ウォールコネクターは1台のみをプライマリーに設定してください。

対応策:

1台のウォールコネクターのみがプライマリーとして設定できます。担当した電気工事は以下を確認します:

1. ウォールコネクターは1台のみをプライマリーに設定します。
2. プライマリーユニットにリンクされている他のすべてのウォールコネクターは、ペアの位置（F位置）に設定されます。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CC_a022

充電不可 - マスターが複数あります マスターのウォールコネクタは 1 台のみです

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ウォールコネクタは 1 台のみをプライマリーに設定してください。

対応策:

1 台のウォールコネクタのみがプライマリーとして設定できます。担当した電気工事士は以下を確認します：

1. ウォールコネクタは 1 台のみをプライマリーに設定します。
2. プライマリーユニットにリンクされている他のすべてのウォールコネクタは、ペアの位置（F 位置）に設定されます。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a023

充電不可 - ウォールコネクタが多過ぎます マスターとペアできるユニットは 3 台以下です

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: 4 個以上のウォールコネクタが同じプライマリーユニットとペアリングされています。

対応策:

電気工事士は、1 つまたは複数のペアリングされているウォールコネクタを別の回路に移動し、このロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワークから切断（ペアを解除する）してもらいます。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a024

充電不可 - ウォールコネクタ電流低下 現在のマスターの設定を上げる必要あり

このアラートの意味:

ロータリースイッチの設定が不正です。

対応策:

電気工事士に、ウォールコネクタの内部ロータリースイッチを有効な動作電流設定に調整してもらいます。電気工事士は、最初にウォールコネクタに電気がきていないことを確認してください。スイッチ設定と電流の対応関係は、ウォールコネクタの内側に印刷されている場合があります。電気工事士は、『ウォールコネクタ取り付けマニュアル』の「動作電流を設定」の項も参照してください。

ウォールコネクタのロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）の設定をし、他のウォールコネクタとのペアリングができれば、プライマリーユニットのロータリースイッチは、ペアリングのそれぞれの片方のウォールコネクタが充電電流を 6A 以上受け取る動作電流設定に設定する必要があります。

例: 負荷分散のため、3 つのウォールコネクタがペアリングされています。プライマリーユニットは、 $3 * 6A = 18A$ 以上の電流値に設定してください。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CC_a025

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a026

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。



トラブルシューティングのアラート

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a027

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクターハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a028

充電不可 - 誤ったスイッチ設定 ウォールコネクターロータリースイッチの調整が必要

このアラートの意味:

ロータリースイッチの設定が不正です。

対応策:

電気工事士に、ウォールコネクターの内部ロータリースイッチを有効な動作電流設定に調整してもらいます。電気工事士は、最初にウォールコネクターに電気がきていないことを確認してください。スイッチ設定と電流の対応関係は、ウォールコネクターの内側に印刷されている場合があります。電気工事士は、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の「動作電流を設定」の項も参照してください。

ウォールコネクターのロードシェアリング(サーキットブレーカーの共有)の設定をし、他のウォールコネクターとのペアリングができれば、プライマリーユニットのロータリースイッチは、ペアリングのそれぞれの片方のウォールコネクターが充電電流を6A以上受け取る動作電流設定に設定する必要があります。

例: 負荷分散のため、3つのウォールコネクターがペアリングされています。プライマリーユニットは、 $3 \times 6A = 18A$ 以上の電流値に設定してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CC_a029

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクタと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクタのサーキットブレーカーをオフにして10秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクタを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクタまたはモバイルコネクタに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a030

充電不可 - マスター/ユニットペアの不一致 現在のウォールコネクタの定格が一致する必要あり

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ペアリングしたウォールコネクタの最大電流容量が異なります。

対応策:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワークにペアリングできるのは同じ最大電流容量のウォールコネクタのみです。電気工事士は、ウォールコネクタのタイプラベルで、電流容量がマッチしていることを確認してください。また、電気工事士は、同じ部品番号のウォールコネクタでペアリングすることを推奨します。ペアリング対象ユニットが互換性があることを簡単に確認できるからです。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a041

充電速度低下 - ウォールコネクタ接続部熱い コンセントまたはウォールコネクタの配線の点検要

このアラートの意味:

ウォールコネクタによる高温検出アラートは、ウォールコネクタへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクタを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクタの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクタへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォールコネクタまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクタの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CC_a043

ウォールコネクターの設定を完了する必要あり 設置ガイドを参照して充電を有効にしてください

このアラートの意味:

ウォールコネクターの設定が未完了です。

対応策:

ウォールコネクターを試運転して、サーキットブレーカーのサイズと保護アースの接続タイプを正しく設定する必要があります。

詳細についてはウォールコネクターの設置マニュアルにある試運転手順を参照してください。問題が解決しない場合、電気工事業者に連絡してウォールコネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。業者は電力出力およびアース接続が、ウォールコネクターの設置ガイドに従って正しく設定されているかを確認する必要があります。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CP_a004

充電機器が認識されません 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

充電ケーブルが挿入されているかどうか、または接続されている充電ケーブルの種類を充電ポートが検知できない。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ケーブルが接続されているときにこのアラートが表示された場合、充電機器または車両の原因による問題かを判断します。別の外部充電機器を使用して車両の充電を試してみます（充電ケーブル、充電ステーション、充電用駐車場など）。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ケーブルが接続されていないときにこのアラートが発生する場合、または問題が車両にあると疑われる場合、充電ポート入口および充電ケーブルコネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイルコネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#)を参照してください。

CP_a010

充電機器に通信エラーが発生しました 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

外部充電機器と有効な通信ができないために車両を充電できません。充電機器からの有効なコントロールパイロット信号を検知できません。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。



対応策:

まず、有効な通信がない原因が、外部充電機器によるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

別の外部充電機器を使用して車両の充電を試してみます（充電ケーブル、充電ステーション、充電用駐車場など）。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

問題が車両にあると疑われる場合、充電ポート入口および充電ケーブルコネクタに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#)を参照してください。

CP_a043

充電ポート ドア センサー故障

充電ポートが作動しない場合があります

このアラートの意味:

充電ポート ドア センサーの1つが正常に機能していません。この故障が発生すると、充電ポートは充電ポート ドアの位置を正確に検知できなくなり、充電ポートは予定通りに作動しなくなる可能性があります。

- 充電ポート ドアが開いているときに、充電ポート ラッチが断続的にかかったままになります。
- 充電ポート ドアが開いているとき、充電ポートのライトが断続的しか点灯しなくなる可能性があります。

対応策:

充電ポート ドアを閉じ、再度開いてみます。

詳細な情報については、[充電ポートを開ける ページ 176](#)を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#)を参照してください。

CP_a046

充電機器の通信が失われました

電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両と外部充電機器との間の通信が中断したため充電が停止した。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはインジケーターなどを確認して電源が入っているかどうかを確認します。

機器の電源が入っていない場合、外部充電機器の電源が復旧できるかどうか試みます。

- 公共の充電ステーションで充電する場合で電源が復旧できない場合、その充電ステーションの管理者に連絡します。



トラブルシューティングのアラート

- 専用の充電ステーション（自宅など）で充電する場合で電源が復旧できない場合、電気工事業者に連絡します。

機器の電源が入る場合、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CP_a051

押したときに充電ポートが開かない可能性 別の方法で充電ポートを開いてください

このアラートの意味:

充電ポート ドア センサーの1つが正常に通信していません。充電ポート ドアが押されたときに充電ポートが開くリクエストを認識しない可能性があります。

対応策:

また、次のような一般的な方法を使用して、充電ポート ドア開くこともできます。

- 車両のタッチスクリーンを使用してください。
- Tesla モバイルアプリを使用してください。
- 車両のロックを解除した状態で、ウォール コネクタ、モバイル コネクタ、またはスーパーチャージャーを含む T 充電ケーブルの充電ハンドル ボタンを押す。
- キーフォブのトランク ボタンを押し続ける。

詳細な情報については、[充電ポートを開ける ページ 176](#)を参照してください。

CP_a053

充電不可 - 充電ステーションが停止しています 充電ポストを確認するか、別の充電ポストをお試しください

このアラートの意味:

充電機器の準備ができていないため、充電を開始できません。充電ハンドルが検出されましたが、充電ステーションは車両と通信していません。この問題の想定原因:

- 充電ステーションに電力が供給されていません。
- 充電ステーションと車両との間の制御パイロット信号が中断されました。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電を試してみてください。別の充電機器あるいは別の充電ステーションで

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。



モバイル コネクタまたはウォール コネクタを使用している場合は、まず前面にあるステータス ライトを確認します。ステータス ライトが表示されない場合は、電源を確認し、電気工事士に連絡して、壁のコンセントにつながる建物側の配線接続を調べて、すべての配線が正しく接続され、しっかり締めつけられていることを確認します。

他の外部充電機器を使用している場合は、ステーションに電源が供給されていることを確認するために、製品のオーナーズマニュアルを参照してください。必要に応じて、電気工事士に連絡して、建物側の配線と充電機器を点検してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

CP_a054

充電ポート ラッチが接続されていません 充電ケーブルを完全に差し込むか障害物を確認

このアラートの意味:

充電ポート口で充電ポート ラッチが充電ケーブルを固定しない。ラッチがはまらない場合は、AC 充電 (Tesla モバイル コネクタまたはウォール コネクタでの充電など) では電流が 16 A に制限され、DC 急速充電/スーパーチャージャー充電は利用できません。

充電ポート ライトは、AC 充電中にこのアラートが表示されると、黄色で点滅し、DC 充電/スーパーチャージャー充電を試みているときにこのアラートが表示されると、黄色で点灯します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。

車両が充電を開始し、充電ポート ライトが緑色で点滅した場合、その充電ケーブルは前回完全に挿入されていなかった可能性があります。AC 充電は既に制限されず、DC 急速充電/スーパーチャージャーが使用できるようになります。

充電が依然制限されている場合、または車両がまったく充電をしない場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクタに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

充電がまだ制限されている場合、または車両がまったく充電されない場合は、充電ポートのラッチ マニュアル リリース ケーブル (トランクの左側にある) が引かれていないことを確認してください。手動ケーブル リリースのためのハンドル (通常リング状または紐) に障害物がなく (荷物ネットや傘など) が取り付けられていないことを確認します。充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す ページ 180](#)を参照してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#)を参照してください。

CP_a055

充電機器の通信が失われました 電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両と外部充電機器との間の通信が中断したため充電が停止した。



トラブルシューティングのアラート

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはインジケーターなどを確認して電源が入っているかどうかを確認します。モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

機器の電源が入っていない場合、外部充電機器の電源が復旧できるかどうかを試みます。

- 公共の充電ステーションで充電する場合で電源が復旧できない場合、その充電ステーションの管理者に連絡します。
- 専用の充電ステーション（自宅など）で充電する場合で電源が復旧できない場合、電気工事業者に連絡します。

機器の電源が入る場合、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

CP_a056

充電が停止しました - 充電ケーブルが外れています 充電ポートを閉じる - ブレーキペダルを踏み再試行

このアラートの意味:

充電ポートと充電ケーブルの接続が不意に遮断されたことを車両が検知したために充電が停止しました。

対応策:

充電ケーブルを外す前に、充電を停止したことをまず確認してください。

一部の外部充電機器を使用した場合、充電ハンドルのボタンを押すと充電が停止する可能性があります。

また、車両のタッチスクリーン、Tesla モバイル アプリ、または充電ステーションからも充電を停止することができます。

詳細な情報は、[充電の停止 ページ 178](#)を参照してください。

CP_a058

充電不可 - プラグを外して再試行 または DC 急速充電/スーパーチャージングを試してみる

このアラートの意味:

車両が以下の状態の 1 つを検出したために AC 充電はできません。また、充電しようと多数試みたが成功しませんでした。

- 充電ケーブルが挿入されているかどうか、または接続されている充電ケーブルの種類を充電ポートが検知できません。
- 車両が充電ステーションからの有効なパイロットコントロール信号を検知することができず、外部充電機器との有効な通信を行なうことができません。
- 車両と外部充電機器の通信が遮断されています。
- 外部充電機器が、車両の充電を阻止するエラーを報告しました。

このアラートが存在している場合、より具体的な状態を示すアラートが少なくとも 1 つ必ず存在します。

対応策:



詳細情報およびトラブルシューティングの提案については、車両のタッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「通知」にタッチして充電に関わるその他の最新アラートを確認してください。

CP_a066

充電機器準備未完了

機器の説明書を見て充電を開始してください

このアラートの意味:

充電ステーションが車両と通信中で、その外部充電機器の準備が完了していないか、充電が認証されていないために充電を開始できません。充電ステーションと車両の間のコントロールパイロット信号は、充電を開始することを車両が許可されていないことを示します。

これが発生するのは以下が理由です。

- 充電ステーションが能動的に充電の遅延を生じている。例えば、ステーションが予約充電機能を有効にしているためにこの状態が生じます。
- 充電セッションを開始できるようになるためには充電ステーションをさらに有効にする必要があります。ステーションが車両に充電を開始する前に、充電カード、モバイルアプリ、またはクレジットカードといった追加認証が必要となる場合があります。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電を可能にするために必要な手順について述べている指示について、充電ステーションを点検します。例えば、タッチスクリーン端子、LED ステータス インジケータ、印刷された説明書、指針となる支払インターフェースを探します。現在の充電ステーションに充電することができない場合、他の充電機器を使用するか、他の充電ステーションにおいて、車両を充電してください。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#)を参照してください。

CP_a078

ケーブル閉塞 - 充電ポートのラッチが凍結したおそれ

モバイルアプリの「車の霜取り」ボタンを使用してみてください

このアラートの意味:

充電ポートラッチが充電ケーブルのラッチの解除をすることができず、低い外気温が検出されました。

対応策:

ケーブルのひずみを取り除くため、充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。もう一度実行して充電ケーブルのラッチを解除します。

依然、充電ケーブルを取り外すことができない場合、充電ポートのラッチが凍結する可能性があります。

充電ポートラッチの氷を溶かすために、Tesla モバイルアプリの「車の霜取り」ボタンを押して、約 30~45 分間、車両の霜取りをします。



トラブルシューティングのアラート

注: 車両の霜取りには、モバイルアプリの「車の霜取り」を確実に使用してください。車両のタッチスクリーンで空調設定を調節しても効果はありません。

車両のタッチスクリーンからリア デフロスターをオンにしても、充電ポート ラッチに影響のある氷を溶かすことができます。車両によっては充電ポートヒーターが装備されており、寒冷気象でリア デフロスターをオンにするとヒーターもオンになります。

寒冷気象時の充電に関する詳細については[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 157](#)を参照してください。

充電ケーブルを取り外すことが依然としてできない場合、車両のトランク内にある充電ポート手動リリースを試してみてください。

1. 車両が能動的な充電をしていないことを確認してください。
 - 車両のタッチスクリーンで充電画面にアクセスします。
 - 必要に応じて、「充電を停止」にタッチします。
2. リア トランクを開きます。
3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。
 - **注:** 取り外しケーブルはリア トランクの左側にあります。トランクのインテリアトリムの小さな開口部内にはまっている場合があります。
4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。

充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す ページ 180](#)を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#)を参照してください。

CP_a079

充電速度低下 - 充電ポートのが凍結したおそれ

モバイルアプリの「車の霜取り」ボタンを使用してみてください

このアラートの意味:

充電ポート入口で充電ポート ラッチが充電ケーブルを固定できず、低外気温を検知しています。ラッチが掛からない場合、AC 充電 (Tesla モバイル コネクターまたはウォール コネクターでの充電など) では電流が 16 A に制限され、DC 急速充電/スーパーチャージャー充電は利用できません。

充電ポート ライトは、AC 充電中にこのアラートが表示されると、黄色で点滅し、DC 充電/スーパーチャージャー充電を試みているときにこのアラートが表示されると、黄色で点灯します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。車両が充電を開始し、充電ポート ライトが緑色で点滅した場合、その充電ケーブルは前回完全に挿入されていなかった可能性があります。AC 充電は既に制限されず、DC 急速充電/スーパーチャージャーが使用できるようになります。

充電がまだ制限されている場合、または車両がまったく充電されない場合は、充電ポートのラッチ マニュアル リリース ケーブル (トランクの左側にある) が引かれていないことを確認してください。手動ケーブル リリースのためのハンドル (通常リング状または紐) に障害物がなく (荷物ネットや傘など) が取り付けられていないことを確認します。充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す ページ 180](#)を参照してください。

充電が依然制限されている場合、または車両がまったく充電をしない場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

ごみや異物がないか点検して取り除いたけれども充電に依然制限がある場合、または車両がまったく充電しない場合、充電ポートのラッチが凍結している可能性があります。充電ポート ラッチの氷を溶かすために、Tesla モバイル アプリの「車の霜取り」ボタンを押して、約 30~45 分間、車両の霜取りをします。

注: 車両の霜取りには、モバイルアプリの「車の霜取り」を確実に使用してください。車両のタッチスクリーンで空調設定を調節しても効果はありません。



車両のタッチスクリーンからリア デフロスターをオンにしても、充電ポート ラッチに影響のある氷を溶かすことができます。車両によっては充電ポートヒーターが装備されており、寒冷気象でリア デフロスターをオンにするとヒーターもオンになります。

寒冷気象時の充電に関する詳細については[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 157](#)を参照してください。

このアラートが依然存在する場合でも、制限された AC 充電は依然として使用できるようになっています。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#)を参照してください。

CC_a101

充電速度低下 - ウォールコネクター接続部熱い コンセントまたはウォール コネクターの配線の点検要

このアラートの意味:

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォール コネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

ウォール コネクターの設置ガイドは[ここ](#)から入手できます。

CP_a102

充電不可 - ウォールコネクター接続部が過熱 コンセントまたはウォールコネクターの点検が必要

このアラートの意味:

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォール コネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CP_a143

充電アダプターにアーク放電の危険あり 別の充電装置を使用してください

このアラートの意味:

車両が、複合充電システム (CCS) の充電ハンドルを車両の充電ポートに接続するために使用されたサードパーティの充電アダプターにアーク放電の危険を検出したため、充電ができなくなっています。

このサードパーティの充電アダプターを使用して充電している時にプラグを抜こうとすると、アーク放電が発生し、重傷や物的損害が発生する可能性があります。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

以下の手順に従ってリスクを軽減してください。

- 充電が完全に停止していることを確認します。
 1. 車両のタッチスクリーンを使用して、充電が停止していることを確認し、必要に応じて充電を停止させます。
 2. 充電ステーションのディスプレイとコントロールを使用して充電が停止していることを確認し、あるいは実行中の充電セッションを終了します。
- 車両の充電ポートで緑色または青色のライト（LED）が点滅していないことを確認します。
- 充電アダプターを車両の充電ポートから外します。
- 実行中の充電セッションがないことが充電ステーションに表示されていることを再度確認します。
- 充電アダプターを充電ハンドルから外します。

別の充電装置を使用して車両を充電します。充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#) を参照してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#) を参照してください。

CP_a151

充電ポートでエラーを検出 - サービスが必要です

AC 充電が機能しない可能性あり / スーパーチャージャー充電は可能です

このアラートの意味:

車両の充電ポートでサービスが必要です。充電ポートは、有効なコントロールパイロット信号を確立できず、一部の AC 充電機器および電源と効率的に通信することができません。

このアラートが表示されている間は、Tesla 以外の充電ステーションでの AC 充電と DC 急速充電が制限されているか、利用できない場合があります。

対応策:

できるだけ早く車両の充電ポートを点検するサービスを予約することをお勧めします。

その間、スーパーチャージャー充電が継続して利用可能です。スーパーチャージャーのある場所は車両のタッチスクリーンの地図に表示することが可能です。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#) を参照してください。

AC 充電は、Gen 2 モバイル コネクタまたは Gen 3 ウォール コネクタを使用すると利用可能です。ただし、車両の充電ポートが Tesla 充電製品と通信できることを確認することをお勧めします。Gen 2 モバイル コネクタまたは Gen 3 ウォール コネクタで充電してみて、そのまま継続する前に、車両が通常どおりに充電されていることを確認してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#) を参照してください。

CP_a164

ラッチ解除リクエスト後も充電ハンドルが検出される

必要に応じて充電ポート手動リリース ケーブルを使用

このアラートの意味:

車両の充電ポートは、充電ケーブル/充電ハンドルを取り外すために複数の解除リクエストを受信した後も、まだ接続されていることを検出しています。

このアラートは、充電ポートのラッチが期待どおりに充電ケーブルを解除していない可能性があります。

対応策:



充電ケーブルが複数回の解除試行の後に充電ポートから取り外せない場合は、車両のトランクにある手動リリースケーブルを試してみてください。

1. 車両が能動的な充電をしていないことを確認してください。
 - 車両のタッチスクリーンで充電画面にアクセスします。
 - 必要に応じて、「充電を停止」にタッチします。
2. リアトランクを開きます。
3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。
 - **注:** 取り外しケーブルはリアトランクの左側にあります。トランクのインテリアトリムの小さな開口部内にはまっている場合があります。
4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。

充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す ページ 180](#) を参照してください。

依然、充電ケーブルを取り外すことができない場合、充電ポートのラッチが凍結する可能性があります。

充電ポートラッチの氷を溶かすために、Tesla モバイル アプリの「**車の霜取り**」 ボタンを押して、約 30~45 分間、車両の霜取りをします。

注: 車両の霜取りには、モバイル アプリの「**車の霜取り**」を確実に使用してください。車両のタッチスクリーンで空調設定を調節しても効果はありません。

車両のタッチスクリーンからリアデフロスターをオンにしても、充電ポートラッチに影響のある氷を溶かすことができます。車両によっては充電ポートヒーターが装備されており、寒冷気象でリアデフロスターをオンにするとヒーターもオンになります。

寒冷気象時の充電に関する詳細については[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 157](#) を参照してください。

このアラートが複数回の走行および充電試行で繰り返し発生する場合は、できるだけ早くサービスを予約して、車両の充電ポートを検査することを推奨します。

モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

他社の外部充電機器を使用されている場合は、製造者の取扱説明書にあるトラブルシューティングをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#) を参照してください。

DI_a138

フロント モーター無効 - 走行可能 車両出力は制限される可能性あり

このアラートの意味:

車両のフロントモーターが使用できません。出力、速度および加速は減少する可能性があります。車両はリアモーターを使用して走行を続けます。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

このアラートは自動的に解消される一時的な状態によって生じている可能性があります。現在の走行中にこのアラートがクリアされた場合や、次の走行を開始したときに発生しない場合、一時的な状態によって生じたものと思われます。特に対応は必要ありません。

このアラートはフロントモーターの点検やサービスを必要とする状態を示している可能性もあります。その後の走行でもこのアラートが解消されない場合、サービス予約することを推奨します。その間は車両を運転することに問題ははありません。



トラブルシューティングのアラート

DI_a166

移動しないように車両が自動でパーキング シートベルトを装着しドアを閉めて、ギアをそのままにしてください

このアラートの意味:

運転者が車両を離れているまたは存在しないと車両が判断したために、車両は自動でパーキング (P) にシフトしました。これはさまざまな環境において期待される車両の挙動です。

以下の条件が**すべて**真である場合、車両は自動的にパーキングにシフトします。

- オートパークが有効ではない
- 車両がドライブまたはリバースで 1.4 mph (2.25 km/h) よりも低い速度で移動している。
- 最後のドライバーのアクティビティが 2 秒前よりも以前に検知されている。ドライバーのアクティビティには次が含まれます。
 - ブレーキ ペダルおよび/またはアクセル ペダルを踏む
 - 車両を操縦によって操舵する

およびこれらの条件の少なくとも **2 つ** が真である。

1. ドライバー シートベルトが、バックルされていない状態で検知された。
2. ドライバーが現存するとして検出されない。
3. ドライバー ドアが、開いているとして検知された。

注: 充電ケーブルが充電ポートに接続されている場合にも、車両は自動的にパーキングにシフトします。

対応策:

パーキングへの自動シフトに関する詳細については、[ギアシフト ページ 70](#) を参照してください。

DI_a175

クルーズコントロール利用不可

このアラートの意味:

クルーズコントロールはトラフィックアウェア クルーズ コントロールなどを含めて、現在使用できません

クルーズコントロールが使用できないのは以下の原因が考えられます。

- 運転者が要望をキャンセルした。
- 運転者がシートベルトのバックルを外そうとした。
- フロントトランク、トランクまたはドアが開いたままになっている。
- 車両は、クルーズコントロールの最小速度である 18 mph (30 km/h) よりも低い速度で移動します。
- これには視認性の制限といった環境状態があります。
- バレーモードが有効。

対応策:

車両の各種操作や運転は手動で行ってください。

クルーズ コントロールの起動を妨げている条件が解消されると、クルーズ コントロールは使用できます。このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありませぬ。

詳細な情報については、[トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 104](#) を参照してください。



DI_a184

オートパーキングがキャンセルされました 制御してください

このアラートの意味:

オートパーキングがキャンセルされました。

次の理由からオートパーキングがキャンセルされた可能性があります。

- 運転者がタッチスクリーンの「キャンセル」ボタンを押しました。
- 運転者がギア レバーを使用したか、ハンドルを動かしました。
- 運転者がアクセル ペダルを踏んだか、ブレーキ ペダルを踏んだか、ドアを開きました。
- 急な坂道があります。
- 視認性に影響のある気象条件です。
- 縁石は検知できません。
- 車両にトレーラーが連結されています。

対応策:

車両を手動でパーキングするか、パーキングを終了してください。パーキングを終了したら、ブレーキをかけて、パーキングにシフトします。そうしないと、車両が動き出すおそれがあります。

次回運転時には、オートパーキングは使用できます。

詳細については、[パーキングをキャンセルする ページ 125](#) と [制限と警告 ページ 130](#) を参照してください。

DI_a185

オートパーキング緊急中止

このアラートの意味:

オートパーキングが停止し、電子パーキング ブレーキがかかりました。

次の理由からオートパーキングがキャンセルされた可能性があります。

- 運転者がタッチスクリーンの「キャンセル」ボタンを押しました。
- 運転者がギア レバーを使用したか、ハンドルを動かしました。
- 運転者がアクセル ペダルを踏んだか、ブレーキ ペダルを踏んだか、ドアを開きました。
- 急な坂道があります。
- 視認性に影響のある気象条件です。
- 縁石は検知できません。
- 車両にトレーラーが連結されています。

対応策:

車両を手動でパーキングするか、パーキングを終了してください。

次回運転時には、オートパーキングは使用できます。

詳細については、[パーキングをキャンセルする ページ 125](#) と [制限と警告 ページ 130](#) を参照してください。

トラブルシューティングのアラート

DI_a190

リアタイヤのトレッド深さが小さい - サービスを予約 タイヤのローテーション/交換を点検

このアラートの意味:

注: このアラートは、タイヤのパンクを示すものではありません。

車両で、リアタイヤの摩耗がフロントタイヤより大きく、その摩耗量の差異は推奨される量を超過していることが検出されました。

対応策:

すべてのタイヤのトレッド深さを点検することが推奨されます。通常の運転でタイヤは摩耗し、リアタイヤはフロントタイヤよりも早く摩耗するのが普通です。

タイヤのローテーションを行うことで、すべてのタイヤをバランスよく摩耗させることができます。スタaggerドタイヤ (前後のタイヤサイズが異なる) が取り付けられている場合、前後のタイヤを車両の左側と右側の間で定期的にローテーションさせると、タイヤがより均等に摩耗し、寿命が延びます。

推奨された通りにタイヤをローテーションさせないと、ハイドロプレーニング現象が発生し、濡れた路面で車両をコントロールできなくなる恐れがあります。タイヤのローテーションを行わないと、タイヤの寿命も短くなり、交換が必要な日も早くなります。

Tesla モバイル アプリまたは最寄りのタイヤショップでサービスを予約し、次の場合にタイヤのローテーションを行うことが推奨されます。

- フロントタイヤとリアタイヤのトレッド深さの差が 1.5mm を超える
- 車両は、前回のローテーションから 6,250 マイル (10,000 km) 以上走行した

リアトレッドの深さが危険なレベルと判定され、以下のいずれかの条件が当てはまる場合、タイヤを交換する必要がある可能性があります。

- タイヤローテーションがもはや適切ではない場合
- スタaggerドタイヤ (前後で異なるサイズのタイヤ) を装着しているため前後でローテーションが行えない場合

タイヤの点検を行い、必要なタイヤのサービスを終えたら、車両のタイヤ構成を更新して、車両設定をタイヤに最適化し、少なくとも 6,250 マイルの間、警告をクリアします。詳細な情報は、[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 189](#) を参照してください。

タイヤのトレッドの深さを定期点検せずに、このアラートだけに依存することは推奨されません。この警告は、推奨サービス間隔をおおきく超過していると推定した場合に限って表示されます。

この警告は Tesla のタイヤに対してキャリブレーションされており、別のタイヤブランドやモデルを含む異なるタイプまたはサイズのタイヤに対して使用されることを想定していません。Tesla が推奨していないタイヤを装着している車両の場合、表示が出ない、または早期に表示が出てしまう可能性があります。推奨されるタイヤに関する詳細については、[ホイールとタイヤ ページ 220](#) を参照してください。

DI_a245

車両ホールド機能利用不可 停車中はブレーキを踏み続けてください

このアラートの意味:

システム上の制約のため、現在、「車両ホールド」を使用できません。停止時には、ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停止させ、車両を停止した状態を維持してください。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。



このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細については、[オートブレーキ ホールド ページ 84](#) を参照してください。

DIF_a251 / DIR_a251

ギアボックス フルードのサービスが推奨されます サービスを予約する

このアラートの意味:

車両がギアボックス フルードの点検が必要な状態にあることを検出しました。

対応策:

サービスを予約することをお勧めします。

このアラートがあっても車両を運転することに問題はありません。ただし、この警告が表示された状態で長期間運転を続けると、ギアボックスやパワートレインに永久的な損傷が生じる恐れがあります。

EPBL_a195 / EPBR_a195

移動しないように車両が自動でパーキング シートベルトを装着しドアを閉めて、ギアをそのままにしてください

このアラートの意味:

運転者が車両を離れているまたは存在しないと車両が判断したために、車両は自動でパーキング (P) にシフトしました。これはさまざまな環境において期待される車両の挙動です。

以下の条件がすべて真である場合、車両は自動的にパーキングにシフトします。

- オートパークが有効ではない
- 車両がドライブまたはリバースで 1.4 mph (2.25 km/h) よりも低い速度で移動している。
- 最後のドライバーのアクティビティが 2 秒前よりも以前に検知されている。ドライバーのアクティビティには次が含まれません。
 - ブレーキ ペダルおよび/またはアクセル ペダルを踏む
 - 車両を操縦によって操舵する

およびこれらの条件の少なくとも 2 つが真である。

1. ドライバー シートベルトが、バックルされていない状態で検知された。
2. ドライバーが現存するとして検出されない。
3. ドライバー ドアが、開いているとして検知された。

注: 充電ケーブルが充電ポートに接続されている場合にも、車両は自動的にパーキングにシフトします。

対応策:

パーキングへの自動シフトに関する詳細については、[ギアシフト ページ 70](#) を参照してください。

ESP_a118

ブレーキ性能低下アシストを起動 停止するには、ペダルを強く踏み続けてください

このアラートの意味:



トラブルシューティングのアラート

油圧フェード補正が有効です。このブレーキアシスト機能は、車両がブレーキ性能の低下を検出した場合にブレーキ能力を確保するために一時的に作動します。

このアシスト機能が作動すると、ブレーキペダルが足から離れるのを感じ、ブレーキ圧力が大幅に増加することに気付く場合があります。また、車両前部にあるブレーキ油圧ユニットからポンピング音が聞こえる場合があります。これは通常、路面と車速に応じて数秒間続きます。これは正常な状態であり、車両の問題を示すものではありません。

対応策:

ブレーキペダルは通常どおり使用してください。ペダルを「ポンピング」（繰り返し押し離す）すると機能が中断されます。

このアラートは、車両が停止するか、ブレーキペダルを踏んでいないときに解除されます。解除後、アラートは最大 5 秒表示される場合があります。

通常、ブレーキ性能の低下は一時的なものであり、急ブレーキによるブレーキ温度上昇、極端な低温または雨天時の運転など、さまざまな理由で発生する可能性があります。また、ブレーキパッドまたはローターが摩耗し、定期交換が必要なことを示している場合もあります。

しばらく時間が経過してもブレーキ性能の低下が改善されない場合は、Tesla サービスに連絡してブレーキの点検を依頼してください。

詳細な情報は、[油圧フェード補正 ページ 78](#) を参照してください。

PCS_a016

充電できません - グリッド電力の品質が低い可能性あり 再試行するか他の充電場所やスーパーチャージングを試してください

このアラートの意味:

車両を AC 電源で充電することを阻む条件があるため、充電が停止しました。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

これは、外部充電器または電力網によって引き起こされる電力障害が原因で発生する場合があります。場合によっては、この状態は、近くにある大量の電力を消費する電気機器を使用したことで発生することもあります。

このような考えられる原因を除外できる場合は、車両自体が AC 充電に影響を与えている可能性があります。

対応策:

このアラートに付随して AC 充電に影響を与える状態を示す別のアラートが発生している場合、そのアラートの調査を先に開始してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクタを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクタに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクタを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクタなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクタに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクタに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#) を参照してください。

複数の場所で異なる充電装置を使用して充電しようとしてもアラートが消えない場合、サービスを予約することを推奨します。



モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a017

充電停止 - 充電中に停電 電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

充電途中で電源が切れました。充電機器の電源（壁面コンセントなど）損失か、充電器の問題が原因と考えられます。

対応策:

このアラートは、しばしば問題を特定し、トラブルシューティングするのに役立つ他のアラートを伴っていることがあります。充電問題に関連して表示された他のアラートを調査開始します。

あるいは、モバイル コネクタやウォール コネクタのステータス ライトをチェックして、装置までの電源を確認し、さらに点滅コードに従って製品のオーナーズ マニュアルでトラブルシューティング情報を参照してください。他の（Tesla 以外の）外部充電器を使用している場合は、トラブルシューティングの助けになるディスプレイや他のユーザーインターフェイスを確認してください。

明らかに充電機器に電源が切れている場合は、壁面コンセントやウォール コネクタのサーキット ブレーカーが切れていないか確認してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクタを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクタに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクタを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクタなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクタに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクタに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#) を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a019

電力システムまたは車両の問題によって AC 充電が制限される プラグを抜いてから再試行/別の充電現場を試す

このアラートの意味:

車両の AC 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限されています。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

これは、外部充電器または電力網によって引き起こされる電力障害が原因で発生する場合があります。場合によっては、この状態は、近くにある大量の電力を消費する電気機器を使用したことで発生することもあります。

このような考えられる原因を除外できる場合は、車両自体が AC 充電に影響を与えている可能性があります。



トラブルシューティングのアラート

対応策:

このアラートに付随して AC 充電に影響を与える状態を示す別のアラートが発生している場合、そのアラートの調査を先に開始してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクタを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクタに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクタを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクタなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクタに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクタに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

複数の場所で異なる充電装置を使用して充電しようとしてもアラートが消えない場合、サービスを予約することを推奨します。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a032

グリッド電源の品質低下を検出 他の充電設備または場所で再試行

このアラートの意味:

車両の AC 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限または中断されています。DC 充電/スーパーチャージャー 充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器が、電力網の電力障害を検出しました。これらの障害は、車両の充電プロセスと干渉します。

これらの電力障害の一般的な原因は次のとおりです。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 外部充電器の異常。
- 洗車機や空調ユニットといったその他の大型電気機器が、一時的に大きな電力を消費し、電力網を阻害した場合。
- 電力網に影響を与える外的条件。

対応策:

このアラートは、一般に、外部充電器と電源に特有のもので、一般整備で対応できる車両問題とは異なります。したがって、以下の対応をお勧めします。

- 別の壁面コンセントで充電を試してください。
- その他の大型電気機器が電力を消費していない場合、充電を再度試みてください（いったん外してから再接続して再試行）。
- 複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。



モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a052

外部充電機器が給電不可 電源を確認するか、別の機器で再試行

このアラートの意味:

車両を AC 電源で充電することを阻む条件があるため、充電を開始することができませんでした。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両が外部充電器に AC 電源を要求しましたが、車載充電器は外部充電器からの供給電圧を検出していません。

これは、外部充電器固有のハードウェア問題が原因である場合があります。これにより、要求されたときに充電器が車両の充電をオンまたはオフに切り替えることができなくなります。外部充電器に影響を与える別の問題、または車両自体に影響を与える問題が原因で発生する可能性もあります。

対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#) を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a053

充電速度低下 - 不測の電圧降下 延長コードを外します/配線の点検が必要

このアラートの意味:

充電中に大きな電圧降下を検出したため、車載充電器が充電速度を下げました。

これには以下のような理由が考えられます。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 求められる充電電流に対応していない延長コードまたはその他の配線。

この問題は車両の充電中に、電気機器が同じ分岐回路から大きな電力を消費している場合も起こる可能性があります。

対応策:

普段よく充電する場所で同じ問題が何度も発生する場合は、電気工事士に連絡して電気設備の点検を依頼してください。電気工事士が確認すべき点は次の事項です。

- 接続されている充電機器およびそこから建物までの接続。
- モバイル コネクタを接続するすべての壁面コンセントを含む建物側の配線。
- 配電網から建物に引き込まれる電気系の接続。

車両の充電電流を下げる必要があるか、またはより高い充電電流に対応するように設備をアップグレードする必要があるか、電気工事士にご相談ください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

T トラブルシューティングのアラート

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a054 大幅な電圧降下のため充電停止 延長コードを外します/配線の点検が必要

このアラートの意味:

車載充電器が異常な電圧降下を検出したため、充電が中断されました。

これには以下のような理由が考えられます。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 求められる充電電流に対応していない延長コードまたはその他の配線。

この問題は車両の充電中に、電気機器が同じ分岐回路から大きな電力を消費している場合も起こる可能性があります。

対応策:

普段よく充電する場所で同じ問題が何度も発生する場合は、電気工事士に連絡して電気設備の点検を依頼してください。電気工事士が確認すべき点は次の事項です。

- 接続されている充電機器およびそこから建物までの接続。
- モバイルコネクタを接続するすべての壁面コンセントを含む建物側の配線。
- 配電網から建物に引き込まれる電気系の接続。

車両の充電電流を下げる必要があるか、またはより高い充電電流に対応するように設備をアップグレードする必要があるか、電気工事士にご相談ください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a073 外部充電器にエラーを検知 他の充電器で再試行してください

このアラートの意味:

車両を AC 電源で充電することを阻む条件があるため、AC 充電を開始することができませんでした。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器は、外部充電器から電力が要求されていないときに充電ポートで入力電圧を検出しています。これは、外部の充電器が通常どおりに機能していないことを示しています。

これは、外部充電器固有のハードウェア問題が原因である場合があります。これにより、要求されたときに充電器が車両の充電をオンまたはオフに切り替えることができなくなります。また、外部充電器に影響を与える別の問題、または車両自体に影響を与える問題が原因で発生する可能性もあります。



対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a090

充電制限 - 一部の AC 相で電力なし 電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両の AC 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限されています。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器が、1 台または複数の電力コンバーターに必要な AC 入力電圧がないことを検出しました。例：三相充電中に、外部ソースから供給される AC 入力電力から 1 つの相が欠落している可能性があります。これは、外部充電器に影響を与える条件、接続している電源、または車両自体が原因で発生する可能性があります。

対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PM_a092 / PMF_a092 / PMR_a092

パワートレインの問題を検出 - サービスを予約してください 機能が復旧しても問題が解消しない可能性があります

このアラートの意味:

あなたの車両のパワートレインはサービスが必要です。出力、速度および加速が減速する可能性があり、車両を走行中にシャットダウンさせることが必要になる可能性があります。

このアラートはパワートレインの点検およびサービスを必要とする持続的な状態を示します。

現在のドライブの後にこのアラートが解消し、その後のドライブで戻ることがなかったとしても、サービスを実施して車両が検出したパワートレインの問題を解決する必要があります。

対応策:

できるだけ早い機会に車両のパワートレインのサービスを予約することをお勧めします。

サービスを実施しない場合、車両の出力が低下し、速度および加速度が減少した状態が続きます。運転中に車両をシャットダウンしなければならない事態や運転できない状態になる可能性があります。



トラブルシューティングのアラート

UI_a004

フロントトランクが開いています 慎重に進んでください

このアラートの意味:

車両のフロントトランク（フード）が、運転中に開いていることが検出されました。

このアラートは、フードを固定している2つのラッチ（フロントトランクのプライマリーラッチおよびセカンダリーラッチ）のうち少なくとも1つが、パーキング以外のギアにシフトされたときに完全に確実に閉じられていないことを示しています。

対応策:

走行中にフロントトランクが開く可能性がありますので、安全に停車し、パーキングにシフトするまで慎重に走行することをお勧めします。

駐車後、フロントトランク（フード）が完全に閉まっていること（両方のラッチが完全にかみ合っている）を確認してください。詳細については、[フロントトランク ページ 30](#) を閉める方法を参照してください。

車両がパーキングにシフトされると、アラートは解除されます。ただし、フードを点検して完全に閉じないと、運転の再開時にアラートが再発する可能性があります。

アラートが何度も続く場合、または運転するうちに発生頻度が高くなる場合は、早急に修理を依頼されることをお勧めします。

フロントトランクに関する詳細情報については、[フロントトランク ページ 30](#) をご参照ください。

UI_a006

整備が必要です 今すぐ/サービスを予約してください

このアラートの意味:

この警告は、サービスが必要な状態が車両に検出されると、Tesla がリモートで設定します。

この警告はさまざまな状況によって設定される可能性があります。サービスを予約すると、より詳細な情報を入手することができます。

この警告は車両のサービスが完了した後に、サービス技術者によってしかクリアすることができません。

対応策:

この警告はさまざまな状態で発生するおそれがありますので、できるだけ早くサービスを予約することをお勧めします。

UI_a137

サービスが車両に接続しています サービスがリモート診断実行中

このアラートの意味:

サービス技術者がお客様の車両に遠隔でログインし、診断または修理を行います。接続中にインフォテインメント機能の一部が使用できなくなる場合がありますが、このアラートは車両の問題を示すものではありません。

車両を運転しても問題はありません。

対応策:

このアラートは、技術者が車両の診断または修理を完了すると自動的にクリアされます。アラートがクリアされた後、完全なインフォテインメント機能を復元するには、タッチスクリーンを再起動する必要がある場合があります。詳細の情報は、車両の「[DIY ガイド](#)」にある「[タッチスクリーンの再起動](#)」を参照してください。



このアラートが 24 時間経過してもクリアされない場合は、Tesla モバイル アプリを介して、または地元業者にサービス予約することを推奨します。地元業者の選択は、車両の構成やお住いの場所により異なります。

UMC_a001

モバイル コネクタを使用した充電不可 不適切なコンセントのアース - 別のコンセントで試行

このアラートの意味:

モバイル コネクタにより電気コンセントのアースが不十分であることが検出されました。アース接続が不十分またはないためと思われます。

これはモバイル コネクタまたは車両に問題があることを示すものではありませんが、モバイル コネクタが接続している壁面コンセント/電気設備に問題があることを示します。

対応策:

電気技術者による電気設備の点検を行ってください。電気技術者はサーキット ブレーカーまたは配電ボックスが正しくアースされていることを確認する必要があります。また、モバイル コネクタを再度差し込む前にコンセントへ適切な接続がなされていることを確認する必要があります。

その間にも充電する必要がある場合、別のコンセント、別の場所、または他のタイプの充電ステーションを使用して充電を試みてください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#) を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a002

充電不可 - モバイルコネクタ漏電を検知 充電ポートから充電ハンドルを外して再試行します

このアラートの意味:

モバイル コネクタの漏電遮断器 (GFCI) が落ちたため、車両は充電を行えません。

壁付けコンセントの GFCI 同様、この機能は、問題がある時に電気の流れを遮断するように設計されています。充電を中断して車両と充電機器を保護します。

これは、さまざまな要因により発生します。充電ケーブル、充電ハンドル、充電ポート、または車載コンポーネントに問題が発生しています。

対応策:

水が溜まっていたり、いつもより結露が多く付着していないか、充電ポートと充電ハンドルを点検します。過剰な結露に気づいたら、もう一度試す前に、待機して、充電ポートの内側と充電ハンドルの露出部分の両方を十分に乾かします。

充電機器に損傷がないか点検してください。

- ケーブルに何か損傷があるか、ケーブルが劣化している場合、**使用しないでください**。別の充電機器をお試しください。
- ケーブルが良好な状態である場合、同じモバイル コネクタを使用して充電を再度お試しください。

問題が解決しておらず充電できない場合、別の充電機器を使用して充電をお試しください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。



トラブルシューティングのアラート

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a004

モバイルコネクタを使用した充電はできません 電圧超過 / 別の壁面コンセントをお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクタが以下の**いずれか**に該当するため、車両を充電できないか、充電が中断されています。

- 壁付けコンセントの電圧が異常に高い、または
- 壁面コンセントで想定外の供給電圧上昇が検出されている。

対応策:

別の壁付けコンセントを使用して、車両の充電をお試しください。別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。電気工事業者に連絡し、このコンセントまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。

別の壁付けコンセントを試しても車両が充電されない場合、別の場所で充電をお試しください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a005

モバイルコネクタを使用した充電はできません 電圧低下 / 別の壁面コンセントをお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクタが以下の**いずれか**に該当するため、車両を充電できないか、充電が中断されています。

- 壁付けコンセントから十分な供給電圧を検知していない、または
- 壁付けコンセントから予期せぬ供給電圧の低下が検出されている。

対応策:

別の壁付けコンセントを使用して、車両の充電をお試しください。別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。電気工事業者に連絡し、このコンセントまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。

別の壁付けコンセントを試しても車両が充電されない場合、別の場所で充電をお試しください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。



UMC_a007

モバイル コネクタ制御 ボックスの温度が高い モバイル コネクタの温度を下げてから充電を再開してください

このアラートの意味:

モバイル コネクタが制御ボックスハウジング内の高温を検知したために充電が中断しました。

対応策:

モバイル コネクタが何かで覆われていたり、熱源が近くにいることを確認してください。通常の周囲温度（100°F または 38°C 未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a008

充電不可 - 壁プラグが高温 壁コンセントおよび配線の点検を推奨

このアラートの意味:

モバイル コネクタによる高温検出アラートは、充電に使用するコンセントが非常に高温になったため、コンセントを保護するために充電が停止したことを示しています。

これはモバイル コネクタまたは車両に問題があることを示すものではありませんが、モバイル コネクタが接続している壁面コンセント/電気設備に問題があることを示します。

コンセントに高温が発生している原因は、プラグが完全に差し込まれていないこと、コンセントへの建物の配線に緩みがあること、コンセントが摩耗し始めていることが考えられます。

対応策:

アダプターがコンセントに完全に挿入されていることを確認します。充電速度が正常な状態に戻らない場合は、電気工事業者に連絡し、コンセントおよび建物の配線を調査して必要な修理を行ってください。

コンセントが古くなっている場合は、品質の高いコンセントと交換してください。Tesla ウォールコネクタのアップグレードを検討してください。利便性および充電速度をさらに向上できます。

UMC_a009

充電不可 - 充電ハンドルの温度が高い 充電ハンドルまたはポートに異物がないか確認してください

このアラートの意味:

モバイル コネクタが、車両の充電ポートに接続している充電ハンドルの高温を検出したため、充電が中断されました。

対応策:

モバイル コネクタが車両の充電ポート入口にしっかり挿入されていることを確認してください。

充電ポート入口およびモバイル コネクタ ハンドルに障害物や水分がないか点検してください。充電ポートまたはモバイル コネクタの障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、モバイル コネクタ ハンドルを再度、充電ポートに挿入します。

さらにモバイル コネクタの充電ハンドルが何かで覆われていたり、熱源が近くにいることを確認してください。



トラブルシューティングのアラート

正常な周辺温度（100°F または 38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクタまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#) を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a010

モバイル コネクタからアダプターまでの接続部が加熱 冷えるのを待つ - アダプターをモバイル コネクタにしっかり差し込む

このアラートの意味:

モバイル コネクタが壁面プラグ アダプターと制御ボックスの間の接続に高温を検知したため、充電が中断されました。

対応策:

壁面プラグ アダプターがモバイル コネクタの制御ボックスにしっかり接続していることを確認します。

さらに壁面プラグ アダプターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

電源（壁面コンセント）からプラグを抜いたら、壁面プラグ アダプターの接続およびモバイル コネクタの制御ボックスの接続に障害物や水分がないか点検してください。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、壁面プラグ アダプターを再度モバイル コネクタに挿入してから、さらに電源（壁面コンセント）に接続します。

モバイル コネクタ制御ボックスの温度が下がり、障害物を取り除いたら、警告が消えて充電が可能になります。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#) を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a011

充電機器に通信エラーが発生しました 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクタと有効な通信ができないために車両を充電できません。モバイル コネクタは、充電ハンドルが車両にしっかり接続していることを、近接検知によって確認することができません。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、モバイル コネクタによるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

これを確認するためには、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、モバイル コネクタの問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ポート入口およびモバイル コネクタ ハンドルに障害物がないことを確認してください（必要に応じてフラッシュライトを使用）。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってからモバイル コネクタ ハンドルを充電ポートに挿入します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。



また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#)を参照してください。

UMC_a012

充電機器に通信エラーが発生しました 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクターと有効な通信ができないために車両を充電できません。モバイル コネクターは有効な制御パイロット信号を生成または維持できないことを検出しました。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、モバイル コネクターによるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

これを確認するためには、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、モバイル コネクターの問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物がないことを確認してください (必要に応じてフラッシュライトを使用)。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってからモバイル コネクター ハンドルを充電ポートに挿入します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 176](#)を参照してください。

UMC_a013

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクターは壁プラグ アダプターの温度を監視できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

1. 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクターを完全に抜きます。
2. 壁プラグ アダプターとモバイル コネクター本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - a. モバイルコネクター本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - b. 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクター本体に完全に再挿入します。



トラブルシューティングのアラート

- 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクタを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
- 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクタに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
 - アラートが続く場合は、モバイルコネクタに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクタを購入します。

それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a014

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクタが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクタは、AC アダプターが接続されているコンセントの種類を識別できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

- 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクタを完全に抜きます。
- 壁プラグ アダプターとモバイル コネクタ本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - モバイルコネクタ本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクタ本体に完全に再挿入します。
- 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクタを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
- 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクタに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
 - アラートが続く場合は、モバイルコネクタに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクタを購入します。それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a015

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:



モバイル コネクタが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクタは、AC アダプターが接続されているコンセントの種類を識別できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

1. 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクタを完全に抜きます。
2. 壁プラグ アダプターとモバイル コネクタ本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - a. モバイルコネクタ本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - b. 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクタ本体に完全に再挿入します。
3. 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクタを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
4. 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクタに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - a. アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
 - b. アラートが続く場合は、モバイルコネクタに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクタを購入します。それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a016

モバイル コネクタ制御ボックス高温 最大充電速度低下

このアラートの意味:

モバイル コネクタが制御ボックスハウジング内の高温を検知したために充電電流が一時的に低下しています。

対応策:

モバイル コネクタが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。通常の周囲温度（100°F または 38°C 未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a017

充電速度が低下 - 壁プラグが高温 壁コンセントおよび配線の点検を推奨

このアラートの意味:

モバイル コネクタによる高温検出アラートは、充電に使用するコンセントが非常に高温になったため、コンセントを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはモバイル コネクタの問題ではなく、コンセントの問題です。コンセントに高温が発生している原因は、プラグが完全に差し込まれていないこと、コンセントへの建物の配線に緩みがあること、コンセントが摩耗し始めていることが考えられます。



トラブルシューティングのアラート

対応策:

アダプターがコンセントに完全に挿入されていることを確認します。充電速度が正常な状態に戻らない場合は、電気工事業者に連絡し、コンセントおよび建物の配線を調査して必要な修理を行ってください。

コンセントが古くなっている場合は、品質の高いコンセントと交換してください。Tesla ウォールコネクターのアップグレードを検討してください。利便性および充電速度をさらに向上できます。

UMC_a018

充電電流減少 - ハンドルの温度が高い

充電ハンドルまたはポートに異物がないか確認してください

このアラートの意味:

モバイル コネクターが、車両の充電ポートに接続している充電ハンドルの高温を検出したため、充電電流が一時的に減少しています。

対応策:

モバイル コネクターが車両の充電ポート入口にしっかり挿入されていることを確認してください。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物や水分がないか点検してください。充電ポートまたはモバイル コネクターの障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、モバイル コネクター ハンドルを再度、充電ポートに挿入します。

さらにモバイル コネクターの充電ハンドルが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

正常な周辺温度（100°F または 38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクターまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a019

モバイル コネクターからアダプターまでの接続部が加熱

最大充電速度低下

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁面プラグ アダプターと制御ボックスの間の接続に高温を検知したため、充電電流が削減されました。

対応策:

壁面プラグ アダプターがモバイル コネクターの制御ボックスにしっかり接続していることを確認します。

電源（壁面コンセント）からプラグを抜いたら、壁面プラグ アダプターの接続およびモバイル コネクターの制御ボックスの接続に障害物や水分がないか点検してください。

ごみ/異物をすべて取り除くことをお勧めします。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、壁面プラグ アダプターを再度モバイル コネクターに挿入してから、さらに電源（壁面コンセント）に接続します。

さらに壁面プラグ アダプターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。正常な周辺温度（100°F または 38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクターまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション ページ 161](#)を参照してください。



モバイル コネクターステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

VCFRONT_a180

電力システムの電力減少

車は突然シャットダウンされることがあります

このアラートの意味:

電気系が車両の全機能をサポートする電圧を維持できません。

運転中にこのアラートが発生した場合、車両が突然停止する可能性があります。

車両がパーキング レンジにあるときまたは最初に起動したときにアラートがある場合、ドライブを開始するために十分な電力がない可能性がある場合があります。個々の車両アラートはその状態を示すためにあるのかも知れません。

対応策:

必須ではない機能の使用をやめるか減らすことを推奨します。こうすると車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援することができます。

このアラートが有効なままになっている場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれがあります。

VCFRONT_a182

サービスを予約し低電圧バッテリーを交換する

バッテリーを交換するまでソフトウェア更新不可

このアラートの意味:

低電圧バッテリーの性能が劣化しているため、交換する必要があります。低電圧バッテリーを交換するまで、車両ソフトウェアのアップデートはできません。

対応策:

できるだけ早急に低電圧バッテリーを交換することを推奨します。

サービス予約は Tesla モバイル アプリからや、車両の低電圧バッテリーの交換を提供する独立系サービス プロバイダーで実施することができます。独立系サービス プロバイダーの選択は、車両の構成やお住いの場所に基づいて異なる可能性があります。

低電圧バッテリーに十分な電力がないために、車両の電源を入れることができない場合やドアが開かなくなっている場合は、[ジャンプスタート ページ 232](#) の指示に従ってください。

バッテリーシステムに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 174](#) をご参照ください。

VCFRONT_a191

電力システムの電力減少

車はシャットダウン中

このアラートの意味:

低電圧バッテリーは、ドライブまたはドライブの継続に必要な電力を供給することができません。車両をシャットダウンして、ドライブ以外の重要な機能に使用するためのエネルギーを節約します。

この状態が継続している間は、車両を運転することやドライブを継続することはできません。

対応策:

運転中にこのアラートが発生した場合、車両を直ちに停止させる必要があります。以下のとおりにしてください。



トラブルシューティングのアラート

- 直ちに安全を確かめて車両を停めてください
- モバイル アプリを使用して、Tesla のロードサイドアシスタンスに直ちに連絡するか、希望するのであればその他のロードサイドアシスタンスをリクエストします。

すぐに安全な場所に停車できない場合、車両は突然シャットダウンする可能性があります。また、一旦駐車すると、車両を再始動させることができない可能性もあります。

このアラートが発生した場合、電気系は車両の全ての機能をサポートするために必要な電圧を維持できません。車両の多くの機能が作動しなくなる可能性があります。

車両がすべての電力を喪失する可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は[車内からドアを開ける ページ 25](#)を参照してください。

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報およびその他の推奨されるアクションについては、その他の能動的車両アラートを確認してください。

このアラートが依然として存在している場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれがあります。

VCFRONT_a192

電気系はすべての機能をサポートすることができない 機能をオフにしてエネルギーを節約する

このアラートの意味:

電気系はすべての車両の機能をサポートすることはできません。車両は必須ではない機能をシャットダウンして必須機能のためのエネルギーを保持します。

このアラートが出たときに走行している場合、不意に車両がシャットダウンする可能性があります。また、一旦駐車すると、車両を再始動させることができない可能性もあります。

必須ではない機能は使用できない可能性があります、これにはシートヒーター、キャビン環境コントロール、および車両内のエンターテインメントが含まれます。これは、車両が必須機能（ヘッドライト、ウィンドウ/ドア、ハザードランプおよびフロントトランク（フランク）の操作機能など）に対して十分な電力を維持するための予測される挙動です。

車両がすべての電力を喪失する可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は[車内からドアを開ける ページ 25](#)を参照してください。

対応策:

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報およびその他の推奨されるアクションについては、その他の能動的車両アラートを確認してください。

VCFRONT_a216

車両が再始動しない可能性 - サービスが必要 電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込み走行中または高速充電/DC 急速充電中のによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

電気系のサービスを実行するまで車両は再始動しません。

キャビン空調と通気口の位置調整、電動トランク リフトゲート、およびステアリング コラム調整は制限されるか使用できない可能性があります。

その他の機能も使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。これには次が含まれます。

- 電動ドア



- パワーウインドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シート ヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

できるだけ早い機会にサービスを予約することを推奨します。サービスをしない場合、車両は依然として再始動することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は、[車内からドアを開ける ページ 25](#) を参照してください。

VCFRONT_a220

電気系はすべての機能をサポートすることができないサービスの予約

このアラートの意味:

低電圧バッテリーを使用できないため、車両機能への電氣的サポートを提供できません。

車両が予期せずシャットダウンするおそれがあります。最後のドライブの後に車両を再始動させることができない可能性もあります。

必須ではない機能の一部が使用できなくなっている可能性があります。これは、車両が必須機能に対するエネルギーを維持するための予測される挙動です。

対応策:

必須ではない機能の使用をやめるか減らすことを推奨します。そうすることで、整備が完了するまでの間、運転以外の重要機能に対して、車両が十分な電力を保持することが可能になります。

このアラートが依然として存在している場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれが生じます。

VCFRONT_a402

電気系バックアップ電力利用不能 アイドリング中車両はより多くのエネルギーを消費します

このアラートの意味:

電気系のバックアップ電源である低電圧バッテリーを利用できません。または車両のすべての機能をサポートするために必要な電圧を提供できません。

一次電力源である高電圧バッテリーシステムは車両がアイドリング状態であっても、車両の機能をサポートし続けます。高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 174](#) を参照してください。

必須ではない機能の一部が使用できなくなっている可能性があります。これは、車両が必須機能に対するエネルギーを維持するための予測される挙動です。

また、運転中以外に、車両が普段よりも多くのエネルギーを消費していることや、充電後に通常予測するよりも短い予測航続距離が車両に表示されていることに気付くことがあります。このアラートが発生した場合、これは車両の通常の挙動であり、バックアップ電源を回復するまでこの状態を継続します。

一次電源に影響を及ぼす問題によって、車両が突然シャットダウンする可能性があります。

対応策:

必須ではない機能の使用を制限するか、やらないようにするを推奨します。こうすると車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援することができます。



トラブルシューティングのアラート

できるだけ早急にサービスを予約し、電気系のバックアップ電源のサービス予約をして、電気系のバックアップ電源が回復するようにすることを推奨します。

VCFRONT_a496

車両はシャットダウンの準備中 安全を確かめて停車してください

このアラートの意味:

電気系はドライブのためのまたはドライブを継続するための十分なサポートを提供できません。車両は、ドライブ以外の重要な機能のためのエネルギーを確保するためにシャットダウンする準備をしています。

この状態が継続している間は、車両を運転することやドライブを継続することはできません。

対応策:

運転中にこのアラートが発生した場合、車両を直ちに停止させる必要があります。以下のとおりにしてください。

- できるだけ早く、安全を確かめて車両を停めてください
- モバイル アプリを使用して、Tesla のロードサイドアシスタンスに直ちに連絡するか、希望するのであればその他のロードサイドアシスタンスをリクエストします。

すぐに安全な場所に停車できない場合、車両は突然シャットダウンする可能性があります。また、一旦駐車すると、車両を再始動させることができない可能性もあります。

車両がすべての電力を喪失する可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は、[車内からドアを開ける ページ 25](#) を参照してください。

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報およびその他の推奨されるアクションについては、その他の能動的車両アラートを確認してください。

VCFRONT_a592

運転不能 - サービスが必要 電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込みによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

このアラートが存在しているときは、車両を走行させることができず、車両は再始動しません。

キャビン空調、電動トランク リフトゲート、およびステアリング コラム調整は制限されるか使用できない可能性があります。車両の左側の多くの機能は使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウィンドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シート ヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

サービスをしない場合、車両は依然として走行することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は、[車内からドアを開ける ページ 25](#) を参照してください。



VCFRONT_a593 運転不能 - サービスが必要 電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込みによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

このアラートが存在しているときは、車両を走行させることができず、車両は再始動しません。

キャビン空調、電動トランク リフトゲート、およびステアリング コラム調整は制限されるか使用できない可能性があります。車両の左側の多くの機能は使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウィンドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シート ヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

サービスをしない場合、車両は依然として走行することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は、[車内からドアを開ける ページ 25](#) を参照してください。

VCFRONT_a596 運転不能 - サービスが必要 電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込みによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

このアラートが存在しているときは、車両を走行させることができず、車両は再始動しません。

通気口の配置調整は制限されるか使用できないことがあります。車両の右側の多くの機能は使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウィンドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シート ヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

できるだけ早い機会にサービスを予約することを推奨します。サービスをしない場合、車両は依然として走行することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は、[車内からドアを開ける ページ 25](#) を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

VCFRONT_a597

運転不能 - サービスが必要 電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込みによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

このアラートが存在しているときは、車両を走行させることができず、車両は再始動しません。

通気口の配置調整は制限されるか使用できないことがあります。車両の右側の多くの機能は使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウィンドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シート ヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

できるだけ早い機会にサービスを予約することを推奨します。サービスをしない場合、車両は依然として走行することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は、[車内からドアを開ける ページ 25](#) を参照してください。

VCSEC_a221

タイヤの空気圧が推奨値以下 空気圧を確認し、必要に応じて充填してください

このアラートの意味:

このアラートは、タイヤのパンクを示すものではありません。

タイヤ空気圧モニタリングシステム(TPMS)は、1 つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時タイヤ空気圧より少なくとも 20%低下していることを検知しました。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値 (RCP) の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「[タイヤ空気圧の維持](#)」 [ページ 189](#) を参照してください。

タイヤの空気は冷えると自然に収縮して、タイヤ空気圧は減少するので、このアラートは寒冷気象の際に発生する可能性があります。

対応策:

空気を入れて、推奨低温時タイヤ空気圧を維持してください。より気温の低い気象条件ではタイヤ空気圧の低下が予測されますが、常に推奨低温時タイヤ空気圧を維持するようにしてください。

車両が走行するとアラートが消えることがあります。これはタイヤが暖まることで、タイヤ空気圧が増加するためです。アラートが消えても、冷却後にタイヤに空気を入れてください。

それぞれのタイヤが推奨低温時圧力まで加圧されていることを、タイヤ空気圧モニタリングシステムが検知するとこのアラートは解消されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケータ ライトがまだ点灯している可能性があります。これら両方は短い距離を運転した後は解消します。



- タイヤ空気圧モニタリングシステムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、15 mph (25 km/h) を超えて 10 分以上運転する必要がある場合があります。

同じタイヤでこのアラートが繰り返し表示される場合は、タイヤの空気漏れがないかを点検してください。最寄りのタイヤ販売店を訪問するか、Tesla モバイル アプリを使用してサービス予約をすることができます。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 189](#) を参照してください。

VCSEC_a228

タイヤの空気圧が低すぎます

安全に車両を駐車し、パンクしていないか確認してください

このアラートの意味:

このアラートは、車両の 1 つ以上のタイヤの空気圧が極端に低いか、またはパンクしていることを示しています。

タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPMS) は、1 つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時のタイヤ空気圧より著しく低下していることを検知しました。

対応策:

注意しながらすぐに車両を路肩に停車させてください。安全な場所でパンクしていないかを確認してください。

必要に応じて、Tesla ロードサイドアシスタンス オプション (出張タイヤ交換サービス、レンタルホイール、けん引) をご依頼いただけます。さらなる詳細は、[Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 229](#) をご参照ください。

緊急時以外であれば、地域のタイヤ販売店を訪れて支援を求め、Tesla モバイル アプリを使用してサービス予約することを推奨します。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値 (RCP) の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「[タイヤ空気圧の維持](#)」 [ページ 189](#) を参照してください。

タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤ空気圧測定を行い、各タイヤの空気圧力が 30 psi であることが確認されると、アラートは解除されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケータ ライトがまだ点灯している可能性があります。これら両方は短い距離を運転した後には解消します。
- タイヤ空気圧モニタリングシステムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、15 mph (25 km/h) を超えて 10 分以上運転する必要がある場合があります。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 189](#) を参照してください。

文書の適用可能性

お客様の車両に関する最新かつ重要な情報を得るには、車両のタッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「オーナーズマニュアル」の順にタッチしてオーナーズ マニュアルを表示します。この情報は、購入された機能、車両設定、マーケット地域、およびソフトウェア バージョンに応じた、お客様の車両に特有のものです。これとは対照的にテスラが提供するオーナー情報は適宜更新されるものであり、お客様の車両に特有の情報が含まれない可能性もあります。

ソフトウェアのアップデート後に、タッチスクリーンに新機能に関する情報が表示されます。また、「コントロール」>「ソフトウェア」>「リリースノート」をタッチすれば、いつでも表示できます。車両の使用方法に関してオーナーズマニュアルの内容がリリースノートの情報と矛盾する場合は、リリースノートを優先してください。

イラスト

本文書に掲載されるイラスト図は例示のために描かれています。車両のオプション、ソフトウェア バージョン、販売地域により、車両のタッチスクリーンに表示される情報は多少異なる場合があります。

利用できる機能

ご利用になれる機能は車両構成または販売市場地域によって異なります。オーナー情報でオプションまたは機能が記されている場合がありますが、お客様の車両でご利用になれることを保証するものではありません。詳細情報については、[機能の使用可否に関する声明 ページ 289](#) を参照してください。

誤りまたは不正確な記述

すべての仕様および記述は、公開の時点で正確であることを確認済みです。ただし、改良を続けることが Tesla の目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。誤記・脱字の報告やオーナーズマニュアルの品質に関する一般的なご意見・ご提案は、ownersmanualfeedback@tesla.com までメールにてお願いいたします。

コンポーネントの位置

オーナー情報は、コンポーネントの位置を車両の左側または右側に示すことがあります。図のように、左 (1) と右 (2) はシートに座った時の車両の左側、右側を示します。



著作権および商標

© 2012-2024 Tesla, Inc. 本書にあるすべての情報およびすべての車両ソフトウェアは、Tesla, Inc. およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc. およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。Tesla はオープンソースのコミュニティによって制作されたソフトウェアを使用しています。Tesla のオープンソース ソフトウェアについてはウェブサイト www.tesla.com/opensource を参照してください。HD Radio は、iBiquity Digital Corporation の登録商標です。以下は、Tesla, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。

TESLA

TESLA MOTORS

TESLA ROADSTER

MODEL S

MODEL X

MODEL 3

MODEL Y

CYBERTRUCK

T E S L A



本ガイドに含まれる他のすべての商標はそれぞれの所有者の財産であり、係る商標の本ガイドにおける使用は、これら製品またはサービスを推奨または是認するものではありません。本書または車両に表示されている商標を不正に使用することを固く禁じます。



Tesla は常に変化しており、ソフトウェアのアップデートのたびに新しい機能が追加され、改良されています。ただし、お客様の車両で動作しているファームウェアによっては、すべての機能が搭載されていない場合や、本オーナーズマニュアルに記載されたとおりに動作しない場合があります。搭載されている機能は、販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアのアップデートなどによって異なります。

オーナーズマニュアルでオプションまたは機能が記されている場合がありますが、お客様の車両でご利用になれることを保証するものではありません。最新かつ最高の機能を確実に入手する最善の方法は、通知を受け取ったらすぐに車両のソフトウェアを更新することです。優先設定は、「コントロール」>「ソフトウェア」>「ソフトウェアの優先設定」>「詳細設定」でも設定できます。詳細情報については、[ソフトウェアアップデート ページ 185](#) を参照してください。車両で利用可能な機能については、常に現地の法律と制限を遵守して、あなた自身や同乗者、周囲の人々の安全を確保するために、必ず現地の法律や制限を遵守してください。



免責事項

イベント データ レコーダー (EDR)

Model Y には、イベント データ レコーダー (EDR) が装備されています。EDR の主な目的は、エアバッグが展開したときや道路にある障害物との衝突したときなど、事故が起こった状況や事故が起こりそうな状況で、車両システムがどのように働いたのかをより理解するのに役立つデータを記録することです。

EDR は、車両ダイナミクスおよび安全システムに関連するデータを短時間 (通常は 30 秒以下) 記録するように設計されています。Model Y の EDR は以下のようなデータを記録するように設計されています。

- 車両の諸システムがどのように機能したか
- 運転席および助手席のシートベルトがバックルに挿入され、着用されていたかどうか
- ドライバーがアクセルペダルやブレーキペダルをどれだけ押していたか
- 車両の移動速度

このデータは、事故や怪我がどのように発生するのかを理解するのに役立ちます。

注: EDR データが記録されるのは重大事故の発生時のみです。普段の運転時に、EDR でデータは記録されず、個人情報データ (名前、性別、年齢、事故発生場所など) も記録されません。しかし、法執行機関などの他の当事者は、EDR データと事故調査中に定期的に取得した個人識別可能データを組み合わせることができます。

EDR で記録されたデータを読み取るには特別な装置が必要であり、車両または EDR にアクセスする必要があります。自動車製造業者に加えて、この特殊な機器を持つ法執行機関など他の当事者は、車両または EDR にアクセス権があればその情報を読み取ることができます。衝突事故の状況によっては、Tesla が EDR に遠隔でアクセスすることがあります。

車両テレマティクス

Model Y は、モーター、オートパイロット コンポーネント、バッテリー、ブレーキおよび電気システムを含むさまざまな車両システムからのデータを監視および記録する電子モジュールが搭載されています。これらの電子モジュールは、ブレーキング、加速、距離およびその他車両に関連する情報を含む、さまざまな運転および車両の状態に関する情報を記録します。これらのモジュールは、充電イベントとステータス、各種システムの有効化/無効化、診断問題コード、VIN、速度、方向および場所など車両独自の情報も記録します。

車両に保存されるこのデータは、車両の整備中に Tesla サービス技術者によってアクセス、使用、保存することができます。または、車両のテレマティクスシステムを通じて Tesla にワイヤレスで定期的に送信することができます。このデータは次のようなさまざまな目的で Tesla が使用しますがこれらに限定されません。お客様に Tesla テレマティクスサービスを提供すること。トラブルシューティング、車両の品質、機能、性能の評価。Tesla およびそのパートナーが車両の改善と設計のために実施する分析および調査。Tesla の弁護。法律で要求された場合。車両の整備を通して、Tesla は車両のデータログを調査するだけで、遠隔から問題を解決できる場合があります。

Tesla のテレマティクスシステムは、Tesla に情報を定期的にワイヤレス送信します。データは前述の通りに使用され、車両を適切に保守するのに役立てられます。Model Y の追加機能により、車両のテレマティクス システムおよび提供される情報を使用することがありますが、これら追加機能には充電リマインダー、ソフトウェア更新、車両のさまざまなシステムに対するリモートアクセスおよび制御が含まれます。

Tesla は、以下の場合を除き車両に記録されたデータを第三者に開示することはありません:

- 車両の所有者 (またはリース車両の場合はリース会社) からの同意または合意が得られている場合。
- 警察またはその他の当局により正式に要求された場合。
- Tesla の弁護目的で使用された場合。
- 裁判所により命令された場合。
- 車両所有者の詳細情報または識別情報を開示せずに調査目的で使用する場合。
- 継承者または譲受人を含む Tesla の子会社、もしくは情報システム、およびデータ管理プロバイダーに開示する場合。

お客様の車両から収集したデータの Tesla による処理方法のその他の情報については、<http://www.tesla.com/about/legal> にある Tesla プライバシー通知を参照してください。

データ共有

品質保証と、オートパイロットなどの高度機能の継続的な改良をサポートするため、お客様の Model Y から、分析データ、道路セグメントデータ、診断データ、車両使用データが収集され、分析のために Tesla に送信されることがあります。Tesla 車が運転された膨大な走行距離の実績により、この分析を Tesla による製品とサービスの改善に役立てることができます。Tesla は、このデータを同様のデータを提供するパートナーと共有しますが、収集した情報でお客様の身元が特定されることはなく、収集した情報はお客様の明示的な同意によってのみ送信されます。お客様のプライバシー保護のため、個人情報は記録されることはなく、プライバシー保全技術の下で扱われ、あるいは Tesla に送信される前にすべてのレポートから削除されます。お客様は、「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「データ共有」にタッチすることで、共有するデータを管理できます。

お客様の車両から収集したデータの Tesla による処理方法のその他の情報については、<http://www.tesla.com/about/legal> にある Tesla プライバシー通知を参照してください。

注: ただし、本文書に記載されているように、Model Y は運転と操作に関連して GPS を使用していますが、Tesla は衝突事故が発生した場所を除き、車両固有の GPS 情報を記録または保存しません。このため、Tesla は車両の位置に関する履歴情報を提供することはできません (例えば特定日時に Model Y が駐車/走行していた場所についての記録を Tesla は取りません)。

品質管理

オドメーターの表示は Model Y の納車時に若干の数値 (数マイル/km) を示していることがあります。これは、Model Y の品質を保証するための包括的テスト プロセスの結果です。



テスト プロセスには、生産中および生産後の広範囲な検査が含まれます。最終検査は Tesla で実施され、技術者が実施するロードテストが含まれます。

サウンド ライブラリ




「無料サウンド ライブラリ」(装備されている場合)

無料のサウンド エフェクト サイトです。

ライセンス: Attribution 4.0 International (CC BY 4.0)。あなたは、商用または非商用目的のマルチメディア プロジェクトに、サウンド エフェクトを使用することを無料かつロイヤリティフリーで許可されています。

<http://www.freesoundslibrary.com>

カリフォルニア州プロポジション 65

-  **警告:** 乗用車またはオフハイウェイ指定車両の運転、サービスおよびメンテナンスに際しては、カリフォルニア州で発がんおよび先天性欠損症またはその他の生殖器機能不全の原因として知られているフタル酸エステルおよび鉛に曝されるおそれがあります。曝される危険性を最小限にするには、作業中に手袋を着用したり、まめに手を洗うなどしてください。詳細な情報については、次のリンク先をご参照ください。 www.P65Warnings.ca.gov/passenger-vehicle。
-  **警告:** エアバッグ モジュールやシートベルト プリテンションナーなど、この車両の特定のコンポーネントには、過塩素酸塩物質が含まれることがあります。整備および、耐用期間終了後の廃棄には特別な取り扱いが求められます。詳細は、 www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate をご覧ください。
-  **警告:** バッテリー ポスト、端子、関連アクセサリーには鉛および鉛化合物が含まれます。取り扱い後には手を洗ってください。

Tesla に連絡する

お客様の Model Y に関する詳細を見るには、<http://www.tesla.com> に進んでお客様の Tesla s アカウントにログインするか、アカウントをお持ちでない場合は新規でサインアップしてください。

Model Y についてご質問や懸念がある場合は、米国、カナダ、またはプエルトリコでは 1-877-79TESLA (1-877-798-3752)、メキシコでは 1-800-228-8145 までご連絡ください。

注: また、音声コマンドを使用して Tesla にフィードバックを与えることもできます。「レポート」、「フィードバック」または「バグレポート」と発話し、簡単なコメントを言ってください。Model Y 現在のロケーション、車両の診断データ、およびタッチスクリーンのスクリーンショットを含むシステムのスナップショットを取得。Tesla は定期的にこれらの情報を確認し、Model Y の継続的な改良に利用します。

安全上の不具合を報告する - 米国

お客様の Model Y に衝突事故、またはけがや死亡の原因となり得る不具合があるとお考えの場合は、ただちに Tesla にお知らせいただくとともに、国家道路交通安全局 (NHTSA) にも連絡してください。

NHTSA が同様の苦情を複数受けた場合は、調査を開始することがあります。一定の車両に安全上の不具合があることが判明した場合、リコールや修理キャンペーンを指示することがあります。ただし、NHTSA はお客様、ディーラーまたは Tesla との間の個別の問題には関与できません。

NHTSA に問い合わせるには、フリーダイヤル 1-888-327-4236、Vehicle Safety Hotline (TTY: 1-800-424-9153) に電話で問い合わせるか、www.safercar.gov にアクセス、または以下の所在地までお手紙でご連絡ください。Administrator, National Highway Traffic Safety, 1200 New Jersey Avenue SE., Washington, DC 20590. その他、自動車の安全に関する情報は、www.safercar.gov から得ることもできます。

安全上の不具合を報告する - カナダ

お客様の Model Y に衝突事故、またはけがや死亡の原因となり得る不具合があるとお考えの場合は、ただちに Tesla にお知らせいただくとともに、カナダ運輸省にも連絡してください。To contact Transport Canada, call their toll-free number: 1-800-333-0510.

FCC 認証および ISCED 認証

コンポーネント	製造元	モデル	動作周波数 (MHz)	FCC ID	IC ID
B ピラー エンドポイント	Tesla	1783148Y	13.56 2400-2483.5	2AEIM-1783148Y	20098-1783148Y
センター コンソール	Tesla	1089774	13.56 2400-2483.5	2AEIM-1089774	20098-1089774
リア エンドポイント	Tesla	1509516	2400-2483.5	2AEIM-1509516	20098-1509516
キー フォブ	Tesla	1133148	2400-2483.5	2AEIM-1133148	20098-1133148
TPMS	Tesla	1472547G	2400-2483.5	2AEIM-1472547G	20098-1472547G
キャビン内レーダー* (装備されている場合)	Tesla	1616631	60000~64000	2AEIM-1616631	20098-1616631
Homelink (装備されている場合)	Gentex	ADHL5C	286~440MHz	NZLADHL5C	4112A-ADHL5C
車両 PC	Tesla	1960400		XMR2020AG525RGL XMR202201AF51Y	10224A-2020AG525R 10224A-202201AF51Y
ワイヤレス充電器	Tesla	WC3	127.72KHz	2AEIM-WC3	20098-WC3

*キャビン内レーダーは工場取り付けだけに限定されています。

上記装置は、FCC 規則パート 15 およびカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準、EU 指令 2014/53/EU に適合していません。

操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

無線周波数情報

本装置はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル装置の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対して適切な保護を行うことを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また放射することがありますので、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に対して有害な干渉を発生する可能性があります。ただし、特定の設備において干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に対して有害な干渉を発生する場合 (本装置のスイッチのオンオフで判断可能)、以下の方法の 1 つまたは複数を行って干渉の修正を試みてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 本装置と受信機との距離を広げる。
- 装置を受信機が接続されている回路と別の回路のコンセントに接続する。
- サポートが必要な場合には、販売業者または経験のあるラジオ/テレビ技術者に相談してください。



認証適合性

⚠ 注意: 本装置およびそのアンテナは、他のアンテナや送信機のそばに設置したり、近くで動作させたりしないでください。

放射線被ばくに関する声明

本製品は、低電力消費のワイヤレス電力伝送に関する、FCC/ISED 無線周波数暴露規則に準拠しています。無線周波数暴露制限は制御されていない環境のために定められており、本マニュアルに記載されている目的の操作を安全に行うためのものです。また、無線周波数暴露のコンプライアンスに関しては、利用者の身体から 20 cm 以上離すか、可能な場合にはデバイスを最も低出力にすることで実証されたものです。

カナダ

CAN ICES-003(B)/NMB-003(B)

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radioexempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISED établies pour un environnement non contrôlé.

Déclaration d'exposition aux radiations

Le produit est conforme à l'exposition RF ISED pour le transfert de puissance sans fil de consommateurs de faible puissance. La limite d'exposition RF fixée pour un environnement non contrôlé est sans danger pour le fonctionnement prévu tel que décrit dans ce manuel. L'exposition RF supplémentaire que la conformité a été démontrée à 20cm et plus de séparation du corps de l'utilisateur ou de mettre l'appareil à la puissance de sortie inférieure si une telle fonction est disponible.

メキシコ

IFT-008-SCFI-2015 / NOM-208-SCFI-2016

TPMS、モデル: 1472547G、IFT 番号: RCPT1421-4384

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial.
2. Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.



記号

- エネルギー: 12, 78
 - 回生ブレーキの効果: 78
 - 航続距離情報: 12
- 温度: 12, 67, 151, 174, 223
 - 外部: 12
 - 車内、調整: 151
 - タイヤ: 223
 - バッテリー (高電圧)、限界: 174
 - ヒーター付きステアリングホイール: 67
- エクステリア: 3, 72, 196, 198, 199
 - 概要: 3
 - クリーニング: 196
 - 自動車用カバー: 199
 - つや出し、補修塗り、修理: 198
 - ライト: 72
- ドライバー: 89
 - プロフィール: 89
- ゲーミングコントローラー: 169
- 安全情報: 42
 - シートベルト: 42
- 引き上げ: 202
- 運転中: 34, 65
 - 座位置: 34
 - 始動: 65
- 過給: 179
 - アイドル手数料: 179
 - 混雑時料金: 179
 - 従量制プラン: 179
 - 説明: 179
- 機能の使用可否: 289
- 緊急ブレーキ操作: 138
- 緊急車線逸脱防止: 135
- 光を当てる: 73, 74
 - ウィンカー: 74
 - 降車後のヘッドライト: 73
- 高電圧: 172, 188, 220
 - 安全性: 188
 - コンポーネント: 172
 - バッテリーの仕様: 220
- 仕様: 218, 220
 - 高電圧バッテリー: 220
 - サスペンション: 220
 - サブシステム: 218
 - ステアリング: 218
 - タイヤ: 220
 - 低電圧バッテリー: 220
 - トランスミッション: 218
 - ブレーキ: 218
 - ホイール: 220
 - モーター: 218
- 自動緊急ブレーキ: 139
- 自動車線変更: 104
- 車線逸脱防止: 135
- 取り付け、LATCH チャイルドシート: 46
- 充電: 176, 177, 178
 - 充電ステータス: 177, 178
 - 充電設定: 177, 178
 - スケジューリング: 177, 178
 - 手順: 176
- 充電中: 172
 - 公共充電ステーション: 172
 - コンポーネントおよび機器: 172
- 出発予定時刻: 182
 - 使用: 182
- 商標: 288
- 衝突回避アシスト: 138
- 障害物検知走行モード: 138
- 制限速度警報: 141
- 正面衝突警告: 138
- 絶対速度制限: 141
- 相対速度制限: 141
- 側面衝突警告: 135
- 速度制限との差: 141
- 著作権: 288
- 電話: 20, 58, 60
 - アプリ: 60
 - 受話: 60
 - 接続中: 58
 - 通話中オプション: 60
 - 通話の履歴: 58
 - 認証された電話機: 20
 - 発話: 60
 - ペアリング: 58
 - 連絡先のインポート: 58
- 動かしている: 183
 - 航続距離を最大限に伸ばすヒント: 183
- 範囲: 78, 183
 - 回生ブレーキ: 78
 - 最大限に伸ばす運転のヒント: 183
- 保守: 187, 188, 189, 196, 200, 201
 - ウォッシャー液、補充: 200
 - ウォッシャー液噴出口、清掃: 201
 - クリーニング: 196
 - タイヤ: 189
 - 定期サービス: 187
 - 定期的なチェック: 188
 - フルード交換間隔: 188
 - 毎月のチェック: 187



索引

毎日のチェック: [187](#)
ワイパー ブレードの交換: [200](#)
隣接する車線の走行速度: [104](#)
連絡先: [230](#), [293](#)
 テスラ: [293](#)
 ロードサイドアシスタンス: [230](#)

数字

3 列目シートでの、乗り方: [37](#)

A

ABS (アンチロック ブレーキシステム) : [77](#)

B

Bluetooth: [58](#), [60](#), [169](#)
 一般情報: [58](#), [60](#)
 デバイス、オーディオ ファイルの再生: [169](#)
 電話、ペアリングと利用: [58](#)

C

CCS (コンボ): [172](#)
CHAdEMO: [172](#)

E

EDR (イベントデータ記録) : [290](#)

F

FCC および ISED の認証: [293](#)

G

GAWR: [213](#)
GVWR: [213](#)

J

J1772: [172](#)

M

myQ: [62](#)
 プログラミングと利用: [62](#)

N

NHTSA、への連絡: [293](#)

P

PIN: [90](#)

R

RFID トランスポンダー: [203](#)

T

Teslacam: [145](#), [147](#)
Tesla プロフィール: [89](#)
TPMS: [193](#)
 概要: [193](#)

U

USB ポート: [9](#)
USB 機器: [9](#)
 接続中: [9](#)
USB フラッシュドライブ: [143](#), [145](#), [147](#)

W

Wi-Fi への接続: [57](#)
Wi-Fi への接続: [57](#)

あ

アーケード: [169](#)
アクセサリ: [10](#)
 電源ソケットへの差し込み: [10](#)
アクセサリ、けん引: [95](#)
アプリ: [5](#)
アラーム: [143](#), [147](#)
安全上の不具合、報告: [293](#)
安全情報、チャイルドシート: [48](#)
アンチロック ブレーキ (ABS) : [77](#)
アンビエント ライト: [72](#)

い

イージーエントリー、ドライバーのプロフィール: [89](#)
インダクティブ方式電話充電器: [10](#)
インテリア: [5](#), [72](#), [151](#), [197](#)
 温度コントロール: [151](#)
 概要: [5](#)
 クリーニング: [197](#)
 ライト: [72](#)
イベントデータ記録: [290](#)

う

ウィンカー: [74](#)
ウィンドウ、キャリブレーション: [27](#)
ウィンドウウォッシャー液、補充: [200](#)
ウィンドウキャリブレーション: [27](#)
ウェブ会議: [61](#)
ウォール コネクタ: [172](#)
ウォッシャー、使用: [75](#)
ウォッシャー液、補充: [200](#)
ウォッシャー液噴出口、清掃: [201](#)



え

エアコンを ON のままにする: 153
エアバッグ、位置: 50
エアバッグ安全情報: 54
エア フィルター: 156
エアロ カバー: 191
エネルギー アプリ: 184
エネルギー使用予測 (ナビゲーション) : 165

お

追い越し加速: 104
往復にかかるエネルギー (ナビゲーション) : 165
往復にかかる予想エネルギーの常時表示: 165
オーディオ: 66, 167, 169
 音量調節: 167
 ステアリングホイールのスクロールボタン: 66
 設定: 167
 ファイルの再生: 167, 169
オートステアリング: 104
オートチルト: 68
オートナビゲーション: 161
 ナビゲーション: 161
オートパーキング: 124
オートパーキングを使用した駐車: 124
オートパイロット: 101, 104, 124, 126, 135, 138, 141
 オートステアリング: 104
 オートパーキング: 124
 サモン: 126
 スピードアシスト: 141
 トラフィックアウェア クルーズコントロール: 104
 概要: 101
 自動緊急ブレーキ: 138
 衝突回避アシスト: 138
 制限速度警報: 141
 正面衝突警告: 138
 側面衝突警告: 135
 速度制限内で走行: 141
 追い越し加速: 104
オートパイロット コンポーネント: 101
オートパイロット ナビ走行: 104
オートブレーキホールド: 84
オートホールド: 68
オーナー情報について: 288
オールシーズン タイヤ: 194
お気に入り (ナビゲーション) : 161
お気に入り (メディアプレイヤー) : 169
お楽しみ: 169
オドメーター: 92
オフピーク充電: 182

オフロードアシスト: 85
おもちゃ箱: 169
音声コマンド: 16
オンラインルート案内: 165
音量調節 (メディア): 167
音量調節: 5

か

カーゴエリア: 29
カード: 20
カーペット、クリーニング: 198
外形寸法: 215
回生ブレーキ: 78
改造: 203
荷重限度: 213
加速、コンフォート: 86
加速、スポーツ: 86
加速、標準: 86
カナダ運輸省、連絡する: 293
加熱: 151
カメラ、後ろ向き: 93
貨物量仕様: 216
カラーライザー: 169
カラオケ: 169
カリフォルニア州プロポジション 65: 291
ガレージ ドア、開く: 62
カレンダー: 60
換気: 156
寒冷環境におけるベストプラクティス: 157
寒冷地設定: 157

き

キー: 20, 22
 概要: 20
 キー カードと電話キーの削除: 22
 キー カードと電話キーの追加: 22
 バッテリーの交換: 22
 リストの表示: 22
キーカード: 20
機能、新しいものをダウンロード: 185
キャビン エア フィルター: 156
キャンプ: 153
勤務先位置: 163

<

空調: 151
空調コントロール: 151
クリーニング: 196
クルーズコントロール: 104
車に何がついてるって?: 169

グローブボックス: 32
グローブボックス PIN: 144

け

警告用フラッシャー: 74
携帯電話アプリ: 60
ゲート、開く: 62
けん引に関する指示: 226
けん引: 230, 232

こ

公共充電ステーション: 172
降車後オートロック機能: 25
工場出荷デフォルト、復元: 8
工場出荷時リセット: 8
後方カメラ: 93
コートハンガー: 32
個人情報、消去: 8
コンソール: 9, 10, 32
 USB ポート: 9
 低電圧電源ソケット: 10
 開く: 32
 リア: 32
コンディショニング: 182

さ

サービスの予約: 55
最近の使用履歴 (ナビゲーション): 161
最近の履歴 (メディアプレーヤー): 169
サイドカメラ: 93
サイドクリアランス (サモン): 126
坂道、で停止する: 84
サスペンションの仕様: 220
サマータイヤ: 194
サモン: 126
サモン距離: 126
サモンを使用した駐車: 126
3列目シート、折りたたみと引き上げ: 37

し

シート: 34, 151
 ヒーター: 151
シートカバー: 39
シートヒーター: 151
シートベルト: 40, 41, 198
 概要: 40
 クリーニング: 198
 衝突した場合: 41
 妊娠中の女性が着用するとき: 41
 プリテンショナー: 41

市街地でのオートステアリング: 120
識別ラベル: 212
自宅位置: 163
始動: 65
自動車用カバー: 199
自動ワイパー: 75
車載カメラ: 142
車体の修理: 203
ジャッキアップ: 202
車内温度コントロール: 151
車内車載カメラ: 142
車両最低地上高: 215, 216
車両識別番号: 212
車両識別ラベル: 213
車両寸法: 215
車両積載量: 213
車両総重量: 213
車両に名前を付ける: 8
車両の名前を変更する: 8
車輪止め: 228
ジャンプスタート: 230, 232
充電ステーション、地図に表示: 161
充電ポイント、検索: 164
充電ポート: 176
充電ポート手動リリース: 180
充電ポート ライト: 177
充電ポート リリース ケーブル: 180
充電予約: 182
瞬間値: 184
仕様、インテリア: 216
仕様、エクステリア: 215
乗員感知: 51
乗員感知、フロント: 51
乗員センサー、助手席: 51
乗員の識別: 52
消去とリセット: 8
乗車後カレンダーを表示: 60
消費量チャート: 184
ショートカット: 6, 7
 タッチスクリーンの再起動: 7
 マイ アプリに追加: 6
暑熱環境におけるベストプラクティス: 160
所有権の変更: 8
信号機と一時停止のコントロール: 113
侵入検出: 143

す

スーパーチャージャー、地図に表示: 161
Zoom: 61
スケジュールリング: 182



スタッドレス タイヤ: 194
スタビリティ コントロール: 85
スタンバイ: 147
ステアリング、自動: 104
ステアリングの仕様: 218
スピードアシスト: 141
スマート サモン: 128
スマートフォン: 20
 認証された電話機: 20
スリップスタート: 85
寸法、インテリア: 216
寸法、オーバーハンド: 215
寸法、仕様: 215

せ

整備データ記録: 290
セキュリティ設定: 143
設定、加速: 86
設定、消去: 8
洗車: 196
洗車モード: 196
セントリーモード: 147

そ

走行後オートロック: 26
ソフトウェア アップデート: 185
ソフトウェアのアップデート優先設定: 185
ソフトウェアの再インストール: 185
ソフトウェア リセット: 8

た

タイ ダウンストラップ: 228
タイヤ: 189, 190, 194, 220, 221, 223
 圧力、表示: 189
 オールシーズン: 194
 温度等級: 223
 空気圧、チェック方法: 189
 交換: 190
 サマー: 194
 仕様: 220
 スタッドレス: 194
 タイヤ センサーの交換: 194
 タイヤのマーキング: 221
 チェーン: 194
 点検と保守: 189
 トラクション等級: 223
 トレッド磨耗: 223
 バランス調整: 190
 品質等級基準: 223
 ホイール設定: 189

 ローテーション: 190
 タイヤ空気圧、チェック: 189
 タイヤ空気圧、表示: 189
 タイヤと荷重情報ラベル: 213
 タイヤのノイズ: 194
 タイヤのローテーション: 190
 タイヤ空気圧監視システム: 193
 概要: 193
ダッシュカム: 145
ダッシュボードの概要: 5
タッチスクリーン: 5, 6, 7, 66, 185, 198
 概要: 5
 クリーニング: 198
 再起動: 7
 ショートカットを追加: 6
 ソフトウェア アップデート: 185
 停止: 7
 マイ アプリをカスタマイズ: 6
 無反応: 7
 メイン: 5
 リア: 5
 再起動中: 66
 表示設定: 5
タッチスクリーンの再起動: 65

ち

チェーン: 194
地図の更新: 166
地図の向き: 161
チャイルド ロック: 27
 リアウィンドウ スイッチをロックする: 27
チャイルドシート、取付および使用: 43

つ

追跡無効: 161
通気口、調整: 156

て

定員: 213
定格総軸荷重: 213
定期サービス: 187
データ共有: 290
データ記録: 290
デバイス: 169
 Bluetooth、オーディオ ファイルの再生: 169
テレマティクス: 290
電気式パーキング ブレーキ: 80
電源ソケット: 10
電源のオン/オフ: 65
電波規制情報: 293

電力切れ: 230, 232

電話キー: 20, 22

キーの削除: 22

キーの追加: 22

と

ドア: 25, 26, 234

内側から開ける: 25, 234

外部ドアハンドル: 25

外側から開ける: 25

チャイルドロック: 26

電力がない状態で開く: 234

内部ロックとロック解除: 25

パーキング時のロック解除: 26

ロック: 25

ロック解除: 25

ドアシール: 198

クリーニング: 198

ドアハンドル: 25

ドアラベル: 213

ドア機能: 25

降車後オートロック機能: 25

統一タイヤ品質等級基準: 223

読書灯: 32, 72

ドッグ: 153

ドライバーアシスト: 101

ドライブモード、切り替え: 70

ドライブモード、ドライブ: 70

ドライブモード、ニュートラル: 70

ドライブモード、パーキング: 70

ドライブモード、リバース: 70

ドライブモードの切り替え: 70

ドライブ用 PIN: 144

トラクションコントロール: 85

トラフィックアウェアクルーズコントロール: 104

トランク、フロント: 30

トランク、リア: 28

トランスポンダー、取り付け: 203

トランスミッションの仕様: 218

トリップメーター: 92

トリップチャート: 184

トリッププランナー: 165

トルクの仕様: 218

トレーラー、けん引: 95

トレーラーのけん引: 95

に

2列目シート、調整と折りたたみ: 35

認証 (FCC、IC、CE、NCC) : 293

の

納車走行距離: 290

納車後の走行距離: 290

は

パーキングアシスト: 82

パーキング時のロック解除: 26

パーキングブレーキ: 80

パーセルシェルフ: 29

排気ラベル: 212

ハイビームヘッドライト: 73

ハザード: 74

ハザードライト: 74

ハザードランプの点滅: 74

バッテリー (キー)、交換: 22

バッテリー (高電圧): 174, 220

温度限界: 174

仕様: 220

バッテリー (低電圧) : 174, 220

完全放電: 174

仕様: 220

ハブキャップ: 191

バレーモード: 90

パワー: 78

回生ブレーキの効果: 78

パワーウィンドウ: 27, 211

パワーサイクリング: 65

ハンドル: 72

ライト、コントロール: 72

バンパークリアランス (サモン) : 126

ひ

非常灯: 74

ビデオクリップ: 145

ビデオ通話: 61

表示設定: 5

ふ

ファームウェア (ソフトウェア) アップデート: 185

ブームボックス: 169, 170

フォグランプ: 72

部品の交換: 203

ブラインドスポットカメラ: 135

ブラインドスポット衝突警告: 135

ブラインドスポット衝突警告チャイム: 135

フラッシュャー、警告: 74

フラッシュドライブ: 145, 147

フルード: 188

交換間隔: 188



フルセルフドライビング: 120
ブレーキをかける: 77, 139, 218
 概要: 77
 緊急時自動作動: 139
 仕様: 218

フロア マット: 199
プロポジション 65: 291
フロント エアバッグ、助手席: 51
フロントおよびリアシート: 34
フロントトランク: 30, 231
 電力がない状態で開く: 231

へ

平均値: 184
ヘッドライト: 72, 73
 降車後: 73
 コントロール: 72
 ハイビーム: 73
ヘッドレスト: 38
便利な検索機能: 161

ほ

ホイール: 190, 191, 192, 220
 アライメント: 190
 エアロ カバー、取り外しと取り付け: 191
 交換: 190
 仕様: 220
 トルク: 220
 ラグ ナット カバー、取り外しと取り付け: 192
ホーム: 5
 画面: 5
 ボタン: 5
HomeLink: 62, 126
 サモン使用時: 126
 プログラミングと利用: 62
ホーン: 67
歩行者警告: 94
ボディ 補修塗り: 198
ボディの補修塗り: 198
ボンネット: 30, 231
 電力がない状態で開く: 231

ま

マイ アプリ: 6
マット: 199

み

ミラー: 68

め

メディア: 167, 169
 設定: 167
 ソース、表示および非表示: 167

も

モーターの仕様: 218
モバイル アプリ: 55
モバイルアプリアクセス: 55
モバイルコネクタ: 172, 176
 使用: 176
 説明: 172

ゆ

輸送: 226
輸送モード: 226

よ

腰部調節: 34

ら

ライト: 72, 74
 ハザードランプ: 74
ライブカメラの表示: 147
ラグ ナット カバー: 192
ラジオ: 167, 169
ラベル: 213
 車両識別: 213
 タイヤと荷重情報: 213

り

リアビュー カメラ: 93
リアウィンドウ スイッチ、ロックする: 27
リアシート、調整と折りたたみ: 35
リフトゲート: 28
 開放時の高さ調整: 28
 開く: 28
料金徴収システム トランスポンダー、取り付け: 203
リリース ノート: 186

る

ルート変更: 165
ルーフラック: 215
ルーム (マップ) ライト: 72

れ

レーンアシスト: 135
レンジプランナー: 183



ろ

ロードサイドアシスタンス: [230](#)

録画: [145](#), [147](#)

ロケーション追跡: [161](#)

ロック: [25](#)

ロック解除: [25](#)

わ

ワイパー、使用: [75](#)

ワイパー ブレード、交換: [200](#)

ワイヤレス電話充電器: [10](#)

TESLA

Publication date: 2024/11/1